市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

設計：㈱千葉構造設計コンサルタント

市立みずほ台コミュニティセンター長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

【 意 匠 図 】

通番号	図面番号	図　面　名　称	通番号	図面番号	図　面　名　称	通番号	図面番号	図　面　名　称	通番号	図面番号	図　面　名　称
０００	A-00	図面リスト									
００１	A-01	特記仕様書（改修その１）	０４１	A-41	断面詳細図４［改修後］	０８１	A-81	展開図(2F-2-4)　［改修後］		S-01	構造標準仕様書
００２	A-02	特記仕様書（改修その２）	０４２	A-42	１階平面詳細図１［改修前・後］	０８２	A-82	展開図(2F-2-5)　［改修後］		S-02	鉄骨構造標準図
００３	A-03	特記仕様書（改修その３）	０４３	A-43	展開図(1F-1-1)　［改修前］	０８３	A-83	Ｒ階屋根伏図１［改修前・後］		S-03	溶接基準図
００４	A-04	特記仕様書（改修その４）	０４４	A-44	展開図(1F-1-2)　［改修前］	０８４	A-84	Ｒ階屋根伏図２［改修前］		S-04	ＲＣ配筋標準図(1)
００５	A-05	特記仕様書（改修その５）	０４５	A-45	展開図(1F-1-3)　［改修前］	０８５	A-85	Ｒ階屋根伏図２［改修後］		S-05	ＲＣ配筋標準図(2)
００６	A-06	特記仕様書（改修その６）	０４６	A-46	展開図(1F-1-1)　［改修後］	０８６	A-86	展開図(RF-2-1)　［改修前］		S-06	ＲＣ配筋標準図(3)
００７	A-07	特記仕様書（改修その７）	０４７	A-47	展開図(1F-1-2)　［改修後］	０８７	A-87	展開図(RF-2-1)　［改修後］		S-07	伏図・軸組図・基礎リスト
００８	A-08	特記仕様書（改修その８）	０４８	A-48	展開図(1F-1-3)　［改修後］	０８８	A-88	建具ｋｅｙｐｌａｎ［改修前］		S-08	鉄骨リスト・鉄骨詳細図
００９	A-09	特記仕様書（石綿除去処理工事）参考図	０４９	A-49	１階平面詳細図２［改修前］	０８９	A-89	建具ｋｅｙｐｌａｎ［改修後］			
０１０	A-10	工事区分表	０５０	A-50	１階平面詳細図２［改修後］	０９０	A-90	建具表（ＡＬ１）			
０１１	A-11	案内図・配置図	０５１	A-51	増築部分断面詳細図	０９１	A-91	建具表（ＡＬ２）			
０１２	A-12	仮設計画図	０５２	A-52	展開図(1F-2-1)　［改修前］	０９２	A-92	建具表（ＡＬ３）			
０１３	A-13	建物求積図・建物面積算定表	０５３	A-53	展開図(1F-2-2)　［改修前］	０９３	A-93	建具表（ＡＬ４）			
０１４	A-14	外部仕上表１	０５４	A-54	展開図(1F-2-3)　［改修前］	０９４	A-94	建具表（ＡＬ５）			
０１５	A-15	外部仕上表２	０５５	A-55	展開図(1F-2-4)　［改修前］	０９５	A-95	建具表（ＡＬ６）			
０１６	A-16	内部仕上表１	０５６	A-56	展開図(1F-2-5)　［改修前］	０９６	A-96	建具表（ＳＴ１）			
０１７	A-17	内部仕上表２	０５７	A-57	展開図(1F-2-1)　［改修後］	０９７	A-97	建具表（ＳＴ２）			
０１８	A-18	内部仕上表３	０５８	A-58	展開図(1F-2-2)　［改修後］	０９８	A-98	建具表（Ｗ１）			
０１９	A-19	１階平面図［改修前］	０５９	A-59	展開図(1F-2-3)　［改修後］	０９９	A-99	建具表（Ｗ２）			
０２０	A-20	２階平面図［改修前］	０６０	A-60	展開図(1F-2-4)　［改修後］	１００	A-100	建具表（ＴＢ）			
０２１	A-21	Ｒ階平面図［改修前・後］	０６１	A-61	展開図(1F-2-5)　［改修後］	１０１	A-101	サインｋｅｙｐｌａｎ		G-01	外構平面図［改修前］
０２２	A-22	１階平面図［改修後］	０６２	A-62	２階平面詳細図１［改修前・後］	１０２	A-102	サイン詳細図		G-02	外構平面図［改修後］
０２３	A-23	２階平面図［改修後］	０６３	A-63	展開図(2F-1-1)　［改修前］	１０３	A-103	家具詳細図１		G-03	雨水排水平面図［改修前］
０２４	A-24	立面図１［改修前］	０６４	A-64	展開図(2F-1-2)　［改修前］	１０４	A-104	家具詳細図２		G-04	雨水排水平面図［改修後］
０２５	A-25	立面図２［改修前］	０６５	A-65	展開図(2F-1-3)　［改修前］	１０５	A-105	スライディングウォール詳細図		G-05	外構構造物詳細図１［改修前］
０２６	A-26	立面図１［改修後］	０６６	A-66	展開図(2F-1-4)　［改修前］	１０６	A-106	アルミサッシ参考図（１）		G-06	外構構造物詳細図２［改修前］
０２７	A-27	立面図２［改修後］	０６７	A-67	展開図(2F-1-1)　［改修後］	１０７	A-107	アルミサッシ（防火設備）参考図（２）		G-07	外構構造物詳細図３［改修後］
０２８	A-28	立面図１（劣化補修位置図）［改修前］	０６８	A-68	展開図(2F-1-2)　［改修後］	１０８	A-108	プレイルーム　床伏図・断面詳細図		G-08	外構構造物詳細図４［改修後］
０２９	A-29	立面図２（劣化補修位置図）［改修前］	０６９	A-69	展開図(2F-1-3)　［改修後］	１０９	A-109	部分詳細図１		G-09	外構構造物詳細図５
０３０	A-30	断面図［改修前］	０７０	A-70	展開図(2F-1-4)　［改修後］	１１０	A-110	部分詳細図２			
０３１	A-31	断面図［改修後］	０７１	A-71	２階平面詳細図２［改修前］	１１１	A-111	ＥＸＰ．ｊ詳細図			
０３２	A-32	１階天井伏図［改修前］	０７２	A-72	２階平面詳細図２［改修後］						
０３３	A-33	２階天井伏図［改修前］	０７３	A-73	展開図(2F-2-1)　［改修前］						
０３４	A-34	１階天井伏図［改修後］	０７４	A-74	展開図(2F-2-2)　［改修前］						
０３５	A-35	２階天井伏図［改修後］	０７５	A-75	展開図(2F-2-3)　［改修前］						
０３６	A-36	断面詳細図１［改修前］	０７６	A-76	展開図(2F-2-4)　［改修前］						
０３７	A-37	断面詳細図１［改修後］	０７７	A-77	展開図(2F-2-5)　［改修前］						
０３８	A-38	断面詳細図２［改修前・後］	０７８	A-78	展開図(2F-2-1)　［改修後］						
０３９	A-39	断面詳細図３［改修前・後］	０７９	A-79	展開図(2F-2-2)　［改修後］						
０４０	A-40	断面詳細図４［改修前］	０８０	A-80	展開図(2F-2-3)　［改修後］						

工事名	市立みずほ台コミュニティセンター長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

Ⅰ　工事概要

１．工事場所　富士見市西みずほ台１丁目 地内
（埼玉県富士見市西みずほ台1丁目19番地2）

２．敷地面積　973.85 ㎡

３．工事種目（建物概要）　■ コミュニティセンター
既存：ＲＣ造　地上２階　延べ面積　1,016.23㎡
増築：　Ｓ造　地上１階　増築床面積　6.07㎡
■ 付属棟（駐輪場）
Ｓ造　地上１階　延べ面積　9.63㎡

４．工事内容　・長寿命化改修建築工事
・風除室増築工事

５．工　　期
契約工期　契　約　日から令和９年３月１２日まで
主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間　現場施工に着手するまで
現場代理人の現場への常駐を要しない期間　現場施工に着手するまで
現場施工期間　令和８年５月１８日から令和９年２月２６日まで
ただし、仮設工事等は施設との協議による

６．工事範囲
※「３．工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「３．工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。

工事項目＼工事種目				
2　仮設工事	○			
3　防水改修工事	○			
4　外壁改修工事	○			
-1　コンクリート打放し仕上げ外壁	○			
-2 モルタル塗り仕上げ外壁				
-3 タイル張り仕上げ外壁				
-4 塗り仕上げ外壁				
-5 外壁用塗膜防水塗り				
5　建具改修工事	○			
6　内装改修工事	○			
7　塗装改修工事	○			
8　耐震改修工事				
9　環境配慮改修工事	○			
10　鉄筋工事	○			
11　コンクリート工事	○			

Ⅱ　建築改修工事仕様

（１）質問回答書、本特記仕様書（改修）及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)（令和７年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)（令和７年版）」(以下、「標準仕様書」という。)による。
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
（２）改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。
（３）本特記仕様書の表記
１）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
２）特記事項は、・印の付いたものを適用する。　－印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
・印と ㊟ 印の付いた場合は、共に適用する。　・印と ※の場合は、－のみを適用する。
３）特記事項に記載の｛　．　．｝内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。
４）特記事項に記載の［　．　．］内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
５）特記事項に記載の（　．　．）内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
６）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、（　　）内は製品名を示す。
７）本工事において、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（最新版）」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針（最新版）」を選択するよう努めるものとする。
なお、 G 印は設計図書で定めのある品目を示す。
８）注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

章	項　目	特　記　事　項
①一般共通事項	①適用基準等	※埼玉県建築工事実務要覧に記載の要領等 ※建築工事監理指針（国土交通省監修）（参考図書） ※建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　令和４年版） なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
	②条件明示事項	保険の種類　[1.1.3] ※法定外の労災保険（工事に従事する者(全ての下請負人を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの） ※建設工事保険等（工事目的物及び工事材料等を対象とするもの） ※請負業者賠償責任保険等　・ 保険の期間　※工事完成期日後１４日を含む期間　・
	③工事実績情報の登録	※行う（請負代金額500万円以上、10日以内に登録）　・行わない　[1.1.4] [1.1.8]
	④適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力　風速（Vo=　m/s）　地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ） ・積雪荷重　H12.5.31告示第1455号における区域　別表（　　） ・大地震時の非構造部材の変形追従性能を確認する場合の層間変形角 ・1/200　・1/150　・1/120　・　・図示（　　） 確認箇所（　　）
	⑤別契約の関連工事	※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。[1.1.7] ・監督員指定の別契約工事が行う全体調整に全面的に協力する。
	６施工に注意を要する区域等	本工事場所は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成　[1.1.12、13]及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。 ・周知の埋蔵文化財包蔵地　・史跡名勝天然記念物 ・　・
	⑦工事の記録	埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。[1.2.4] [1.6.6] 埼玉県電子納品運用ガイドライン　※適用する（CD-RXはDVD-Rで１部提出） ・適用しない
	⑧電気保安技術者	適用する　[1.3.3] [1.3.1]
	⑨施工条件	施工時間　(1.3.5) [1.3.5] ・行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外とする。 ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ※公告に別に添付するく埼玉県営繕工事における「週休２日制モデル工事」特記仕様書>を参照のこと 施工時間以外の施工条件 ・図示による　・
	⑩施工中の安全確保	本工事の受注者を、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害を防止するために必要な措置を講ずべき者（統括安全衛生管理義務者）とする。[1.3.7]
	⑪環境保全等	建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。[1.3.11]
	⑫発生材の処理等	引渡しを要するもの　[1.3.12] [1.1.13] ※無し（全て構外搬出適正処理）　・有り（※図示　・　　） 注 a）発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に報告する。 b）産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 c）引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。
	⑬県産品の使用	受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は[1.4.2]埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。
	⑭環境への配慮	建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び　[1.4.1] [1.4.3]性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①　合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②　接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③　接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-ｎ-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④　①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	⑮材料の品質等	※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。[1.4.2] ※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」（林野庁 H18.2.15）に準拠した証明書を監督員に提出する。
	16 石綿含有建材の調査	調査　[1.5.1] ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 貸与資料（　　） ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法

材料名	定性分析方法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	定量分析方法 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所

サンプル数　1箇所あたり3サンプル
採取箇所　・図示　・

章	項　目	特　記　事　項
①一般共通事項	⑰技能士	[1.6.2] [1.3.3] 工事種別 ／ 適用技能士 仮設工事 ／ ・とび作業 防水改修工事 ／ ・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系シート防水工事作業 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系シート防水工事作業　・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 ・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・FRP防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ･ﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・左官作業　・内外装板金作業 外壁改修工事 ／ ・左官作業　・タイル張り作業 ・建築塗装作業　・樹脂接着剤注入工事作業 建具改修工事 ／ ・ビル用サッシ施工作業　・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業　・建築フィルム作業 内装改修工事 ／ ・プラスチック系床仕上げ工事作業　・カーペット系床仕上作業 ・木質系床仕上げ工事作業　・鋼製下地工事作業 ・ボード仕上げ工事作業　・タイル張り作業 ・吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱工事作業　・保温保冷工事作業 ・壁装作業 塗装改修工事 ／ ・木工塗装作業　・建築塗装作業 耐震改修工事 ／ ・鉄筋組立て作業　・型枠工事作業 ・とび作業　・構造物鉄工作業 その他 ／ ・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾟﾛｯｸ工事作業
	⑱化学物質の濃度測定	(1.5.9) [1.7.9] 対象化学物質 ／ 判定基準 ／ 備考 ホルムアルデヒド ／ 100μg/m³（0.08ppm）以下 ／ ※厚生労働省が定める指針値、量単位の換算は２５℃ トルエン ／ 260μg/m³（0.07ppm）以下 キシレン ／ 200μg/m³（0.05ppm）以下 エチルベンゼン ／ 370μg/m³（0.085ppm）以下 スチレン ／ 220μg/m³（0.05ppm）以下 パラジクロロベンゼン ／ 240μg/m³（0.04ppm）以下 測定方法 採取及び分析は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う。 ①検体の採取方法　※吸引方式（アクティブ法）又は拡散方式（パッシブ法） ・吸引方式（アクティブ法）　・拡散方式（パッシブ法） ②アクティブ法 ホルムアルデヒドは、ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着／溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法（以下ＨＰＬＣ）により行う。 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ／質量分析法（以下ＧＣ／ＭＳ）により行う。 ③パッシブ法 ホルムアルデヒドは、パッシブ採取機器により採取し、ＨＰＬＣ又はガスクロマトグラフ法（以下ＧＣ）あるいはＡＨＭＴ－吸光光度法のうち採取機器に適応した分析法による。 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、パッシブ採取機器により採取しＧＣまたはＧＣ／ＭＳのうち採取機器に適応した分析法による。 測定対象室　○監督員の指定する室（　10室）　・図示 測定箇所数　※（　30(新15、後15）　・図示 測定時期　※工事着手前及び完了後 報告書　※２部　・
	⑲中間検査	中間検査　※行う（埼玉県建設工事検査要綱第５条）・行わない　[1.7.2] [1.5.1] 中間検査実施回数（　1　）　実施段階（ 外部足場解体前 ）監督員の指示による 中間検査成績評定　※対象外　・対象（埼玉県建築工事成績評定要領第２）
	⑳完成図等	監督員の指示により埼玉県建築工事監督要領別表第１に示す書類を原則電子データで提出する。[1.8.1～3] [1.6.1～3] 完成図等の種類及び記入内容 完成(竣工)図（※監督員が指定した設計図面に完成時の状態を表現したもの） 図面情報電子化媒体　※CD-R又はDVD-R、１部 CADデータの形式　※SXF(sfc)　・DXF　○JWW （埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領による。CADﾃﾞｰﾀのﾊﾞｰｼﾞｮﾝは監督員と協議する） 保全に関する資料　※１部　部（通常取扱いに注意を要するものの使用方法を解説する） 完成写真（埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成する） 埼玉県電子納品運用ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ　※適用する(CD-R又はDVD-Rで１部提出)　・適用しない 撮影者　※監督員の承諾する撮影者　・ 撮影箇所　※外部（４）内部（ 会室 着工時と完成時の状況を比較できるように撮影する ○埼玉県建築工事写真作成要領別表５ 原本及びアルバムを各１部提出 原本(電子媒体：撮影時のJPEG)及びアルバム(紙媒体又は電子媒体)を各1部提出 パネル入り（外部全景）完成写真　・要　○不要 施設CADデータ　・更新して提出　・更新しない
	㉑保証書	防水工事　㊟屋上防水　・外壁防水　○金属屋根　・　[1.6.4] 建物引渡し日から10年間、受注者、施工者、材料ﾒｰｶｰの3者連名とし2部提出する。 上記以外　○1部提出
	㉒その他	・予備材料　※監督員の指示による　・ ・下請契約　※全体及び県内に分け、契約数及び契約金額の総計を提出する。
②仮設工事	①騒音・粉じん等の対策	・防音パネル　○防音シート　[2.1.3] 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲　※図示　・
	②足場等	[2.2.1] [表2.2.1] 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場　○設置する（設置範囲　○図示　・　）・設置しない 防護シート　○設置する（設置範囲　○図示　・　）・設置しない 内部足場　○設置する（※脚立、足場板等　・　）・設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 ○D種 ○E種） Ｃ種：利用可能なエレベーター（・図示　・　） Ｄ種：利用可能な階段　（・図示　○　内部階段　） 墜落制止用器具の使用は、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」(厚生労働省 H30.6.22)による。 ○フルハーネス型墜落制止用器具を用いる。 幅が1メートル以上の箇所において足場を使用するときは、原則として本足場を使用する（労働安全衛生規則第561条の2）
	３ 既存部分の養生	[2.3.1] 既存部分　養生の方法（※ビニルシート、合板等　・　） 既存家具、既存設備等　養生の方法（※ビニルシート等　・　） 既存ブラインド、カーテン等 養生の方法（・ビニルシート等　・　） 保管場所（・図示　・　） 固定された備品、机、ロッカー等の移動　・図示　・ 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
	４ 仮設間仕切り	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　・図示　・　[2.3.2] [表2.3.1] 仮設間仕切りの種別と材質等

種別	下地	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填材
・Ａ種	・木 ・軽量鉄骨	・せっこうボード（9.5mm） 種類（　　）	・無し ・片面	※有り
・Ｂ種		・合板（9.0mm） 材種（　　）		
※Ｃ種	単管	防炎シート		

充填材：グラスウール32k（厚：50mm以上）

章	項　目	特　記　事　項
②仮設工事		仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所	充填材
※木製	※合板張り程度	・無し	※図示　・　か所	・有り
・	・	・片面		・無し

充填材：グラスウール32k（厚：50mm以上）

	5 監督員事務所	規模　・既存建物内の一部を使用　[2.4.1] ・構内に新設　㎡ ※設置しない（下記備品のみ用意する） 備品（　名分程当） ・机　・椅子　・書棚　・黒板　・掛時計　・寒暖計　・長靴　・雨合羽 ・保護帽　・懐中電灯　・望落制止用器具　・軍手　・衣類ロッカー ・冷暖房機器　・消火器　・湯沸器　・茶器　・掃除用具　・電話機 ・ＦＡＸ　・電子メール通信機器　・スキャナー　・プリンター
	⑥現場表示板	※設置する（[1.1.12]による表示　○要　・不要）　・設置しない　[2.4.1] [1.1.12]
	⑦工事用水	構内既存の施設　・利用できない　○利用できる（・有償　○無償）
	⑧工事用電力	構内既存の施設　・利用できない　○利用できる（別途施設調整を行うこと）
	⑨工事用搬入路	※図示　・
	⑩仮囲い	※設置位置等は監督員の指示による　○図示
	⑪交通誘導員	必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。（原則１工事目／１人） 配置箇所　※監督員の指示による　・図示
	12 快適トイレ	仕様　※図示　・
③防水改修工事	１ 施工数量調査	調査範囲　・図示の範囲　・　[1.6.2、3] 調査方法　・図示　・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示　・ 調査報告書　提出部数　・２部　・
	②降雨等に対する養生方法（とい共）	※[3.1.3](5)(ｱ)～(ｳ)による　・　[3.1.3]
	③既存防水の処理	[3.1.4] [3.2.3、4、6] 既存保護層の撤去　・行う（範囲　・図示　・　）○行わない 既存防水層の撤去　・行う（範囲　・図示　・　）○行わない 既存露出防水層表面の仕上塗装除去 ・行う（・M4AS　・M4AS1　・M4C　・M4D1）　・行わない 既存塗膜防水層表面の仕上塗装除去　・行う（L4X）　○行わない
	④既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等　・図示　・　[3.2.6] POS工法及びPOSI工法（機械式固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理　※[3.2.6](4)(ｳ)(g)①～③による　・ 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理　・図示　・
	５ アスファルト防水	屋根保護防水　[3.3.2～5] 断熱防水層（屋根保護絶縁工法）の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G [9.2.1～3]	絶縁用シート	立上り部の保護
・Ｐ２Ａ	・A-1 ・A-2 ・A-3			※ｶﾞﾗｽﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ厚さ0.15mm以上又はﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/㎡程度	・乾式保護材 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ押え ・れんが押え ※JIS R 1250 ・ ・ﾓﾙﾀﾙ押え(屋内)
・Ｐ１Ｂ	・B-1 ・B-2				
・Ｐ２ＡＩ	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3		(材質) ※JIS A 9521に基づく押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA（ｽﾁﾚﾝ層付き） ・ (厚さ)・　mm・	※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/㎡程度 ・	
・Ｐ１ＢＩ ・Ｔ１ＢＩ	・BI-1 ・BI-2				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※[表3.3.3]から[表3.3.9]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※[表3.3.3]から[表3.3.9]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　※水下　80mm以上　・
床タイル張り　※水下　60mm以上　・
・乾式保護材
窯業系パネルⅠ類（厚さ　　mm、幅　　mm）

屋根露出防水
新設防水層（屋根露出工法）の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料	備考
・Ｍ４Ｃ	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			(種類・使用量) ※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	
・Ｍ３Ｄ ・Ｐ０Ｄ	・D-1 ・D-2			(種類・使用量) ※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・設ける ・設けない
・ＰＯＤＩ ・Ｍ３ＤＩ ・Ｍ４ＤＩ	・DI-1 ・DI-2		[3.3.2(9)] (種類) ・ (厚さ) ・　mm・	(種類・使用量) ※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・設ける ・設けない

高日射反射率防水の適用 G　※適用する　・適用しない
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※[表3.3.3]から[表3.3.9]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※[表3.3.3]から[表3.3.9]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定　・　(個)

R7.10(Ver.R7-1)

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	特記仕様書（改修その１）	001
SCALE　－	㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-01

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

6 改質アスファルトシート防水

屋内防水
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	備考
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2		保護層　・設ける ・設けない

・E-1の工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位　・　　）
押え金物の材質及び形状
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・
屋根排水溝　※図示　・

屋根露出防水（既存）　[3.4.2、3]
新設防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 ◻[9.2.1～3]	仕上塗料	備考
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			(種類・使用量) ※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様・	
・M3AS ・P0AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3 (P0ASのみ)			(種類・使用量) ※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様・	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・設ける ・設けない
・M3AS ・M4AS ・P0AS	・ASI-T1 ・ASI-J1		(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ (厚さ)・　・	(種類・使用量) ※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様・	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・設ける ・設けない

高日射反射率防水の適用 ◻　※適用する　・適用しない
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※[表3.4.1]から[表3.4.3]による　・
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※[表3.4.1]から[表3.4.3]による　・
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※[表3.4.1]から[表3.4.3]による　・
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
脱気装置の種類及び設置数量
※改質アスファルトシートの製造所の指定による
・種類（　　）、設置数量（　　）個／㎡
押え金物
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定・
設置数量　※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定・　（個）
絶縁断熱工法の防湿用シート　・設置する　・設置しない

⑦ 合成高分子系ルーフィングシート防水

新設防水層の種別　[3.5.2～4][表3.5.1～3]

工法	種別	施工箇所	断熱材 ◻	仕上塗料	備考
・P0S ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	増築風除室屋上		(種類・使用量) ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	(脱気装置) ○設ける ・設けない (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・設ける ・設けない
・S3S	・S-F1 ・S-F2	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地		(種類・使用量) ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	(脱気装置) ・設ける ・設けない
・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			(種類・使用量) ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・設ける ・設けない
・P0SI ・S3SI ・S4SI ・M4SI	・SI-F1 ・SI-F2 ・SI-M1 ・SI-M2	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地	(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ (厚さ)・25mm　・50mm	(種類・使用量) ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・設ける ・設けない

高日射反射率防水の適用 ◻　※適用する　・適用しない
○S-M2で立上り面を接着工法とする場合
立上り面のシート厚（※1.5mm　・　　）
・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用
※非歩行使用　・軽歩行仕様
・SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム（・設置する　・設置しない）

屋内防水
防水層の種別

改修工法	種別	施工箇所	保護層	
			平場の保護モルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚
・P1S	・S-C1		・	※7mm以下 ・

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合
厚さ　（　　）mm
目地割り　（※2㎡程度　最大目地間隔3m程度　・　　）
目地の種類（※押し目地　・　　）
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ（種類　　厚さ　　mm以上）
絶縁用シート可塑剤移行防止シートの材質
※発泡ポリエチレンシート　・
固定金具の材質及び寸法形状
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
脱気装置の種類及び設置数量
※ルーフィングシートの製造所の指定による
・種類（　　）、設置数量（　　）個／㎡
接着工法の目地処理
・PCコンクリート下地の場合（　　）
PCコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）
・行う（・図示　・　　）　・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑧ 塗膜防水

※特定化学物質障害予防規則の対象とならない材とする　[3.6.2、3]
新設防水層（ウレタンゴム系塗膜防水）の種別

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考
・P0X	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様・	(脱気装置) ・設ける　・設けない (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・設ける　・設けない
○L4X ○S3X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H	屋上機械置場 ＥＶ棟屋上庇	(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様・	(脱気装置) ○設ける　・設けない (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ○設ける　○設けない

高日射反射率防水の適用 ◻　※適用する　・適用しない
脱気装置の種類及び設置数量
※主材料の製造所の指定による
・種類（　　）、設置数量（　　）個／㎡

新設防水層（ゴムアスファルト系塗膜防水）の種別

工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様・	・保護モルタル ・保護コンクリート厚さ(　mm)
・P2Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様・	・保護モルタル ・保護コンクリート厚さ(　mm)

⑨ シーリング

シーリング改修工法の種類　[3.1.4][3.7.2、3、7、8]
○シーリング充填工法
○シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り　・適用する　・適用しない
エッジング材張り　・適用する　・適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

仕上げを行わない施工箇所
・図示による　・

シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書3.7.3(1)による
・図示による　・
接着性試験
※簡易接着性試験　・引張接着性試験

注　練り混ぜた２成分形シーリング材は、１組の作業班が１日に行った施工箇所を１ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。

⑩ とい

といその他の材種等　[3.8.2、3]
※配管用鋼管　○硬質ポリ塩化ビニル管　・ルーフドレン
表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類・　　）
○アルミ押出形材
とい受金物及び足金物の材種、形状、取付け間隔
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）　・
形状
※市販品　・
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による　・
多雪地域　・適用する　・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法　・図示　・
鋼管製といの防露巻き　※[表3.8.4]による　・

ルーフドレンの種別及び呼び

種別		呼び				施工箇所
○ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80	○100	・125	・150	増築風除室屋上
・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80	・100	・125	・150	
・バルコニー中継用	※ねじ込み式	・50	・80	・100		
	・差し込み式	・50	・75	・100		
・バルコニー用	※ねじ込み式	・50	・80	・100		
	・差し込み式	・50	・75	・100		

たてどい受金物の取付　※図示　・
ルーフドレンの取付　※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填

⑪ アルミニウム製笠木

種類　○押出形材形（○押出250形　・押出300形　・押出350形　）　[3.9.2、3]
・板材折曲げ形（・オーブン形式　・シール形式　）
本体幅：（　　）mm、板厚（※2.0mm　・　　mm）
表面処理　種別　・
着色　○標準色（・アンバー　・ブロンズ　・ブラック系　・ステンカラー）
・特注色（・　　）
既存笠木等の撤去　○行う（範囲　・図示　・　　）　・行わない
下地補修の工法　※図示　・
板材折曲げ形の笠木の取付方法　※図示　・
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑫ 防水工事施工票

[2.1.2]
※設置する（　2 ヶ所）（施工年月日は防水工事施工完了日（手直しは除く）を記入）
・設置しない

4 外壁改修工事

① 施工数量調査

調査範囲　○外壁改修範囲　　・図示の範囲　[1.6.2、3]
調査時期　・外壁仕上げ等除去撤去前　○外壁仕上げ等除去撤去後
調査方法
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
既存部分の破壊を行った場合の補修方法　○図示　・
調査報告書の部数　○2部　・

4-1 コンクリート打放し仕上げ外壁

① ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法　[4.1.4][4.2.4～7]

工法の種類	ひび割れ幅(mm)		注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.5未満	低	※200～300　・	・130　・
	0.5以上～1.0以下	中	※200～300　・	・130　・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	低	・50～100　・	・40　・
	0.3以上～0.5未満	低	・100～200　・	・70　・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	中	・150～250　・	・130　・
			・	・

※エポキシ樹脂　低：低粘度形　中：中粘度形

コア抜取り検査　・行う　○行わない
抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき１個　・
抜取り部の補修方法　※図示　・

・Ｕカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料　※１成分形又は２成分形ポリウレタン系　・
ポリマーセメントモルタルの充填　・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂　・可とう性エポキシ樹脂

4-2 モルタル塗り仕上げ外壁

② 欠損部改修工法

※充填工法　[4.1.4][4.2.4、7]
・エポキシ樹脂モルタル　○ポリマーセメントモルタル

1 既存モルタル塗りの撤去

※全面　・図示の範囲　・

2 ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法　[4.1.4][4.3.5～8]

工法の種類	ひび割れ幅(mm)		注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.5未満	低	※200～300　・	・130　・
	0.5以上～1.0以下	中	※200～300　・	・130　・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	低	・50～100　・	・40　・
	0.3以上～0.5未満	低	・100～200　・	・70　・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	中	・150～250　・	・130　・
			・	・

※エポキシ樹脂　低：低粘度形　中：中粘度形

コア抜取り検査　・行う　・行わない
抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき１個　・
抜取り部の補修方法　・図示　・

・Ｕカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料　※１成分形又は２成分形ポリウレタン系　・
ポリマーセメントモルタルの充填　・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂　・可とう性エポキシ樹脂

3 欠損部改修工法

充填工法　[4.1.4][4.3.9、10]
エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル

・モルタル塗替え工法
・現場調合材料
セメントの種類　※普通ポルランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 ◻
・フライアッシュセメントB種 ◻
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。
・既調合材料（　　）
既製目地材　・使用する（形状　　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置　※図示　・

4 浮き部改修工法

[4.1.4][4.3.11～16]

工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡)		注入口の箇所数(箇所/㎡)		注入量(ml/箇所)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16　・	※25　・	—　・	—　・	※25　・
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13　・	※20　・	※12　・	※20　・	※25　・
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13　・	※20　・	※12　・	※20　・	※50　・
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9　・	※16　・	—　・	—　・	※25　・
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9　・	※16　・	※9　・	※16　・	※25　・
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9　・	※16　・	※9　・	※16　・	※50　・
・充填工法	—　・	—　・	—　・	—　・	—
・モルタル塗替え工法	—　・	—　・	—　・	—　・	—

アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの　・
注入口付アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm　・
注入工法用材料
・ポリマーセメントスラリー

広がり速度(cm/s)	長さ変化率(収縮)(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm²)	曲げ性能(材齢28日)(N/mm²)	吸水性(72時間)(%)	耐久性(劣化曲げ強さ)(N/mm²)
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

充填工法
※３ 欠損部改修方法の「充填工法」による　・
モルタル塗替え工法
※３ 欠損部改修方法の「モルタル塗替え工法」による　・

4-3 タイル張り仕上げ外壁

1 既存タイル張りの撤去

・外壁タイル張り全面　・図示の範囲
撤去範囲　※下地モルタルまで　・張付けモルタルまで

2 タイルの形状、寸法等

タイルの形状、寸法等　[4.4.5、8]

施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 ◻	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 有	無	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
見本焼き
・行う（施工箇所：　　）　・行わない
試験張り
・行う（範囲、仕様等は図示による）　・行わない

3 ひび割れ部改修工法

改修箇所　※既存タイル張り面　[4.1.4][4.4.5、6]
・既存タイル撤去面（・コンクリート面　・モルタル面）

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)		注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.5未満	低	※200～300	・130　・
	0.5以上～1.0以下	中	※200～300	・130　・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	低	・50～100	・40　・
	0.3以上～0.5未満	低	・100～200	・70　・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	中	・150～250	・130　・
			・	・

※エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形

コア抜取り検査　・行う　・行わない
抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき１個　・
抜取り部の補修方法　・図示　・

4 欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法　[4.1.4][4.4.5、7、8]
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557 による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・タイル張替え工法
張替え用材料
・JIS A 5557 による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル（・現場調合材料　・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位置　※改修標準仕様書表4.4.2による　・
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験
・行う　・行わない
・セメントモルタルによるタイル張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）

タイルの種類及び工法
・外装タイル（・密着張り　・改良圧着張り　）
・ユニットタイル（・マスク張り　・モザイクタイル張り）
シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

・有機系接着剤によるタイル張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地（※ポリウレタン系　・　　）
・伸縮調整目地その他の目地　（※変成シリコーン系　・　　）
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。
目地詰め（※行う　・行わない）　・

5 浮き部改修工法

[4.1.4][4.4.5、9～15][4.5.9～15]

工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	指定部	注入量(ml/箇所)
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16　・	※25　・	—　・	—　・	※25　・
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13　・	※20　・	※12　・	※20　・	※25　・
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13　・	※20　・	※12　・	※20　・	※50　・
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9　・	※16　・	—　・	—　・	※25　・
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9　・	※16　・	※9　・	※16　・	※25　・
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9　・	※16　・	※9　・	※16　・	※50　・
・注入口付アンカーピニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	—　・	—　・	※25　・
・タイル部分張替え工法	—　・	—　・	—　・	—　・	—　・
・タイル張替え工法	—　・	—　・	—　・	—　・	—　・

アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの　・
注入口付アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm　・

タイル部分張替え工法
※４ 欠損部改修方法の「タイル部分張替え工法」による　・

タイル張替え工法
※４ 欠損部改修方法の「タイル張替え工法」による

6 目地改修工法

・目地ひび割れ部改修工法　[4.1.4][4.4.5、16]
・伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法　・図示　・
シーリングは、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

4-4 塗り仕上げ外壁等

① 既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

[4.5.4]

工法	処理範囲	下地の補修
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体　・図示	○ひび割れ部改修工法
○高圧水洗工法 加圧力　※30MPa程度以上	※既存仕上げ面全体　・図示 (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)	・浮き部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体　・図示	○欠損部改修工法
・水洗い工法	※上記以外の既存仕上げ面全体　・図示	

下地調整　※下地調整塗材　・ポリマーセメントモルタル　[4.5.2]

○その他特殊な工法等（既存塗膜等に含有する石綿の除去を行う場合など。下地調整含む。）
※図示による　・

② 仕上塗材仕上げ

○仕上げ表記載による　[4.1.5][4.5.2][表4.5.1]

新規仕上塗材の種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓi	・	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Ｓi	・	・ゆず肌状（・吹付け・ローラー塗り）
	・外装薄塗材Ｅ	・	・さざ波状　・平たん状
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・	・凹凸状（・吹付け・こて塗り）
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け・こて塗り）
	・外装薄塗材Ｓ	・	・砂壁状じゅらく　・京壁状じゅらく
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材Ｃ	・	・吹放し　・凸部処理　・平たん状
	・外装厚塗材Ｓi	・	・凹凸状　・ひき起こし　・かき落とし
	・外装厚塗材Ｅ	・	上塗材　・適用する　・適用しない
	・複層塗材ＣＥ	・	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状
・複層仕上塗材	・可とう形複層塗材ＣＥ	・	
	・複層塗材Ｓi	・	耐候性　※耐候形３種　・
	・複層塗材Ｅ	・	上塗材
	・複層塗材ＲＥ	・	溶媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系
	・防水形複層塗材ＣＥ	・	樹脂　※アクリル系　・
	・防水形複層塗材Ｅ	・	外観　※つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材ＲＥ	・	・メタリック
		・	
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材Ｅ	・	・平たん状　・さざ波状　・ゆず肌状
	・可とう形改修塗材ＲＥ	・	耐候性　※耐候形３種　・
	・可とう形改修塗材ＣＥ	・	上塗材
			溶媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系
			樹脂　※アクリル系　・
			外観　※つやあり　・つやなし　・メタリック

③ マスチック塗材塗り

種別　・Ａ種　・Ｂ種　[4.1.5][4.6.2][表4.6.1]

4-5 外壁用塗膜防水材塗り

① 外壁用塗膜防水材塗り

[4.1.5][4.7.2、3][表4.7.1]
仕上げの形状（　　）工法（　　）
外壁用仕上塗料の耐候性　※JIS A 6909 の耐候形１種相当　・
下地挙動緩衝材の適用　・する　・しない
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による。
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による。
吹付け工法の模様材の種類
・（・所要量　(kg/㎡)）
外壁用仕上塗料の種類
・（・所要量　(kg/㎡)）
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 ~外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による。

R7.10(Ver.R7-1)

	市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	特記仕様書（改修その２）	００２
SCALE　－		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-02

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

5 建具改修工事

① 改修工法 [5.1.3]

既存建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
⊙アルミニウム製建具	⊙	⊙	⊙建具表による ・
・樹脂製建具	―	・	・建具表による ・
⊙鋼製建具 ⊙外部	・	⊙	⊙建具表による ・
⊙内部	⊙	・	⊙建具表による ・
⊙鋼製軽量建具	・	⊙	⊙建具表による ・
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による ・
⊙木製建具	・	⊙	⊙建具表による ・

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方 ※図示 ・
新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 ・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。
・再使用（・ブラインドボックス ・ ）

② 防火戸 [5.1.4]

適用箇所 ※建具表による ・
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・行う（※建具表による ・ ） ・行わない

③ 見本の製作等 [5.1.5]

建具見本の製作 ・行う（建具符号： ） ・行わない
建具見本製作の目的等：（ ）
特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ） ・行わない

④ 防犯建物部品 [5.1.7]

適用箇所（・建具表による ・ ）

⑤ アルミニウム製建具

性能値等 [5.2.2～5][表5.2.1、2]
耐風圧性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
気密性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
水密性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
外部に面する建具の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所
・A種	S-4	A-3	W-4	※図示による
⊙B種	S-5			※図示による
・C種	S-6	A-4	W-5	※図示による

防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ ⓖ
断熱性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
枠の見込み寸法 ※建具表による
材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具 種別 ・BB-1種 ⊙BB-2種 ・
着色 ⊙標準色 ・特注色
屋内の建具 種別 ・BC-1種 ・BC-2種 ・
着色 ・標準色 ・特注色
結露水の処理方法 ・水貯め式 ⊙排水式
工法
水切り板、ぜん板等 ※図示 ・

6 網戸等 [5.2.3][5.3.3]

種類	材種	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

7 樹脂製建具

性能値等 [5.2.2][5.3.2～5]
耐風圧性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
気密性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
水密性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
外部に面する建具の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所
・A種	S-4	A-4	W-4	※図示による
・B種	S-5		W-5	※図示による
・C種	S-6			※図示による

防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級 ・T-1 ・T-2（適用する建具 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ ⓖ
断熱性の等級 ・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8
（適用する建具 ※建具表による）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・
枠の見込み寸法 ※建具表による
材料
ガラス ※複層ガラス ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
表面色 ・標準色 ・特注色
工法
水切り板、ぜん板 ※図示 ・

⑧ 鋼製建具

性能値等 [5.2.2][5.4.2、4][表5.4.2]
簡易気密型ドアセット
・適用する（※建具表による ・ ）⊙適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級 （ ）（適用する建具 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ ⓖ
断熱性の等級 （ ）（適用する建具 ※建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100 ）
（適用する建具 ※建具表による）
材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの)
※建具表による ・
上記以外の鋼製建具 ※[表5.4.2]による ・建具表による ・
標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・

⑨ 鋼製軽量建具

性能値等 [5.2.2][5.5.2～4]
簡易気密型ドアセット
・適用する（※建具表による ・ ）⊙適用しない
防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級 （ ）（適用する建具 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ ⓖ
断熱性の等級 （ ）（適用する建具 ※建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100 ）
（適用する建具 ※建具表による）
材料
鋼板 ⊙亜鉛めっき鋼板 ・ﾋﾞﾆﾙ被膜鋼板 ・ｶﾗｰ鋼板 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
召合せ、縦小口包み板の材質
※鋼板
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの)
※建具表による ・
上記以外の鋼製軽量建具 ※[表5.5.1]による ・建具表による ・
防音性能を求める戸(建具表による)
防音充填剤(グラスウール又はロックウール)
標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・

10 ステンレス製建具

性能値等 [5.2.2][5.4.2][5.6.2～5]
簡易気密型ドアセット
・適用する（※建具表による ・ ）・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ ⓖ
断熱性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
表面仕上げ ※ＨＬ ・鏡面仕上げ ・
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

⑪ 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 ※Ａ種 ・ [5.7.2～4]
建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

⊙フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※改修標準仕様書5.7.2(2)(4)(a)による ・

表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板 ⓖ	表面の樹種 板面の品質（※広葉樹1等 ・ ） 接着の程度（・１類 ・２類）	
・天然木化粧合板 ⓖ	樹種名（ ） 接着の程度（・１類 ・２類）	
⊙特殊加工化粧合板 ⓖ	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ⊙木目調樹脂シート 接着の程度（・１類 ・２類）	
・MDF ⓖ		

表面板の厚さ ※[表5.7.6]による ・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
⊙適用しない ・適用する

・かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・

⊙ふすま
張りの種別（・Ⅰ型 ・Ⅱ型）
上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 ⊙新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ ・塗り縁 ⊙生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・

⊙戸ぶすま
表面板の仕上 ⊙建具表による ・
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・

⊙紙張り障子
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・

枠及びくつずりの材料 ・建具表による ・

⑫ 建具用金物 [5.8.1～3]

金物の種類及び見え掛り部の材質等
※[表5.8.1]及び適用は建具表による ・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5.8.2]による ・建具表による ・
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5.8.3]による ・建具表による ・
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5.8.4]による ・建具表による ・
木製建具に使用する戸車及びレール
※[表5.8.5]による ・建具表による ・
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置
⊙建具表による ・図示 ・
錠前類
シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠
クローザ類

⑬ 鍵 [5.8.4]

マスターキー ⊙製作する ○新規 ・既存マスター合わせ ・製作しない
その他の鍵 ※各室３本１組（室名札付き） ・
鍵箱 ・無 ⊙有

⑭ 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3]

戸の開閉方式
⊙建具表による ・
⊙引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書5.9.1による（防錆 ・適用する ・適用しない）
・種類・開閉方式（ ） ・耐電圧（ ）
・温度上昇（ ） ・耐久性(サイクル)（ ）
・防錆（ ） ・電源（ ）
・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書5.9.2による（防錆 ・適用する ・適用しない）
・耐電圧（ ） ・温度上昇（ ）
・耐久性(サイクル)（ ） ・防錆（ ）
・電源（ ）
⊙引き戸用検出装置
性能値
※改修標準仕様書5.9.3による（防錆 ・適用する ・適用しない）
・耐電圧（ ） ・防錆（ ）
・防滴（ ） ・電源（ ）
引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ⊙建具表による ・
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ ⊙光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房操作スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ
凍結防止措置 ・行う ⊙行わない

⑮ 自閉式上吊り引戸装置 [5.10.3]

性能 ※[表5.10.1]による ・

16 重量シャッター [5.11.2、3]

シャッターの種類
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（ ）Pa
開閉方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
電動式シャッターの障害物感知装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）

17 軽量シャッター [5.12.2～4]

管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板の材質
種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いる
スイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI

18 オーバーヘッドドア [5.13.2、3]

セクション材料による区分	風圧力による強さの区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）

19 ガラス [3.7][5.14.2～4]

適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。
⊙フロート板ガラス

フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類	※建具表による ・

⊙型板ガラス

型板ガラスの厚さによる種類	※建具表による ・

⊙網入板ガラス

網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類	※建具表による ・

⊙合わせガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類	※建具表による ・
形状による種類	・平面合わせｶﾞﾗｽ・曲面合わせｶﾞﾗｽ
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類	・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類

⊙強化ガラス

形状による種類、材料板ガラスの種類厚さの呼びによる種類及び特性による種類	※建具表による ・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類	・Ⅰ類 ・Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス

板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による ・
性能による種類	・１種 ・２種

⊙複層ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ	※建具表による ・
断熱性による区分	・T1 ⊙T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分	・G ⊙S
乾燥気体の種類	・空気 ⊙アルゴン

・熱線反射ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による ・
日射熱遮へい性による区分	・１種 ・２種 ・３種
耐久性による区分（日射熱遮へい性が２種の場合）	・Ａ種 ・Ｂ種

・倍強度ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による ・

⊙ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	⊙シーリング材 ・グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
鋼製及び鋼製軽量	⊙シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
樹脂製	・グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による

20 ガラスブロック [5.14.5]

呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材の材質及び形状 ※図示 ・
力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) ・
寸法 ※径5.5mm ・
形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・
化粧目地モルタルの色 ・白 ・グレー
シーリングの種類 ・SR-1 ・PS-1
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法 ※図示 ・
形状 ※図示 ・
目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

21 ガラス用フィルム

※施工箇所は建具表による

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	その他性能等
・日射調整フィルム ⓖ	※SC-1	・SC-2	可視光線透過率：65%以上
・低放射フィルム	・LE		
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1	・GI-2	
・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-2	
・ガラス貫通防止フィルム	・SF		

品質 JIS A 5759 による

熱割れ計算書 ※要 ・不要
第3者機関による性能測定データ ※要 ・不要

6 内装改修工事

① 改修範囲 [6.1.3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま ・図示

② 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]

ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「４章 外壁改修工事」による。
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・

③ 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※[4.3.10]によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示）
・図示 ・

④ 施工一般 [6.5.2]

材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ｳ)(b)による
・ ・ ・

⑤ 製材 ⓖ [6.5.2]

⊙JAS 1083-5 に基づく下地用製材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
			※2級 ・	※A種 ・B種 ・	
			※2級 ・	※A種 ・B種 ・	

⊙JAS 1083-2 に基づく造作用製材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
見え掛り面			※上小節 ・	※A種 ・B種 ・	
見え掛り面以外			※小節以上 ・	※A種 ・B種 ・	
				※A種 ・B種 ・	

⊙JAS 1083-6 に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
			※1等 ・	※10%以下 ・A種・B種・	
			※1等 ・	※10%以下 ・A種・B種・	

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用
		（ ） 造作材の場合 （※A種・B種）	※A種 ・B種 ・	・する ・しない
		（ ） 造作材の場合 （※A種・B種）	※A種 ・B種 ・	・する ・しない

⑥ 造作用集成材 ⓖ [6.5.2]

⊙「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※１等 ・２等	・
					※１等 ・２等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質
							※１等 ・２等
							※１等 ・２等

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下 ・
				※15%以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
						※15%以下 ・
						※15%以下 ・

⑦ 造作用単板積層材 ⓖ [6.5.2]

⊙JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用
				・する ・しない

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用
			※14%以下 ・	・する ・しない
			※14%以下 ・	・する ・しない

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法(mm)

R7.10(Ver.R7-1)

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	特記仕様書（改修その３）		003
SCALE －	㈱ 千葉構造設計コンサルタント		A-03

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

⑧ 合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板 G [6.5.2]

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	保存処理	防虫処理	強度等級
	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・		・適用する ・適用しない	・適用する（ ） ・適用しない

※屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			・特類 ・1類	・適用する ・適用しない

※屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。
・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 G

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード G

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※13タイプ ・	※PまたはM ・		※15 ・

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法（mm）

・MDF G

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

⑨ 接合具等

造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3]
※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し
諸金物の形状、寸法および材質
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度）
・ （形状： 寸法： 材質： ）

⑩ 接着剤

接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・ [6.5.3、4]

⑪ 防腐・防蟻処理

・薬剤の加圧注入による防腐、防蟻処理 [6.5.5]

適用部材	保存処理性能区分
	・K２ ・K３ ・K４

・薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による ・	※JIS K 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（ ）
・合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位（ ）

12 不燃処理木材等

不燃等の処理は部材単位で行うこと
・不燃材料
適用部位（部位） ・図示による
・準不燃材料
適用部位（部位） ・図示による
・難燃材料
適用部位（部位） ・図示による

⑬ 内部間仕切軸組及び床組み

間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） [6.5.6]
※杉又は松 ・
床組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松 ・
・土間スラブの類の場合の土台、転ばし大引き及び転ばし根太
※ひのき又は保存処理木材

⑭ 窓、出入口その他

窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） [6.5.7]
吊元枠、水掛りの下枠及び敷居 ※ひのき ・
その他 ※松又は杉 ・

⑮ 床板張り

・縁甲板及び上がりかまちに用いる樹種名（製材を用いる場合） [6.5.8]
※ひのき
・

⑯ 壁及び天井下地

・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） [6.5.9]
※杉又は松
・

⑰ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 屋外（※25形 ・19形） 屋内（※19形 ・25形） [6.6.2～4]
屋外の形式及び寸法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・
周辺部の端からの間隔 ・図示 ・
野縁の間隔 ・図示 ・
既存の埋込みインサート ・使用する ○使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・（ ）箇所
引張試験にて確認する強度
※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
・（ ）N
○行わない

○吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・
○天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 ・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 ・
補強方法 ※図示 ・

・屋外の天井における耐風圧性を考慮した補強
（補強箇所 ※図示による ・ ）
（補強方法 ※図示による ・ ）

⑱ 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類 [6.7.3、4][表6.7.1]
※[表6.7.1]により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類 ○図示 ・
スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・
出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[6.7.4](5)による ・

⑲ ビニル床シート G

[6.8.2、3]

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ○仕上げ表記による	・無地 ○ﾏｰﾌﾞﾙ柄 ・柄物	※2.0 ○2.5、4.5	

接合部の処理 ※熱溶接工法 ・

⑳ 接着剤（ビニル床シート等）

ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示による
・

㉑ ビニル床タイル G

[6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※KT(ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	※2.0 ・3.0	
・TT(単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・	
○FT(複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ○柄物	・300×300 ・450×450 ○150×900	・2.0 ・2.5 ○3.0	
○FOA(置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ○柄物	○500×500 ・	・4.0 ○5.0	
・FOB(薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・	・	

㉒ 特殊機能床材

[6.8.2]
・帯電防止床シート
種類（ ） 性能（ ） 厚さ(mm)（ ）
・帯電防止床タイル
種類（ ） 性能（ ） 寸法(mm)（ × ） 厚さ(mm)（ ）
○視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類（ ） 形状（ ）
・耐動荷重性床シート
種類（ ） 厚さ(mm)（ ）
○防滑性床シート
種類（ FS ） 厚さ(mm)（ 2.5 ）
・防滑性床タイル
種類（ ） 寸法(mm)（ × ） 厚さ(mm)（ ）

㉓ ビニル幅木

材質の種類 ○軟質 ・硬質 ・床シート巻上げ（端部の処理は図示による） [6.8.2]
高さ(mm) ※60 ・75 ○100
厚さ(mm) ※1.5以上 ・

24 ゴム床タイル

種類 ・単層品 ・積層品 [6.8.2]
色柄 （ ）
厚さ(mm)（ ）
寸法(mm)（ ）×（ ）

㉕ 下地の工法

改修標準仕様書6.8.3(1)(ｱ)～(ｳ)以外の下地の工法 [6.8.3]
○図示による

㉖ カーペット敷き G

・織じゅうたん [6.9.2、3][表6.9.1]

織り方	パイル形状
・ウィルトンカーペット	・カットパイル
・フェイストウフェイスカーペット	・ループパイル
・アキミンスターカーペット	・カット/ループパイル

色柄 ※模様のない無地 ・
パイル糸の繊維種等 ※無地の織りじゅうたんの種別（・A種 ・B種 ・C種）
帯電性 適用する ・適用しない
織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い
下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ（mm）	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5～7 ・	・全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・適用する ・適用しない	
・ループパイル	・4～6 ・			
・カット、ループ併用				

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

○
・タイルカーペット

パイル形状	種 別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500× 500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500× 500 ・	※6.5 ・	
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・第一種 ・第二種		※500× 500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・
階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・
見切り、押え金物
材質（ ）種類（ ）形状等（※図示 ・ ）

27 合成樹脂塗床

[6.10.2、3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材（弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床）			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材（ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床）		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材（ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床）			※平滑仕上げ
・ｱｸﾘﾙ樹脂塗床（防塵塗料塗り）		※製造所の指定による	表面仕上げ ※平滑 溶剤 ※水性

塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

㉘ フローリング張り G

[6.11.2～6]
フローリングのホルムアルデヒドの放散量等
※改修標準仕様書6.11.2.(2)による ・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・
単層フローリング（フローリングボード１等）
工法 ○釘止め工法（○根太張り ・直張り） ○接着工法
樹種 ※なら ○ひのき
間伐材等の適用 ・する ・しない
単層フローリング（フローリングブロック１等）
樹種 ・
厚さ(mm) ・
大きさ ・
間伐材等の適用 ・する ・しない
複合フローリング
工法 ・釘止め工法（・根太張り ・直張り） ・接着工法
樹種 ※なら ・
種別 ・A種 ・B種 ・C種
間伐材等の適用 ・する ・しない
接着工法の場合の不陸補和材 ※合成樹脂発泡シート ・
・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

㉙ 畳敷き

[6.12.2]
種別 ・A種 ・B種 ・C種 ○D種（畳床：・KT-Ⅰ ・KT-Ⅱ ○KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N）
下地の種類 ○標準仕様書 表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G ）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳（畳表： ・C１ ・C２ ）

㉚ せっこうボードその他のボード及び合板張り

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3]
※F☆☆☆☆
合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)の(a)～(d)のいずれか ・
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

木毛セメント板G

種 類	厚さ(mm)、規格等
○硬質(HW)	・15 ・20 ○25 ・
・中質(MW)	・15 ・20 ・25 ・
・普通(NW)	・15 ・20 ・25 ・

木片セメント板G

種 類	厚さ(mm)、規格等
・硬質(HF)	・12 ・15 ・18 ・21 ・
・普通(NF)	・30 ・

繊維強化セメント板

種 類	厚さ(mm)、規格等
・けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK タイプ２（無石綿） ・6 ・8
・化粧けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK タイプ２（無石綿） ・6 ・8 表面への化粧張り等の加工 ・アクリル樹脂系焼付け

火山性ガラス質複層板(VSボード)

種 類	厚さ(mm)、規格等
・火山性ガラス質複層板 ・普通 ・化粧	・図示による

繊維板G

種 類	厚さ(mm)、規格等
ハードボード スタンダードボード（無処理）	・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（未研磨板(RN)・研磨板(RS)） ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DI) 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
ハードボード テンパードボード（処理）	・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（未研磨板(RN)・研磨板(RS)） ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DE) 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)G	厚さ ・3 ・7 ・9 ・12
・インシュレーションボードG	A級（・天井仕上げ ・内装仕上げ ・ ） ・9 ・12 ・15 ・18

パーティクルボードG

種 類	厚さ(mm)、規格等
・単板張りパーティクルボード	・無研磨板（VN） ・研磨板（VS） ・10 ・12 ・15 ・18
・化粧パーティクルボード	・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ(DV) ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ(DO) ・塗装(DC) ・10（難燃） ・12（難燃） ・

吸音材料

種 類	厚さ(mm)、規格等
・ロックウール化粧吸音板(DR)	・フラットタイプ （・9(不燃) ・12(不燃) ・ ） ・凹凸タイプ （・12(不燃) ・15(不燃) ・ ）
・ロックウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	・25 ・
・グラスウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ32K	・25(ガラスクロス包) ・

せっこうボード製品

種 類	厚さ(mm)、規格等
○せっこうボード(GB-R)	・12.5（不燃） ・15（不燃）
○不燃積層せっこうボード(GB-NC)	9.5（不燃） ○化粧板（下地張り用） ○化粧板有（トラバーチン模様）
○シージングせっこうボード(GB-S)	12.5 （※ 不燃 ・準不燃）
○強化せっこうボード(GB-F)	○12.5 （不燃） ・15 （不燃）
・せっこうラスボード(GB-L)	9.5
○化粧せっこうボード (GB-D)	・木目12.5 （不燃）幅 440mm 程度 模様（・ 柾目 ・ 板目） 専用下地材有り ○ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様 9.5（準不燃）

合板G

種 類	厚さ(mm)、規格等
○普通合板	表面の樹種 ・ 生地、透明塗料塗り（※ラワン合板程度 ・ ） 不透明塗料塗り（※しな合板程度 ・ ） 板面の品質 ・ 厚さ(mm) ※図示による ・ 防虫処理 ・行う ・行わない
・天然木化粧合板	化粧板の樹種名 ・ 厚さ(mm) ※図示による ・ 防虫処理 ・行う ・行わない
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装 表面性能 ・ （タイプ） 厚さ(mm) ※図示による ・ 防虫処理 ・行う ・行わない

化粧板

○メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による （※ 1.2 ・ ）
○ポリエステル樹脂化粧板	

天井のボード類（ロックウール吸音板を除く）の重ね張りを行う場合 ※図示による
合板類の張付け ・A種 ・B種 ・
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類 ※仕上表による

突付け工法及び目透し工法のエッジの種類

突付け工法のエッジの種類	○ベベルエッジ ・スクェアエッジ
目透かし工法のエッジの種類	○ベベルエッジ ・スクェアエッジ

化粧加工の方法（・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・ ）

㉛ 壁紙張り

壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ [6.14.2、3]

施工箇所	壁紙の種類 紙	織物	塩ビシｰﾄ	ｱﾙｶﾘｽｷﾝ	無機質	その他	防火種別	備考
居 室	・	・	・	○	・	・	・不燃○準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種別 ※B種 ・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別 ※B種 ・A種
せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種別 ※B種 ・A種

㉜ モルタル塗り

モルタル ○現場調合材料 ○既調合材料 [6.15.3、5、6]
既製目地材 ・設ける 施工箇所（ ）形状（※図示 ・ ）
・設けない
床目地 ・設ける 目地割り ※2㎡程度(最大目地間隔3m程度) ・
種類 ※押し目地 ・
○設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 ※図示による ・

㉝ タイル張り

伸縮調整目地の位置 [6.16.2～4]
床タイル （※縦、横とも４ｍ以内ごと ・図示 ・ ）
床タイル以外 （・図示 ・ ）

伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改特記仕様書第３章による
試験張り ・行う（範囲、仕様等は図示による） ○行わない
見本焼き ・行う（施工箇所： ） ○行わない
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り

タイルの形状・寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
床		295x295	・	○	・	・	○	・	○	・	○	・	○	・	○	
壁		397x197	・	○	・	・	○	・	○	・	○	・	○	・	○	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既調合目地材

壁タイル張りの工法
内装タイル ・密着張り ○改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状・寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・

㉞ セルフレベリング材塗り

塗厚(mm) ○15 [6.17.2、3]

㉟ フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構 法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上げ材	備 考
出張所	○置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・	40	○1.0G ○0.6G	・3,000 ○5,000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ○FOA	
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

R7.10(Ver.R7-1)

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	特記仕様書（改修その４）	004
SCALE －	㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-04

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

フリーアクセスフロアスフロアの試験方法
※標準[9.1.3章]20.2.2(f)(a)～(d)による　・
寸法精度
※標準仕様書20.2.2(g)(a)～(c)による　・
・以下による
パネルの長さの寸法精度（　　）
パネルの平面形状（角度）の寸法精度（　　）
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度（　　）
帯電防止性能
・評価値（U）≧0.6以上
○評価値（U）≧1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗（R）≧1×10^{6}Ω

36 可動間仕切　(20.2.3)

パネル材料のホルムアルデヒド放出量　※F☆☆☆☆　・

構造形式	構成基材の種類 スﾀｯﾄﾞ	構成基材の種類 パネル	パネル表面仕上げ	遮音性(db/500HZ)	防火性能
・ｽﾀｯﾄﾞ式（内蔵） ・ｽﾀｯﾄﾞ式（露出） ・パネル式 ・スタッドパネル式			・メラミン樹脂焼付又は アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具　・あり（※図示　・　）　・なし
パネル内に取付ける建具のドアクローザ、丁番、錠前、上げ落しは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。

(37) 移動間仕切　(20.2.4)

パネル材料のホルムアルデヒド放射量　※F☆☆☆☆　・

構造形式	操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材 材質	パネル表面材 仕上げ	遮音性(dB/500Hz)
○平行方向移動式 ・二方向移動式	○手動式 ・電動式 ・部分電動式	○ブッシュ式 ・ハンドル式 ・	80	○鋼板 ・	・焼付塗装 ○壁紙張り ・	・36未満 ○36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け金重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
・図示
パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
ハンガーレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの

(38) トイレブース　(20.2.5)

パネル材料のホルムアルデヒド放射量　※F☆☆☆☆　・

表面材の種類	脚部種類	ドアエッジの材質	ドアエッジの形状
○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	※製造所の標準仕様 ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材	・標準 ○Rタイプ

(39) 手すり　(20.2.6)

材料の種類及び仕上げ
・SUS304　表面処理　※HL程度　・
・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき（※標準仕様書 表14.2.2による種別（　種））
○アルミニウム 表面処理（※標準仕様書 表14.2.1による種別（　種））
色合等　・標準色（　）　・特注色（　）
手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材（材種：　）	・ｸﾘｱﾗｯｶｰ　・	・30程度・35程度　・45程度		
・ビニル製ハンドレール	・	・30程度・35程度　・45程度		
○樹脂被覆ライプ	・	○34φ		

(40) 階段滑り止め　(20.2.7)

材種　○ステンレス製　・黄銅製押出型材
・アルミニウム製押出型材　・
形状　※タイヤ型（タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂合等）　・タイヤレス製
端部の形状　フラットエンド　○あり　・なし
寸法(幅)　○85mm程度　・40mm程度　・50mm程度
取付け工法　※接着工法　・埋め込み工法　・

41 黒板及びホワイトボード G　(20.2.9)

・黒板　区分　※焼き付け　・
種類　・ほうろう　・鋼製　・
色　※緑　・
・ホワイトボード（　）

42 表示　(20.2.11)

衝突防止表示
・設置場所　※図示による
形状・寸法（・30Φ　・　）
材質　（・ステンレス製　・塩ビシート　）
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示　※消防法に適合する市販品　・
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等(案内用図記号はJIS Z 8210による)
※図示による

43 タラップ　(20.2.12)

材質及び仕上げ
・SUS304（スリップ止め加工　※あり　・なし　）
・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき
（※標準仕様書表 14.2.2による種別（※C種　・　種））

44 ブラインド　(20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの材種	ｽﾗｯﾄ幅(mm)	ｶﾞｲﾄﾞｺｰﾄﾞ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ取付箇所
・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 G ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・
	・電動	―				
・縦形	・手動	※2本操作ｺｰﾄﾞ式 ・1本操作ｺｰﾄﾞ式	・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｶﾙｽｽﾗｯﾄ ・	・80 ・100	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製	・図示 ・
	・電動	―				

縦型ブラインドのスラットの材質
アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 G とする

45 ロールスクリーン　(20.2.15)

操作方法　・スプリング式　・コード式　・電動式
幅、高さ、取付箇所　・図示　・
材種　・ガラス繊維製　・合成・天然繊維製
品質等　・
その他の材料　※ロールスクリーンの製造所の仕様による　・
スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする

46 カーテン　(20.2.16)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付け箇所	備考
・シングル・ダブル	・片引き・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ﾌﾟﾚｰﾋﾞﾀﾞ	・図示 ・	
					(暗幕)

生地の仕様　消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、G とする
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

(47) カーテンレール

材料による区分　※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材　・ステンレス製　(20.2.16)
強さによる区分　※10-90　・
仕上げ　※アルマイト　・
形状　※角形　・

(48) ブラインドボックス及びカーテンボックス

材種　・集成材（仕上げ：　）
・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
種別（標準仕様書表14.2.1）　・BC-1種　・BC-2種
色合い　・標準色（　）　・特注色（　）
・鋼製（仕上げ：　）
溝幅×深さ(mm)　・90×150　・120×80　・120×150　・150×80　○図示

(49) 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製 ・	○450×450 ・600×600 ・	○一般形 ・気密形	○屋内外用 ・屋内用	○額縁タイプ ・目地タイプ	○額縁タイプ ・目地タイプ

(50) 床点検口

材種	寸法	形式		備考
・アルミニウム製 ○ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ○600×600 ・	・一般形 ○密閉形	○屋内外用 ・屋内用	○鍵付き

密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものをとする。

51 くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製 ・	・ステンレス製(SUS304) ・硬質アルミニウム合金 ・	

(52) 流し台ユニット

材種	寸法(mm) W	寸法(mm) D	寸法(mm) H	備考
○流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ○600 ・650	○800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
○コンロ台	・600	・550 ○600 ・650	○820 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
○つり戸棚	・1200 ・900	○450	・500 ○700	市販品
○水切り	・1200 ・900 ・600	―	―	市販品 ステンレス製 ・1段式　・

品質・性能　外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1 による。
構成材は、JIS A 4420の8 により試験を行ったとき、表1 の規定による。
形状　※図示　・

53 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JIS による種類
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039の規格による	・1種　・2種　・3種 ・4種　・5種　・6種　・

54 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製　・
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

(55) 洗面カウンター

材種　・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材）　○人工大理石
奥行き(mm)　・約450　○約600

(56) 防煙垂れ壁

○固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※網入り磨板ガラス ○線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ○600	アルミ製枠付き

透明不燃シート
・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

(57) 収納家具

材質、形状、寸法　※図示　・
材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

7 塗装改修工事

(1) 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・　[7.1.3]
防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　）

(2) 下地調整

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲　[7.2.1～7]
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す　・図示　・

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	―
鉄鋼面	・RA種(注)　※RB種　・	―
亜鉛めっき面	・RA種(注)　※RB種　・	―
亜鉛めっき面(鋼製建具)	・RA種　※RB種　・	―
ﾓﾙﾀﾙ、せっこうﾌﾞﾗｽﾀｰ面	・RA種　※RB種　・	・行う ・行わない
コンクリート面(DP以外) ＡＬＣパネル面	・RA種　※RB種　・	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種(注) ・RB種・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面(DP)	・RA種(注) ・RB種・RC種	・行う ・行わない
せっこうボード面及び その他ボード面	・RA種　※RB種　・	―

(注)DP以外からDPへ塗替える場合の下地調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に応じてRA種(既存塗膜全除去)又はRB種(既存塗膜一部除去)を選定すること。

(3) 素地ごしらえ　[7.3.2～7]

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※Ａ種　・Ｂ種
	透明塗料塗りの場合	・Ａ種　※Ｂ種
鉄鋼面（DP以外）		・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種
鉄鋼面（DP）		・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種
亜鉛めっき鋼面		・Ａ種　・Ｂ種
モルタル面及びせっこうプラスター面		・Ａ種　※Ｂ種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		・Ａ種　※Ｂ種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）		・Ａ種　・Ｂ種
コンクリート面（DPのみ）		・Ａ種　※Ｂ種
せっこうボード面及び その他ボード面	目地：縦目処理工法	※Ａ種　・Ｂ種
	目地：縦目処理工法以外	・Ａ種　※Ｂ種

(4) 錆止め塗料塗り　[7.4.2、3]

錆止め塗料塗りの種別

素地面	塗装の種類	塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP (工程の種別は[表7.4.3])	塗替え	Ａ種	※Ｃ種　・
		新規見え掛り	Ａ種	※Ａ種　・
		新規見え隠れ	Ａ種	※Ｂ種　・
	EP-G (工程の種別は[表7.4.3])	塗替え	・Ａ種　※Ｂ種	※Ｃ種　・
		新規見え掛り	・Ａ種　※Ｂ種	※Ａ種　・
		新規見え隠れ	・Ａ種　※Ｂ種	※Ｂ種　・
	DP (工程の種別は[表7.4.4])	塗替え	7.4.2(1)(f)(b)による	・A種(下地調整RA種) ・B種(下地調整RB種) ・C種(下地調整RC種)
		新規	7.4.2(1)(f)(a)による	Ａ種
亜鉛めっき鋼面	SOP (工程の種別は[表7.4.5])	塗替え	※Ａ種　・Ｂ種	※Ａ種　・
		新規鋼製建具等	※Ａ種　・Ｂ種	※Ａ種　・
		新規その他	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・
	EP-G (工程の種別は[表7.4.5])	塗替え	Ｃ種　・	※Ｃ種　・
		新規鋼製建具等	Ｃ種　・	※Ａ種　・
		新規その他	Ｃ種　・	※Ｂ種　・
	DP (工程の種別は[表7.4.6])	塗替え	Ｂ種　・	―
		新規	Ｂ種　・	―

(5) 塗装 G　[7.5.2～7.13.2]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
○合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗料の種別　※1種　・2種	木部屋外	※B種　・	※A種　・
	木部屋内	※B種　・	※B種　・
	鉄鋼面	※B種　・	※B種　・A種
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※A種　・	※B種　・
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種　・	※B種　・
○クリヤラッカー塗り(CL)		※B種　・A種	※B種　・A種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種　・A種	※B種　・A種
○耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面　上塗り等級（　1　）級	―	―
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（　）級	―	―
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・	・
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種　・	※B種　・A種
	屋内の木部	※B種　・	※A種　・
	屋内の鉄鋼面	※B種　・	※B種　・A種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※A種　・	・B種　※A種
○合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種　・	・A種　※B種
○ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種　・A種	※B種　・A種
・ステイン塗り			・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種　・A種	※B種　・A種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾞﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面）の塗替えの場合のしみ止め　・
※B種又はC種の場合は[表7.9.1]の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする　・

合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は[表7.10.1]の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする　・

注）DP以外からDPへの塗替えは、下地調整の種別に注意すること。

○高日射反射塗料塗り G
下地調整［7.2.2］　・ＲＡ種　※ＲＢ種　・ＲＣ種

工程	塗料その他 規格番号	塗料その他 規格名称	塗料その他 種類	塗料その他 等級	塗付け量(kg/㎡)
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	○1級　・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りＡ種の工程2の適用
○適用しない
・適用する（着色剤：・溶剤系着色剤　・油性染料着色剤）
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
○適用する　・適用しない
ピグメントステイン塗りの工程等
○製造所の仕様による

8 耐震改修工事

特記仕様書（改修その７～８）による

9 環境配慮改修工事

(1) 石綿粉じん濃度測定　[9.1.1]

測定時期、場所及び測定点

適用 ﾚﾍﾞﾙ1	適用 ﾚﾍﾞﾙ2	適用 ﾚﾍﾞﾙ3	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(処理作業室ごと)
※	※	・	測定１	処理作業前	処理作業室内	・各2又は3点　・（　）点
※	※	○	測定２		施工区画周辺又は敷地境界	・各2点　○4点
・	・	○	測定３	処理作業中	処理作業室内、プラント	・各2点　○2点
※	・	・	測定４		ｾｷｭﾘﾃｨｰﾌﾞｰﾝ入口	・各1点　・（　）点
※	・	・	測定５		集じん・排気装置の装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/s以下の位置 ・各1点　・（　）点
※	・	○	測定６		施工区画周辺又は敷地境界	○4方向各1点　・（　）点
※	※	※	測定７	処理作業後(隔離ｼｰﾄ撤去前)	処理作業室内	・各2点(ﾚﾍﾞﾙ3は各1点) ・（　）点
※	※	○	測定８		施工区画周辺又は敷地境界	○4方向各1点
・	・	・	測定９	処理作業後(ｼｰﾄ撤去後)	処理作業室内	・（　）点
・	・	・	測定10	去後1週間以降）	施工区画周辺又は敷地境界	・（　）点

さいたま市内で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。

測定方法
・自動測定器による測定
測定4.5 ※ﾊﾟｰﾃｨｸﾙｶｳﾝﾀｰ、粉じん相対濃度計（ﾃﾞｼﾞﾀﾙ粉じん計）、繊維状粒子自動計測器（ﾘｱﾙﾀｲﾑﾌｧｲﾊﾞｰﾓﾆﾀｰ）等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

	測定4.5	測定	測定
ﾒﾝﾌﾞﾚﾝﾌｨﾙﾀの直径(mm)	25	47	47
試料の吸引流量(L/min)	5	10	10
試料の吸引時間(min)	30	120	240

2 石綿含有吹付け材の除去（レベル１）　[9.1.3]

除去対象範囲　・図示　・
除去工法　※[9.1.3](2)(ｱ)による　・
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※密封処理　※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

3 石綿含有保温材等の除去（レベル２）　[9.1.4]

除去工法
※[9.1.4](2)による（原形のまま、手ばらしが可能な場合）
・除去対象範囲　・図示　・
・[9.1.3](2)による（損傷、劣化等で石綿粉塵を発散するおそれがある場合）
除去対象範囲　・図示　・
除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置
※密封処理　※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

4 石綿含有成形板の除去（レベル３）　[9.1.5]

除去対象範囲　○図示　・
石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合の隔離養生（負圧不要）方法
○ビニールシート等による養生を行う　・
除去した石綿含有成形板の処分
○石綿含有せっこうボード
※埋立処分（管理型最終処分場）
○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
○埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
○埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

5 石綿含有建築用仕上塗材等の除去（レベル３）　[9.1.6]

除去対象範囲　○図示　・
着工前の試験施工　○行う　・行わない
除去工法（ウォータークリーン工法）
除去した石綿含有建築用仕上塗材等の飛散防止
※密封処理　※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分
・埋立処分（安定型最終処分場）
○埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

6 PCB含有シーリング材処分

種類	採取する部位・箇所数	備考
・ＰＣＢ含有シーリング	部位　・図示　・	
分析調査（第一次判定）	箇所数：　箇所	
・ＰＣＢ含有シーリング	部位　・図示　・	
分析調査（第二次判定）	箇所数：　箇所	

詳細は監督員との協議による

7 外断熱改修工事 G

断熱材　[9.2.1～4]
種類（　　）厚さ（　　mm）施工箇所（・図示　・　）
ホルムアルデヒド放射量　※F☆☆☆☆　・
外装材

種類	防火性能	備考

鋼材　改修特記仕様書第8章　8-3　鉄骨工事　・鋼材による。
笠木　改修特記仕様書第3章　・アルミニウム製笠木による。
既存外壁の処置
既存外壁仕上げ材の撤去　・行う　・行わない
下地面の清掃　・行う　・行わない
欠損部の改修工法　・改修特記仕様書第4章　外壁改修工事による　・
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
不陸等の下地調整　・
断熱材の施工　・断熱材の製造所の仕様による　・
外装材の施工　・外装材製造所の仕様による　・
通気層の有無　・あり（　mm）　・なし
外装材の外壁への取付け　・図示　・
笠木の施工　・改修特記仕様書第3章　アルミニウム製笠木による

8 断熱・防露改修工事 G

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量　[9.3.2～4]
※F☆☆☆☆　・
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
工法
・断熱材打込み工法
断熱材　JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
種類　・
厚さ(mm)　・
施工箇所　・
・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　※A種1　・A種1H
厚さ(mm)　・25　・30　・
施工箇所　・図示　・
・断熱材後張り工法
断熱材　JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
種類　・　厚さ(mm)　・
・せっこうボード等を張り付けたパネルを使用
材質　・　厚さ(mm)　・
・張り付け工法
断熱材の張り付け工法　・
断熱材へのボードの張付け工法　・

9 屋上緑化改修工事 G

植栽基盤及び材料　[9.4.2～4]
屋上緑化軽量システム　・適用する　・適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等　※図示　・
見切り材、餌装材、水抜き管、マルチング材等　※図示　・
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
かん水装置　・設置する（種類　）
既存保護層の撤去　・行う　・行わない
新植した芝及び地被類の枯補償の期間　※引き渡しの日から1年　・

10 透水性アスファルト舗装改修工事

適用範囲：歩道　[9.5.2～5、9]
既存舗装の撤去及び再利用　※図示　・

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン G　・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂（改修標準仕様書表9.5.1による） ・	・図示 ・
・フィルター層	・改修標準仕様書9.5.3(2)(ｳ)による ・	・図示 ・

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験）
・行う　・行わない

・路床安定処理　・適用する　・適用しない
安定処理の方法　・置き換え工法（・　）　・安定処理工法
路床安定処理用添加材料
種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントＢ種 G
・フライアッシュセメントＢ種
・生石灰（・特号　・１号）　・消石灰（・特号　・１号）
添加量　（　）kg/m³（目標CBR　※3以上　・　）

R7.10(Ver.R7-1)

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		特記仕様書（改修その５）	005
SCALE －		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-05

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

安定処理工法に関する試験
安定処理のＣＢＲ試験（配合試験含む）　・行う　・行わない
六価クロム溶出試験　・行う　・行わない

・不織布ジオテキスタイル
単位面積質量　・60g/㎡以上　・
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数　・1.5×10⁻¹cm/sec以上　・

試験
路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　・行う　・行わない
（試料採取方法　・変状土　・現状土）
現場ＣＢＲ試験　・行う　・行わない
路床締固め度の試験　・行う　・行わない
六価クロム溶出試験　・行う　・行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ　・図示　・
路盤材料（改修標準仕様書表9.7.3による種別）
・クラッシャラン
・粒度調整砕石
・再生クラッシャラン G
・再生粒度調整砕石 G
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G
・粒度調整鉄鋼スラグ G
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G
舗装の構成　・図示　・
舗装の平たん性　※著しく不陸がないもの　・
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

11 舗装版切断時に発生する濁水の処理
（舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書）

濁水の処理
1）受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
種類及び処理量　・図示による
処理方法
・中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却含まず）
・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入（処理に焼却含む）
2）受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。
共通事項
1）受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
2）受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
3）受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
4）受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。
提出書類等
1）受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
2）受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。
その他
1）濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。
2）受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
3）疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

10 鉄筋工事

① 鉄筋

鉄筋の種類　(5.2.1)

種類の記号	呼び径（mm）	備考
⊙SD295	※ D16以下	
・SD345	※ D19以上	
・		
・		

② 溶接金網

形状等　(5.2.2)

種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径（mm）	使用部位
⊙溶接金網		φ6-150x150	床
・鉄筋格子			

③ 鉄筋の継手

鉄筋の継手方法等　(5.3.4)

部位	継手方法	呼び径（mm）
柱、梁の主筋	・ガス圧接　・機械式継手 ・溶接継手	※ D19以上
耐力壁の鉄筋	・重ね継手　・	
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手　・ガス圧接	
その他の鉄筋（　　）	⊙重ね継手　・	

継手位置
・図示による（構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1）
基礎梁主筋の継手位置　・図5.2　・図5.3　・図5.4
・図示による（　　）　・
柱及び梁の重ね継手の長さ
・図示による（　　）　・
耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ
※図示による（構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(ｳ)）
・図示による（　　）　・
柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所に設ける部分の位置及び施工方法等
・図示による（　　）　・

④ 鉄筋の定着

鉄筋の定着長さ　(5.3.4)
・図示による（　　）

機械式定着工法
運用場所
・図示による（　　）　・
種類
・摩擦圧接接合　・螺合グラウト固定
・鈑合グラウト固定　・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強筋形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による

鉄筋の余長の長さ
構造関係共通図（配筋標準図）による。これによらない箇所は図示による。

5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）　(5.3.5)
※図示による（構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1）
・図示による（　　）　・

柱及び梁の主筋にD29以上の使用
・あり　適用箇所（　　）
主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する
耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・あり　適用箇所（　　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　）mm
・

⑥ 各部配筋　※図示による　(5.3.7)

7 ガス圧接　(5.4.10)
圧接完了後の圧接部の試験
外観試験
※行う（全ての圧接部）
抜取試験
※超音波探傷試験（試験方法　標準仕様書5.4.10(ｲ)(a)による）
・引張試験
試験方法　※標準仕様書5.4.10(ｲ)(b)による
・

8 機械式継手　(5.5.3、5)
適用箇所
・図示による（　　）　・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級　・
種類
・ねじ式鉄筋継手
充填方式
・無機グラウト方式　・有機グラウト方式　・
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象　※全数
試験項目
・評定等の評価内容による　・
試験方法
・評定等の評価内容による　・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・１組の作業班が１日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする
・
試験の箇所数
・１ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目　※挿入長さ
試験方法
※JIS Z 3064（鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

9 溶接継手　(5.5.3、5)
適用箇所
・図示による（　　）　・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級　・
溶接継手の工法
図示による（　　）　・
鉄筋相互のあき
・標準仕様書5.3.5(4)による
・評定等の評価内容による
・図示による（　　）

施工完了後の溶接部の試験
・外観試験
試験対象　※全数
試験項目
・評定等の評価内容による　・
試験方法
・評定等の評価内容による　・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・１組の作業班が１日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度とする
・
試験の箇所数
・１ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目　※内部欠陥の検出
試験方法
※JIS Z 3063（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

11 コンクリート工事

① コンクリートの種類等

類別　(6.2.1)
※Ⅰ類（JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308 に適合したコンクリート）

普通コンクリート　(6.2.1～6.2.4)

設計基準強度（N/mm²）	気乾単位容積質量（t/m³）	スランプ	適用箇所
・24	2.3程度	・15又は18　・18	
⊙21		⊙18	床増打ち
・		・	
・		・	
・		・	

構造体強度補正値(S)　(6.3.2)
※標準仕様書 表6.3.2による
補正値Ｓ＝３（ 3月11日 ～ 11月10日、 月 日～ 月 日）
Ｓ＝６（ 11月11日 ～ 3月10日、 月 日～ 月 日）
・

② セメント

種類　(6.3.1)
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントＡ種、シリカセメントＡ種又はフライアッシュセメントＡ種
適用箇所（※下記以外全て　・　）
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。
・高炉セメントＢ種 G
適用箇所（・1FLより下部（立上り部含む）　・　）
・フライアッシュセメントＢ種 G
適用箇所（・　）

③ 骨材　(6.3.1)
アルカリシリカ反応性による区分
※Ａ　・Ｂ（コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m³ 以下）

④ 混和材料　(6.3.1)
⊙混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(a)による　・
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(b)による　・

5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地　(6.6.4)
打継ぎの位置
梁及びスラブ
※スパンの中央又は端から1/4の付近
・図示による（　　）　・
柱及び壁
※スラブ、壁梁又は基礎の上端
・図示による（　　）　・

目地の寸法　(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
・標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)による　・
※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する
・図示による（　　）　・

ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法　(6.8.1)
・図示による（　　）　・

6 湿潤養生　湿潤養生の期間　(6.7.2)
・セメントの種類が普通エコセメントの場合　（　　）日

⑦ コンクリートの仕上り　合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ　(6.2.5)(6.8.2)

種別	適用箇所
・A種	※図示による（　　）
⊙B種	※図示による（　　）
・C種	※図示による（　　）

コンクリートの仕上りの平たんさ

種別	適用箇所
⊙a種	※図示による（　　）
・b種	※図示による（　　）
・c種	※図示による（　　）

8 打増し厚さ（打放し仕上げ部）　(6.8.1)
打増し厚さ
・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
・20mm　・
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・10mm　・20mm　・
・外装タイル後張り面の打増し処理
・20mm　・
打増し範囲
・図示による（　　）　・

⑨ 型枠　(6.8.2)
⊙合板（※12mm　・　）G
コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。
・断熱材を兼用した型枠の使用
適用箇所　・図示による（　　）　・
・ＭＣＲ工法用シートの使用
適用箇所　・図示による（　　）　・
打増し厚さ　・20mm　・
打増し範囲　・図示による（　　）　・
スリーブの材種・規格等
・図示による（　　）　・

存置期間及び取外し　(6.8.4)
※標準仕様書6.8.4による
・普通エコセメントの場合（※図示による（　　）　・　　）

10 軽量コンクリート　適用箇所　(6.10.1、2)
・図示による（　　）　・
種類
・1種　・2種
気乾単位容積質量
・標準仕様書 表6.10.1による　・
スランプ
※21cm　・

11 寒中コンクリート　適用期間（ 月 日～ 月 日）　(6.11.1、2)
構造体強度補正値(S)を積算温度を基に定める場合
・図示による（　　）、Ｓ＝（ ）・

12 暑中コンクリート　適用期間（ 月 日～ 月 日）　(6.12.2)
構造体強度補正値(S)
※6N/mm²　・図示による（　　）、Ｓ＝（ ）・

13 マスコンクリート　適用箇所　(6.13.1、2)
・図示による（　　）　・
セメントの種類
・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・中庸熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・低熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ
・高炉セメントＢ種　・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄＢ種　・シリカセメント
混和材料の適用
・あり（・標準仕様書6.13.2(2)(ｱ)による　・標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)による
・）
スランプ
※15cm　・
構造体強度補正値(S)
※標準仕様書表6.13.1による　・

14 無筋コンクリート　コンクリートの種類　(6.14.1)
※普通コンクリート　・
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントＡ種、シリカセメントＡ種又はフライアッシュセメントＡ種
・高炉セメントＢ種 G
・フライアッシュセメントＢ種 G
設計基準強度　※18（N/mm²）　・
スランプ　※15cm又は18cm　・
適用箇所
※標準仕様書6.14.1(4)による箇所　・図示による（　　）

⑮ コンクリートの単位水量測定　実施要領
(1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(ｲ)(c)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。
2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³ 以内で安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
3)設計値±20kg/m³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。
(5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、ｴｱﾒｰﾀ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

R7.10(Ver.R7-1)

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	特記仕様書（改修その６）	００６
SCALE　－	㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-06

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

8 耐震改修工事

（一般事項）
1 適用範囲
・改修標準仕様書　第８章　耐震改修工事
・改修標準仕様書における第８章耐震改修工事以外の改修工事で第８章を引用している部分
・

工事内容
・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事　・鉄骨ブレースの設置工事
・柱補強工事（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法）
・柱補強工事（鋼板巻き工法又は帯板巻き工法）
・柱補強工事（連続繊維補強工法）　・耐震スリット新設工事
・免震改修工事　・制振改修工事
・土工事及び地業工事　・

2 既存部分の処理等
既存構造体の撤去　[8.21.2][8.22.2][8.24.4][8.25.2]
撤去範囲
・図示による（　　）　・
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置
・図示による（　　）
[8.21.3][8.22.3][8.23.3][8.26.6][8.27.3]
既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度及び範囲
・既存柱、梁面　・打継ぎ面の15～30%程度に、平均深さ2～5mm（最大7mm）程度の凹面を全体にわたって つける　・
・既存壁　・打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ2～5mm（最大7mm）程度の凹面を全体にわたってつける　・

3 撤去工事の施工内容
※耐震壁等の増設に伴い、これらの増設部材が設置される構面内既存仕上げ・躯体の撤去と土間等の一部を撤去する。
※増設部材と接する既存コンクリート面は充分に目荒らしを行う。
※塗り仕上げ又はこれに準ずる仕上げ材、及び躯体を撤去する場合は、カッターで切込みを付けてから撤去する。なお、躯体を撤去する場合は、両面からカッター切込みを付けてから撤去する。
※撤去に際しては、廃棄物の処理に関する法律に準拠する。

4 撤去工事における注意事項
※コンクリート及び塗り仕上げを部分的に撤去する場合は、既存部分の仕上げに損傷を与えないよう充分注意する。特に塗り仕上げ、増設部材設置構面内の壁コンクリート及び土間コンクリート等の撤去に際しては、カッター等で切込みを付け、既存部分の保護を図る。
※増設する部材に接する既存コンクリートは、充分に目荒らしを行い増設部材との一体化を図る。なお、目荒らしは、深さ6mm程度の凹凸で全体を荒らすようにする。（はつり工事は構造躯体に悪影響を与えない方法で丁寧に行うこと。（電気ピックを用いる等））
※コンクリート打設前に粉塵、はつりがら等を清掃し、数日前から充分に水湿めを行う。
※既存の躯体状態の確認及び補修
・石膏ボードについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に従い、原形のまま運搬し管理型最終処分場で処分すること。
・石綿スレート、フレキシブルボード等石綿製品の撤去にあたっては、関係法令に従い、部材が破損しないように手はずしで行い、原形のまま運搬処分すること。
・以下の天井材の撤去にあたっては、ボードが破損しないように、手はずしで行うこと。
・床：ビニアス系タイルの撤去にあたっては、関係法令に従い部材が破損しないように湿潤後、手はずしで行い、原形のまま飛散防止をし運搬処分すること。

〈鉄筋〉
1 鉄筋
種類　[8.2.1]

種類の記号	呼び径（mm）	備　考
・SD295	※D16以下	
・SD345	※D19以上	
・		
・		

2 溶接金網
形状等　[8.2.2]

種　類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径（mm）	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			

3 継手及び定着
継手方法等　[8.3.4][8.4.2～3]

部　位	継手の方法	呼び径（mm）
・柱、梁の主筋	・ガス圧接　・機械式継手　・溶接継手	※D19以上
耐力壁の鉄筋	・重ね継手　・	・
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・ガス圧接　・重ね継手	・
上記以外（　　）	・重ね継手　・	・

継手位置
・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）5.1、6.1、7.1、7.3、8.1）
（基礎梁主筋の継手位置　・図5.2　・図5.3　・図5.4）
・図示による（　　）
柱及び梁主筋の重ね継手の長さ
・図示による（　　）
耐力壁の重ね継手の長さ
・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）3(1)(ｳ)）
・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）表3.1）
・図示による（　　）
鉄筋の定着長さ
※図示による
・

4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）
最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う）　[8.3.5]
・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）表4.1）
・
・耐久性上不利な部分（塩害等を受けるおそれのある部分等）
適用箇所（　　）、最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　）mm

5 圧接完了後の圧接部の試験
外観試験　※行う（全ての圧接部）　[8.3.8]
超音波探傷試験　※行う（全ての圧接部）

6 割裂補強筋
形状　・スパイラル筋　・　[8.21.6][8.22.7]
種類の記号　・SR235またはSWM-P　・
呼び径、曲げ直径、ピッチ　・図示による　・

〈コンクリート〉
1 コンクリートの種類等
コンクリートの類別　[8.1.3、4][8.2.5]
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（Ⅰ類以外でJIS A 5308に適合したコンクリート）
※普通コンクリート

設計基準強度（N/mm²）	気乾単位容積質量（t/m³）	スランプ	適 用 箇 所
・24	2.3程度	・15又は18　・18	
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

構造体強度補正値
※[表8.2.4]による　・

2 セメント
種　類　[8.2.5]
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
適用箇所（※下記以外全て　・　）
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g 以下、かつ28日目で402J/g 以下のものとする
・高炉セメントB種 G
適用箇所（・1Fより下部（立ち上がり部含む）　・　）
・フライアッシュセメントB種 G
適用箇所（　　）
・

3 骨材
アルカリシリカ反応性による区分　[8.2.5]
※A　・B（コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m³以下）

4 混和材料
・混和剤　種類　※[8.2.5](4)(a)による　・　[8.2.5]
・混和材　種類　※[8.2.5](4)(b)による　・

5 構造体用モルタル
圧縮強度（　　）、フロー値（　　）　[8.2.6]

6 ひび割れ誘発目地、打継目地
目地寸法　(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
・標準仕様書9.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による　・
※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する
・図示による（　　）　・
ひび割れ誘発目地の位置　(6.8.1)(11.1.3)
・図示による（　　）　・

7 構造体コンクリートの仕上り
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ　[8.1.4][8.2.7]

種　別	適 用 箇 所
・A種	※図示による（　　）
・B種	※図示による（　　）
・C種	※図示による（　　）

コンクリートの仕上りの平たんさ

種　別	適 用 箇 所
・a種	※図示による（　　）
・b種	※図示による（　　）
・c種	※図示による（　　）

8 打増し厚さ（打放し仕上げ部）
打増し厚さ　[8.7.8]
・打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る）
・20mm　・
・打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
・10mm　・20mm　・
打増し範囲
・図示による　・（　　）

9 型枠
せき板の材料及び厚さ　(6.8.2)[8.2.7]
・合板（※12mm　）G
コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。
・断熱材を兼用した型枠の使用
適用箇所　・図示による（　　）　・
・MCR工法用シートの使用
適用箇所　・図示による（　　）
打増し厚さ　・20mm　・
打増し範囲　・図示による（　　）　・
スリーブの材種・規格等
・図示による（　　）　・

10 型枠の加工及び組立
シアコネクタをセパレーターとして使用　[8.7.8]
適用箇所　・図示による（　　）　・

11 無筋コンクリート
コンクリートの種類　[8.1.1.1]
※普通コンクリート　・
セメントの種類　[8.2.5]
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G
適用箇所　(6.14.1)
※標準仕様書6.14.1(4)による箇所　・図示による（　　）
設計基準強度　※18（N/mm²）　・　[8.11.1]
スランプ　※15cm又は18cm　・

12 コンクリートの打込み工法等
コンクリートの打設工法の種類　[8.21.8][8.23.5]

補強工事	工法の種類	適用箇所
・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし	・全ての増設壁　・図示による（　　）
	・流込み工法8.21.8(1)(ｱ)、(2)	・全ての増設壁　・図示による（　　）
	・圧入工法　8.21.8(1)(ｲ)、(3)	・全ての増設壁　・図示による（　　）
	・	・図示による（　　）　・
・柱補強工事（溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法）	・工法指定なし	・全ての柱補強部分 ・図示による（　　）　・
	・流込み工法8.21.8(1)(ｱ)、(2)	・全ての柱補強部分 ・図示による（　　）　・
	・圧入工法　8.21.8(1)(ｲ)、(3)	・全ての柱補強部分 ・図示による（　　）　・
	・	・図示による（　　）　・
	・工法指定なし	
	・流込み工法8.21.8(1)(ｱ)、(2)	
	・圧入工法　8.21.8(1)(ｲ)、(3)	

〈鉄骨〉
1 鉄骨製作工場
鉄骨製作工場の加工能力　[8.1.5]
※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた（株）日本鉄骨評価センター及び（株）全国鉄骨評価機構（旧（社）全国鐵構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」により評価を受け、国土交通大臣から認定を受けた工場、又は同等以上の能力のある工場
評価の区分　※（　　）グレード以上　・指定しない
・監督員の承諾する工場（標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る）

2 鉄骨製作工場における施工管理技術者
配置する　[8.1.6]

3 鋼材
種類等　[8.2.8]

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規　格
		※JIS規格による　・
		※JIS規格による　・
		※JIS規格による　・

溶融亜鉛めっき工法の適用箇所　・
板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験　[8.2.14]
・行う　適用箇所（　　）　・行わない

4 高力ボルト
ボルトの種類　[8.2.9]
・トルシア形高力ボルト　・JIS形高力ボルト
・溶融亜鉛めっき高力ボルト
・
ボルトのねじの呼び　・図示による（　　）　・　[8.13.2]
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）1-1 縁端距離及びボルト間隔）
・

JIS形高力ボルトの締付け（本締め）　[8.14.7]
ナットの回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量
・図示による（　　）　・

摩擦面の処理方法等　[8.14.2][8.20.5]
溶融亜鉛めっき以外
※[8.14.2](1)による　・
溶融亜鉛めっき面
・ブラスト処理（表面粗度50μm Rz以上）
・ブラスト処理以外の特別な処理方法
・図示による（　　）　・
すべり試験　[8.14.2]
・行う（※すべり係数試験　・すべり耐力試験）
すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(ｲ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

5 普通ボルト
ボルト及びナットの材料　(7.2.3)
・標準仕様書　表7.2.3(JIS附属書品)又は次による
ボルトの規格は JIS B 1180 とする。
（ボルトの種類は、呼び径六角ボルトは全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。ナットの種類は、六角ナット-C2とし、材料は鋼とする。）
・
ボルトのねじの呼び　・図示による（　　）　・
座金　※ JIS B 1256 による　・
戻り止め　※二重ナット　・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　[8.13.2]
・図示による（構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びボルト間隔）
・

6 アンカーボルト
・構造用アンカーボルト（JIS B 1220）　(7.2.4)(7.10.3)
種類　・ABR400　・ABR490　・
・建方用アンカーボルト（JIS G 3101）
種類　・SS400　・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書表7.2.3による　・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　[8.13.2]
・図示による（構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びボルト間隔）
・

7 溶接材料
・[8.2.10](1)、(2)による　[8.2.10]
・[8.2.10](1)、(2)以外の溶接材料
材料及び使用箇所　・図示による（　　）

8 ターンバックル
種類　(7.2.6)
建築用ターンバックル
※羽子板ボルト　・
建築用ターンバックル胴
※割枠式　・
ねじの呼び
・図示による（　　）　・

9 スタッド
頭付きスタッド（JIS B 1198）の種類等　[8.2.11][8.16.6]

呼 び 名	呼び長さ（mm）	適 用 箇 所
・16		
・19		
・22		

スタッド溶接完了後、外観試験及び打撃曲げ試験を行う。

10 製作精度
鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6.鉄骨精度検査基準に加えて、次による。　[8.13.3]
通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法
※H12建告第1464号第二号イ(2)による　・
アンダーカットの寸法
※H12建告第1464号第二号イ(3)による　・
食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法
・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・

11 溶接作業者の技量付加試験
試験の要領　[8.15.3]
・図示による（　　）　・

12 溶接接合
開先の形状　[8.15.4]
・図示による（構造関係共通図(鉄骨標準図)1-2 溶接継手の種類別開先標準）
・
鋼製エンドタブの切断する部分　[8.15.7]
切断する場所　・図示による（　　）　・
切断範囲
・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から 5mm 以下残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。
・
切断面の仕上げ
・[8.15.7](1)(ﾊ)(b)②による　・
スカラップの形状
・図示による（構造関係共通図(鉄骨標準図)1-4(4)改良型スカラップ）
・

13 入熱、パス間温度の管理
適用箇所
・図示による（　　）

14 溶接部の試験
H12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等　[8.15.12]
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による
・抜き取り検査①
※抜き取り検査②
・
JASS 6 付則6［鉄骨精度検査基準］の付表3「溶接」に関する確認方法等
・JASS 6 10.4［受入検査］e 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。
・
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験
・工場溶接の場合
※全数　・
・工事現場溶接の場合
※全数　・

15 錆止め塗装
塗装の範囲　[8.17.2]
耐火被覆材の接着する面
・図示による（　　）　・
耐火被覆材の接着する面以外
※[8.17.2](1)(ｱ)～(ｲ)以外の範囲　・図示による（　　）　・
塗料の種別　[7.4.3][8.17.4]
・鉄鋼面の錆止め塗料
屋外
・[表7.4.1] A種　・
屋内
・[表7.4.1]（ ）種　・
・亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料
・[表7.4.2]（ ）種
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面（鉄骨に溶接されたものに限る）
※[表7.4.1] A種　・
・耐火被覆材の接着する面へ塗装する場合の錆止め塗料
・[表7.4.1]（ ）種　・[表7.4.2]（ ）種　・

16 耐火被覆
種類、材料、工法等　[8.18.2～8]

種　類	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）
・耐火材吹付け	・乾式吹付ﾛｯｸｳｰﾙ		
	・湿式ロックウール		
	・半乾式吹付ﾛｯｸｳｰﾙ		
	・		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り	—		
・耐火塗料			

材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする

17 建方精度
※JASS6 付則6[鉄骨精度検査基準]付表5[工事現場]による　(7.10.2)

18 アンカーボルト等の設置
構造用アンカーボルトの形状及び寸法　(7.10.3)
・図示による（　　）
構造用アンカーフレームの形状及び寸法
・図示による（　　）
建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルトの保持及び埋込み工法（表7.10.1）
種別　・A種　・B種
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別（表7.10.2）
厚さ　・
種別　※A種　・B種

19 溶融亜鉛めっき（基礎、主要構造部及びその他構造耐力上主要な部分に限る。）
種別等　[8.20.4][表8.20.1]

亜鉛めっきの種別	材　料	適用部位
・A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板	
・B種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	
・C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	

外観検査　※行う　・行わない

（あと施工アンカー）
1 あと施工アンカー
仕様等　[8.2.4]
・金属系アンカー（耐震補強用）
引張耐力　※図示による（　　）　・
せん断耐力　※図示による（　　）　・
アンカー本体の径及び埋込み長さ
・図示による（　　）　・
セット方式　※本体打込み式改良型　・
接合筋の種類、径、長さ
・図示による（　　）　・
・接着系アンカー
引張耐力　※図示による（　　）　・
せん断耐力　※図示による（　　）　・
アンカーの種類　※カプセル方式回転･打撃式　・カプセル方式打込み型
・　・
接着剤の品質　※有機系　・無機系
アンカー筋の径及び埋込み深さ
・図示による（「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項）
・
アンカー筋の種類　・[表8.2.1]の異形棒鋼　・全ねじボルト　・
アンカー筋の新設壁内への定着の長さ
・図示による（「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項）
・
性能確認試験
試験方法及び試験数　・図示による（　　）　・

2 あと施工アンカー工事
穿孔機械(金属検知により電源供給が停止出来る付属装置等を使用する)　[8.12.4、7]
※ハンマードリル　・コアドリル
穿孔前の埋込み配管等の探査方法
・JASS5 11.10.cに規定された非破壊検査を行う
・鉄筋探知器（金属探知器）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う
探査方式
・電磁波ﾚｰﾀﾞｰ法(3D表示対応型)　・電磁波ﾚｰﾀﾞｰ法又は電磁波誘導法
鉄筋探査器の性能
・CD管及び非金属類の探査が可能である機器とする
・はつり出しによる
施工確認試験
試験方法　※引張試験機による引張試験　・
確認強度　・図示による（　　）　・

（グラウト工事）
1 柱底均しモルタル及びグラウト材
・柱底均しモルタル　[8.2.12]
※無収縮モルタル
無収縮モルタルの材料及び調合
※[8.2.12](1)(ｱ)から(ｲ)による　・
・
・グラウト材
無収縮グラウト材の材質等

種類	プレミックス形又は現場調合形とする。
セメント	JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂	製造所の仕様による。
混和材	セメント系膨張剤（酸化カルシウム及びカルシウム・サルファアルミネート等）とする。
配合比（質量比）	（セメント＋混和材）：（砂）　製造所の仕様による。

無収縮グラウト材の品質及び試験方法

コンシステンシー	Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値　：　8±2秒
ブリージング率	練り混ぜ2時間後のブリージング率　：　2.0%以下
凝結時間	凝結開始時間　：　1時間以上 終結時間　：　10時間以内
膨張収縮（無収縮性）	材齢　7日　収縮しない
圧縮強度	材齢　3日　20.0 N/mm 以上 材齢　28日　40.0 N/mm 以上
付着強度	材齢　28日　2.5 N/mm 以上
塩化物量	0.30kg/m 以下
試験方法	1）NEXCO試験方法　試験法 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。 2）プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 3）塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

R7.10(Ver.R7-1)

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		特記仕様書（改修 その７）	００７
SCALE　－		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-07

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

〈連続繊維補強工事〉
1 連続繊維シート

連続繊維シート [8.2.13]
材料 ・図示による（ ） ・
工法 ※(一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 ・
引張強度（含浸硬化後）
・2500N/mm² 以上 ・3000N/mm² 以上 ・
ヤング係数（含浸硬化後）
・2.35×10⁵ N/mm²程度 ・2.00×10⁵ N/mm²以上 ・
下地調整 [8.24.6]
ひび割れ部の改修工法の種類
・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法
柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ※工法の評価内容による ・
連続繊維補強材の強度試験
引張強度試験
※JIS A 1191（コンクリート補強用FRPシートの引張試験方法）による
・
試験数量 ・図示による（ ） ・
付着強度試験
※JIS A 6909（建築用仕上塗材）による ・
試験数量 ・図示による（ ） ・
補強後の仕上げ ・図示による（ ） ・ [8.24.7]

〈耐震ｽﾘｯﾄ新設工事〉
1 施工前埋込み配管等の探査

既存撤去部の埋込み配管等の探査方法 [8.12.4]
・鉄筋探知器（金属探知器）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う
探査方式 ・電磁波ﾚｰﾀﾞｰ法(3D表示対応型) ・電磁波ﾚｰﾀﾞｰ法又は電磁波誘導法
・はつり出しによる
・

2 耐震スリット

幅及び深さ ・図示による（ ） ・ [8.25.2]
設置箇所 ・図示による（ ） ・

3 充填材の挿入及び周囲補修等

・耐火材 使用箇所及び仕様 ・図示による（ ） [8.25.2]
・遮音材 使用箇所及び仕様 ・図示による（ ）
撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・

〈免震改修工事〉

・別添の免震工事特記仕様書による

〈制振改修工事〉

・別添の制振工事特記仕様書による

〈土工事及び地業工事〉
1 既存杭の撤去等

撤去範囲及び撤去方法 ・図示による（ ） ・ [8.28.2]
・杭頭部等の処理 ・図示による（ ） ・
・既存杭の補強 ・図示による（ ） ・
・健全性の確認試験 ・図示による（ ） ・

2 土工事

埋戻し及び盛土の種別 [8.28.3]
・A種 適用場所（ ）
・B種 適用場所（ ）
・C種 適用場所（ ） 土質（ ） 受渡場所（ ）
・D種 適用場所（ ）
品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。

六価クロム溶出試験 ・行う
建設発生土の処理 ・構内指示の場所に堆積 ・構内指示の場所に敷均し
・
鋼矢板等の抜き跡の処理 ※※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる
山留め壁等の存置 ・行う（存置範囲 ※図示 ・ ）

3 地業工事

・杭地業 [8.2.15][8.28.4]
支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端の位置含む）
・図示による（ ） ・
杭の材料、工法、寸法、施工方法等
・図示による（ ） ・
試験杭の位置、本数、寸法、施工方法
・図示による（ ） ・
杭の載荷試験 ・適用(・鉛直 ・水平)
試験杭(位置,本数,載荷荷重,試験方法,報告書記載事項 ※図示)
地盤の載荷試験 ・適用（※平板 ・ ）
試験位置、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示
杭の溶接継手 ・あり（継手の箇所数、材料、工法等 ※図示）
技能資格者の技量及び溶接部の確認 ※図示 ・
杭頭の処理等 ・する（処理方法(切断にともなう補強方法含む)※図示・ ）

杭の精度 [8.28.4]
水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下
建込み時の杭の鉛直度 ・1/100以内

記録する施工状況等 ・図示による（ ） ・

・砂利地業 [8.2.15][8.28.4]
材料 ・再生クラッシャラン G ・切込砂利又は切込砕石 ・
施工範囲 ・図示による（ ） ・
厚さ ※60mm ・

・砂地業 [8.2.15][8.28.4]
材料 ・シルト ・有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂又は砕砂
施工範囲 ・図示による（ ） ・
厚さ ※60mm ・

・捨コンクリート地業 [8.11.1～3][8.28.4]
材料 ※普通コンクリート ・
設計基準強度 ※18N/mm² ・
スランプ ※15cm又は18cm ・
施工範囲 ・図示による（ ） ・
厚さ ※50mm（※平たん仕上げ ・ ） ・

R7.10(Ver.R7-1)

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		特記仕様書（改修その８）	００８
SCALE －		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-08

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

特記事項

【アスベスト含有仕上塗材・下地調整材除去工事】

施工前

(1)令和３年３月　厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課/環境省水・大気環境局大気環境課「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（以下マニュアル）により、下記工法の併用工法とする。
　［一般部］　(ｱ)集塵装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上)・同時吸引式（ウォータークリーン工法）
　［狭あい部］(ｲ)（湿式）集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法・同時吸引式（ウォータークリーンSG工法）
　　(ｳ)（湿式）集塵装置併用手工具ケレン工法または剥離剤併用手工具ケレン工法

(2)石綿除去処理工事に際しては、通常の工事と異なる側面があるため、工事の特殊性を十分確認した上で、専門業者で行うこと。ここでいう専門業者とは、建設技術審査証明（（財)日本建築センター）により確立された、「石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術」を取得している業者のことを指す。

施工中

(3)本施工は以下の項目を遵守して行うこと。

項目	特記仕様	管理方法
工事計画	「特定石綿含有建材調査者」の参画を前提とする。	
吸引機の圧力と風量	吸引圧力/真空圧　-60～-90kPa 風量　30～40m³/分	撮影 臨機に仕様書提出
吸引時の排気濾過	ジェットスクラバ方式及びHEPAフィルター	撮影
水処理（濁水処理内容）	上澄み水は最終0.2μmフィルターを透過させ以下の値を遵守する。 ・アスベスト含有量　50本/L以下(検出限界値) ・pH　pH5を超え９未満 ・浮遊物質量（SS）　25mg/L未満	第三者機関にて測定 (放流前)pH調整器にて確認・撮影 (放流前)簡易透視度計にて確認・撮影
アスベスト粉じん濃度測定	速報値で管理値（10本/L以下）を満たしていることを確認する。 本施工時 測定時期｜測定箇所｜測定時間 作業前｜敷地境界　4方向各1点　計4点｜240分 作業中｜敷地境界　4方向各1点｜240分 　｜プラント設置付近　1点｜120分 　｜除去作業付近　1点　計6点｜120分 作業後｜敷地境界　4方向各1点　計4点｜240分 　｜合計14点	第三者機関にて測定
廃材処理	(1)強力吸引車を使用した同時吸引式工法により撤去した塗膜と廃水を外気に触れることなく密閉状態で安全に集積・分別をする。 (2)分別した塗膜はフレコンバックに集めたのちプラスチック袋（0.15mm以上）で2重梱包する。	撮影
除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等	(1)除去したアスベスト含有材等を搬出するまでの間現場に保管する場合は、石綿含有産業廃棄物として一定の保管場所を定め、他の建設副産物等と分別して保管する。 (2)一時保管場所はシートで覆うなどの飛散対策を講じ、アスベスト含有材等の保管場所であることを掲示する。 (3)アスベスト含有材等の運搬車及び運搬容器は、アスベスト含有材等が飛散及び流出するおそれのないものとする。 (4)運搬車の荷台には覆いをかけるなど飛散防止措置を講じる。 (5)除去したアスベスト含有材の処分はマニュアル基準にて適正に最終処分場の一定の場所で埋め立て処分する。	撮影

施工後

(4)特記仕様に記載された以下の項目は施工完了後報告書として提出すること。

項目	特記仕様	報告方法
吸引時の圧力と風量	吸引圧力/真空圧　-60～-90kPa 風量　30～40m³/分	写真 臨機に仕様書提出
吸引時の排気濾過	ジェットスクラバ方式及びHEPAフィルター	写真
水処理（濁水処理内容） アスベスト含有量 pH 浮遊物質量（SS）	 アスベスト含有量　50本/L以下 pH　pH5を超え9未満 浮遊物質量（SS）　25mg/L未満	 第三者機関の報告書 写真および第三者機関の報告書 写真および第三者機関の報告書
アスベスト粉じん濃度測定	管理値（10本/L）以下	第三者機関の報告書
廃材処理	(1)飛散防止状況 (2)二重梱包状況	写真 写真
除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等	(1)一時保管庫での保管状況 (2)一時保管庫および看板設置状況 (3)石綿含有産業廃棄物搬出状況 (4)石綿含有産業廃棄物シート掛け状況 (5)石綿含有産業廃棄物最終処分場	写真 写真 写真 写真 写真

(5)石綿含有建材の除去等作業が適切に行われたことの確認及び作業の記録
石綿の取り残しがないこと等の確認・記録の手順として、マニュアルの4.15(p.225)に従って行う。
・4.15.1 作業が適切に行われたことの確認の流れ
・4.15.2 作業の記録、確認及び記録の保存
・4.15.3 石綿の取り残しがないこと等の確認方法
・4.15.5 発注者への報告

【アスベスト含有仕上塗材除去工事フロー図】

施工前
- 施工範囲の確認・除去塗膜の状況確認　→　作業前　アスベスト粉じん濃度測定
- 床養生・ろ過装置直下部養生・ノッチタンク直下部養生（プラスチックシート0.15㎜※2重）
- 超高圧ポンプ車・強力吸引車・コンプレッサー装置の設置・試運転
- 高圧ホース・エアーホース・集塵ホースのセット及び試運転
- 湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法の準備
- 湿式集塵装置併用手工具ケレンまたは剥離剤併用手工具ケレン工法の準備

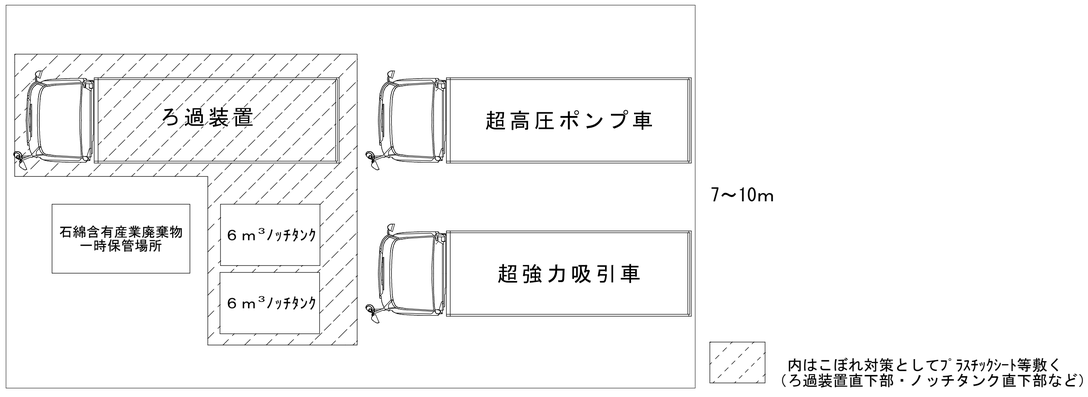
施工中
- ①集塵装置付き超高圧水洗(100MPa以上)（ウォータークリーン工法）による除去
- ①で除去出来ない箇所は、②（湿式）集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法（ウォータークリーンSG工法）による除去
- ①②で除去出来ない場合箇所は、③湿式集塵装置併用手工具ケレン工法または剥離剤併用手工具ケレン工法

（作業初日）
作業中　アスベスト粉じん濃度測定
(1)除去作業付近にて管理値を満たさない場合は、隔離養生（負圧不要）を行い、飛散対策とする
(2)プラント付近にて管理値を満たさない場合は、
(ｱ)～(ｳ)を行う
(ｱ)飛散対策を行う
(ｲ)(ｱ)の完了後粉塵濃度測定を行う
(ｳ)管理値を満たすことを確認

施工中
- 除去したアスベストの処理
- 真空状態のまま水と固形物を分離後フレコンバックに梱包した状態で排出
- 濁水の処理
- アスベスト50本/L以下までろ過後現地放流（SS25未満・pH5を超え9未満）
- 除去したアスベストの搬出
- 養生撤去前清掃
- 取り残しがないか目視にて確認
- 養生シートの撤去
- 最終清掃
- 石綿含有建材・養生シート等の廃棄物の搬出　→　作業後　アスベスト粉じん濃度測定

施工後
- 石綿含有建材の除去等作業が適切に行われたことの確認及び作業の記録（3年間保管）
作業日報（40年間保管）

【同時吸引式プラント設置例（平面図）】
(1)機材設置場所から除去面の最長距離は100m程度。
(2)機材設置位置は縦に１列縦列も可能。



市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		特記仕様書（石綿除去処理工事）参考図	
SCALE　－－		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-09

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

工　事　区　分　表

躯　体　関　係

項目		A	E 別途工事	M 別途工事	G		備考
1. ＲＣ造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け	○	○	○			
	補強を要する型枠材及び取付け	○	○	○			
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○			
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○			
	貫通孔・開口部の補強	○					
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○			
2. Ｓ・ＳＲＣ造・梁貫通口（※遊戯室屋根）	Ｓ・ＳＲＣ造貫通鋼管スリーブ・補強	○					
	使用されたスリーブの穴埋め	○	○	○			
	予備スリーブの穴埋め	○	○	○			
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○					
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）	○	○	○			
	室外・屋上の基礎	○	○	○	○		
	屋上の基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの（配管架台類）		○	○			
	機器取付け用アンカー・架台		○	○			建築設計図にあるものはＡ
	屋内受水タンク用の基礎	○					
	空調屋外機用ﾌｪﾝｽ工事	○					
	屋外機の据付架台	○	○	○	○		
4. 昇降機関連	昇降路・機械室の躯体	○					
	機械室の床開口						
	機械室の床配管ピット・蓋						
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上						
	巻上機周囲のチェッカープレート敷				○		
	昇降路内ピット防水・集水桝・点検用タラップ	○					※既存利用
	各階出入口穴あけ・同補強				○		
	出入口扉・三方枠				○		
	三方枠取付け・枠廻り埋戻し・同補強				○		
	昇降機がＲＣ造の時、軌条・中間ビーム・ブラケット他昇降路内の鉄製部材一式				○		
	機械室天井フック取付け				○		
	ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口				○		
	機械室換気設備			○			
	昇降路がＳ造の時中層ビームブラケット受ピース				○		
	ＥＶ機械室からインターホンまでの配線工事				○		
	ＥＶ機械室からインターホンまでの配管工事		○				
	昇降路の煙感知器の設置		○				
5. その他	トラフ・ピット類（蓋を含む）	○					
	湧水・汚水ピット・ＲＣ造各種水槽	○		○			
	同上用防水・マンホール・タラップ一式	○					
	避雷設備・同接地工事		○				
	ＡＬＣ板の壁開口・補強	○					
	厨房排水溝						
	厨房グリース阻集器						
	オイルサービスタンクの防油堤						

仕　上　げ　関　係

項目		A	E 別途工事	M 別途工事	G	備考
1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○				
	補強を要しないボードの切り込み		○	○		
	開口部の墨出し		○	○		
2. 既製間仕切り	切り込み及び補強	○				
	位置ボックス	○				
3. 吊ボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○		
4. 外壁廻り	外壁ガラリ	○				
	ウェザーカバー・ベンドキャップ			○		
	換気扇			○		
5. 湯沸室廻り	流し台・吊戸棚・水切り棚・コンロ台	○				
	フード（標準詳細図のもの）	○				
	流し台の排水トラップ	○				
6. 浴室廻り	ユニットバス・シャワーユニット					
	既製浴槽（蓋を含む）					
	浴室及び便所の床排水金物					
7. 便所廻り	洗面カウンター	○				
	鏡（規格寸法のみ）			○		特注寸法はＡ
	身障用手すり	○				トイレパック内容品はＭ
	紙巻器			○		
8. 事務室廻り	ファンコイルカバー					
	家具組み込みの洗面器					
9. フリーアクセスフロア	コンセント		○			
	床パネルの切り込み加工	○				
10. その他	２重ピット及びトレンチのマンホール蓋	○				
	機器搬入用フック・ビーム	○				
	チェンブロック		○	○		
	化粧マンホール上蓋の表面仕上げ	○				
	点検口（天井・床下）	○				
	排煙口等の天井仕上材の取付け	○				
	自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック，フロアヒンジ	○				
	消火器ＢＯＸ(壁埋込式)設置工事	○				消火器は別途
	自動扉・電動シャッターへの電源供給		○			
	自動扉・電動シャッターから付属のスイッチ・センサーへの配管工事	○				
	消火器・設置ボックス	○				
	ＶＣシール	○		○		

屋　外　排　水　設　備　・　外　構

項目		A	E 別途工事	M 別途工事	G	備考
1. 雨水	屋外雨水排水設備（Ｕ字溝）				○	
	桝及び桝蓋				○	
	雨水再利用設備				○	
2. 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			○		
	桝及び桝蓋			○		
	化粧マンホール上蓋の表面仕上げ				○	
3. 植栽	植栽及び客土				○	
4. ユニット形浄化槽の躯体	ピット形の躯体及び砂充てん					
	上記以外のユニット形浄化槽本体・配管及び据付等					
	ピット形以外					
5. その他	駐車場ガソリントラップ					
	グリストラップ					

設　備　関　連

項目		A	E 別途工事	M 別途工事	G	備考
1. 空調設備	空調室外機・室内機への電源接続		○			
	空調リモコン線の配管・配線		○	○		
	空調リモコンの取付け		○			
2. 換気設備	換気機器への電源接続		○			
	汎用手元スイッチの取付け		○			
	２４時間換気スイッチの支給			○		
	２４時間換気スイッチの取付け		○			
	３φ用ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ及びｺﾝﾄﾛｰﾙﾎﾞｯｸｽの支給			○		
	３φ用ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ及びｺﾝﾄﾛｰﾙﾎﾞｯｸｽの取付け		○			
	全熱交換器への電源接続		○			
	全熱交換器スイッチの配管・配線		○	○		
	全熱交換器スイッチの取付け		○			
	調理室関係３φ給気・排気ファンの電源接続		○			
	調理室関係３φ給気・排気ファンの発停制御・連動(動力盤面操作)		○			
3. ガス設備	ガス給湯器の電源（コンセント）		○			
	ガス給湯器リモコン線の配管・配線		○	○		
4. 衛生設備 消火設備	機械設備で設置する制御盤の一次側電源接続		○			
	上記制御盤の二次側配管・配線			○		
	消火水槽の電極取付けと配管・配線(消火ポンプ二次側)		○	○		
	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ設備、高架水槽の電極取付けと配管・配線（警報出力含む）		○			
5. 警報設備	機械設備で設置する制御盤の警報信号の端子台出力		○			
	機械設備で設置する制御盤から警報盤までの配線と警報盤本体		○			

電　気　配　線　配　管

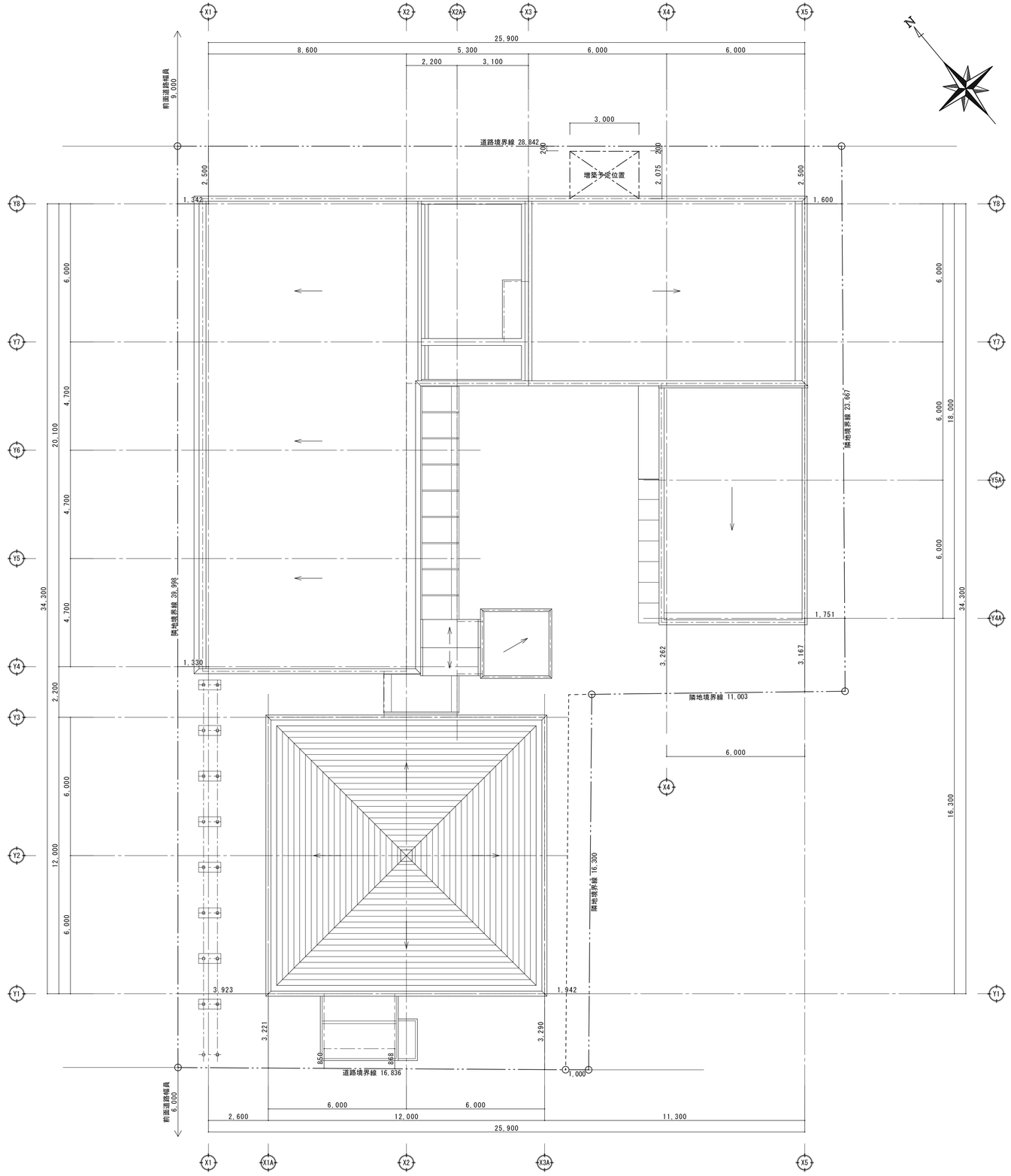
項目	A	E 別途工事	M 別途工事	G	備考
機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）		○	○		２次側
機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○			１次側
自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線		○			
機器と付属操作スイッチの渡り配管配線		○	○		図面参照のこと
煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線		○	○		
小便器用節水装置の制御盤以降の配管配線		○	○		
注油口内アース端子よりのアース用配管配線		○	○		自家発用はＥ
遠方操作制御用配管配線		○	○		

案　内　図



工事場所）
名称：富士見市立みずほ台コミュニティセンター
住所：埼玉県富士見市西みずほ台１丁目１９番地２
敷地面積：９７３．８５㎡

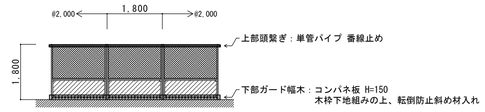
配　置　図　S=1/400



市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		案内図・配置図	０１１
SCALE 1/100		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-11

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

凡　例	設計数量	仕　様
	130.0	仮囲い：ガードフェンス　H＝１．８ｍ ＋ 下部ガード幅木付け
	2.0	仮設ゲート：キャスターゲート　Ｗ３．６ｍｘＨ２．０ｍ
	―――	外部足場　※参考位置



仮囲い詳細図

特　記　事　項

※本工事は全館無人休館にて工事を行うものとし、仮設計画を図る事。

※仮囲いの位置は、敷地境界線に合せて配置する事。
　また、不用意に部外者が工事範囲内に侵入しないように十分管理を徹底すること。

※工事用搬出入口は参考位置とする。交通誘導員を配置させ、事故のないよう十分に安全を確保する事。

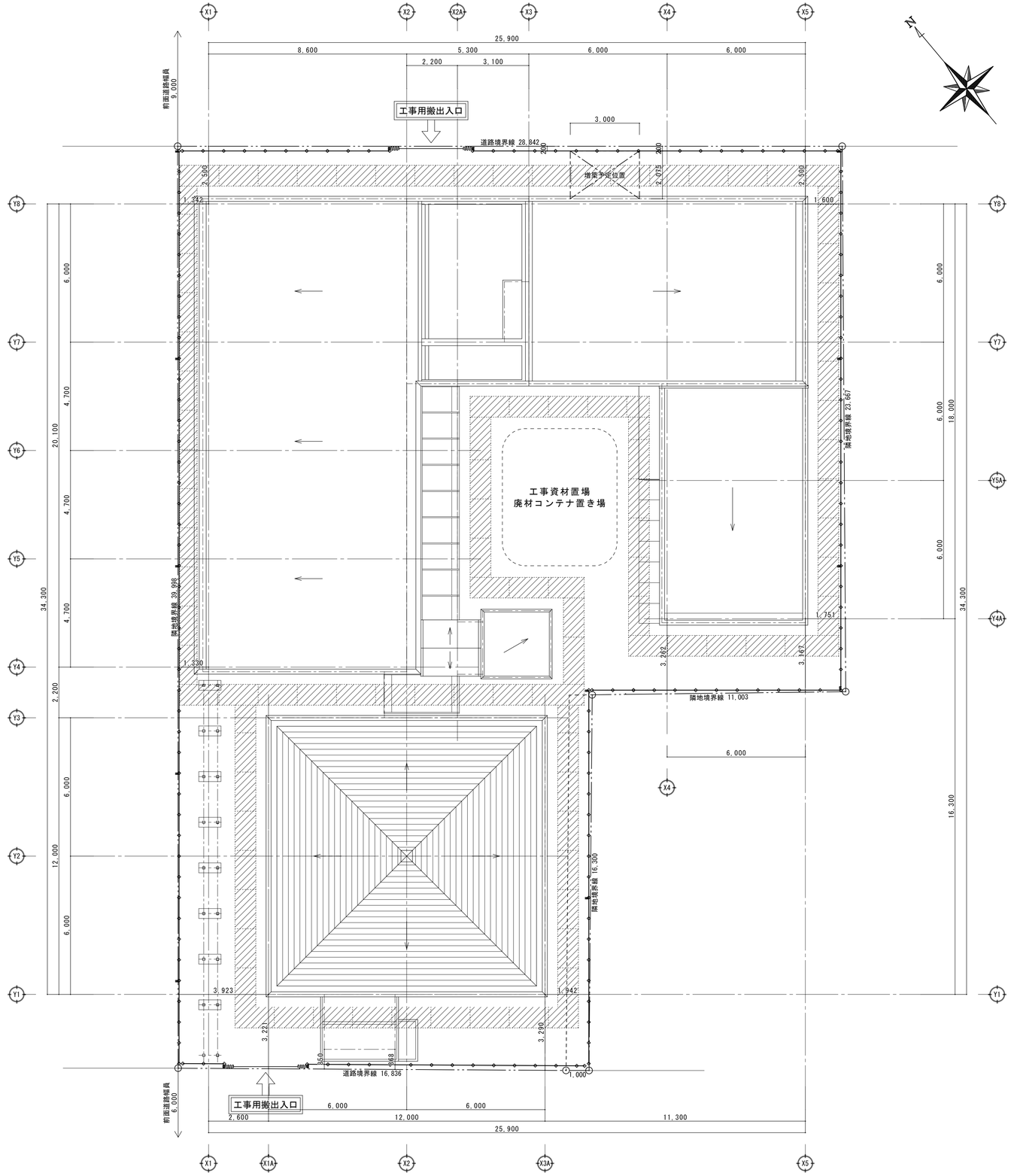
※仮設事務所は本敷地内又は本建物を利用し用意する事。

※工事作業員用のトイレは本敷地内にて用意する事。

※工事作業員用の駐車場は現場近隣駐車場を利用する事。
　工事作業において路上駐車等が必要な場合には道路使用許可を取得し、関係法令を遵守する事。
　路上無断駐車が発生しないよう管理を徹底する事。

※周辺部材に損傷を与えた場合は、請負業者の責任において現況復旧すること。

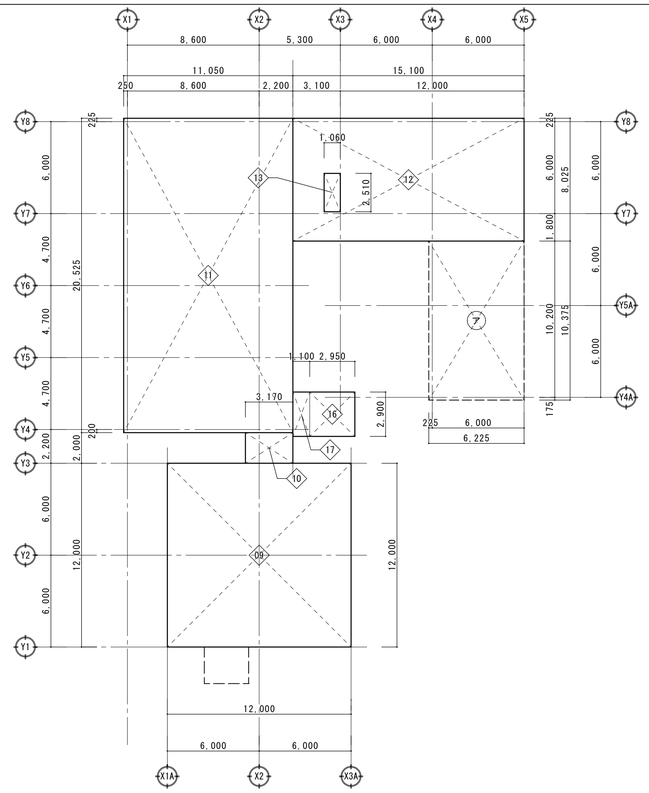
配　置　図　S=1/400



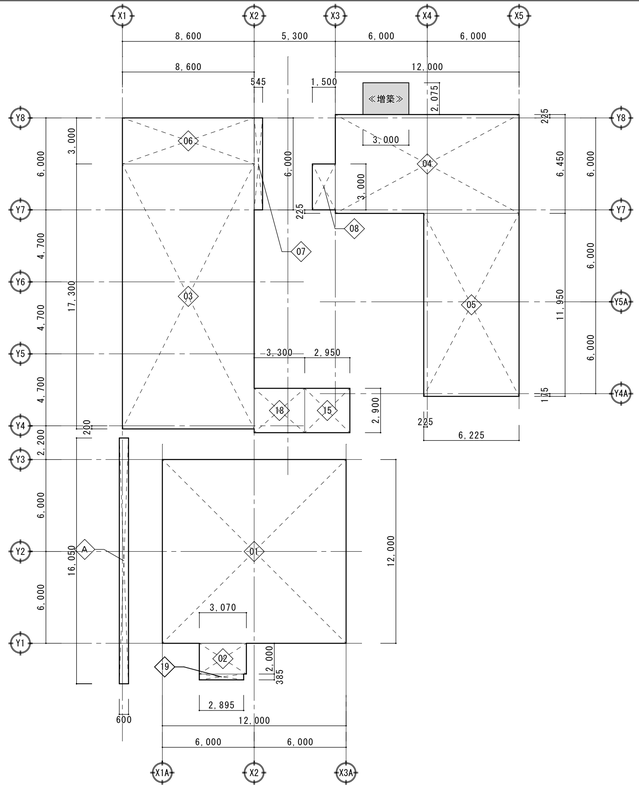
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）			仮設計画図	０１２
SCALE　1/100			㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-12

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

２ 階 建 物 求 積 図　1/200



１ 階 建 物 求 積 図　1/200



建 物 面 積 算 定 表

【各部面積の算定】

番号	形状	X方向		Y方向			
01	長方形	12.000	×	12.000	=	144.0000	
02	長方形	3.070	×	2.000	=	6.1400	
03	長方形	8.600	×	17.300	=	148.7800	
04	長方形	12.000	×	6.450	=	77.4000	
05	長方形	6.225	×	11.950	=	74.3887	
06	長方形	8.600	×	3.000	=	25.8000	（自動車車庫等）
07	長方形	0.545	×	6.000	=	3.2700	
08	長方形	1.500	×	3.000	=	4.5000	
09	長方形	12.000	×	12.000	=	144.0000	
10	長方形	3.170	×	2.000	=	6.3400	
11	長方形	11.050	×	20.525	=	226.8012	
12	長方形	15.100	×	8.025	=	121.1775	
13	長方形	1.060	×	2.510	=	2.6606	
15	長方形	2.950	×	2.900	=	8.5550	（昇降機の昇降路）
16	長方形	2.950	×	2.900	=	8.5550	（昇降機の昇降路）
17	長方形	1.100	×	2.900	=	3.1900	
18	長方形	3.300	×	2.900	=	9.5700	
19	長方形	2.895	×	0.385	=	1.1145	
			×		=		
ア	長方形	6.225	×	10.375	=	64.5843	
			×		=		
A	長方形	0.600	×	16.050	=	9.6300	（自動車車庫等）
≪増築≫	長方形	3.000	×	2.025	=	6.0750	

● 建築面積

【コミセン】 01 + 02 + 10 + 11 + 12 + 16 + 17 + 19 + ア　Σ　581.9025

581.90 ㎡

【駐輪場】 A　9.6300

9.63 ㎡

● １階床面積

【コミセン】 01 + 02 + 03 + 04 + 05 + 06 + 07 + 08 + 15 + 18 + 19　Σ　503.5182

503.51 ㎡

【駐輪場】 A　9.6300

9.63 ㎡

● ２階床面積

【コミセン】 09 + 10 + 11 + 12 + 16 + 17　Σ　510.0637

510.06 ㎡

● Ｒ階床面積　（塔屋、階段室に準ずる面積）

【コミセン】 13　Σ　2.6606

2.66 ㎡

● 増築床面積

【コミセン】　≪増築≫　Σ　6.0750

6.07 ㎡

共通事項

※１ 算定式における計算について
・小数点以下５桁目は「切り捨て」とする

※２ 算出結果による採用面積について
・有効桁数は小数点第２位までとし、小数点以下３桁目は「切り捨て」とする

	階数	建築基準法による床面積									建築基準法による建築面積			
		基準時：H14.03.04	修正面積計算，過去増築（現　在）：R07.04			今回増築（改修後）：R08年度			（合　計）					
			容積率算定対象外			容積率算定対象外			延床面積	容積率算定対象外		基準時	現　在	今回増築	（合　計）
			延床面積	令2条3項1号 自動車車庫等	法52条6項 昇降機の昇降路	延床面積	令2条3項1号 自動車車庫等	法52条6項 昇降機の昇降路	全　体	令2条3項1号 自動車車庫等	法52条6項 昇降機の昇降路				
			（A）	（B）	（C）	（D）	（E）	（F）	（A＋D）	（B＋E）	（C＋F）				
コミセン	塔屋		2.66	—	—	—	—	—	2.66	—	—				
	２階		510.06	—	8.55	—	—	—	510.06	—	8.55				
	１階		503.51	25.80	8.55	6.07	—	—	509.58	25.80	8.55				
	棟計		1,016.23	25.80	17.10	6.07	—	—	1,022.30	25.80	17.10		581.90	6.07	587.97
駐輪場	１階		9.63	9.63	—	—	—	—	9.63	9.63	—		9.63	—	9.63
	合　計	(1,009.17)	1,025.86	35.43	17.10	6.07	—	—	1,031.93	35.43	17.10	(584.03)	591.53	6.07	597.60

■ 基準時【 H14.03.04 第H13建済建築埼玉川土00114号】

【建蔽率の算定】

● 敷地面積　973.85

● 建築面積　(1).現在　591.53

(2).増築　6.07

（ 591.53 + 6.07 ）÷ 973.85 × 100 ＝ 61.364　∴61.37%

【容積率の算定】

● 敷地面積　973.85

● 延床面積　(1).現在　1,025.86　（容積率算定対象外）-35.43 -17.10　（容積率算定対象面積）　973.33

(2).増築　6.07　6.07

（ 973.33 + 6.07 ）÷ 973.85 × 100 ＝ 100.569　∴100.57%

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		建物求積図・建物面積算定表	013
SCALE 1/200		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-13

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

外　部　仕　上　表　1

部位		既存部仕上表 改修前		既存部仕上表 備考	改修後仕上表 下地処理	改修後仕上表 改修後	改修後仕上表 備考
R	(S.58)(H.13) 屋根Ａ（管理棟） 平　場	モルタル金鏝 t=20 + ゴムアスファルトルーフィング(冷工法) + アスファルトシングル葺き(接着工法) (H.13)上記屋根の上、フッ素鋼板成型瓦葺き t=0.6（既存屋根重ね葺き）	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)	屋根用遮熱塗料（低汚染・超耐久型）塗り 上塗り）水性フッ素樹脂系	
	立　上	(H.13)フッ素鋼板水切り t=0.6	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)、既存金属下地目粗し処理	高靭性環境対応型ウレタン塗膜防水 ローラー工法 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料	
	笠　木	アルミ製(自然発色) W=220	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(30Mpa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布	カラーアルミ製既製品笠木 W=225 t=2	
	Ｒ.Ｄ	横引型 白ガス管打ち込み	撤去 ● 既存処理		清掃	（既存のまま）	
	集水側溝	(H.13)フッ素鋼板 t=0.6 曲げ加工	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)、既存金属下地目粗し処理	高靭性環境対応型ウレタン塗膜防水 ローラー工法 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料	
	(S.58)(H.13) 屋根Ｂ（コミュニティ棟） 平　場	モルタル金鏝 t=20 + ゴムアスファルトルーフィング(冷工法) + アスファルトシングル葺き(接着工法) (H.13)上記屋根の上、フッ素鋼板成型瓦葺き t=0.6（既存屋根重ね葺き）	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)	屋根用遮熱塗料（低汚染・超耐久型）塗り 上塗り）水性フッ素樹脂系	
	立　上	(H.13)フッ素鋼板水切り t=0.6	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)、既存金属下地目粗し処理	高靭性環境対応型ウレタン塗膜防水 ローラー工法 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料	
	笠　木	アルミ製 W=220	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布	カラーアルミ製既製品笠木 W=225 t=2	
	Ｒ.Ｄ	横引型 白ガス管打ち込み	撤去 ● 既存処理		清掃	（既存のまま）	
	集水側溝	(H.13)フッ素鋼板 t=0.6 曲げ加工	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)、既存金属下地目粗し処理	高靭性環境対応型ウレタン塗膜防水 ローラー工法 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料	
	(S.58)(H.13)(R.03) 屋上機械置場 平　場	アスファルト防水層(３層) + 保護モルタル t=20 + 軽量コンクリート t=80 + 防水モルタル金鏝 t=30 (H.13)上記屋根の上、ウレタン系塗膜防水 X-2　(R.03)環境対応型ウレタン系塗膜防水 X-2	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)、専用プライマー塗布	高靭性環境対応型ウレタン塗膜防水 密着工法（メッシュフリー、X-2同等） 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料	
	立　上	アスファルト防水層 + 押えレンガ + 防水モルタル金鏝 t=30 (H.13)上記屋根の上、ウレタン系塗膜防水 X-2　(R.03)環境対応型ウレタン系塗膜防水 X-2	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)、専用プライマー塗布	高靭性環境対応型ウレタン塗膜防水 密着工法（メッシュフリー、X-2同等） 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料	
	アゴ天端	防水モルタル金鏝 t=30 (H.13)上記屋根の上、ウレタン系塗膜防水 X-2　(R.03)環境対応型ウレタン系塗膜防水 X-2	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)、専用プライマー塗布	高靭性環境対応型ウレタン塗膜防水 密着工法（メッシュフリー、X-2同等） 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料	
	Ｒ.Ｄ	竪引型 鋳鉄製 φ100 (R.03)改修用銅製二重ドレン	撤去 ● 既存処理		清掃	（既存のまま）	
	設備架台	(H.13)束材：H-100x100x6x8 根太材：[-100x50x5 床材：C.PL-4.5　溶融亜鉛メッキ仕上げ	撤去 ● 既存処理		（既存のまま）	（既存のまま）	
	(H.13) ＥＶ棟屋上 平　場	下地：デッキコンクリート下地 モルタル金鏝 t=18 防水：塩化ビニル樹脂系シート防水 t=1.5 絶縁工法	撤去 ● 既存処理		ケレン清掃の上、水性アクリル系仮防水材塗布	ウレタン塗膜防水 通気緩衝工法 (X-1) 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料	
	立　上	下地：ＡＬＣ板下地 樹脂モルタル薄塗り 防水：塩化ビニル樹脂系シート防水 t=1.5 密着工法	撤去 ● 既存処理		ケレン清掃の上、水性アクリル系仮防水材塗布	高靭性ウレタン塗膜防水 密着工法（メッシュフリー、X-2同等） 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料	
	笠　木	アルミ製 W=150	撤去 ● 既存処理		捨て笠木：ガルバリウム鋼板 t=0.4	カラーアルミ製既製品笠木 W=150 t=2	
	Ｒ.Ｄ	横引型 鋳鉄製 φ100	撤去 ● 既存処理		既存ドレン廻り斫り補修の上、防水モルタル修正	改修用銅製二重ドレン(キャップ共) φ100用	ＳＵＳ製脱気筒 70～80㎡/箇所
2	(S.58)(H.13) 屋根Ｃ（コミュニティ棟） 平　場	モルタル金鏝 t=20 + ゴムアスファルトルーフィング(冷工法) + アスファルトシングル葺き(接着工法) (H.13)上記屋根の上、フッ素鋼板成型瓦葺き t=0.6（既存屋根重ね葺き）	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)	屋根用遮熱塗料（低汚染・超耐久型）塗り 上塗り）水性フッ素樹脂系	
	立　上	(H.13)フッ素鋼板水切り t=0.6	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)、既存金属下地目粗し処理	高靭性環境対応型ウレタン塗膜防水 ローラー工法 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料	
	笠　木	アルミ製 W=220	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布	カラーアルミ製既製品笠木 W=225 t=2	
	Ｒ.Ｄ	横引型 白ガス管打ち込み	撤去 ● 既存処理		清掃	（既存のまま）	
	集水側溝	(H.13)フッ素鋼板 t=0.6 曲げ加工	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)、既存金属下地目粗し処理	高靭性環境対応型ウレタン塗膜防水 ローラー工法 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料	
	(H.03)(H.13) 風除室屋上（南） 平　場	下地：C-75x45x15x2.3 @450 根太組の上、ラワン合板 t=12 屋根：ＡＳルーフィング22kg + カラー鉄板 t=4 平葺き	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)、既存金属下地目粗し処理	高靭性環境対応型ウレタン塗膜防水 ローラー工法 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料	既存鋼板重なり部分：ガラスメッシュテープ処理
	立　上	カラー鉄板 t=0.4 水切り	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)、既存金属下地目粗し処理	高靭性環境対応型ウレタン塗膜防水 ローラー工法 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料	既存鋼板重なり部分：ガラスメッシュテープ処理
	笠木・幕板	カラーアルミパネル W=85 H=565	撤去 ● 既存処理		（既存取付アングル利用）	カラーアルミパネル t=3 笠木幕板曲げ加工	
	谷　樋	カラー鉄板 t=0.4 曲げ加工	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)、既存金属下地目粗し処理	高靭性環境対応型ウレタン塗膜防水 ローラー工法 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料	
	軒　天	(H.13)下地：軽量鉄骨天井下地 19形 仕上：カラーアルミスパンドレル t=1.0	撤去 ● 既存処理	下地,仕上共		下地：軽量鉄骨天井下地（屋外用） 仕上：けい酸ｶﾙｼｳﾑ板張り(ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK t6 目透し)　EP塗	
	(S.58) 庇（幼児プレイルーム前） 天　端	ＲＣ片持ちスラブ t=150 + 防水モルタル t=30 金鏝仕上げ	撤去 ● 既存処理			（既存のまま）	
	上　裏	コンクリート打放し ＡＰ塗り	撤去 ● 既存処理			竪樋：アルミ押出型材製 φ60 バンドレスタイプ　×２	
	(S.58) 庇（廊下脇） 平　場	防水モルタル t=30 金鏝仕上げ	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布	ウレタン塗膜防水 密着工法 (X-2) 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料	
	立　上	防水モルタル t=30 金鏝仕上げ	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布	ウレタン塗膜防水 密着工法 (X-2) 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料	
	笠　木	防水モルタル t=30 金鏝仕上げ	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布	ウレタン塗膜防水 密着工法 (X-2) 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料	
	Ｒ.Ｄ	竪引型 鋳鉄製 φ75	撤去 ● 既存処理		既存ドレン廻り斫り補修の上、防水モルタル修正	改修用銅製二重ドレン(キャップ共) φ75用	
	上　裏	コンクリート打放し マスチックローラー塗り ※石綿含有建材	撤去 ● 既存処理	既存塗膜全面除去	吹付下地材全撤去　※石綿除去処理工事 劣化補修(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材：ＣＭ－２ 軒天仕上：水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材	
	(増築) 風除室屋上（北・増築部分） 平　場				下地組：C-60x30x10x2.3 @450根太組　２%勾配付け 野地板：硬質木毛セメント板 t=25	塩化ビニル樹脂系シート防水 t=1.5 機械的固定工法	
	立　上				下地板：硬質木毛セメント板 t=20	塩化ビニル樹脂系シート防水 t=1.5 接着工法	
	笠　木					カラーアルミパネル t=3 笠木幕板曲げ加工	
	Ｒ.Ｄ					竪引型 鋳鉄製 φ90	

既存 石綿含有建材一覧表

部位	図面名称	含有成分	
外 壁	(S.58) アクリル系弾性吹付タイル	クリソタイル	検体採取場所 / 外部
内 壁	(S.58) マスチックＣＥローラー ＭＲ－ＣＥ	クリソタイル	検体採取場所 / 階段室
床	(H.13) 長尺塩ビ床シート張り t=2	クリソタイル	検体採取場所 / ２階　廊下
巾 木	(H.13) 塩ビ製	クリソタイル	検体採取場所 / ２階　廊下
壁	(H.13) ＰＢ t=9.5	クリソタイル	検体採取場所 / ２階　集会室

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	外部仕上表 1		０１４
SCALE Non	㈱ 千葉構造設計コンサルタント		A-14

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

外 部 仕 上 表 2

部位		既存部仕上表 改修前		既存部仕上表 備考	改修後仕上表 下地処理	改修後仕上表 改修後	改修後仕上表 備考
1 駐車場	(S.58)(H.13) 平場	押　え：保護モルタル t=20 + 土間コンクリート t=120 木鏝擦目仕上げ 防水層：コンクリート直押え アスファルト防水層(３層)	撤去 ● 既存処理		（既存のまま）	（既存のまま）	
	立上	コンクリート打放し アクリル系弾性吹付タイル ※石綿含有建材 (H.13)上記仕上の上、ＶＥエナメルローラー重ね塗り	撤去 ● 既存処理	既存塗膜全面除去	吹付下地材全撤去　※石綿除去処理工事 劣化補修(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材：ＣＭ－２ 仕上：ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り　上塗り）フッ素クリヤ塗装	
	天　井	(H.13)コンクリート打放し 軽量骨材吹付 ※石綿含有建材	撤去 ● 既存処理	既存塗膜全面除去	吹付下地材全撤去　※石綿除去処理工事 劣化補修(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材：ＣＭ－２ 軒天仕上：水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材	
通　路	(S.58)(H.13) 平場	押　え：保護モルタル t=20 + 土間コンクリート t=100 + レンガタイル張り 防水層：コンクリート直押え アスファルト防水層(３層)	撤去 ● 既存処理	床タイル仕上(下地モルタル共)を撤去対象	※改修後の仕上げレベル高が異なる場合 増打ちコンクリート打設（厚みは箇所による）　ワイヤメッシュ φ6-150x150敷設	下地：タイル下モルタル塗り 仕上：３００角磁器質(施釉)タイル張り	
	立上巾木	モルタル金鏝	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)	樹脂モルタル薄塗り	
	天　井	1.）クリンプ金網50目張り 亜鉛メッキの上、錆止め + ＳＯＰ塗装 (H.13)2.）コンクリート打放し 軽量骨材吹付　※石綿含有建材	撤去 ● 既存処理	既存塗膜全面除去	吹付下地材全撤去　※石綿除去処理工事	下地：軽量鉄骨天井下地（屋外用） 仕上：けい酸ｶﾙｼｳﾑ板張り(ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK t6 目透し）　EP塗	
外　壁	(S.58)(H.03)(H.13) 一　般	コンクリート打放し アクリル系弾性吹付タイル ※石綿含有建材 (H.13)上記仕上の上、ＶＥエナメルローラー重ね塗り	撤去 ● 既存処理	既存塗膜全面除去	吹付下地材全撤去　※石綿除去処理工事 劣化補修(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材：ＣＭ－２　Ｐコン跡,パネルライン入れ 仕上：ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り　上塗り）フッ素クリヤ塗装	
	立上り巾木	モルタル金鏝仕上	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)	樹脂モルタル薄塗り	
	風除室パネル（南）	(H.03)カラーアルミパネル t=3　パネル目地 @900	撤去 ● 既存処理	目地：ポリサルファイド系（チオコール）	（既存取付アングル利用）	カラーアルミパネル t=3　パネル目地 @900	
	ＥＶ棟	(H.13)ＡＬＣ板 t=100(一部t=125) アクリル系吹付タイル	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(10～15Mpa)	下地調整材：ＣＭ－２(Ｃ－２) 仕上：ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り　上塗り）フッ素クリヤ塗装	
	風除室パネル（北・増築部分）				取付アングル：L-4040X3 @450格子組	カラーアルミパネル t=3　パネル目地 @900	
	開口閉鎖壁				鉄骨胴縁組 C-100x50x20x2.3 @606 縦	下張り：強化ＰＢ(GB-F 防水防カビ仕様) t=12.5 + 防水シート：ポリエチレン系透湿防水シート t=0.2 仕上：窯業系サイディング 木質系繊維混入セメントケイカル板 t=16 横張り	防火構造認定仕様 参考/PC030NE-3902(2)
	打継,化粧目地	ポリサルファイド系シーリング W=15	撤去 ● 既存処理			ポリウレタン系シーリング（ＰＵ－２）	
	建具周囲シーリング	ポリサルファイド系シーリング W=10	撤去 ● 既存処理			変性シリコン径シーリング（ＭＳ－２）	
と　い	(S.58)(H.13) たて樋	(H.13)カラーＶＰ φ100	撤去 ● 既存処理	樋受け金物共		カラーＶＰ φ100	樋受け金物：ＳＵＳ製
	飾ります	鋼板製 230x280 ＳＯＰ塗装	撤去 ● 既存処理	※呼び樋は既存のままとする		カラー塩ビ製 角形 φ100用	
丸　環		スチール製 φ19 径160 ＳＯＰ塗装	撤去 ● 既存処理	取付プレート FB-6x70	鉄部ＲＢ種	錆止め + ＤＰ(１級)塗装	
			撤去 ● 既存処理				
手　摺		ＳＵＳ製パイプ φ42.7 Ｈ.Ｌ	撤去 ● 既存処理	取付プレート SUS-6x90 H.L @750	（既存のまま）	（既存のまま）	
			撤去 ● 既存処理				
屋上ハッチ		ＳＵＳ製 φ600	撤去 ● 既存処理		（既存のまま）	（既存のまま）	
			撤去 ● 既存処理				
タラップ		ＳＵＳ製 W=360 Ｈ.Ｌ　支柱：φ40　梯子：φ19-@350	撤去 ● 既存処理			ー時取外し、再取付（既存再使用する）	
			撤去 ● 既存処理				
ベンチ		テラゾブロック t=50	撤去 ● 既存処理		（既存のまま）	（既存のまま）	
館名表示		銅製箱文字 90x90	撤去 ● 既存処理	表記「富士見市立みずほ台コミュニティセンター」		（既存のまま）	表記「富士見市立みずほ台コミュニティセンター」 南北面：計２箇所

■ 準耐火建築物仕様表

用途	地域	規模	構造
コミュニティセンター（事務所・非特殊建築物）	□ 防火地域 □ 準防火地域 ■ 地域指定無し	地上　２　階 地下　　階 高さ　9.950　m	□ 木　造 ■ 鉄骨造 ■ 鉄筋コンクリート造

種別		指定	仕様	認定番号・建設省告示
□【 準耐火構造 】（準耐火時間：　分） □【 準耐火構造と同等の準耐火性能を有する構造 】（ロー１） ■【 準耐火構造と同等の準耐火性能を有する構造 】（ロー２）				
建築物の部分				
柱		不燃材料	鉄筋コンクリート造	告示1400号 1
梁		不燃材料	鉄筋コンクリート造	告示1400号 1
壁	外壁 延焼部分	準不燃材料,防火構造	鉄筋コンクリート造	告示1399号第1 2-イ
			窯業系サイディング 木質系繊維混入セメントケイカル板 t=16 横張り	参考/PC030NE-3902
	外壁 延焼外部分	準不燃材料	鉄筋コンクリート造	告示1400号 1
			アルミパネル	告示1400号 9
	間仕切壁（構造・防火上主要なもの）	準不燃材料	※該当無し	
床	３階以上の床	準不燃材料,準耐火構造等	※該当無し	
	その他(最下階を除く)	準不燃材料	鉄筋コンクリート造	告示1400号 1
屋根		不燃材料 その他の部分(野地板,垂木等)：準不燃材料	フッ素鋼板成型瓦葺き t=0.6	告示1400号 10
階段		準不燃材料	鉄筋コンクリート造	告示1400号 1

既存 石綿含有建材一覧表

部位	図面名称	含有成分	
外 壁	(S.58) アクリル系弾性吹付タイル	クリソタイル	検体採取場所 / 外部
内 壁	(S.58) マスチックＣＥローラー ＭＲ－ＣＥ	クリソタイル	検体採取場所 / 階段室
床	(H.13) 長尺塩ビ床シート張り t=2	クリソタイル	検体採取場所 / ２階　廊下
巾 木	(H.13) 塩ビ製	クリソタイル	検体採取場所 / ２階　廊下
壁	(H.13) ＰＢ t=9.5	クリソタイル	検体採取場所 / ２階　集会室

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	外部仕上表２		０１５
SCALE　Non	© ㈱ 千葉構造設計コンサルタント		A-15

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

内 部 仕 上 表 1

階	室名		床高	床	巾木	壁	天井	廻り縁	天井高さ	金物・家具・その他ユニット類	備考（その他改修項目）	室名
1階	S.58 H.13 ホール ↓ 多世代交流スペース	改修前	±0	下地 C 仕上 レンガタイル張り 210x100 撤去、処分(下地モルタル共)	下地 仕上 木製 撤去、処分 (H.13 VE) 100	下地 仕上 コンクリート打放し 既存塗膜全面除去 (S.58 MR-CE) (H.13 VEエナメル)	下地 LGS 撤去、処分 仕上 (H.13) PB t=9.5 ロックウール化粧吸音板 t=12 撤去、処分	(H.13) アルミ製	2,600	記載事項、全て撤去、処分とする アルミ製ブラインドBOX (H.13) 点字ブロック	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・室用途の変更を行う ・排煙区画として間段室面には防煙垂れ壁を設置とする ・外壁側となる内壁面にはLGSフカシ壁、及び内壁断熱を新設する	S.58 H.13 ホール ↓ 多世代交流スペース
		改修後	±0	下地処理 新設 タイルドモルタル塗り t=37 仕上 新設 300角磁器質(施釉)タイル張り	下地処理 仕上 新設 SUS製巾木 H.L (アルミ形材+SUS落掛金) 100	下地処理 1.) 新設 LGS(50形) 内壁断熱：グラスウール 32kg/m3 t=50 2.) 塗装改修 下地調整材：C-1 Pコン,パネルライン入れ 仕上 1.) 新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り 2.) 塗装改修 RC打放し調ファンデーションローラー塗り 上塗) シリコンクリヤ塗装	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5 + ロックウール化粧吸音板 t=12 (平板、フィッシャー柄)	新設 塩ビ製	2,600	記載事項、全て撤去とする [家具類] [住設器具] [金物・その他] アルミ製C BOX(埋込) 点字ブロック 天井点検口		
	S.58 H.03 出張所 ↓ 多世代交流スペース	改修前	+100	下地 C 仕上 レンガタイル張りの上、支持脚型OAフロア + ボーダーパネル500x500x25 タイルカーペット敷き 撤去、処分(下地モルタル共)	下地 仕上 塩ビ製 撤去、処分 60	下地 仕上 1.) PB t=12.5 ビニルクロス貼り 撤去、処分 2.) スチールパーテーション	下地 LGS 撤去、処分 仕上 (H.13) PB t=9.5 ロックウール化粧吸音板 t=12 撤去、処分	(H.13) アルミ製	2,600	記載事項、全て撤去とする (H.03) アルミ製ブラインドBOX 造作カウンター	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・室用途の変更を行う ・扉下側の間仕切り壁は全撤去とし、既存ホールと一体空間として利用出来るよう改修を行う ・外壁側となる内壁面にはLGSフカシ壁、及び内壁断熱を新設する	S.58 H.03 出張所 ↓ 多世代交流スペース
		改修後	±0	下地処理 新設 タイルドモルタル塗り t=37 仕上 新設 300角磁器質(施釉)タイル張り	下地処理 仕上 新設 SUS製巾木 H.L (アルミ形材+SUS落掛金) 100	下地処理 1.) 新設 LGS(50形) 内壁断熱：グラスウール 32kg/m3 t=50 2.) 塗装改修 下地調整材：C-1 Pコン,パネルライン入れ 仕上 1.) 新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り 2.) 塗装改修 RC打放し調ファンデーションローラー塗り 上塗) シリコンクリヤ塗装	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5 + ロックウール化粧吸音板 t=12 (平板、フィッシャー柄)	新設 塩ビ製	2,600	記載事項、全て撤去とする [家具類] [住設器具] [金物・その他] アルミ製C BOX(埋込) 点字ブロック 天井点検口		
	H.03 H.13 風除室	改修前	±0	下地 C 仕上 レンガタイル張り 210x100 撤去、処分(下地モルタル共)	下地 仕上	下地 L-30x30x3 仕上 カラーアルミパネル t=3 パネル目地 #900 撤去、処分	下地 LGS 撤去、処分 仕上 (H.13) PB t=9.5 ロックウール化粧吸音板 t=12 ストライプ柄 撤去、処分	(H.13) アルミ製	2,400	記載事項、全て撤去、処分とする (H.13) 点字ブロック	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・外壁側となる内壁面にはLGSフカシ壁を新設する	H.03 H.13 風除室
		改修後	±0	下地処理 新設 タイルドモルタル塗り t=37 仕上 新設 300角磁器質(施釉)タイル張り	下地処理 仕上 新設 SUS製巾木 H.L (アルミ形材+SUS落掛金) 100	下地処理 新設 LGS(50形) 内壁断熱：グラスウール 32kg/m3 t=50 仕上 新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5 + ロックウール化粧吸音板 t=12 (平板、フィッシャー柄)	新設 塩ビ製	2,400	記載事項、全て撤去とする [家具類] [住設器具] [金物・その他] 点字ブロック 天井点検口		
	S.58 H.03 休日夜間受付窓口 (事務室)	改修前	±0	下地 C 仕上 レンガタイル張り 210x100 撤去、処分(下地モルタル共)	下地 仕上 木製 撤去、処分 (H.13 VE) 100	下地 仕上 コンクリート打放し 既存塗膜全面除去 (S.58 MR-CE) (H.13 VEエナメル)	下地 LGS 撤去、処分 仕上 (H.13) PB t=9.5 ロックウール化粧吸音板 t=12 撤去、処分	(H.13) アルミ製	2,600	記載事項、全て撤去、処分とする アルミ製ブラインドBOX 流し台 L=1,050 1口ガスコンロ 吊戸棚 L=1,050	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・外壁側となる内壁面にはLGSフカシ壁、及び内壁断熱を新設する	S.58 H.03 休日夜間受付窓口 (事務室)
		改修後	±0	下地処理 新設 タイルドモルタル塗り t=37 仕上 新設 300角磁器質(施釉)タイル張り	下地処理 仕上 新設 SUS製巾木 H.L (アルミ形材+SUS落掛金) 100	下地処理 1.) 新設 LGS(50形) 内壁断熱：グラスウール 32kg/m3 t=50 2.) 塗装改修 下地調整材：C-1 Pコン,パネルライン入れ 仕上 1.) 新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り 2.) 塗装改修 RC打放し調ファンデーションローラー塗り 上塗) シリコンクリヤ塗装	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5 + ロックウール化粧吸音板 t=12 (平板、フィッシャー柄)	新設 塩ビ製	2,600	記載事項、全て撤去とする [家具類] 受付カウンター [住設器具] [金物・その他] アルミ製C BOX(埋込) 天井点検口		
	S.58 H.13 バリアフリートイレ	改修前	±0	下地 防水M 撤去、処分 仕上 25角磁器質モザイクタイル張り 撤去、処分	下地 仕上	下地 M 仕上 100角半磁器質タイル貼り	下地 LGS 撤去、処分 仕上 ケイカル板 t=6 目透し張り 撤去、処分 (H.13 EP)	塩ビ製	2,400	記載事項、全て撤去、処分とする SUS製手摺	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・間仕切り壁を拡張し、車いす回転用の内部有効スペースの確保を行う ・天井高の変更を行う	S.58 H.13 バリアフリートイレ
		改修後	±0	下地処理 新設 モルタル金鏝 t=50 仕上 新設 複層ビニル床シート(FS・消臭) t=2	下地処理 仕上 新設 SUS製巾木 H.L (アルミ形材+SUS落掛金) 100	下地処理 1.) 新設 LGS(65形) 2.) 新設 GL工法 (既存タイル面) 仕上 1.) 新設 PB(GB-S) t=12.5 + 防汚塗装化粧ケイカル板 t=6 2.) 新設 PB(GB-S)二重 t=12.5+12.5 + 防汚塗装化粧ケイカル板 t=6	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 ケイカル板 t=6 目透し張り EP	新設 塩ビ製	2,550	記載事項、全て撤去とする [家具類] [住設器具] [金物・その他] ※手摺はトイレパックにて対応(M) 天井点検口		
	S.58 倉庫(1)	改修前	±0	下地 コンクリート金鏝仕上げ 仕上	下地 仕上	下地 仕上 コンクリート打放し 素地	下地 仕上 コンクリート打放し 素地				・既存のままとする	S.58 倉庫(1)
		改修後	±0	下地処理 仕上 (既存のまま)	下地処理 仕上 (既存のまま)	下地処理 仕上 (既存のまま)	下地処理 仕上 (既存のまま)					
	S.58 H.13 プレイルーム	改修前	-1,700	下地 鋼製 仕上 大型積層板 t=27(表層材 t=6) 特殊張り (H.13 2-UC)	下地 仕上 木製 撤去、処分 (H.13 UC) 150	下地 W 仕上 難燃ベニヤ合板 t=9 + 桜合板 t=9 目透し張り (H.13 UC)	下地 LGS 撤去、処分 仕上 (H.13) ロックウール t=25 + 特殊有孔PB t=9.5 撤去、処分	木製 OS	4,650	記載事項、全て撤去、処分とする 床換気口：190x1,000	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・外壁側となる内壁面にはLGSフカシ壁、及び内壁断熱を新設する ・地下部分の止水壁CB積みは既存のままとする	S.58 H.13 プレイルーム
		改修後		下地処理 塗装改修 ｻﾝﾀﾞｰ掛け(既存塗膜全面除去) 仕上 塗装改修 2-UC塗	下地処理 仕上 新設 木製 UC 150	下地処理 新設 LGS(100形) 内壁断熱：グラスウール 32kg/m3 t=50 仕上 新設 ベニヤ合板 t=12 + シナ合板 t=6 目透し張り (UC)	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 ロックウールボード 80K t=25 + 化粧有孔PB(角孔) t=9.5	新設 塩ビ製	4,650	[住設器具] [金物・その他] SUS製床下換気孔 天井点検口		
	S.58 H.13 踏込 (プレイルーム)	改修前	-1,850 -1,700	下地 1.) C 2.) 鋼製 仕上 1.) レンガタイル張り 210x100 撤去、処分(下地モルタル共) (H.13 2-UC) 2.) 大型積層板 t=27(表層材 t=6) 特殊張り	下地 仕上	下地 (S.58 アクリル系弾性吹付タイル) 仕上 コンクリート打放し 既存塗膜全面除去 (H.13 VEエナメル)	下地 仕上 コンクリート打放し (H.13 軽量骨材吹付)			記載事項、全て撤去とする 上り框：テラゾブロック t=30	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・地下部分の止水壁CB積みは既存のままとする ・改修後は天井張りを新設とする	S.58 H.13 踏込 (プレイルーム)
		改修後	-1,850 -1,700	下地処理 1.) 新設 モルタル金鏝 t=50 2.) 塗装改修 ｻﾝﾀﾞｰ掛け(既存塗膜全面除去) 仕上 1.) 新設 屋外用防滑ビニル床シート(FS) t=2.5 2.) 塗装改修 2-UC塗	下地処理 仕上 新設 木製 UC 150	下地処理 1.) 新設 LGS(65形) 2.) 塗装改修 下地調整材：C-1 Pコン,パネルライン入れ 仕上 1.) 新設 PB(GB-S) t=12.5 + ケイカル板 t=6 木目調化粧シート貼り 2.) 塗装改修 RC打放し調ファンデーションローラー塗り 上塗) 水性フッ素クリヤ塗装	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地(屋外用) 仕上 新設 カラーアルミスパンドレル張り t=1.6 W=120	新設 アルミ製	2,700	記載事項、全て撤去とする [家具類] [住設器具] [金物・その他] 上り框：床タイル役物 階段手摺：SUS製 支柱式 床点検口 排水溝蓋 天井点検口		
	S.58 物入(1) (プレイルーム)	改修前	-1,700	下地 鋼製 仕上 大型積層板 t=27(表層材 t=6) 特殊張り UC	下地 仕上 木製 撤去、処分 UC 150	下地 W 撤去、処分 仕上 難燃ベニヤ合板 t=9 目透し張り 撤去、処分 OSC	下地 LGS 撤去、処分 仕上 ケイカル板 t=6 目透し張り 撤去、処分 EP	木製 OS	3,000	記載事項、全て撤去とする [家具類] [住設器具] [金物・その他] 天井点検口	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・地下部分の止水壁CB積みは既存のままとする	S.58 物入(1) (プレイルーム)
		改修後	-1,700	下地処理 塗装改修 ｻﾝﾀﾞｰ掛け(既存塗膜全面除去) 仕上 塗装改修 2-UC塗	下地処理 仕上 新設 木製 UC 150	下地処理 新設 LGS(65,90形) 内壁断熱：グラスウール 32kg/m3 t=50 仕上 新設 ベニヤ合板 t=12 + シナ合板 t=6 目透し張り UC	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 化粧PB t=9.5	新設 塩ビ製	3,000			
	S.58 物入(2),(3) (プレイルーム)	改修前	-1,715	下地 鋼製 仕上 耐水ベニヤ合板 t=15 撤去、処分	下地 仕上	下地 仕上 CB積み 素地	下地 仕上 コンクリート打放し 素地		1,350		・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・地下部分の止水壁CB積みは既存のままとする	S.58 物入(2),(3) (プレイルーム)
		改修後		下地処理 仕上 新設 仕上：T1耐水ベニヤ t=15 素地	下地処理 塗装改修 (木部) RB種 仕上 塗装改修 (木部) SOP 150	下地処理 仕上 (既存のまま)	下地処理 仕上 (既存のまま)		—			
	S.58 H.13 美術室	改修前	-15	下地 M 撤去、処分 仕上 人造御影石 t=25 400x400 樹脂目地 撤去、処分	下地 仕上 人造御影石 t=20 アール加工 撤去、処分 100	下地 仕上 1.) コンクリート打放し 2.) 半磁器質タイル貼り ※水廻り 撤去、処分 (H.13 VEエナメル)	下地 仕上 1.) — 2.) LGS 撤去、処分 1.) コンクリート打放し 2.) (H.13) ロックウール化粧吸音板 t=12 撤去、処分 (H.13 測量骨材吹付)	木製 OS	3,425 ／ 2,600	記載事項、全て撤去、処分とする 流し台(美術用) L=1,670 流し台(調理用) L=1,800 水切り棚 L=1,200 調理台 L=2,100 コンロ台 L=750 吊戸棚 L=4,650 カーテンレール：SUSパイプ φ60 (H.13) アコーディオンカーテン	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・室用途の変更を行う ・天井形状の変更を行う ・風除室増築に伴い、北側RC壁の一部を撤去とする ・風除室は鉄骨造にて増築配置とする。 ・床仕上レベルの変更はコンクリート増打ちにて調整する事 ・事務スペース側はOAフロアを導入する。待合スペースとのレベル差はOAフロア専用のユニット式スロープにて調整する事。 ・外壁側となる内壁面にはLGSフカシ壁、及び内壁断熱を新設する	S.58 H.13 美術室
	出張所	改修後	+65 +125	下地処理 1.) 新設 コンクリート増打ち t=85 タイルドモルタル塗り t=30 2.) 新設 コンクリート増打ち t=125 セメント系セルフレベリング t=15 仕上 1.) 新設 300角磁器質(施釉)タイル張り 2.) 新設 置敷式薄配線OAフロアパネル t=40 + 置敷きビニル床タイル(FOA) t=5	下地処理 仕上 1.) 新設 SUS製巾木 H.L 100 新設 ビニル巾木 60	下地処理 1.) 新設 コンクリート打放し 2.) 塗装改修 (コンクリート面) RB種 仕上 1.) 新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り 2.) 塗装改修 (コンクリート面) EP	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5 + ロックウール化粧吸音板 t=12 (平板、フィッシャー柄)	新設 塩ビ製	2,800	記載事項、全て撤去とする [家具類] 受付カウンター 記載台 [住設器具] ミニキッチン [金物・その他] 点字ブロック 天井点検口		出張所 ←
	風除室(北)	改修後	+65	下地処理 1.) 新設 コンクリート増打ち t=85 タイルドモルタル塗り t=30 2.) 新設 コンクリート増打ち t=125 セメント系セルフレベリング t=15 仕上 1.) 新設 300角磁器質(施釉)タイル張り 2.) 新設 置敷式薄配線OAフロアパネル t=40 + 置敷きビニル床タイル(FOA) t=5	下地処理 仕上 新設 SUS製巾木 H.L 100	下地処理 新設 LGS(50形)、LGS(25形)#303 横胴縁 仕上 新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5 + ロックウール化粧吸音板 t=12 (平板、フィッシャー柄)	新設 塩ビ製	2,425	記載事項、全て撤去とする [家具類] [住設器具] ミニキッチン [金物・その他] 点字ブロック 天井点検口		風除室(北) ←
	S.58 H.13 幼児プレイルーム	改修前	-15	下地 M 撤去、処分 仕上 ナラフローリングブロック t=15 (H.13) タイルカーペット敷き 撤去、処分	下地 仕上 木製 撤去、処分 (H.13 VE) 100	下地 コンクリート打放し 仕上 (H.13) ビニルクロス貼り 撤去、処分	下地 LGS 撤去、処分 仕上 (H.13) ロックウール化粧吸音板 t=12 撤去、処分	塩ビ製	2,700 ／ 3,950	記載事項、全て撤去、処分とする 造作書架 カーテンレール：SUSパイプ φ60	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・室用途の変更を行う ・天井形状の変更を行う ・間仕切り壁を新設し、室の追加を行う ・床仕上レベルの変更はコンクリート増打ちにて調整する事 ・外壁側となる内壁面にはLGSフカシ壁、及び内壁断熱を新設する	S.58 H.13 幼児プレイルーム
	幼児プレイルーム	改修後	+65	下地処理 新設 コンクリート増打ち t=120 金鏝押え 仕上 新設 クッションフロア(KS・衝撃吸収) t=4.5	下地処理 仕上 新設 木製(住設塗装品) 100	下地処理 1.) 新設 LGS(50,65形) 内壁断熱：グラスウール 32kg/m3 t=50 2.) 塗装改修 (コンクリート面) RB種 仕上 1.) 新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り 2.) 塗装改修 (コンクリート面) EP	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5 + ビニルクロス貼り	新設 塩ビ製	2,800	記載事項、全て撤去とする [家具類] [住設器具] [金物・その他] アルミ製C BOX(露出) 天井点検口		幼児プレイルーム ←
	授乳室		+65	下地処理 新設 コンクリート増打ち t=120 金鏝押え 仕上 新設 クッションフロア(KS・衝撃吸収) t=4.5	下地処理 仕上 新設 木製(住設塗装品) 100	下地処理 新設 LGS(50,65形) 内壁断熱：グラスウール 32kg/m3 t=50 仕上 新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5 + ロックウール化粧吸音板 t=12 (平板、フィッシャー柄)	新設 塩ビ製	2,600	記載事項、全て撤去とする [家具類] [住設器具] ミニキッチン [金物・その他]		授乳室 ←
	S.58 H.13 談話室(3)	改修前	-15	下地 M 撤去、処分 仕上 ナラフローリングブロック t=15 撤去、処分 (H.13 UC)	下地 仕上 木製 撤去、処分 (H.13 VE) 100	下地 コンクリート打放し 仕上 (H.13) ビニルクロス貼り 撤去、処分	下地 LGS 撤去、処分 仕上 (H.13) ロックウール化粧吸音板 t=12 撤去、処分	塩ビ製	2,450 ～ 3,350		・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・室用途の変更を行う ・天井形状の変更を行う ・床仕上レベルの変更はコンクリート増打ちにて調整する事 ・外壁側となる内壁面にはLGSフカシ壁、及び内壁断熱を新設する	S.58 H.13 談話室(3) ↓ 地域活動室
		改修後	+65	下地処理 新設 コンクリート増打ち t=120 金鏝押え 仕上 新設 複層ビニル床タイル(FT・木目柄) t=3 150x900	下地処理 仕上 新設 ビニル巾木 100	下地処理 1.) 新設 LGS(50,65形) 内壁断熱：グラスウール 32kg/m3 t=50 2.) 塗装改修 (コンクリート面) RB種 仕上 1.) 新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り 2.) 塗装改修 (コンクリート面) EP	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5 + ロックウール化粧吸音板 t=12 (平板、フィッシャー柄)	新設 塩ビ製	2,800	記載事項、全て撤去とする [家具類] [住設器具] セクショナルキッチン (コンロ台、コンロ台、調理台、流し台 水切り棚、吊戸棚) [金物・その他] アルミ製C BOX(露出) 天井点検口		

既存 石綿含有建材一覧表

部位	図面名称	含有成分	
外 壁	S.58 アクリル系弾性吹付タイル	クリソタイル	検体採取場所 / 外部
内 壁	S.58 マスチックCEローラー MR-CE	クリソタイル	検体採取場所 / 階段室
床	H.13 長尺塩ビ床シート張り t=2	クリソタイル	検体採取場所 / 2階 廊下
巾 木	H.13 塩ビ製	クリソタイル	検体採取場所 / 2階 廊下
壁	H.13 PB t=9.5	クリソタイル	検体採取場所 / 2階 集会室

【材料略号】
- st ：鉄
- SUS：ステンレス
- AL ：アルミ
- LGS：軽量形鋼
- FB ：フラットバー（平鋼）
- PL ：プレート （平鋼）
- ALC：軽量気泡コンクリート
- CB ：コンクリートブロック
- AP ：アルミパネル
- RC ：コンクリート

【P.B】

略記号無し	せっこうボード
GB-R-H	普通硬質せっこうボード
GB-S	シージングせっこうボード
GB-F	強化せっこうボード
GB-NC	不燃積層せっこうボード
XP-5	鉛複合せっこうボード 厚みは鉛板厚を示す

【塗装略号】
- VE ：塩化ビニル樹脂エナメル塗
- AE ：アクリル樹脂エナメル塗
- FE ：フタル酸樹脂エナメル塗
- OS ：オイルステイン塗
- OSV：オイルステインワニス塗
- UC ：ウレタン樹脂クリア塗
- AC ：アクリル樹脂クリア塗
- CL ：クリアラッカー塗
- EP ：合成樹脂エマルションペイント塗
- SOP：合成樹脂調合ペイント塗
- WP ：木材保護塗料塗
- DP ：耐候性塗料塗り(ポリウレタン樹脂塗装)

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		内部仕上表 1	016
SCALE Non		© ㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-16

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）1436号 一級建築士大臣登録 第316560号 山崎 栄市

内 部 仕 上 表 2

階	室名		床高	床 (塗装)	巾木 (塗装) (高さ)	壁 (塗装)	天井 (塗装)	廻り縁	天井高さ	金物・家具・その他ユニット類	備考（その他改修項目）	室名
2階	S.58 H.13 談話コーナー ↓ 学習室	改修前	+100	下地 W（根太組） 撤去、処分 仕上 耐水ベニヤ合板 t=9 捨張り＋桧繰甲板張り t=15 撤去、処分	下地 仕上 木製 撤去、処分 H.13 UC 100	下地 1.）コンクリート打放し 既存塗膜全面除去 H.13 MR−CE 2.）ビーリングボード張り H=1,340 撤去、処分 VEエナメル	下地 LGS 撤去、処分 仕上 木目調(杉芯数目)化粧PB t=9.5 H.13 杉柾調ビニルクロス貼り 撤去、処分	木製	2,330 〜 2,880	記載事項、全て撤去、処分とする 木製ブランドBOX 木製下足箱 据込み炉 600x600	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・室用途の変更を行う ・天井形状の変更を行う ・空調配管用のPSを一部新設する ・階段室側に新たに開口切り壁を新設とする ・床下地根太組は撤去とし、廊下側とのレベル差を0とする ・外壁側となる内壁面にはLGSフカシ壁、及び内壁断熱を新設する	S.58 H.13 談話コーナー ↓ 学習室
		改修後	±0	下地処理 新設 モルタル金鏝 t=30 仕上 新設 複層ビニル床タイル(FT・木目柄) t=3 150x900	下地処理 仕上 新設 ビニル巾木 100	下地処理 1.）新設 LGS(50,65,100形) 内壁断熱：グラスウール 32kg/m3 t=50 2.）塗装改修 (コンクリート面) RB種 仕上 1.）新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り ※一部遮音構造壁仕様 2.）塗装改修 (コンクリート面) EP	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5＋ロックウール化粧吸音板 t=12（平板、フィッシャー柄） 新設 塩ビ製	2,800	記載事項、全て新設とする 【家具類】 学習机	【住設器具】 【金物・その他】 アルミ製C.BOX(埋込) 天井点検口	
	S.58 H.13 談話室(1)・(2)	改修前	+100	下地 H.13 W（根太組） 撤去、処分 仕上 H.13 耐水ベニヤ合板 t=9 捨張り＋桧繰甲板張り t=15 撤去、処分	下地 仕上 木製 撤去、処分 H.13 UC 100	下地 LGS 撤去、処分 仕上 PB t=12.5＋9.5 H.13 ビニルクロス貼り 撤去、処分	下地 LGS 撤去、処分 仕上 木目調(杉芯数目)化粧PB t=9.5 H.13 杉柾調ビニルクロス貼り 撤去、処分	木製	2,330 〜 3,000	記載事項、全て撤去、処分とする 木製ブランドBOX	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・内部間仕切り壁、レイアウトの変更を行う ・天井形状の変更を行う ・空調配管用のPSを一部新設する ・床下地根太組は撤去とし、廊下側とのレベル差を0とする ・廊下側、学習室側の間仕切り壁は遮音構造壁仕様とする ・外壁側となる内壁面にはLGSフカシ壁、及び内壁断熱を新設する	S.58 H.13 談話室(1)・(2)
	S.58 H.13 踏 込 (談話室2)	改修前	±0	下地処理 1.）M 2.）H.13 W（根太組） 仕上 1.）150角磁器質タイル張り 2.）H.13 耐水ベニヤ合板 t=9 捨張り＋桧繰甲板張り t=15 撤去、処分	下地処理 仕上 木製 撤去、処分 H.13 UC 100	下地処理 1.）LGS 2.）C＋GL工法 仕上 1.）PB t=12.5＋9.5 H.13 ビニルクロス貼り 2.）PB t=9.5 H.13 ビニルクロス貼り 撤去、処分	下地処理 LGS 撤去、処分 仕上 木目調(杉芯数目)化粧PB t=9.5 H.13 杉柾調ビニルクロス貼り 撤去、処分	木製	2,330	記載事項、全て撤去、処分とする 木製ブランドBOX 上り框：桧		S.58 H.13 踏 込 (談話室2)
	S.58 押 入 (談話室2)	改修前	+100	下地 W（根太組） 撤去、処分 仕上 耐水ベニヤ合板 t=6 撤去、処分	下地 仕上 木製(雑巾掛け) 撤去、処分 18	下地 LGS 撤去、処分 仕上 難燃ベニヤ合板 t=5.5 撤去、処分	下地 LGS 撤去、処分 仕上 1.）難燃ベニヤ合板 t=5.5 2.）ケイカル板 t=6(天袋天井) 撤去、処分	木製	—			S.58 押 入 (談話室2)
	多目的室2	改修後	±0	下地処理 新設 モルタル金鏝 t=30 仕上 新設 複層ビニル床タイル(FT・木目柄) t=3 150x900	下地処理 仕上 新設 ビニル巾木 100	下地処理 1.）新設 LGS(50,65,100形) 内壁断熱：グラスウール 32kg/m3 t=50 2.）塗装改修 (コンクリート面) RB種 仕上 1.）新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り ※一部遮音構造壁仕様 2.）塗装改修 (コンクリート面) EP	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5＋ロックウール化粧吸音板 t=12（平板、フィッシャー柄） 新設 塩ビ製	2,800	記載事項、全て新設とする 【家具類】	【住設器具】 【金物・その他】 アルミ製C.BOX(埋込) 天井点検口	多目的室2
	物入B		±0	下地処理 新設 モルタル金鏝 t=30 仕上 新設 複層ビニル床タイル(FT・木目柄) t=3 150x900	下地 仕上 新設 ビニル巾木 100	下地 1.）新設 LGS(50,65,100形) 内壁断熱：グラスウール 32kg/m3 t=50 2.）塗装改修 (コンクリート面) RB種 仕上 1.）新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り ※一部遮音構造壁仕様 2.）塗装改修 (コンクリート面) EP	下地 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 化粧PB t=9.5 新設 塩ビ製	2,600	記載事項、全て新設とする 【家具類】	【住設器具】 【金物・その他】 アルミ製C.BOX(露出) 天井点検口	物入B
	S.58 H.13 給湯室	改修前	-30	下地 アスファルト防水 仕上 25角磁器質モザイクタイル張り 撤去、処分(下地モルタル共)	下地 仕上 100	下地 M 仕上 1.）100角半磁器質タイル貼り 2.）100角デザインタイル貼り	下地 LGS 撤去、処分 仕上 H.13 ケイカル板 t=6 目透し張り 撤去、処分 H.13 EP	塩ビ製	2,500	記載事項、全て撤去、処分とする 流し台 L=1,800 コンロ台 L=600 吊戸棚 L=1,650	水切棚 L=1200	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・床仕上レベルの変更はモルタル塗りにて調整する事 ・天井高の変更を行う	S.58 H.13 給湯室
		改修後	±0	下地処理 新設 レベル調整 モルタル金鏝 t=60 仕上 新設 複層ビニル床シート(FS・消臭) t=2	下地処理 仕上 新設 SUS製巾木 H.L (アルミ形材＋SUS箔複合) 100	下地処理 新設 GL工法（既存タイル面） 仕上 新設 PB(GB-S) t=12.5＋防汚塗装化粧ケイカル板 t=6	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 ケイカル板 t=6 目透し張り EP 新設 塩ビ製	2,550	記載事項、全て新設とする 【家具類】 ラミニング天板：メラミンポストフォーム	【住設器具】 システムキッチン SUS製シンク 【金物・その他】 化粧鏡板製3方枠 天井点検口	
	S.58 H.13 廊 下	改修前	±0	下地 M 仕上 H.13 長尺塩ビ床シート張り t=2 撤去、処分	下地 仕上 H.13 塩ビ製 撤去、処分 100	下地 1.）S.58 MR−CE 仕上 コンクリート打放し 既存塗膜全面除去 H.13 VEエナメル	下地 LGS 撤去、処分 仕上 H.13 ロックウール化粧吸音板 t=12 撤去、処分	塩ビ製	2,600			・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M)	S.58 H.13 廊 下
		改修後	±0	下地処理 ケレン清掃 仕上 新設 複層ビニル床シート(FS) t=2	下地処理 仕上 新設 ビニル巾木 75	下地処理 1.）新設 LGS(65,100形) 2.）塗装改修 下地調整材：C-1 Pコン、パネルライン入れ 仕上 1.）新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り ※一部遮音構造壁仕様 2.）塗装改修 RC打放し調ファンデーションローラー塗り 上塗）シリコンクリヤ塗装	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5＋ロックウール化粧吸音板 t=12（平板、フィッシャー柄） 新設 塩ビ製	2,600	記載事項、全て新設とする 【家具類】	【住設器具】 【金物・その他】 アルミ製C.BOX(埋込) 天井点検口	
	S.58 倉庫(3)	改修前	+900	下地 仕上 コンクリート金鏝仕上げ	下地 仕上	下地 仕上 コンクリート打放し 素地	下地 仕上 木毛セメント板 t=25 現し	—			・既存のままとする	S.58 倉庫(3)
		改修後		下地処理 仕上 （既存のまま）	下地処理 仕上 （既存のまま）	下地処理 仕上 （既存のまま）	下地処理 仕上 （既存のまま）					
	S.58 H.13 和 室	改修前	+100	下地 W（根太組） 撤去、処分 仕上 H.13 タタミ敷き 撤去、処分	下地 仕上 タタミ寄せ 撤去、処分	下地 1.）C＋GL工法 2.）W 撤去、処分 仕上 PB t=9.5 H.13 ビニルクロス貼り 撤去、処分	下地 LGS 撤去、処分 仕上 木目調(杉芯数目)化粧PB t=9.5 H.13 杉柾調ビニルクロス貼り 撤去、処分	木製	2,515 〜 3,020	記載事項、全て撤去、処分とする	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・開口切り壁位置は既存同等とし、内装材(下地共)の全改修を行う ・据込み炉は既存利用とする	S.58 H.13 和 室
		改修後		下地処理 新設 建材畳床D種畳形 仕上 新設 建材畳床D種畳形	下地処理 仕上 新設 木製(タタミ寄せ)	下地処理 新設 GL工法（既存RC面） 新設 木製壁軸組 仕上 新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5 杉柾調ビニルクロス貼り	新設 木製	2,515 〜 3,020	記載事項、全て新設とする 【家具類】	【住設器具】 【金物・その他】	
	S.58 H.13 踏 込 (和 室)	改修前	±0	下地 1.）M 2.）H.13 W（根太組） 撤去、処分 仕上 1.）150角磁器質タイル張り 2.）H.13 耐水ベニヤ合板 t=9 捨張り＋桧繰甲板張り t=15 撤去、処分	下地 仕上 木製 撤去、処分 H.13 UC 100	下地 1.）C＋GL工法 2.）W 撤去、処分 仕上 PB t=9.5 H.13 ビニルクロス貼り 撤去、処分	下地 LGS 撤去、処分 仕上 木目調(杉芯数目)化粧PB t=9.5 H.13 杉柾調ビニルクロス貼り 撤去、処分	木製	3,020	記載事項、全て撤去、処分とする 上り框：桧	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・開口切り壁位置は既存同等とし、内装材(下地共)の全改修を行う	S.58 H.13 踏 込 (和 室)
		改修後		下地処理 1.）新設 タイル下モルタル塗り 2.）新設 木製コロガシ根太組 仕上 1.）新設 150角磁器タイル張り 2.）新設 捨張：T1耐水ベニヤ t=9＋仕上：桧繰甲板張り t=15	下地処理 仕上 新設 木製 UC 100	下地処理 1.）新設 GL工法（既存RC面） 2.）新設 木製壁軸組 仕上 新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5 杉柾調ビニルクロス貼り	新設 木製	3,020	記載事項、全て新設とする 【家具類】	【住設器具】 【金物・その他】 上り框：桧 天井点検口	
	S.58 H.13 床の間 (和 室)	改修前	+100	下地 W（根太組） 撤去、処分 仕上 耐水ベニヤ合板 t=9 捨張り＋桧繰甲板張り t=15 撤去、処分	下地 仕上 木製 撤去、処分 H.13 UC 100	下地 1.）C＋GL工法 2.）W 撤去、処分 仕上 PB t=9.5 H.13 ビニルクロス貼り 撤去、処分	下地 LGS 撤去、処分 仕上 網代張り(難燃処理) H.13 杉柾調ビニルクロス貼り 撤去、処分	木製	2,400		・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・開口切り壁位置は既存同等とし、内装材(下地共)の全改修を行う	S.58 H.13 床の間 (和 室)
		改修後		下地処理 新設 木製ころばし根太組 仕上 新設 捨張：T1耐水ベニヤ t=9＋仕上：桧繰甲板張り t=15	下地処理 仕上 新設 木製 UC 100	下地処理 1.）新設 LGS(50,65,100形) 内壁断熱：グラスウール 32kg/m3 t=50 2.）新設 GL工法（既存RC面） 3.）新設 木製壁軸組 仕上 新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5 杉柾調ビニルクロス貼り	新設 木製	2,400	記載事項、全て新設とする 【家具類】	【住設器具】 【金物・その他】	
	S.58 押 入 (和 室)	改修前	+100	下地 W（根太組） 撤去、処分 仕上 耐水ベニヤ合板 t=6 撤去、処分	下地 仕上 木製(雑巾掛け) 撤去、処分 18	下地 LGS 撤去、処分 仕上 難燃ベニヤ合板 t=5.5 撤去、処分	下地 LGS 撤去、処分 仕上 1.）難燃ベニヤ合板 t=5.5 2.）ケイカル板 t=6(天袋天井) 撤去、処分	木製	—		・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・開口切り壁位置は既存同等とし、内装材(下地共)の全改修を行う	S.58 押 入 (和 室)
		改修後		下地処理 新設 木製ころばし根太組 仕上 新設 T1耐水ベニヤ t=9	下地処理 仕上 新設 木製(雑巾掛け)	下地処理 新設 木製壁軸組 仕上 新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 化粧PB t=9.5	新設 木製	—	記載事項、全て新設とする 【家具類】	【住設器具】 【金物・その他】	
	S.58 H.13 板の間 (和 室)	改修前	+100	下地 W（根太組） 撤去、処分 仕上 耐水ベニヤ合板 t=9 捨張り＋桧繰甲板張り t=15 撤去、処分	下地 仕上 木製 撤去、処分 H.13 UC 100	下地 1.）C＋GL工法 2.）W 撤去、処分 仕上 PB t=9.5 H.13 ビニルクロス貼り 撤去、処分	下地 LGS 撤去、処分 仕上 木目調(杉芯数目)化粧PB t=9.5 H.13 杉柾調ビニルクロス貼り 撤去、処分	木製	2,250 〜 2,465	記載事項、全て撤去、処分とする 木製ブランドBOX	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・開口切り壁位置は既存同等とし、内装材(下地共)の全改修を行う ・外壁側となる内壁面にはLGSフカシ壁、及び内壁断熱を新設する	S.58 H.13 板の間 (和 室)
		改修後		下地処理 新設 木製ころばし根太組 仕上 新設 捨張：T1耐水ベニヤ t=9＋仕上：桧繰甲板張り t=15	下地処理 仕上 新設 木製 UC 100	下地処理 1.）新設 GL工法（既存RC面） 2.）新設 木製壁軸組 仕上 新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5 網代柄ビニルクロス貼り	新設 木製	1,980 〜 2,460	記載事項、全て新設とする 【家具類】	【住設器具】 【金物・その他】 アルミ製C.BOX(埋込) 天井点検口	
	S.58 H.13 水 屋 (和 室)	改修前	+100	下地 W（根太組） 撤去、処分 仕上 H.13 タタミ敷き 撤去、処分	下地 仕上 タタミ寄せ 撤去、処分	下地 1.）C＋GL工法 2.）W 撤去、処分 仕上 PB t=9.5 H.13 ビニルクロス貼り 撤去、処分	下地 LGS 撤去、処分 仕上 木目調(杉芯数目)化粧PB t=9.5 H.13 杉柾調ビニルクロス貼り 撤去、処分	木製	3,020 〜 4,130	記載事項、全て撤去、処分とする 水屋木製造作棚類	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・開口切り壁位置は既存同等とし、内装材(下地共)の全改修を行う	S.58 H.13 水 屋 (和 室)
		改修後		下地処理 新設 木製ころばし根太組 仕上 新設 建材畳床D種畳形	下地処理 仕上 新設 木製(タタミ寄せ)	下地処理 1.）新設 GL工法（既存RC面） 2.）新設 木製壁軸組 仕上 新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5 杉柾調ビニルクロス貼り	新設 木製	3,020 〜 4,130	記載事項、全て新設とする 【家具類】	【住設器具】 【金物・その他】 水屋木製造作棚類	

既存 石綿含有建材一覧表

部位	図面名称	含有成分	
外 壁	S.58 アクリル系弾性吹付タイル	クリソタイル	検体採取場所 / 外部
内 壁	S.58 マスチックCEローラー MR−CE	クリソタイル	検体採取場所 / 階段室
床	H.13 長尺塩ビ床シート張り t=2	クリソタイル	検体採取場所 / 2階 廊下
巾 木	H.13 塩ビ製	クリソタイル	検体採取場所 / 2階 廊下
壁	H.13 PB t=9.5	クリソタイル	検体採取場所 / 2階 集会室

【材料略号】
st ：鉄
SUS：ステンレス
AL ：アルミ
LGS：軽量形鋼
FB ：フラットバー（平鋼）
PL ：プレート （平鋼）
ALC：軽量気泡コンクリート
CB ：コンクリートブロック
AP ：アルミパネル
RC ：コンクリート

【P.B】
略記号無し せっこうボード
GB-R-H 普通硬質せっこうボード
GB-S シージングせっこうボード
GB-F 強化せっこうボード
GB-NC 不燃積層せっこうボード
XP-5 鉛複合せっこうボード 厚みは鉛板厚を示す

【塗装略号】
VE ：塩化ビニル樹脂エナメル塗
AE ：アクリル樹脂エナメル塗
FE ：フタル酸樹脂エナメル塗
OS ：オイルステイン塗
OSV：オイルステインワニス塗
UC ：ウレタン樹脂クリア塗
AC ：アクリル樹脂クリア塗
CL ：クリアラッカー塗
EP ：合成樹脂エマルションペイント塗
SOP：合成樹脂調合ペイント塗
WP ：木材保護塗料塗
DP ：耐候性塗料塗り(ポリウレタン樹脂塗装)

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		内部仕上表 2	017
SCALE Non		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-17

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）1436号 一級建築士大臣登録 第316560号 山崎 栄市

内 部 仕 上 表 3

階	室名		床高	床	巾木	壁	天井	廻り縁	天井高さ	金物・家具・その他ユニット類	備考（その他改修項目）	室名
	S.58 H.13 第１～３集会室	改修前	±０	下地 M 仕上 H.13 タイルカーペット敷き 500x500 撤去、処分	下地 仕上 木製 撤去、処分 (塗装) H.13 VE (高さ) 100	下地 C＋GL工法 撤去、処分 仕上 PB t=9.5 H.13 ビニルクロス貼り 撤去、処分	下地 LGS 撤去、処分 仕上 H.13 PB t=9.5 (塗装) H.13 EP	木製 VE	2,500 ↓ 4,215	記載事項、全て撤去、処分とする 木製ブラインドBOX スクリーンBOX 電動OHP兼用 1,800x1,800 遮音スライディングウォール	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・天井形状の変更を行う ・外壁側となる内壁面にはLGSフカシ壁、及び内壁断熱を新設する	S.58 H.13 第１～３集会室
		改修後		下地処理 ケレン清掃 仕上 新設 ナイロンパイル製タイルカーペット t=6.5 500x500	下地処理 仕上 新設 ビニル巾木 100	1.) 新設 LGS(50,65形) 内壁断熱：グラスウール 32kg/m3 t=50 2.) 塗装改修 (コンクリート面) RB種 1.) 新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り 2.) 塗装改修 (コンクリート面) EP	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5＋ロックウール化粧吸音板 t=12（平板、フィッシャー柄） 新設 塩ビ製		2,130/2,700 ↓ 4,075	記載事項、全て撤去とする 【家具類】 【住設器具】 【金物・その他】 アルミ製C．BOX（埋込） ピクチャーレール 天井点検口		
	S.58 H.13 読書室(1)	改修前	±０	下地 M 仕上 H.13 タイルカーペット敷き 500x500 撤去、処分	下地 仕上 木製 撤去、処分 (塗装) H.13 VE (高さ) 100	下地 コンクリート打放し 仕上 H.13 ビニルクロス貼り 撤去、処分	下地 LGS 撤去、処分 仕上 H.13 PB t=9.5 ロックウール化粧吸音板 t=12 撤去、処分	H.13 塩ビ製	2,665 ↓ 5,000	記載事項、全て撤去とする 木製カーテンBOX 造作書架 鏡	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・家用途の変更を行う ・天井形状の変更を行う ・間仕切り壁を新設し、室の追加を行う ・外壁側となる内壁面にはLGSフカシ壁、及び内壁断熱を新設する	S.58 H.13 読書室(1)
	多目的室１	改修後	±０	下地処理 新設 樹脂モルタル薄塗 平滑仕上げ 仕上 新設 複層ビニル床タイル（FT・木目柄）t=3 150x900	下地処理 仕上 新設 ビニル巾木 100	1.) 新設 LGS(50,65形) 内壁断熱：グラスウール 32kg/m3 t=50 2.) 塗装改修 (コンクリート面) RB種 1.) 新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り 2.) 塗装改修 (コンクリート面) EP	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5＋ロックウール化粧吸音板 t=12（平板、フィッシャー柄） 新設 塩ビ製		3,400	記載事項、全て撤去とする 【家具類】 扉付きウォールミラー 【住設器具】 【金物・その他】 アルミ製C．BOX（埋込） 天井点検口		多目的室１
	物入Ａ		±０	下地処理 新設 樹脂モルタル薄塗 平滑仕上げ 仕上 新設 複層ビニル床タイル（FT・木目柄）t=3 150x900	下地処理 仕上 新設 ビニル巾木 100	1.) 新設 LGS(50,65形) 内壁断熱：グラスウール 32kg/m3 t=50 2.) 塗装改修 (コンクリート面) RB種 1.) 新設 PB t=12.5 ビニルクロス貼り 2.) 塗装改修 (コンクリート面) EP	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 化粧PB t=9.5 新設 塩ビ製		2,600	記載事項、全て撤去とする 【家具類】 【住設器具】 【金物・その他】 天井点検口		物入Ａ
	S.58 倉庫(2)	改修前		下地 仕上 コンクリート金鏝仕上げ	下地 仕上	下地 仕上 コンクリート打放し 素地	下地 仕上 木毛セメント板 t=25 現し				・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・設備更新に伴い、PS壁の撤去、新設を行う	S.58 倉庫(2)
		改修後		下地処理 仕上 （既存のまま）	下地処理 仕上 （既存のまま）	下地処理 仕上 （既存のまま）	下地処理 仕上 （既存のまま）					
	S.58 H.13 廊 下	改修前	±０	下地 M 仕上 H.13 長尺塩ビ床シート張り t=2 撤去、処分	下地 仕上 H.13 塩ビ製 撤去、処分 100	下地 (S.58 MR－CE) 仕上 コンクリート打放し 既存塗膜全面除去 (H.13 VEエナメル)	下地 LGS 撤去、処分 仕上 H.13 ロックウール化粧吸音板 t=12 撤去、処分	塩ビ製	2,600	記載事項、全て撤去とする EXP．J	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M)	S.58 H.13 廊 下
		改修後		下地処理 ケレン清掃 仕上 新設 複層ビニル床シート（FS）t=2	下地処理 仕上 新設 ビニル巾木 100	塗装改修 下地調整材：C-1 Pコン,パネルライン入れ 塗装改修 RC打放し調ファンデーションローラー塗り 上塗）シリコンクリヤ塗装	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 1.) 新設 PB t=9.5＋ロックウール化粧吸音板 t=12（平板,フィッシャー柄） 2.) 塗装改修 (鋼板面) SOP 2.) 塗装改修 (鋼板面) RB種		2,600	記載事項、全て撤去とする 【家具類】 【住設器具】 【金物・その他】 EXP．J 天井点検口		
共通	S.58 H.13 １階 男子トイレ 女子トイレ	改修前	-30	下地 防水M 仕上 ２５角磁器質モザイクタイル張り 撤去、処分	下地 仕上 100	下地 M 仕上 １００角半磁器質タイル貼り	下地 LGS 撤去、処分 仕上 H.13 ケイカル板 t=6 目透し張り 撤去、処分 (H.13 EP)	塩ビ製	2,300	記載事項、全て撤去とする 前板：テラゾブロック t=30 隔板：テラゾブロック t=40 ライニング天板：テラゾブロック H.13 トイレブース	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・トイレ床排水方式を 湿式 → 乾式 とする事 ・床仕上レベルの変更はモルタル塗りにて調整する事 ・既存和便器床開口の閉塞を行う事 ・天井高の変更を行う ・設備更新に伴い、シャフト部分のCB壁を撤去し、LGS下地にて壁を復旧する事	S.58 H.13 １階 男子トイレ 女子トイレ
		改修後	±０	下地処理 新設 モルタル金鏝 t=50 仕上 新設 複層ビニル床シート（FS・消臭）t=2	下地処理 仕上 新設 SUS製巾木 H.L（アルミ形材＋SUS箔複合） 100	1.) 新設 LGS(65形) 2.) 新設 GL工法（既存タイル面） 新設 PB(GB-S) t=12.5＋防汚塗装化粧ケイカル板 t=6	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 新設 ケイカル板 t=6 目透し張り EP 新設 塩ビ製		2,550	記載事項、全て撤去とする 【家具類】 ライニング天板：メラミンポストフォーム 【住設器具】 マープライトカウンター 大型鏡 【金物・その他】 小便器用手摺、L型手摺 汚垂タイル トイレブース 床点検口 天井点検口		
	S.58 H.13 ２階 男子トイレ 女子トイレ	改修前	-30	下地 アスファルト防水 仕上 ２５角磁器質モザイクタイル張り 撤去、処分	下地 仕上 100	下地 M 仕上 １００角半磁器質タイル貼り	下地 LGS 撤去、処分 仕上 H.13 ケイカル板 t=6 目透し張り 撤去、処分 (H.13 EP)	塩ビ製	2,300	記載事項、全て撤去とする 前板：テラゾブロック t=30 隔板：テラゾブロック t=40 ライニング天板：テラゾブロック H.13 トイレブース	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M) ・トイレ床排水方式を 湿式 → 乾式 とする事 ・床仕上レベルの変更はモルタル塗りにて調整する事 ・既存和便器床開口の閉塞を行う事 ・天井高の変更を行う	S.58 H.13 ２階 男子トイレ 女子トイレ
		改修後	±０	下地処理 新設 モルタル金鏝 t=50 仕上 新設 複層ビニル床シート（FS・消臭）t=2	下地処理 仕上 新設 SUS製巾木 H.L（アルミ形材＋SUS箔複合） 100	1.) 新設 LGS(65形) 2.) 新設 GL工法（既存タイル面） 新設 PB(GB-S) t=12.5＋防汚塗装化粧ケイカル板 t=6	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 新設 ケイカル板 t=6 目透し張り EP 新設 塩ビ製		2,550	記載事項、全て撤去とする 【家具類】 手荷物置棚 ライニング天板：メラミンポストフォーム 【住設器具】 マープライトカウンター 大型鏡 【金物・その他】 小便器用手摺、L型手摺 汚垂タイル トイレブース 天井点検口		
	S.58 H.13 階段Ａ	改修前	±０	下地 M 仕上 H.13 長尺塩ビ床シート張り t=2 撤去、処分	下地 仕上 塩ビ製 撤去、処分 100	下地 (S.58 MR－CE) 仕上 コンクリート打放し 既存塗膜全面除去 (H.13 VEエナメル)	下地 LGS 撤去、処分 仕上 H.13 ロックウール化粧吸音板 t=12 撤去、処分	塩ビ製	3,000	記載事項、全て撤去とする 手摺：SUSパイプ φ48.6 ノンスリップ金物 H.13 点字ブロック	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M)	S.58 H.13 階段Ａ
		改修後		下地処理 ケレン清掃 仕上 新設 複層ビニル床シート（FS）t=2	下地処理 仕上 新設 ビニル巾木 100	塗装改修 (コンクリート面) RB種 塗装改修 (コンクリート面) EP	下地処理 新設 軽量鉄骨天井下地 仕上 新設 PB t=9.5＋ロックウール化粧吸音板 t=12（平板、フィッシャー柄） 新設 塩ビ製		3,000	記載事項、全て撤去とする 【家具類】 【住設器具】 【金物・その他】 ノンスリップ金物 階段手摺：樹脂被覆製 壁付式 SUS製点字鋲		
	S.58 H.13 階段Ｂ	改修前		下地 C 仕上 モルタル金鏝仕上げ	下地 仕上 モルタル金鏝 100	下地 (S.58 アクリル系弾性吹付タイル) 仕上 コンクリート打放し 既存塗膜全面除去 (H.13 VEエナメル)	下地 仕上 コンクリート打放し 軽量骨材吹付		—	記載事項、全て撤去とする 手摺：SUSパイプ φ48.6 磁器質ノンスリップタイル 【家具類】 【住設器具】 【金物・その他】 階段手摺：樹脂被覆製 壁付式 SUS製点字鋲	・設備機器類、配線、配管類は別途工事とする(E,M)	S.58 H.13 階段Ｂ
		改修後		下地処理 ケレン清掃 仕上 新設 屋外用防滑ビニル床シート（FS）t=2.5 ※踏面、蹴込一体型	下地処理 仕上 新設 ビニル巾木 100	塗装改修 下地調整材：C-1 Pコン,パネルライン入れ 塗装改修 RC打放し調ファンデーションローラー塗り 上塗）シリコンクリヤ塗装	下地処理 塗装改修 下地調整材：C-1 仕上 塗装改修 パーライト系天井用吹付材		—	記載事項、全て撤去とする 【家具類】 【住設器具】 【金物・その他】 階段手摺：樹脂被覆製 壁付式 SUS製点字鋲		

既存 石綿含有建材一覧表

部位	図面名称	含有成分	
外 壁	S.58 アクリル系弾性吹付タイル	クリソタイル	検体採取場所 / 外部
内 壁	S.58 マスチックCEローラー MR－CE	クリソタイル	検体採取場所 / 階段室
床	H.13 長尺塩ビ床シート張り t=2	クリソタイル	検体採取場所 / 2階 廊下
巾 木	H.13 塩ビ製	クリソタイル	検体採取場所 / 2階 廊下
壁	H.13 PB t=9.5	クリソタイル	検体採取場所 / 2階 集会室

【材料略号】
st ：鉄
SUS：ステンレス
AL ：アルミ
LGS：軽量形鋼
FB ：フラットバー（平鋼）
PL ：プレート （平鋼）
ALC：軽量気泡コンクリート
CB ：コンクリートブロック
AP ：アルミパネル
RC ：コンクリート

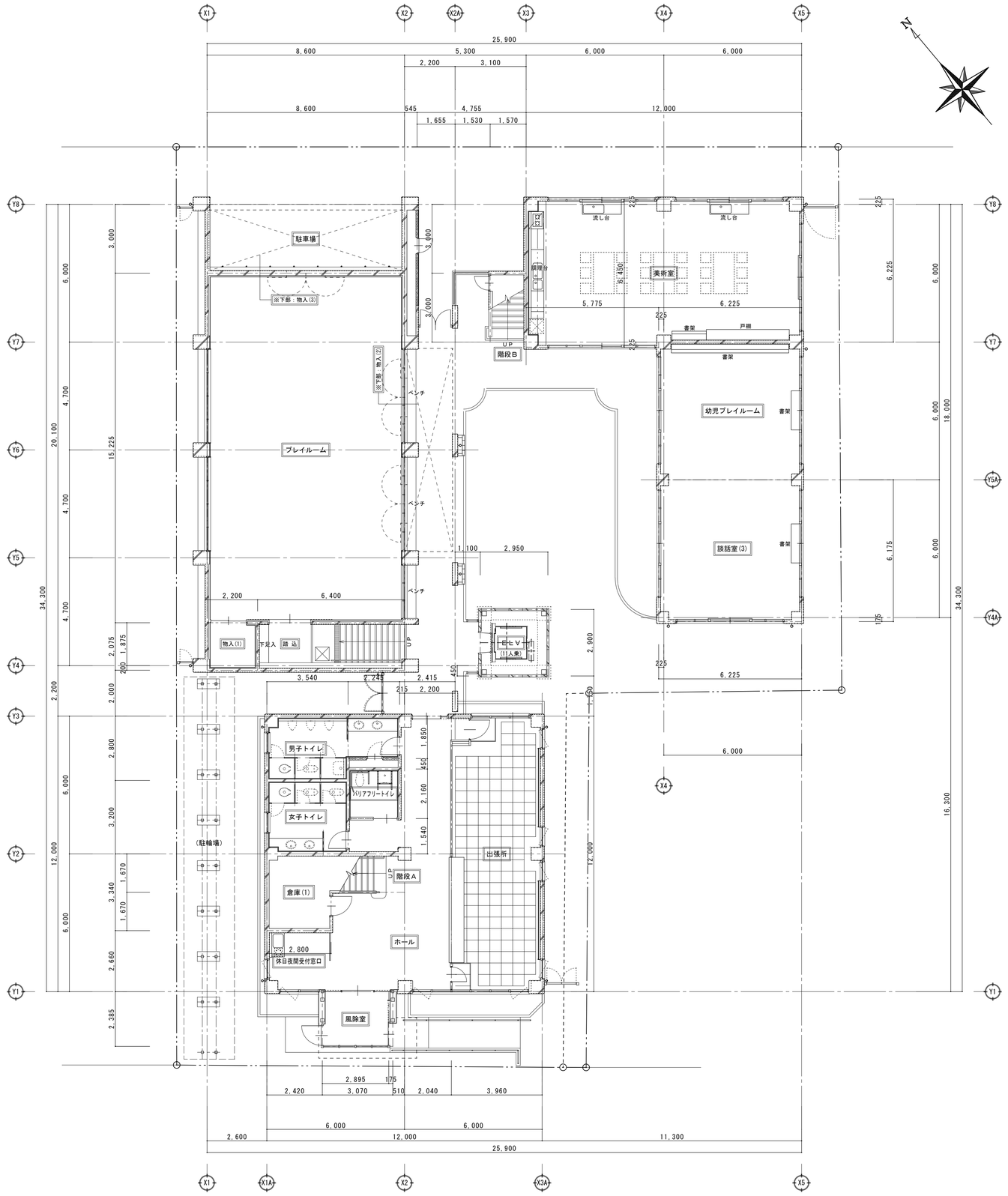
【P.B】
略記号無し せっこうボード
GB-R-H 普通硬質せっこうボード
GB-S シージングせっこうボード
GB-F 強化せっこうボード
GB-NC 不燃積層せっこうボード
XP-5 鉛複合せっこうボード 厚みは板厚を示す

【塗装略号】
VE ：塩化ビニル樹脂エナメル塗
AE ：アクリル樹脂エナメル塗
FE ：フタル酸樹脂エナメル塗
OS ：オイルステイン塗
OSV：オイルステインワニス塗
UC ：ウレタン樹脂クリア塗
AC ：アクリル樹脂クリア塗
CL ：クリアラッカー塗
EP ：合成樹脂エマルションペイント塗
SOP：合成樹脂調合ペイント塗
WP ：木材保護塗料塗
DP ：耐候性塗料塗り（ポリウレタン樹脂塗装）

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）			内部仕上表３	０１８
SCALE Non			㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-18

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前

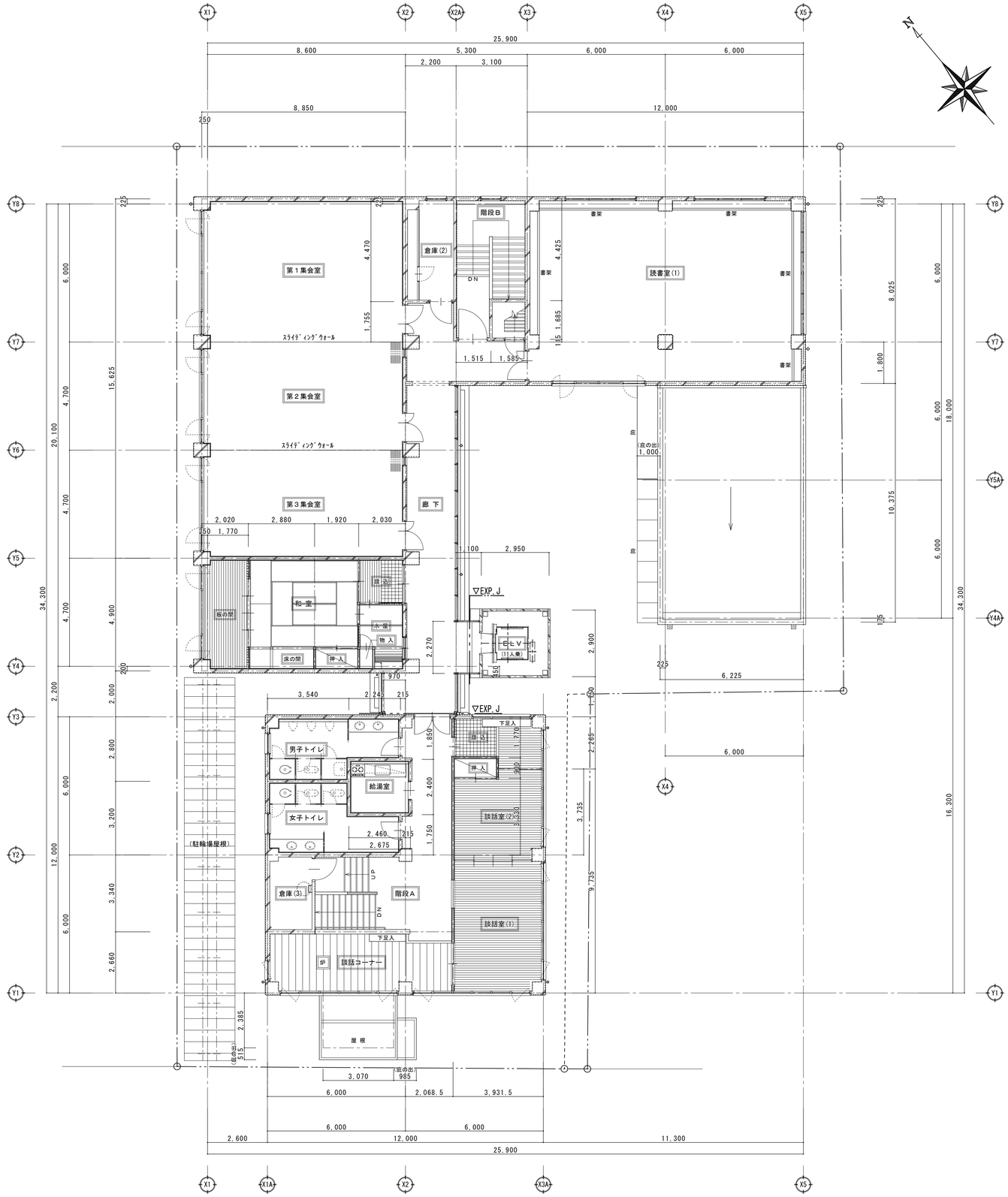


1 階 平 面 図 S=1/100

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		1階平面図［改修前］	019
SCALE 1/100		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-19

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）1436号　　一級建築士大臣登録 第316560号　山崎　栄市

改修前

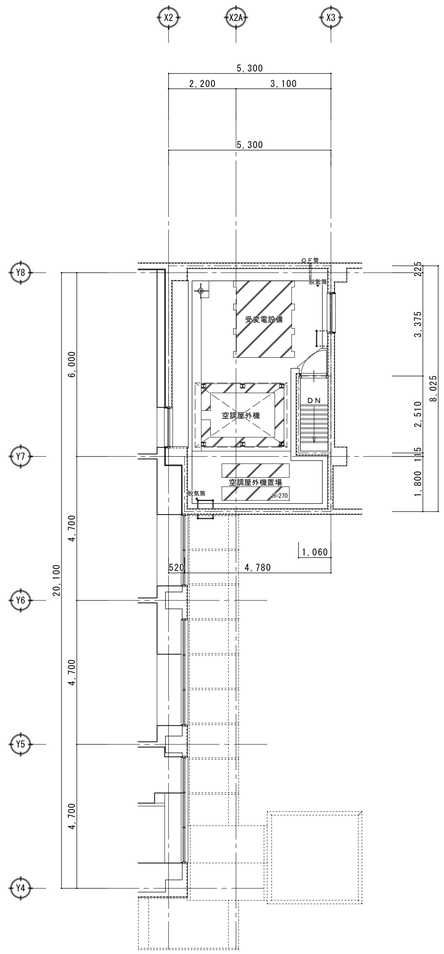


２ 階 平 面 図 S=1/100

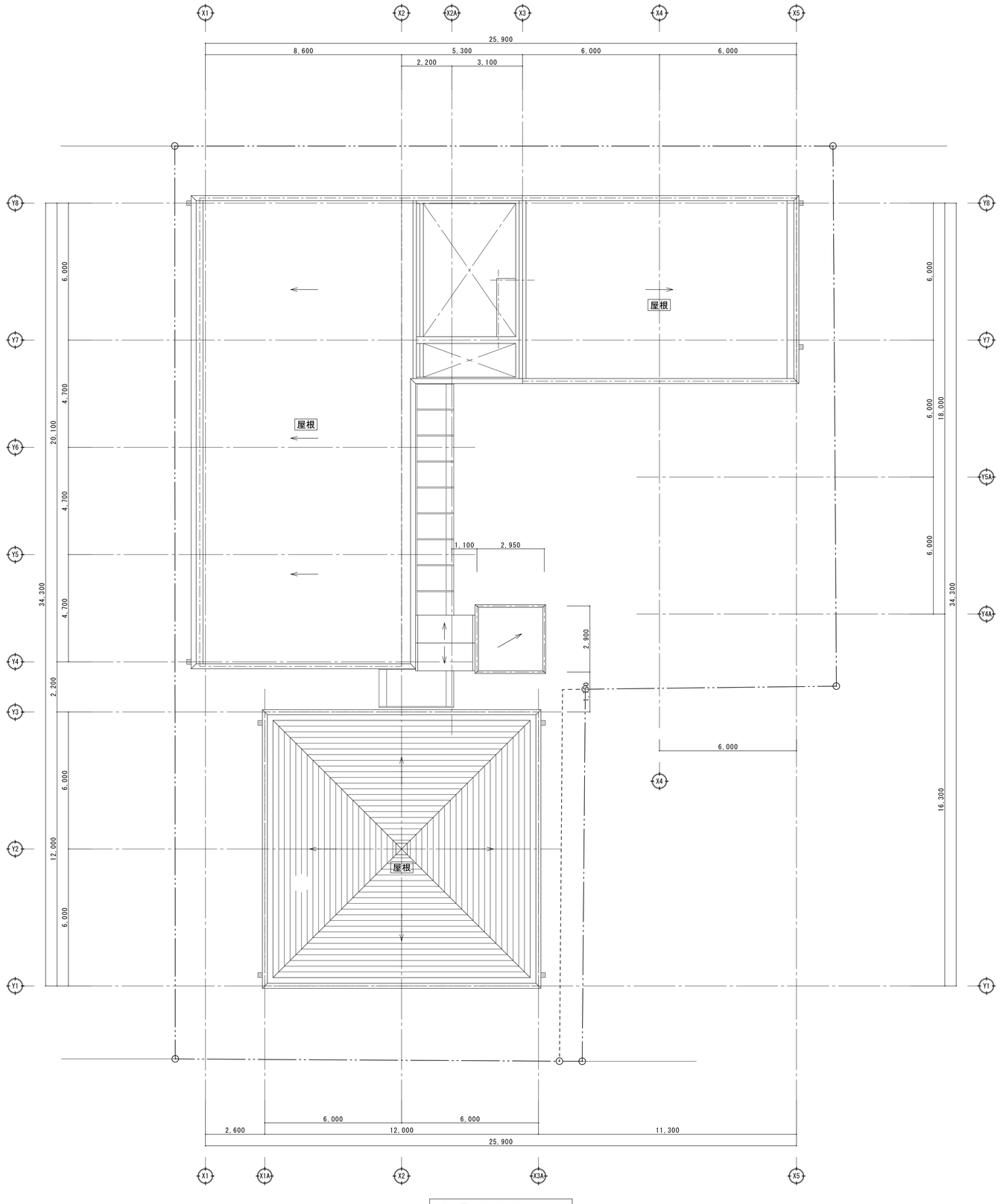
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		２階平面図［改修前］	０２０
SCALE 1/100		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-20

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前・後



機 械 置 場 平 面 図 S=1/100

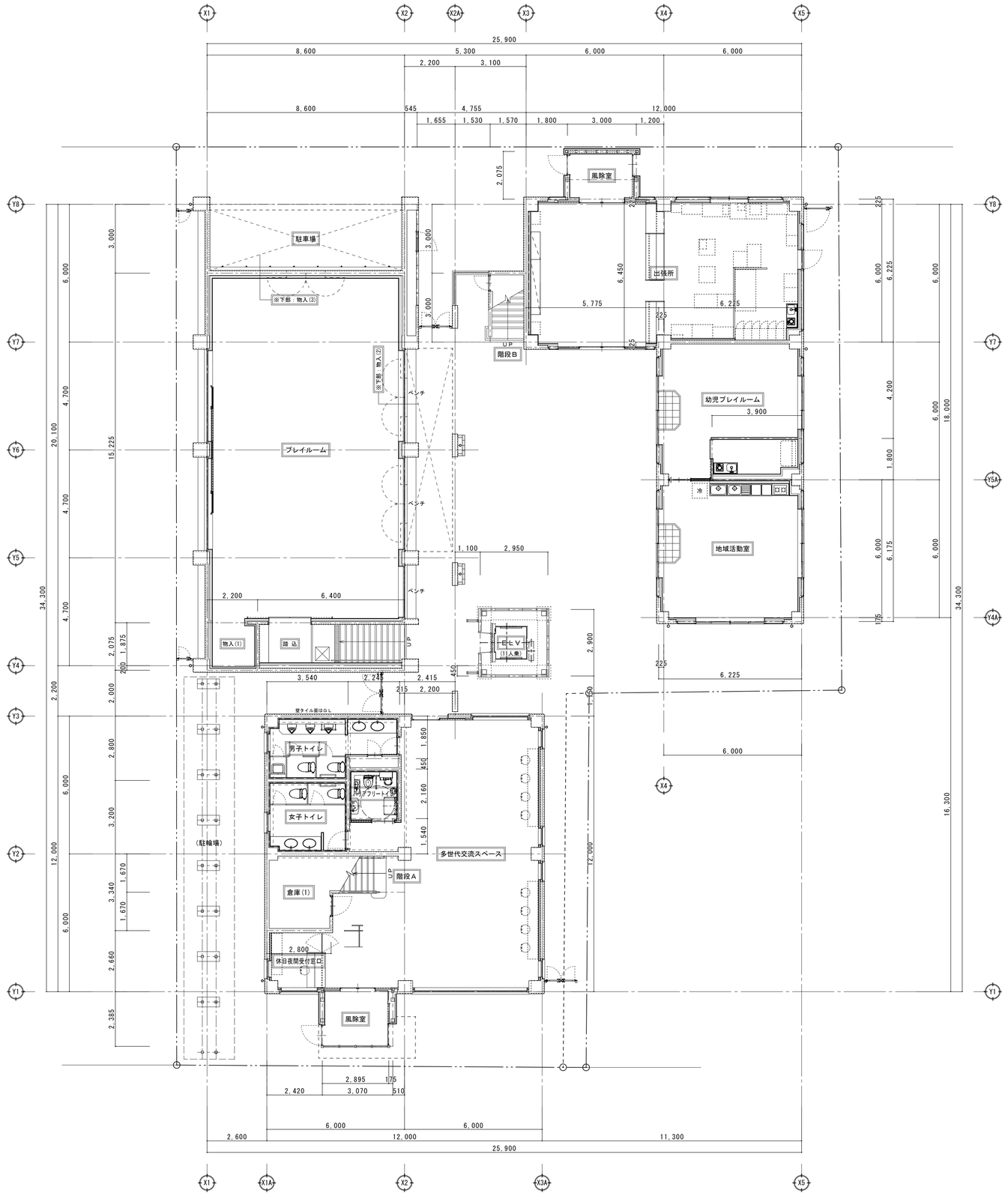


R 階 平 面 図 S=1/100

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		R階平面図［改修前・後］	０２１
SCALE 1/100		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-21

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修後

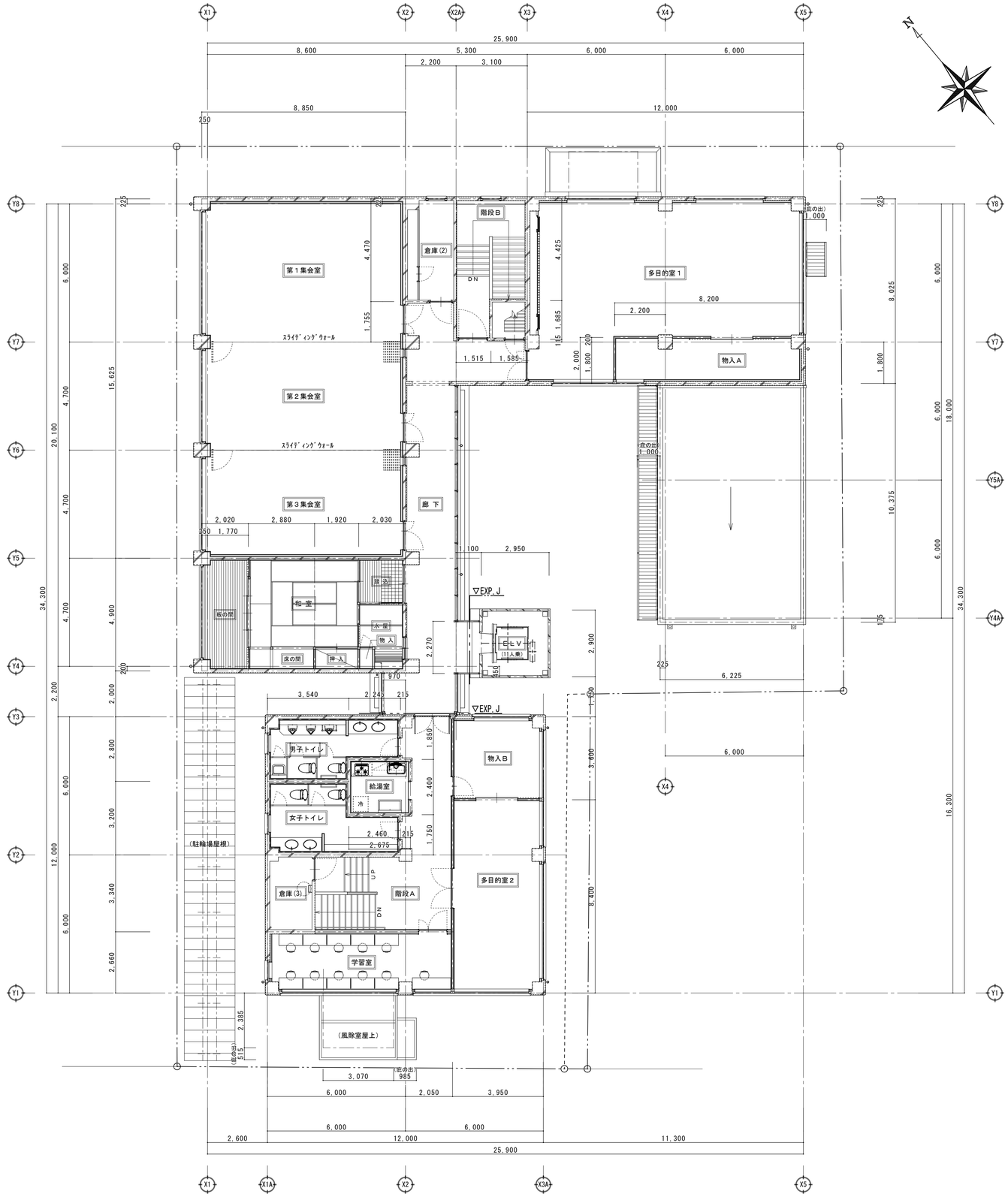


1 2 3 4 5 S=1/100

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		1階平面図［改修後］	022
SCALE 1/100		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-22

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）1436号　　一級建築士大臣登録 第316560号　山崎　栄市

改修後

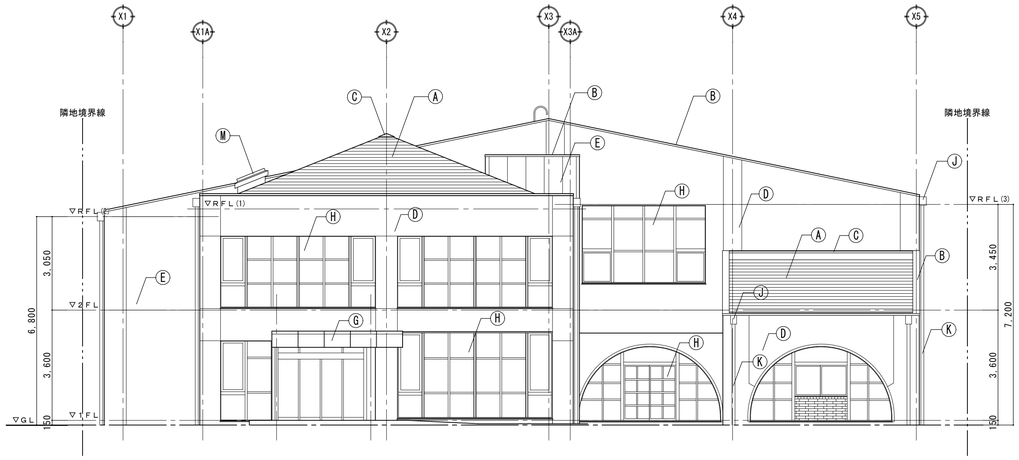


２ 階 平 面 図 S=1/100

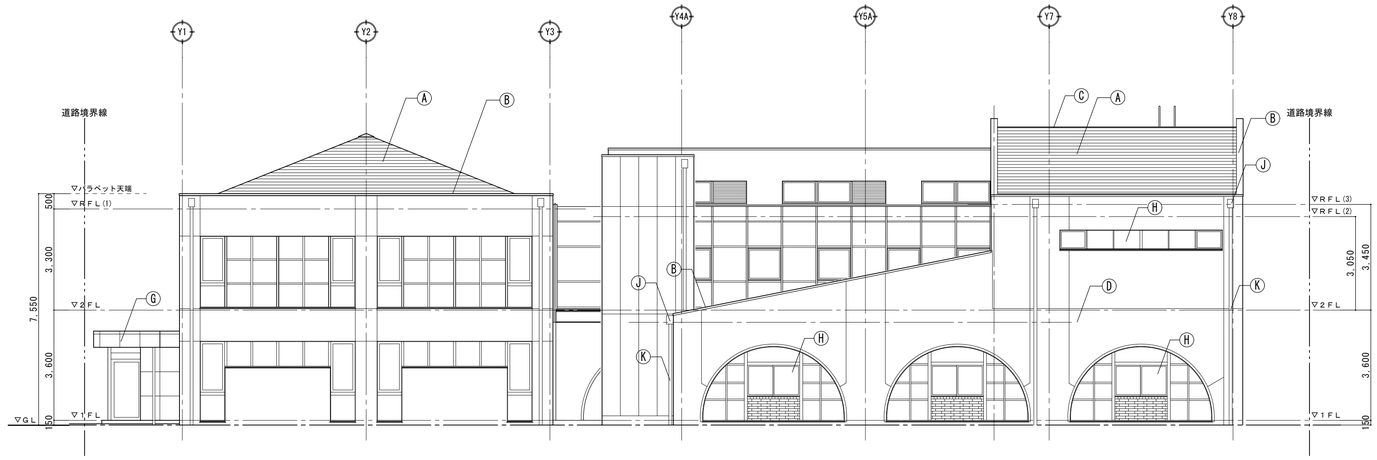
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		２階平面図［改修後］	０２３
SCALE 1/100		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-23

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

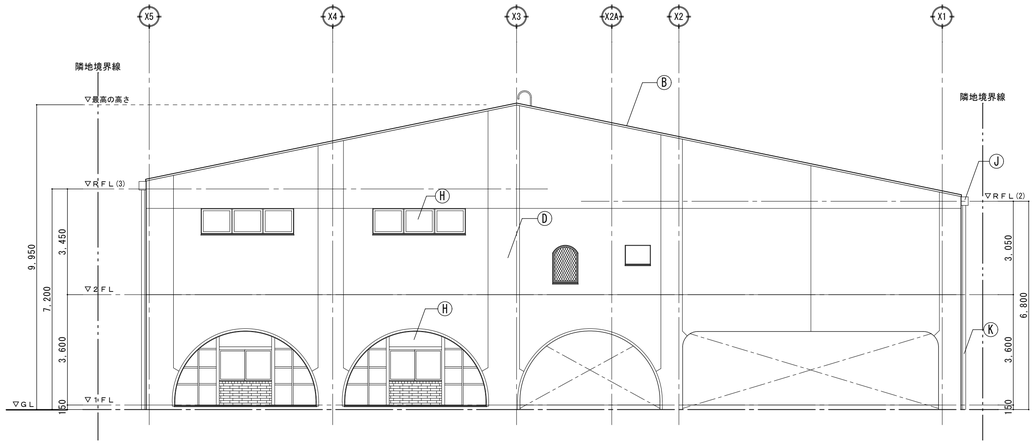
改修前



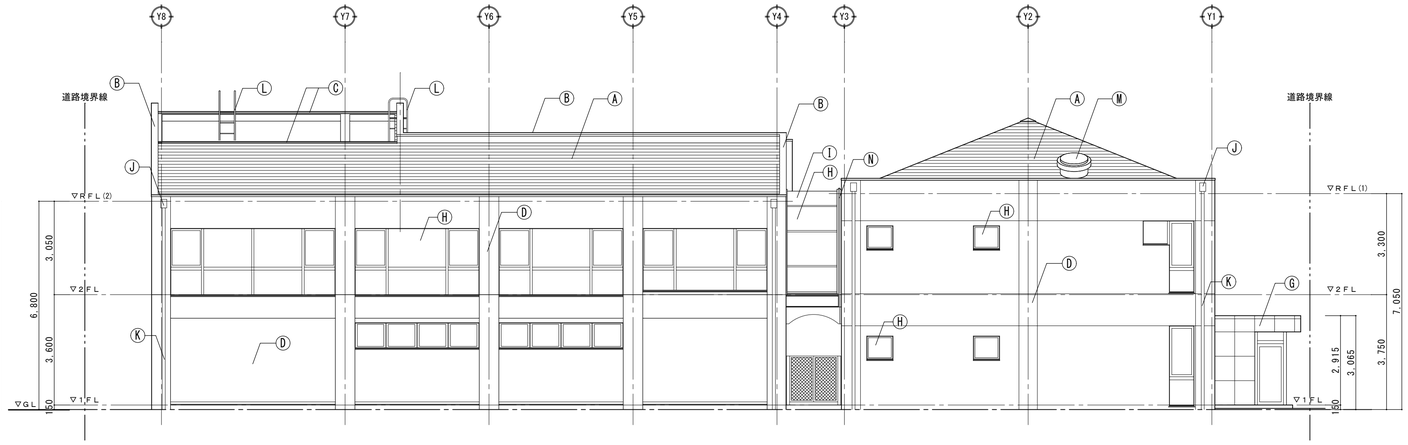
南 側 立 面 図 S=1/100



東 側 立 面 図 S=1/100



北 側 立 面 図 S=1/100



西 側 立 面 図 S=1/100

■仕上リスト

Ⓐ	屋 根	既存塗膜除去	モルタル金鏝 t=20 + ゴムアスファルトルーフィング(冷工法) + アスファルトシングル葺き(接着工法) H.13 上記屋根の上、フッ素鋼板成型瓦葺き t=0.6（既存屋根重ね葺き）
Ⓑ	笠 木	撤去、処分	アルミ製(自然発色) W=220
Ⓒ	棟金物		フッ素鋼板曲げ加工
Ⓓ	外 壁 （ＲＣ）	既存塗膜全面除去	コンクリート打放し アクリル系弾性吹付タイル ※石綿含有建材 H.13 上記仕上の上、ＶＥエナメルローラー重ね塗り
Ⓔ	外 壁 （ＡＬＣ）	既存塗膜全面除去	H.13 ＡＬＣ板 t=100(一部t=125) アクリル系吹付タイル
Ⓕ	巾 木		モルタル金鏝仕上
Ⓖ	幕 板	撤去、処分	H.03 カラーアルミパネル t=3 パネル目地 @900
Ⓗ	建 具	撤去、処分	アルミサッシ
Ⓘ	屋 根 （曲面パネル）		ボンデ鋼板 t=1.6 焼付塗装 曲面加工 断熱材ロックウール充填 t=60
Ⓙ	飾り桝	撤去、処分	鋼板製 230x280 ＳＯＰ塗装

Ⓚ	竪 樋	撤去、処分	カラーＶＰ
Ⓛ	タラップ		ＳＵＳ製 W=360 Ｈ．Ｌ 支柱：φ40 梯子：φ19-@350
Ⓜ	屋根点検口		ＳＵＳ製点検ハッチ φ600
Ⓝ	ＥＸＰ．ｊ	撤去、処分	ＳＵＳ t=2 曲げ加工

特記事項）

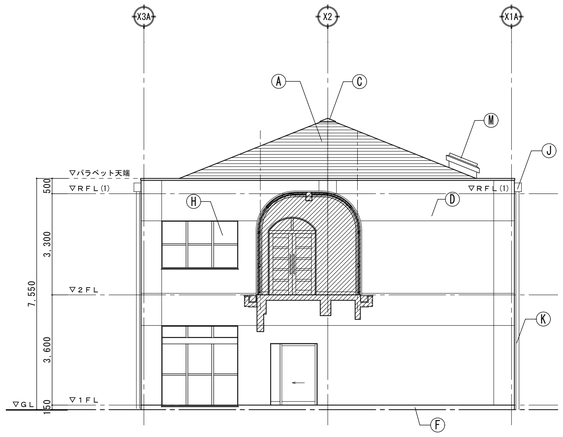
・外壁面は特機なき限り、全面塗装改修対象とする。
・外壁面に付随する電気配線、配管類、盤類、空調器具類及び配管類については別途発注工事（各設備工事）により取外し、取付を行う。
工事中の打合せを密に行い、工程調整を図り施工を行う事。
・本図面は改修後の着彩計画案とする。本図に基づき現場色見本を施工時に提出の上、監督員の承認により色分けを行う事。

注記）

□ 既存外壁吹付け材はアスベスト含有建材となるため、吹付下地材全撤去工法を採用する。
・集塵装置付き超高圧水洗工法(100Mpa以上)、及び湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法を実施する事。
・上記工法に応じた養生、作業を行う事。
・足場床面、及び壁面、開口部については汚れ防止養生シートにて養生施工を行う事。
・施工計画書を作成の上、監督員の承認の上施工を行う事。
・関係法令に基づく書類の作成、届出を行う事。

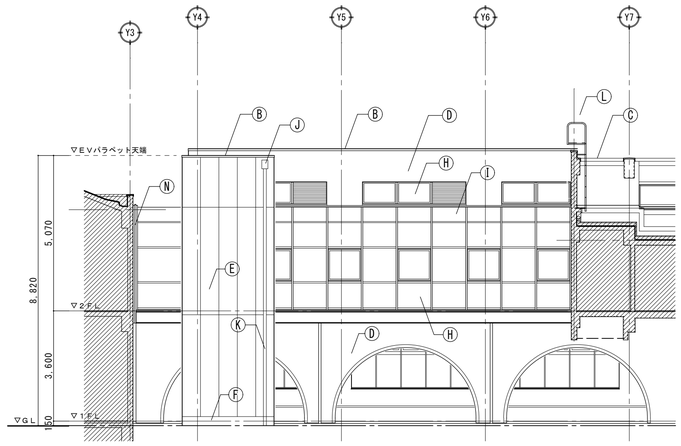
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		立面図１［改修前］	０２４
SCALE 1/100		© ㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-24

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市



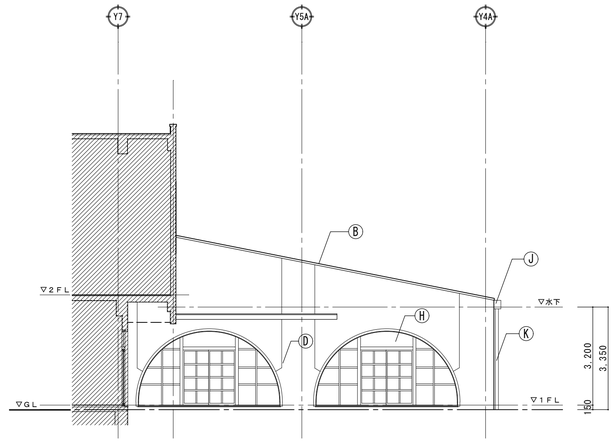
【Y３通り】

北 側 立 面 図 S=1/100



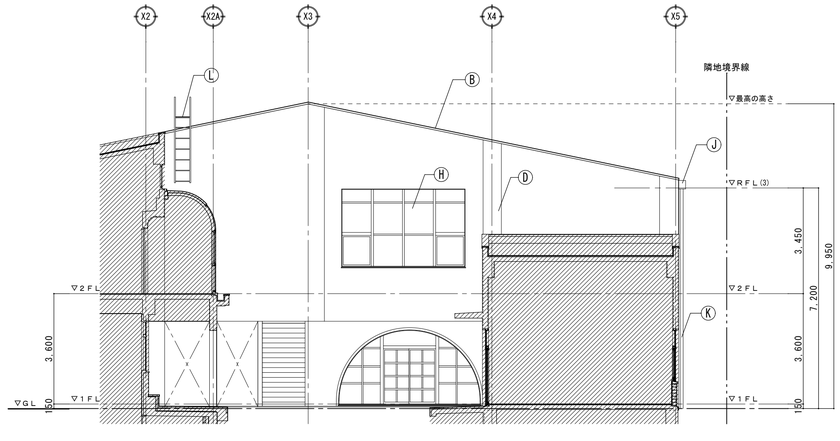
【Ｘ２Ａ通り】

東 側 立 面 図 S=1/100



【Ｘ４通り】

西 側 立 面 図 S=1/100



【Ｙ７ -1,800通り】

南 側 立 面 図 S=1/100

■仕上リスト

Ⓐ	屋 根	既存塗膜除去	モルタル金鏝 t=20 + ゴムアスファルトルーフィング(冷工法) + アスファルトシングル葺き(接着工法) (H.13)上記屋根の上、フッ素鋼板成型瓦葺き t=0.6（既存屋根重ね葺き）
Ⓑ	笠 木	撤去,処分	アルミ製(自然発色) W=220
Ⓒ	棟金物		フッ素鋼板曲げ加工
Ⓓ	外 壁 （ＲＣ）	既存塗膜全面除去	コンクリート打放し アクリル系弾性吹付タイル ※石綿含有建材 (H.13)上記仕上の上、ＶＥエナメルローラー重ね塗り
Ⓔ	外 壁 （ＡＬＣ）	既存塗膜全面除去	(H.13)ＡＬＣ板 t=100(一部t=125) アクリル系吹付タイル
Ⓕ	巾 木		モルタル金鏝仕上
Ⓖ	幕 板	撤去,処分	(H.03)カラーアルミパネル t=3 パネル目地 @900
Ⓗ	建 具	撤去,処分	アルミサッシ
Ⓘ	屋 根 （曲面パネル）		ボンデ鋼板 t=1.6 焼付塗装 曲面加工 断熱材ロックウール充填 t=60
Ⓙ	飾り桝	撤去,処分	鋼板製 230x280 ＳＯＰ塗装

Ⓚ	竪 樋	撤去,処分	カラーＶＰ
Ⓛ	タラップ		ＳＵＳ製 W=360 Ｈ.Ｌ 支柱：φ40 梯子：φ19-@350
Ⓜ	屋根点検口		ＳＵＳ製点検ハッチ φ600
Ⓝ	ＥＸＰ.ｊ		鋼板 t=0.6 曲げ加工

特記事項）

・外壁面は特機なき限り、全面塗装改修対象とする。

・外壁面に付随する電気配線、配管類、盤類、空調器具類及び配管類については別途発注工事（各設備工事）により取外し、取付を行う。
工事中の打合せを密に行い、工程調整を図り施工を行う事。

・本図面は改修後の着彩計画案とする。本図に基づき現場色見本を施工時に提出の上、監督員の承認により色分けを行う事。

注記）

□ 既存外壁吹付け材はアスベスト含有建材となるため、吹付下地材全撤去工法を採用する。

・集塵装置付き超高圧水洗工法(100Mpa以上)、及び湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法を実施する事。

・上記工法に応じた養生、作業を行う事。

・足場床面、及び壁面、開口部については汚れ防止養生シートにて養生施工を行う事。

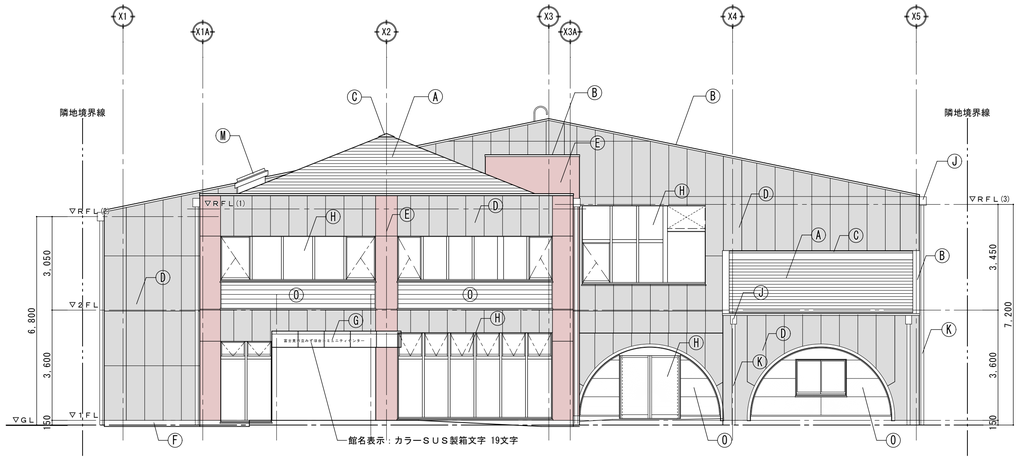
・施工計画書を作成の上、監督員の承認の上施工を行う事。

・関係法令に基づく書類の作成、届出を行う事。

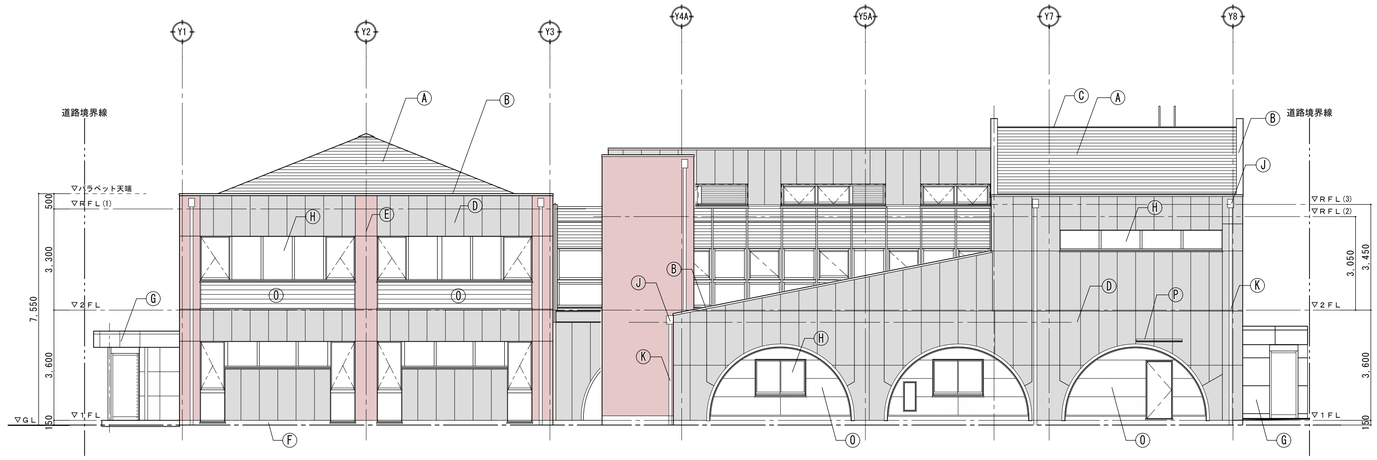
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		立面図２［改修前］	０２５
SCALE 1/100		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-25

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

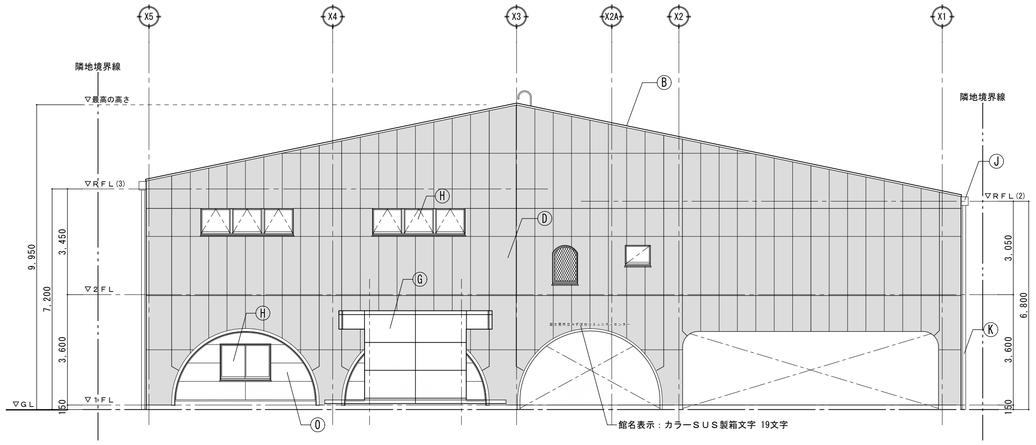
改修後



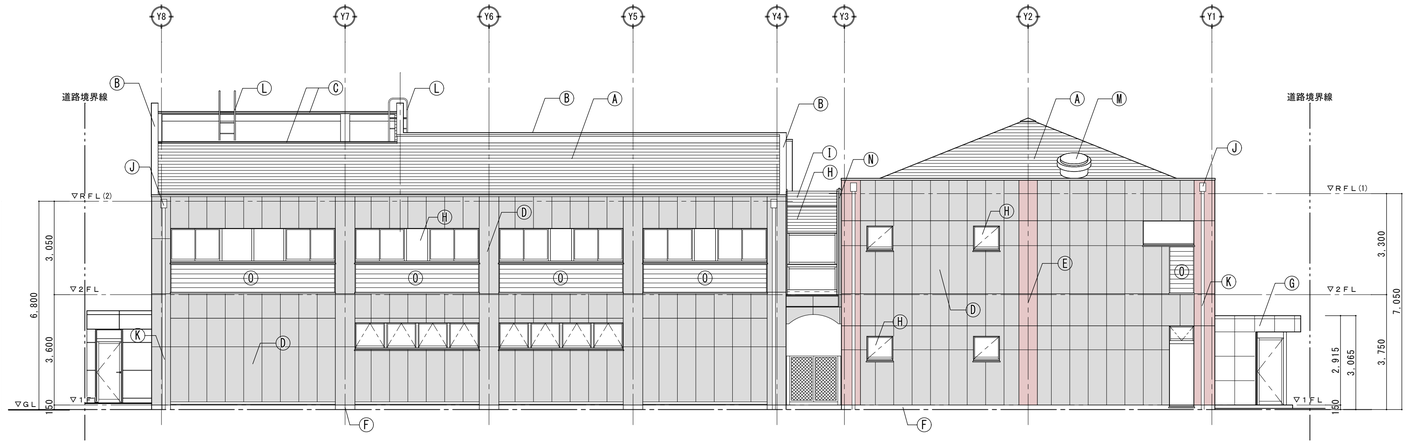
南 側 立 面 図 S=1/100



東 側 立 面 図 S=1/100



北 側 立 面 図 S=1/100



西 側 立 面 図 S=1/100

■仕上リスト

Ⓐ	屋 根	塗装改修	屋根用遮熱塗料（低汚染・超耐久型）塗り 上塗り）水性フッ素樹脂系
Ⓑ	笠 木	新設	カラーアルミ製既製品笠木 W=225 t=2
Ⓒ	棟金物	塗装改修	屋根用遮熱塗料（低汚染・超耐久型）塗り 上塗り）水性フッ素樹脂系
Ⓓ Ⓔ	外 壁 （RC・ALC）	外壁改修	下地調整材：ＣＭ－２　Ｐコン跡，パネルライン入れ 仕上：ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り　上塗り）フッ素クリヤ塗装
Ⓕ	巾 木	外壁改修	樹脂モルタル薄塗り
Ⓖ	幕 板	新設	カラーアルミパネル t=3　パネル目地 @900
Ⓗ	建 具	建具改修	アルミサッシ
Ⓘ	屋 根 （曲面パネル）		
Ⓙ	飾り桝	新設	カラー塩ビ製 角形 φ100用

Ⓚ	竪 樋	新設	カラーＶＰ φ100
Ⓛ	タラップ		一時取外し、再取付（既存再使用する）
Ⓜ	屋根点検口		（既存のまま）
Ⓝ	ＥＸＰ．j	新設	ＳＵＳ t=2 H.L 曲げ加工
Ⓞ	外 壁 （S）	新設	下張り：強化ＰＢ(GB-F 防水防カビ仕様) t=12.5 + 防水シート：ポリエチレン系透湿防水シート t=0.2 仕上：窯業系サイディング 木質系繊維混入セメントケイカル板 t=16 横張り
Ⓟ	庇	新設	既製品アルミ形材製大型庇　アームレスタイプ t=25 D=900
Ⓠ			

共通事項）

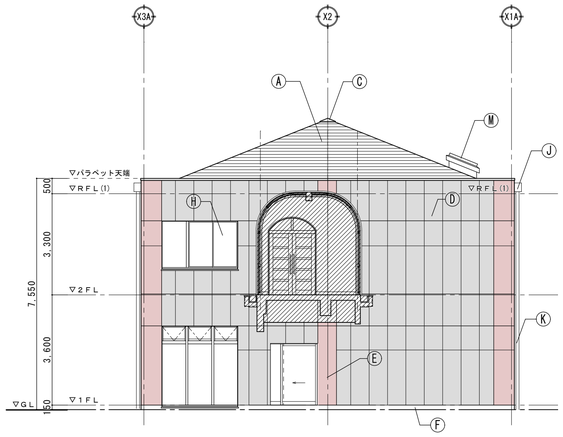
・外壁面のシーリングは全て既存撤去の上、新規打ち替えとする

打継・化粧目地：ポリウレタン系シーリング(PU-2) W=15

建具周囲：ポリサルファイド系シーリング(PS-2) W=10

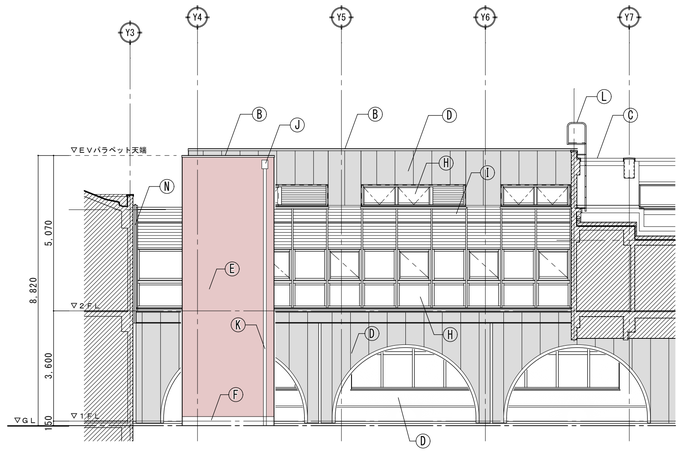
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		立面図１［改修後］	０２６
SCALE 1/100		© ㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-26

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市



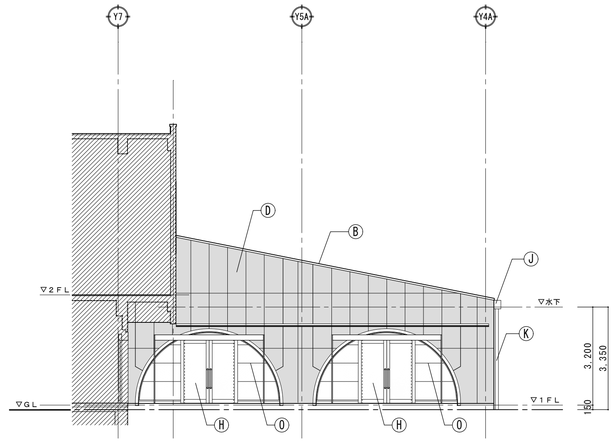
【Ｙ３通り】

北 側 立 面 図 S=1/100



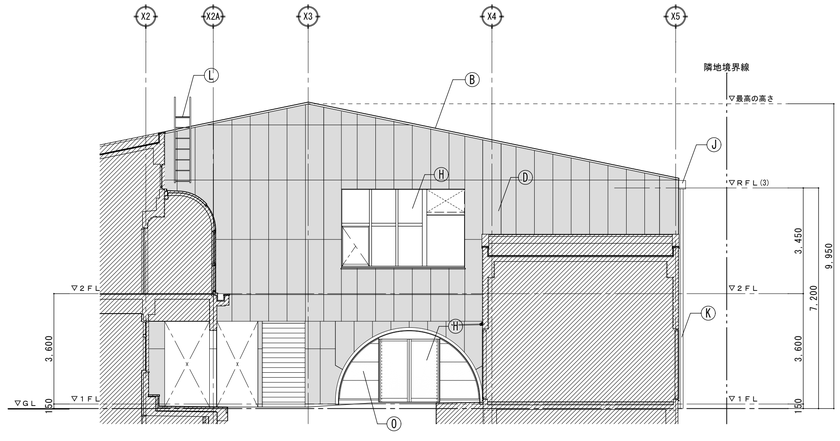
【Ｘ２Ａ通り】

東 側 立 面 図 S=1/100



【Ｘ４通り】

西 側 立 面 図 S=1/100



【Ｙ７ -1,800通り】

南 側 立 面 図 S=1/100

■仕上リスト

Ⓐ	屋 根	塗装改修	屋根用遮熱塗料（低汚染・超耐久型）塗り 上塗り）水性フッ素樹脂系
Ⓑ	笠 木	新設	カラーアルミ製既製品笠木 W=225 t=2
Ⓒ	棟金物	塗装改修	屋根用遮熱塗料（低汚染・超耐久型）塗り 上塗り）水性フッ素樹脂系
Ⓓ Ⓔ	外 壁 （RC・ALC）	外壁改修	下地調整材：ＣＭ－２　Ｐコン跡,パネルライン入れ 仕上：ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り　上塗り）フッ素クリヤ塗装
Ⓕ	巾 木	外壁改修	樹脂モルタル薄塗り
Ⓖ	幕 板	新設	カラーアルミパネル t=3　パネル目地 @900
Ⓗ	建 具	建具改修	アルミサッシ
Ⓘ	屋 根 （曲面パネル）		
Ⓙ	飾り桝	新設	カラー塩ビ製 角形 φ100用

Ⓚ	竪 樋	新設	カラーＶＰ φ100
Ⓛ	タラップ		一時取外し、再取付（既存再使用する）
Ⓜ	屋根点検口		（既存のまま）
Ⓝ	ＥＸＰ．j	新設	ＳＵＳ t=2 H.L 曲げ加工
Ⓞ	外 壁 （S）	新設	下張り：強化ＰＢ(GB-F 防水防カビ仕様) t=12.5 + 防水シート：ポリエチレン系透湿防水シート t=0.2 仕上：窯業系サイディング 木質系繊維混入セメントケイカル板 t=16 横張り
Ⓟ	庇	新設	既製品アルミ形材製大型庇　アームレスタイプ t=25 D=900

共通事項）

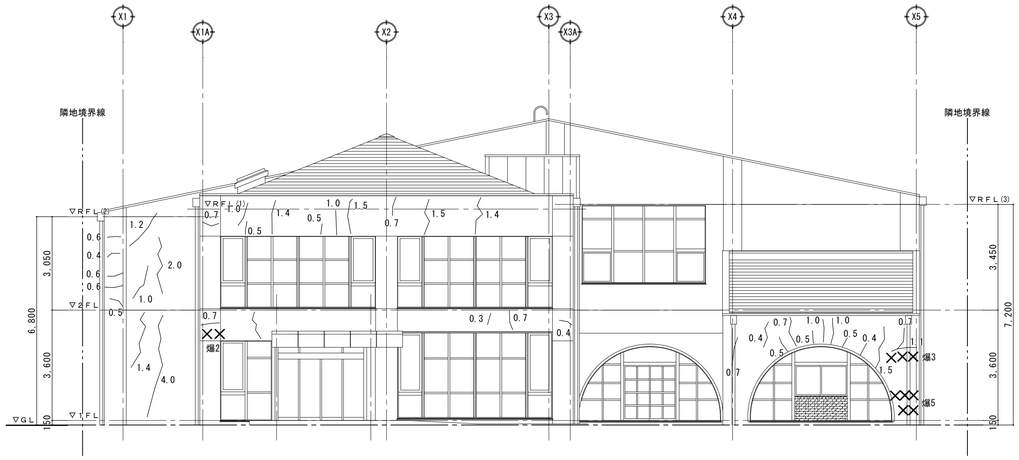
・外壁面のシーリングは全て既存撤去の上、新規打ち替えとする

打継・化粧目地：ポリウレタン系シーリング(PU-2) W=15

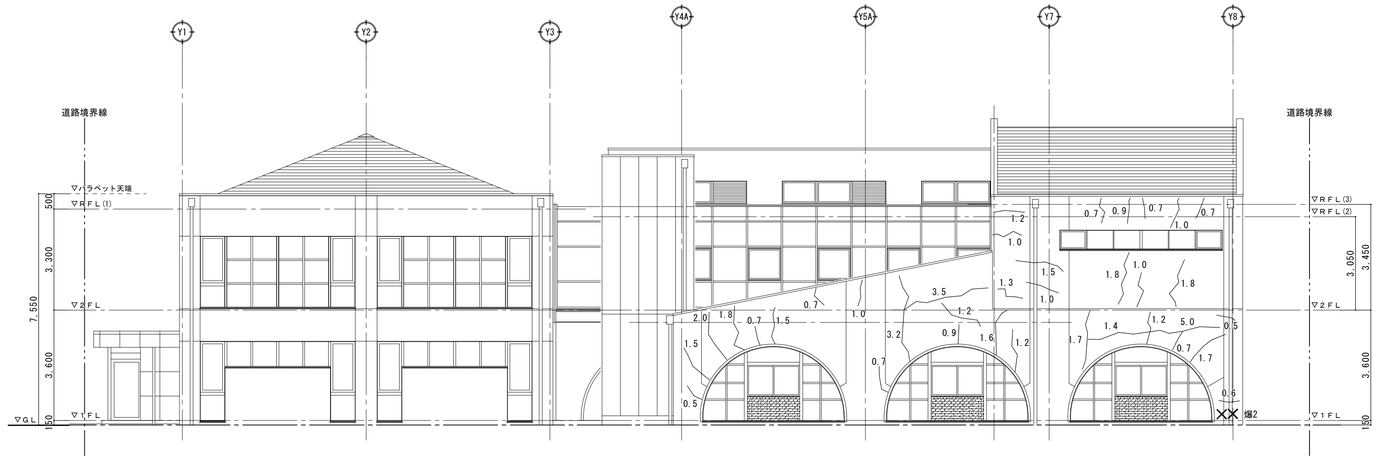
建具周囲：ポリサルファイド系シーリング(PS-2) W=10

市立みすほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）			立面図２［改修後］	０２７
SCALE 1/100			㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-27

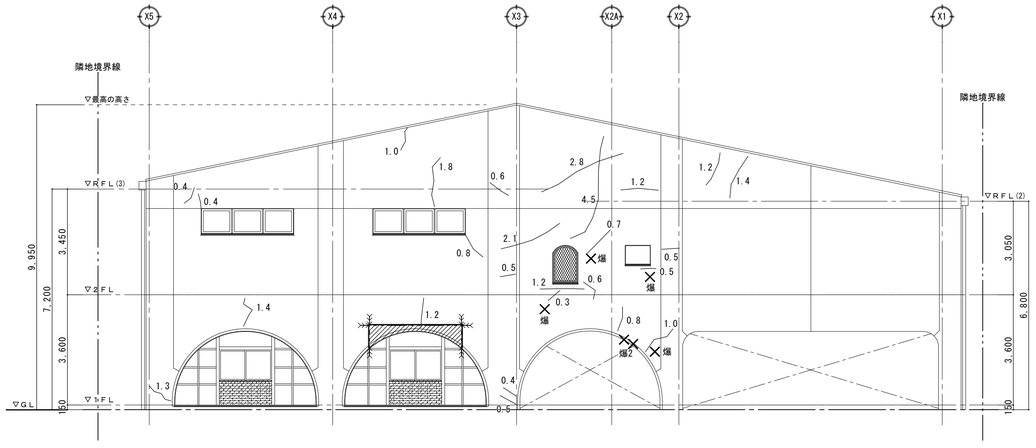
一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市



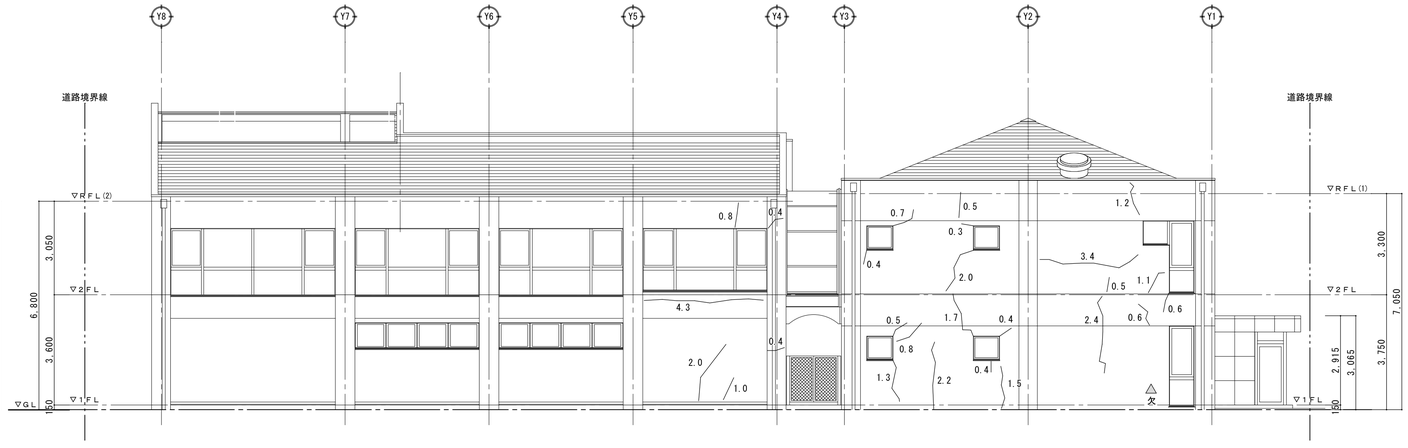
南 側 立 面 図 S=1/100



東 側 立 面 図 S=1/100



北 側 立 面 図 S=1/100



西 側 立 面 図 S=1/100

凡 例

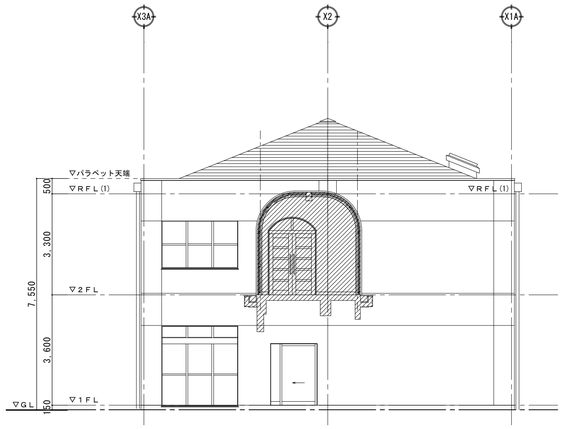
P.2.0(45)	外壁：コンクリート躯体　撤去範囲を示す
P.1.0(45)	その他：撤去物を示す
	ＲＣ，モルタル面：カッター入れ　位置を示す

劣化箇所凡例	
※数値 単位：m	クラックを示す
×	鉄筋爆裂箇所を示す
△	躯体欠損箇所を示す

■ 劣化補修特記事項
・施工数量調査は石綿除去作業後、吹付材及び既存塗膜を全撤去した状況にて行う事。
・劣化部補修仕様は特記無き限り下記とする。
　クラック：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
　欠　　損：ポリマーセメントモルタル充填工法
　爆　　裂：周囲斫り出しの上、錆止め塗装処理、ポリマーセメントモルタル充填工法

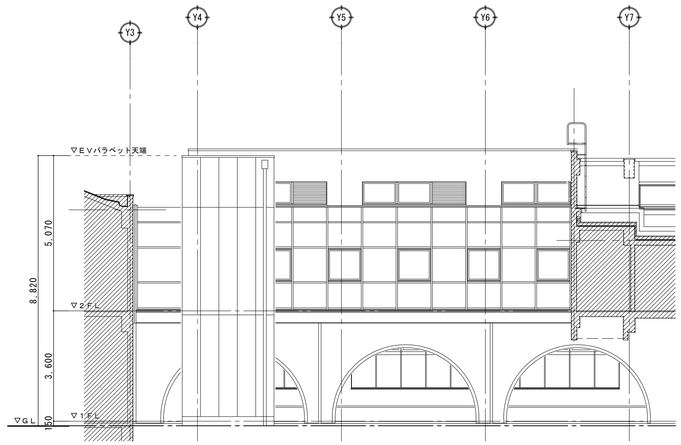
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）			立面図１（劣化補修位置図）［改修前］	０２８
SCALE 1/100			© ㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-28

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市



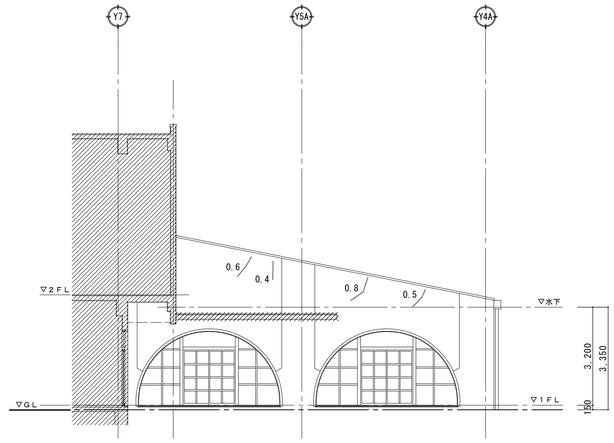
【Ｙ３通り】

北 側 立 面 図 S=1/100



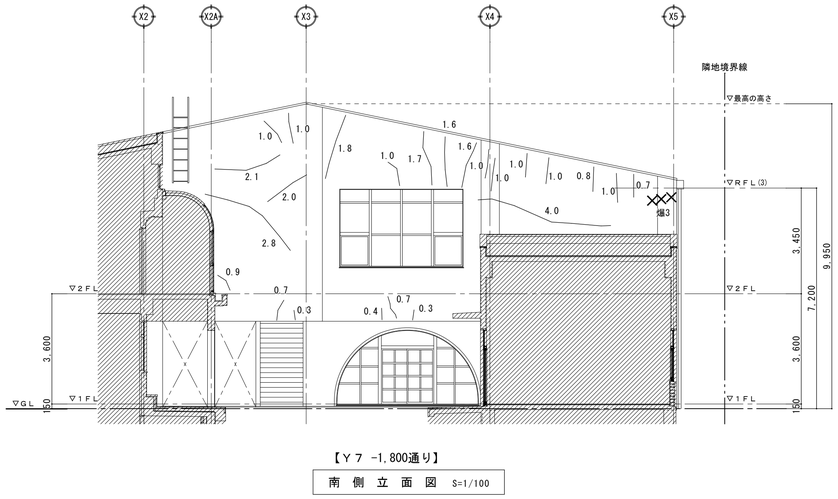
【Ｘ２Ａ通り】

東 側 立 面 図 S=1/100



【Ｘ４通り】

西 側 立 面 図 S=1/100



【Ｙ７ -1,800通り】

南 側 立 面 図 S=1/100

■ 劣化補修特記事項
・施工数量調査は石綿除去作業後、吹付材及び既存塗膜を全撤去した状況にて行う事。
・劣化部補修仕様は特記無き限り下記とする。
　クラック：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
　欠　　損：ポリマーセメントモルタル充填工法
　爆　　裂：周囲斫り出しの上、錆止め塗装処理、ポリマーセメントモルタル充填工法

凡 例

P:2.5(45)	外壁：コンクリート躯体　撤去範囲を示す
P:1.0(45)	その他：撤去物を示す
	ＲＣ，モルタル面：カッター入れ　位置を示す

劣化箇所凡例

※数値 単位：m	クラックを示す
×	鉄筋爆裂箇所を示す
△	躯体欠損箇所を示す

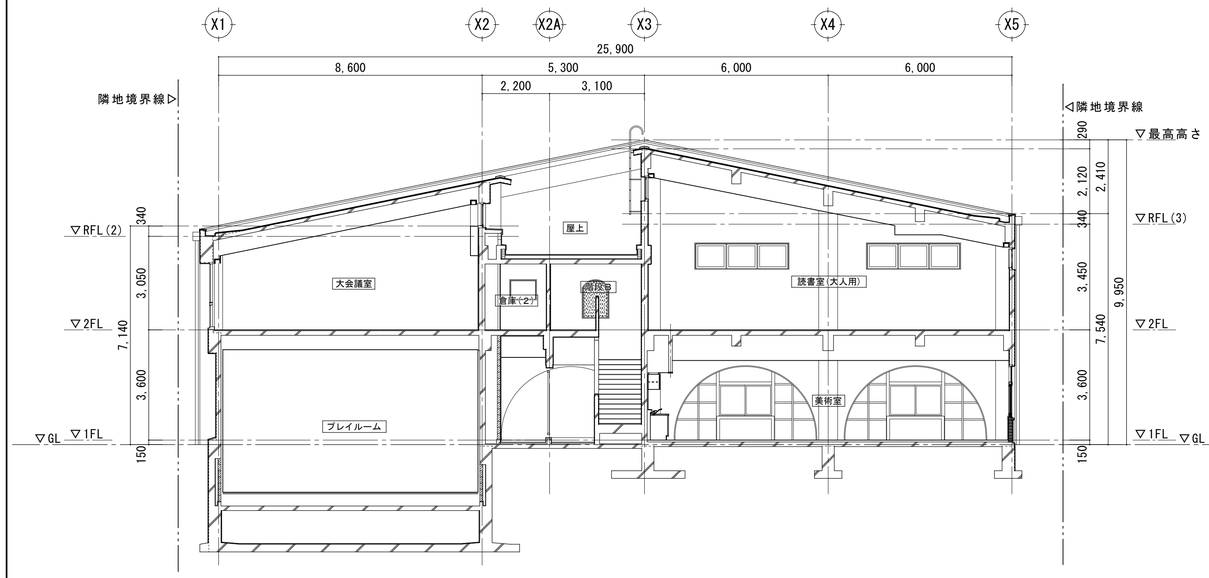
		設計時調査							施工時調査					
名　称	単位	東　面	西　面	南　面	北　面	調査数量	係数	設計数量	東　面	西　面	南　面	北　面	施工数量	
クラック	m	49.9	31.4	38.6	29.3	149.2	2.0	298						
欠　損	箇所	00	1	00	00	1	30	30						
爆　裂	箇所	8	1	10	7	26	10	260						

注 記
・調査数量は既存塗膜有りの状況調査の為、各係数を乗じた数量を設計数量として算出する。
・施工数量調査は石綿除去作業後、吹付材，既存塗膜を全撤去した状況にて行う事。

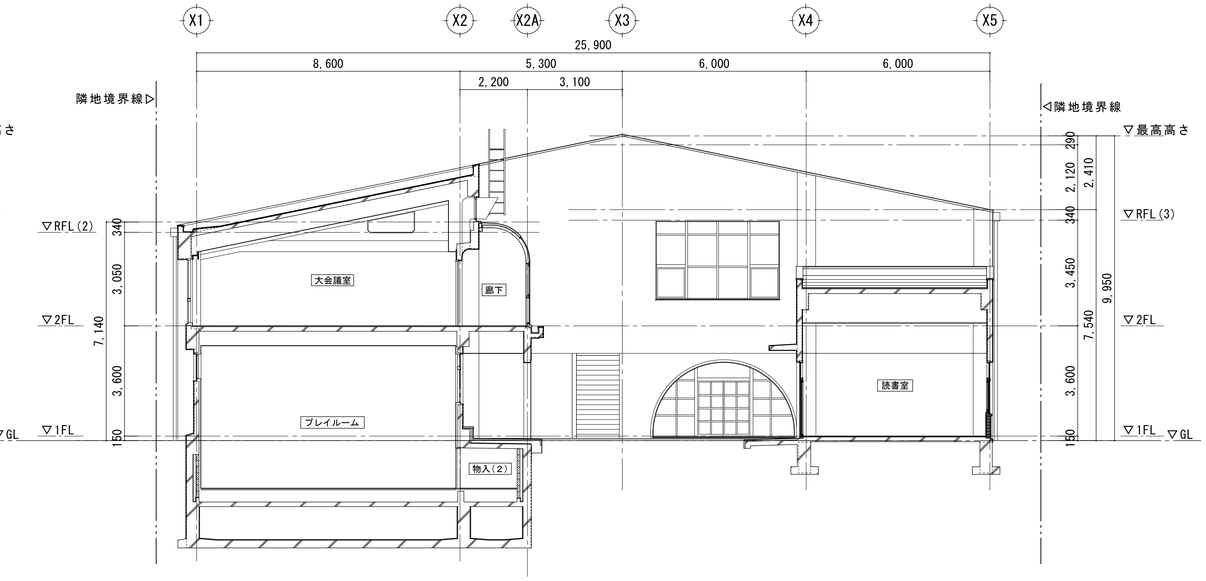
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		立面図２（劣化補修位置図）［改修前］	０２９
SCALE 1/100		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-29

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

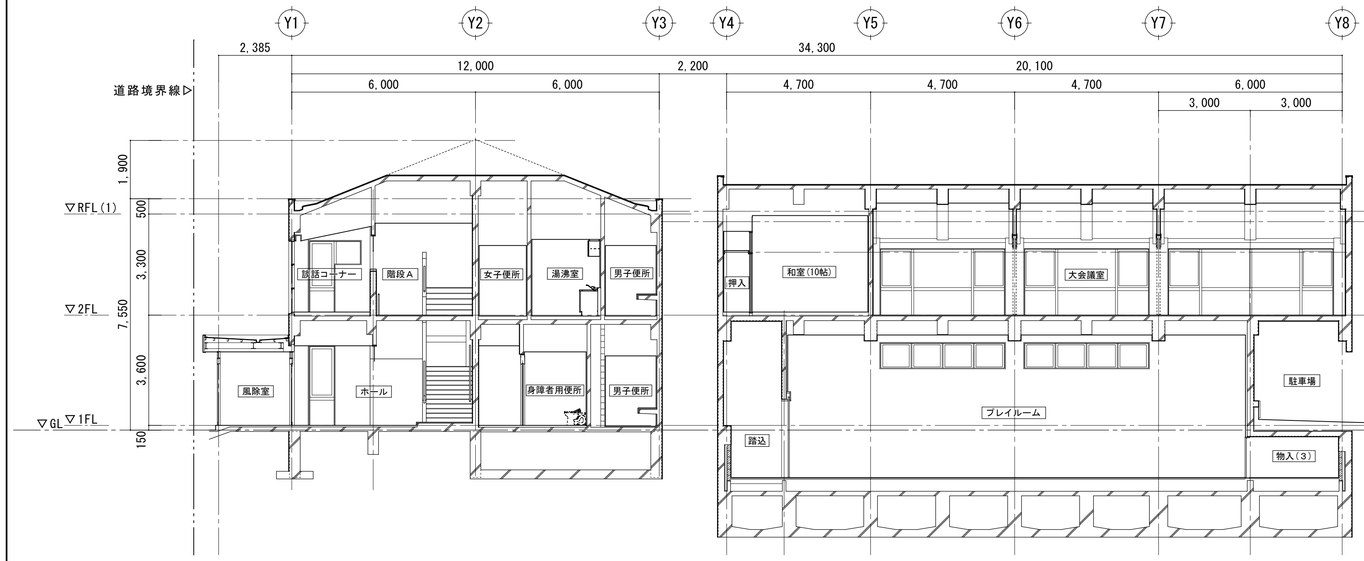
改修前



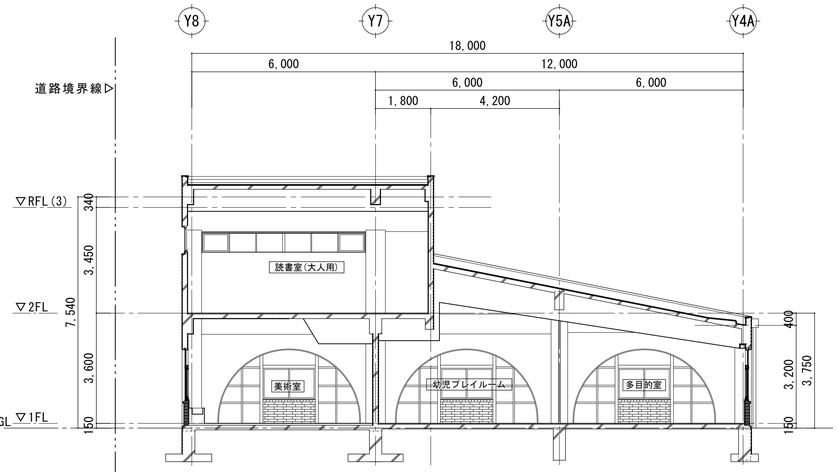
A － A 断 面 図 S=1/100



B － B 断 面 図 S=1/100



C － C 断 面 図 S=1/100

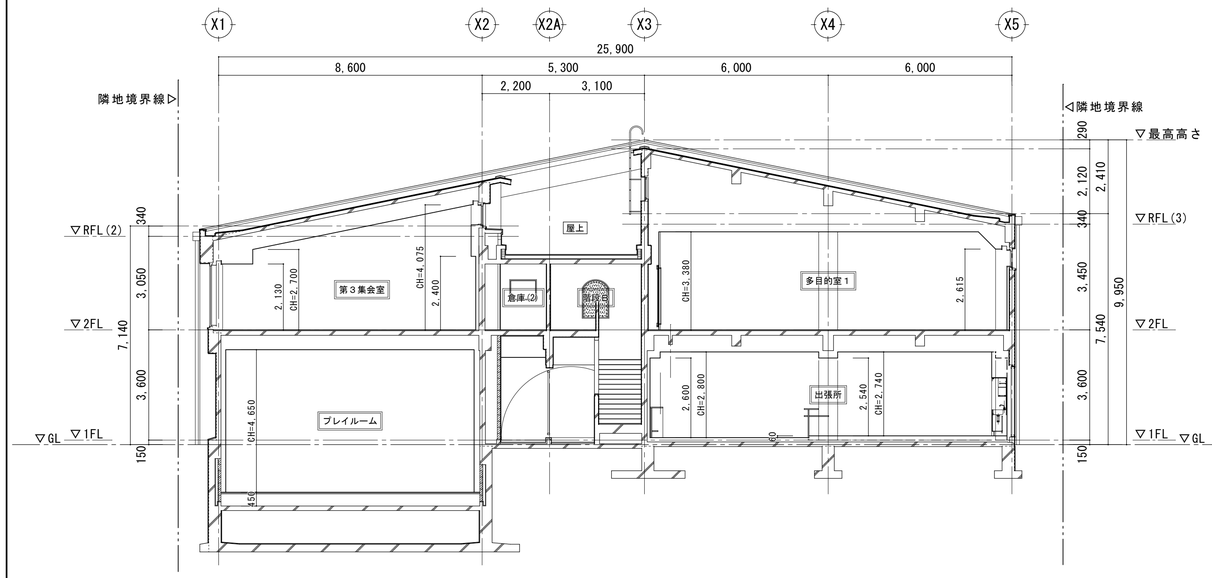


D － D 断 面 図 S=1/100

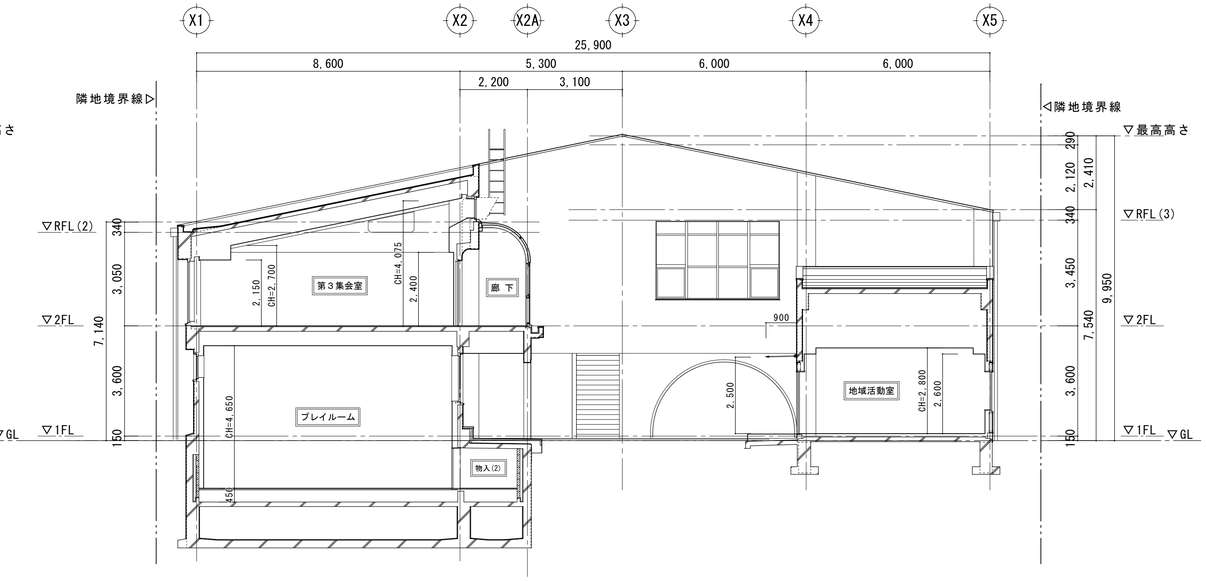
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		断面図（改修前）	030
SCALE 1/100		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-30

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

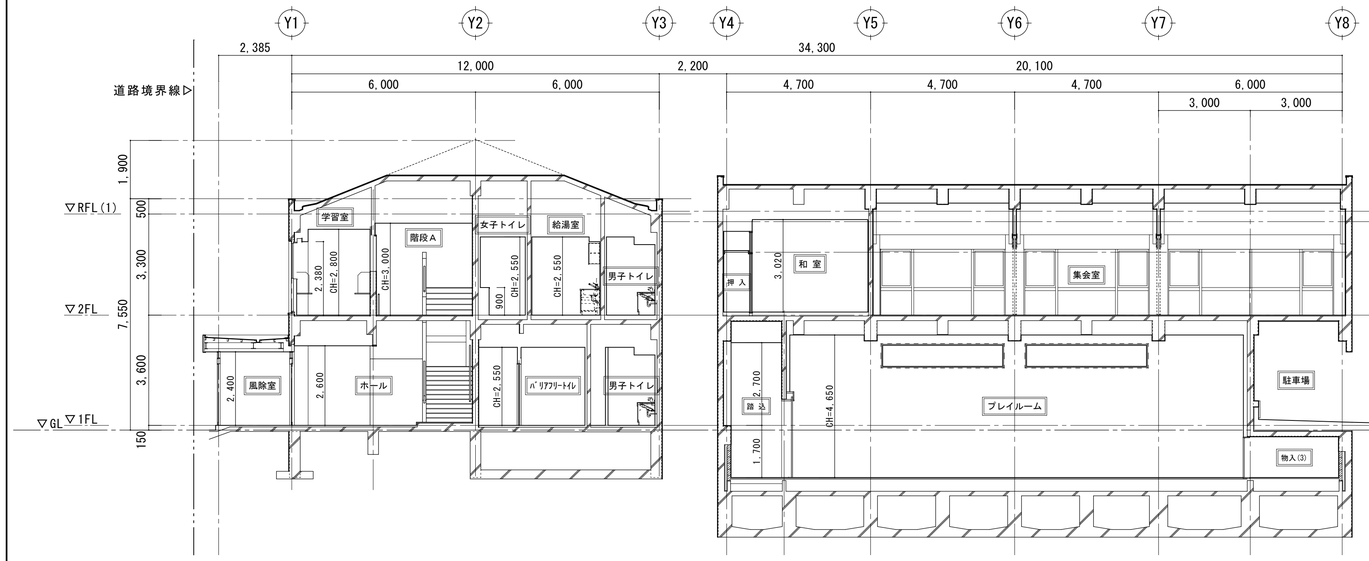
改修後



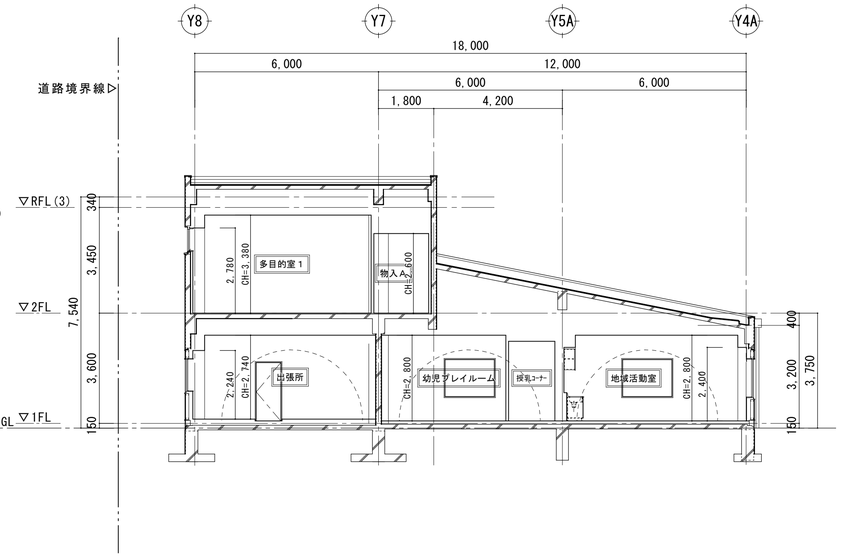
Ａ － Ａ 断 面 図 S=1/100



Ｂ － Ｂ 断 面 図 S=1/100



Ｃ － Ｃ 断 面 図 S=1/100

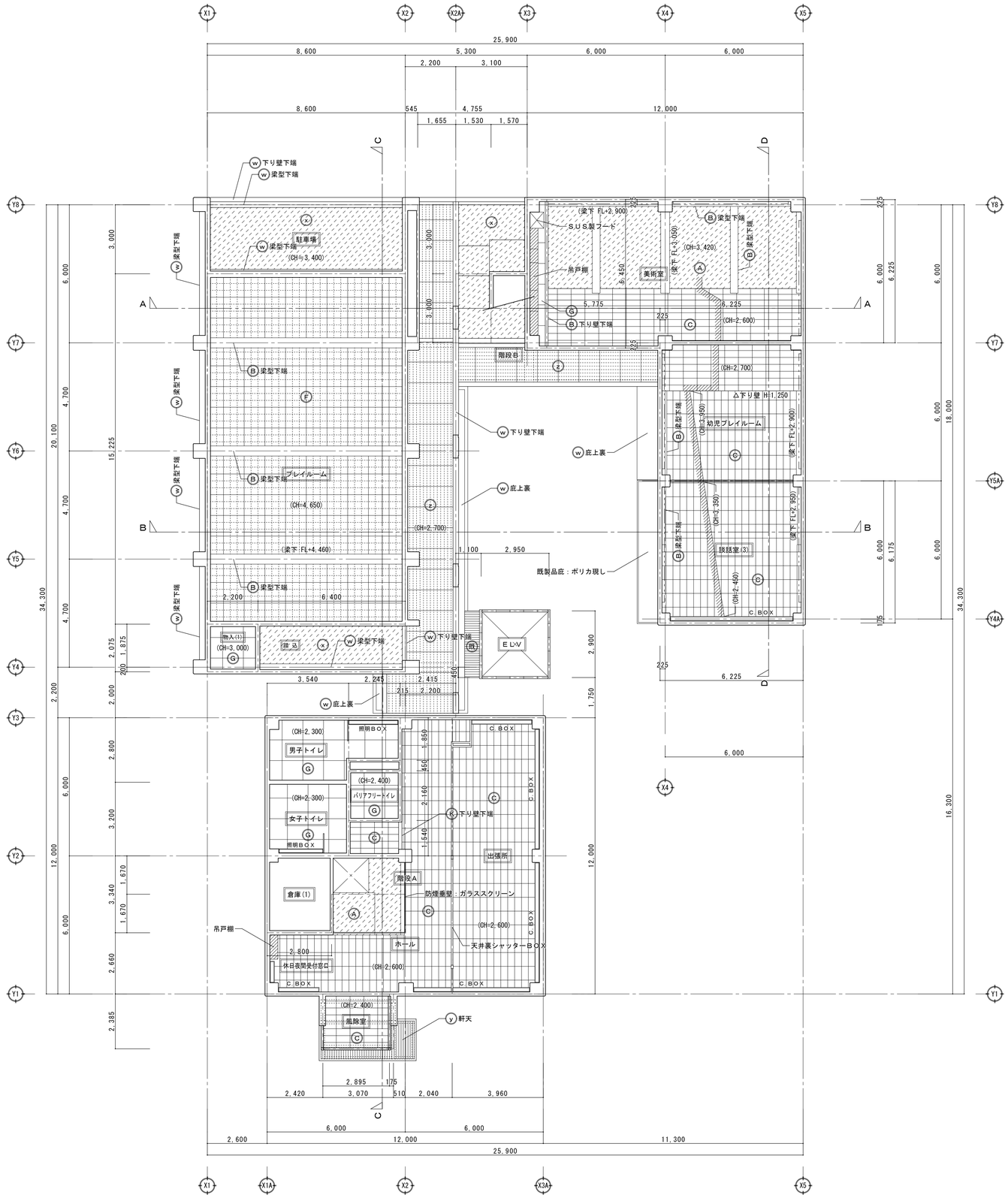


Ｄ － Ｄ 断 面 図 S=1/100

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		断面図（改修後）	０３１
SCALE 1/100		© ㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-31

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前



1 階 天 井 伏 図　S=1/100

注記）

□ 既存ＲＣ面塗装改修対象箇所は施工数量調査を実施の事。
　石綿含有箇所については石綿除去作業後、吹付材、既存塗膜を全撤去した状況にて行う事。

□ 下記凡例に記載のある塗装吹付材はアスベスト含有建材となるため、吹付下地材全撤去工法を採用する。
　・集塵装置付き超高圧水洗工法(100Mpa以上)、及び湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法を実施する事。
　・上記工法に応じた養生、作業を行う事。
　・足場床面、及び壁面、開口部については汚れ防止養生シートにて養生施工を行う事。
　・施工計画書を作成の上、監督員の承認の上施工を行う事。
　・関係法令に基づく書類の作成、届出を行う事。

■ 既存仕上表

【 内 部 】

記号	仕上		石綿含有の有無	下地	
A	ＲＣ打放し 軽量骨材吹付	既存塗膜全面除去	―――	ＲＣ	
B	ＲＣ打放し ＶＥ塗装	撤去、処分	―――	ＲＣ	
C	ＰＢ t=9.5 + ロックウール化粧吸音板(平板) t=12	撤去、処分	―――	軽量鉄骨天井下地(屋内用)	撤去、処分
D	化粧ＰＢ(杉柾敷目柄) t=9.5の上、ビニルクロス(杉柾柄)貼り	撤去、処分	―――	軽量鉄骨天井下地(屋内用)	撤去、処分
E	ＰＢ t=9.5 継目処理 ＥＰ塗装	撤去、処分	―――	軽量鉄骨天井下地(屋内用)	撤去、処分
F	ロックウール t=25 + 特殊有孔ＰＢ t=9.5 ＥＰ塗装	撤去、処分	―――	軽量鉄骨天井下地(屋内用)	撤去、処分
G	ケイカル板 t=6 目透しＥＰ	撤去、処分	―――	軽量鉄骨天井下地(屋内用)	撤去、処分
H	難燃ベニヤ合板 t=5.5	撤去、処分	―――	木製天井組み	撤去、処分
I	網代板張り(難燃処理)	撤去、処分	―――	木製天井組み	撤去、処分
J	木毛セメント板 t=25 (打込み)		―――	ＲＣ	
K	ＲＣ打放し マスチックＣＥローラー	既存塗膜全面除去	有り	ＲＣ	
既	（既存のまま）				

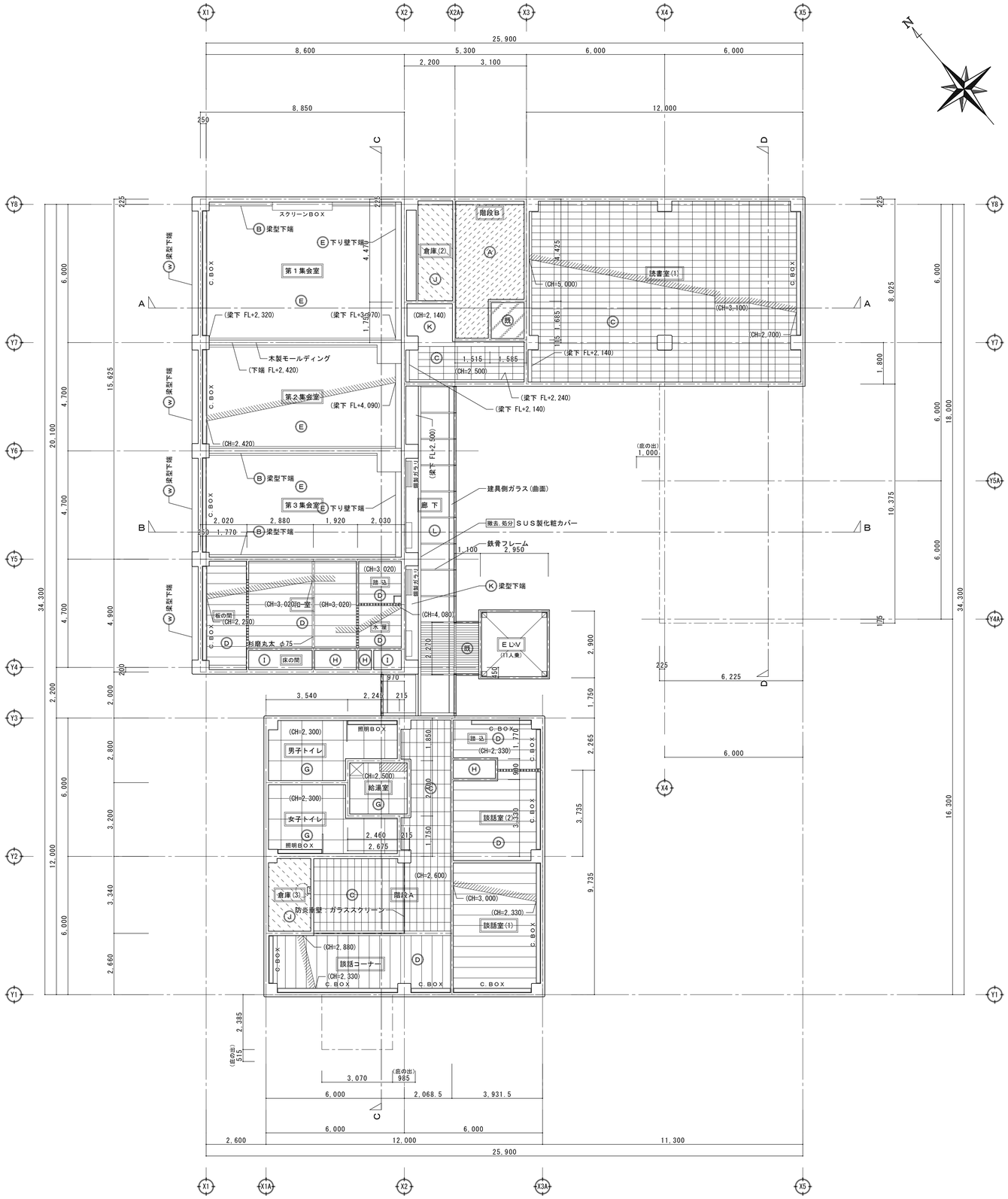
【 外 部 】

記号	仕上		石綿含有の有無	下地	
w	ＲＣ打放し アクリル弾性吹付タイルの上、ＶＥローラー重ね塗り	既存塗膜全面除去	有り	ＲＣ	
x	ＲＣ打放し 軽量骨材吹付	既存塗膜全面除去	―――	ＲＣ	
y	カラーアルミスパンドレル張り t=1.0	撤去、処分	―――	軽量鉄骨天井下地(屋外用)	撤去、処分
z	ＳＵＳ製クリンプ金網 6φ-60x60	撤去、処分	―――	軽量鉄骨天井下地(屋外用)	撤去、処分
既	（既存のまま）				

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		1階天井伏図［改修前］	032
SCALE 1/100		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-32

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

改修前



２ 階 天 井 伏 図 S=1/100

注記）

□ 既存ＲＣ面塗装改修対象箇所は施工数量調査を実施の事。
石綿含有箇所については石綿除去作業後、吹付材、既存塗膜を全撤去した状況にて行う事。

□ 下記凡例に記載のある塗装吹付材はアスベスト含有建材となるため、吹付下地材全撤去工法を採用する。
・集塵装置付き超高圧水洗工法(100Mpa以上)、及び湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法を実施する事。
・上記工法に応じた養生、作業を行う事。
・足場床面、及び壁面、開口部については汚れ防止養生シートにて養生施工を行う事。
・施工計画書を作成の上、監督員の承認の上施工を行う事。
・関係法令に基づく書類の作成、届出を行う事。

■ 既存仕上表

【 内 部 】

記号	仕上		石綿含有の有無	下地	
Ⓐ	ＲＣ打放し 軽量骨材吹付		有り	ＲＣ	
Ⓑ	ＲＣ打放し ＶＥ塗装		———	ＲＣ	
Ⓒ	ＰＢ t=9.5 + ロックウール化粧吸音板(平板) t=12	撤去,処分	———	軽量鉄骨天井下地(屋内用)	撤去,処分
Ⓓ	化粧ＰＢ(杉柾敷目柄) t=9.5の上、ビニルクロス(杉柾柄)貼り	撤去,処分	———	軽量鉄骨天井下地(屋内用)	撤去,処分
Ⓔ	ＰＢ t=9.5 継目処理 ＥＰ塗装	撤去,処分	———	軽量鉄骨天井下地(屋内用)	撤去,処分
Ⓕ	ロックウール t=25 + 特殊有孔ＰＢ t=9.5 ＥＰ塗装	撤去,処分	———	軽量鉄骨天井下地(屋内用)	撤去,処分
Ⓖ	ケイカル板 t=6 目透しＥＰ	撤去,処分	———	軽量鉄骨天井下地(屋内用)	撤去,処分
Ⓗ	難燃ベニヤ合板 t=5.5	撤去,処分	———	木製天井組み	撤去,処分
Ⓘ	ＰＢ t=9.5 ビニルクロス貼り	撤去,処分	———	木製天井組み	撤去,処分
Ⓙ	木毛セメント板 t=25（打込み）		———	ＲＣ	
Ⓚ	ＲＣ打放し マスチックＣＥローラー	既存塗膜全面除去	有り	ＲＣ	
Ⓛ	ボンデ鋼板 t=1.6 焼付塗装	撤去,処分	———	鉄骨フレーム	
既	（既存のまま）				

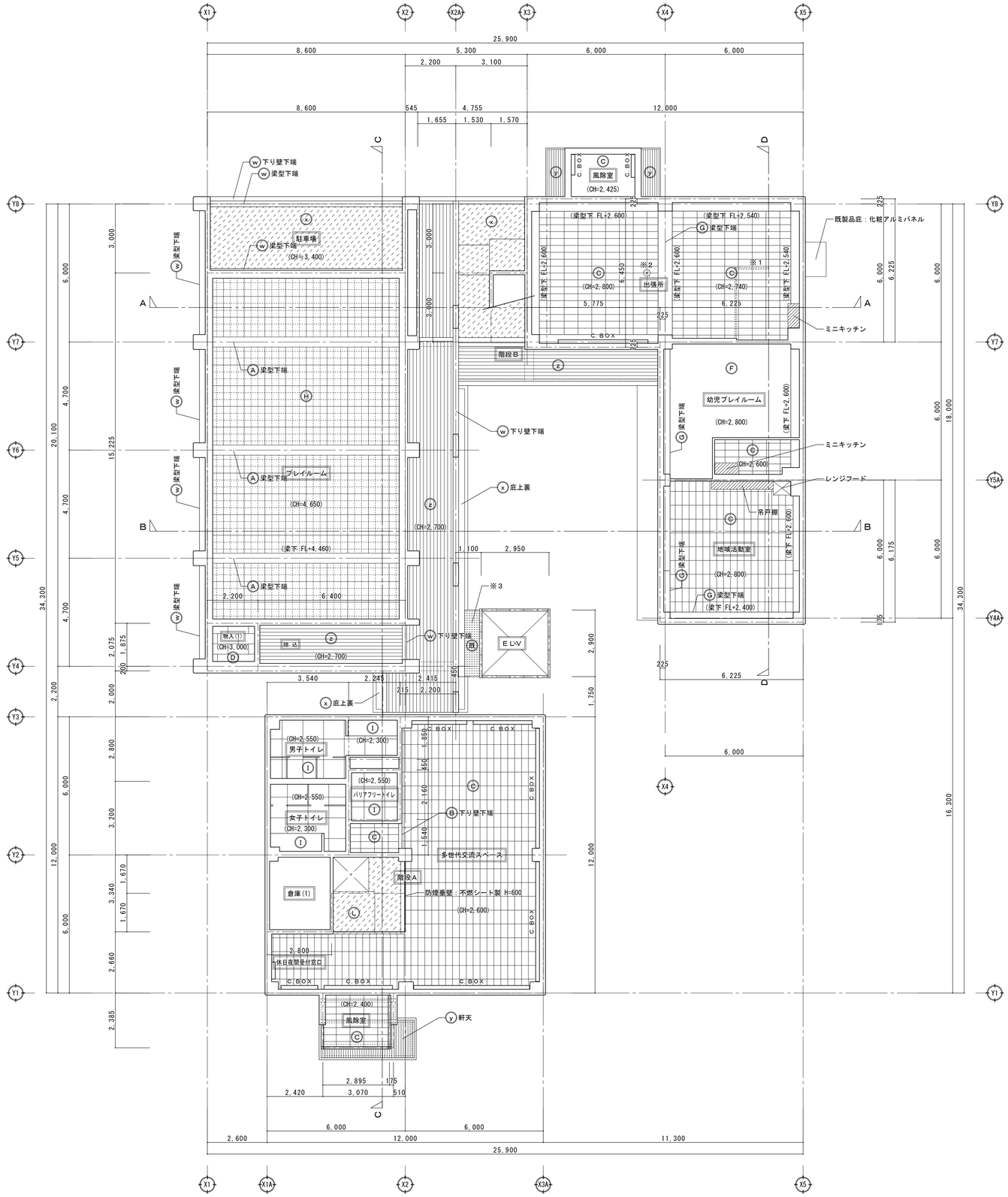
【 外 部 】

記号	仕上		石綿含有の有無	下地	
ⓦ	ＲＣ打放し アクリル弾性吹付タイルの上、ＶＥローラー重ね塗り	既存塗膜全面除去	有り	ＲＣ	
ⓧ	ＲＣ打放し 軽量骨材吹付	既存塗膜全面除去	有り	ＲＣ	
ⓨ	カラーアルミスパンドレル張り t=1.6	撤去,処分	———	軽量鉄骨天井下地(屋外用)	撤去,処分
ⓩ	ＳＵＳ製クリンプ金網 6φ-60x60	撤去,処分	———	軽量鉄骨天井下地(屋外用)	撤去,処分
既	（既存のまま）				

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	２階天井伏図［改修前］		０３３
SCALE 1/100	㈱ 千葉構造設計コンサルタント		A-33

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修後



1 階 天 井 伏 図　S=1/100

特記事項）

※1：パーテーション据付用軽天下地補強　※詳細位置は現場打合せにて決定とする

※2：天井吊モニター取付金具：耐荷重60kg 50~65型用

※3：ＥＶ増築時の仕上材（下地共）は既存のままとする
ただし、表面材の塗装、塗膜系防水、及びアルミパネル等の板間シールの打ち替えは実施の事

天井点検口　【１階内部】５０箇所　仕様：アルミ枠(額縁タイプ) 450x450
【２階内部】５０箇所　仕様：アルミ枠(額縁タイプ) 450x450
【外部】１０箇所　仕様：アルミ枠(額縁タイプ) 450x450
Ｃ.ＢＯＸ　仕様：アルミ製(既製品) W=150 H=120 ＳＵＳカーテンレール(ダブル)共

設備開口補強　【電気設備】３９箇所 350x1350（埋込照明器具）
【電気設備】６２箇所 350x1350（埋込照明器具）
【機械設備】１５箇所 1000x1000（空調室内機）
【機械設備】　３箇所 1000x 600（空調室内機）
【機械設備】２３箇所　600x 600（熱交換換気扇）

【共通事項】

・軽量鉄骨天井下地の補強は下記による

(1) 照明器具、ダクト吹出し口等の開口の為に野縁又は野縁受けが切断された場合は、同材で補強する事。
また、ダクト等によって吊りボルトの間隔が９００㎜を超える場合は補強を行う事。

(2) 天井点検口等の人の出入りする開口部は、野縁受けと同材で取付け用補強材を設けて補強する事。

(3) 野縁は野縁受けから１５０㎜以上はね出さない事。

(4) 下り壁、間仕切壁等を境として、天井に段違いがある場合は、野縁受と同材又は L-３０x３０x３程度で、間隔２．７m程度に斜め補強を行う。

(5) 天井のふところが１．５m以上の場合は、吊りボルトと同材又は［-１９x１０x１．２以上を用いて吊りボルトの巣塀補強、斜め補強を行う事。

・水平補強:縦横方向に間隔１．８m程度に配置する事。

・斜め補強:相対する斜め材を１組とし、縦横方向に間隔３．６m程度の配置をする事。

■ 改修後仕上表

【 内 部 】

記号	仕上	下地
Ⓐ	塗装改修 （コンクリート面）ＥＰ塗装	ＲＣ
Ⓑ	塗装改修 ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り　上塗）シリコンクリヤ塗装	ＲＣ
Ⓒ	新設 ＰＢ t=9.5 + ロックウール化粧吸音板(平板) t=12	新設 軽量鉄骨天井下地(屋内用)
Ⓓ	新設 化粧ＰＢ t=9.5	新設 軽量鉄骨天井下地(屋内用)
Ⓔ	新設 ＰＢ t=9.5 + ビニルクロス(杉柾柄)貼り	新設 軽量鉄骨天井下地(屋内用)
Ⓕ	新設 ＰＢ t=9.5 + ビニルクロス(不燃)貼り	新設 軽量鉄骨天井下地(屋内用)
Ⓖ	新設 ＰＢ t=9.5 継目処理 ＥＰ塗装	新設 軽量鉄骨天井下地(屋内用)
Ⓗ	新設 ロックウール t=25 + 有孔ＰＢ t=9.5 ＥＰ塗装	新設 軽量鉄骨天井下地(屋内用)
Ⓘ	新設 ケイカル板 t=6 目透しＥＰ	新設 軽量鉄骨天井下地(屋内用)
Ⓙ	新設 難燃ベニヤ合板 t=5.5	新設 木製天井組み
Ⓚ	新設 カラーガルバリウム鋼板 t=1.2	
Ⓛ	塗装改修 バーライト系天井用吹付材	
既	（既存のまま）	

【 外 部 】

記号	仕上	下地
ⓦ	外壁改修 ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り　上塗）フッ素クリヤ塗装	ＲＣ
ⓧ	外壁改修 ＲＣ打放し 水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材	ＲＣ
ⓨ	新設 けい酸カルシウム板張り(ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK t6 目透し)ＥＰ塗装	新設 軽量鉄骨天井下地(屋外用)
ⓩ	新設 けい酸カルシウム板張り(ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK t6 目透し)ＥＰ塗装	新設 軽量鉄骨天井下地(屋外用)
既	（既存のまま）	

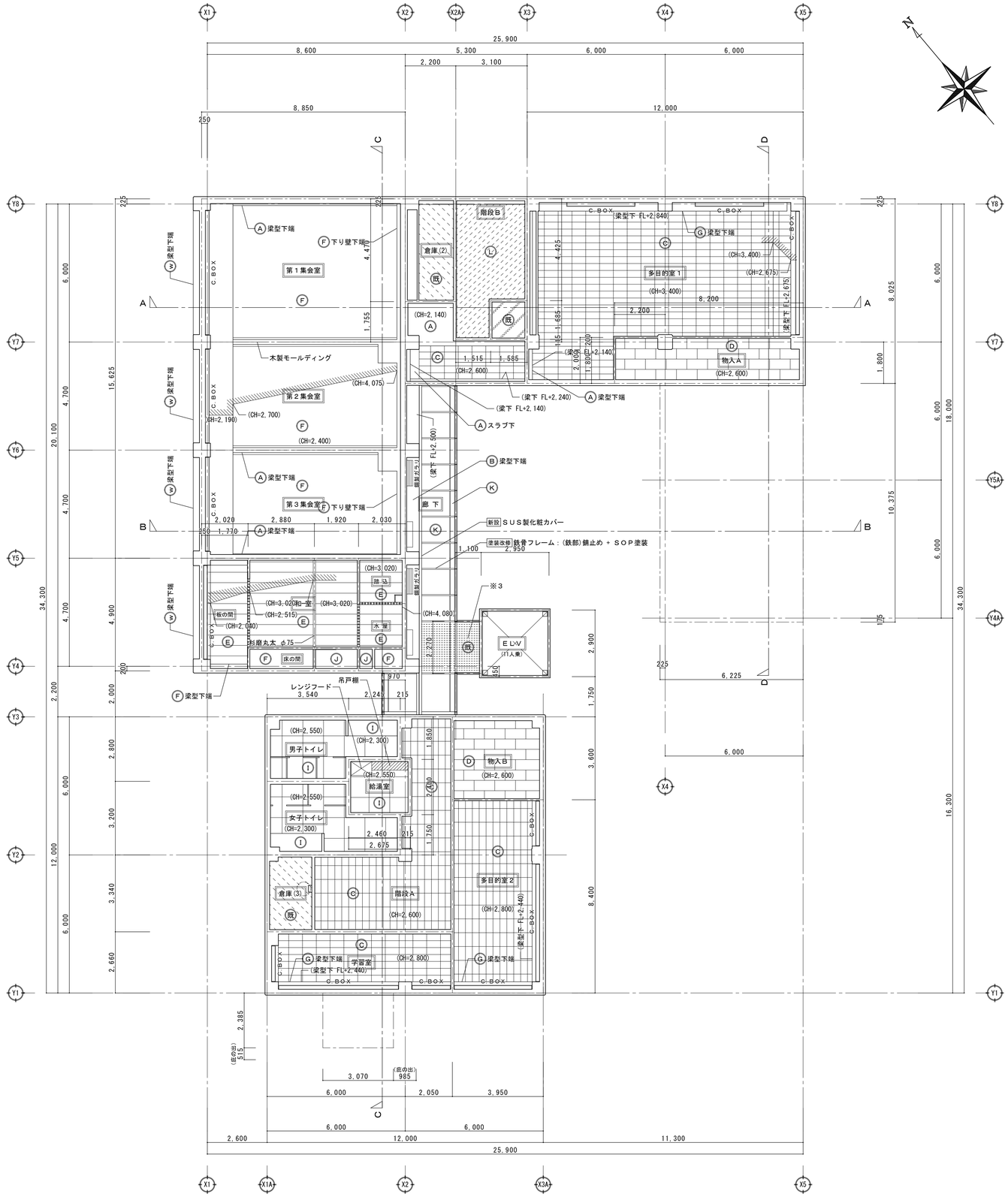
■ 特記事項）

・天井点検口の取付け位置については監理者(監督員)、及び各設備工事関係者と協議の上、現場打合せにて取り決めの事とする。

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		1階天井伏図［改修後］	034
SCALE 1/100		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-34

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

改修後



２ 階 天 井 伏 図　S=1/100

特記事項）

※１：パーテーション据付用軽天下地補強　※詳細位置は現場打合せにて決定とする

※２：天井吊モニター取付金具：耐荷重60kg 50～65型用

※３：ＥＶ増築時の仕上材(下地共)は既存のままとする
ただし、表面材の塗装、塗膜系防水、及びアルミパネル等の板間シールの打ち替えは実施の事

天井点検口　【１階内部】５０箇所　仕様：アルミ枠(額縁タイプ) 450x450
【２階内部】５０箇所　仕様：アルミ枠(額縁タイプ) 450x450
【外部】１０箇所　仕様：アルミ枠(額縁タイプ) 450x450
Ｃ.ＢＯＸ　仕様：アルミ製(既製品) W=150 H=120 ＳＵＳカーテンレール(ダブル)共

設備開口補強　【電気設備】３９箇所 350x1350（埋込照明器具）
【電気設備】６２箇所 350x1350（埋込照明器具）
【機械設備】１５箇所 1000x1000（空調室内機）
【機械設備】　３箇所 1000x 600（空調室内機）
【機械設備】２３箇所　600x 600（熱交換換気扇）

【共通事項】

・軽量鉄骨天井下地の補強は下記による

(1) 照明器具、ダクト吹出し口等の開口の為に野縁又は野縁受けが切断された場合は、同材で補強する事。
また、ダクト等によって吊りボルトの間隔が９００mmを超える場合は補強を行う事。

(2) 天井点検口等の人の出入りする開口部は、野縁受けと同材で取付け用補強材を設けて補強する事。

(3) 野縁は野縁受けから１５０mm以上はね出さない事。

(4) 下り壁、間仕切壁等を境として、天井に段違いがある場合は、野縁受と同材又は L-３０x３０x３程度で、間隔２．７m程度に斜め補強を行う。

(5) 天井のふところが１．５m以上の場合は、吊りボルトと同材又は［-１９x１０x１．２以上を用いて吊りボルトの巣崩補強、斜め補強を行う事。
・水平補強：縦横方向に間隔１．８m程度に配置する事。
・斜め補強：相対する斜め材を１組とし、縦横方向に間隔３．６m程度の配置をする事。

■ 改修後仕上表

【 内　部 】

記号	仕　上	下　地
A	塗装改修 （コンクリート面）ＥＰ塗装	ＲＣ
B	塗装改修 ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り　上塗）シリコンクリヤ塗装	ＲＣ
C	新設 ＰＢ t=9.5 + ロックウール化粧吸音板(平板) t=12	新設 軽量鉄骨天井下地(屋内用)
D	新設 化粧ＰＢ t=9.5	新設 軽量鉄骨天井下地(屋内用)
E	新設 ＰＢ t=9.5 + ビニルクロス(杉柾柄)貼り	新設 軽量鉄骨天井下地(屋内用)
F	新設 ＰＢ t=9.5 + ビニルクロス(不燃)貼り	新設 軽量鉄骨天井下地(屋内用)
G	新設 ＰＢ t=9.5 繊目処理 ＥＰ塗装	新設 軽量鉄骨天井下地(屋内用)
H	新設 ロックウール t=25 + 有孔ＰＢ t=9.5 ＥＰ塗装	新設 軽量鉄骨天井下地(屋内用)
I	新設 ケイカル板 t=6 目透しＥＰ	新設 軽量鉄骨天井下地(屋内用)
J	新設 難燃ベニヤ合板 t=5.5	新設 木製天井組み
K		（既存鉄骨フレーム）
L	塗装改修 パーライト系天井用吹付材	ＲＣ
既	（既存のまま）	

【 外　部 】

記号	仕　上	下　地
w	外壁改修 ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り　上塗）フッ素クリヤ塗装	ＲＣ
x	外壁改修 ＲＣ打放し 水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材	ＲＣ
y	新設 けい酸カルシウム板張り(ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK t6 目透し)ＥＰ塗装	新設 軽量鉄骨天井下地(屋外用)
z	新設 けい酸カルシウム板張り(ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK t6 目透し)ＥＰ塗装	新設 軽量鉄骨天井下地(屋外用)
既	（既存のまま）	

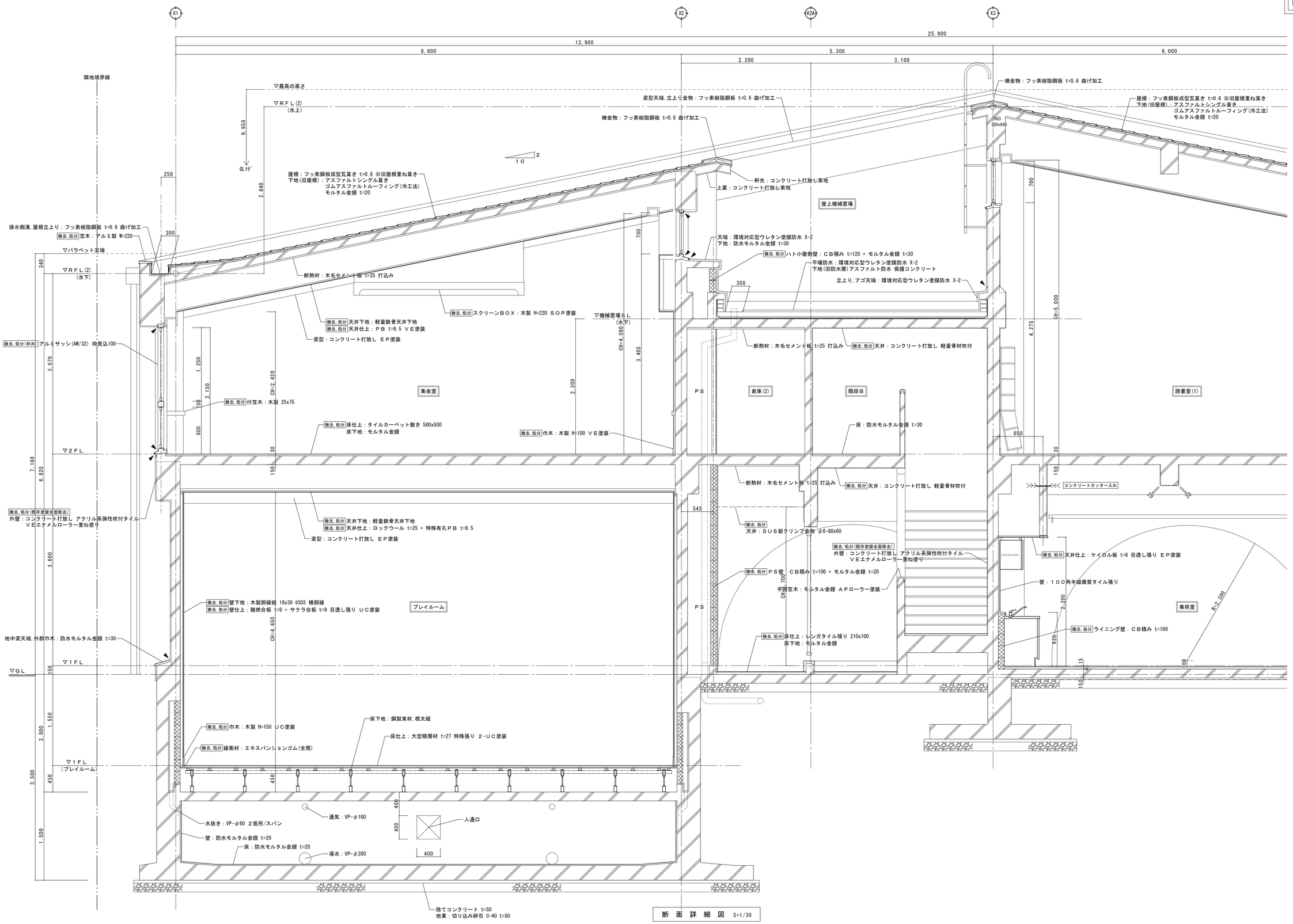
■ 特記事項）

・天井点検口の取付け位置については監理者(監督員)、及び各設備工事関係者と協議の上、現場打合せにて取り決めの事とする。

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		２階天井伏図［改修後］	０３５
SCALE 1/100		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-35

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

改修前



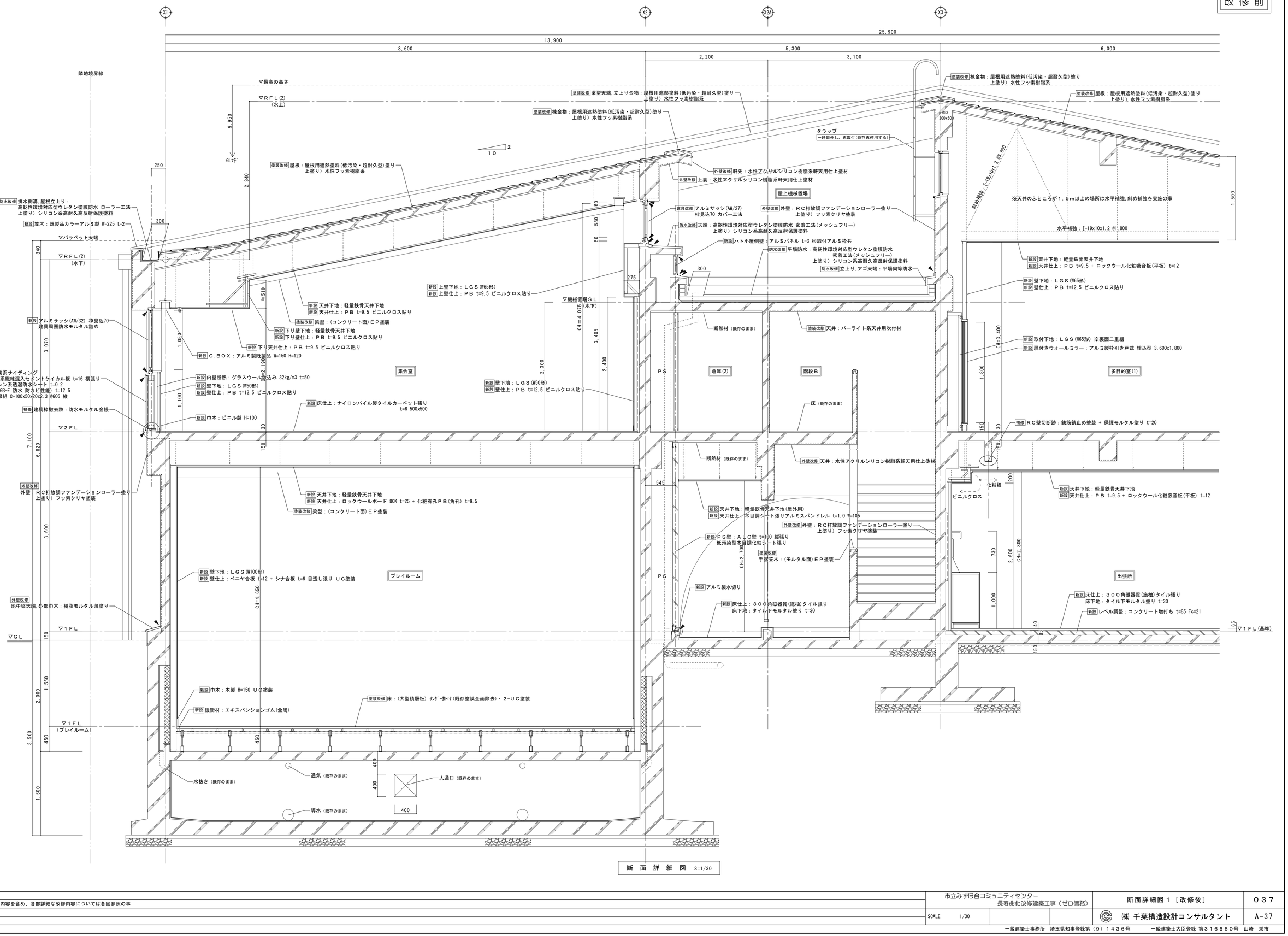
断 面 詳 細 図 S=1/30

■ 注記)
・本図に記載無き項目,内容を含め、各部詳細な改修内容については各図参照の事

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		断面詳細図１［改修前］	０３６
SCALE 1/30		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-36

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前



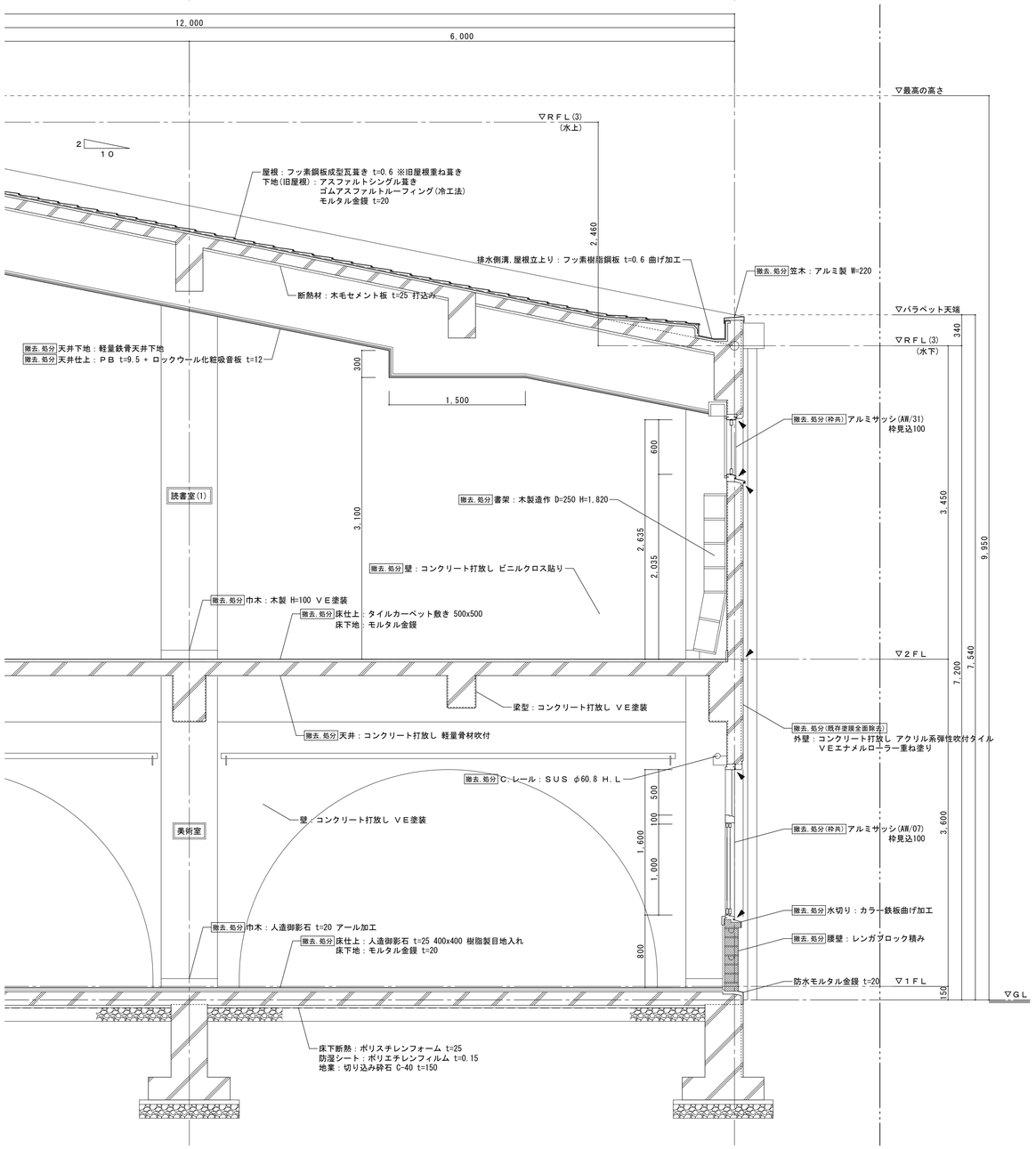
断 面 詳 細 図 S=1/30

■ 注記)
・本図に記載無き項目,内容を含め、各部詳細な改修内容については各図参照の事

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		断面詳細図１［改修後］	０３７
SCALE 1/30		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-37

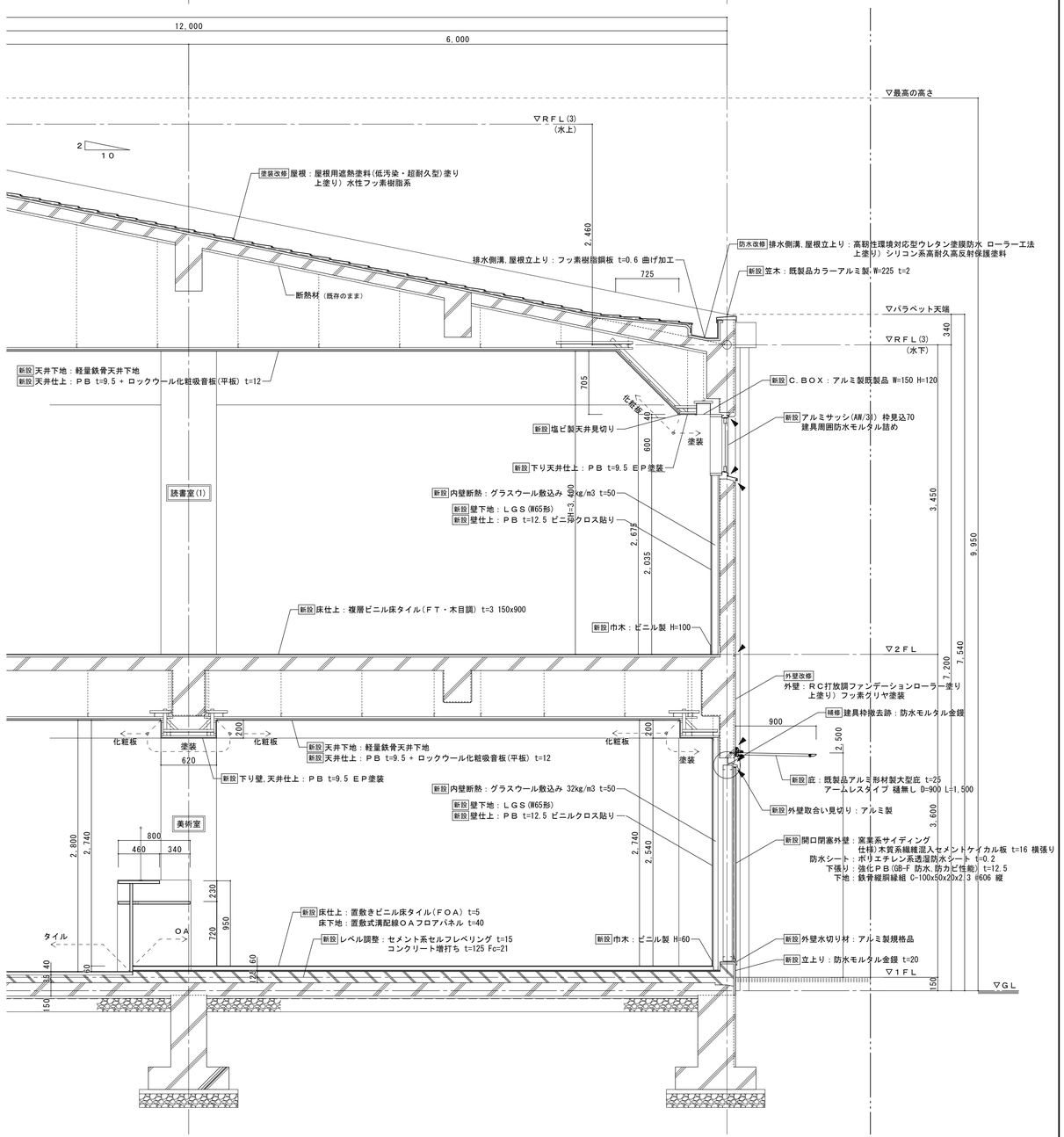
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前



断 面 詳 細 図 S=1/30

改修後



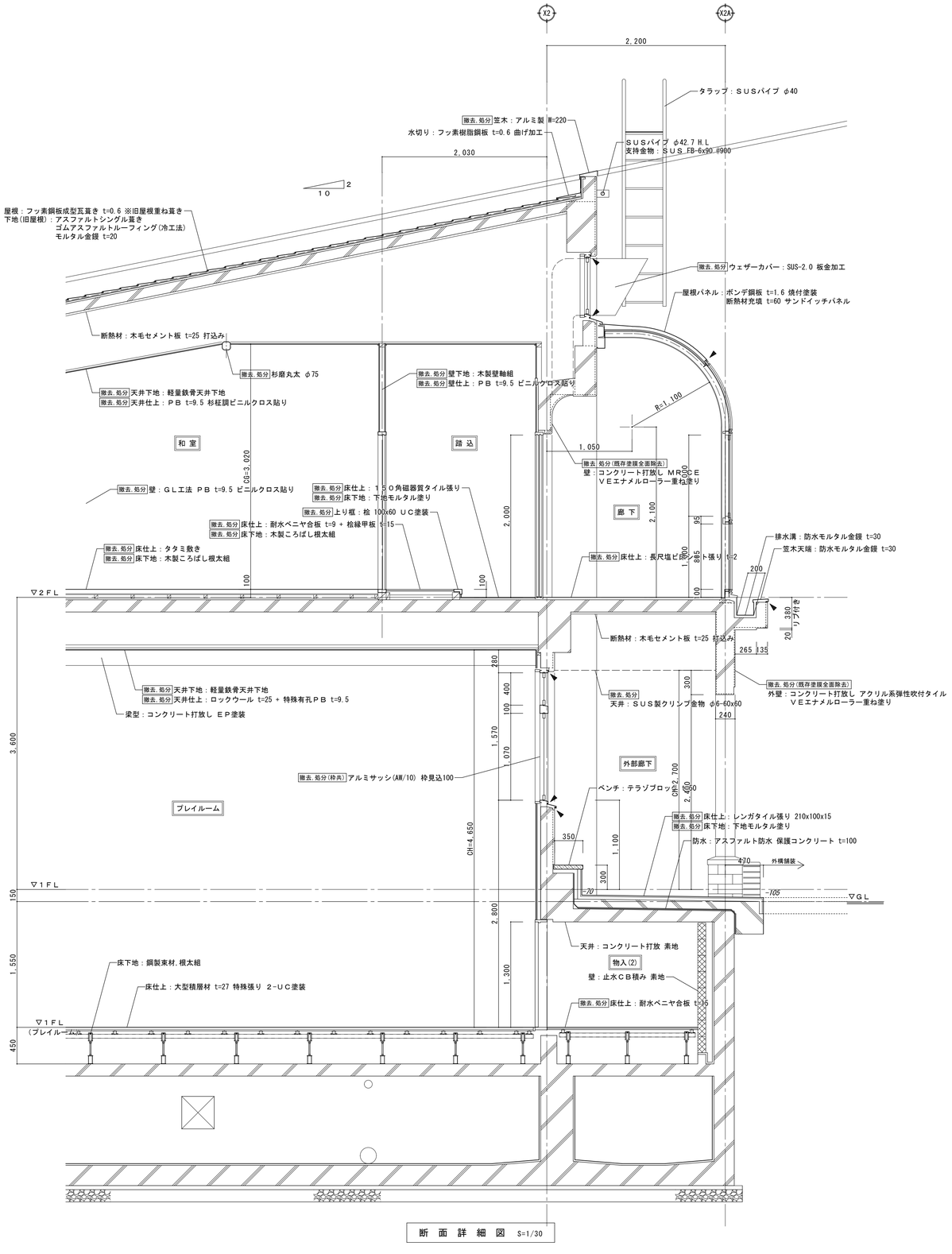
断 面 詳 細 図 S=1/30

■ 注記)
・本図に記載無き項目,内容を含め、各部詳細な改修内容については各図参照の事

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		断面詳細図２［改修前・後］	０３８
SCALE 1/30		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-38

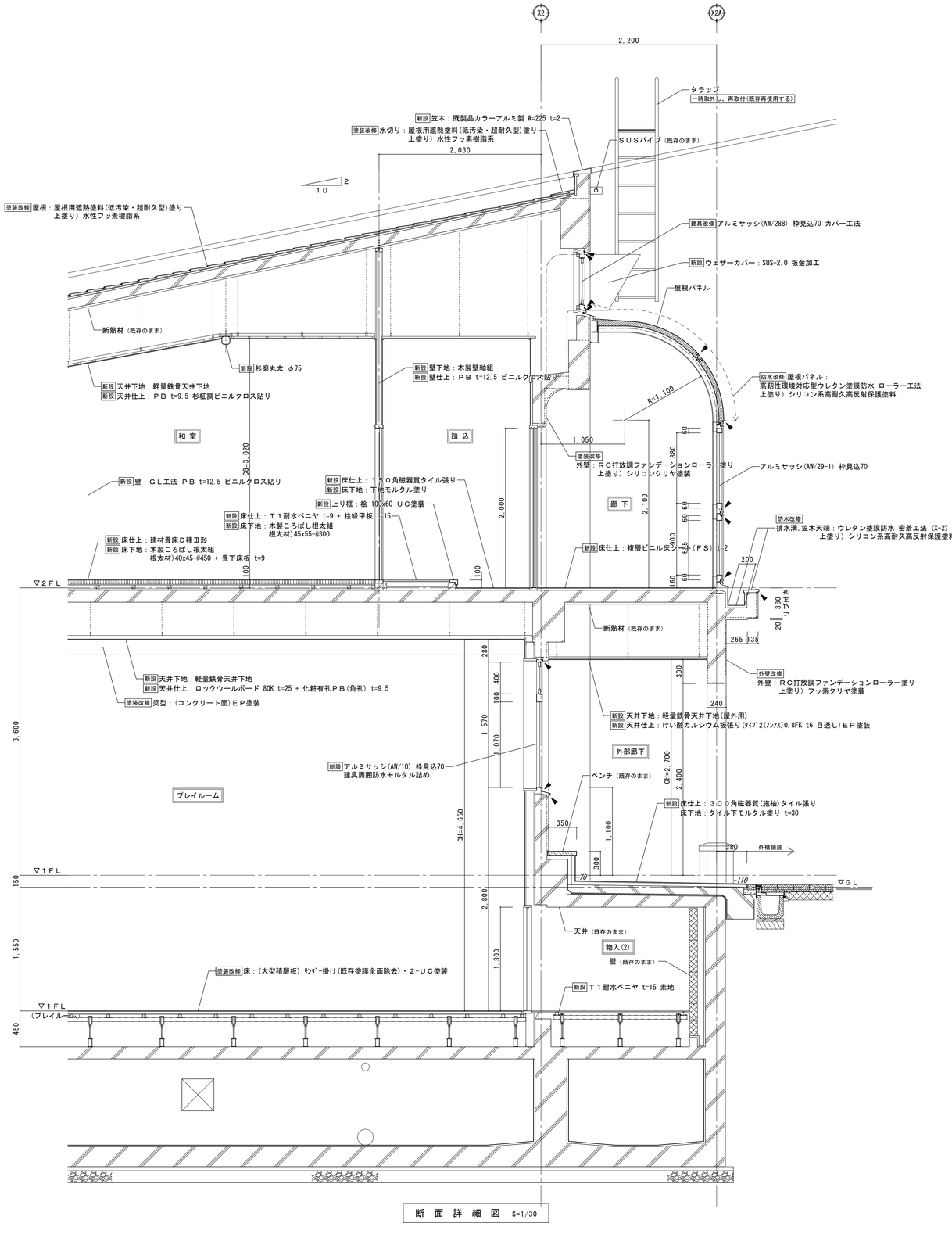
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前



断 面 詳 細 図 S=1/30

改修後



断 面 詳 細 図 S=1/30

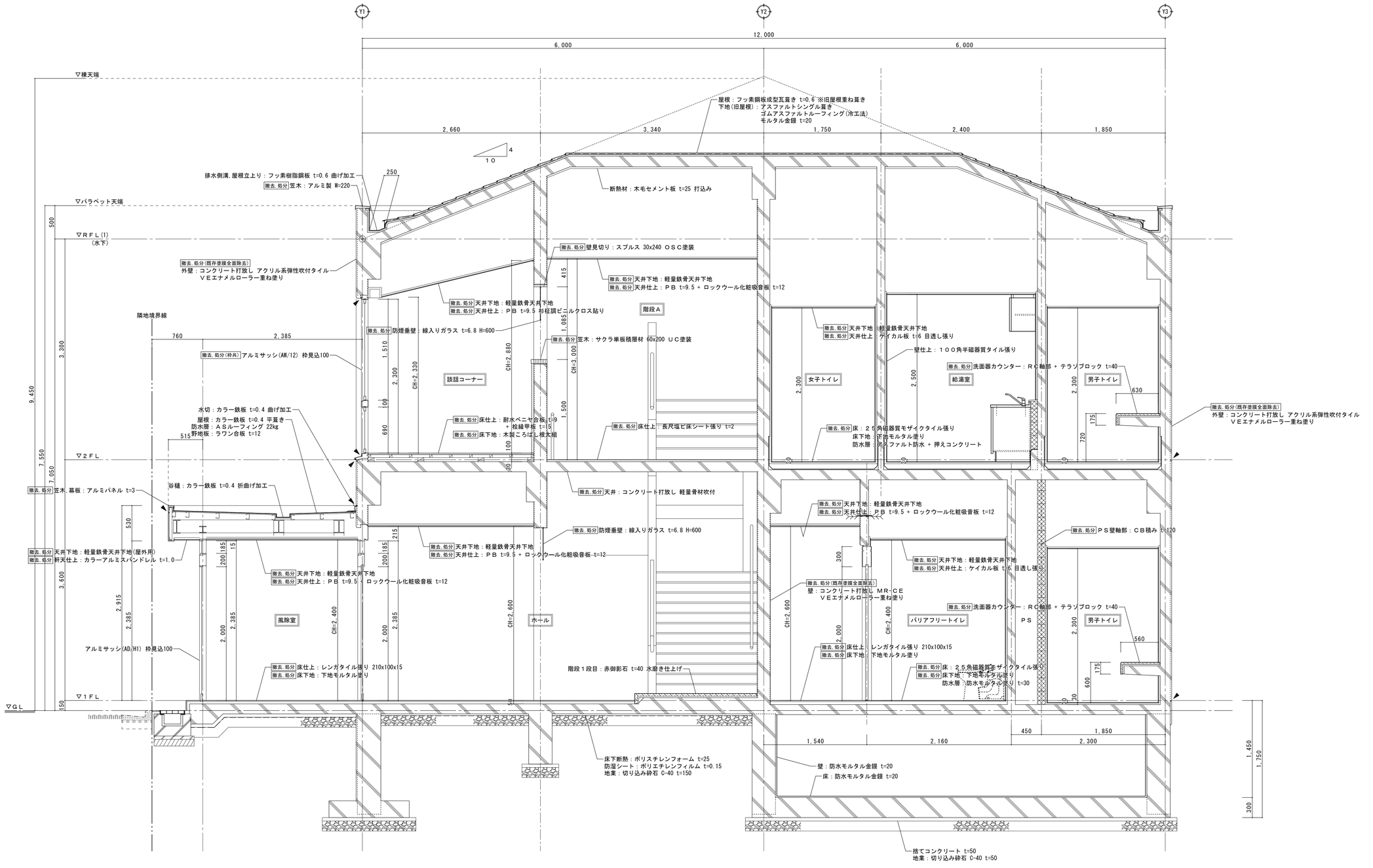
■ 注記)

・本図に記載無き項目,内容を含め、各部詳細な改修内容については各図参照の事

市立みすほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		断面詳細図３［改修前・後］	０３９
SCALE 1/30		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-39

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前



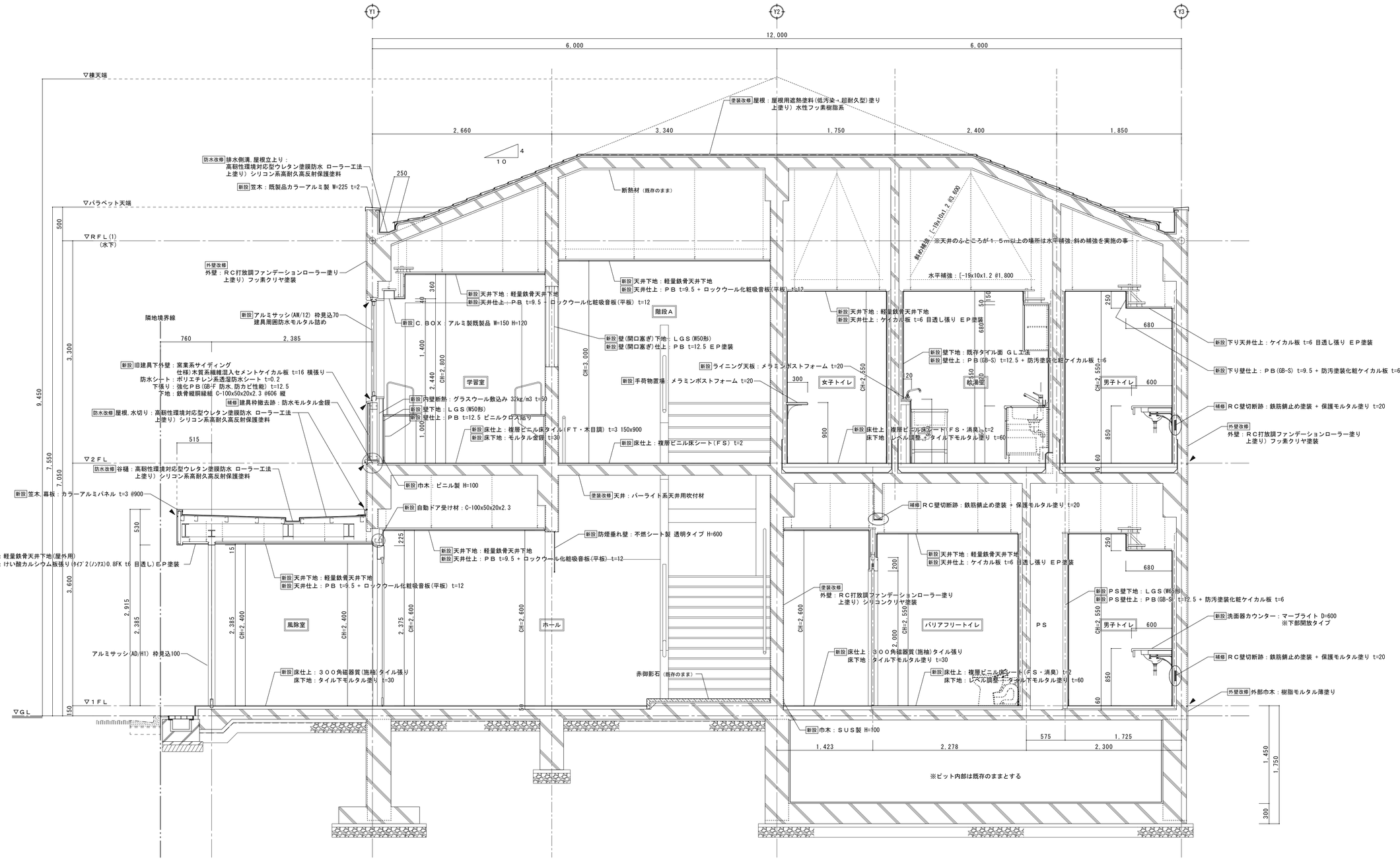
断 面 詳 細 図 S=1/30

■ 注記)
・本図に記載無き項目,内容を含め、各部詳細な改修内容については各図参照の事

市立みすほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）			断面詳細図４［改修前］	０４０
SCALE 1/30			㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-40

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前



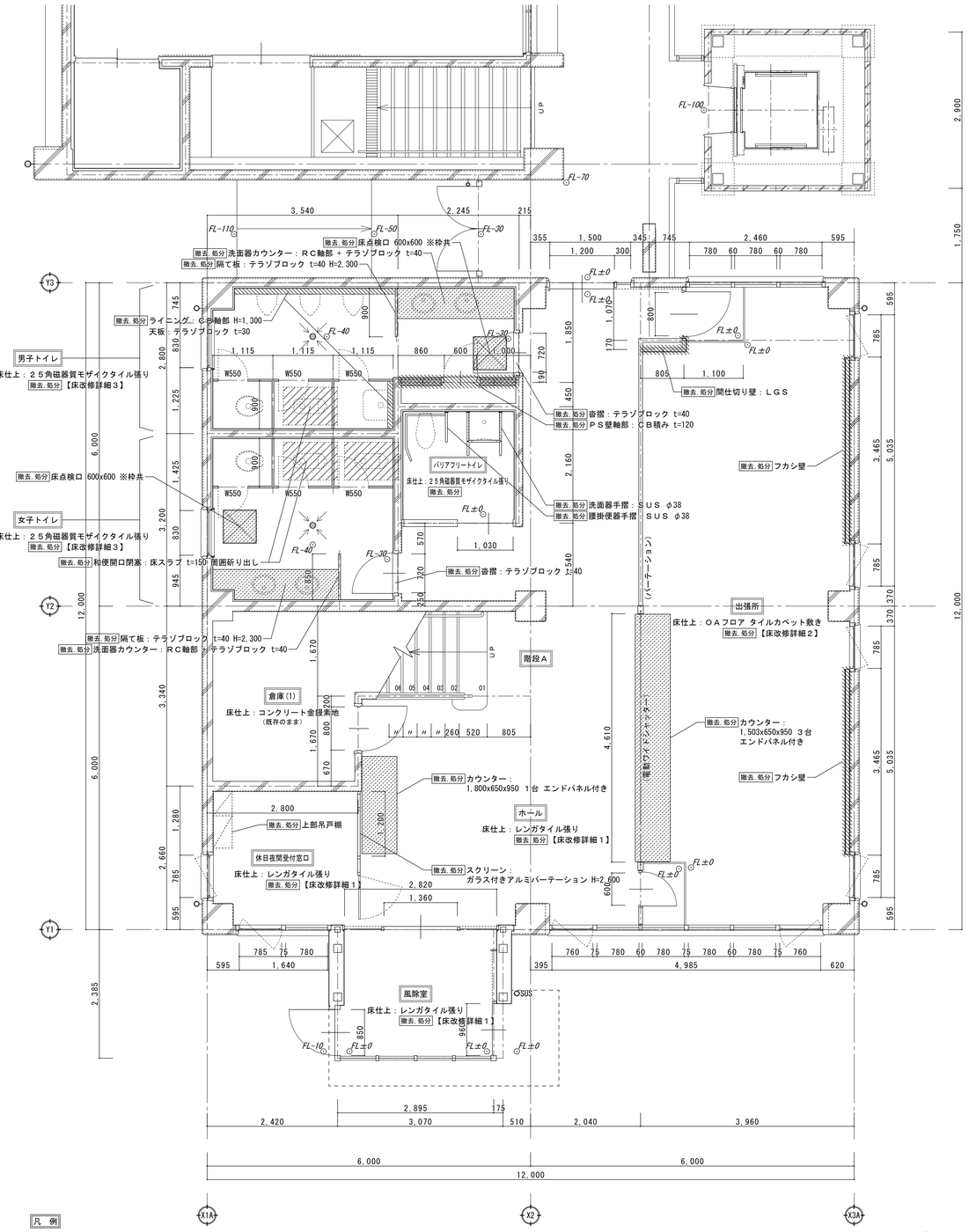
断 面 詳 細 図 S=1/30

■ 注記）
・本図に記載無き項目,内容を含め、各部詳細な改修内容については各図参照の事

市立みすほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	断面詳細図４［改修後］	０４１
SCALE 1/30	© ㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-41

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前



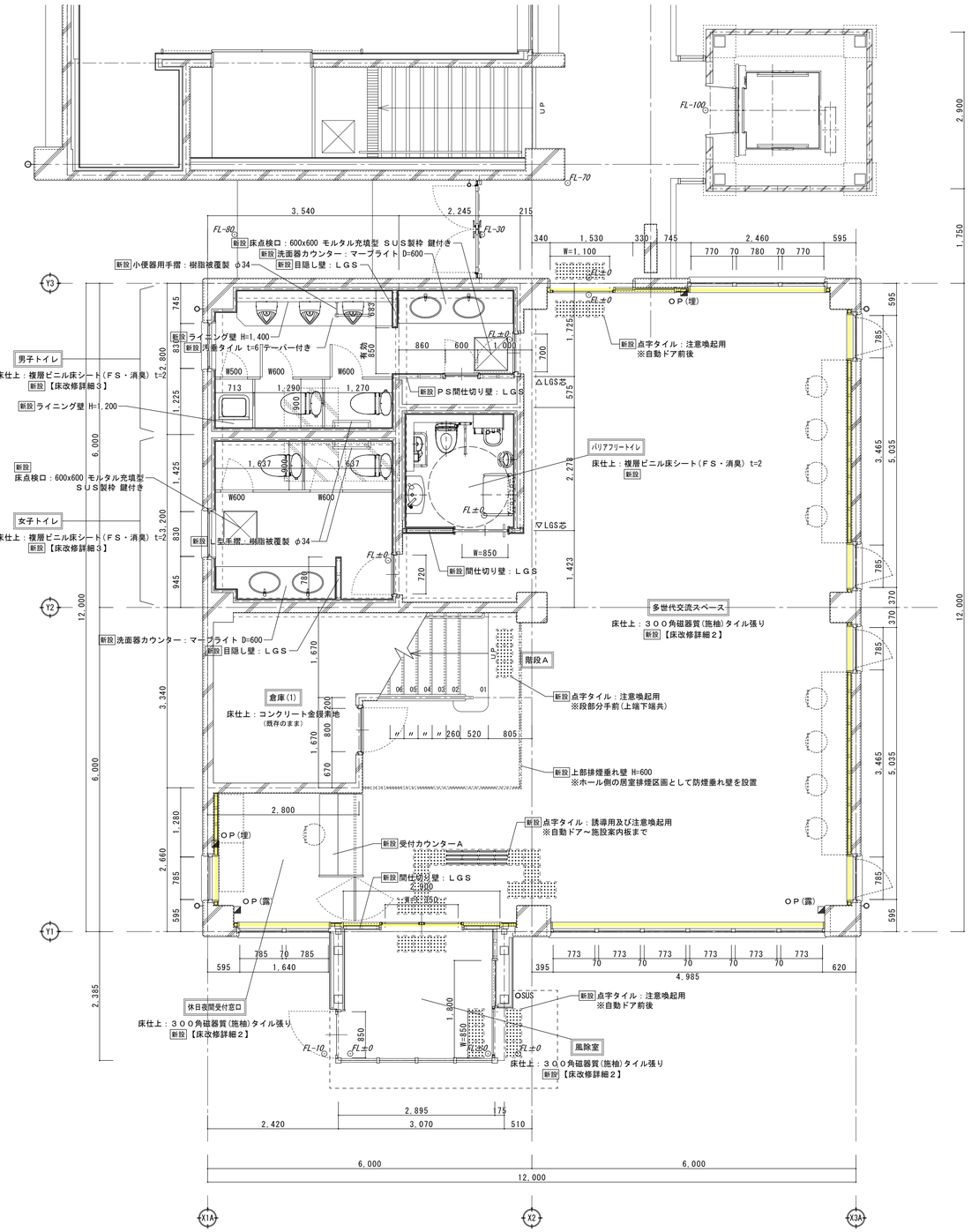
凡例

P:2.5(45)	床：仕上材　撤去範囲を示す
P:2.5(45)	床：下地, 仕上共　撤去範囲を示す
P:1.0(-45)	壁：下地, 仕上共　撤去範囲を示す
P:1.0(45)	その他：撤去物を示す
	ＲＣ, モルタル面：カッター入れ　位置を示す

平 面 詳 細 図　S=1/50

■ 注記）
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事
・その他改修事項は図中記載の表現による

改修後



新設壁種別

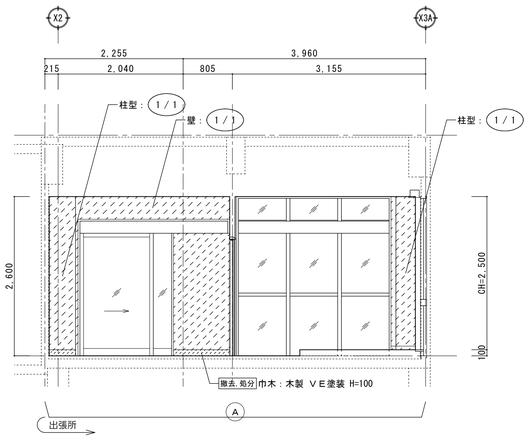
LGSxx	軽量鉄骨下地間仕切壁（一般） 図中特記無きものは６５型にて施工する事。 数値の記載があるものはスタッドの規格寸法とする。 ・スタッド：下地張りのない場合 ※３００ 下地張りのある場合 ※４５０
LGS50	外壁面フカシ壁、内壁断熱 + 軽量鉄骨下地間仕切壁 図中特記無きものは５０型にて施工する事。 断熱仕様：ノンフロン湿式不燃断熱材吹付 t=30(熱伝導率0.044W/m・K) エスケー化研/セラミタイトエコＧ 同等程度 断熱仕様：グラスウール敷込み 32kg/m3 t=50

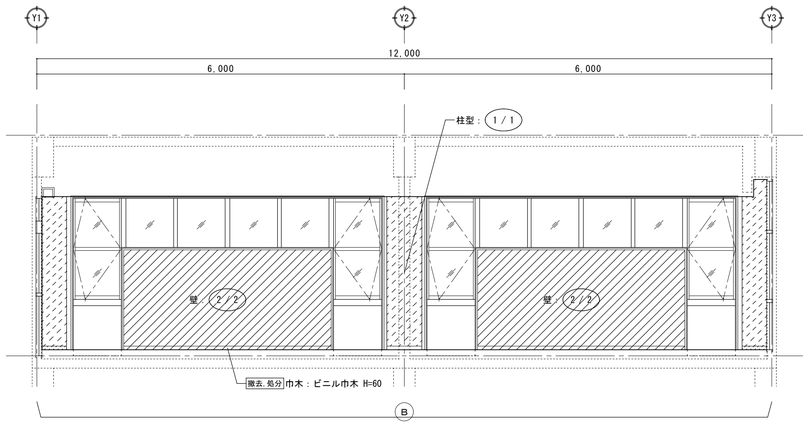
平 面 詳 細 図　S=1/50

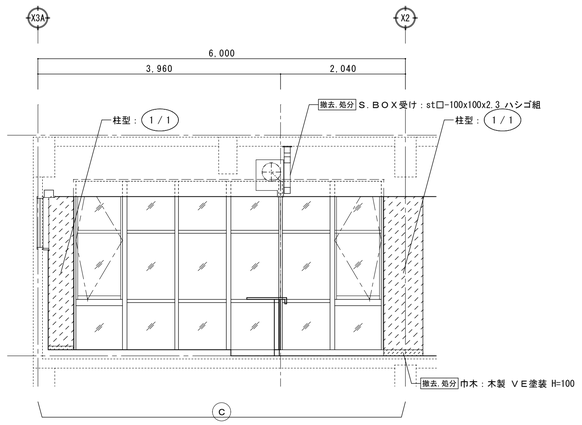
■ 特記事項）
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。

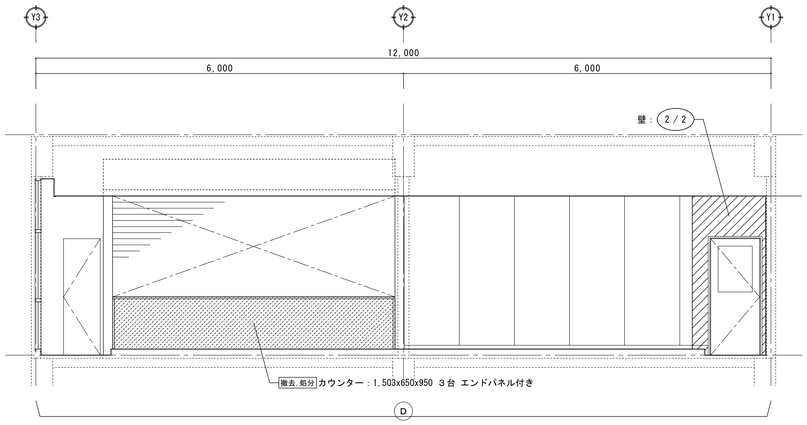
市立みすほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）			１階平面詳細図１［改修前・後］	０４２
SCALE 1/50			㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-42

改修前



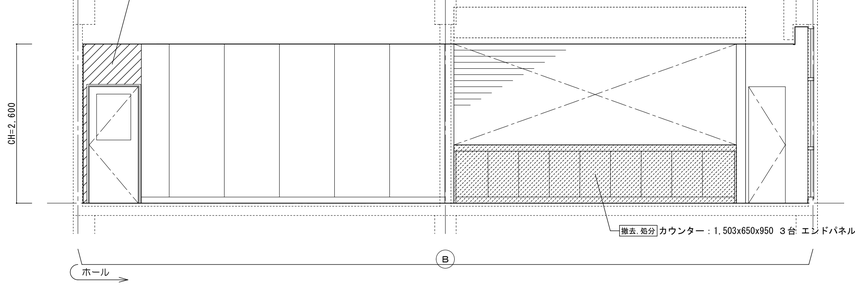


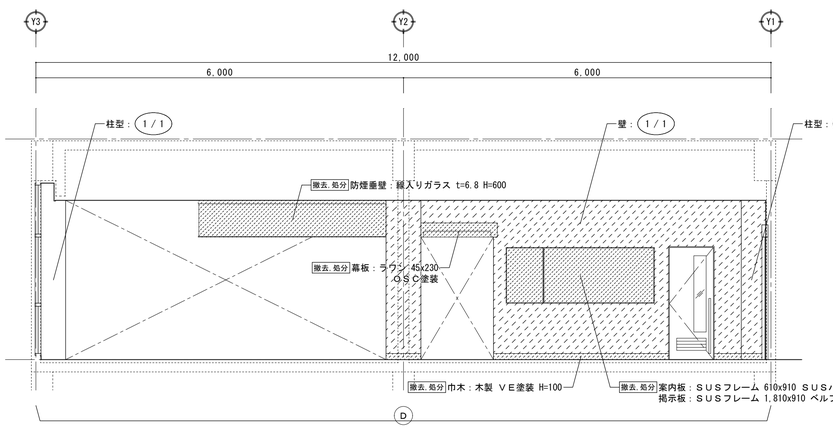


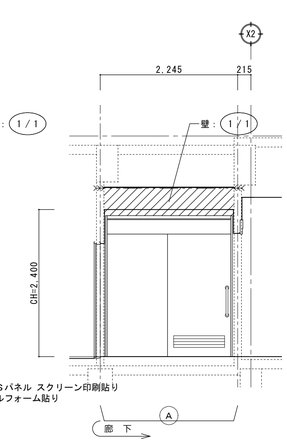


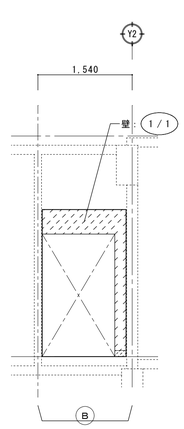
室名		出張所	天井高	CH=2,500
壁	下地	1) ＲＣ 打放し		
		2) ＬＧＳ（Ｍ65形）		
	仕上	1) （コンクリート面） ＭＲ-ＣＥの上、ＶＥエナメル塗装重ね塗り		
		2) ＰＢ t=12.5 ビニルクロス貼り		

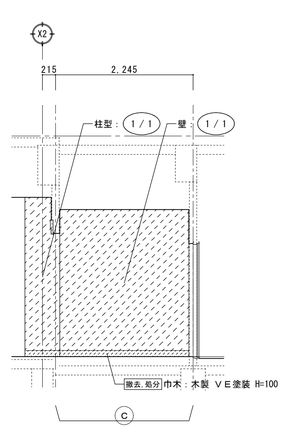
室名		ホール	天井高	CH=2,600
壁	下地	1) ＲＣ 打放し		
		2) ＬＧＳ（Ｍ65形）		
	仕上	1) （コンクリート面） ＭＲ-ＣＥの上、ＶＥエナメル塗装重ね塗り		
		2) ＰＢ t=12.5 ビニルクロス貼り		

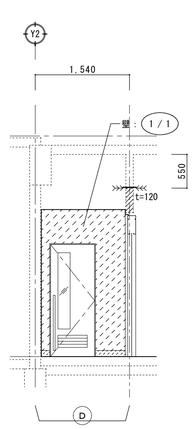






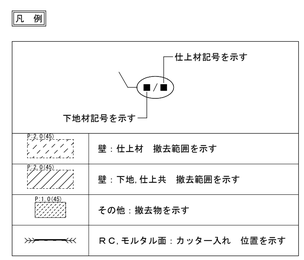






室名		廊 下	天井高	CH=2,400
壁	下地	1) ＲＣ 打放し		
	仕上	1) （コンクリート面） ＭＲ-ＣＥの上、ＶＥエナメル塗装重ね塗り		

凡 例



■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・撤去,改修範囲は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

展開図 1F-1-1［改修前］

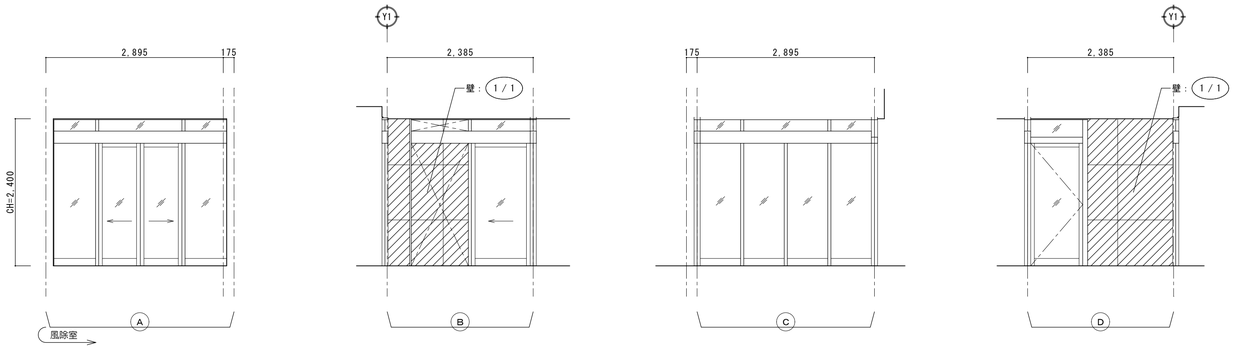
SCALE 1/50

㈱ 千葉構造設計コンサルタント

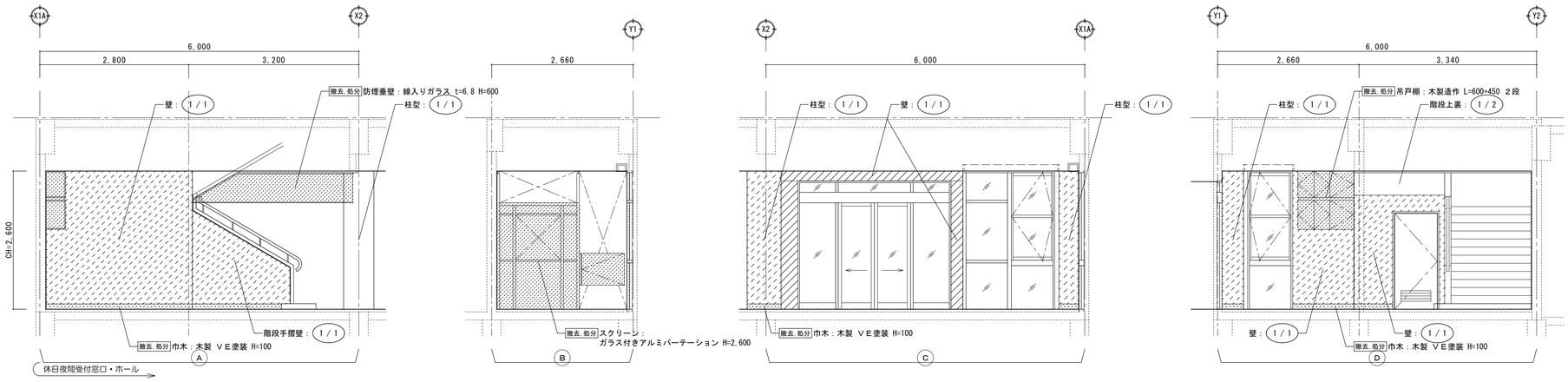
A-43

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前

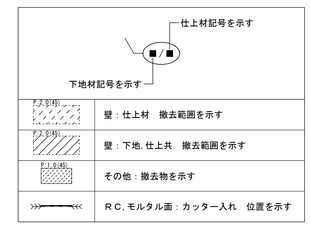


室名		風除室	天井高	CH=2,400
壁	下地	1) L-40x40x3 @450		
	仕上	1) カラーアルミパネル t=3 パネル目地=@900		



室名		休日夜間受付窓口・ホール	天井高	CH=2,600
壁	下地	1) ＲＣ 打放し		
	仕上	1) （コンクリート面） ＭＲ-ＣＥの上、ＶＥエナメル塗装重ね塗り		
		2) （コンクリート面） 軽量骨材吹付		

凡 例



P-1,0(45)	壁：仕上材 撤去範囲を示す
P-1,0(45)	壁：下地,仕上共 撤去範囲を示す
P-1,0(45)	その他：撤去物を示す
	ＲＣ,モルタル面：カッター入れ 位置を示す

■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・撤去,改修範囲は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

展開図 1F-1-2［改修前］

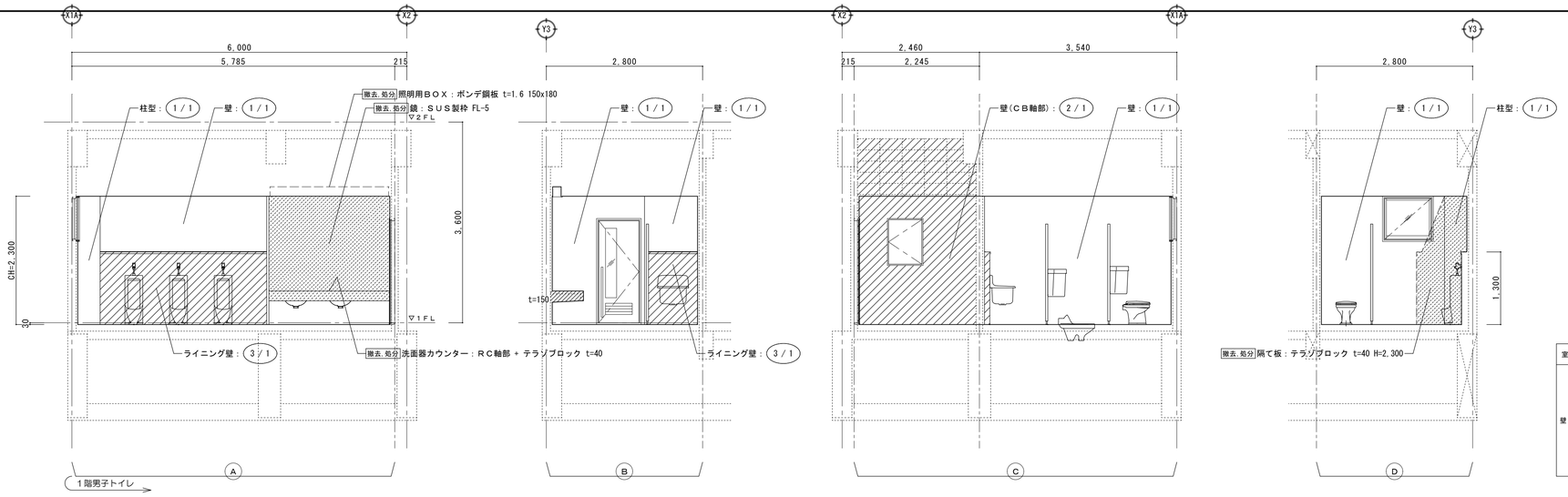
SCALE 1/50

㈱ 千葉構造設計コンサルタント

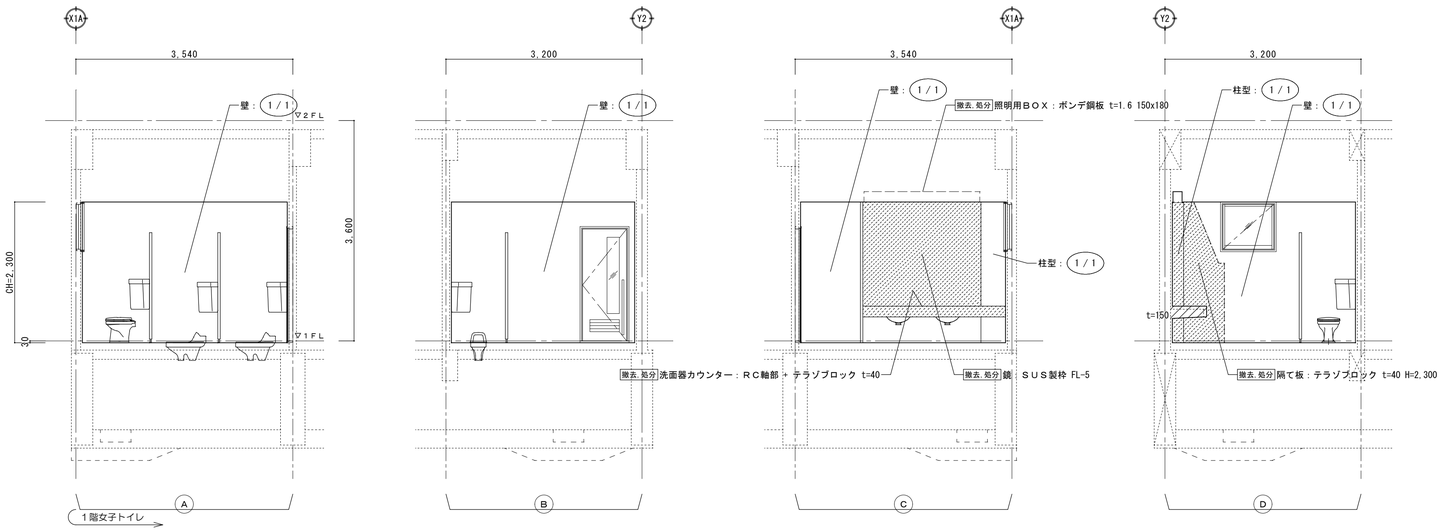
A-44

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

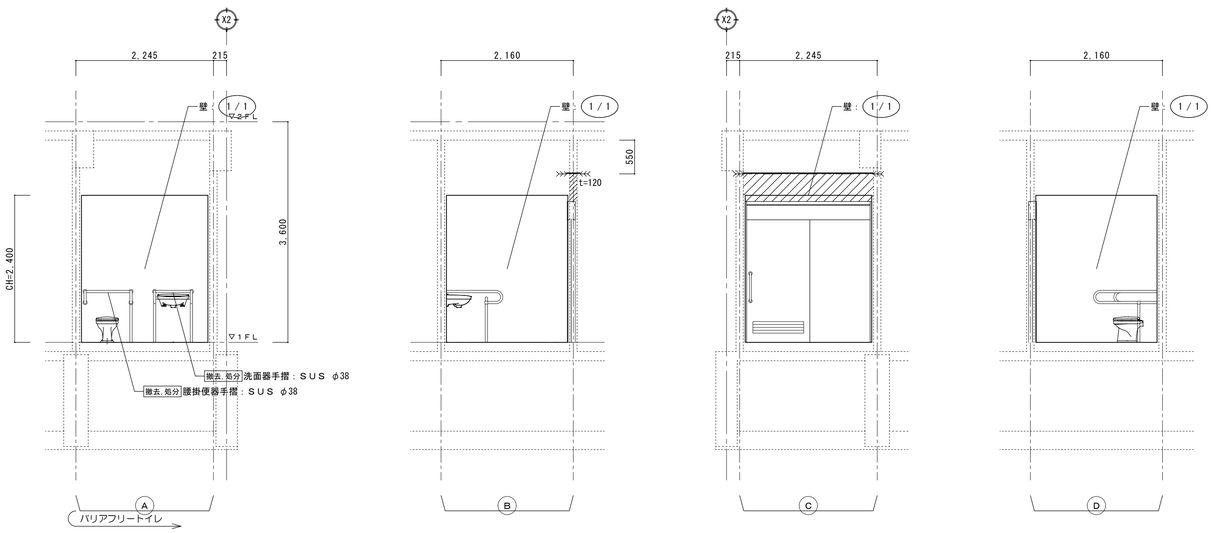
改修前



室名	１階男子トイレ	天井高	CH=2,300
壁 下地	1) ＲＣ軸部	タイル下モルタル塗り	
	2) ＣＢ壁 t=120	タイル下モルタル塗り	
	3) ＣＢ壁 t=100	タイル下モルタル塗り	
壁 仕上	1) １００角半磁器質タイル貼り		

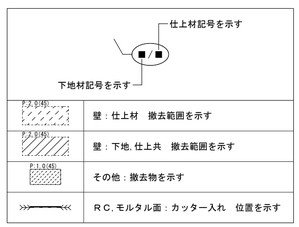


室名	１階女子トイレ	天井高	CH=2,300
壁 下地	1) ＲＣ軸部	タイル下モルタル塗り	
壁 仕上	1) １００角半磁器質タイル貼り		



室名	バリアフリートイレ	天井高	CH=2,300
壁 下地	1) ＲＣ軸部	タイル下モルタル塗り	
壁 仕上	1) １００角半磁器質タイル貼り		

凡例



■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・撤去,改修範囲は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

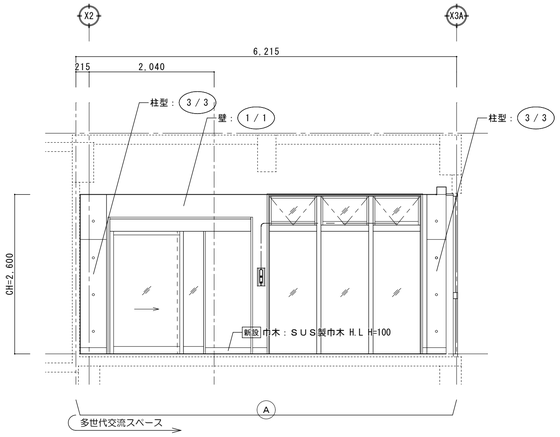
展開図 1F-1-3［改修前］

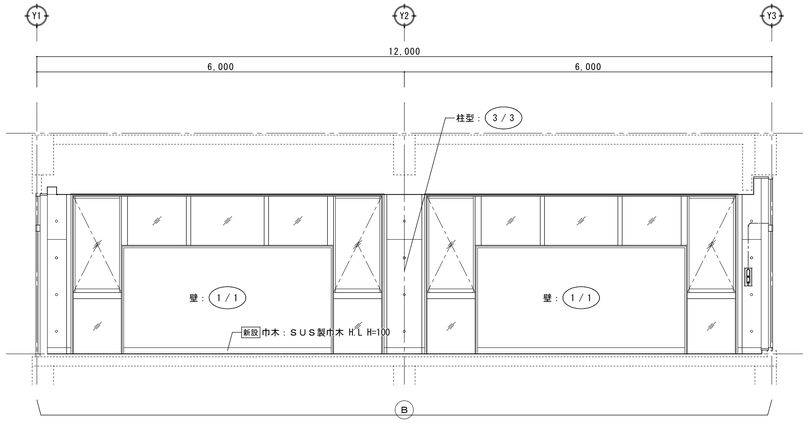
SCALE 1/50

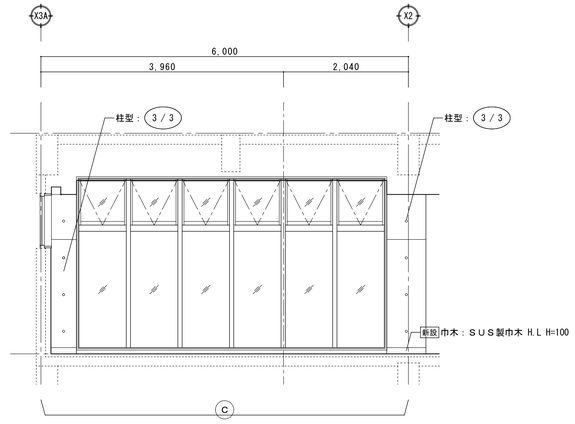
㈱ 千葉構造設計コンサルタント
一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）１４３６号　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

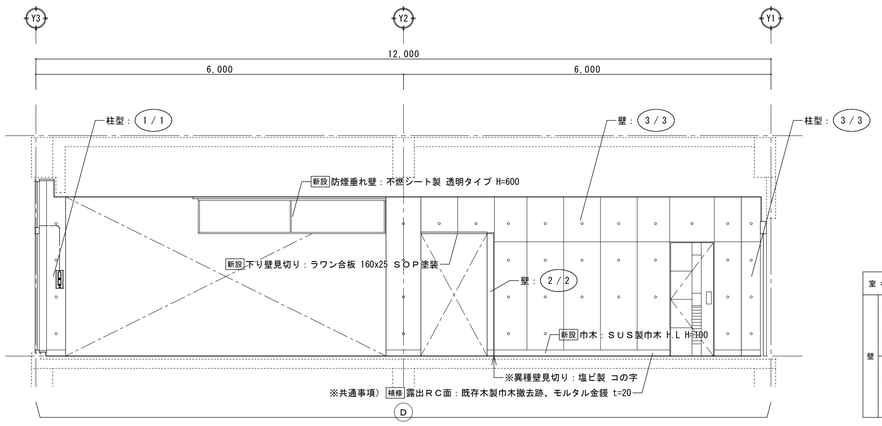
A-45

改修後

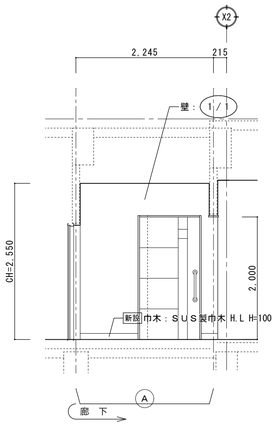


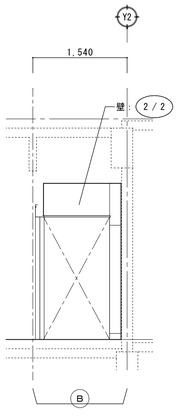


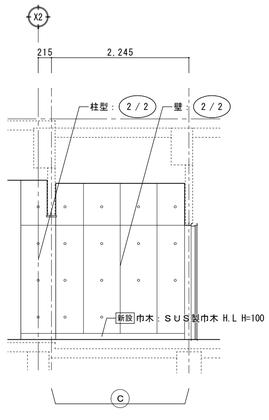


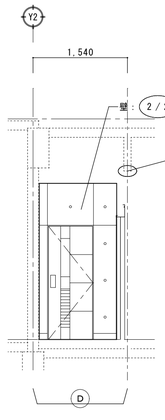


室名	多世代交流スペース		天井高	CH=2,600
壁 下地・下地処理	1）	新設	ＬＧＳ（Ｗ50形）	
	2）	新設	ＬＧＳ（Ｗ65形）	
	3）	塗装改修	下地調整材塗り C-1 Ｐコン，パネルライン入れ	
壁 仕上	1）	新設	ＰＢ t=12.5	ビニルクロス貼り
	2）	新設	ＰＢ t=12.5	ＥＰ塗装
	3）	塗装改修	（コンクリート面）	ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り 上塗）シリコンクリヤ塗装



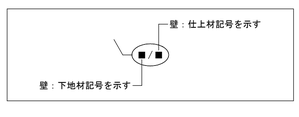






室名	廊 下		天井高	CH=2,550
壁 下地・下地処理	1）	新設	ＬＧＳ（Ｗ65形）	
	2）	塗装改修	下地調整材塗り C-1 Ｐコン，パネルライン入れ	
壁 仕上	1）	新設	ＰＢ(GB-R)二重 t=12.5 ＋ 12.5	ＥＰ塗装
	2）	塗装改修	（コンクリート面）	ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り 上塗）シリコンクリヤ塗装

凡 例



■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・新設.改修内容は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

■ 注記）
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。
・下地の種類が異なる箇所には仕上げ材に塩ビ製目地を入れる事。

市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

展開図 1F-1-1［改修後］

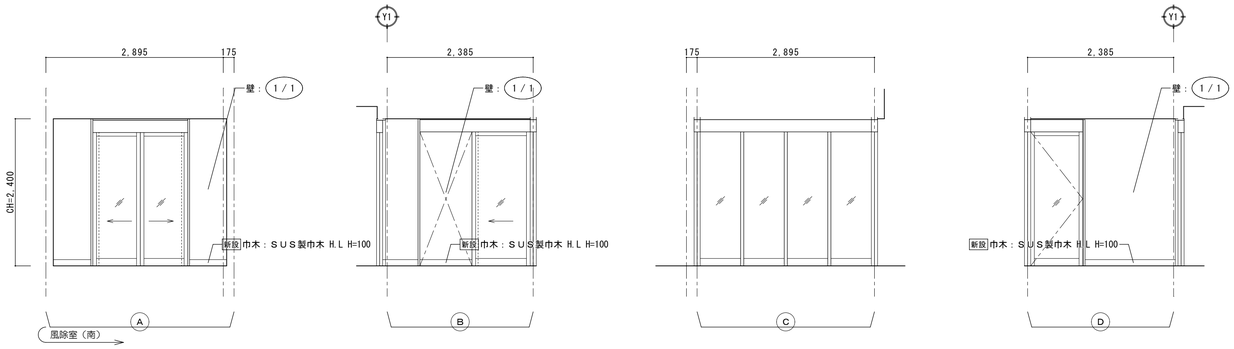
SCALE 1/50

© ㈱ 千葉構造設計コンサルタント

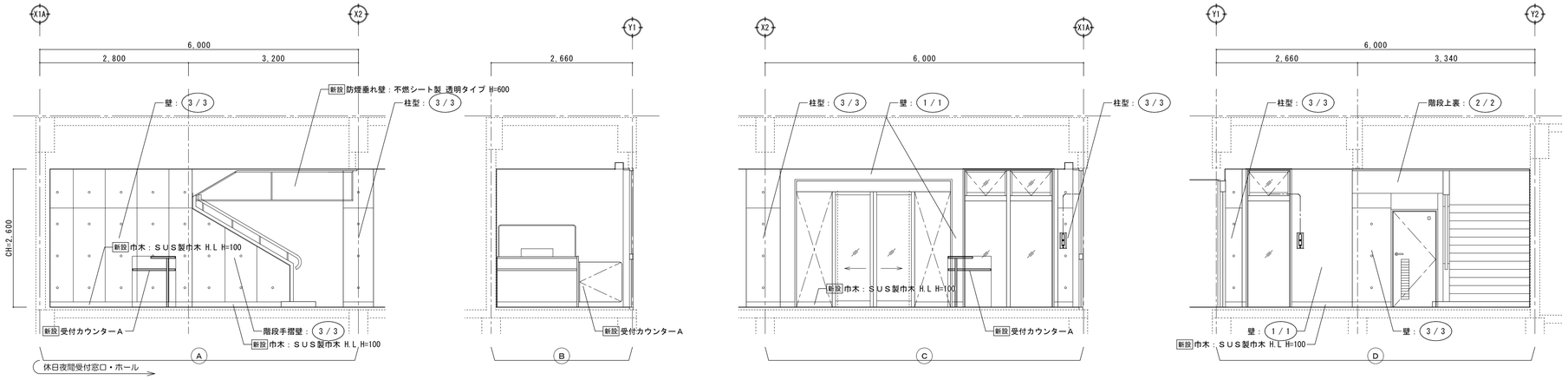
A-46

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修後



室名	風除室（南）	天井高	CH=2,400
壁 下地・下地処理	1) 新設 ＬＧＳ（W50形）		
壁 仕上	1) 新設 ＰＢ t=12.5 ビニルクロス貼り		



室名	多世代交流スペース	天井高	CH=2,600
壁 下地・下地処理	1) 新設 ＬＧＳ（W50形）		
	2) 塗装改修 下地調整材塗り C-1		
	3) 塗装改修 下地調整材塗り C-1 Ｐコン，パネルライン入れ		
壁 仕上	1) 新設 ＰＢ t=12.5 ビニルクロス貼り		
	2) 塗装改修 （コンクリート面） バーライト系天井用吹付材		
	3) 塗装改修 （コンクリート面） ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り 上塗）シリコンクリヤ塗装		

凡 例

壁：仕上材記号を示す

■ / ■

壁：下地材記号を示す

■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・新設、改修内容は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

■ 注記）
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。
・下地の種類が異なる箇所には仕上げ材に塩ビ製目地を入れる事。

市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

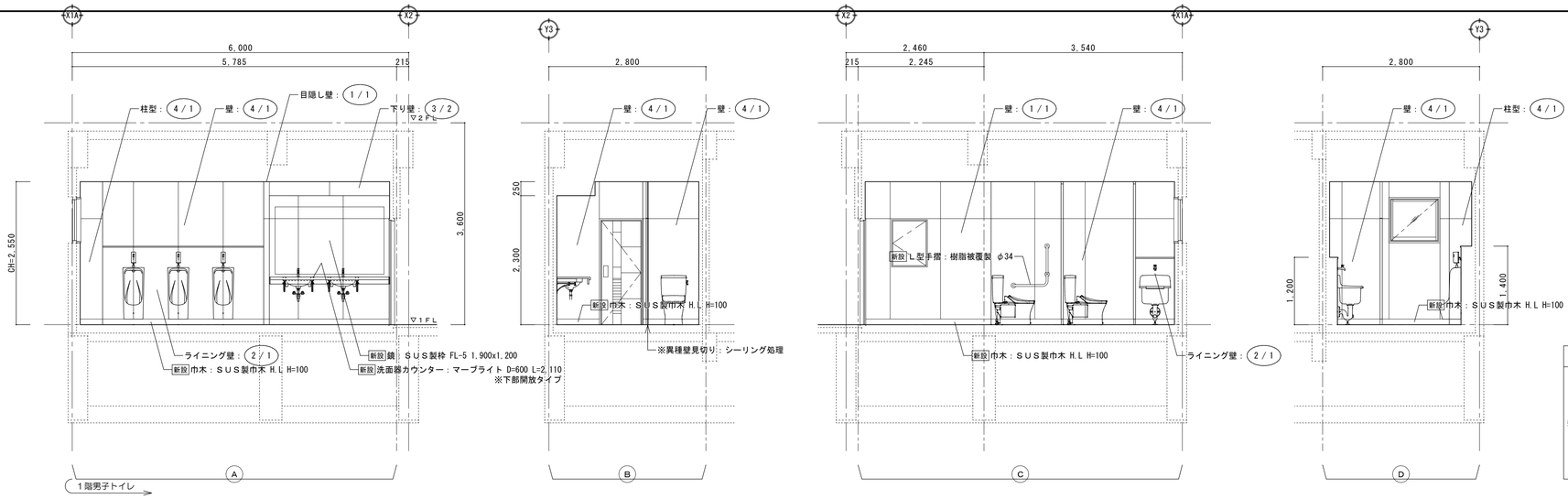
展開図 1F-1-2［改修後］

SCALE 1/50

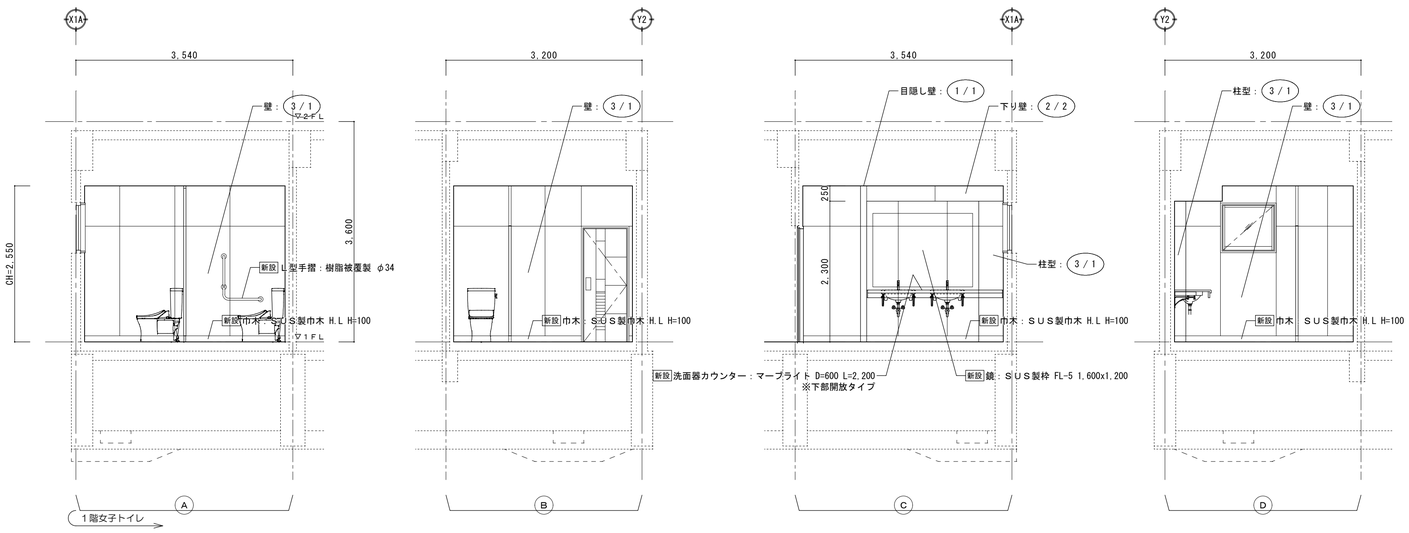
(株) 千葉構造設計コンサルタント
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

A-47

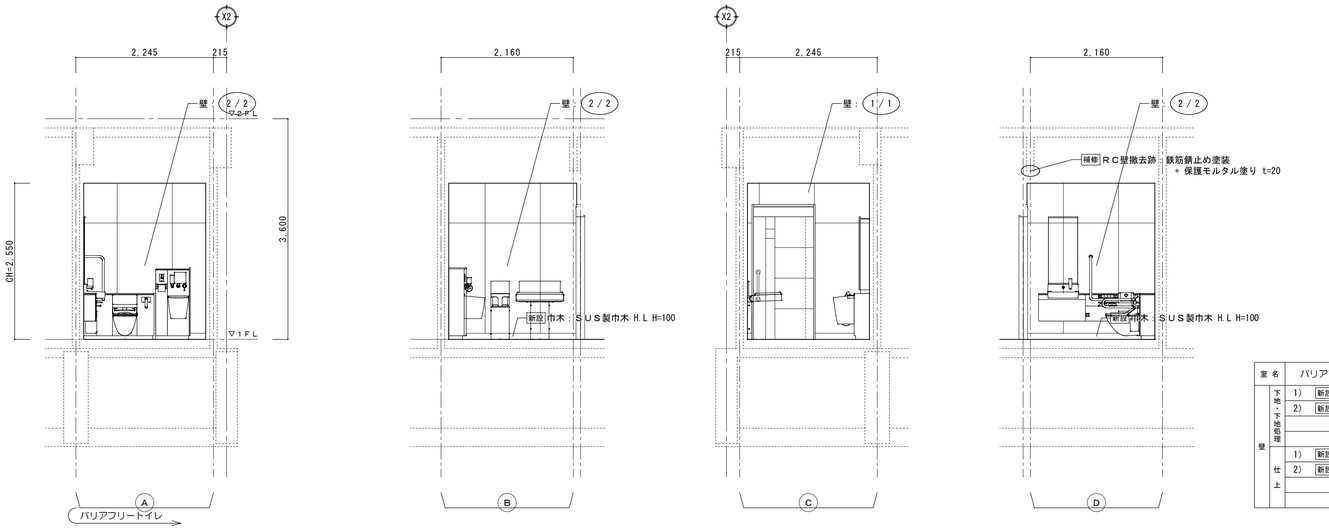
改修後



室名	1階男子トイレ		天井高	CH=2,550
壁 下地・下地処理	1)	新設	ＬＧＳ（W65形）	
	2)	新設	ＬＧＳ（W50形）	
	3)	新設	ＬＧＳ（軽天下り壁）	
	4)	新設	ＧＬ工法	（既存タイル面）
壁 仕上	1)	新設	ＰＢ(GB-S) t=12.5	防汚塗装化粧ケイカル板 t=6
	2)	新設	ＰＢ(GB-S) t=9.5	防汚塗装化粧ケイカル板 t=6

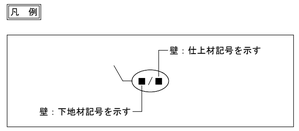


室名	1階女子トイレ		天井高	CH=2,550
壁 下地・下地処理	1)	新設	ＬＧＳ（W65形）	
	2)	新設	ＬＧＳ（軽天下り壁）	
	3)	新設	ＧＬ工法	（既存タイル面）
壁 仕上	1)	新設	ＰＢ(GB-S) t=12.5	防汚塗装化粧ケイカル板 t=6
	2)	新設	ＰＢ(GB-S) t=9.5	防汚塗装化粧ケイカル板 t=6



室名	バリアフリートイレ		天井高	CH=2,550
壁 下地・下地処理	1)	新設	ＬＧＳ（W65形）	
	2)	新設	ＧＬ工法	（既存タイル面）
壁 仕上	1)	新設	ＰＢ(GB-S)二重 t=12.5＋12.5	防汚塗装化粧ケイカル板 t=6
	2)	新設	ＰＢ(GB-S) t=12.5	防汚塗装化粧ケイカル板 t=6

凡例



■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・新設、改修内容は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

■ 注記）
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。
・下地の種類が異なる箇所には仕上げ材に塩ビ製目地を入れる事。

市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

展開図 1F-1-3［改修後］

SCALE 1/50

㈱ 千葉構造設計コンサルタント

A-48

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）1436号　一級建築士大臣登録 第316560号 山崎 栄市

改修前

X1 X2 X2A X3 X4 X5

Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y5A Y4A

25,900
8,600 5,300 6,000 6,000
2,200 3,100

撤去,処分 柱防護材：塩ビ製コーナークッション L=1,200

撤去,処分 ＰＳ壁軸部：ＣＢ積み t=120

撤去,処分 ライニング：ＣＢ軸部 H=920
天板：ＳＵＳ曲げ加工 t=1.0

撤去,処分 外壁：ＲＣ壁及びレンガ積み t=150

撤去,処分 腰壁：レンガ積み t=150

撤去,処分 流し台：基部木製造作
シンク：ＳＵＳ t=1.0 曲げ加工

撤去,処分 調理台、器具類一式(水切り棚,吊戸棚,レンジフード含む)
コンロ台 t=750x1 ガスコンロ L=600x1
調理台 L=900x2 L=300x1
二槽シンク L=1,800x1

駐車場
床仕上：コンクリート直押え 梯目
（既存のまま）

撤去,処分 壁防護材：合成ゴム製ストッパー L=500 @1,030

FL+100 FL+200 FL±0 FL-50

※下部：物入(3)
床仕上：耐水ベニヤ合板 t=15
撤去,処分 【床改修詳細４】

美術室
床仕上：人造御影石 t=25 400x400 樹脂目地入れ
撤去,処分 【床改修詳細６】

撤去,処分 塩ビ製アコーディオンカーテン

撤去,処分 戸棚：木製造作 D=450 H=1,820
L=1,800x2

撤去,処分 書架：木製造作 D=230 H=975
L=1,800x2 L=1,555x1

階段Ｂ UP

※下部：物入(2)
床仕上：耐水ベニヤ合板 t=15
撤去,処分 【床改修詳細４】

床下換気孔：アルミ製 180x1,000 ８箇所

幼児プレイルーム
床仕上：ナラフローリングブロック t=15の上、
タイルカーペット敷き
撤去,処分 【床改修詳細７】

撤去,処分 腰壁：レンガ積み t=150

プレイルーム
床仕上：大型積層板 t=27(表層材 t=6) 特殊張り
【床改修詳細４】

撤去,処分 周囲エキスパンションゴム入れ

外部ベンチ：テラゾブロック t=50 D=350
（既存のまま）

※外部改修事項は以降外構図を参照の事

撤去,処分 スチールパーテーション W=70

談話室(3)
床仕上：ナラフローリングブロック t=15 ＵＣ塗装
撤去,処分 【床改修詳細７】

物入(1)
床仕上：大型積層板 t=27(表層材 t=6) 特殊張り
【床改修詳細４】

踏 込
床仕上：大型積層板 t=27(表層材 t=6) 特殊張り
【床改修詳細４】

床仕上：レンガタイル張り
撤去,処分 【床改修詳細５】

撤去,処分 手摺：支柱式 ＳＵＳφ38 ＨＬ

撤去,処分 靴箱：木製造作 D=340 H=1,040
L=1,635

撤去,処分 床点検口 600x600 ※枠共

撤去,処分 排水溝蓋：ＳＵＳ製ＧＲ Ｗ=200

E-L-V (11人乗)

凡 例

P.2.0(45)	床：仕上材　撤去範囲を示す
P.2.0(45)	床：下地,仕上共　撤去範囲を示す
P.1.0(45)	壁：下地,仕上共　撤去範囲を示す
P.1.0(45)	その他：撤去物を示す
	ＲＣ,モルタル面：カッター入れ　位置を示す

平 面 詳 細 図 S=1/50

展開方向 A B C D

■ 注記)
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事
・その他改修事項は図中記載の表現による

■ 特記事項)
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		1階平面詳細図２［改修前］	049
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-49

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

改修後

X1 X2 X2A X3 X4 X5

25,900
8,600 / 5,300 / 6,000 / 6,000
2,200 / 3,100 / 1,800 / 3,000 / 1,200

Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1

新設 風除室増築
新設 点字タイル：注意喚起用 ※自動ドア前後
新設 開口跡：鉄骨胴縁組 ＋ 防火構造外壁張り
新設 柱防護材：ｓｔ基材,硬質塩ビ製コーナーガード 65x65 L=1,200
新設 柱防護材：ｓｔ基材,硬質塩ビ製コーナーガード 65x65 L=1,000
新設 ＰＳ壁軸部：ＡＬＣ壁 t=100
新設 受付カウンターＤ［車いす対応］
新設 ローパーテーション
新設 記載台Ｂ［ロータイプ］
新設 受付カウンターＣ［インフォメーション型］
新設 点字タイル：誘導用及び注意喚起用 ※自動ドア～受付カウンターまで
新設 記載台Ａ［ハイタイプ］
新設 受付カウンターＢ［インフォメーション型］
新設 ミニキッチン L=1,050
新設 点字タイル：注意喚起用 ※自動ドア前後
新設 配線用フカシ壁：ＬＧＳ
新設 ＰＳ間仕切り壁：ＬＧＳ
新設 点字タイル：注意喚起用 ※段部分手前(上端下端共)
新設 開口跡：鉄骨胴縁組 ＋ 防火構造外壁張り
新設 間仕切り壁：ＬＧＳ 3,900
新設 ミニキッチン L=1,050
新設 ＰＳ間仕切り壁：ＬＧＳ
新設 ライニング壁 H=920
新設 間仕切り壁：ＬＧＳ
新設 調理台、住設器具類一式（水切り棚、吊戸棚、レンジフード含む）
・セクショナルキッチン
コンロ台 L=750x1 ガスコンロ L=600x1
調理台 L=450x2
流し台 L=1,050x1 L=750x1

駐車場
床仕上：コンクリート直押え 梯目（既存のまま）
新設 壁防護材：合成ゴム製ウォールガード W=70 L=500 @1,000
※下部：物入(3)
床仕上：耐水ベニヤ合板 t=15
新設 【床改修詳細４】
階段Ｂ
床下換気孔：ＳＵＳ製 200x1,000 ８箇所
※下部：物入(2)
床仕上：耐水ベニヤ合板 t=15
新設 【床改修詳細４】

（待合スペース）
床仕上：３００角磁器質(施釉)タイル張り
新設 【床改修詳細６】
出張所

（事務スペース）
床仕上：置敷式溝配線ＯＡフロアパネル t=40 ＋置敷きビニル床タイル（ＦＯＡ） t=5
新設 【床改修詳細５】

幼児プレイルーム
床仕上：クッションフロア（ＫＳ・衝撃吸収） t=4.5
新設 【床改修詳細７】
新設 框：床タイル段物 W=100
床仕上：３００角磁器質(施釉)タイル張り

授乳室
床仕上：クッションフロア（ＫＳ・衝撃吸収） t=4.5
新設

プレイルーム
床仕上：（大型積層板）ｻﾝﾀﾞｰ掛け(既存塗膜全面除去)・２−ＵＣ塗装 周囲エキスパンションゴム入れ
塗装改修 【床改修詳細４】

物入(1)
床仕上：（大型積層板）ｻﾝﾀﾞｰ掛け(既存塗膜全面除去)・２−ＵＣ塗装 周囲エキスパンションゴム入れ
塗装改修 【床改修詳細４】

踏 込
床仕上：（大型積層板）ｻﾝﾀﾞｰ掛け(既存塗膜全面除去)・２−ＵＣ塗装 周囲エキスパンションゴム入れ
塗装改修 【床改修詳細４】

地域活動室
床仕上：複層ビニル床タイル（ＦＴ・木目柄） t=3 150x900
新設 【床改修詳細７】
新設 框：床タイル段物 W=100
床仕上：３００角磁器質(施釉)タイル張り

床仕上：屋外用防滑ビニル床シート（ＦＳ） t=2.5
新設 【床改修詳細５】
新設 手摺：支柱 ＳＵＳφ38 H.L
新設 床点検口：600x600 モルタル充填型 ＳＵＳ製枠 鍵付き
新設 排水溝蓋：ＳＵＳ製ＧＲ W=200 細目 T-2
E.L-V (11人乗)

※外部改修事項は以降外構図を参照の事

外部ベンチ：テラゾブロック t=50 D=350（既存のまま）

新設壁種別
LGSxx 軽量鉄骨下地間仕切壁（一般）
図中特記無きものは６５型にて施工する事。
数値の記載があるものはスタッドの規格寸法とする。
・スタッド：下地張りのない場合 ＠３００
下地張りのある場合 ＠４５０
LGS50 外壁面フカシ壁：内壁断熱 ＋ 軽量鉄骨下地間仕切壁
図中特記無きものは５０型にて施工する事。
断熱仕様：ノンフロン湿式不燃断熱材吹付 t=30(熱伝導率0.044W/m・K)
エスケー化研/セラミタイトエコG 同等程度
断熱仕様：グラスウール敷込み 32kg/m3 t=50

平 面 詳 細 図 S=1/50

A 展開方向 B C D

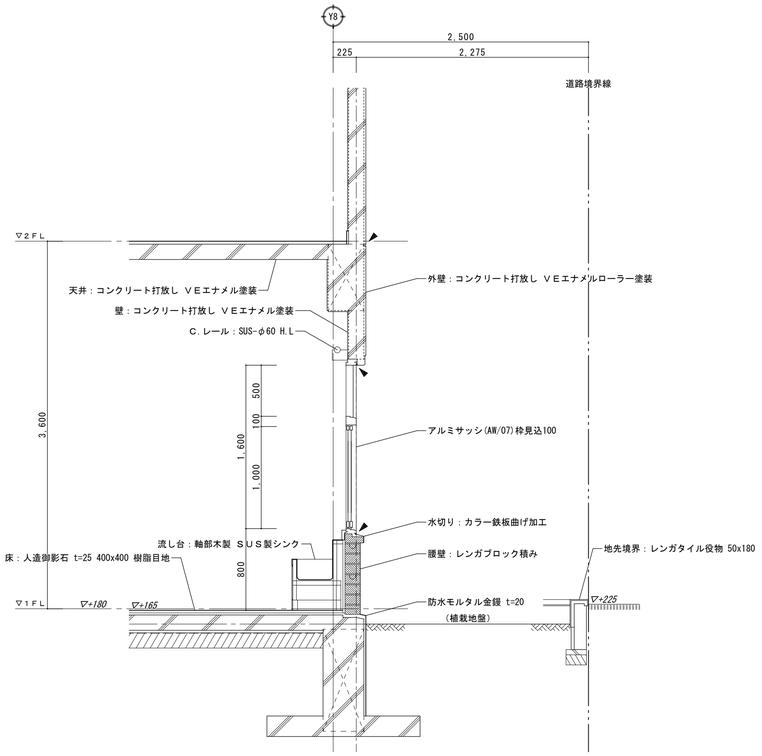
■ 注記）
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事
・その他改修事項は図中記載の表現による

■ 特記事項）
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。

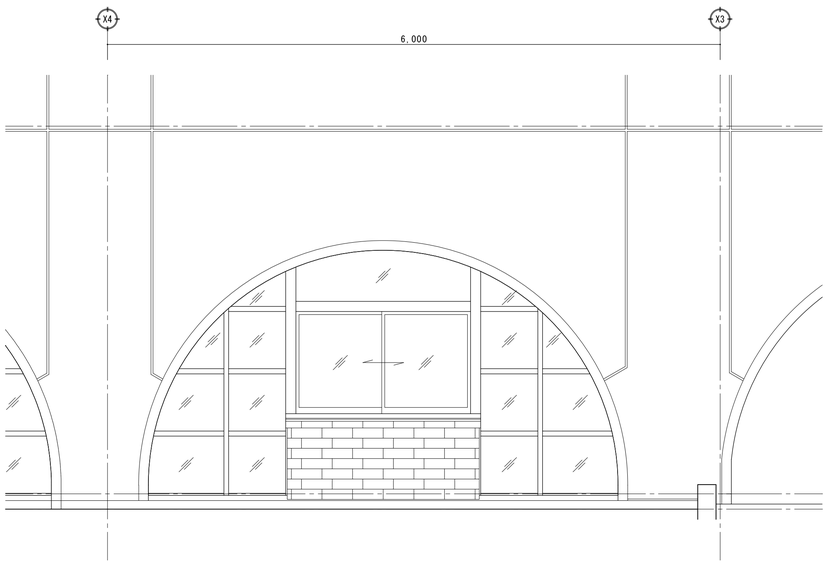
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		1階平面詳細図２［改修後］	050
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-50

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前

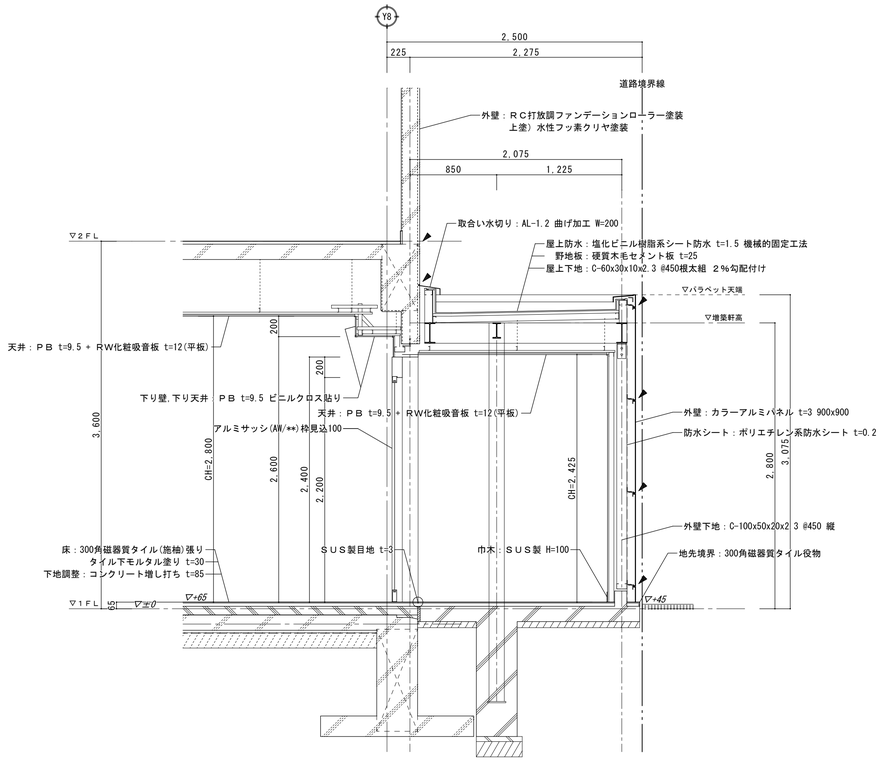


断 面 詳 細 図 S=1/30

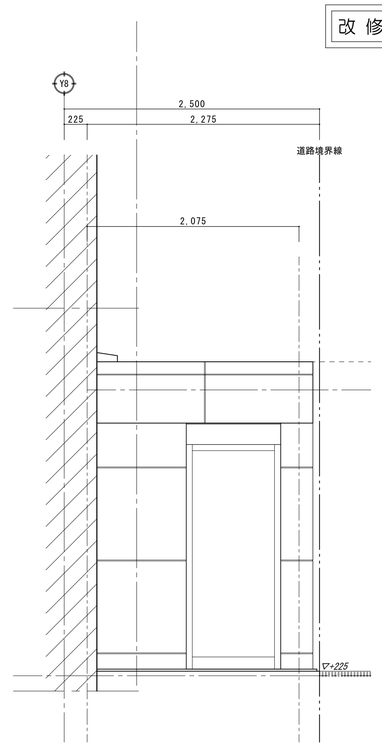


北 側 立 面 図 S=1/30

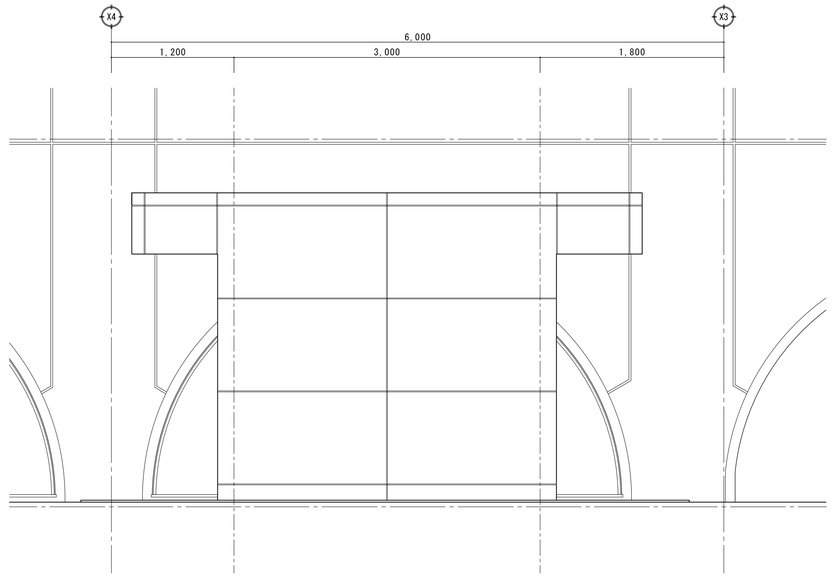
改修後



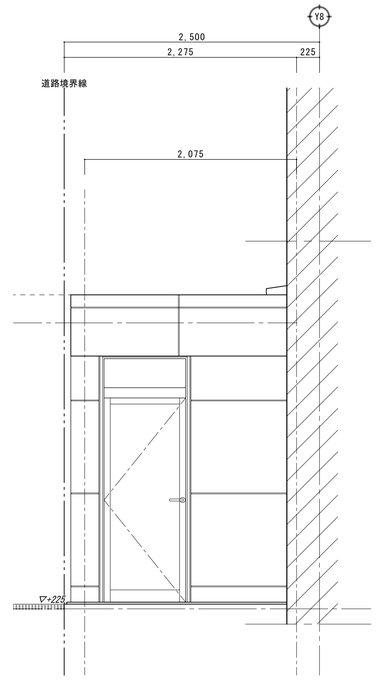
断 面 詳 細 図 S=1/30



東 側 立 面 図 S=1/30



北 側 立 面 図 S=1/30

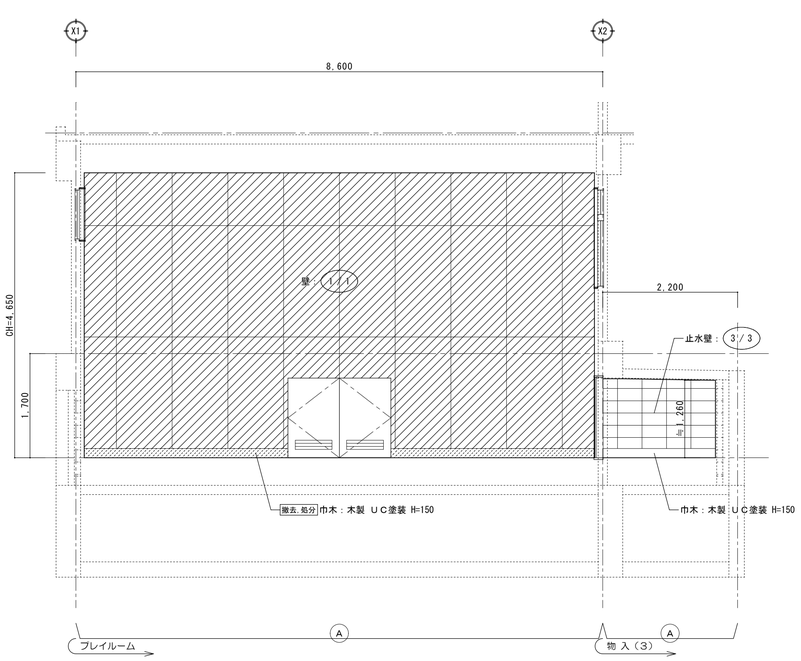


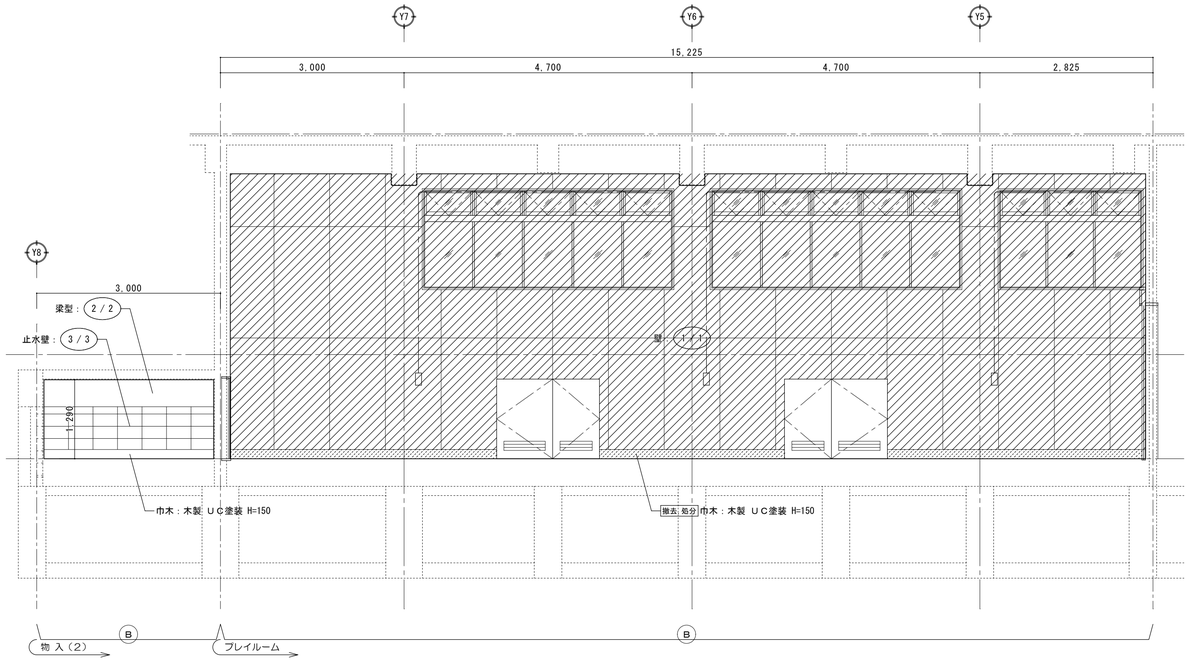
西 側 立 面 図 S=1/30

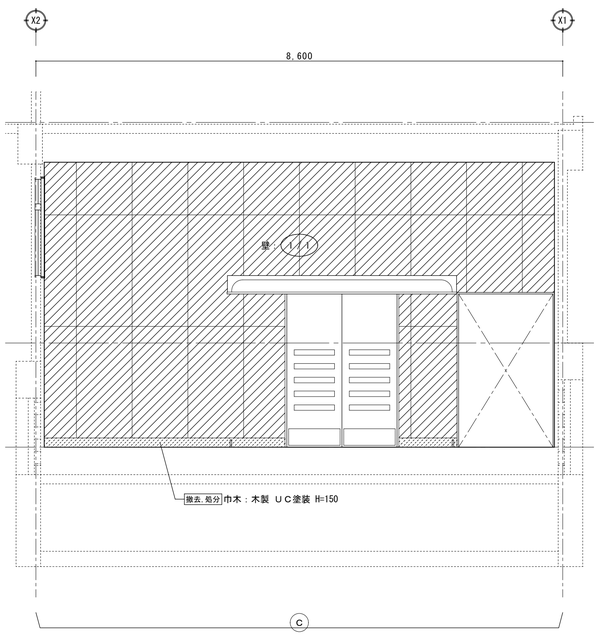
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		増築部分断面詳細図	
SCALE 1/30		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-51

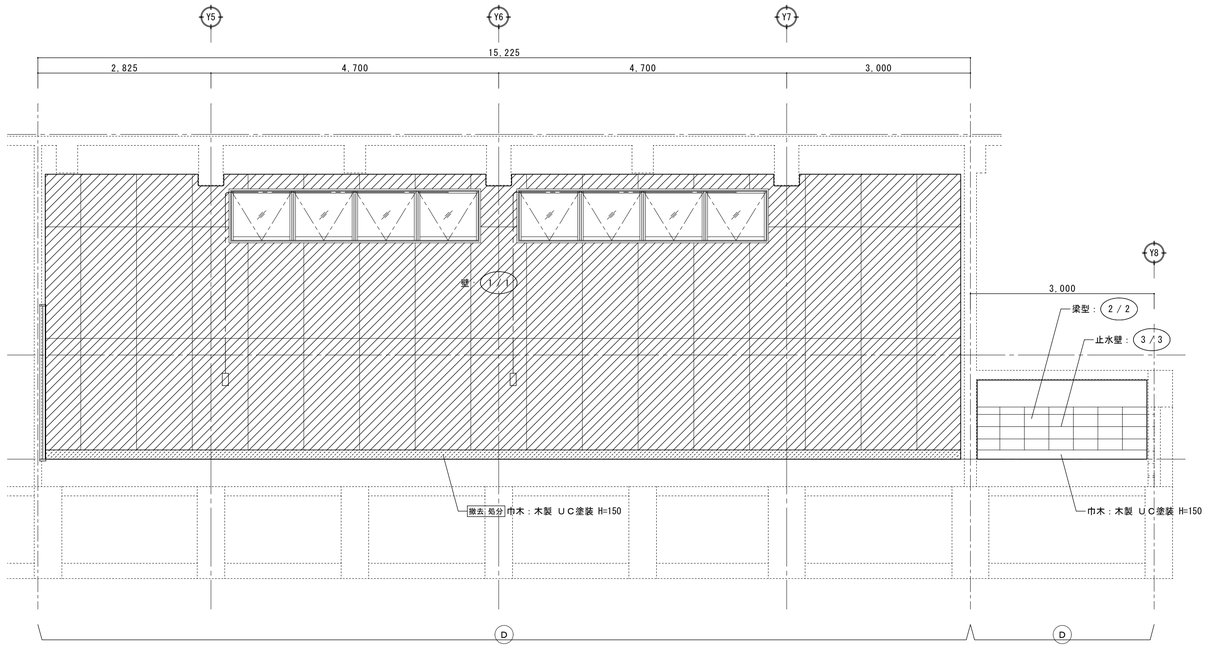
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改 修 前









室名		プレイルーム	天井高	CH=4,650
壁	下地	1) 木製胴縁 18x30 @303 横胴縁		
	仕上	1) 難燃合板 t=9 + サクラ合板 t=9 目透し張り ＵＣ塗装		

室名		物入（2）・物入（3）	天井高	CH=1,290
壁	下地	2) ＲＣ打放し		
		3) ＣＢ積み		
	仕上	2) ＲＣ素地現し		
		3) ＣＢ素地現し		

凡 例

仕上材記号を示す

■ / ■

下地材記号を示す

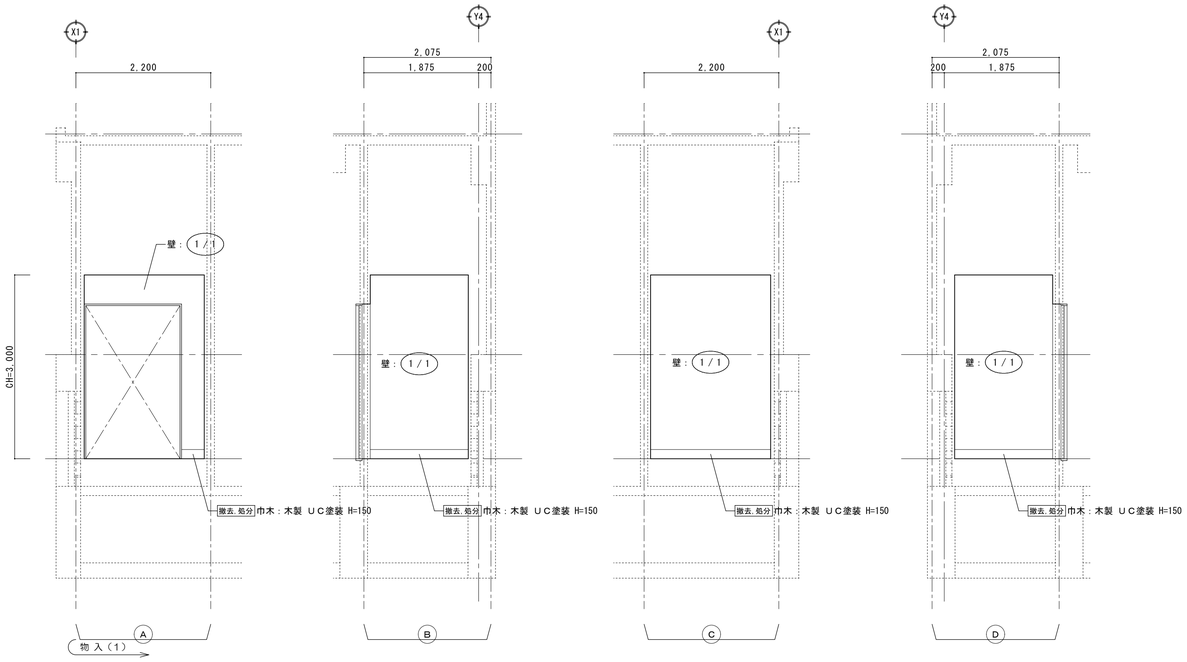
P.3.5(45)	壁：仕上材 撤去範囲を示す
P.3.5(45)	壁：下地,仕上共 撤去範囲を示す
P.1.8(45)	その他：撤去物を示す
	ＲＣ,モルタル面：カッター入れ 位置を示す

■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・撤去,改修範囲は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

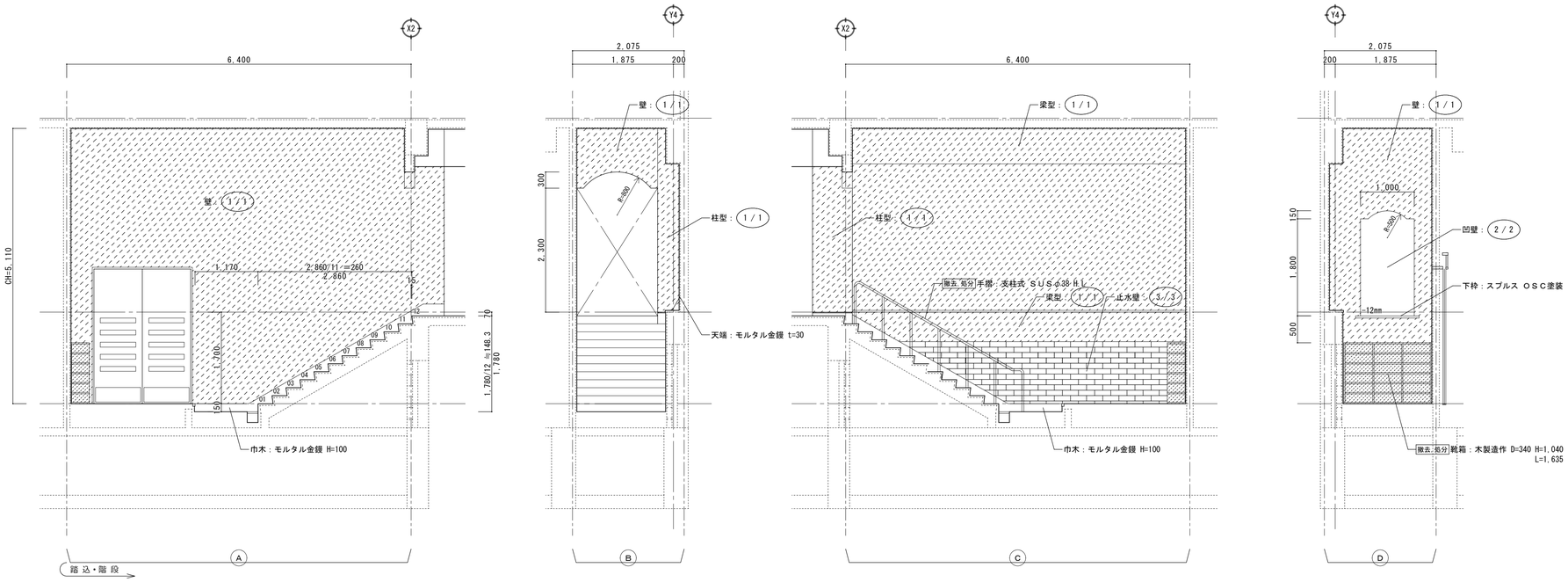
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		展開図 1F-2-1［改修前］	052
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-52

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改 修 前

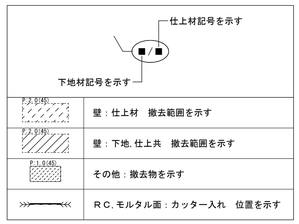


室 名		物入（1）	天井高	CH=3,000
壁	下地	1） 木製胴縁 18x30 @303 横胴縁		
	仕上	1） 難燃合板 t=9 + サクラ合板 t=9 目透し張り ＵＣ塗装		



室 名		踏込・階段	天井高	CH=2,600
壁	下地	1） ＲＣ 打放し		
		2） ＲＣ 打放し		
		3） レンガブロック積み		
	仕上			
		1） （コンクリート面） アクリル系弾性吹付タイル ＋ ＶＥエナメルローラー重ね塗り		
		2） （コンクリート面） ＶＰ塗装		
		3） レンガブロック素地現し		

凡 例

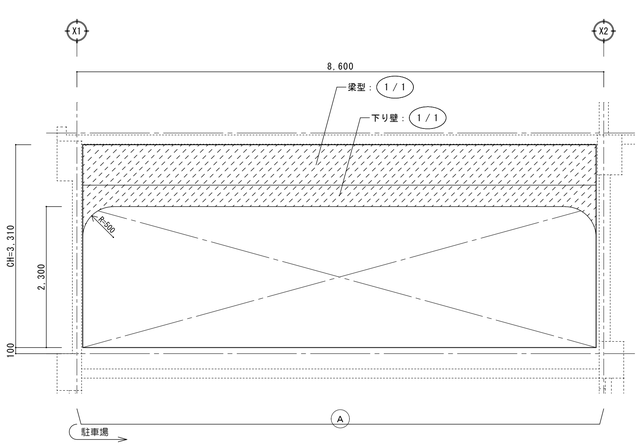


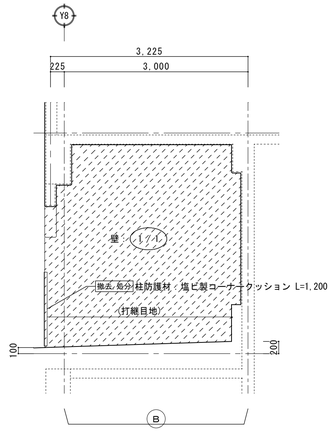
■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・撤去,改修範囲は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

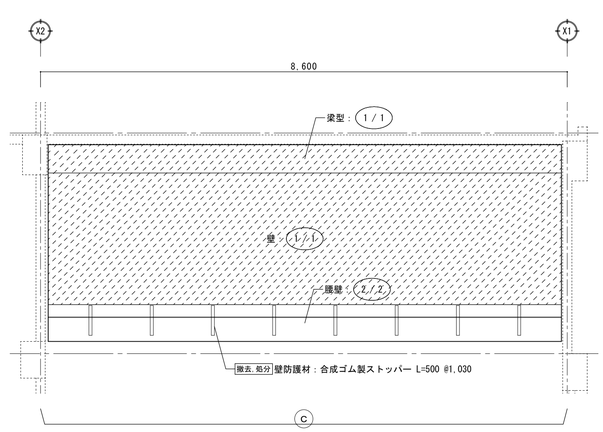
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		展開図 1F-2-2［改修前］	053
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-53

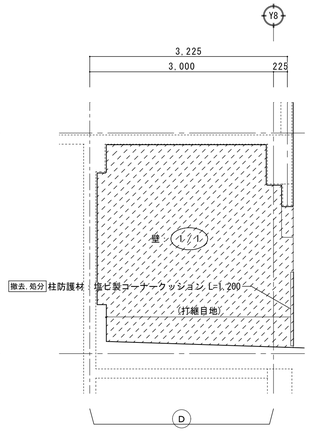
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前

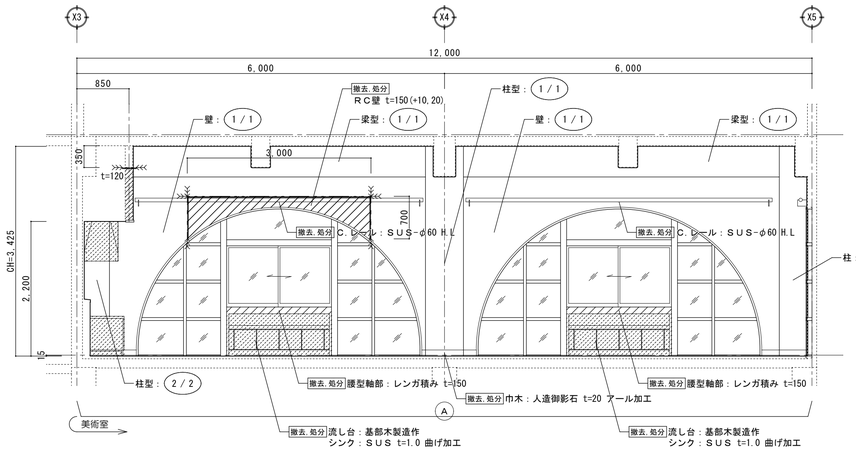


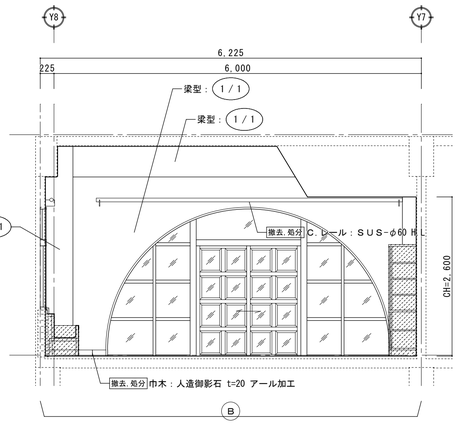


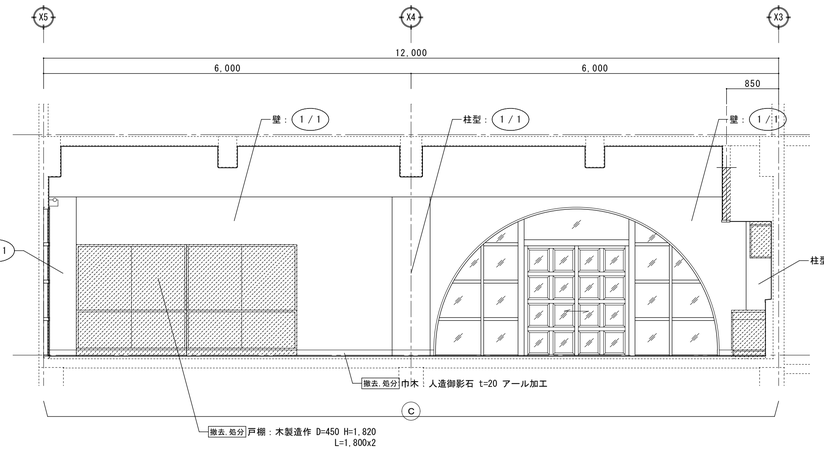


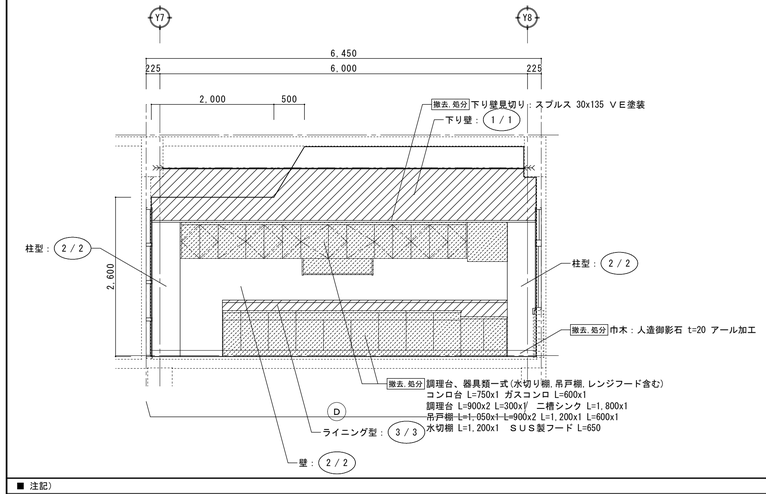


室名		駐車場	天井高	CH=3,310
壁	下地	1） ＲＣ 打放し		
		2） ＲＣ		
	仕上	1） （コンクリート面） アクリル系弾性吹付タイル ＋ＶＥエナメルローラー重ね塗り		
		2） モルタル金鏝仕上げ t=30		



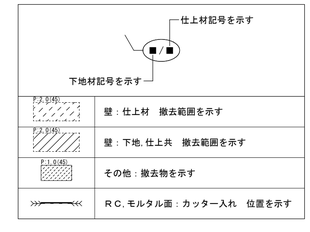






室名		美術室	天井高	CH=3,425
壁	下地	1） ＲＣ 打放し		
		2） ＲＣ軸部 タイル下モルタル塗り		
		3） ＣＢ壁 t=100		
	仕上	1） （コンクリート面） ＶＥエナメル塗装		
		2） １００角半磁器質タイル貼り		
		3） ＳＵＳ t=1.0 Ｈ.Ｌ		

凡例



■ 注記)
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・撤去,改修範囲は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

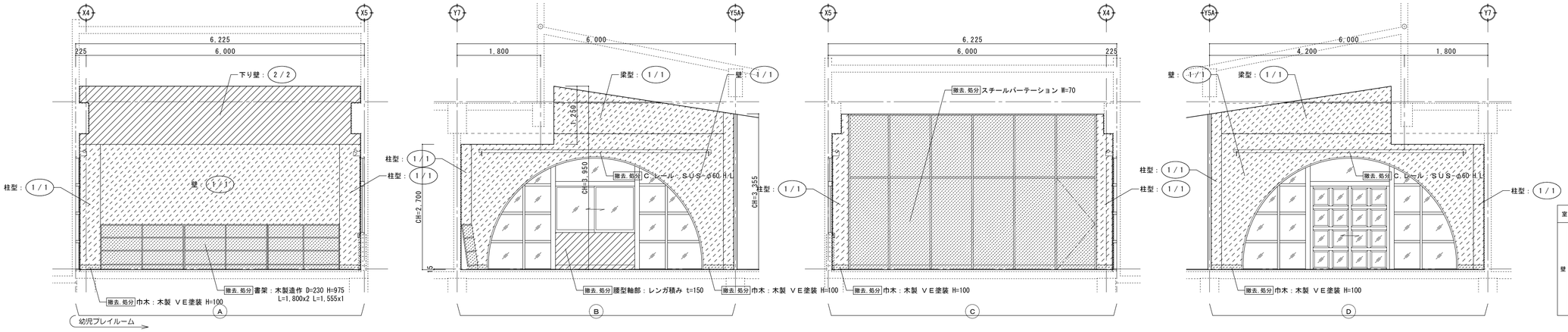
展開図 1F-2-3［改修前］ 054

SCALE 1/50

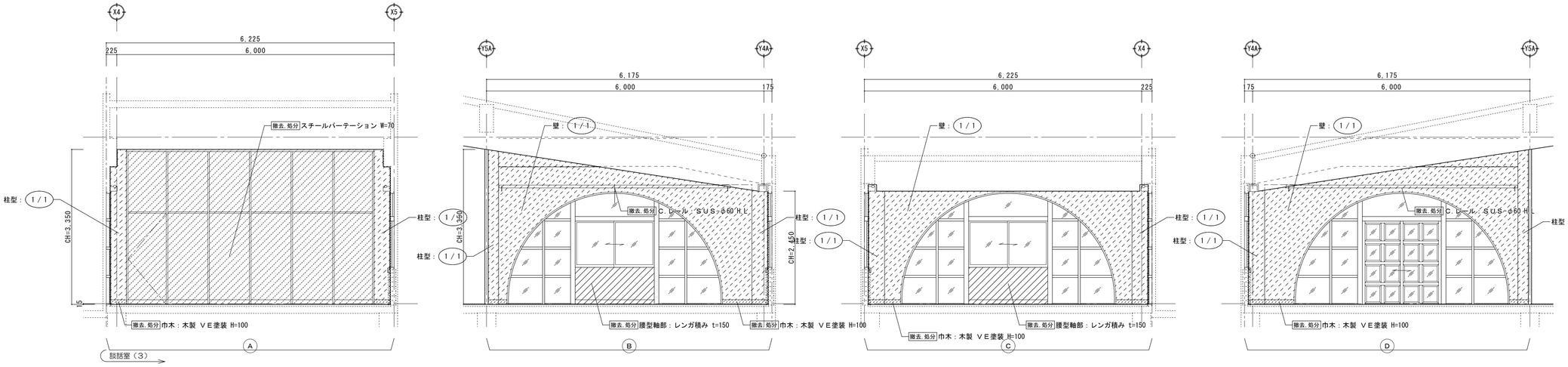
© ㈱ 千葉構造設計コンサルタント A-54

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前

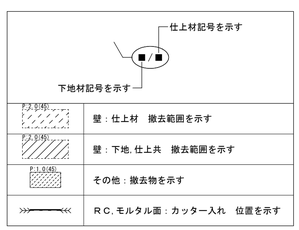


室名		幼児プレイルーム	天井高	CH=3,950
壁	下地	1) ＲＣ 打放し		
		2) 軽天下り壁		
	仕上	1) （コンクリート面） ビニルクロス直貼り		
		2) ＰＢ t=9.5 ビニルクロス貼り		



室名		談話室（3）	天井高	CH=3,350
壁	下地	1) ＲＣ 打放し		
	仕上	1) （コンクリート面） ビニルクロス直貼り		

凡例

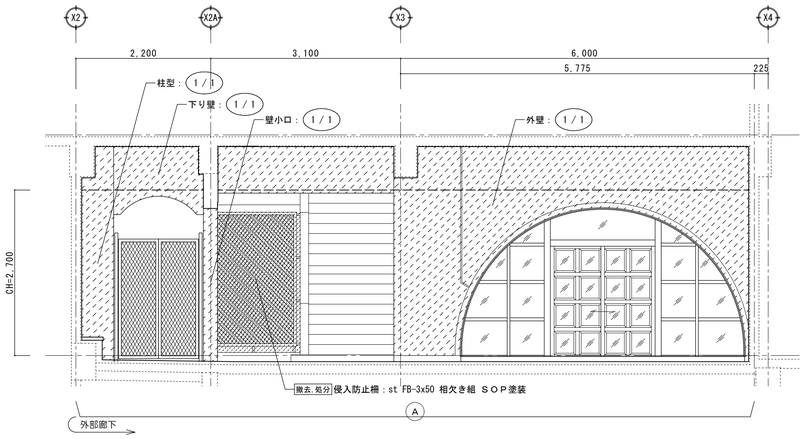


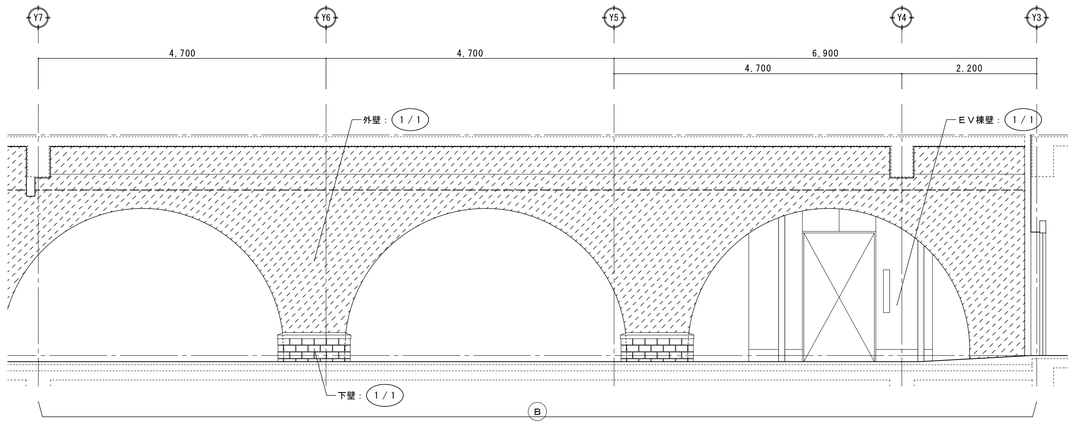
■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・撤去,改修範囲は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

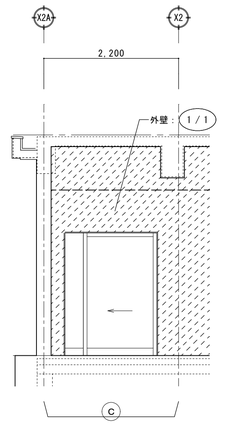
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		展開図 1F-2-4［改修前］	055
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-55

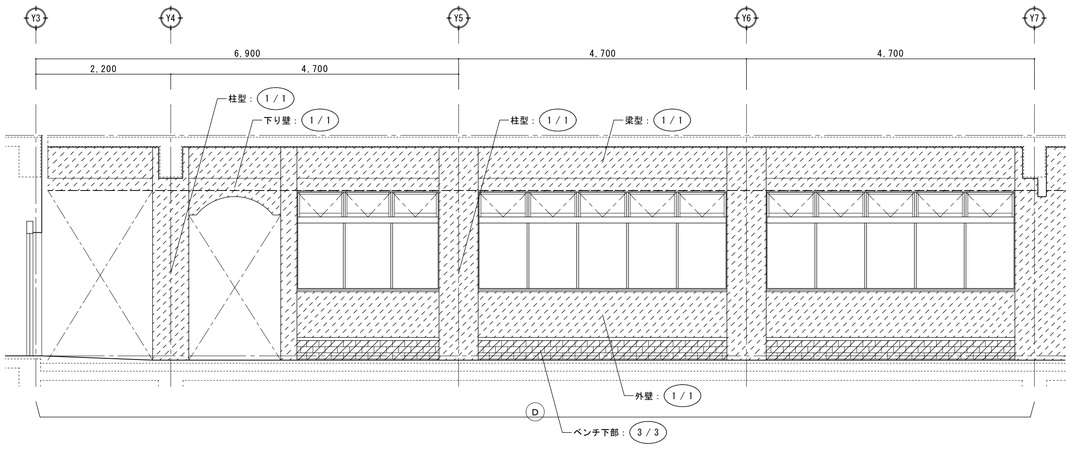
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改 修 前



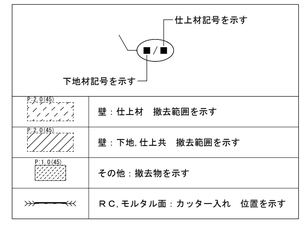






室名		外部廻下	天井高	CH=2,700
壁	下地	1) ＲＣ 打放し		
		2) ＡＬＣ壁		
		3) ＲＣ軸部	タイル下モルタル塗り	
	仕上	1) （コンクリート面）	アクリル系弾性吹付タイル ＋ ＶＥエナメルローラー重ね塗り	
		2) （ＡＬＣ面面）	アクリル系吹付タイル	
		3) レンガタイル張り		

凡 例

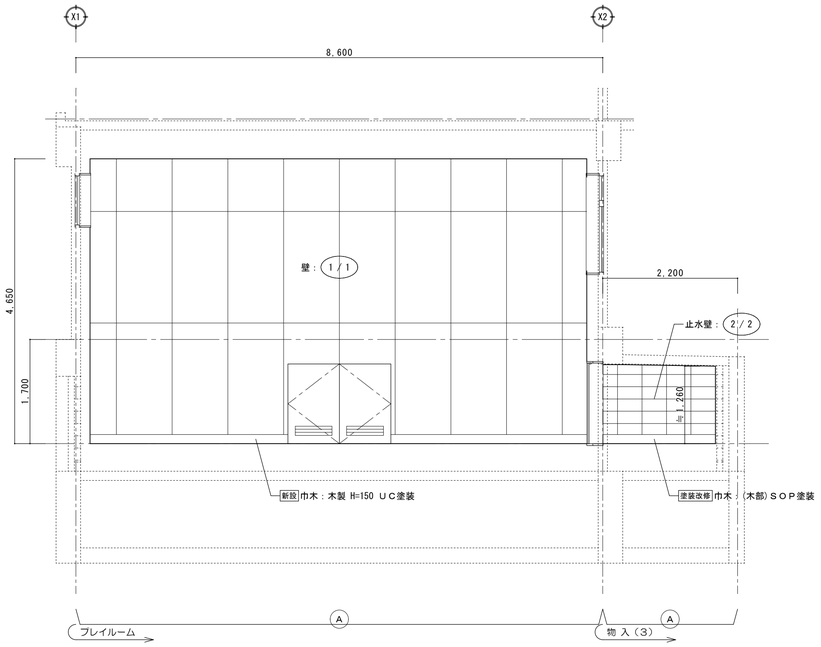


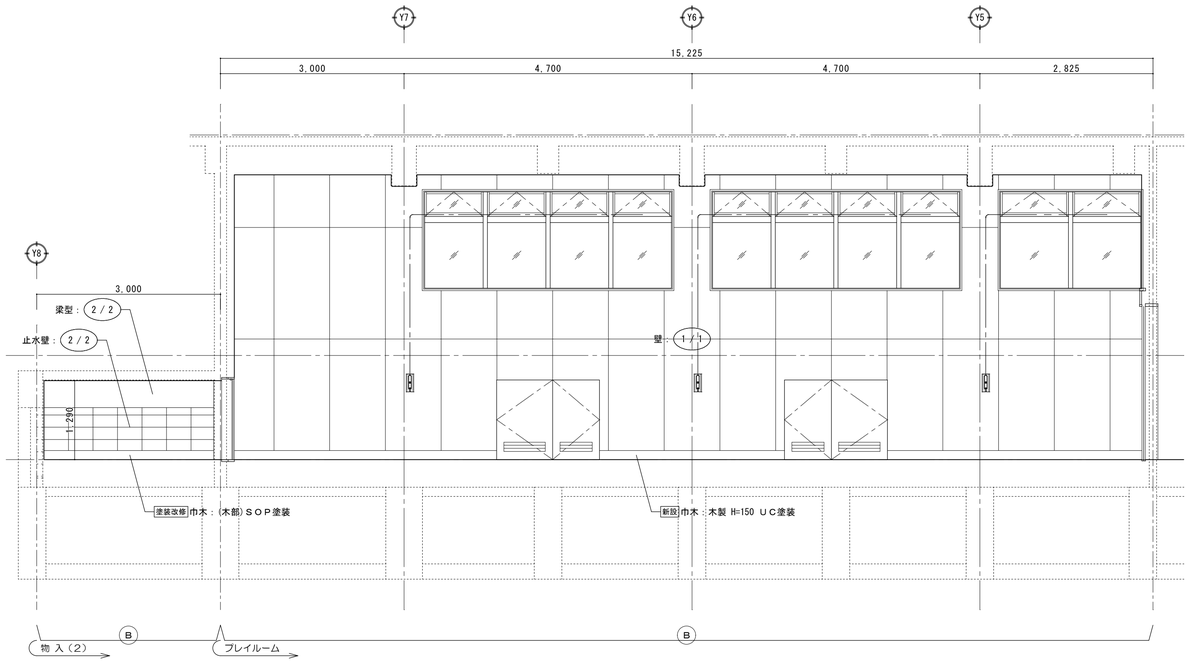
■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・撤去,改修範囲は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

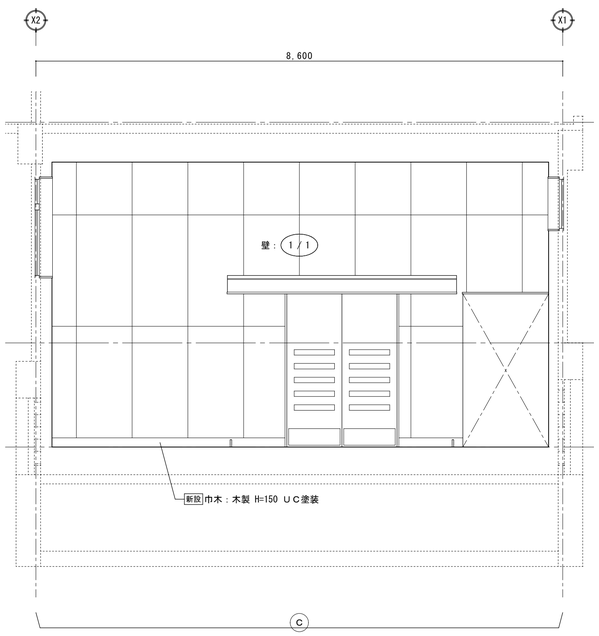
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		展開図 1F-2-5［改修前］	０５６
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-56

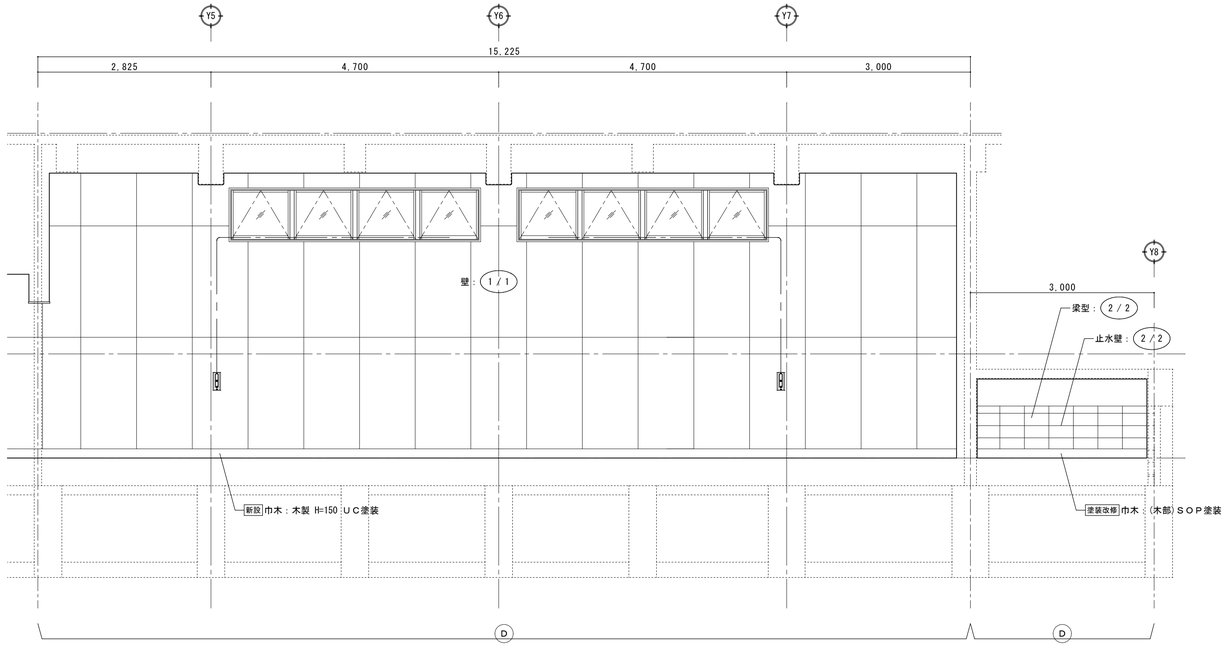
一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

改修後









室名		プレイルーム	天井高	CH=4,650
壁	下地	1) 新設 ＬＧＳ（W100形）		
	仕上	1) 新設 ベニヤ合板 t=12 + シナ合板 t=6 目透し張り ＵＣ塗装		

室名		物入（2）・物入（3）	天井高	CH=1,290
壁	下地	2) （既存のまま）		
	仕上	2) （既存のまま）		

凡 例

壁：仕上材記号を示す

■／■

壁：下地材記号を示す

■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・新設.改修内容は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

■ 注記）
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。
・下地の種類が異なる箇所には仕上げ材に塩ビ製目地を入れる事。

市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

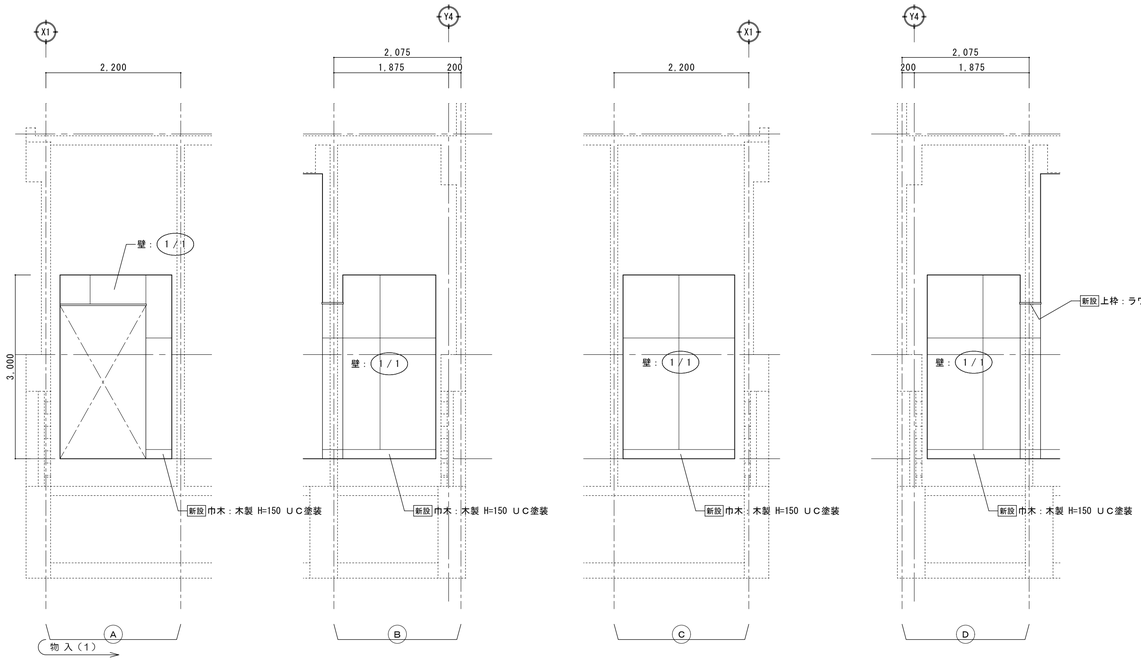
SCALE 1/50

展開図 1F-2-1［改修後］ 057

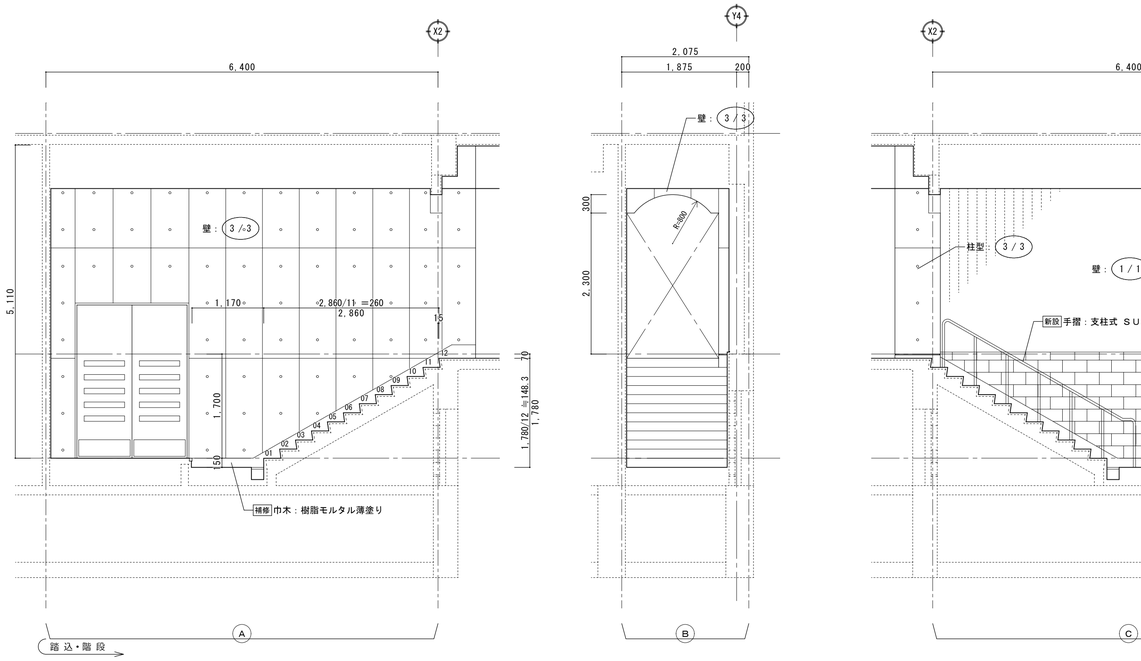
© ㈱ 千葉構造設計コンサルタント A-57

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改 修 後



室 名	物入（１）	天井高	CH=3,000
壁 下地	1) 新設 ＬＧＳ（Ｗ65形）		
壁 仕上	1) 新設 ベニヤ合板 t=12 ＋ シナ合板 t=6 目透し張り ＵＣ塗装		



室 名	踏込・階段	天井高	CH=2,600
壁 下地	1) 新設 ＬＧＳ（Ｗ65形）		
	2) 新設 タイル下モルタル塗り		
	3) 塗装改修 下地調整材塗り C-1 Ｐコン，パネルライン入れ		
	4) 塗装改修 (コンクリート面)ＲＢ種		
壁 仕上	1) 新設 ＰＢ(GB-S) t=12.5 ケイカル板 t=6		
	2) 新設 石材調磁器質タイル(施釉) 400x200x10		
	3) 塗装改修 (コンクリート面) ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り 上塗）フッ素クリヤ塗装		
	4) 塗装改修 (コンクリート面) ＥＰ塗装		

凡 例

壁：仕上材記号を示す

■ / ■

壁：下地材記号を示す

■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・新設、改修内容は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

■ 注記）
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。
・下地の種類が異なる箇所には仕上げ材に塩ビ製目地を入れる事。

市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

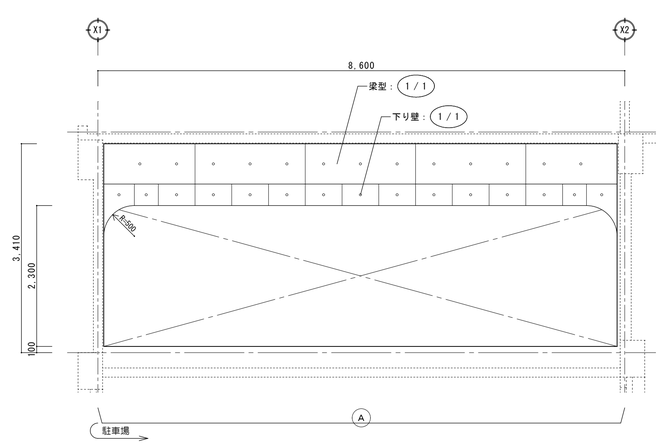
展開図 1F-2-2［改修後］ 058

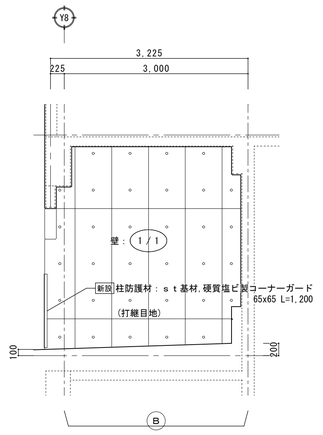
SCALE 1/50

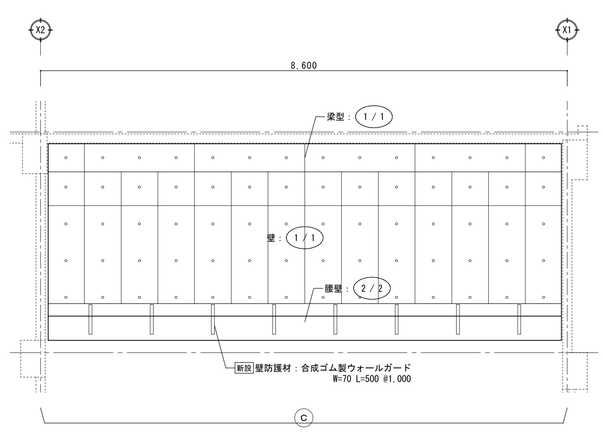
㈱ 千葉構造設計コンサルタント A-58

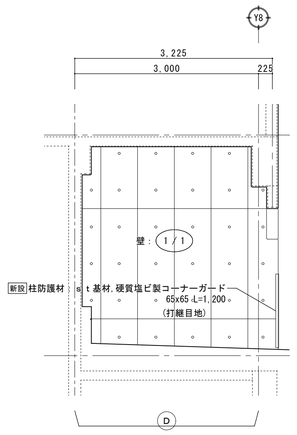
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修後

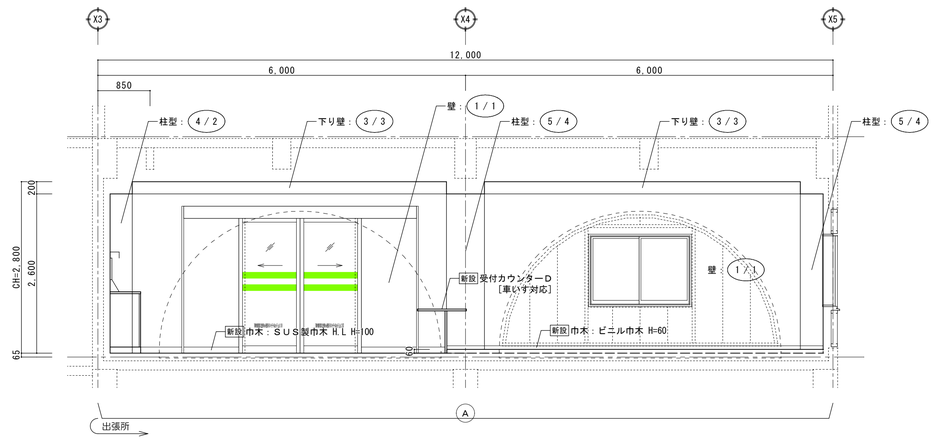


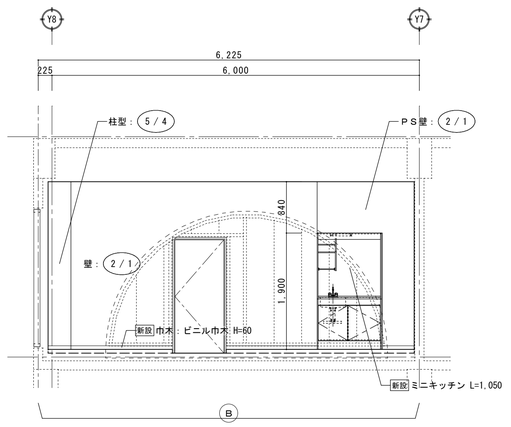


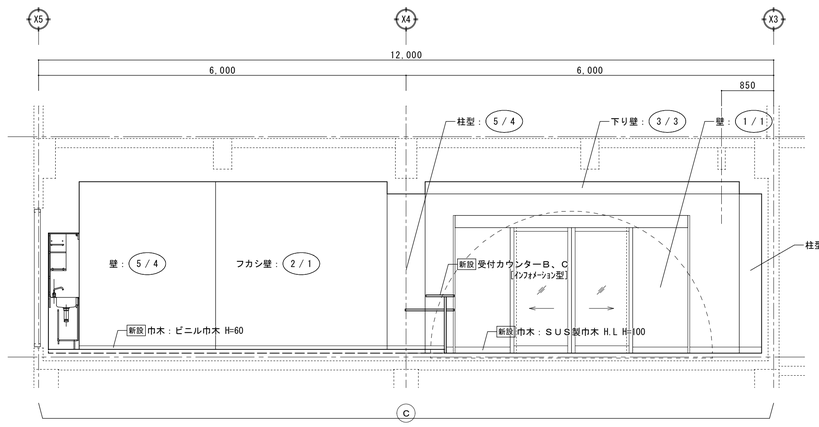




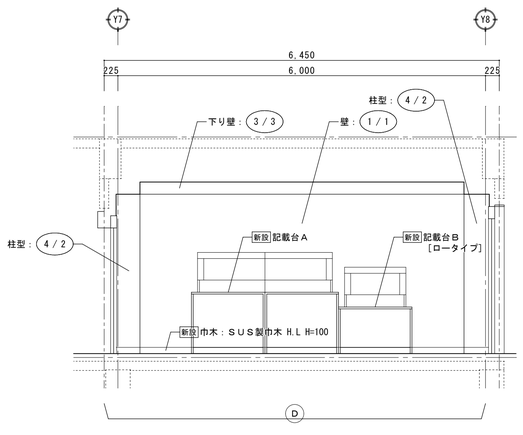
室名		駐車場	天井高	CH=3,310
壁 下地	1)	塗装改修 下地調整材塗り C-1 Ｐコン，パネルライン入れ		
	2)	塗装改修 (モルタル面) ＲＢ種		
壁 仕上	1)	塗装改修 (コンクリート面) ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り 上塗) フッ素クリヤ塗装		
	2)	塗装改修 (モルタル面) ＥＰ塗装		



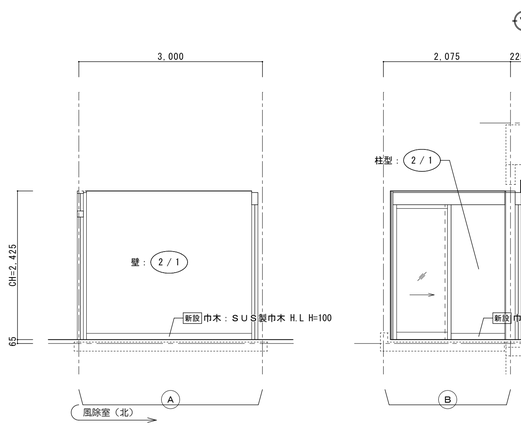




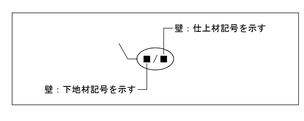
室名		出張所	天井高	CH=2,800
壁 下地・下地処理	1)	新設 ＬＧＳ (W50形)		
	2)	新設 ＬＧＳ (W65形)		
	3)	新設 ＬＧＳ (軽天下り壁)		
	4)	新設 ＧＬ工法 (既存タイル面)		
	5)	塗装改修 (コンクリート面) ＲＢ種		
壁 仕上	1)	新設 ＰＢ t=12.5 ビニルクロス貼り		
	2)	新設 ＰＢ t=12.5 ＥＰ塗装		
	3)	新設 ＰＢ t=9.5 ＥＰ塗装		
	4)	塗装改修 (コンクリート面) ＥＰ塗装		



室名		風除室（北）	天井高	CH=2,425
壁 下地・下地処理	1)	新設 ＬＧＳ (W50形)		
	2)	新設 ＬＧＳ (W25形 横胴縁組 @300)		
壁 仕上	1)	新設 ＰＢ t=12.5 ビニルクロス貼り		



凡例



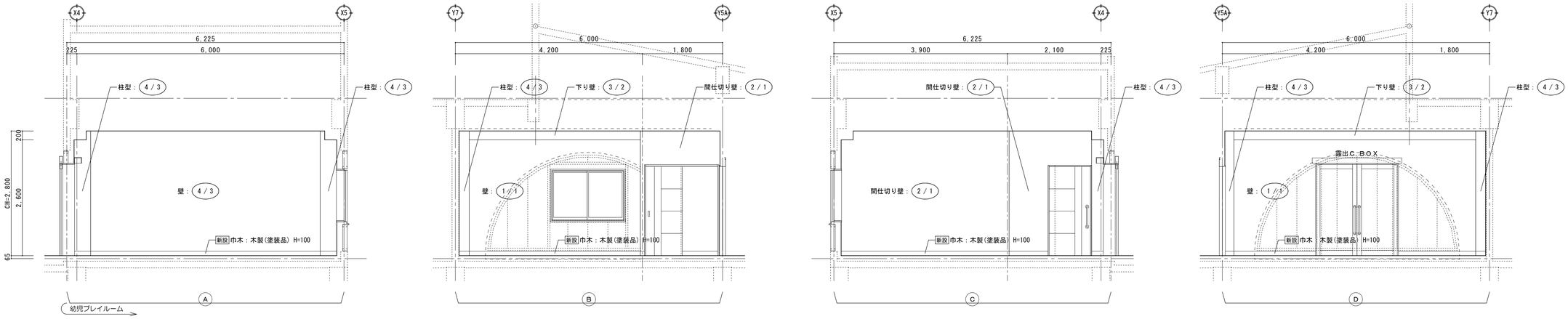
■ 注記）
- 特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
- 新設、改修内容は凡例及び図中記載の表現による
- 建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

■ 注記）
- 特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。
- 下地の種類が異なる箇所には仕上げ材に塩ビ製目地を入れる事。

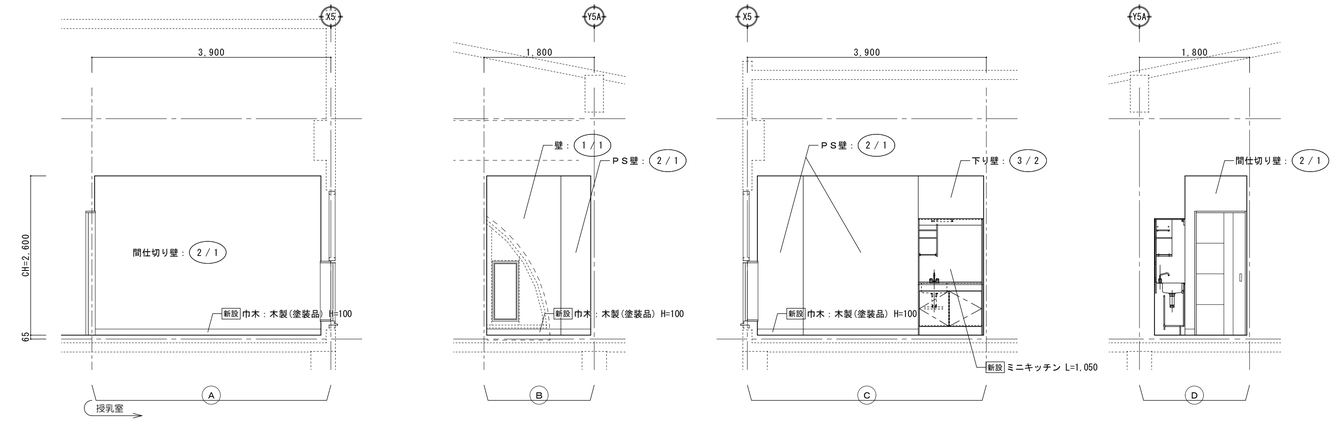
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	展開図 1F-2-3［改修後］		059
SCALE 1/50	㈱ 千葉構造設計コンサルタント		A-59

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）1436号 一級建築士大臣登録 第316560号 山崎 栄市

改修後

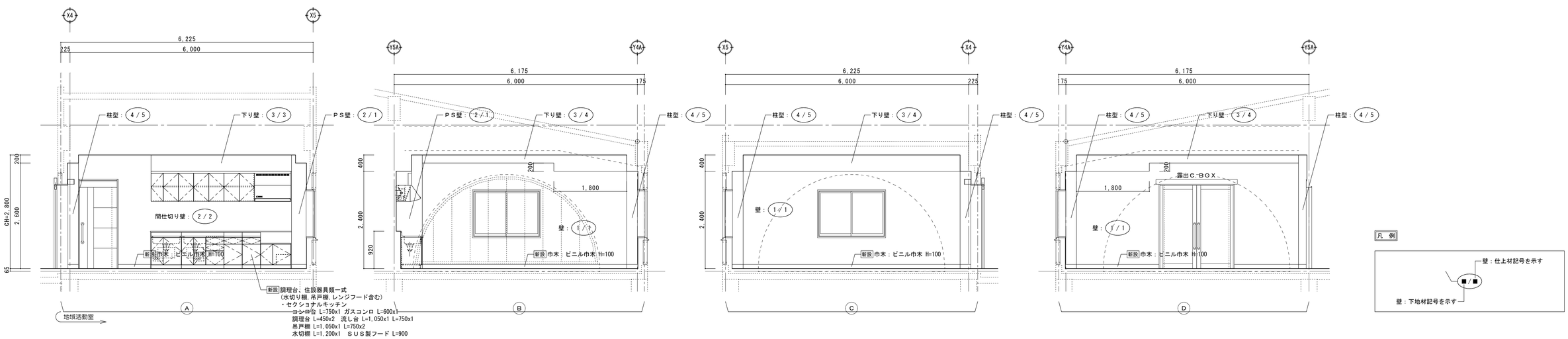


室名		幼児プレイルーム		天井高	CH=2,800
壁	下地・下地処理	1)	新設	ＬＧＳ（W50形）	
		2)	新設	ＬＧＳ（W65形）	
		3)	新設	ＬＧＳ（軽天下り壁）	
		4)	塗装改修	（コンクリート面）ＲＢ種	
	仕上	1)	新設	ＰＢ t=12.5	ビニルクロス貼り
		2)	新設	ＰＢ t=9.5	ＥＰ塗装
		3)	塗装改修	（コンクリート面）	ＥＰ塗装



室名		授乳室		天井高	CH=2,600
壁	下地・下地処理	1)	新設	ＬＧＳ（W50形）	
		2)	新設	ＬＧＳ（W65形）	
		3)	新設	ＬＧＳ（軽天下り壁）	
	仕上	1)	新設	ＰＢ t=12.5	ビニルクロス貼り
		2)	新設	ＰＢ t=9.5	ビニルクロス貼り

室名		地域活動室		天井高	CH=2,800
壁	下地・下地処理	1)	新設	ＬＧＳ（W50形）	
		2)	新設	ＬＧＳ（W65形）	
		3)	新設	ＬＧＳ（軽天下り壁）	
		4)	塗装改修	（コンクリート面）ＲＢ種	
	仕上	1)	新設	ＰＢ t=12.5	ビニルクロス貼り
		2)	新設	ＰＢ(GB-S) t=12.5	化粧ケイカル板 t=6
		3)	新設	ＰＢ t=9.5	ビニルクロス貼り
		4)	新設	ＰＢ t=9.5	ＥＰ塗装
		5)	塗装改修	（コンクリート面）	ＥＰ塗装



凡例

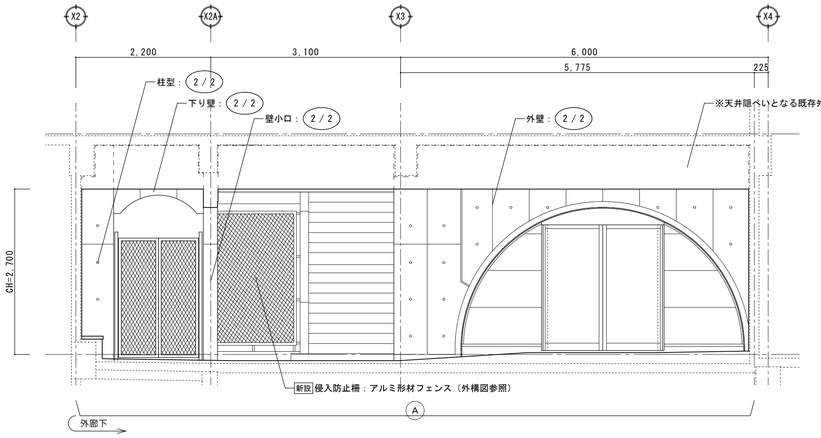
■ 注記)
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・新設.改修内容は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

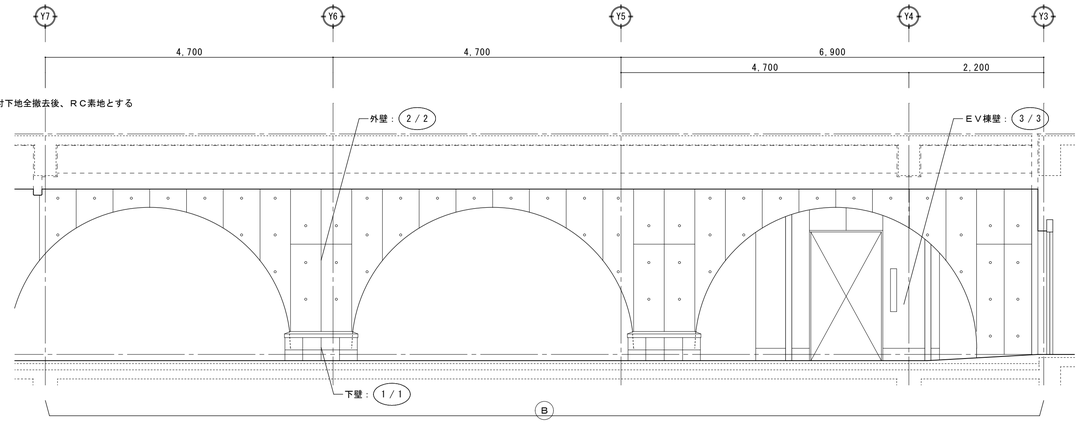
■ 注記)
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。
・下地の種類が異なる箇所には仕上げ材に塩ビ製目地を入れる事。

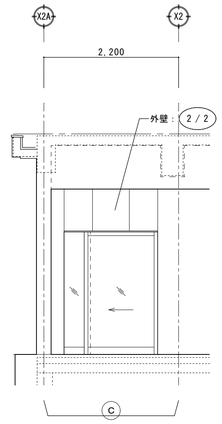
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		展開図 1F-2-4［改修後］	060
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-60

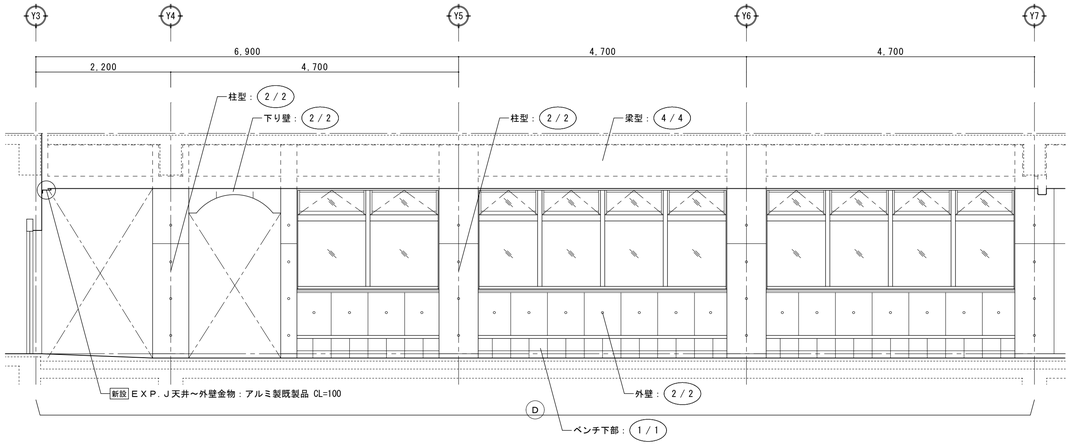
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）1436号 一級建築士大臣登録 第316560号 山崎 栄市

改修後



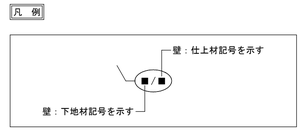






室名		外部廻下	天井高	CH=2, 700
壁	下地	1） 新設 タイル下モルタル塗り		
		2） 外壁改修 下地調整材塗り CM-2 Ｐコン，パネルライン入れ		
		3） 外壁改修 下地調整材塗り 同上		
		4） 外壁改修 吹付下地全撤去		
	仕上	1） 新設 床タイル同材張り(300x300)		
		2） 外壁改修 （コンクリート面） ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り 上塗）フッ素クリヤ塗装		
		3） 外壁改修 （ＡＬＣ面） 同上		
		4） ＲＣ素地		

凡 例



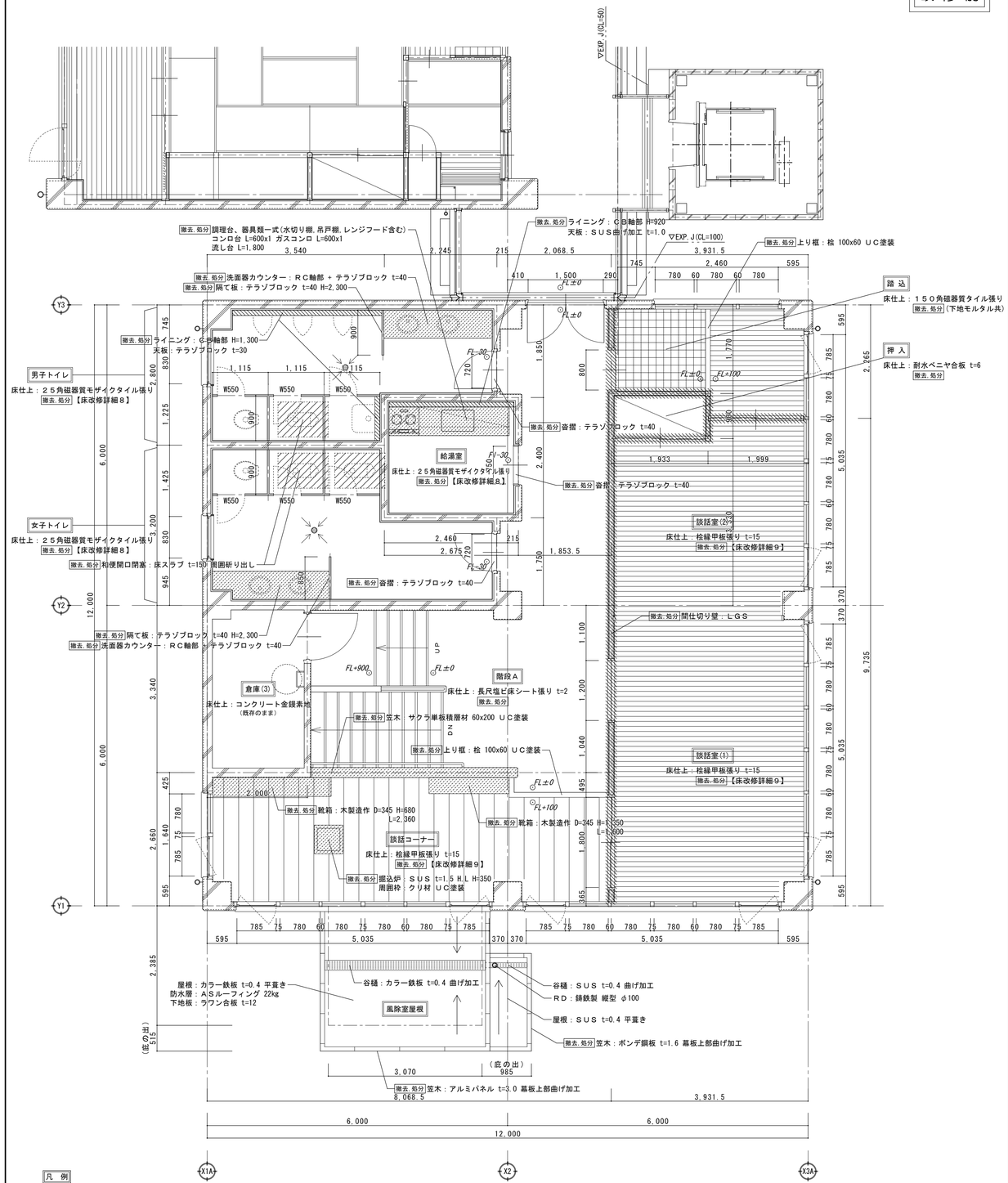
■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・新設、改修内容は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

■ 注記）
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。
・下地の種類が異なる箇所には仕上げ材に塩ビ製目地を入れる事。

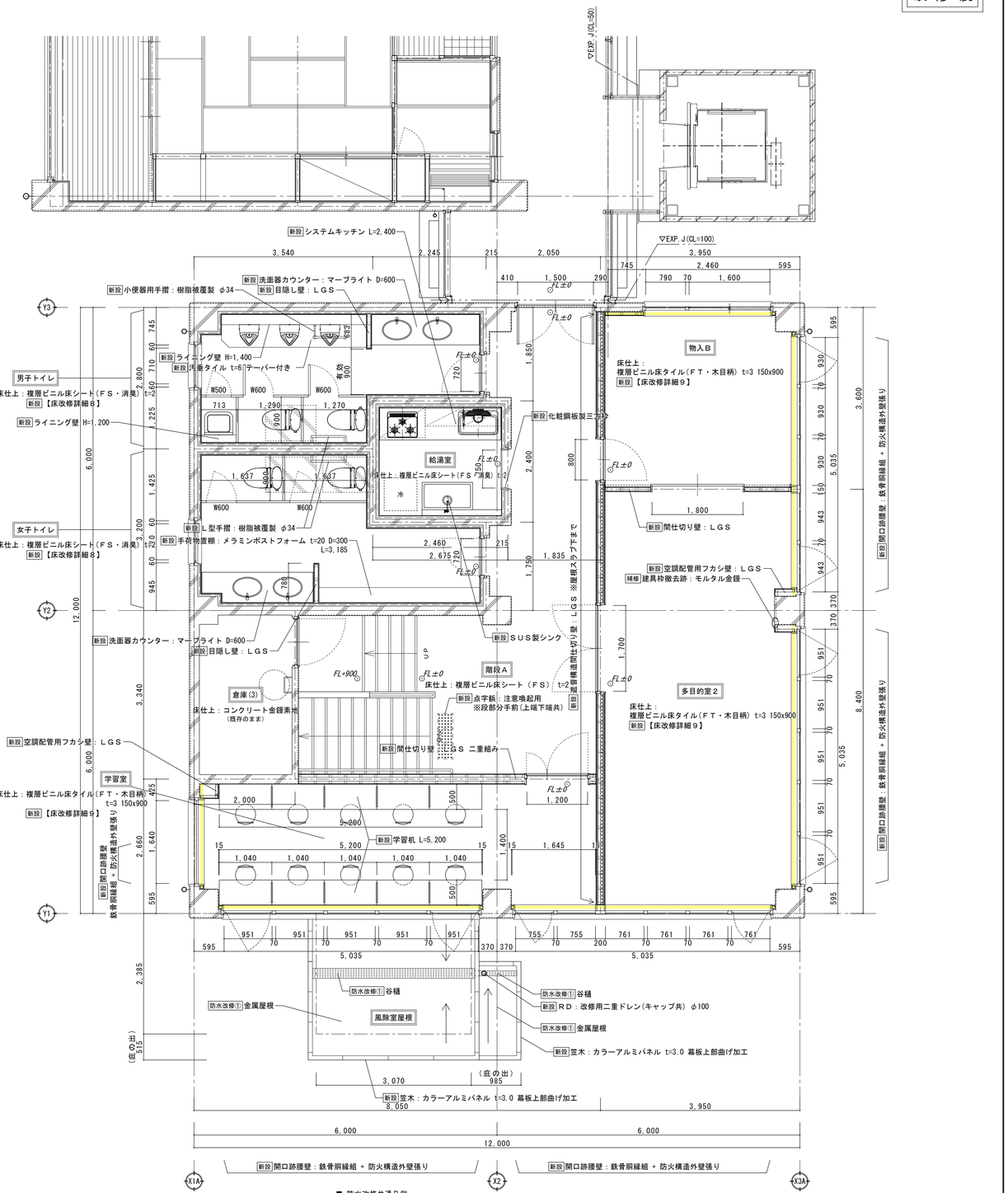
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）			展開図 1F-2-5［改修後］	０６１
SCALE 1/50			㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-61

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前



改修後



凡例

F-2 (FS)	床：仕上材　撤去範囲を示す
F-2 (FS)	床：下地, 仕上共　撤去範囲を示す
F-1 (LGS)	壁：下地, 仕上共　撤去範囲を示す
F-1 (LGS)	その他：撤去物を示す
	RC,モルタル面：カッター入れ　位置を示す

平面詳細図 S=1/50

展開方向 A B C D

新設壁種別

L60xx
軽量鉄骨下地間仕切壁(一般)
図中特記無きものは65型にて施工する。
数値の記載があるものはスタッドの規格寸法とする。
・スタッド：下地張りのない場合 ※300
下地張りのある場合 ※450

L6050
外壁面フカシ壁：内壁断熱 + 軽量鉄骨下地間仕切壁
図中特記無きものは50型にて施工する。
断熱仕様：ノンフロン湿式不燃断熱材吹付 t=30(熱伝導率0.044W/m・K)
エスケーセ研/セラミタイトエコG 同等程度
断熱仕様：グラスウール敷込み 32kg/m3 t=50

■ 防水改修共通凡例

防水改修① ※既存鋼板面を対象
高耐性環境対応型ウレタン塗膜防水 ローラー工法
上塗り) シリコン系高耐久高反射保護塗料

平面詳細図 S=1/50

展開方向 A B C D

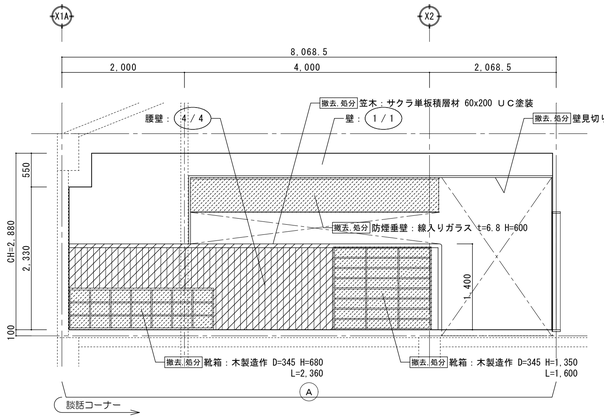
■ 注記)
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事
・その他改修事項は図中記載の表現による

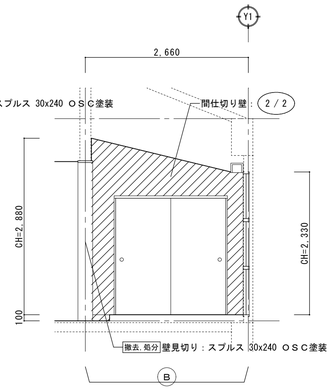
■ 特記事項)
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。

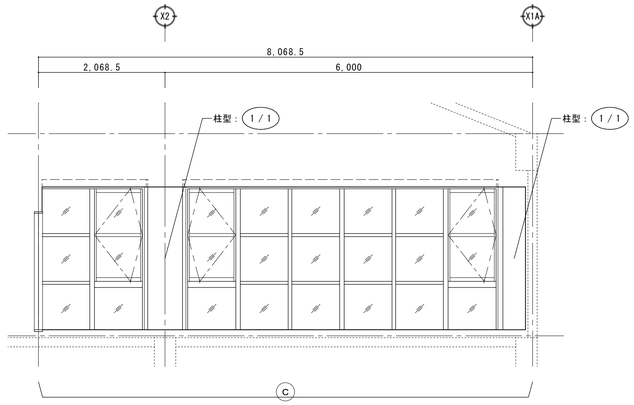
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事(ゼロ債務)		2階平面詳細図1［改修前・後］	062
SCALE 1/50		©㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-62

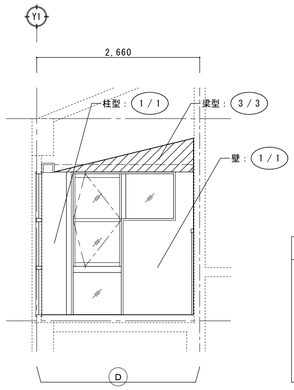
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第(9)1436号　一級建築士大臣登録 第316560号 山崎 栄市

改修前

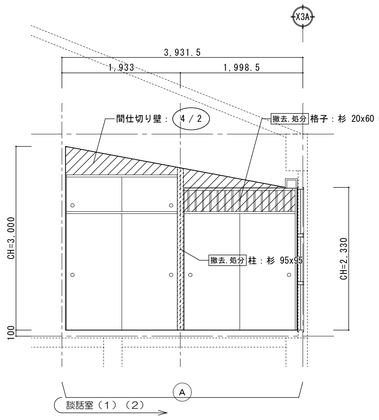


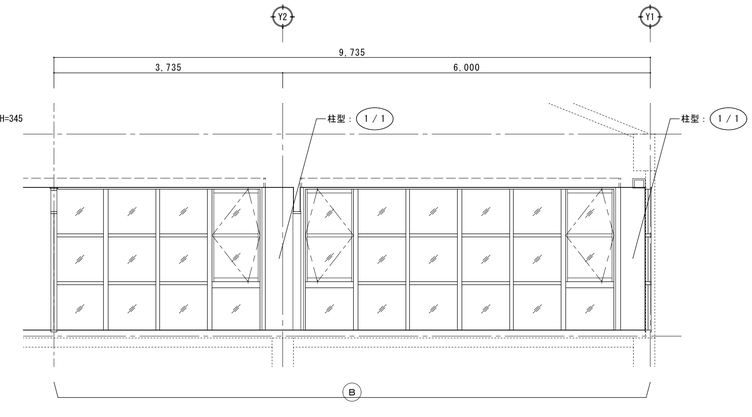


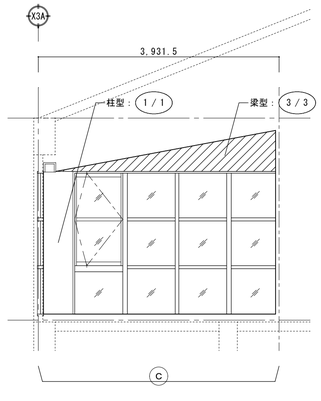


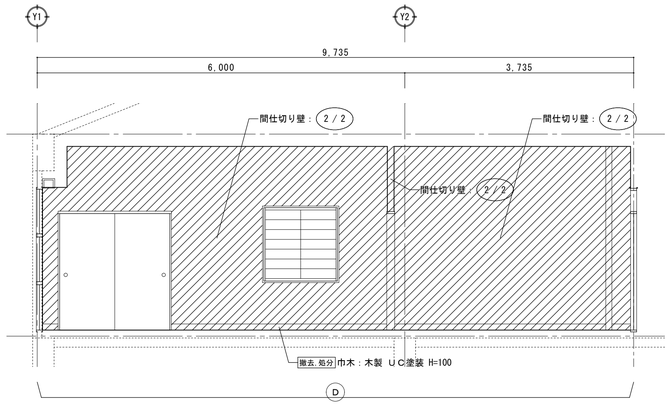


室名		談話コーナー	天井高	CH=2,880
壁	下地	1) ＲＣ 打放し		
		2) ＬＧＳ（Ｗ65形）		
		3) ＬＧＳ（軽天下り壁）		
		4) 木製胴縁組		
	仕上	1) （コンクリート面） ＭＲ-ＣＥの上、ＶＥエナメル塗装重ね塗り		
		2) ＰＢ t=12.5 + 9.5 ＶＥエナメル塗装		
		3) ＰＢ t=9.5 ＶＥエナメル塗装		
		4) ピーリングボード張り t=5.5		

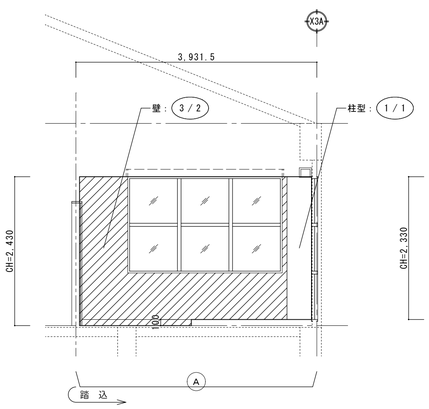


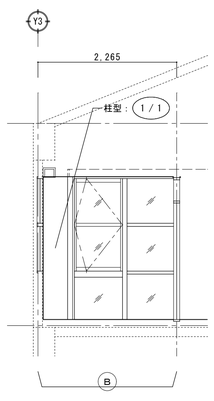


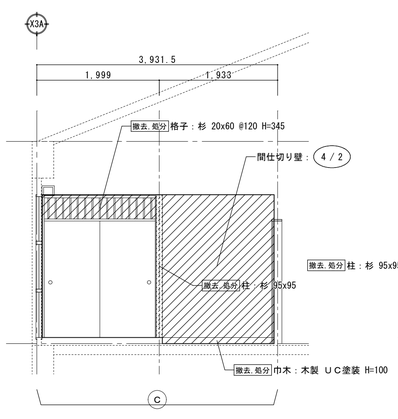


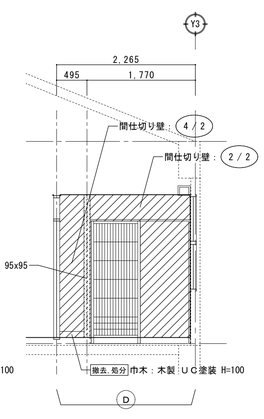


室名		談話室（1）（2）	天井高	CH=3,000
壁	下地	1) ＲＣ 打放し		
		2) ＬＧＳ（Ｗ65形）		
		3) ＬＧＳ（軽天下り壁）		
		4) 木製壁軸組		
	仕上	1) （コンクリート面） ビニルクロス直貼り		
		2) ＰＢ t=12.5 + 9.5 ビニルクロス貼り		
		3) ＰＢ t=9.5 ビニルクロス貼り		



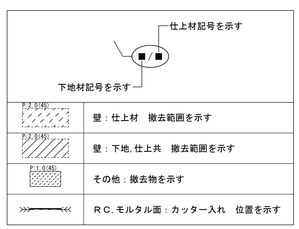






室名		談話室（踏 込）	天井高	CH=2,330
壁	下地	1) ＲＣ 打放し		
		2) ＬＧＳ（Ｗ65形）		
		3) ＧＬ工法		
		4) 木製壁軸組		
	仕上	1) （コンクリート面） ビニルクロス直貼り		
		2) ＰＢ t=12.5 + 9.5 ビニルクロス貼り		

凡 例

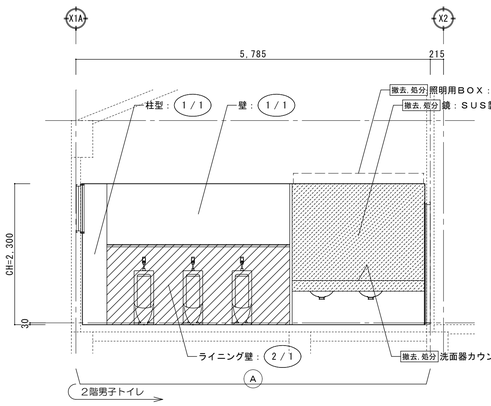


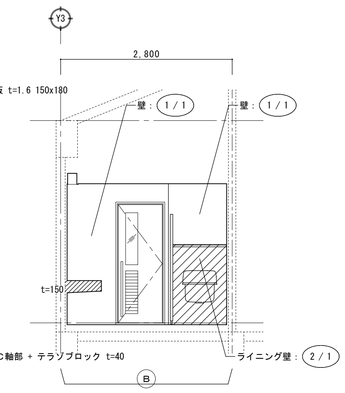
■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・撤去､改修範囲は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

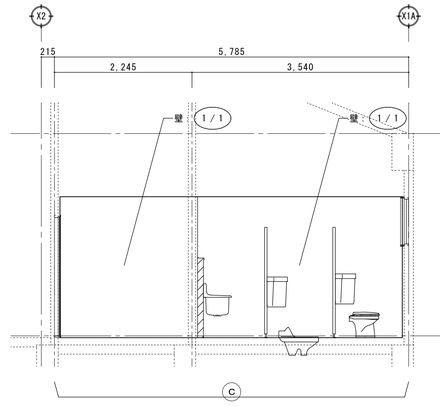
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		展開図 2F-1-1［改修前］	063
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-63

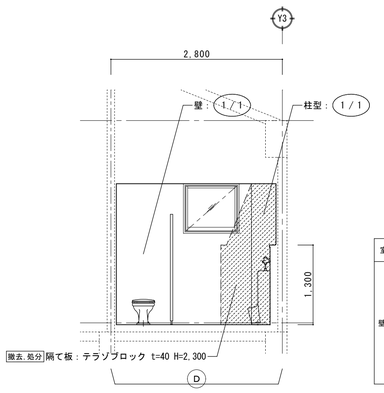
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）1436号 一級建築士大臣登録 第316560号 山崎 栄市

改 修 前

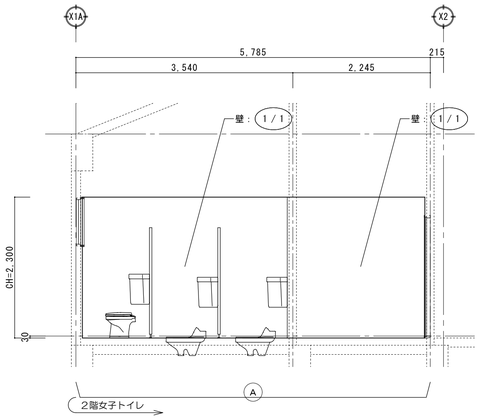


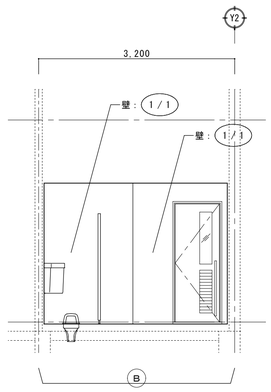


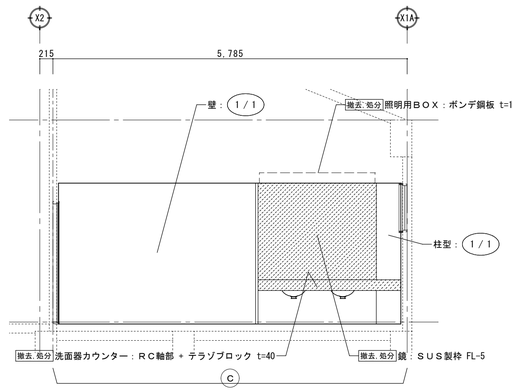


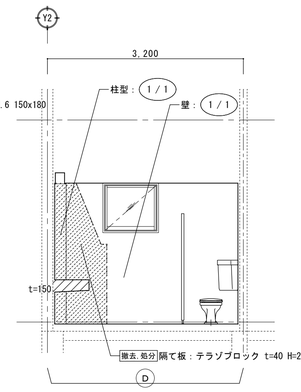


室名	２階男子トイレ	天井高	CH=2,300
壁 下地	1) ＲＣ軸部	タイル下モルタル塗り	
壁 下地	2) ＣＢ壁 t=100	タイル下モルタル塗り	
壁 仕上	1) １００角半磁器質タイル貼り		

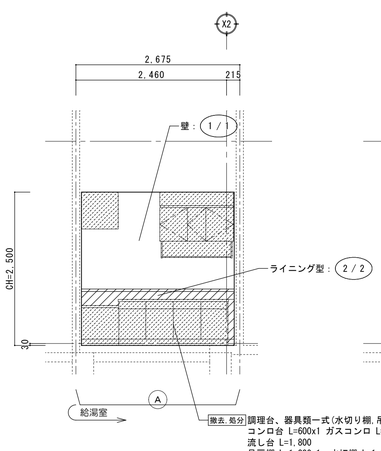


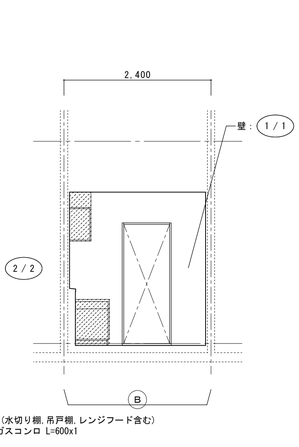


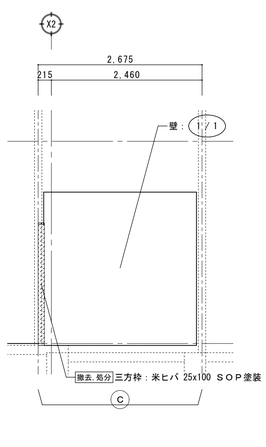


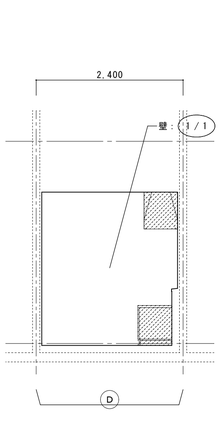


室名	２階女子トイレ	天井高	CH=2,300
壁 下地	1) ＲＣ軸部	タイル下モルタル塗り	
壁 下地			
壁 仕上	1) １００角半磁器質タイル貼り		



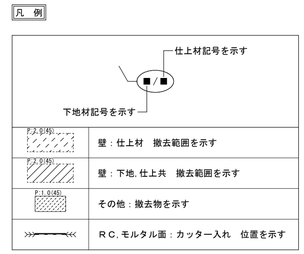






室名	給湯室	天井高	CH=2,500
壁 下地	1) ＲＣ軸部	タイル下モルタル塗り	
壁 下地	2) ＣＢ壁 t=100		
壁 仕上	1) １００角半磁器質タイル貼り		
壁 仕上	2) ＳＵＳ t=1.0 ＨＬ		

凡 例

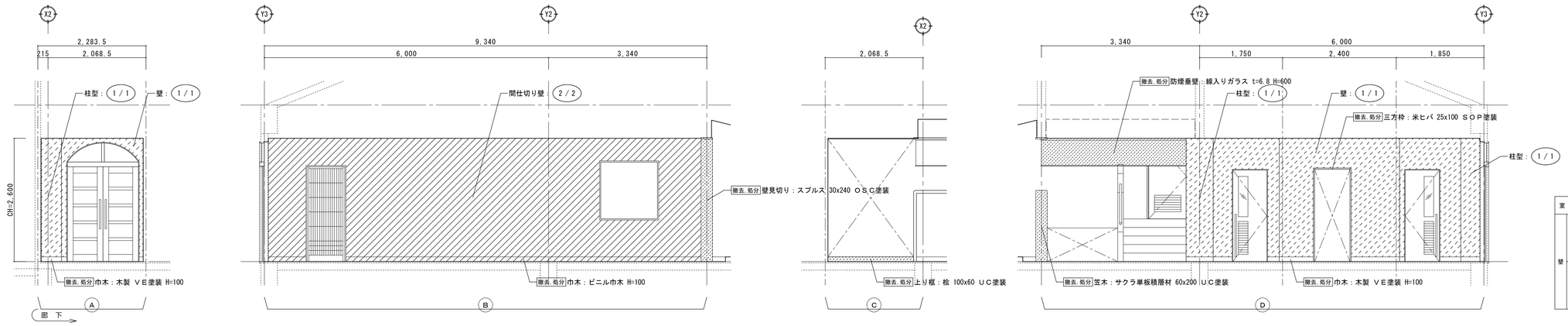


■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・撤去,改修範囲は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	展開図 2F-1-2［改修前］		O６４
SCALE 1/50	㈱ 千葉構造設計コンサルタント		A-64

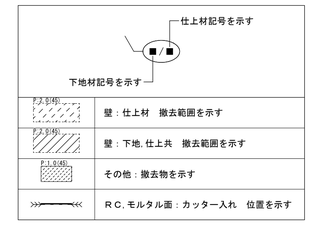
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改 修 前



室 名		2階廊下	天井高	CH=2,600
壁	下地	1) ＲＣ 打放し		
		2) ＬＧＳ（Ｗ65形）		
	仕上	1) （コンクリート面） ＭＲ-ＣＥの上、ＶＥエナメル塗装重ね塗り		
		2) ＰＢ t=12.5 + 9.5 ＶＥエナメル塗装		

凡 例

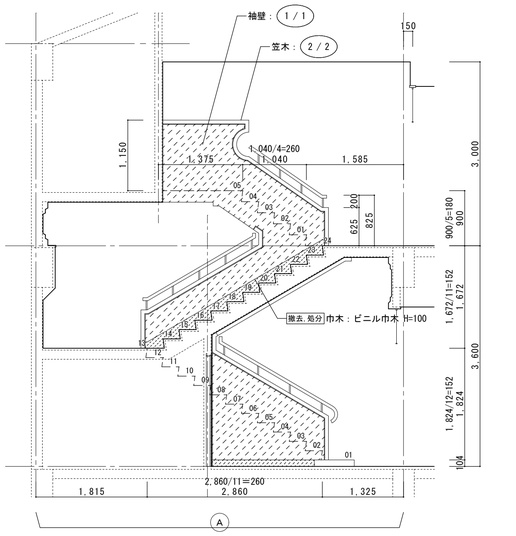


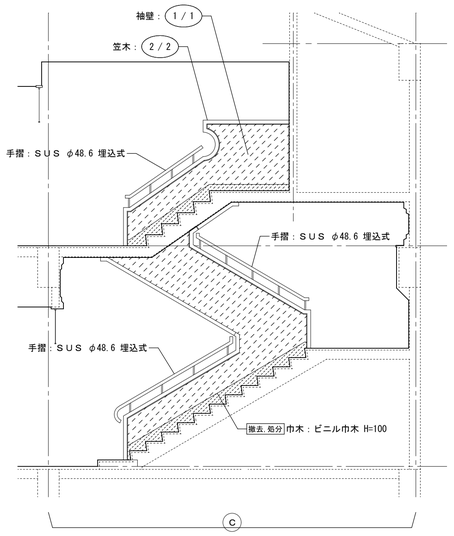
■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・撤去, 改修範囲は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

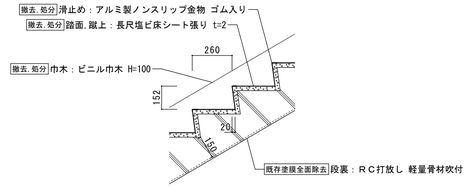
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）			展開図 2F-1-3［改修前］	０６５
SCALE 1/50			㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-65

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前

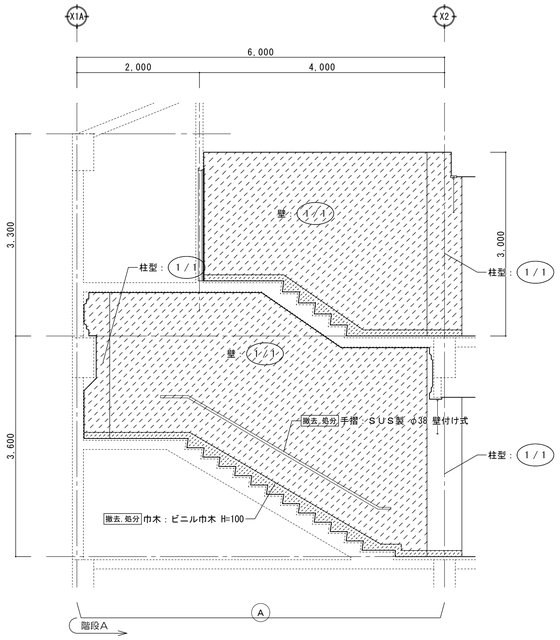


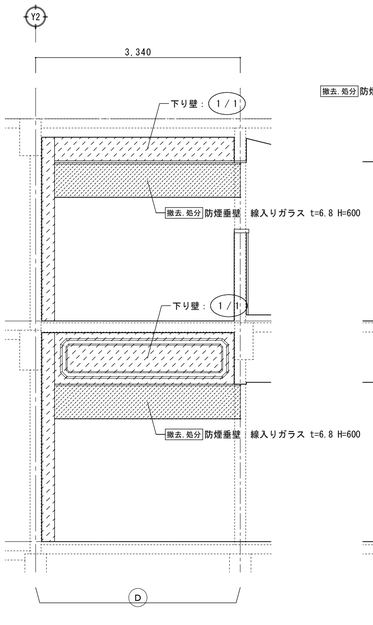


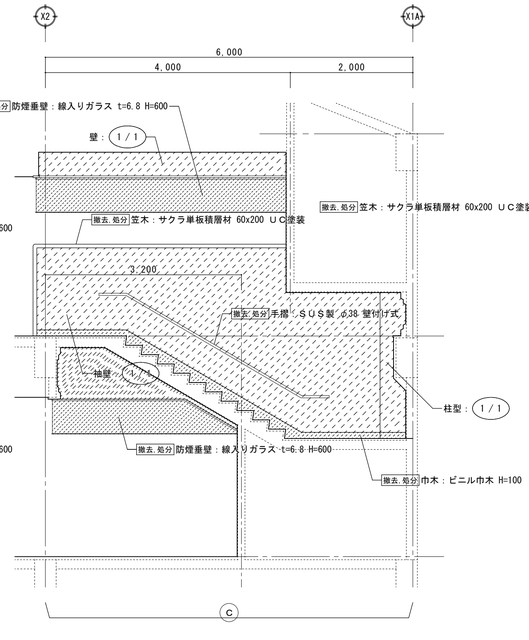


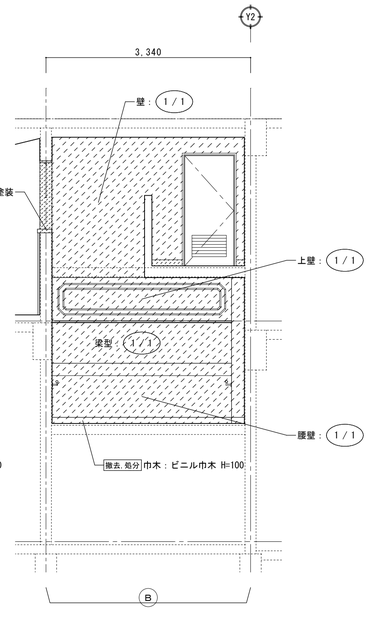
階 段 詳 細 図 S=1/20

室名		階段Ａ	天井高	―
壁	下地	1） ＲＣ 打放し		
		2） モルタル金鏝		
	仕上	1） （コンクリート面） ＭＲ−ＣＥの上、ＶＥエナメル塗装重ね塗り		
		2） （モルタル面） ＡＰ塗装		

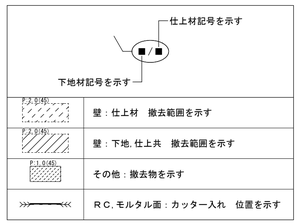








凡 例

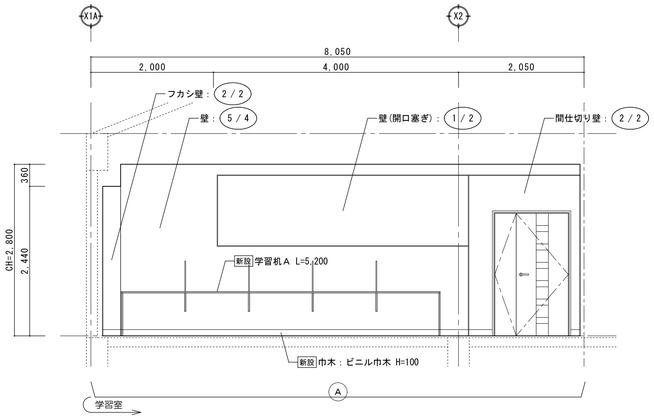


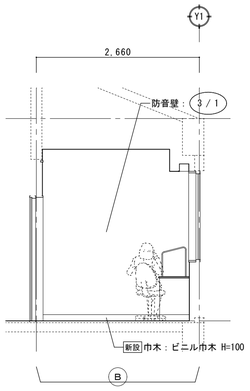
■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・撤去,改修範囲は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

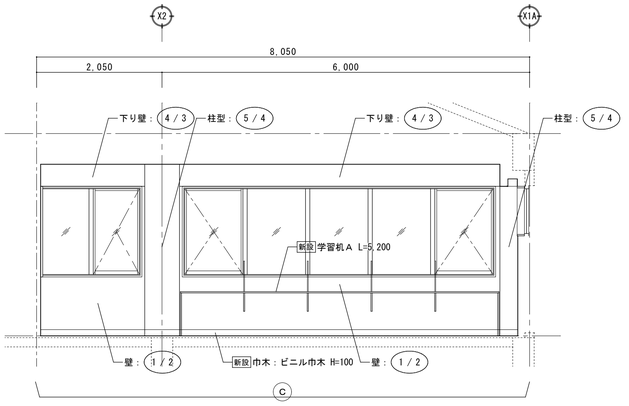
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		展開図 2F-1-4［改修前］	０６６
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-66

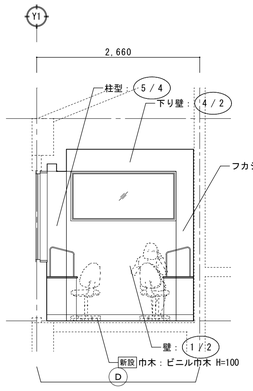
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修後

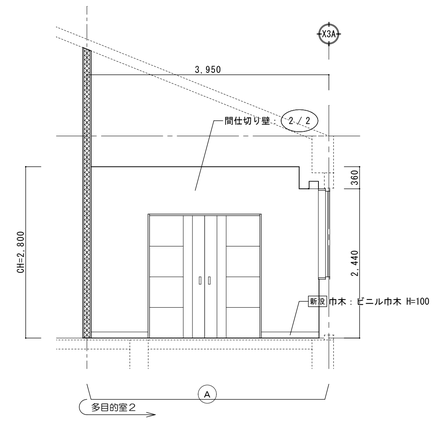


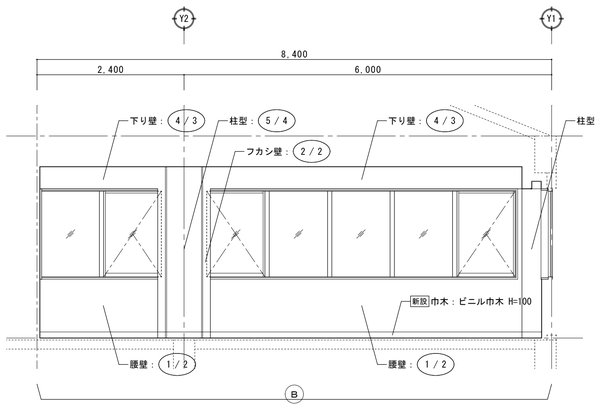


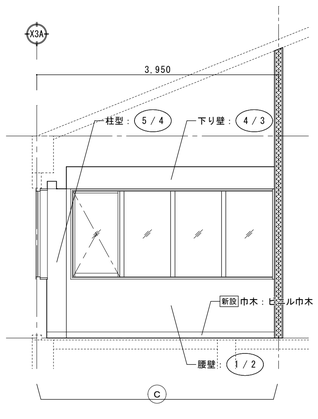


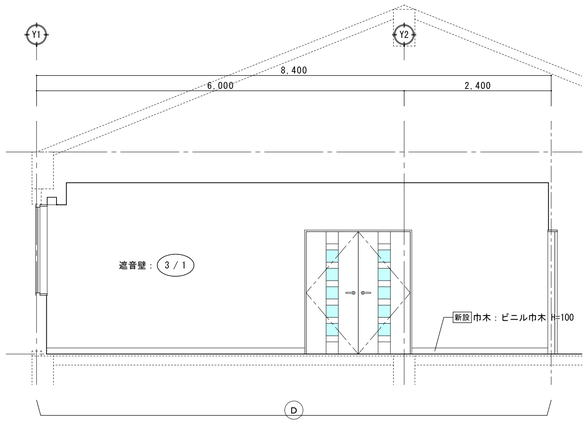


室名			学習室	天井高	CH=2,800
壁	下地・下地処理	1)	新設	ＬＧＳ（W50形）	
		2)	新設	ＬＧＳ（W65形）	
		3)	新設	ＬＧＳ（W100形）	遮音材：グラスウール 24kg/m3 t=50
		4)	新設	ＬＧＳ（軽天下り壁）	
		5)	塗装改修	（コンクリート面）ＲＢ種	
	仕上	1)	新設	ＰＢ(GB-F二重) t=12.5 + 12.5	ビニルクロス貼り
		2)	新設	ＰＢ t=12.5	ビニルクロス貼り
		3)	新設	ＰＢ t=9.5	ＥＰ塗装
		4)	塗装改修	（コンクリート面）	ＥＰ塗装

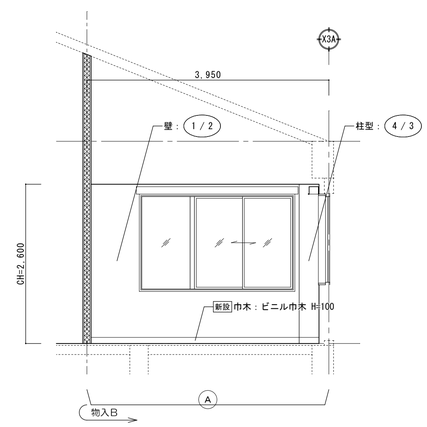


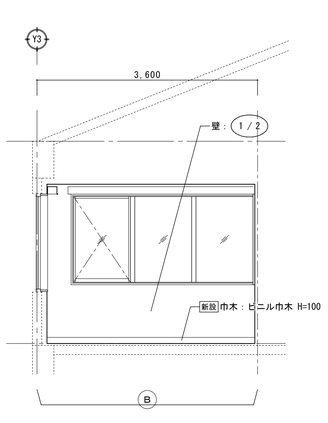


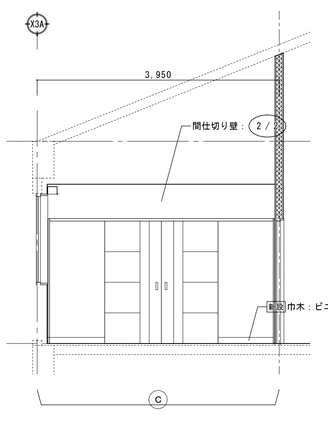


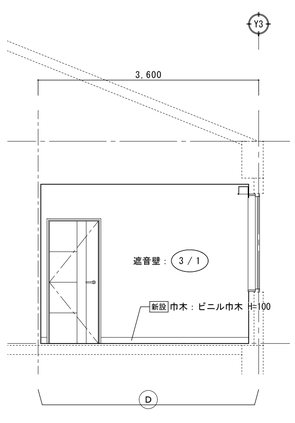


室名			多目的室2	天井高	CH=2,800
壁	下地・下地処理	1)	新設	ＬＧＳ（W50形）	
		2)	新設	ＬＧＳ（W65形）	
		3)	新設	ＬＧＳ（W100形）	遮音材：グラスウール 24kg/m3 t=50
		4)	新設	ＬＧＳ（軽天下り壁）	
		5)	塗装改修	（コンクリート面）ＲＢ種	
	仕上	1)	新設	ＰＢ(GB-F二重) t=12.5 + 12.5	ビニルクロス貼り
		2)	新設	ＰＢ t=12.5	ビニルクロス貼り
		3)	新設	ＰＢ t=9.5	ビニルクロス貼り
		4)	塗装改修	（コンクリート面）	ＥＰ塗装



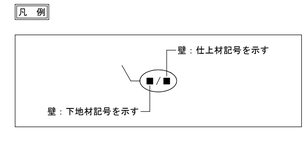






室名			物入B	天井高	CH=2,600
壁	下地・下地処理	1)	新設	ＬＧＳ（W50形）	
		2)	新設	ＬＧＳ（W65形）	
		3)	新設	ＬＧＳ（W100形）	遮音材：グラスウール 24kg/m3 t=50
		4)	塗装改修	（コンクリート面）ＲＢ種	
	仕上	1)	新設	ＰＢ(GB-F二重) t=12.5 + 12.5	ビニルクロス貼り
		2)	新設	ＰＢ t=12.5	ビニルクロス貼り
		3)	塗装改修	（コンクリート面）	ＥＰ塗装

凡例



■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・新設、改修内容は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

■ 注記）
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。
・下地の種類が異なる箇所には仕上げ材に塩ビ製目地を入れる事。

市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

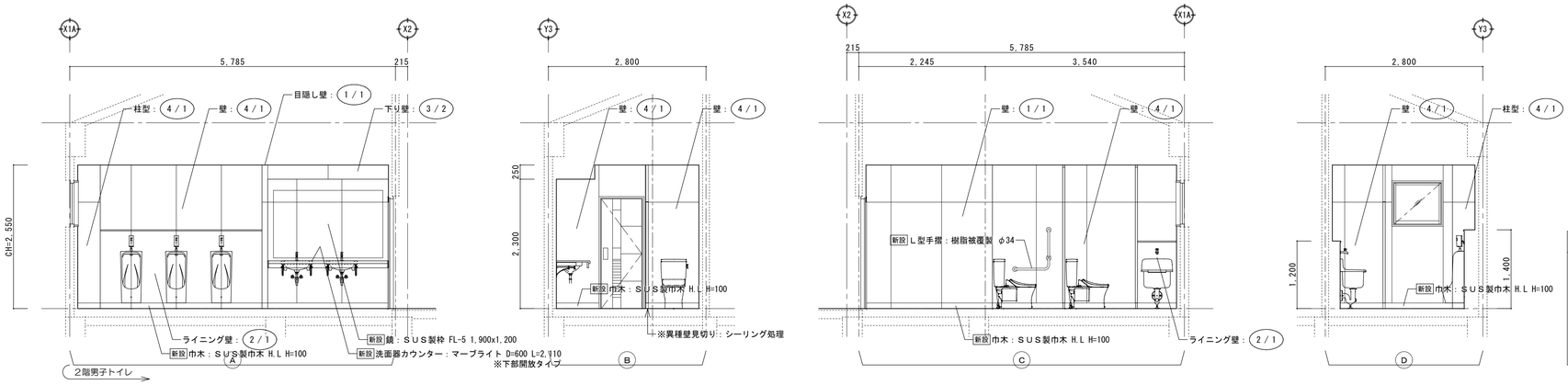
展開図 2F-1-1［改修後］ | ０６７

SCALE 1/50

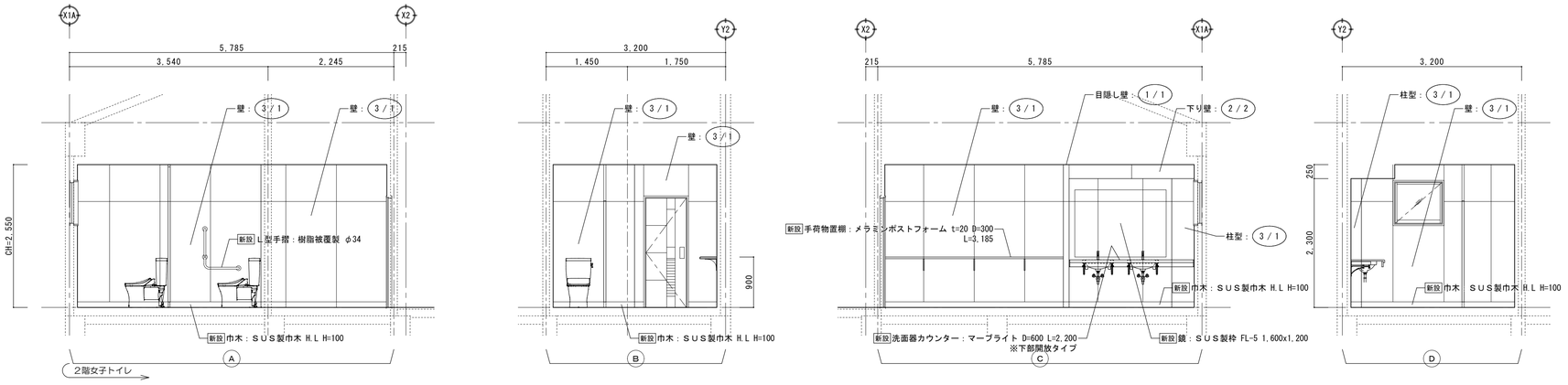
㈱ 千葉構造設計コンサルタント | A-67

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

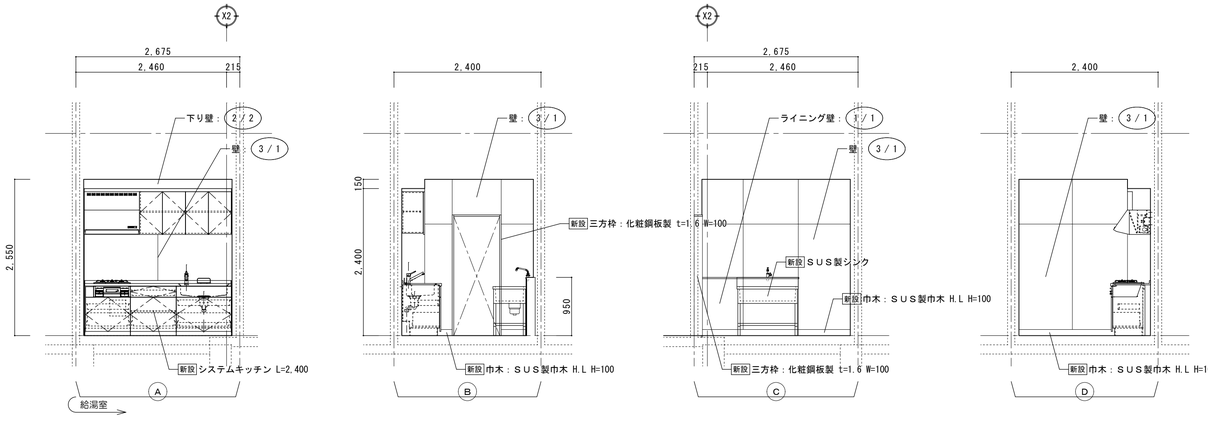
改修後



室名		2階男子トイレ		天井高	CH=2,550
壁	下地・下地処理	1)	新設	ＬＧＳ（W65形）	
		2)	新設	ＬＧＳ（W50形）	
		3)	新設	ＬＧＳ（軽天下り壁）	
		4)	新設	ＧＬ工法	（既存タイル面）
	仕上	1)	新設	ＰＢ(GB-S) t=12.5	防汚塗装化粧ケイカル板 t=6
		2)	新設	ＰＢ(GB-S) t=9.5	防汚塗装化粧ケイカル板 t=6



室名		2階女子トイレ		天井高	CH=2,550
壁	下地・下地処理	1)	新設	ＬＧＳ（W65形）	
		2)	新設	ＬＧＳ（軽天下り壁）	
		3)	新設	ＧＬ工法	（既存タイル面）
	仕上	1)	新設	ＰＢ(GB-S) t=12.5	防汚塗装化粧ケイカル板 t=6
		2)	新設	ＰＢ(GB-S) t=9.5	防汚塗装化粧ケイカル板 t=6



室名		給湯室		天井高	CH=2,550
壁	下地・下地処理	1)	新設	ＬＧＳ（W50形）	
		2)	新設	ＬＧＳ（軽天下り壁）	
		3)	新設	ＧＬ工法	（既存タイル面）
	仕上	1)	新設	ＰＢ(GB-S) t=12.5	防汚塗装化粧ケイカル板 t=6
		2)	新設	ＰＢ(GB-S) t=9.5	防汚塗装化粧ケイカル板 t=6

凡例



■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・新設、改修内容は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

■ 注記）
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。
・下地の種類が異なる箇所には仕上げ材に塩ビ製目地を入れる事。

市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

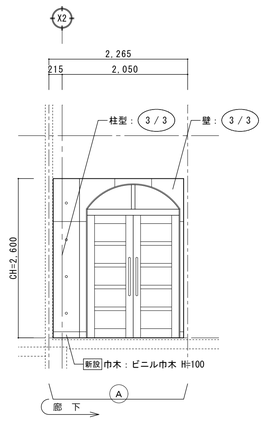
展開図 2F-1-2［改修後］

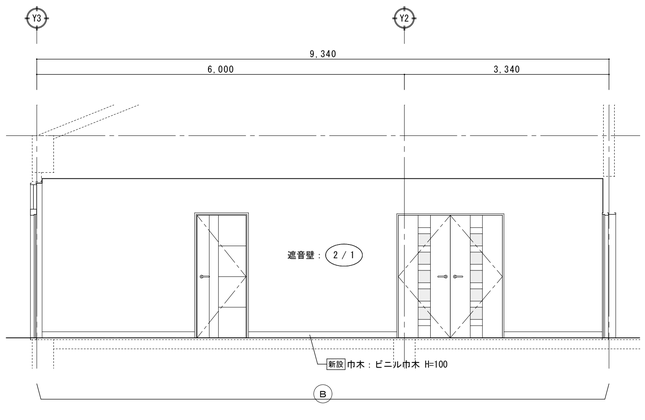
SCALE 1/50

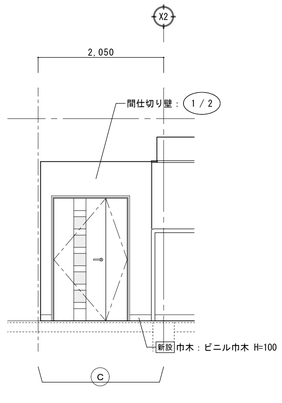
㈱ 千葉構造設計コンサルタント

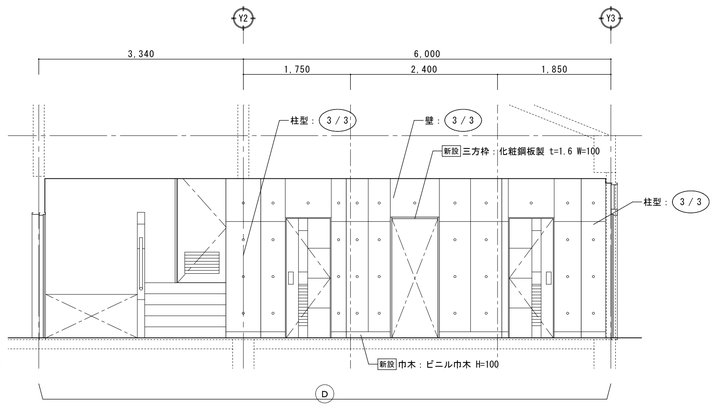
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改 修 後



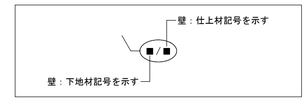






室 名		2階廊下	天井高	CH=2,600
壁	下地・下地処理	1) 新設 ＬＧＳ（Ｗ65形）		
		2) 新設 ＬＧＳ（Ｗ100形）	遮音材：グラスウール 24kg/m3 t=50	
		3) 塗装改修 下地調整材塗り C-1 Ｐコン,パネルライン入れ		
	仕上			
		1) 新設 ＰＢ(GB-F二重) t=12.5 + 12.5	ビニルクロス貼り(表面強化)	
		2) 新設 ＰＢ t=12.5	ビニルクロス貼り(表面強化)	
		3) 塗装改修 (コンクリート面)	ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り上塗）シリコンクリヤ塗装	

凡 例



■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・新設,改修内容は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

■ 注記）
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。
・下地の種類が異なる箇所には仕上げ材に塩ビ製目地を入れる事。

市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

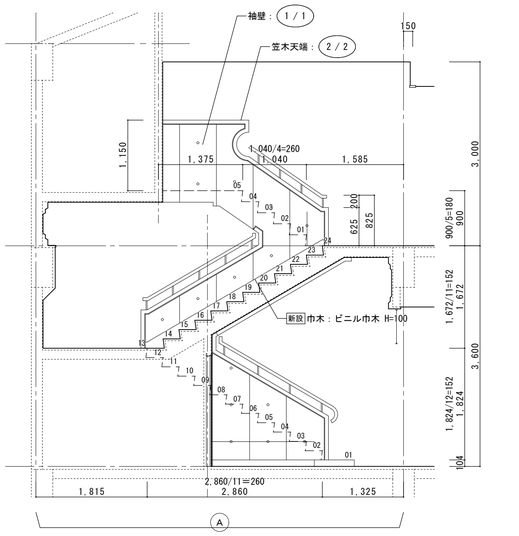
SCALE 1/50

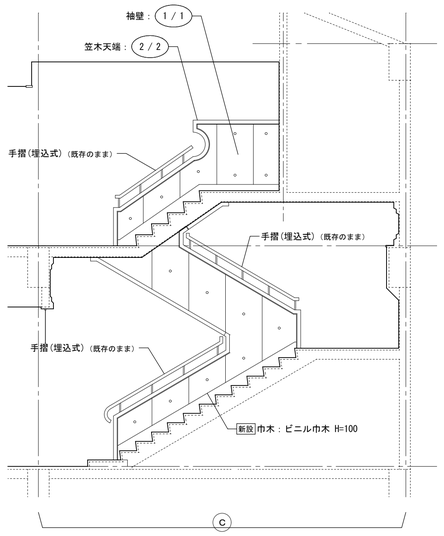
展開図 2F-1-3［改修後］ ０６９

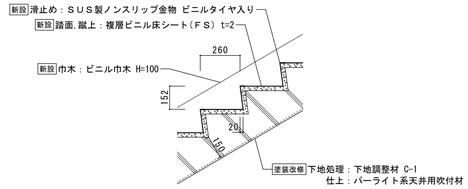
㈱ 千葉構造設計コンサルタント A-69

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修後

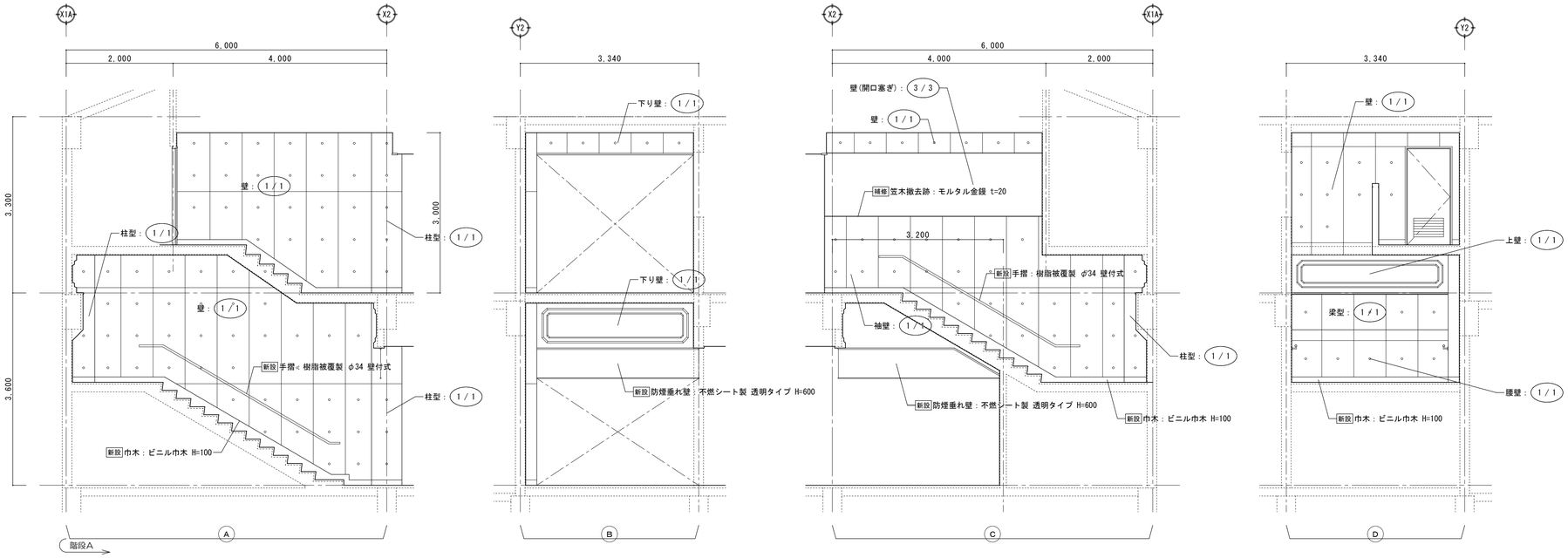




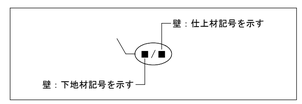


階 段 詳 細 図 S=1/20

室名			階段Ａ	天井高	―
壁	下地・下地部塗	1)	塗装改修 下地調整材塗り C-1 Ｐコン,パネルライン入れ		
		2)	塗装改修 (コンクリート面) ＲＢ種		
		3)	ＬＧＳ（Ｗ50形）		
	仕上	1)	塗装改修 (コンクリート面) ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り 上塗）シリコンクリヤ塗装		
		2)	塗装改修 (コンクリート面) ＥＰ塗装		
		3)	新設 ＰＢ t=12.5 ＥＰ塗装		



凡 例



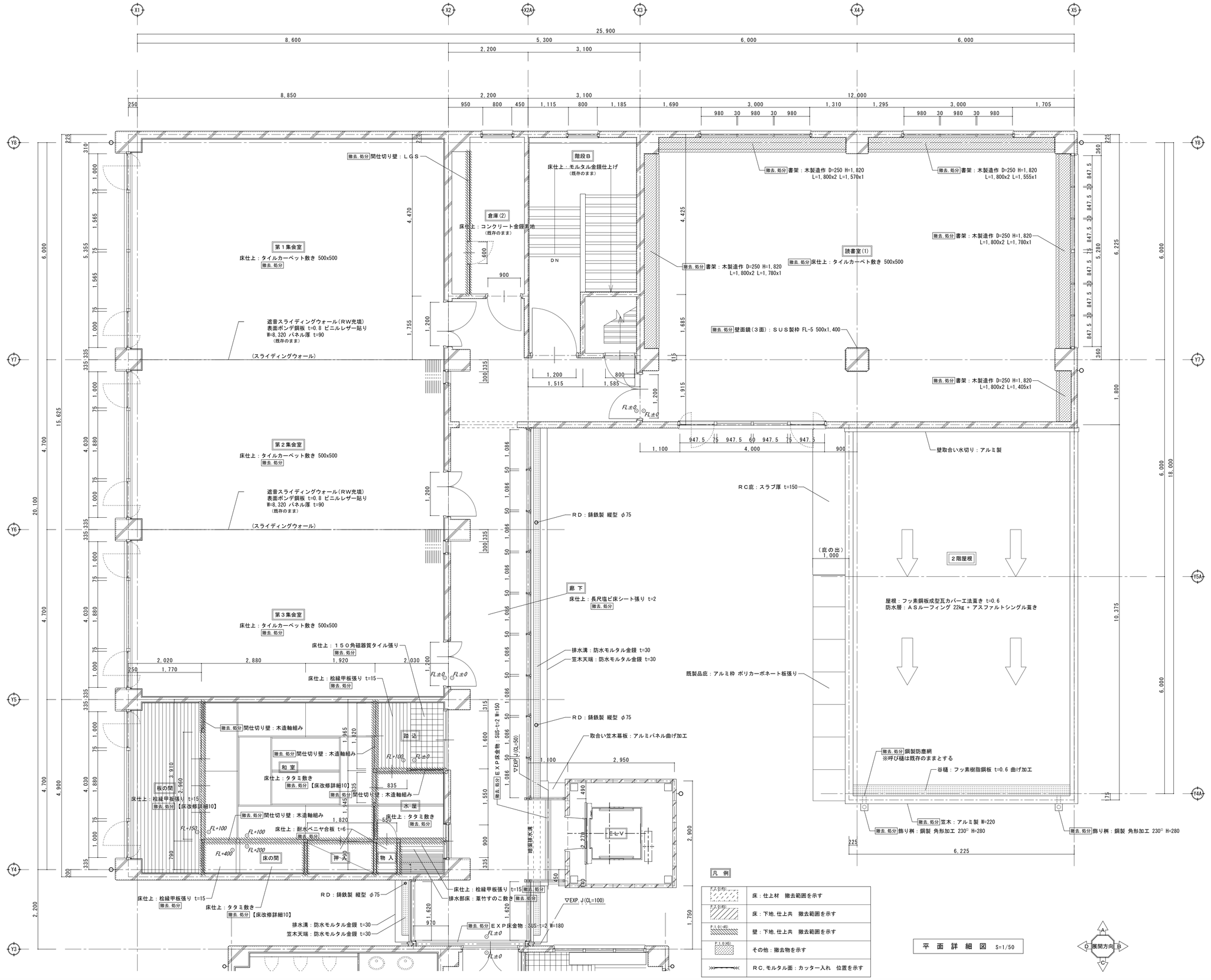
■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・新設,改修内容は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

■ 注記）
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。
・下地の種類が異なる箇所には仕上げ材に塩ビ製目地を入れる事。

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	展開図 2F-1-4［改修後］	０７０
SCALE 1/50	㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-70

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前



平 面 詳 細 図 S=1/50

■ 注記）
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事
・その他改修事項は図中記載の表現による

■ 特記事項）
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		２階平面詳細図２［改修前］	０７１
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-71

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修後

■ 防水改修共通凡例

防水改修① ※既存鋼板面を対象
高靭性環境対応型ウレタン塗膜防水 ローラー工法
上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料

防水改修④ ※既存防水モルタル面を対象
ウレタン塗膜防水 密着工法(X-2)
上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料

新設 笠木：カラーアルミパネル t=3.0
幕板上部曲げ加工 W=220

新設 ＲＤ：鋳鉄製 縦型 φ90

新設 屋上防水：塩化ビニル樹脂系シート防水 t=1.5 機械的固定工法
野地板：硬質木毛セメント板 t=25
下地組：C-60x30x10x2.3 @450根太組

新設 取合い水切り：AL-1.2 曲げ加工 W=200

新設 既製品庇：アルミ形材製大型庇 基部流し
アームレスタイプ t=25 D=900
L=1,500

新設 間仕切り壁：ＬＧＳ

新設 フカシ壁：ＬＧＳ

新設 開口部建具：鉄骨網縁組 + 防火構造外装張り

階段Ｂ

新設 床仕上：屋外用防滑ビニル床シート
（ＦＳ）t=2.5 ※踏面、蹴込一体型

倉庫(2)
床仕上：コンクリート金鏝押さえ
（既存のまま）

第１集会室
床仕上：ナイロンパイル製タイルカーペット敷き t=6.5 500x500
新設

第２集会室
床仕上：ナイロンパイル製タイルカーペット敷き t=6.5 500x500
新設

第３集会室
床仕上：ナイロンパイル製タイルカーペット敷き t=6.5 500x500
新設

スライディングウォール

新設 フカシ壁：ＬＧＳ

新設 フカシ壁：ＬＧＳ

床仕上：１５０角磁器質タイル張り
新設

床仕上：檜縁甲板張り t=15
新設

新設 間仕切り壁：木造軸組み

新設 間仕切り壁：木造軸組み

和 室
床仕上：タタミ敷き
新設 【床改修詳細10】

板の間
床仕上：檜縁甲板張り t=15
新設 【床改修詳細10】

新設 間仕切り壁：木造軸組み

床仕上：耐水ベニヤ合板 t=6
新設

床の間

床仕上：タタミ敷き
新設 【床改修詳細10】

床仕上：檜縁甲板張り t=15
新設

押入

物 入

水 屋
床仕上：タタミ敷き
新設

路 地

廊 下
床仕上：複層ビニル床シート（ＦＳ） t=2

風除室屋上

新設 扉付きウォールミラー 3,600x1,800

多目的室１
新設 床仕上：複層ビニル床タイル（ＦＴ・木目柄） t=3 150x900

新設 間仕切り壁：ＬＧＳ

物入Ａ
新設 床仕上：複層ビニル床タイル（ＦＴ・木目柄） t=3 150x900

塗装改修 壁取合い水切り：
屋根同材遮熱塗料塗り

防水修正 周囲斫り，防水モルタル塗り
新設 ＲＤ：改修用二重ドレン(キャップ共) φ75

防水改修④ 排水溝

防水改修④ 笠木天端

防水修正 周囲斫り，防水モルタル塗り
新設 ＲＤ：改修用二重ドレン(キャップ共) φ75

防水改修① 取合い笠木幕板

新設 ＥＸＰ床金物：アルミ製 H=160 化粧床仕様

▽EXP.J(GL-50)

▽EXP.J(GL=100)

新設 ＥＸＰ床金物：アルミ製 W=220 化粧床仕様
ABC/ﾌｧｰｽﾄﾝｼｮﾝSシリーズ同等

防水改修 排水溝：ウレタン塗膜防水 X-2

防水改修 笠木天端：ウレタン塗膜防水 X-2

新設 開口部建具：鉄骨網縁組 + 防火構造外壁張り

新設 開口部建具：鉄骨網縁組 + 防火構造外壁張り

新設 開口部建具：鉄骨網縁組 + 防火構造外壁張り

新設 開口部建具：鉄骨網縁組 + 防火構造外壁張り

新設 間仕切り壁：ＬＧＳ

新設 フカシ壁：ＬＧＳ

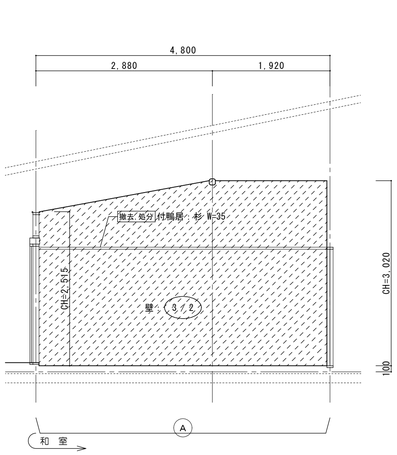
新設 フカシ壁：ＬＧＳ

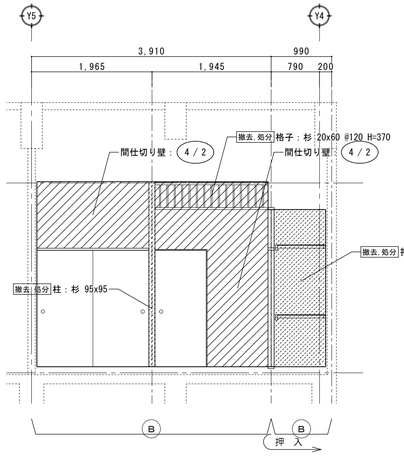
新設 間仕切り壁：木造軸組み

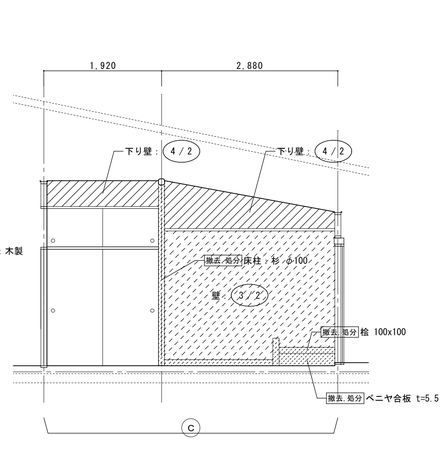
新設 間仕切り壁：木造軸組み

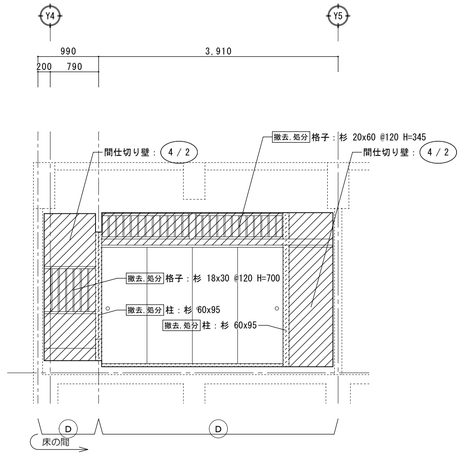
新設 間仕切り壁：木造軸組み

改修前

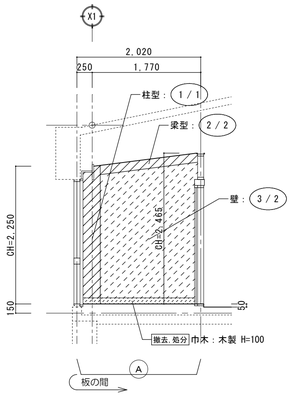


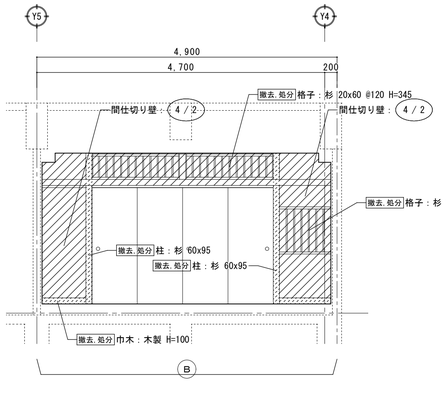


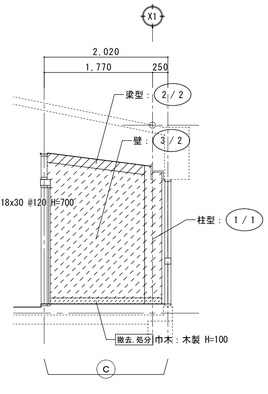


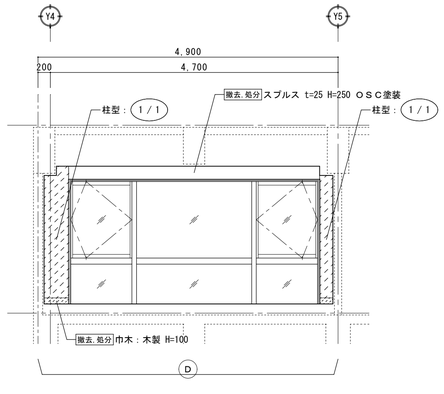


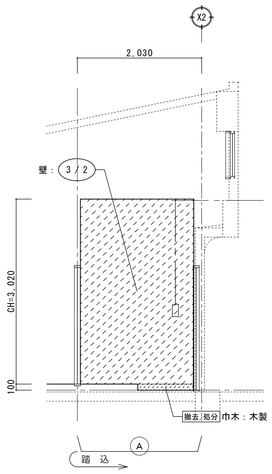
室名	和 室		天井高	CH=3,020
室名	板の間		天井高	CH=2,465
室名	踏 込		天井高	CH=3,020
室名	水 屋		天井高	CH=3,020
壁	下地	1) ＲＣ 打放し		
		2) ＬＧＳ（軽天下り壁）		
		3) ＧＬ工法		
		4) 木製壁軸組		
	仕上	1) （コンクリート面） ビニルクロス直貼り		
		2) ＰＢ t=9.5 ビニルクロス貼り		

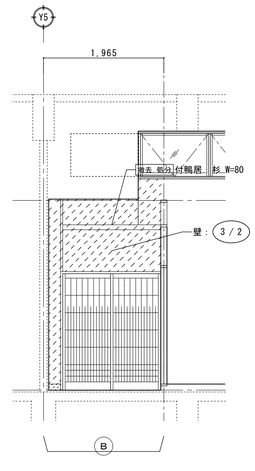


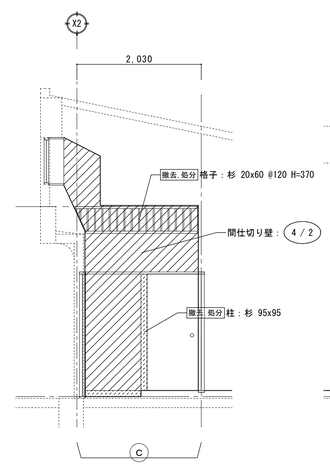


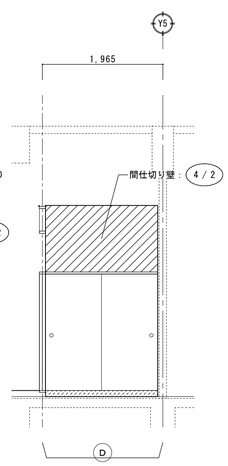


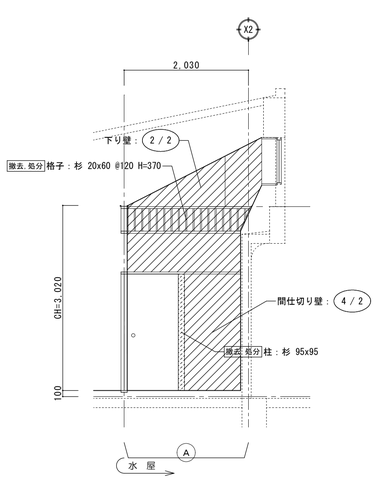


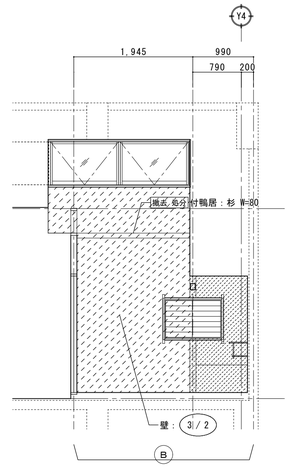


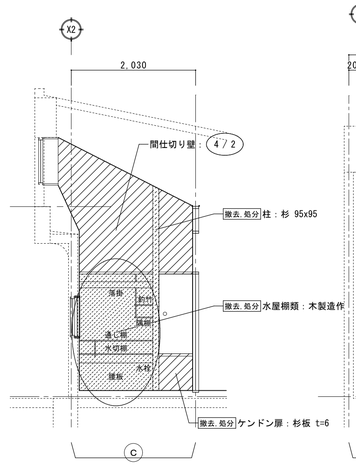


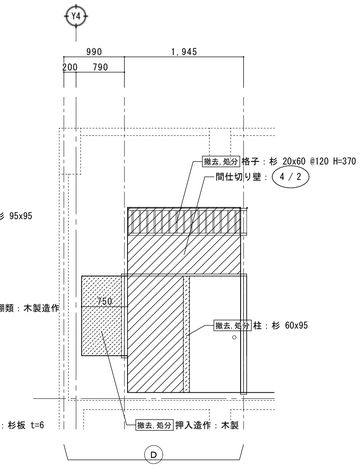




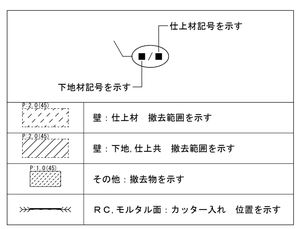








凡 例

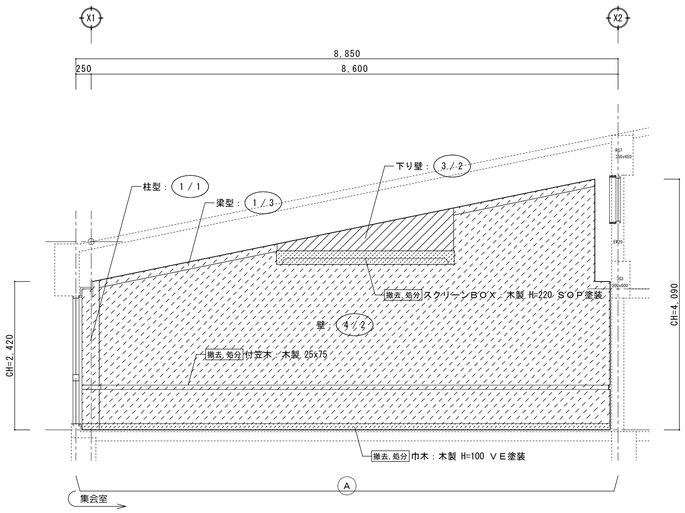


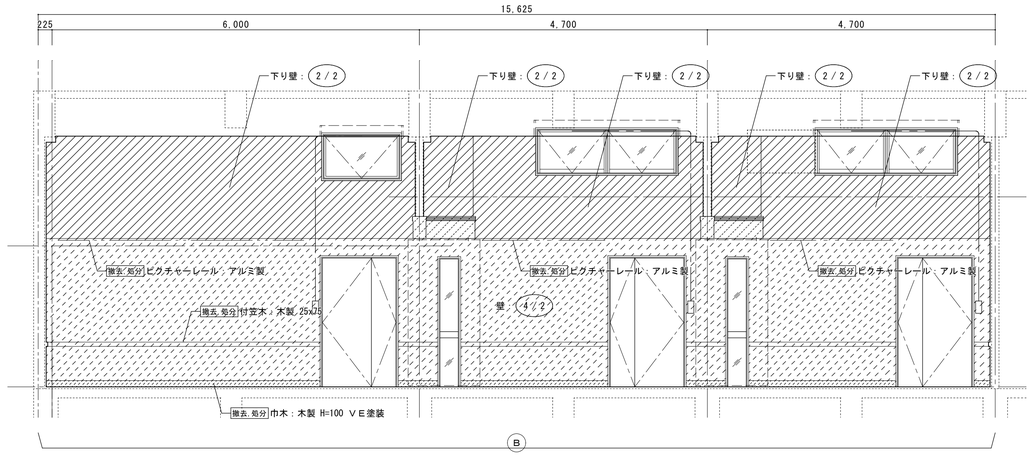
■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・撤去,改修範囲は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

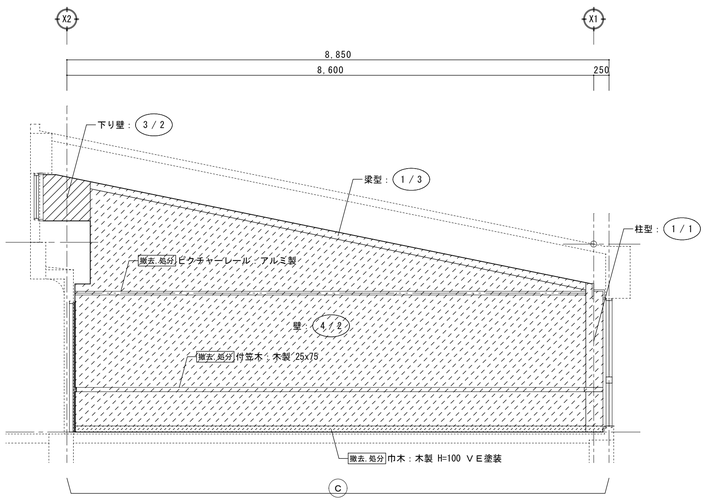
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		展開図 2F-2-1［改修前］	０７３
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-73

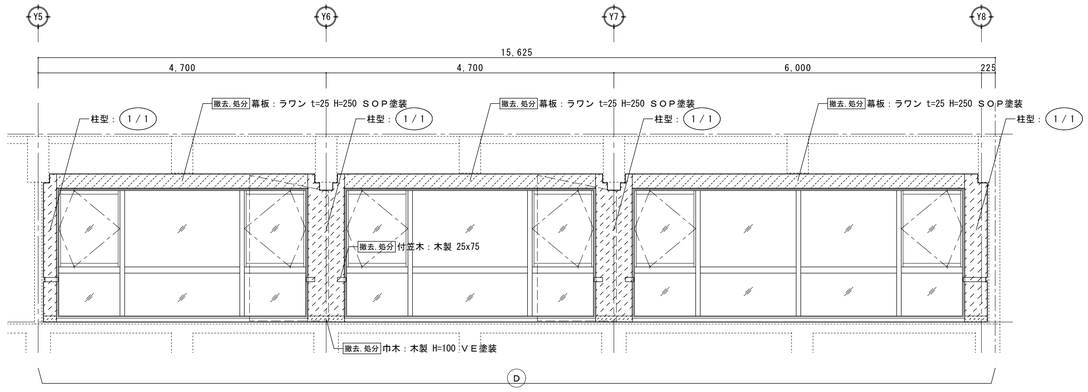
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

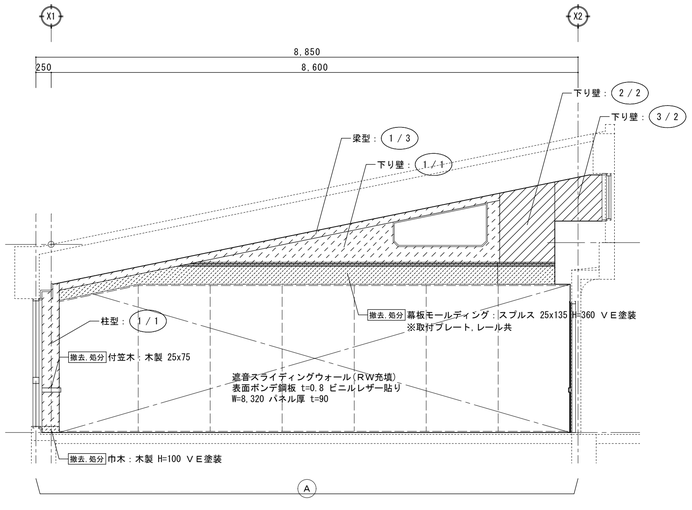
改修前

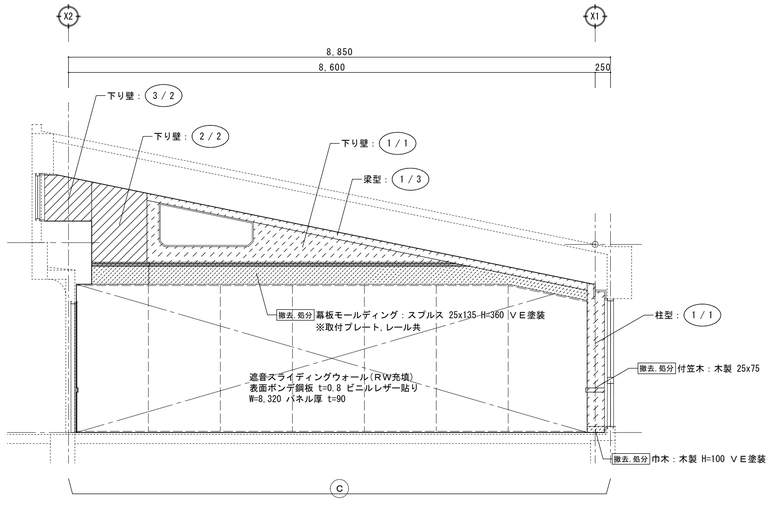












室名			集会室	天井高	CH=4,090
壁	下地	1)	RC 打放し		
		2)	LGS (W65形)		
		3)	LGS (軽天下り壁)		
		4)	GL工法		
	仕上	1)	(コンクリート面) ビニルクロス直貼り		
		2)	PB t=9.5 ビニルクロス貼り		
		3)	(コンクリート面) EP塗装		

凡例

仕上材記号を示す

■/■

下地材記号を示す

P.2.8(45)	壁：仕上材 撤去範囲を示す
P.2.8(45)	壁：下地,仕上共 撤去範囲を示す
P.1.8(45)	その他：撤去物を示す
	RC,モルタル面：カッター入れ 位置を示す

■ 注記)
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・撤去,改修範囲は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

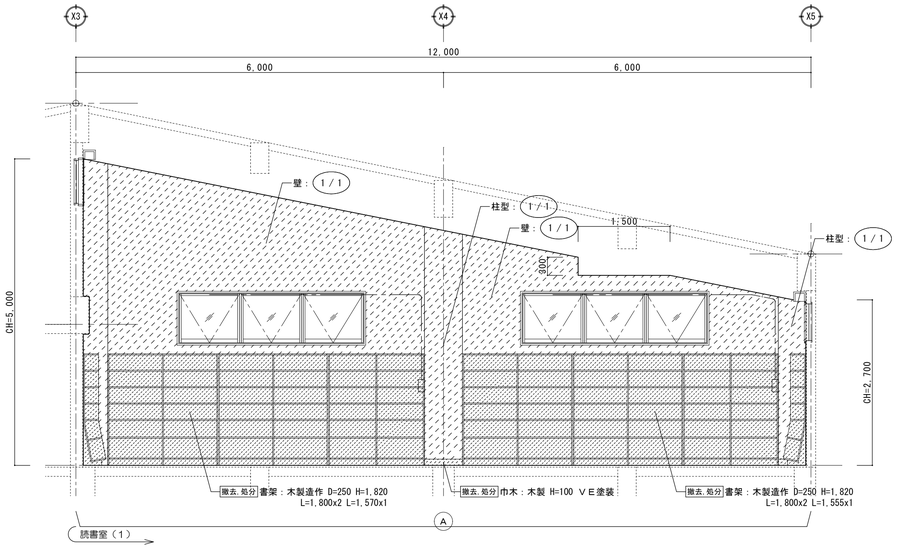
市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

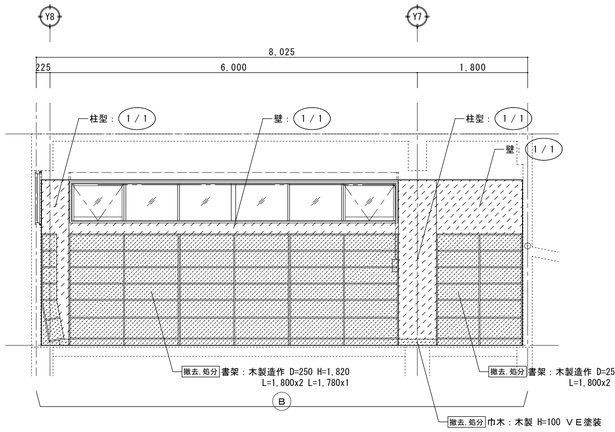
展開図 2F-2-2［改修前］ | O74

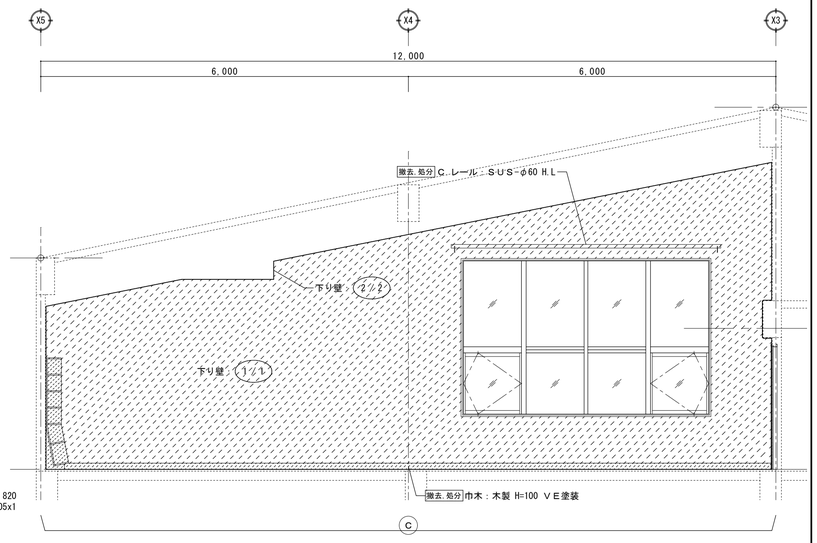
SCALE 1/50

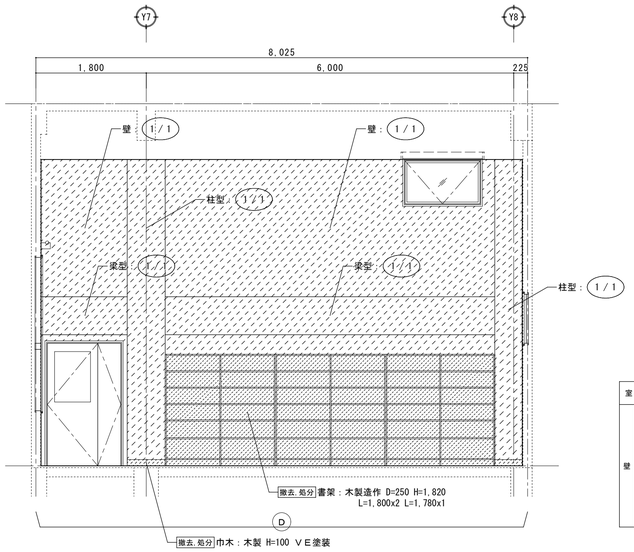
㈱ 千葉構造設計コンサルタント | A-74
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）1436号 一級建築士大臣登録 第316560号 山崎 栄市

改修前



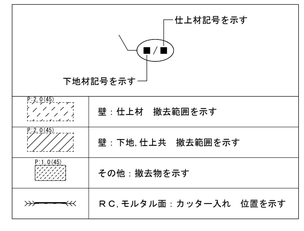






室名		読書室（1）	天井高	CH=5,000
壁	下地	1） ＲＣ 打放し		
		2） 軽天下り壁		
	仕上	1） （コンクリート面） ビニルクロス直貼り		
		2） ＰＢ t=9.5 + ビニルクロス貼り		

凡 例

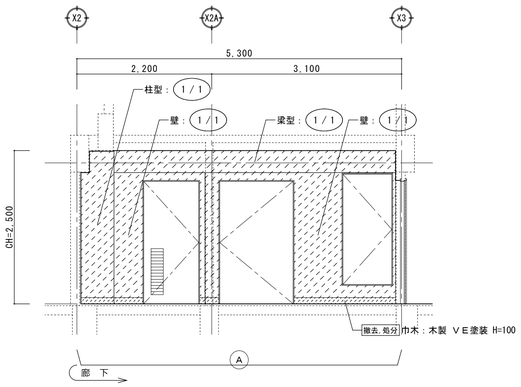


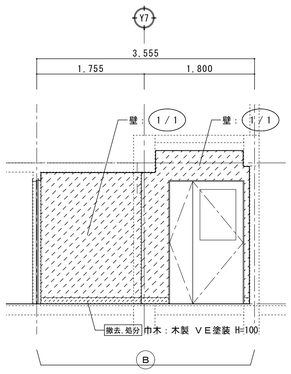
■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・撤去,改修範囲は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

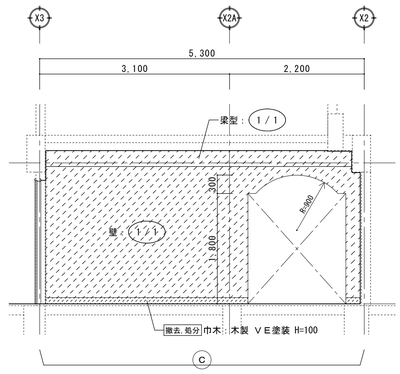
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		展開図 2F-2-3［改修前］	075
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-75

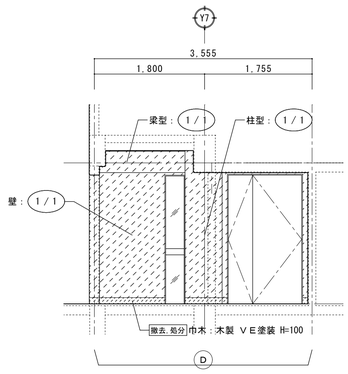
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改 修 前

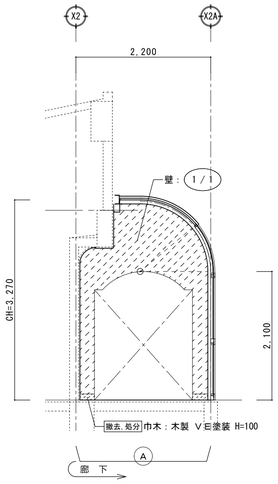


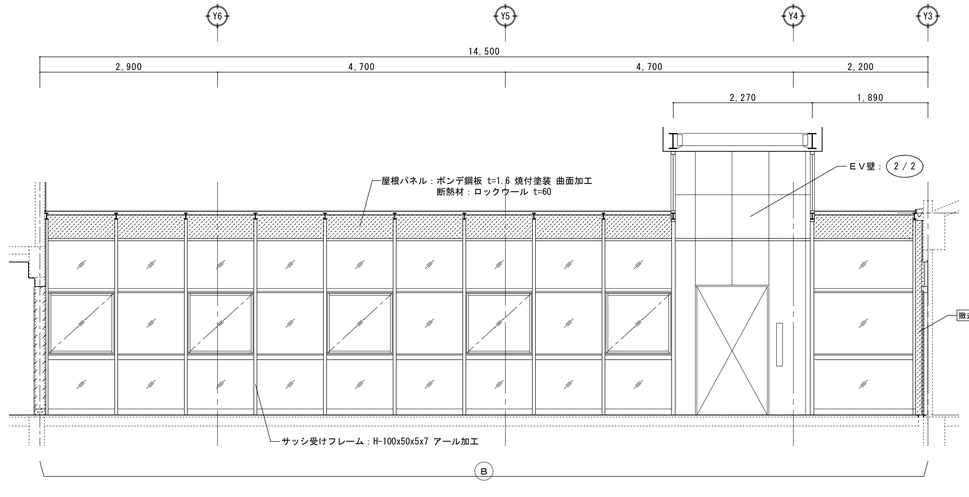


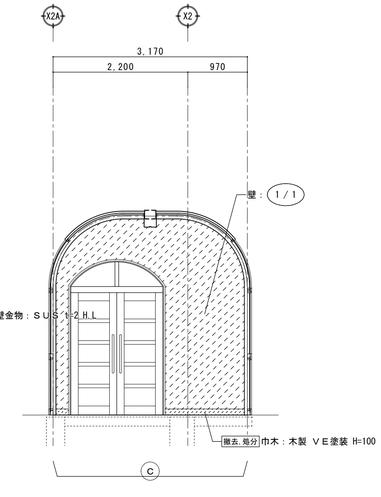


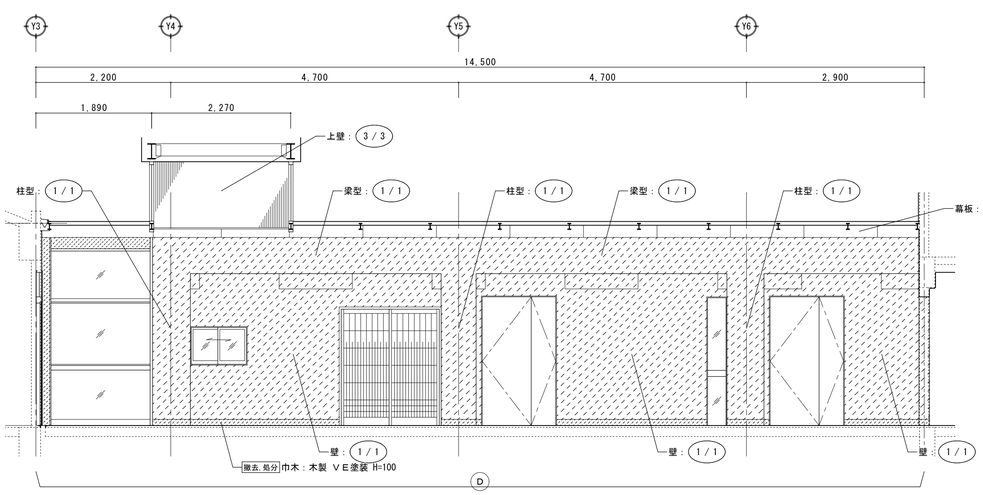


室名		廊 下	天井高	CH=2,500
壁	下地	1) ＲＣ 打放し		
	仕上	1) （コンクリート面） ＭＲ-ＣＥの上、ＶＥエナメル塗装重ね塗り		



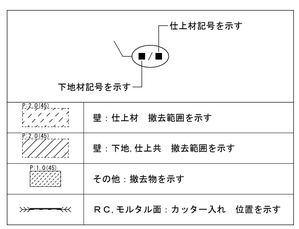






室名		廊 下	天井高	CH=3,270
壁	下地	1) ＲＣ 打放し		
		2) ＡＬＣ板 厚125		
		3) ＬＧＳ（Ｗ65形）		
	仕上	1) （コンクリート面） ＶＥエナメル塗装		
		2) （ＡＬＣ面） アクリル系吹付タイル		
		3) アルミスパンドレル張り		

凡 例



■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・撤去、改修範囲は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

展開図 2F-2-4［改修前］

０７６

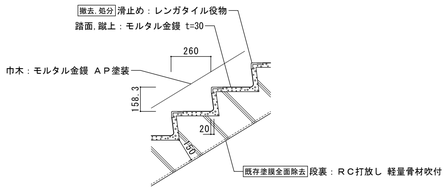
SCALE 1/50

㈱ 千葉構造設計コンサルタント

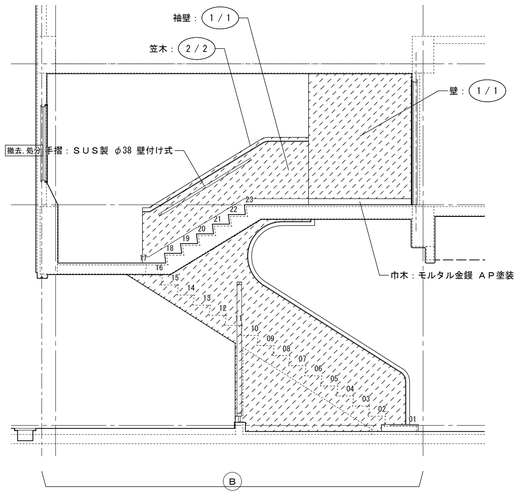
A-76

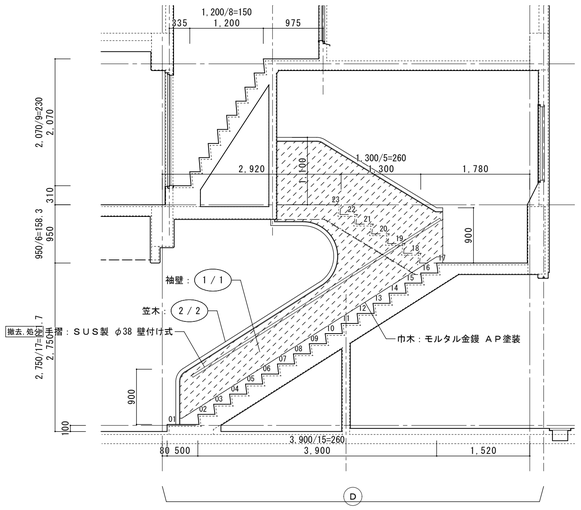
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前

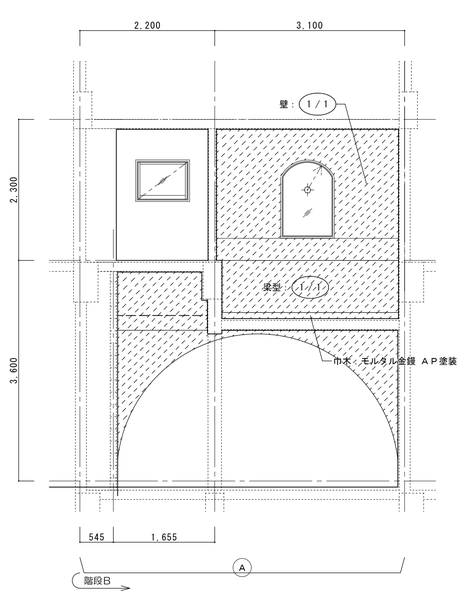


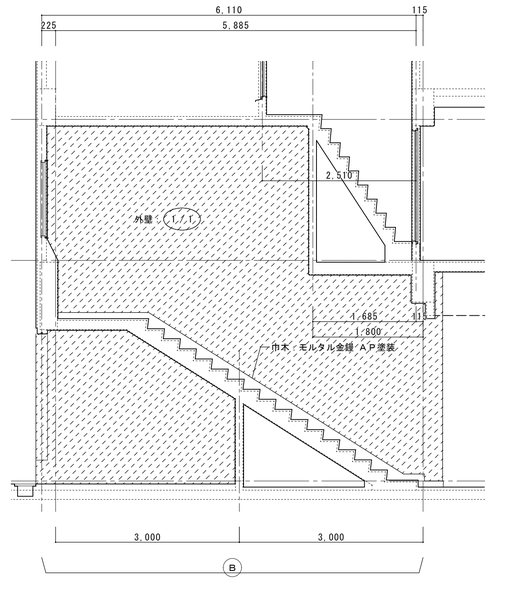
階 段 詳 細 図 S=1/20

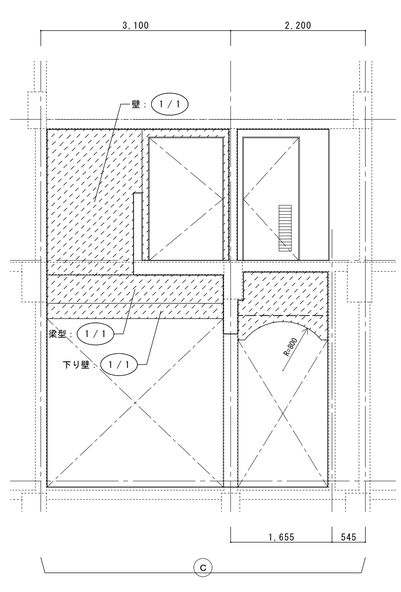


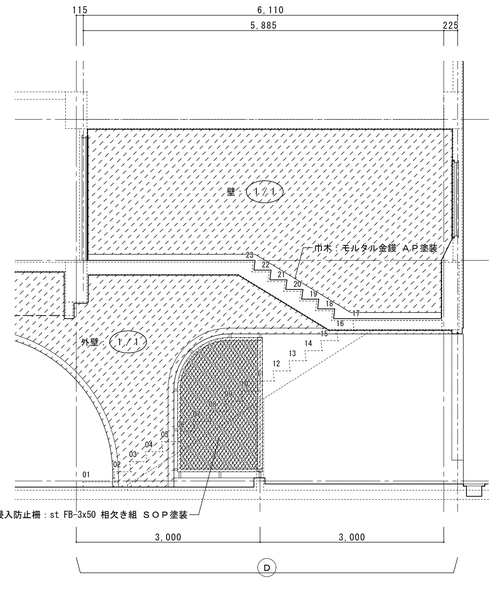


室名		階段Ｂ	天井高	―
壁	下地	1) ＲＣ 打放し		
		2) モルタル金鏝		
	仕上	1) （コンクリート面） アクリル系弾性吹付タイル ＋ＶＥエナメルローラー重ね塗り		
		2) （モルタル面） ＡＰ塗装		









凡 例

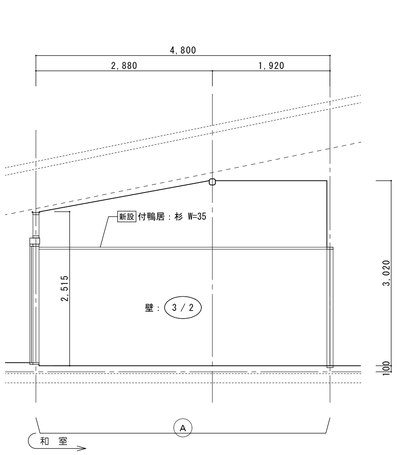
仕上材記号を示す ■／■ 下地材記号を示す	
P.3.5(45)	壁：仕上材 撤去範囲を示す
P.3.8(48)	壁：下地、仕上共 撤去範囲を示す
P.1.8(48)	その他：撤去物を示す
	ＲＣ、モルタル面：カッター入れ 位置を示す

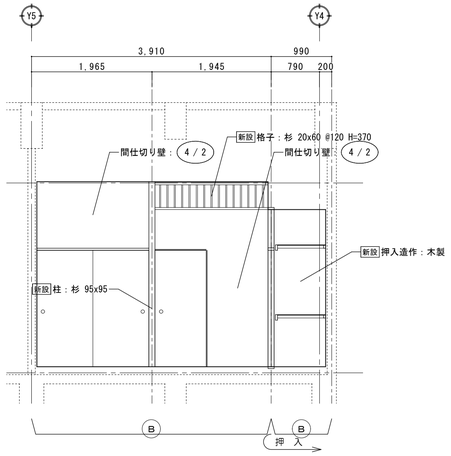
■ 注記）
・特記無き限り、壁仕上げは室ごとの表番号による
・撤去、改修範囲は凡例及び図中記載の表現による
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事

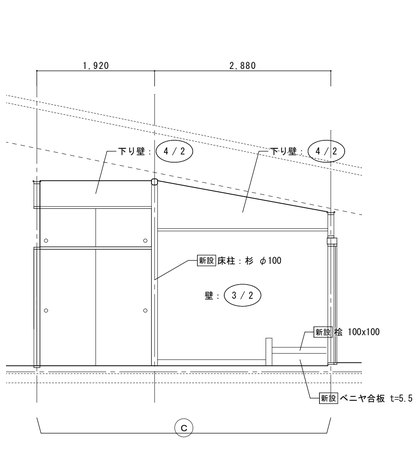
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		展開図 2F-2-5［改修前］	０７７
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-77

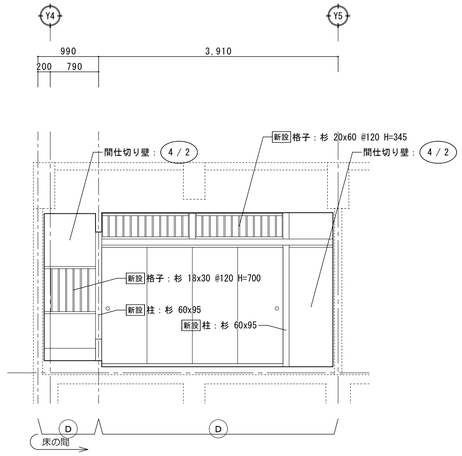
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修後

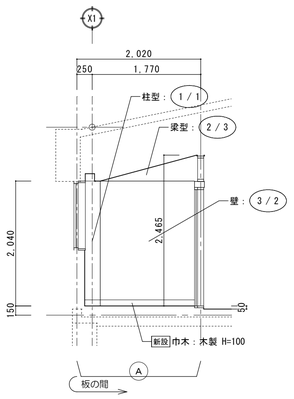


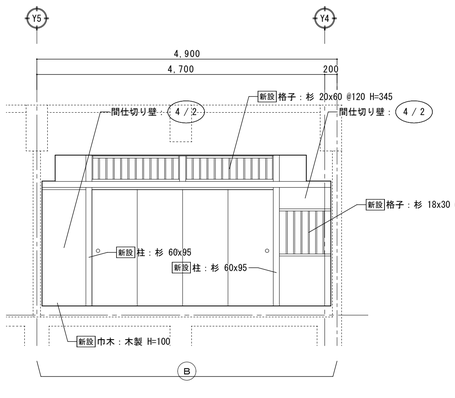


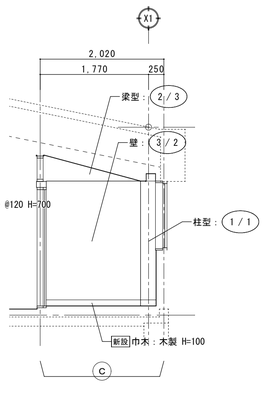


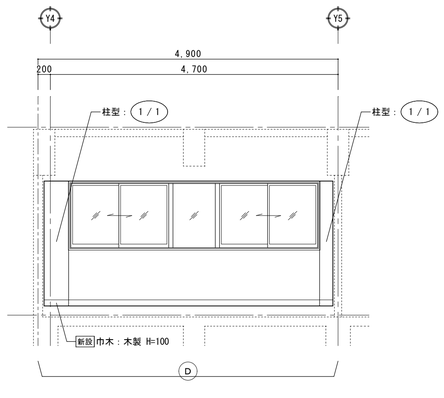


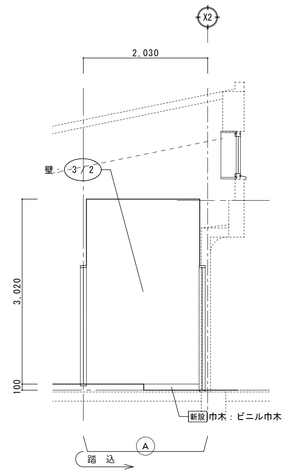
室名	和 室	天井高	CH=3,020
室名	板の間	天井高	CH=2,465
室名	踏 込	天井高	CH=3,020
室名	水 屋	天井高	CH=3,020
壁 下地	1) RC 打放し		
壁 下地	2) LGS（軽天下り壁）		
壁 下地	3) GL工法		
壁 下地	4) 木製壁軸組		
壁 下地	5) LGS（50形）		
壁 仕上	1) （コンクリート面） ビニルクロス直貼り		
壁 仕上	2) PB t=12.5 ビニルクロス貼り		
壁 仕上	3) PB t=9.5 ビニルクロス貼り		

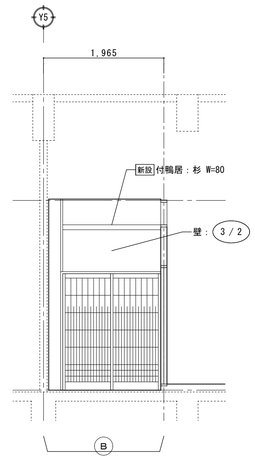


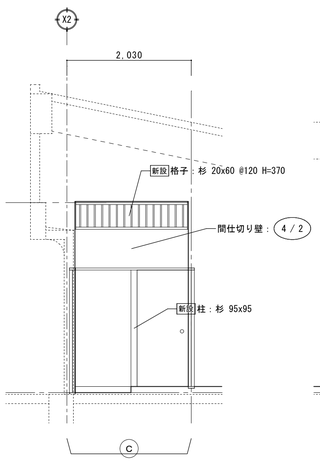


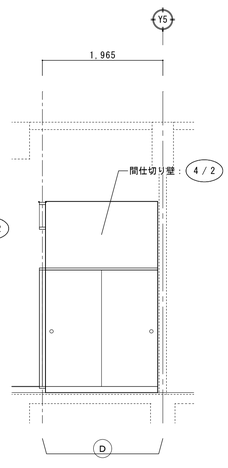


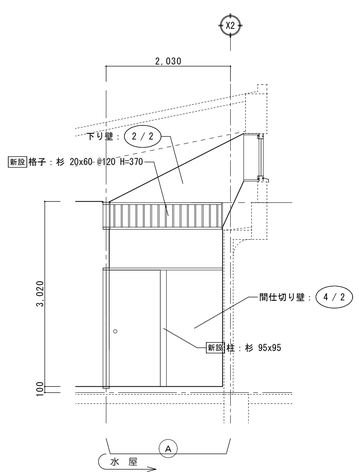


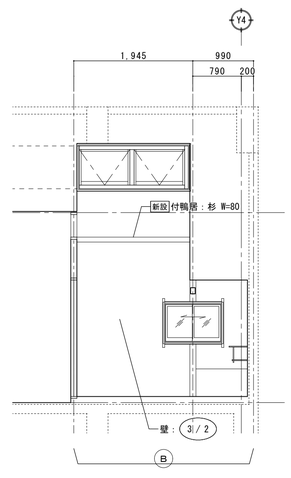


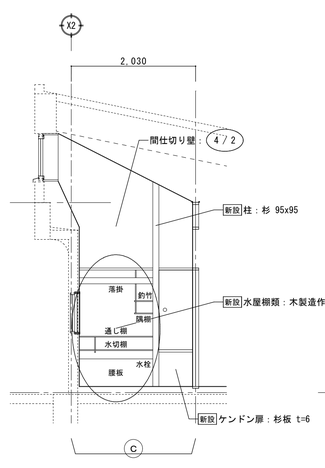


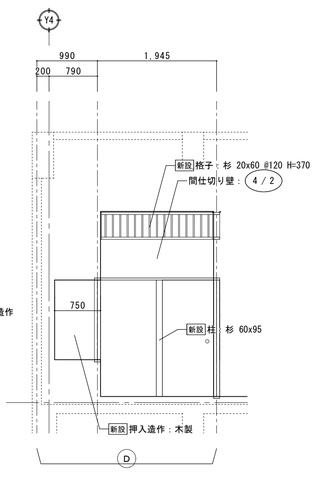




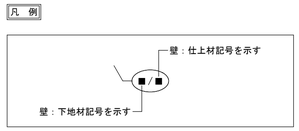








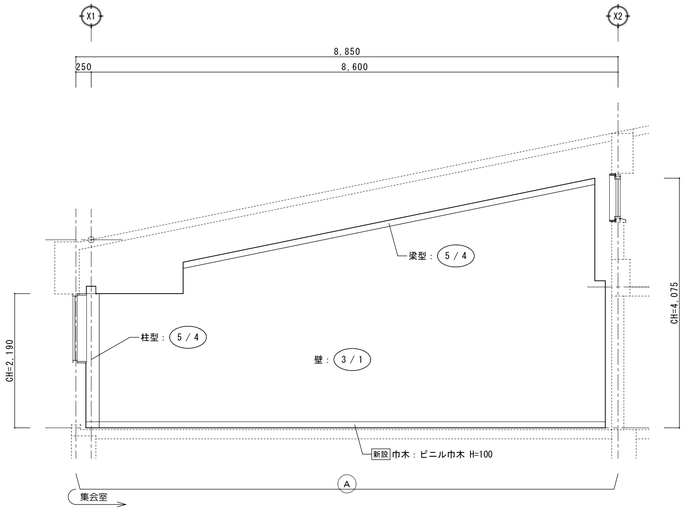
凡 例

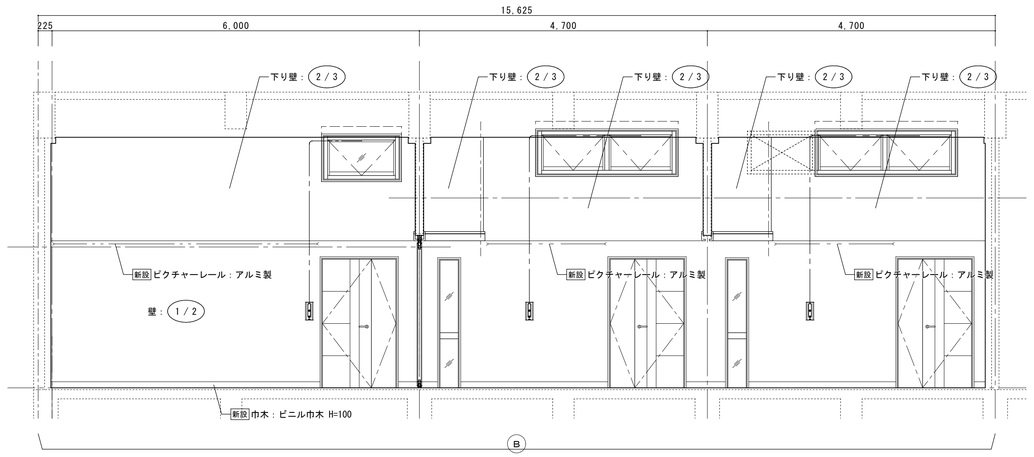


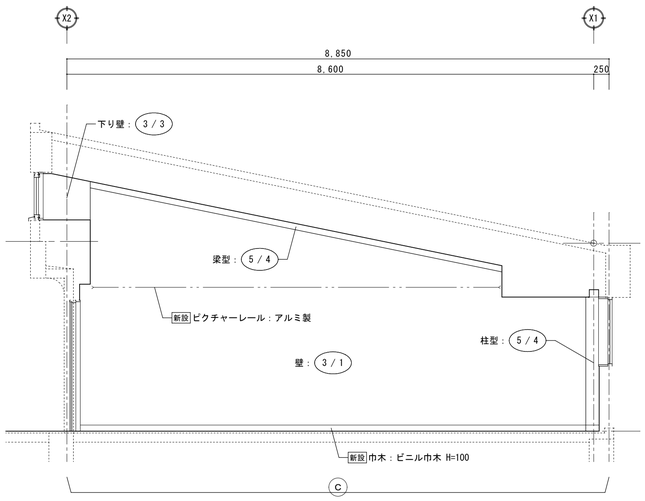
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		展開図 2F-2-1［改修後］	078
SCALE 1/50		© ㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-78

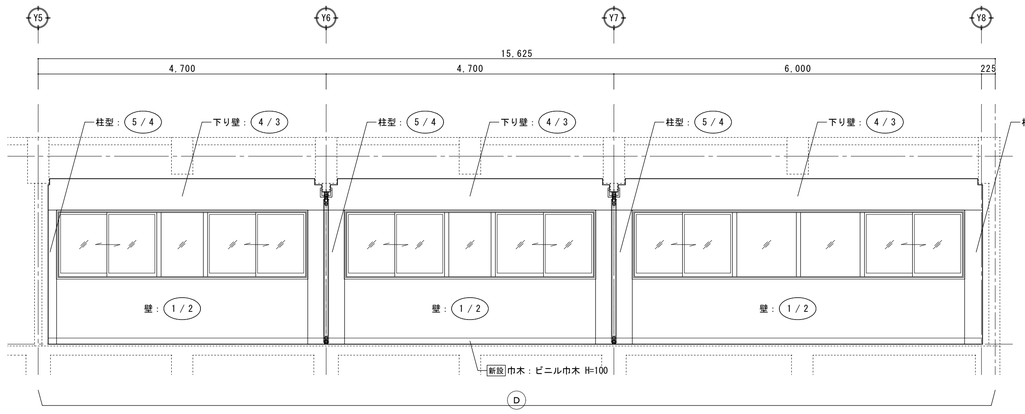
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）1436号 一級建築士大臣登録 第316560号 山崎 栄市

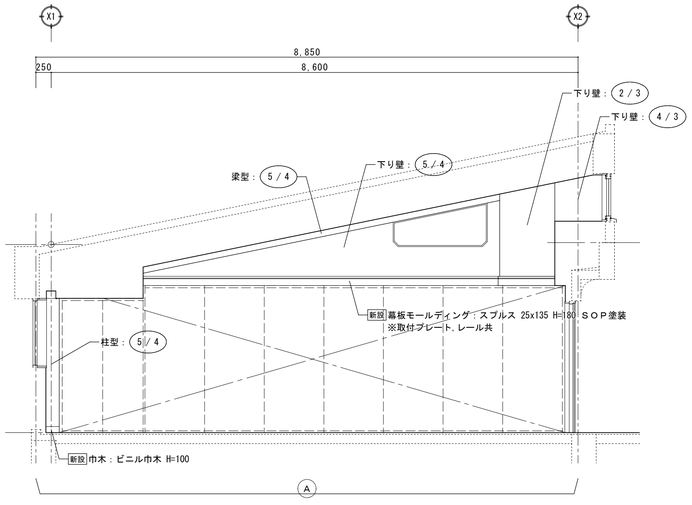
改修後

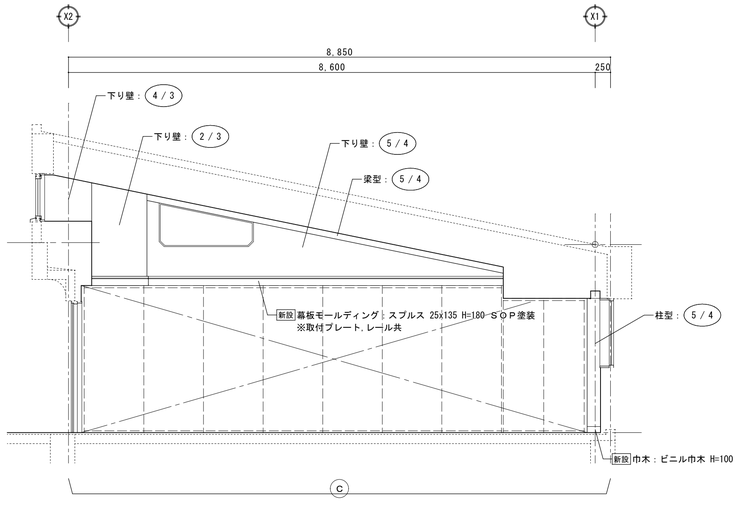












室名	集会室		天井高	CH=4,090
壁 下地 下地処理	1) 新設	ＬＧＳ（W50形）		
	2) 新設	ＬＧＳ（W65形）		
	3) 新設	ＬＧＳ（W90形）		
	4) 新設	ＬＧＳ（軽天下り壁）		
	5) 塗装改修	（コンクリート面）ＲＢ種		
壁 仕上	1) 新設	ＰＢ t=12.5	ビニルクロス貼り（スクリーン映写用）	
	2) 新設	ＰＢ t=12.5	ビニルクロス貼り（表面強化）	
	3) 新設	ＰＢ t=9.5	ビニルクロス貼り（表面強化）	
	4) 塗装改修	（コンクリート面）	ＥＰ塗装	

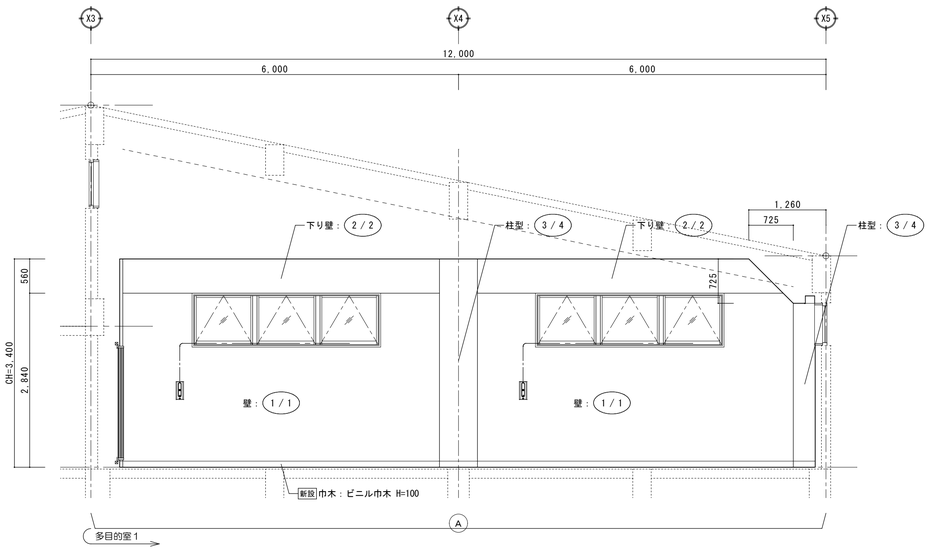
凡例

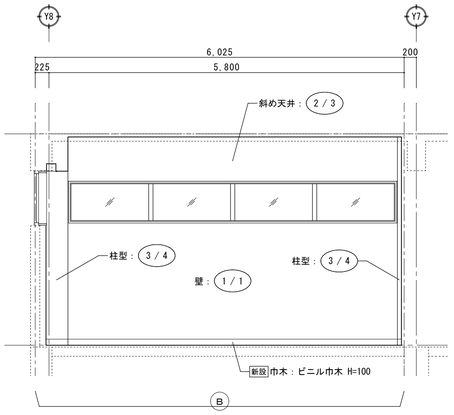


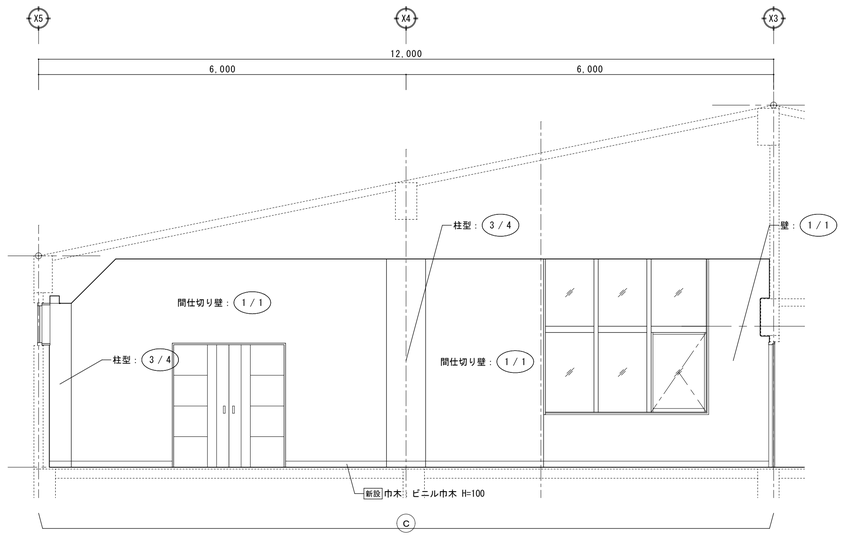
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	展開図 2F-2-2［改修後］		０７９
SCALE 1/50	© ㈱ 千葉構造設計コンサルタント		A-79

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修後

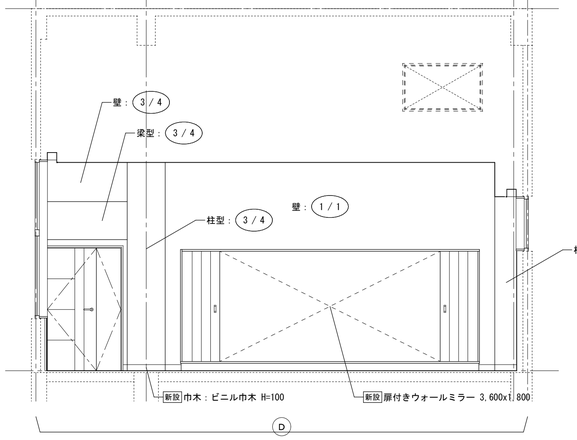


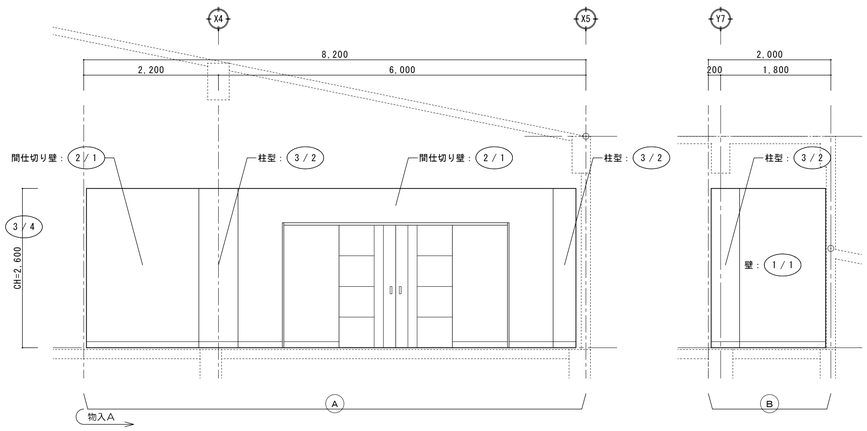


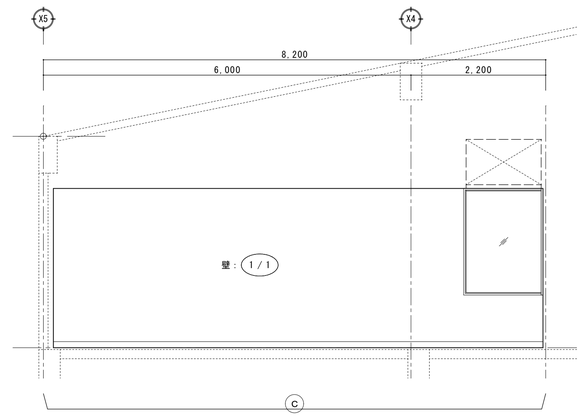


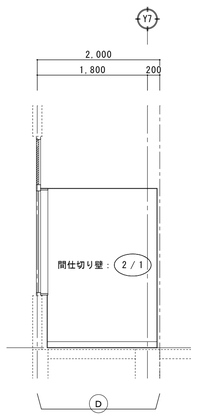
室名		多目的室１		天井高	CH=3,400
壁	下地・下地処理	1)	新設	ＬＧＳ（Ｗ65形）	
		2)	新設	ＬＧＳ（軽天下り壁）	
		3)	塗装改修	（コンクリート面）ＲＢ種	
	仕上				
		1)	新設	ＰＢ t=12.5	ビニルクロス貼り
		2)	新設	ＰＢ t=9.5	ＥＰ塗装
		3)	新設	ＰＢ t=9.5 + ロックウール化粧吸音板 t=12	
		4)	塗装改修	（コンクリート面）	ＥＰ塗装

室名		物入Ａ		天井高	CH=2,600
壁	下地・下地処理	1)	新設	ＬＧＳ（Ｗ50形）	
		2)	新設	ＬＧＳ（Ｗ65形）	
		3)			
	仕上				
		1)	新設	ＰＢ t=12.5	ビニルクロス貼り
		2)	塗装改修	（コンクリート面）	ＥＰ塗装

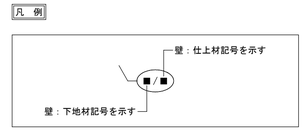








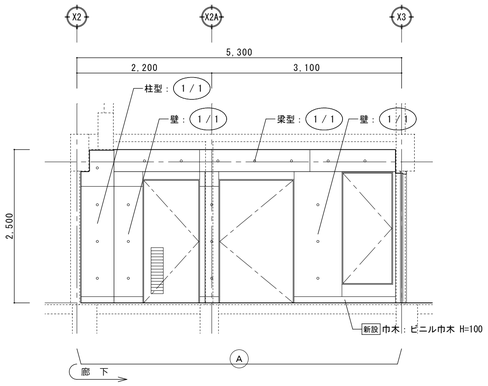
凡例

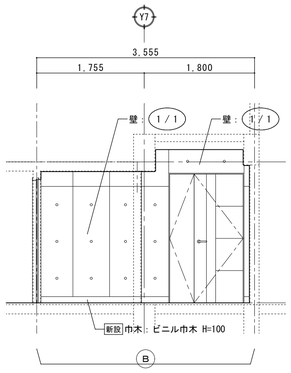


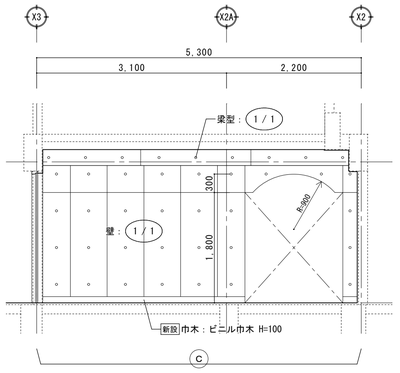
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	展開図 2F-2-3［改修後］		080
SCALE 1/50	㈱ 千葉構造設計コンサルタント		A-80

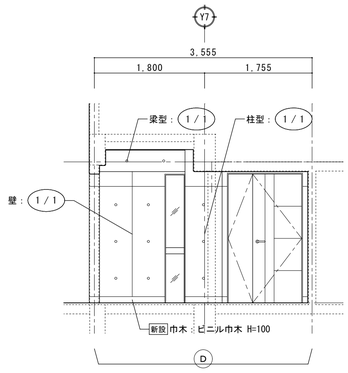
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修後

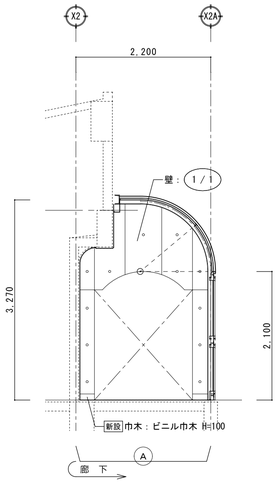


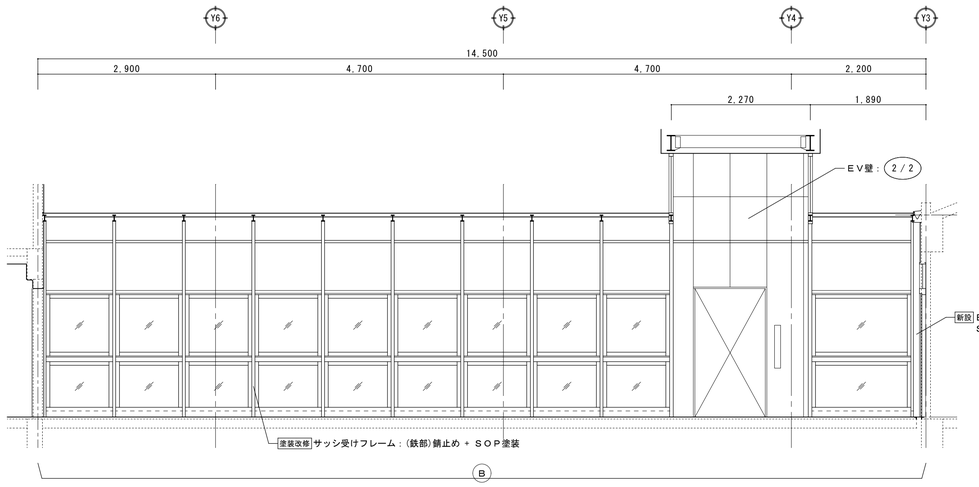


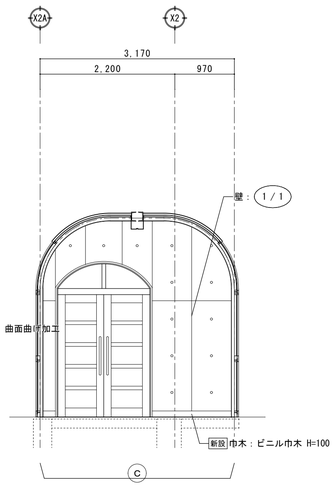


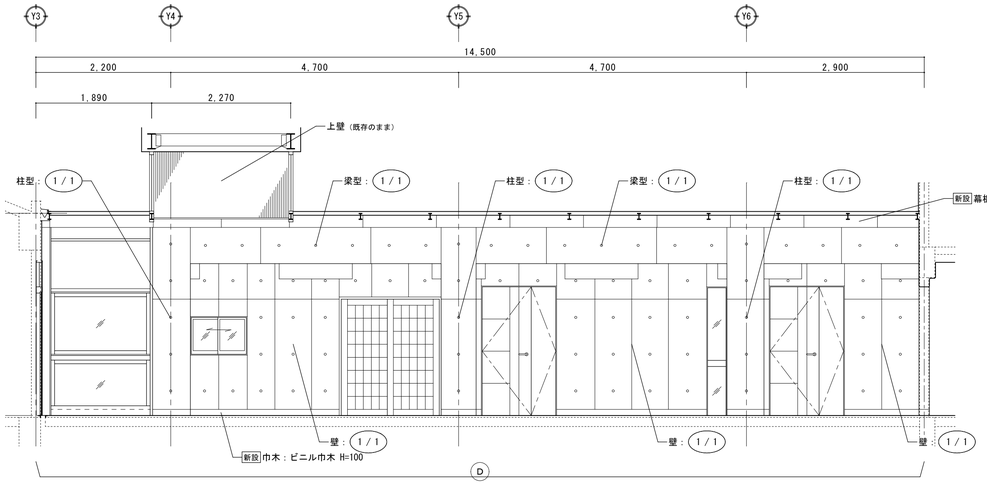


室名		廊 下	天井高	CH=2,500
壁	下地・下地処理	1) 塗装改修 下地調整材塗り C-1 Pコン,パネルライン入れ		
	仕上	1) 塗装改修 (コンクリート面) RC打放し調ファンデーションローラー塗り 上塗) シリコンクリヤ塗装		









室名		廊 下	天井高	CH=2,500
壁	下地・下地処理	1) 塗装改修 下地調整材塗り C-1 Pコン,パネルライン入れ		
		2) 塗装改修 (ALC面)RB種		
	仕上	1) 塗装改修 (コンクリート面) RC打放し調ファンデーションローラー塗り 上塗) シリコンクリヤ塗装		
		2) 塗装改修 (ALC面) EP塗装		

凡 例

壁：仕上材記号を示す

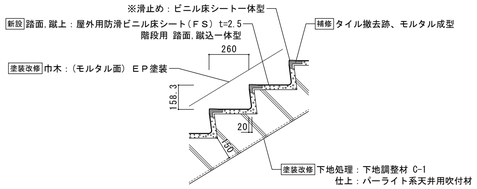
■／■

壁：下地材記号を示す

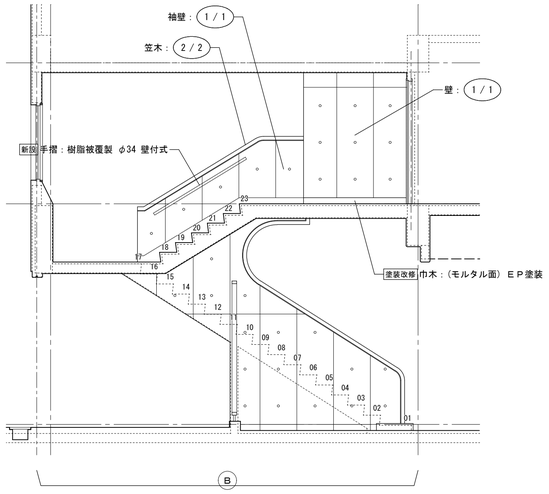
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		展開図 2F-2-4［改修後］	081
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-81

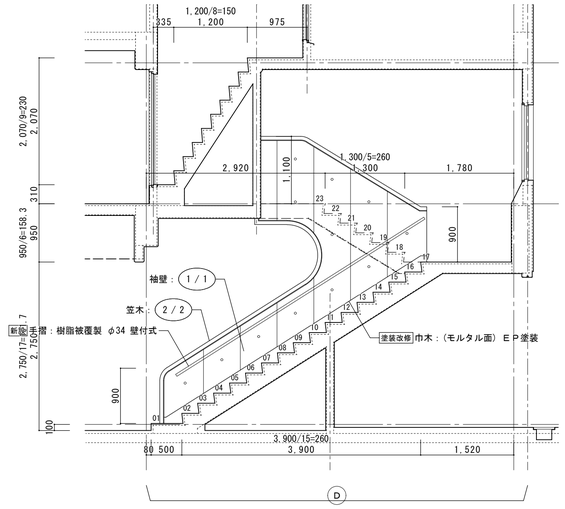
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）1436号 一級建築士大臣登録 第316560号 山崎 栄市

改修後

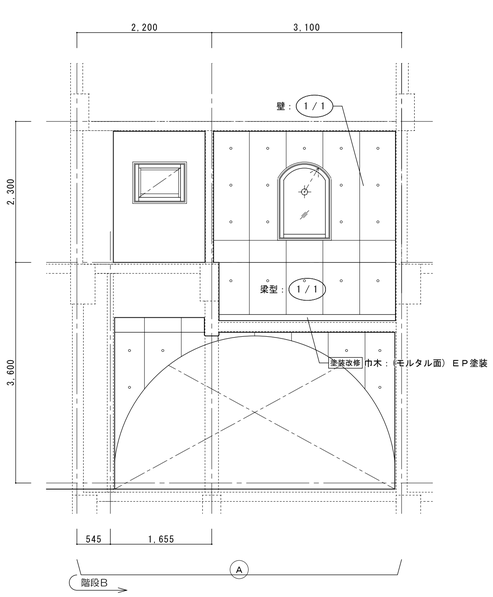


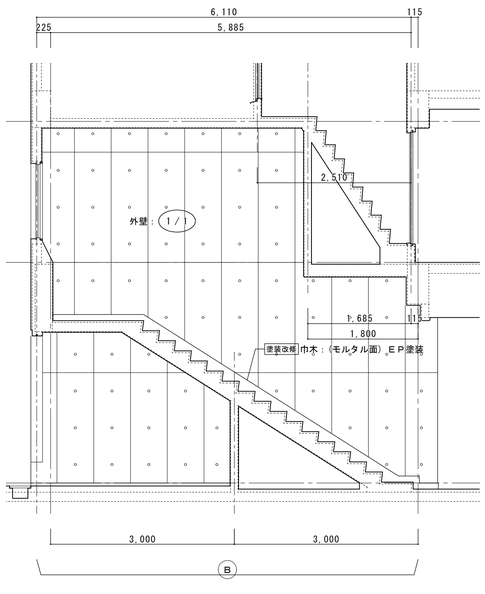
階 段 詳 細 図 S=1/20

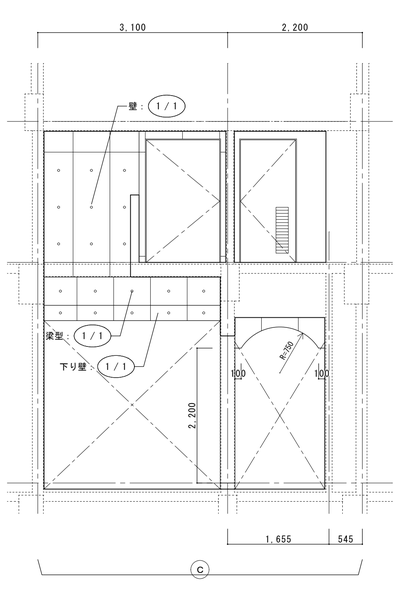


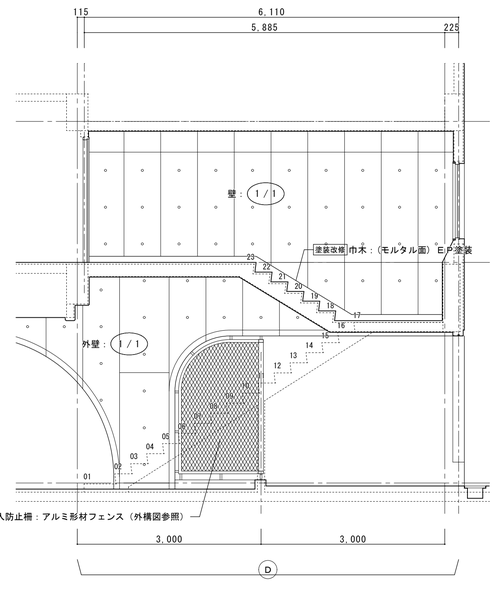


室 名			階段Ｂ	天井高	―
壁	下地	1)	外壁改修 下地調整材塗り CM-2 Ｐコン,パネルライン入れ		
		2)	塗装改修 （モルタル面）ＲＢ種		
		3)			
		4)			
	仕上	1)	外壁改修 （コンクリート面） ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り 上塗） フッ素クリヤ塗装		
		2)	塗装改修 （モルタル面） ＥＰ塗装		

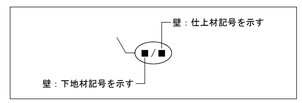








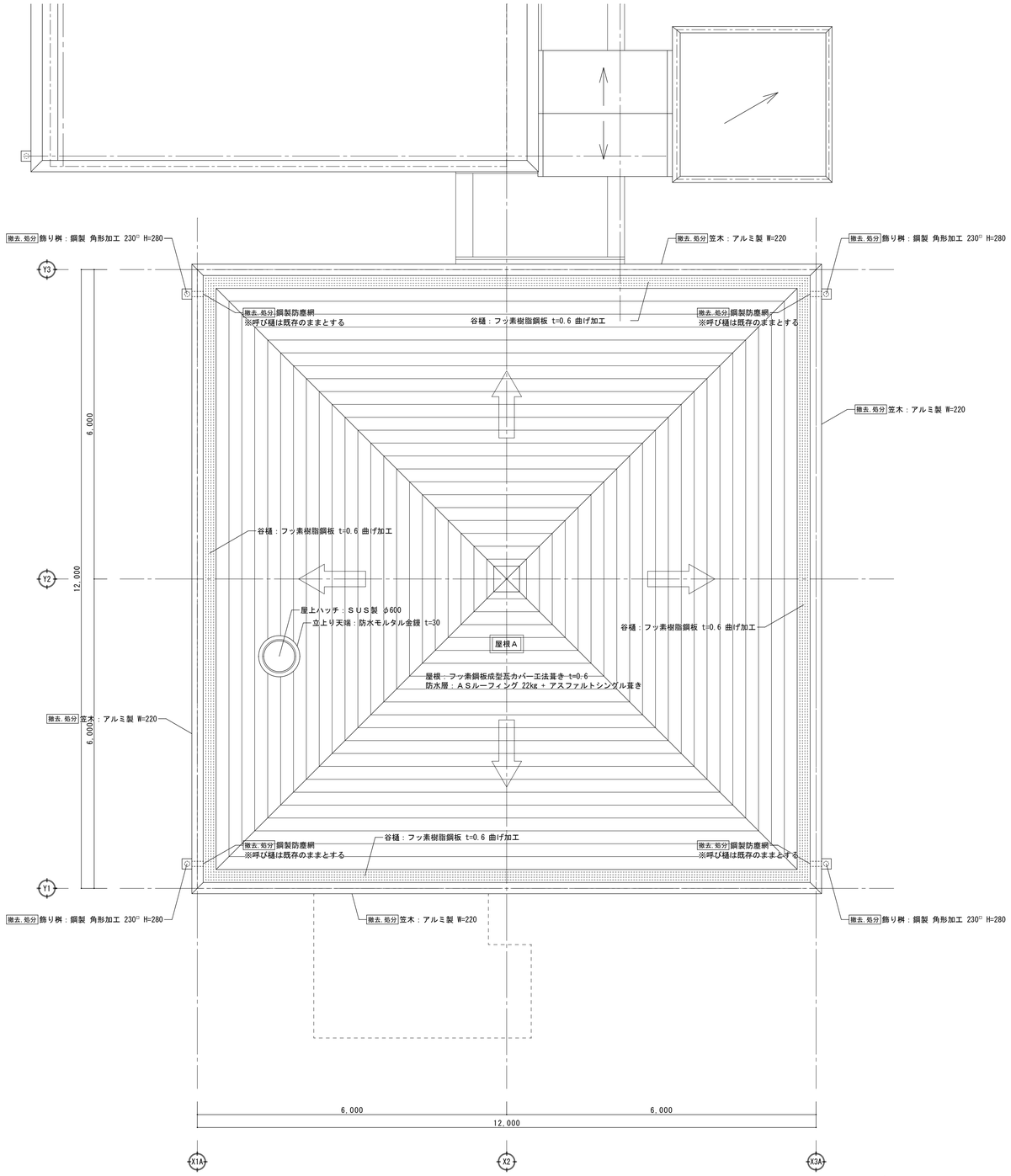
凡 例



市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	展開図 2F-2-5［改修後］	０８２
SCALE 1/50	㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-82

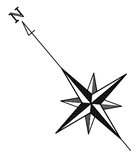
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前



平 面 詳 細 図 S=1/50





改修後

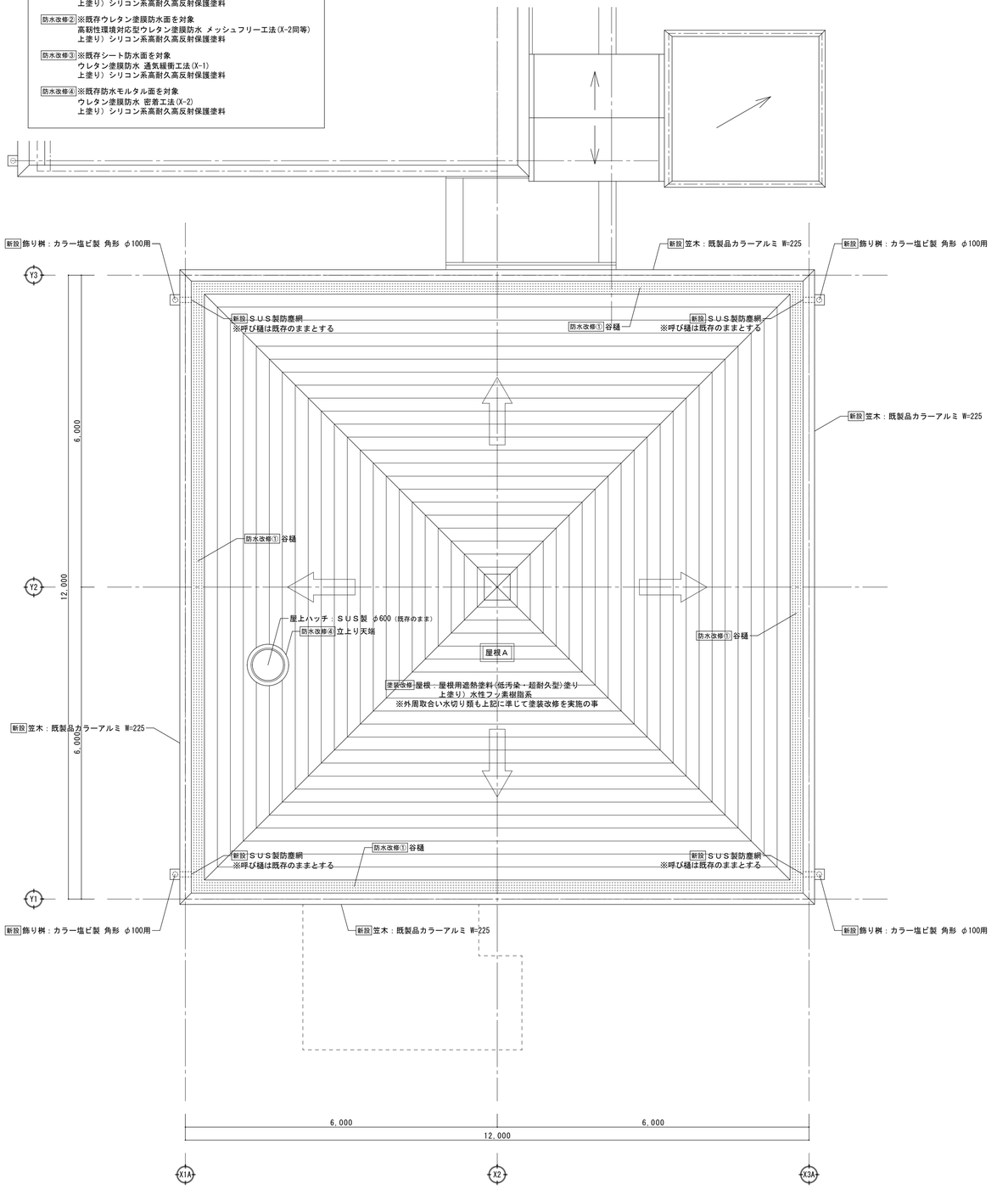
■ 防水改修共通凡例

防水改修① ※既存鋼板面を対象
高耐性環境対応型ウレタン塗膜防水 ローラー工法
上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料

防水改修② ※既存ウレタン塗膜防水面を対象
高耐性環境対応型ウレタン塗膜防水 メッシュフリー工法(X-2同等)
上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料

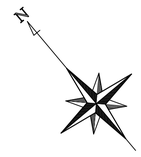
防水改修③ ※既存シート防水面を対象
ウレタン塗膜防水 通気緩衝工法(X-1)
上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料

防水改修④ ※既存防水モルタル面を対象
ウレタン塗膜防水 密着工法(X-2)
上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料



平 面 詳 細 図 S=1/50





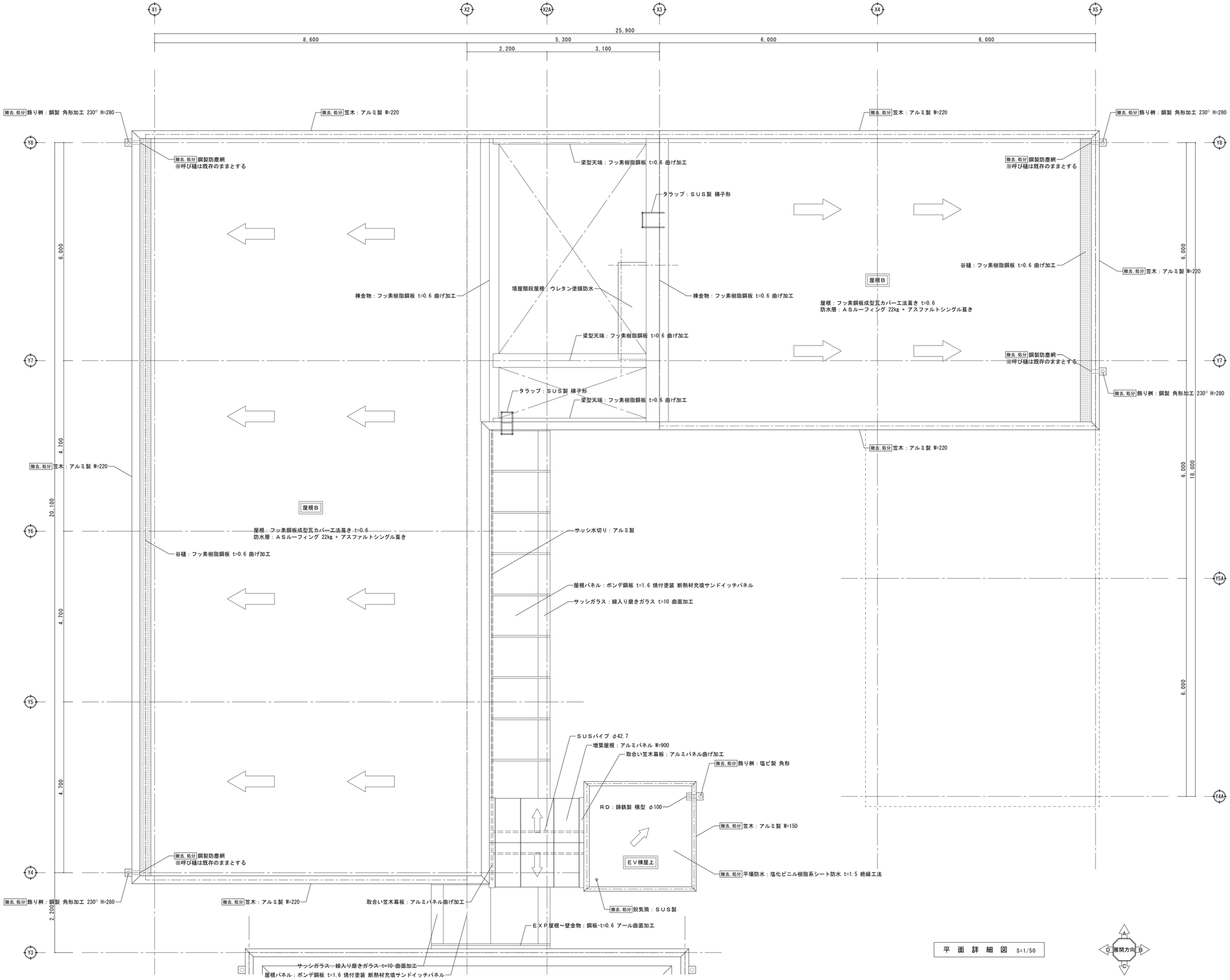
■ 注記）
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事
・その他改修事項は図中記載の表現による

■ 特記事項）
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		R階屋根伏図１［改修前・後］	０８３
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-83

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修前



平 面 詳 細 図 S=1/50

■ 注記）
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事
・その他改修事項は図中記載の表現による

■ 特記事項）
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。

市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

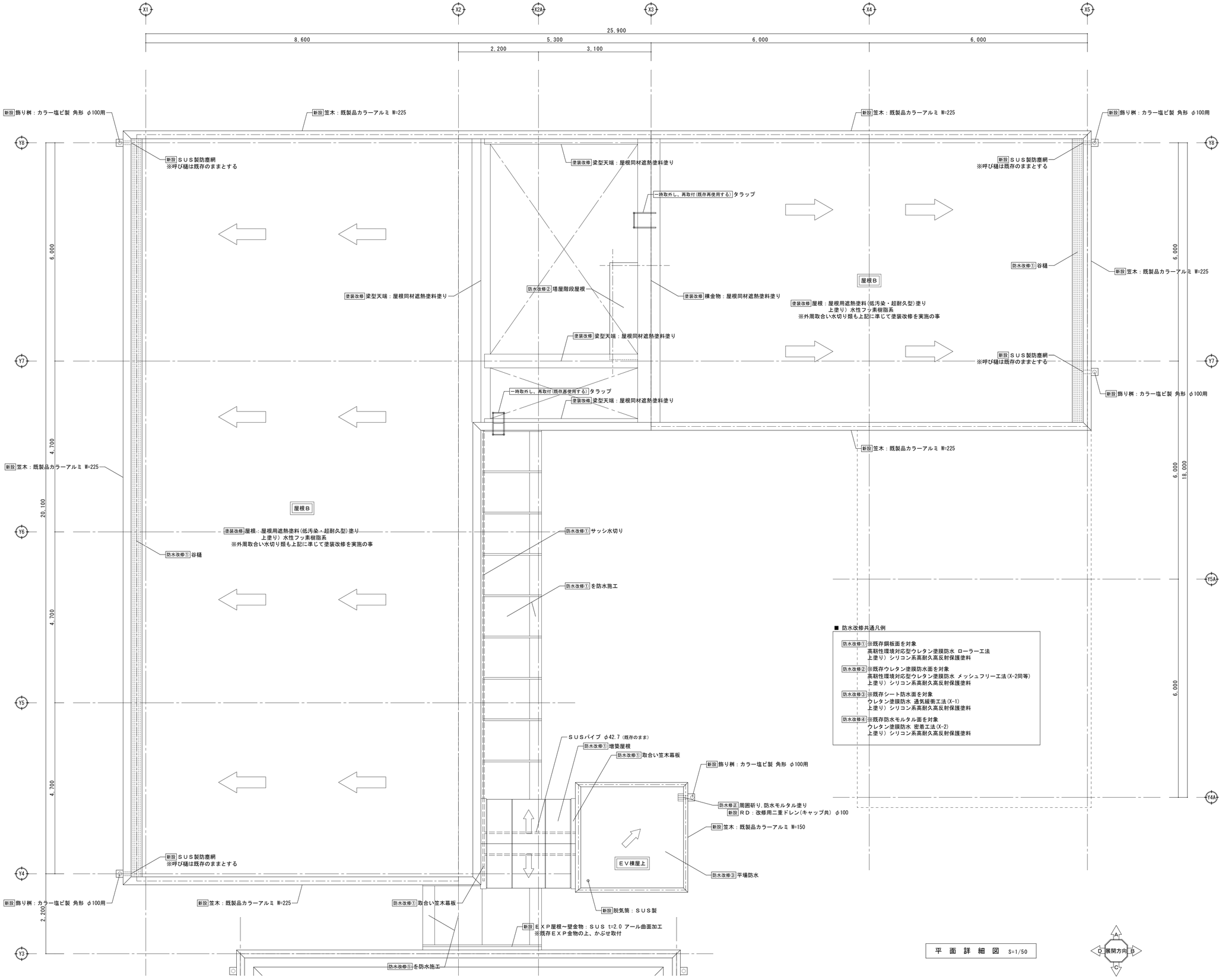
R階屋根伏図２［改修前］ 084

SCALE 1/50

㈱ 千葉構造設計コンサルタント A-84

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

改修後



■ 防水改修共通凡例

防水改修①	※既存鋼板面を対象 高靭性環境対応型ウレタン塗膜防水 ローラー工法 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料
防水改修②	※既存ウレタン塗膜防水面を対象 高靭性環境対応型ウレタン塗膜防水 メッシュフリー工法(X-2同等) 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料
防水改修③	※既存シート防水面を対象 ウレタン塗膜防水 通気緩衝工法(X-1) 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料
防水改修④	※既存防水モルタル面を対象 ウレタン塗膜防水 密着工法(X-2) 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料

平 面 詳 細 図 S=1/50

展開方向 A B C D

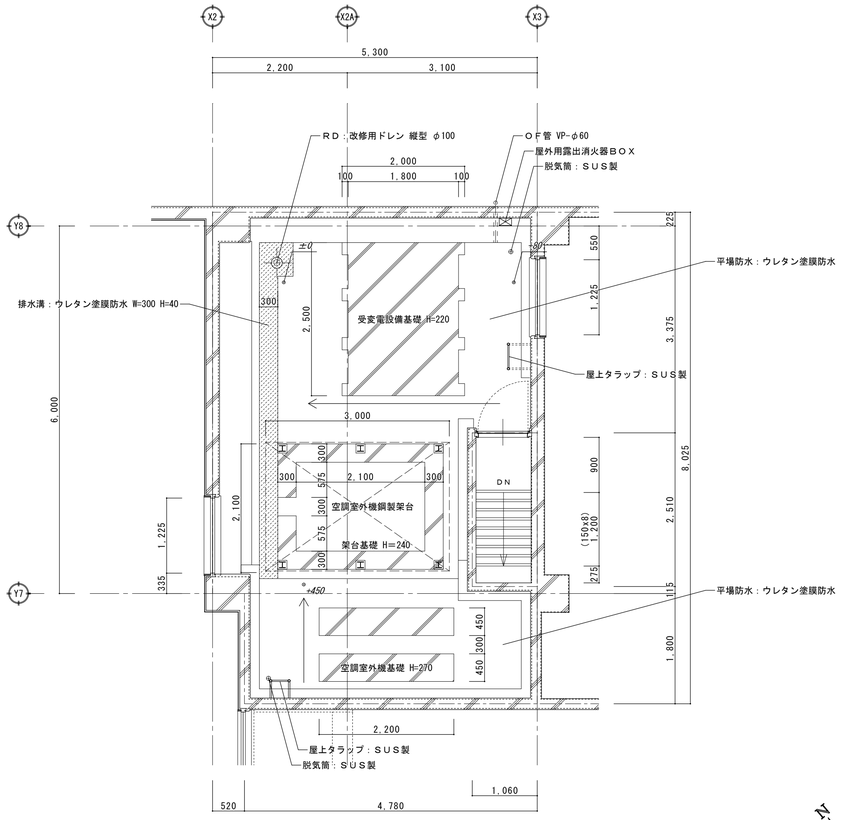
■ 注記）
・建具類の改修事項は別図建具表を参照の事
・その他改修事項は図中記載の表現による

■ 特記事項）
・特記無きものは国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠して施工を行う事とする。

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）			R階屋根伏図２［改修後］	０８５
SCALE 1/50			㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-85

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

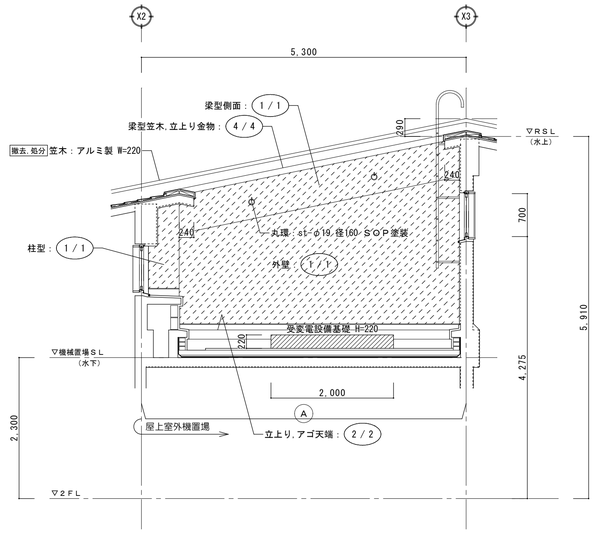
改修前

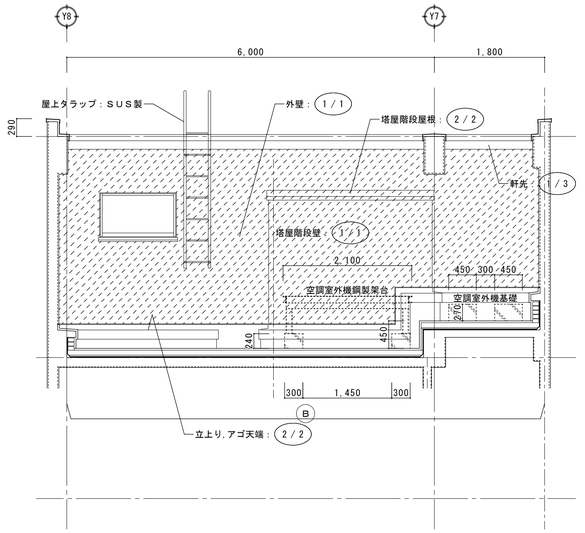


平 面 詳 細 図 S=1/50









展 開 図 S=1/50

凡 例

P-2.5(45)	床：仕上材　撤去範囲を示す
P-2.5(45)	床：下地,仕上共　撤去範囲を示す
P-1.0(45)	壁：下地,仕上共　撤去範囲を示す
P-1.0(45)	その他：撤去物を示す
	RC,モルタル面：カッター入れ　位置を示す

室名		屋上機械置場	天井高	―
壁	下地	1) RC 打放し		
		2) RC軸部	防水モルタル金鏝	
		3) CB t=120	モルタル金鏝 t=20	
		4) RC軸部		
	仕上	1) (コンクリート面)	アクリル系弾性吹付タイル ＋ VEエナメルローラー重ね塗り	
		2) (モルタル面)	ウレタン塗膜防水	
		3) コンクリート打放し素地		
		4) フッ素樹脂鋼板 t=0.6 曲げ加工		

凡 例

仕上材記号を示す
■/■
下地材記号を示す

P-2.5(45)	壁：仕上材　撤去範囲を示す
P-2.5(45)	壁：下地,仕上共　撤去範囲を示す
P-1.0(45)	その他：撤去物を示す
	RC,モルタル面：カッター入れ　位置を示す

市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

展開図 RF-2-1［改修前］

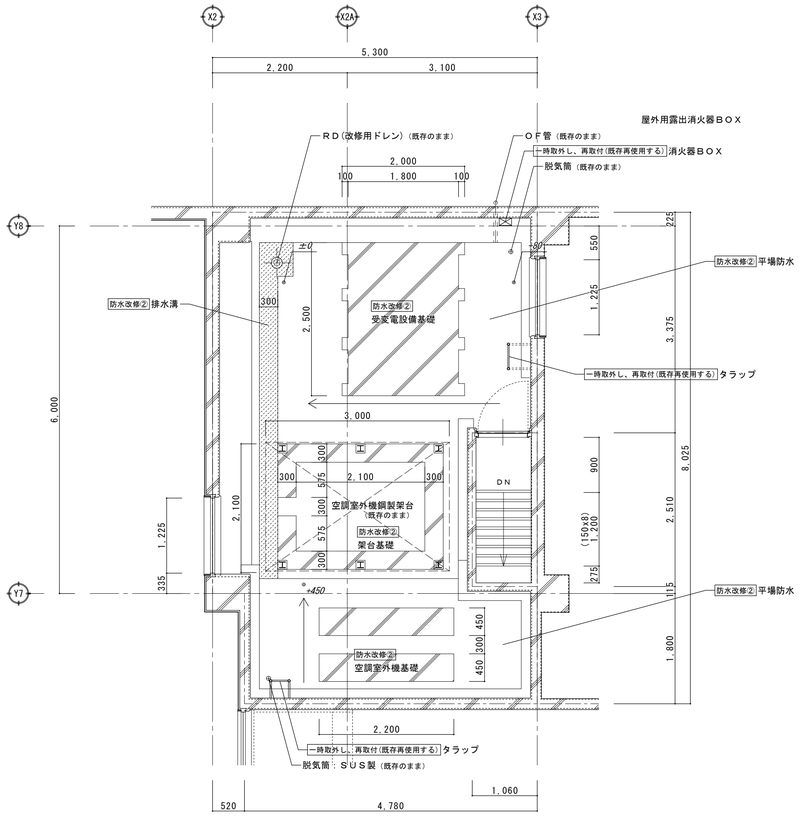
SCALE 1/50

㈱ 千葉構造設計コンサルタント

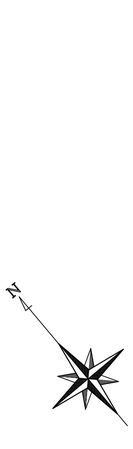
A-86

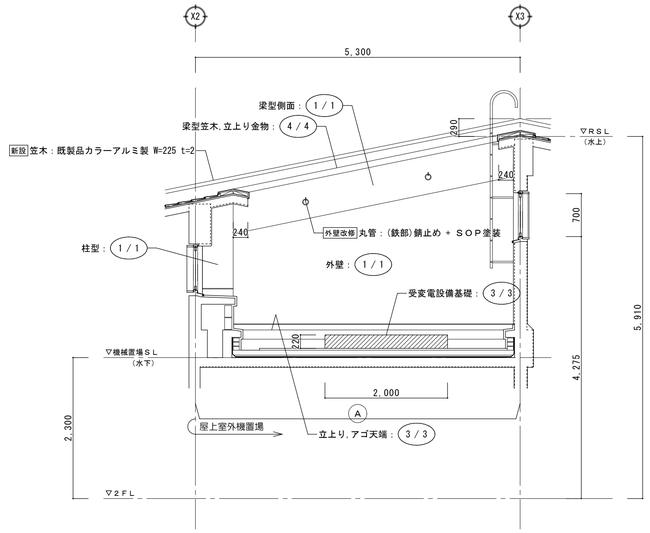
一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

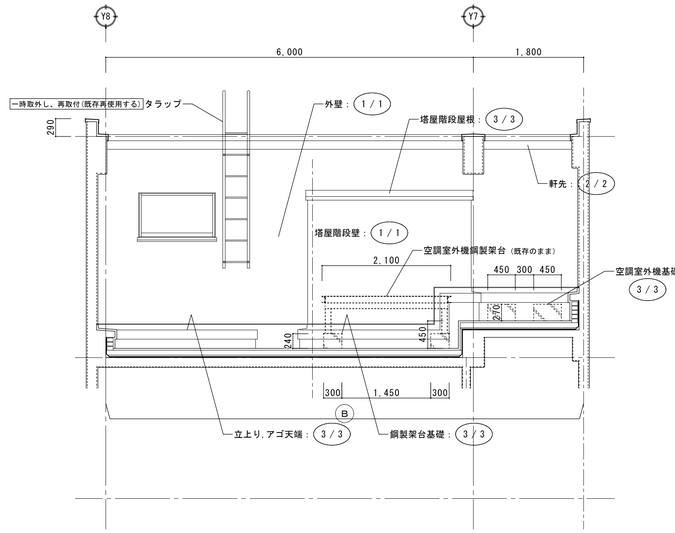
改修後

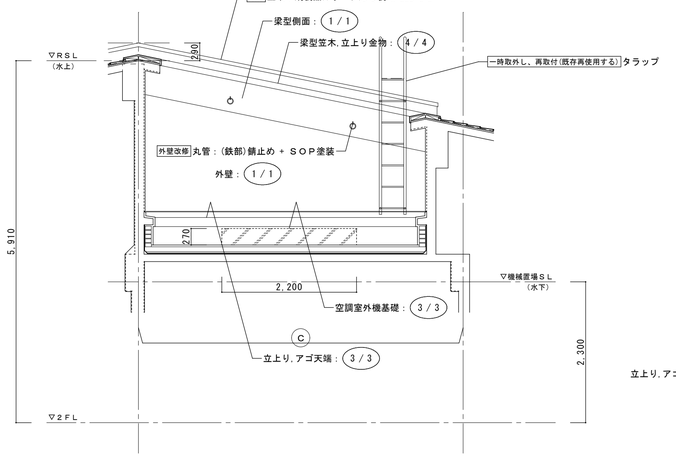


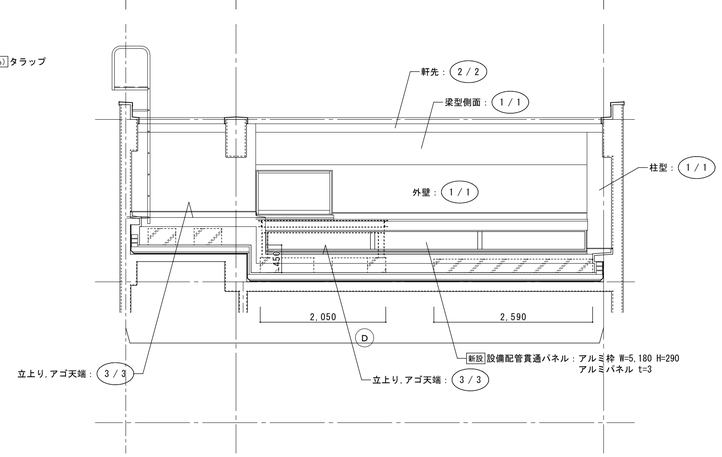
平　面　詳　細　図　S=1/50











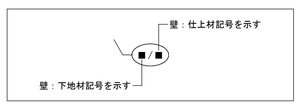
展　開　図　S=1/50

■ 防水改修共通凡例

防水改修2 ※既存ウレタン塗膜防水面を対象
高耐性環境対応型ウレタン塗膜防水 メッシュフリー工法(X-2同等)
上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料

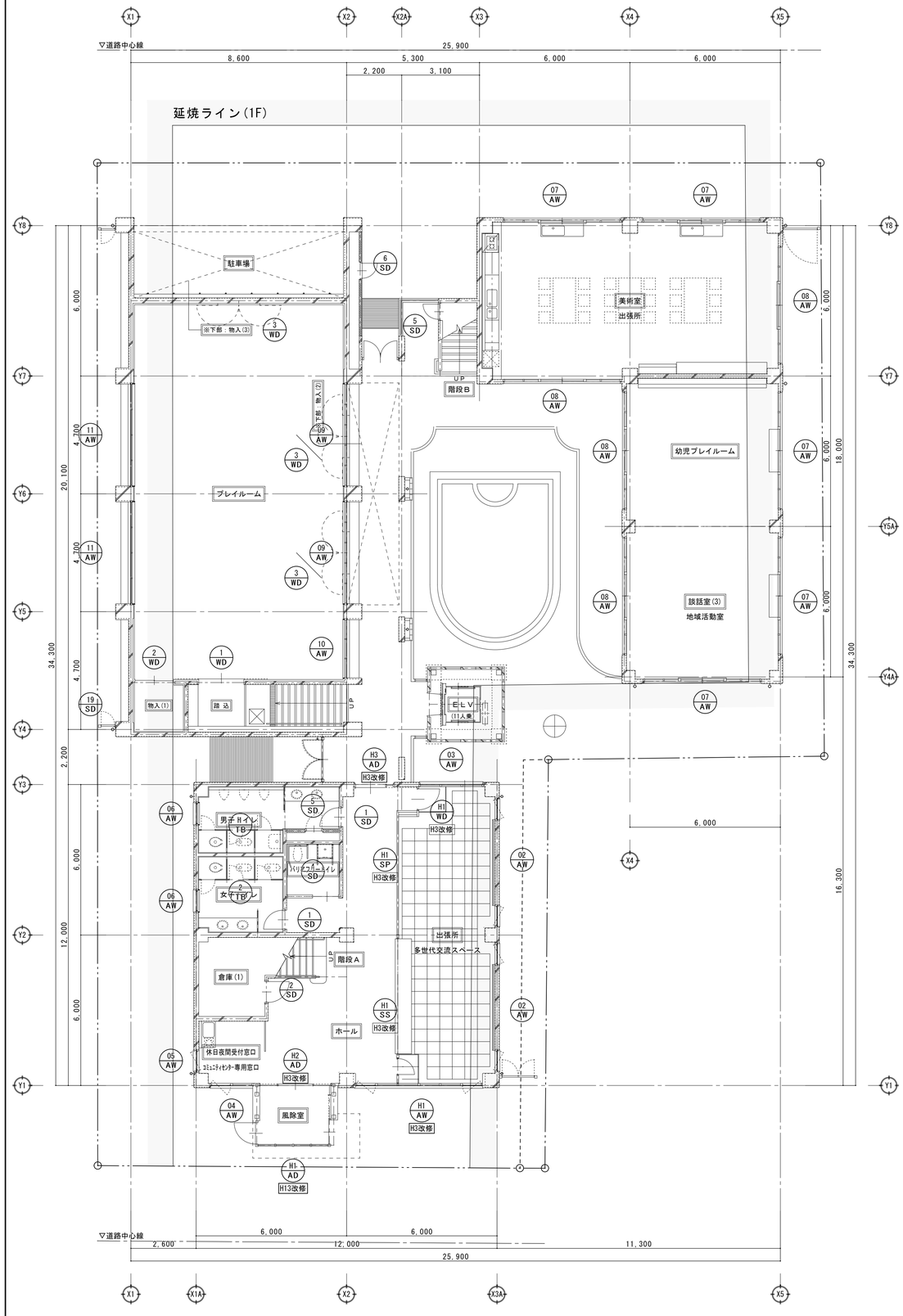
室名		屋上機械置場	天井高	―
壁	下地	1) 外壁改修 下地調整材塗り CM-2 Ｐコン，パネルライン入れ		
		2) 外壁改修 (コンクリート面)ＲＢ種		
		3) 防水改修 (ウレタン塗膜防水面)プライマー処理		
		4) 塗装改修 (鋼板面)ＲＢ種		
	仕上	1) 外壁改修 (コンクリート面)	ＲＣ打放し調ファンデーションローラー塗り 上塗）フッ素クリヤ塗装	
		2) 外壁改修 (コンクリート面)	水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材	
		3) 防水改修2	高耐性環境対応型ウレタン塗膜防水 メッシュフリー工法(X-2同等) 上塗り）シリコン系高耐久高反射保護塗料	
		4) 外壁改修 (鋼板面)	屋根用遮熱塗料(低汚染・超耐久型)塗り 上塗）水性フッ素樹脂系	

凡例

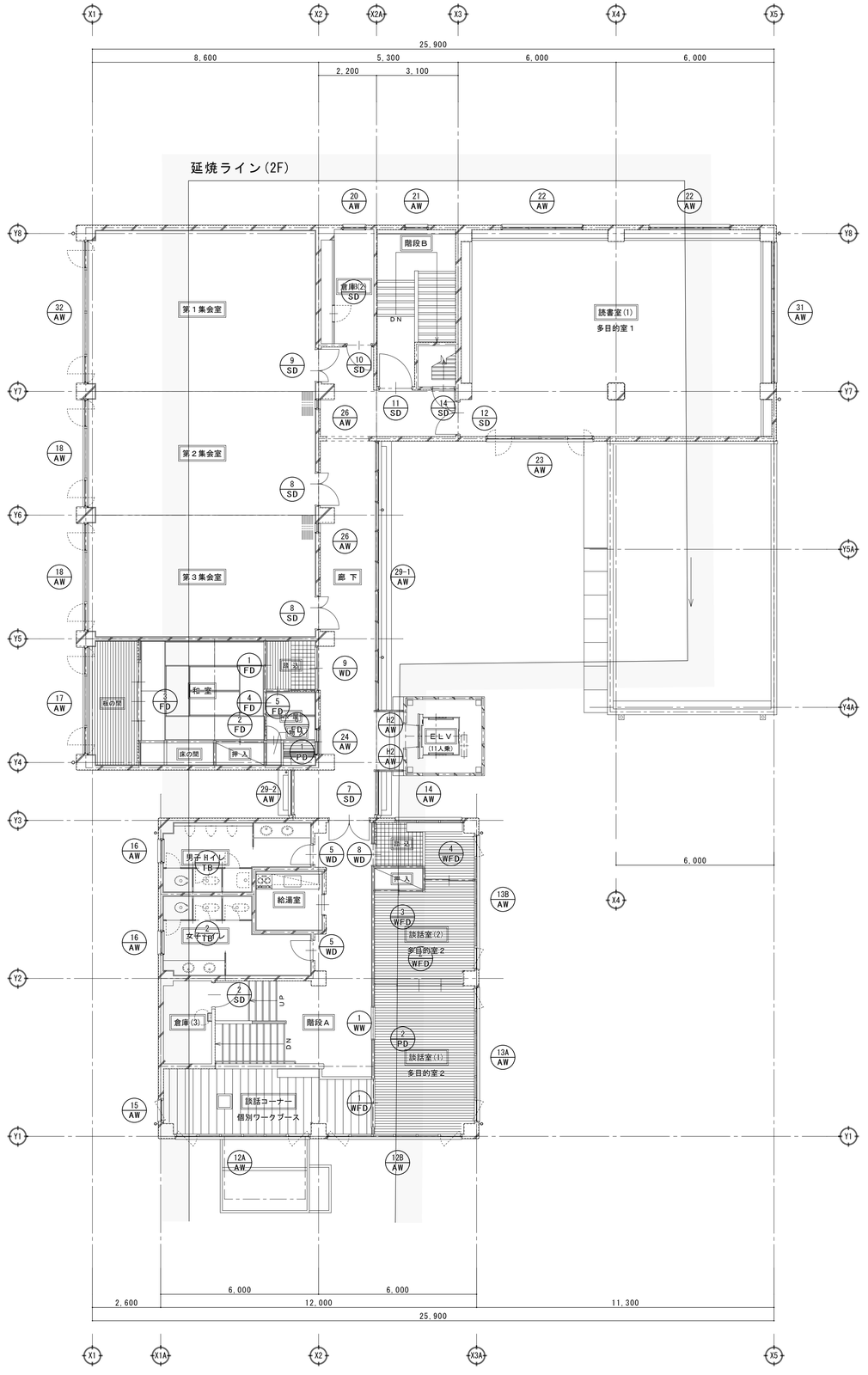


市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		展開図 RF-2-1［改修後］	
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-87

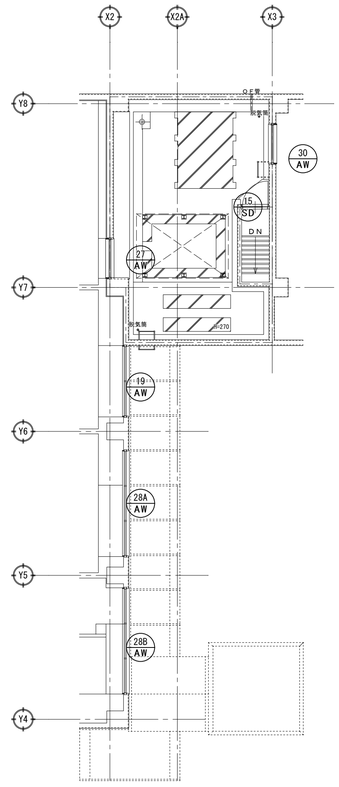
改修前



1 階 平 面 図 S=1/100



2 階 平 面 図 S=1/100

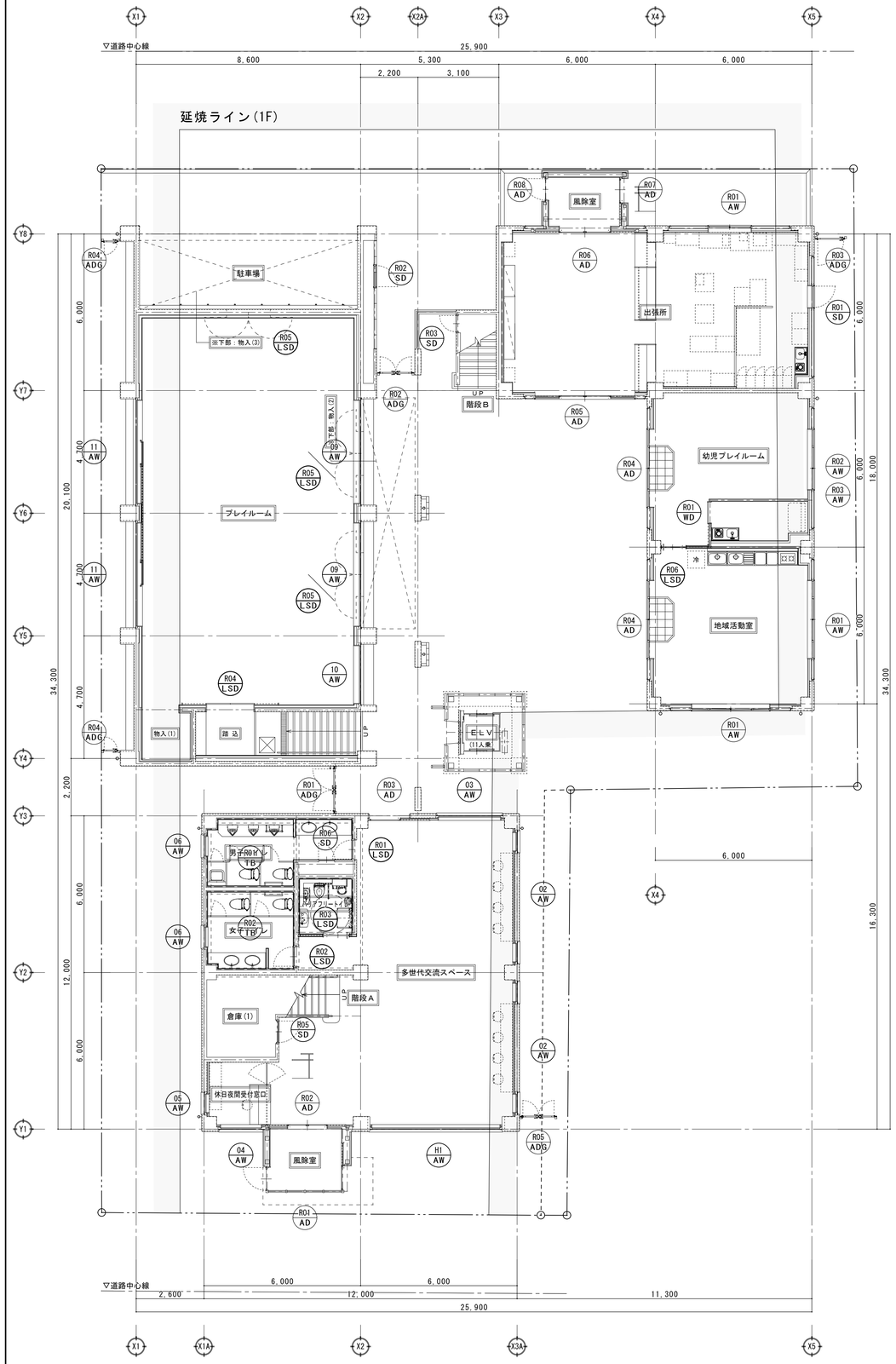


R 階 平 面 図 S=1/100

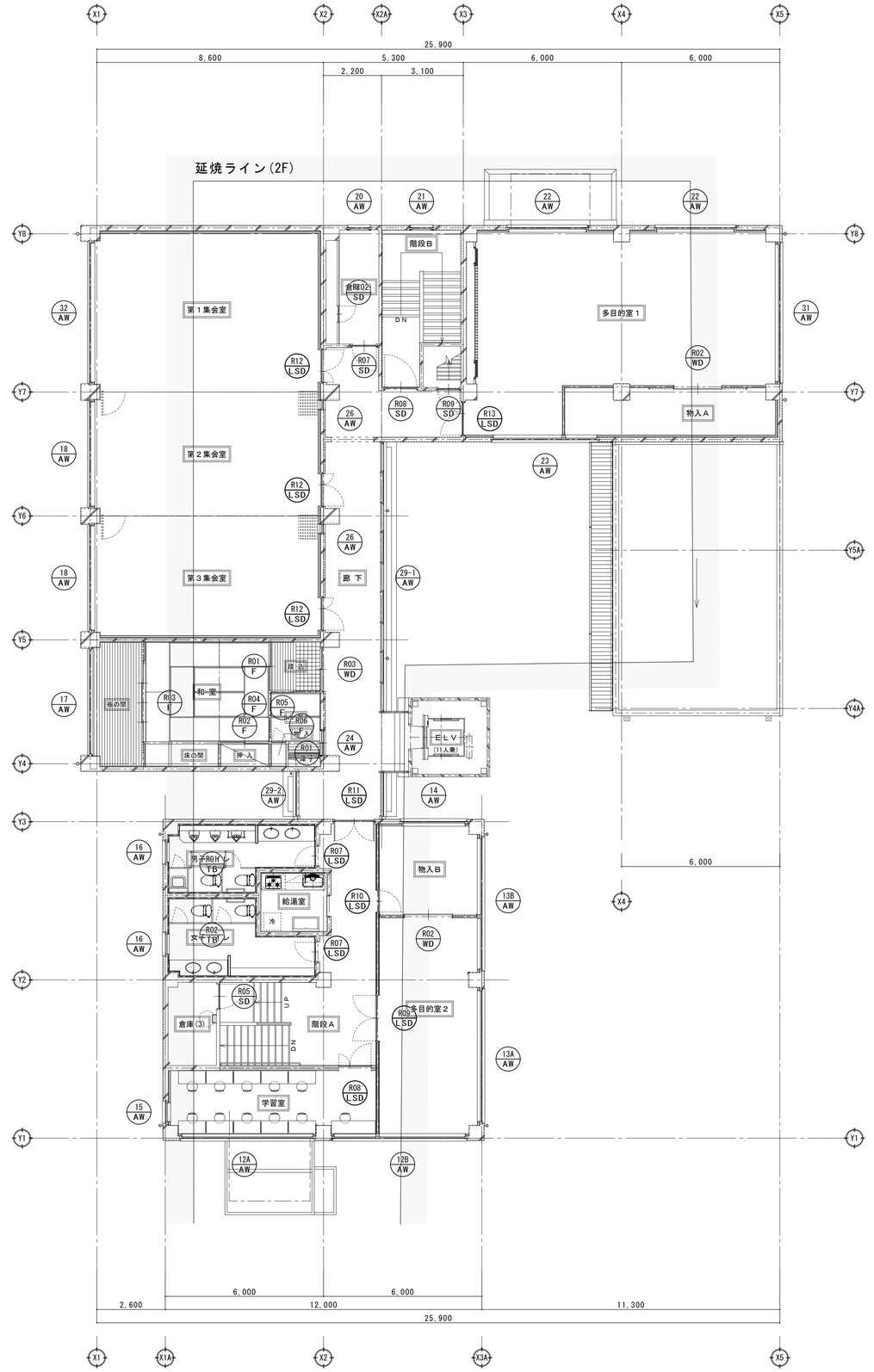
	市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	建具ｋｅｙｐｌａｎ（改修前）	０８８
	SCALE 1/100	㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-88

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

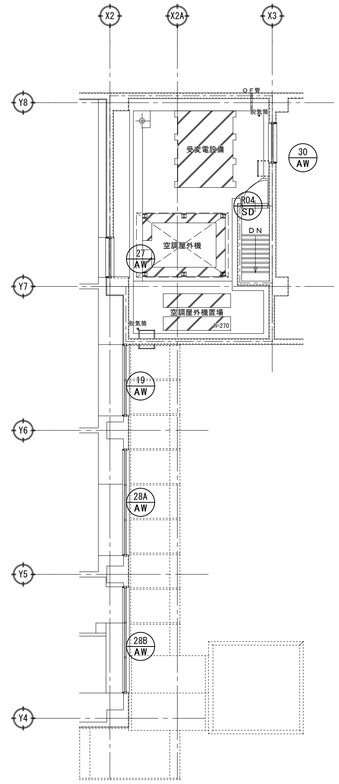
改修後



1 階 平 面 図 S=1/100



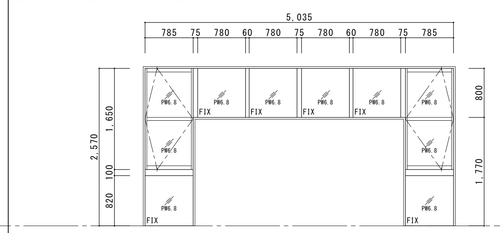
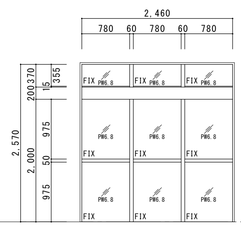
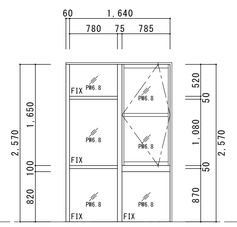
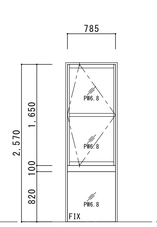
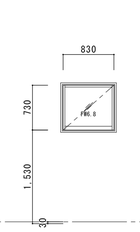
2 階 平 面 図 S=1/100

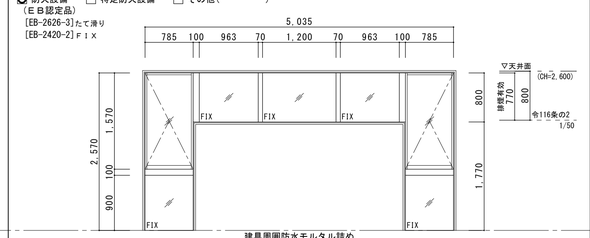
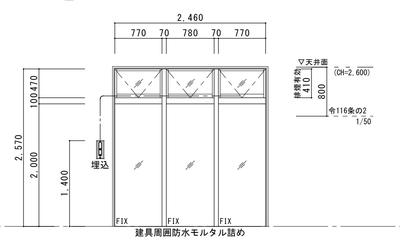
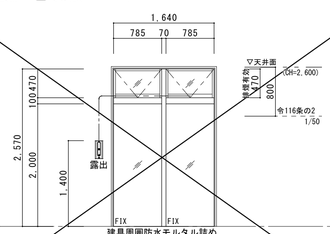
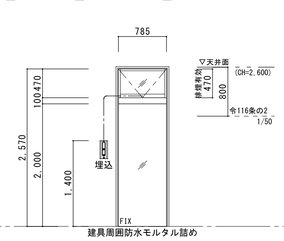
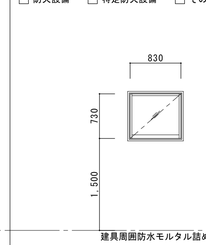


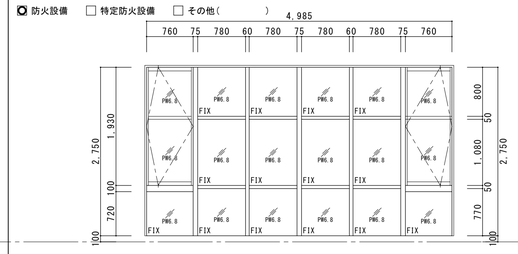
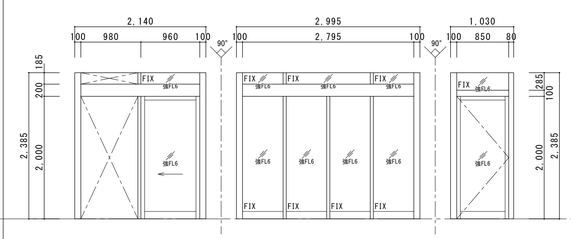
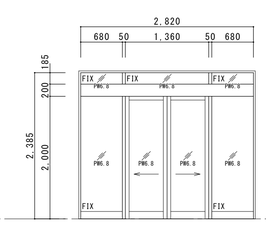
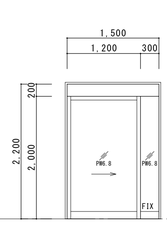
R 階 平 面 図 S=1/100

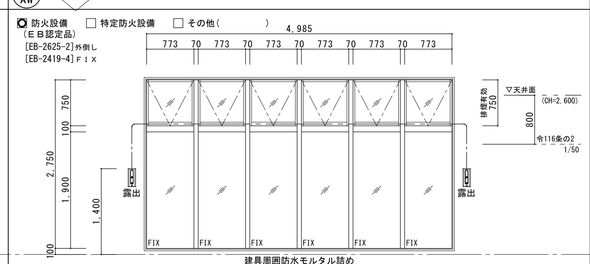
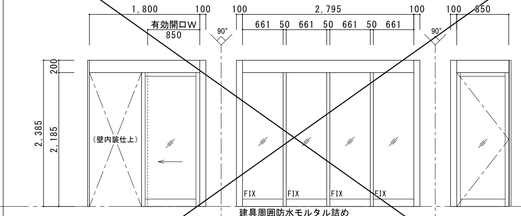
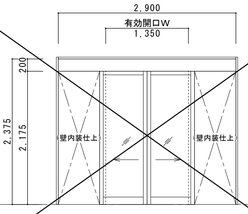
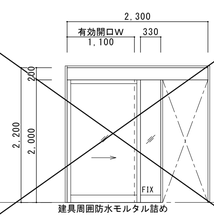
	市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	建具ｋｅｙｐｌａｎ（改修後）	０８９
	SCALE 1/100	㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-89

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

記号/室名/数量	02 AW 【１階】出張所 数量 2	03 AW 【１階】出張所 数量 1	04 AW 【１階】事務室 数量 1	05 AW 【１階】事務室 数量 1	06 AW 【１階】男子トイレ・女子トイレ 数量 2
形状	■防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	■防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	□防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	□防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	□防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 
	枠：13(額縁無し)	枠：13(額縁無し)	枠：13(額縁無し)	枠：13(額縁無し)	枠：16 アルミ額縁 D=60
形式	腰窓：縦軸回転窓 ＋ ＦＩＸ連窓	ＦＩＸ連窓 ＋ 欄間ＦＩＸ連窓	縦軸回転窓 ＋ ＦＩＸ連窓	縦軸回転窓 ＋ ＦＩＸ窓	横にり出し窓
材質	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製
見込	１００	１００	１００	１００	７０
ガラス	線入磨き PW6.8	線入磨き PW6.8	線入磨き PW6.8	線入磨き PW6.8	線入磨き PW6.8
改修内容	1. 撤去、処分(枠共)	1. 撤去、処分(枠共)	1. 既存のまま	1. 撤去、処分(枠共)	1. 撤去、処分(枠共)

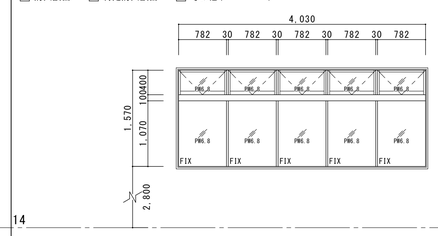
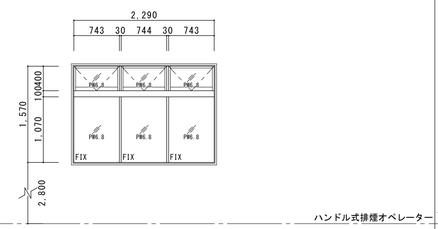
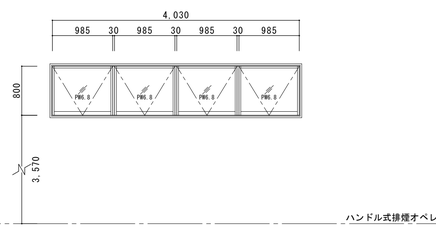
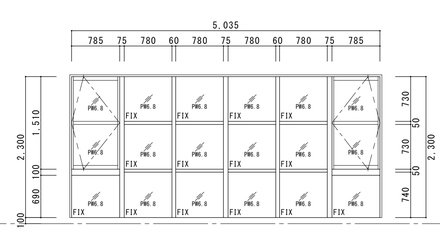
記号/室名/数量	02 AW 【１階】多世代交流スペース 数量 2	03 AW 【１階】多世代交流スペース 数量 1	04 AW 【１階】休日夜間受付窓口 数量 1	05 AW 【１階】休日夜間受付窓口 数量 1	06 AW 【１階】男子トイレ・女子トイレ 数量 2
形状	■防火設備 □特定防火設備 □その他( ) (ＥＢ認定品) [EB-2626-3]たて滑り [EB-2420-2]ＦＩＸ  建具周囲防水モルタル詰め	■防火設備 □特定防火設備 □その他( ) (ＥＢ認定品) [EB-2625-2]外倒し [EB-2419-4]ＦＩＸ  建具周囲防水モルタル詰め	□防火設備 □特定防火設備 □その他( )  建具周囲防水モルタル詰め	□防火設備 □特定防火設備 □その他( )  建具周囲防水モルタル詰め	□防火設備 □特定防火設備 □その他( )  建具周囲防水モルタル詰め
形式	段窓：たて滑り出し窓 ＋ ＦＩＸ連窓	ＦＩＸ連窓 ＋ 欄間外倒し排煙連窓	ＦＩＸ連窓 ＋ 欄間外倒し排煙連窓	ＦＩＸ窓 ＋ 欄間外倒し排煙窓	よこ滑り出し窓
材質	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）
見込	７０	７０	７０	７０	７０
ガラス	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/PW6.8	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/PW6.8	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/FL5	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/FL5	型板ガラス F4
金物・備考	付属金物一式、ＲＷ充填耐火連結材(FP060NE-9305) カムラッチハンドル、バーヒンジ アルミ製水切り、アルミ製額縁、アルミ製カーテンＢＯＸ(W=150,H=120)	付属金物一式、ＲＷ充填耐火連結材(FP060NE-9305) ワンタッチ式手動開閉オペレーター(埋込)、ＳＵＳ製固定網戸 アルミ製水切り、アルミ製額縁、アルミ製カーテンＢＯＸ(W=150,H=120)	付属金物一式 ワンタッチ式手動開閉オペレーター(露出)、ＳＵＳ製固定網戸 アルミ製水切り、アルミ製額縁、アルミ製カーテンＢＯＸ(W=150,H=120)	付属金物一式 ワンタッチ式手動開閉オペレーター(埋込)、ＳＵＳ製固定網戸 アルミ製水切り、アルミ製額縁、アルミ製カーテンＢＯＸ(W=150,H=120)	付属金物一式 カムラッチハンドル、バーヒンジ アルミ製水切り、アルミ製額縁

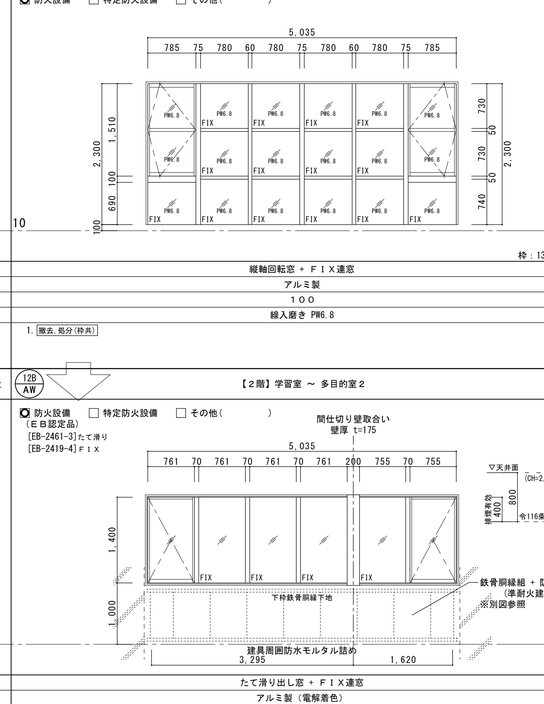
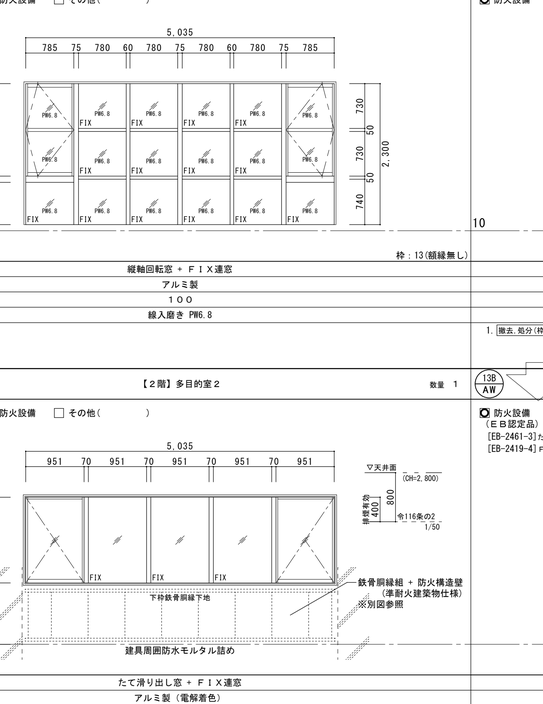
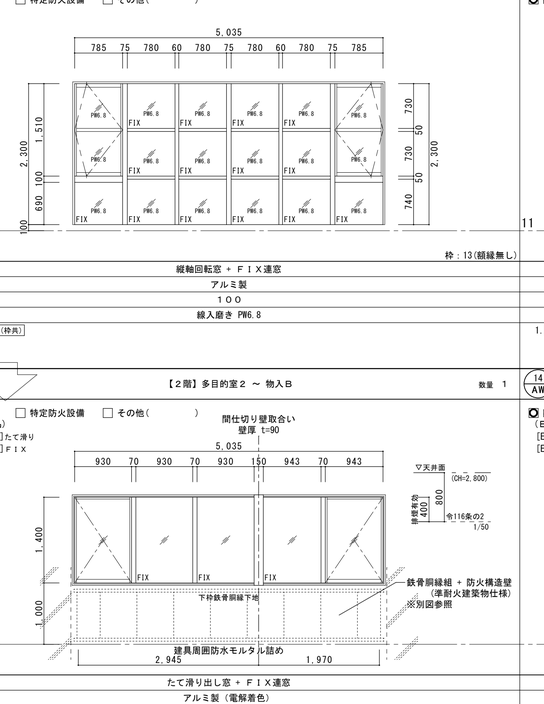
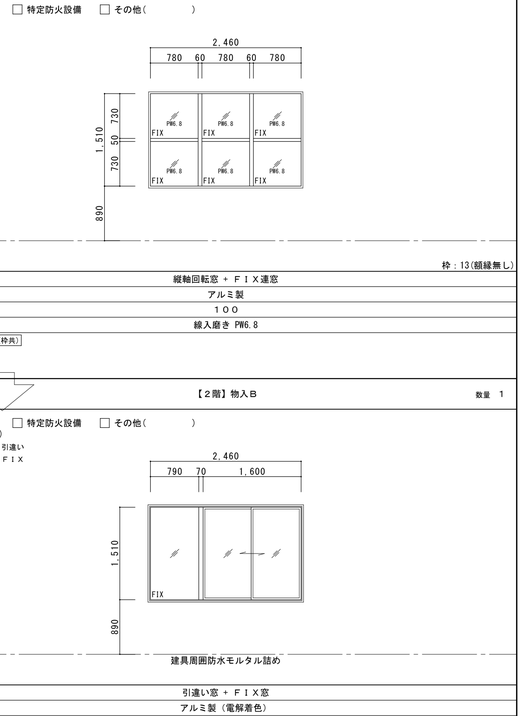
記号/室名/数量	H1 AW 【１階】出張所 数量 1	H1 AD 【１階】風除室 数量 1	H2 AD 【１階】風除室 数量 1	H3 AD 【１階】ホール 数量 1
形状	■防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	□防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	□防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	□防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 
形式	縦軸回転窓 ＋ ＦＩＸ連窓	片引き自動ドア ＋ ＦＩＸ連窓 ＋ 片開き框ドア ＋ 欄間ＦＩＸ窓	両側引分け自動ドア ＋ 両袖ＦＩＸ窓 ＋ 欄間ＦＩＸ窓	片引き自動ドア ＋ ＦＩＸ窓
材質	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製
見込	１００	１００	１００	１００
ガラス	線入磨き PW6.8	強化透明 FL6.0	線入磨き PW6.8	線入磨き PW6.8
改修内容	1. 撤去、処分(枠共)	1. 既存のまま	1. 既存のまま	1. 既存のまま

記号/室名/数量	H1 AW 【１階】多世代交流スペース 数量 1	R01 AD 【１階】風除室（南） 数量 1	R02 AD 【１階】風除室（南） 数量 1	R03 AD 【１階】多世代交流スペース 数量 1
形状	■防火設備 □特定防火設備 □その他( ) (ＥＢ認定品) [EB-2625-2]外倒し [EB-2419-4]ＦＩＸ  建具周囲防水モルタル詰め	□防火設備 □特定防火設備 □その他( )  建具周囲防水モルタル詰め	□防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	□防火設備 □特定防火設備 □その他( )  建具周囲防水モルタル詰め
形式	ＦＩＸ連窓 ＋ 欄間外倒し排煙連窓	片引き自動ドア ＋ ＦＩＸ連窓 ＋ 片開き框ドア	両側引分け自動ドア	片引き自動ドア ＋ 片袖ＦＩＸ窓
材質	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）
見込	７０	７０	７０	７０
ガラス	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/PW6.8	合せガラス FL5 ＋ FL5（中間膜30mil）	合せガラス FL5 ＋ FL5（中間膜30mil）	合せガラス FL5 ＋ FL5（中間膜30mil）
金物・備考	付属金物一式、ＲＷ充填耐火連結材(FP060NE-9305) ワンタッチ式手動開閉オペレーター(露出)、ＳＵＳ製固定網戸 アルミ製水切り、アルミ製額縁、アルミ製カーテンＢＯＸ(W=150,H=120)	付属金物一式、ＳＵＳ製レール、ＳＵＳ製沓摺り、片引き用自動ドアエンジン、光電センサー シリンダー本締錠、レバーハンドル、ＤＣ(ストップ付き) アルミ製額縁	付属金物一式、ＳＵＳ製レール、両側引分け用自動ドアエンジン、光電センサー シリンダー本締錠 アルミ製額縁	付属金物一式、ＳＵＳ製レール、片引き用自動ドアエンジン、光電センサー シリンダー本締錠 アルミ製額縁

市立みすほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	建具表（ＡＬ１）	090
SCALE 1/50	© ㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-90

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

記号/室名/数量	09 AW 【１階】プレイルーム 数量 2	10 AW 【１階】プレイルーム 数量 1	11 AW 【１階】プレイルーム 数量 2	12A AW 【２階】談話コーナー 数量 1
形状	□防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	□防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	○防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	○防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 
	枠：16 木製額縁 D=60	枠：16 木製額縁 D=60	枠：16 木製額縁 D=100	枠：13(額縁無し)
形式	ＦＩＸ連窓 ＋ 内倒し連窓	ＦＩＸ連窓 ＋ 内倒し連窓	ＦＩＸ連窓 ＋ 内倒し連窓	縦軸回転窓 ＋ ＦＩＸ連窓
材質	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製
見込	１００	１００	７０	１００
ガラス	線入磨き PW6.8	線入磨き PW6.8	線入磨き PW6.8	線入磨き PW6.8
改修内容	1. 撤去,処分(枠共)	1. 撤去,処分(枠共)	1. 撤去,処分(枠共)	1. 撤去,処分(枠共)

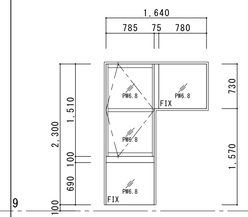
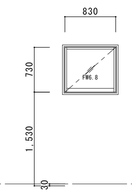
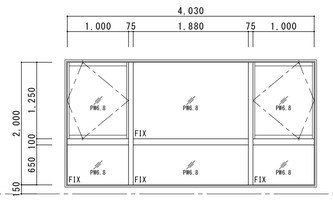
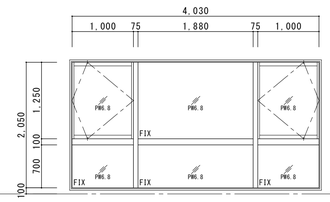
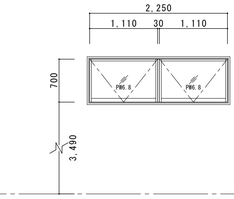
記号/室名/数量	09 AW 【１階】プレイルーム 数量 2	10 AW 【１階】プレイルーム 数量 1	11 AW 【１階】プレイルーム 数量 2	12A AW 【２階】学習室 数量 1
形状	□防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	□防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	○防火設備 (ＥＢ認定品) [EB-3609]突き出し □特定防火設備 □その他( ) 	○防火設備 (ＥＢ認定品) [EB-2461-3]たて滑り [EB-2419-4]ＦＩＸ □特定防火設備 □その他( ) 
形式	ＦＩＸ連窓 ＋ 欄間突き出し連窓	ＦＩＸ連窓 ＋ 欄間突き出し連窓	突き出し連窓	たて滑り出し窓 ＋ ＦＩＸ連窓
材質	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）
見込	７０	７０	７０	７０
ガラス	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/FL5	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/FL5	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/PW6.8	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/PW6.8
金物・備考	付属金物一式 ワンタッチ式手動開閉オペレーター(埋込)、ＳＵＳ製固定網戸 アルミ製水切り、アルミ製額縁	付属金物一式 ワンタッチ式手動開閉オペレーター(埋込)、ＳＵＳ製固定網戸 アルミ製水切り、アルミ製額縁	付属金物一式、ＲＷ充填耐火連結材(FP060NE-9305) ワンタッチ式手動開閉オペレーター(埋込)、ＳＵＳ製固定網戸 アルミ製水切り、アルミ製額縁	付属金物一式、ＲＷ充填耐火連結材(FP060NE-9305) カムラッチハンドル、バーヒンジ アルミ製水切り、アルミ製額縁、アルミ製カーテンＢＯＸ(W=150,H=120)

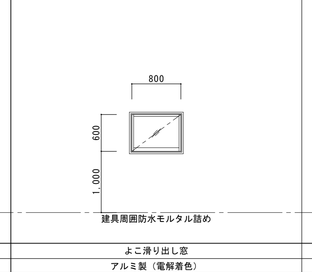
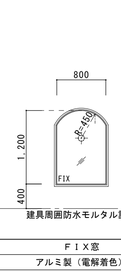
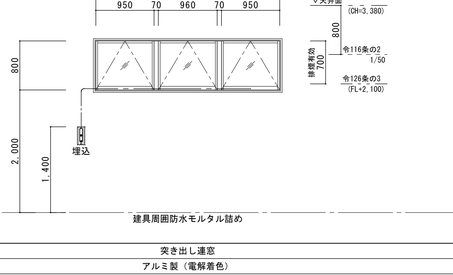
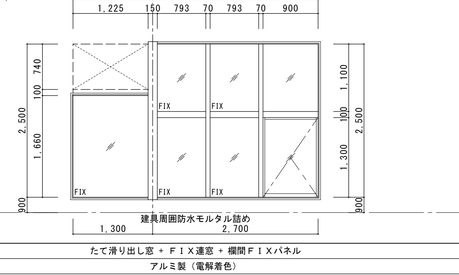
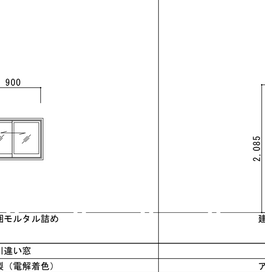
記号/室名/数量	12B AW 【２階】談話室(1) ～ 談話コーナー 数量 1	13A AW 【２階】談話室(1) 数量 1	13B AW 【２階】談話室(2) ～ 踏 込 数量 1	14 AW 【２階】踏 込（談話室(2)） 数量 1
形状	○防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	○防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	○防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	○防火設備 □特定防火設備 □その他( )
	枠：13(額縁無し)	枠：13(額縁無し)	枠：13(額縁無し)	枠：13(額縁無し)
形式	縦軸回転窓 ＋ ＦＩＸ連窓	縦軸回転窓 ＋ ＦＩＸ連窓	縦軸回転窓 ＋ ＦＩＸ連窓	縦軸回転窓 ＋ ＦＩＸ連窓
材質	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製
見込	１００	１００	１００	１００
ガラス	線入磨き PW6.8	線入磨き PW6.8	線入磨き PW6.8	線入磨き PW6.8
改修内容	1. 撤去,処分(枠共)	1. 撤去,処分(枠共)	1. 撤去,処分(枠共)	1. 撤去,処分(枠共)

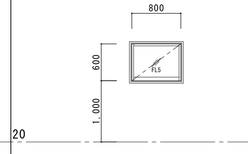
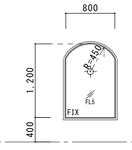
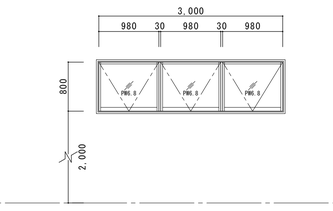
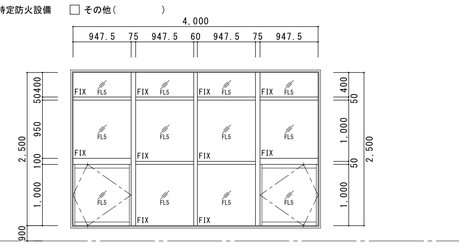
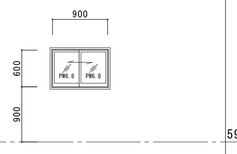
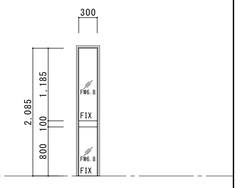
記号/室名/数量	12B AW 【２階】学習室 ～ 多目的室２ 数量 1	13A AW 【２階】多目的室２ 数量 1	13B AW 【２階】多目的室２ ～ 物入Ｂ 数量 1	14 AW 【２階】物入Ｂ 数量 1
形状	○防火設備 (ＥＢ認定品) [EB-2461-3]たて滑り [EB-2419-4]ＦＩＸ □特定防火設備 □その他( ) 	○防火設備 (ＥＢ認定品) [EB-2461-3]たて滑り [EB-2419-4]ＦＩＸ □特定防火設備 □その他( ) 	○防火設備 (ＥＢ認定品) [EB-2461-3]たて滑り [EB-2419-4]ＦＩＸ □特定防火設備 □その他( ) 	○防火設備 (ＥＢ認定品) [EB-3245-1]引違い [EB-2419-4]ＦＩＸ □特定防火設備 □その他( )
形式	たて滑り出し窓 ＋ ＦＩＸ連窓	たて滑り出し窓 ＋ ＦＩＸ連窓	たて滑り出し窓 ＋ ＦＩＸ連窓	引違い窓 ＋ ＦＩＸ窓
材質	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）
見込	７０	７０	７０	７０
ガラス	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/PW6.8	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/PW6.8	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/PW6.8	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/PW6.8
金物・備考	付属金物一式、ＲＷ充填耐火連結材(FP060NE-9305) カムラッチハンドル、バーヒンジ 間仕切り受け用アルミ形材、アルミ製水切り、アルミ製額縁、アルミ製カーテンＢＯＸ(W=150,H=120)	付属金物一式、ＲＷ充填耐火連結材(FP060NE-9305) カムラッチハンドル、バーヒンジ アルミ製水切り、アルミ製額縁、アルミ製カーテンＢＯＸ(W=150,H=120)	付属金物一式、ＲＷ充填耐火連結材(FP060NE-9305) カムラッチハンドル、バーヒンジ 間仕切り受け用アルミ形材、アルミ製水切り、アルミ製額縁、アルミ製カーテンＢＯＸ(W=150,H=120)	付属金物一式、ＲＷ充填耐火連結材(FP060NE-9305) クレセント錠、ＳＵＳ製パネル網戸 アルミ製水切り、アルミ製額縁、アルミ製カーテンＢＯＸ(W=150,H=120)

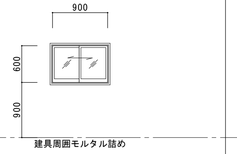
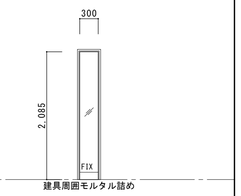
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	建具表（ＡＬ２）	０９１
SCALE 1/50	© ㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-91

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

記号/室名/数量	15 AW 【2階】談話コーナー 数量 1	16 AW 【2階】男子トイレ・女子トイレ 数量 2	17 AW 【2階】和 室（板の間） 数量 1	18 AW 【2階】第２～３集会室 数量 2	19 AW 【2階】第２集会室 数量 1
形状	■防火設備 □特定防火設備 □その他（ ） 	■防火設備 □特定防火設備 □その他（ ） 	■防火設備 □特定防火設備 □その他（ ） 	■防火設備 □特定防火設備 □その他（ ） 	□防火設備 □特定防火設備 □その他（ ）  ハンドル式排煙オペレーター
▽FL	枠：13(額縁無し)	枠：16 アルミ額縁 D=60	枠：16 木製額縁 D=50	枠：16 木製額縁 D=50	枠：16 木製額縁 D=55
形式	腰窓：縦軸回転窓 ＋ ＦＩＸ窓	横にり出し窓	縦軸回転窓 ＋ ＦＩＸ連窓	縦軸回転窓 ＋ ＦＩＸ連窓	ＦＩＸ連窓 ＋ 内倒し連窓
材質	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製
見込	１００	７０	１００	１００	７０
ガラス	繰入磨き PW6.8	繰入磨き PW6.8	繰入磨き PW6.8	繰入磨き PW6.8	繰入磨き PW6.8
改修内容	1. 撤去、処分（枠共）	1. 撤去、処分（枠共）	1. 撤去、処分（枠共）	1. 撤去、処分（枠共）	1. 撤去、処分 ※既存枠残しにて、カバー工法改修対象

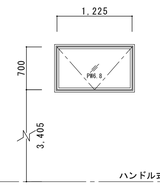
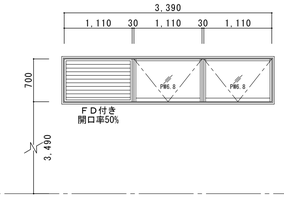
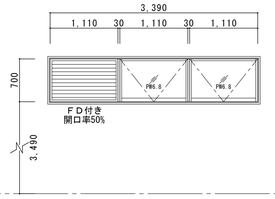
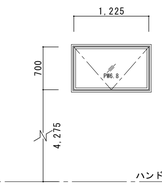
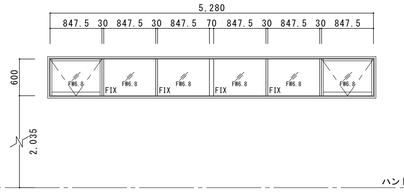
記号/室名/数量	15 AW 【2階】学習室 数量 1	16 AW 【2階】男子トイレ・女子トイレ 数量 2	17 AW 【2階】和 室（板の間） 数量 1	18 AW 【2階】第２・第３集会室 数量 2	19 AW 【2階】第２集会室 数量 1
形状	■防火設備（ＥＢ認定品） [EB-2420-2]ＦＩＸ □特定防火設備 □その他（ ） 	■防火設備（ＥＢ認定品） [EB-2435-1]よこ滑り □特定防火設備 □その他（ ） 	■防火設備（ＥＢ認定品） [EB-3245-1]引違い [EB-2419-4]ＦＩＸ □特定防火設備 □その他（ ） 	■防火設備（ＥＢ認定品） [EB-3245-1]引違い [EB-2419-4]ＦＩＸ □特定防火設備 □その他（ ） 	□防火設備 □特定防火設備 □その他（ ） 
▽FL					
形式	ＦＩＸ窓 ＋ 腰部ＦＩＸパネル	よこ滑り出し窓	引違い連窓 ＋ ＦＩＸ窓 ＋ 腰部ＦＩＸパネル	引違い連窓 ＋ ＦＩＸ窓 ＋ 腰部ＦＩＸパネル	外倒し排煙窓
材質	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）
見込	７０	７０	７０	７０	７０
ガラス	複層ガラス（日射遮蔽） 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/PW6.8	網入り型板ガラス FW6.8	複層ガラス（日射遮蔽） 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/PW6.8	複層ガラス（日射遮蔽） 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/PW6.8	複層ガラス（日射遮蔽） 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/F4
金物・備考	付属金物一式、ＲＷ充填耐火連結材(FP060NE-9305) アルミ製水切り、アルミ製額縁、アルミ製カーテンＢＯＸ(W=150,H=120)	付属金物一式 カムラッチハンドル、バーヒンジ アルミ製水切り、アルミ製額縁	付属金物一式、ＲＷ充填耐火連結材(FP060NE-9305) クレセント錠、ＳＵＳ製パネル網戸 アルミ製水切り、アルミ製額縁、アルミ製カーテンＢＯＸ(W=150,H=120)	付属金物一式、ＲＷ充填耐火連結材(FP060NE-9305) クレセント錠、ＳＵＳ製パネル網戸 アルミ製水切り、アルミ製額縁、アルミ製カーテンＢＯＸ(W=150,H=120)	付属金物一式 ワンタッチ式手動開閉オペレーター(埋込)、ＳＵＳ製固定網戸 アルミ製水切り （※カバー工法枠現し、既存額縁はそのままとする）

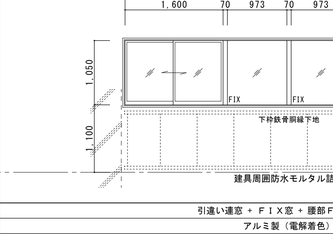
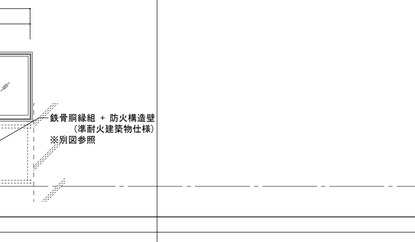
記号/室名/数量	20 AW 【2階】倉庫(2) 数量 1	21 AW 【2階】階段Ｂ 数量 1	22 AW 【2階】読書室(1) 数量 2	23 AW 【2階】読書室(1) 数量 1	24 AW 【2階】和 室（水屋） 数量 1	26 AW 【2階】第２～３集会室 数量 2
形状	□防火設備 □特定防火設備 □その他（ ） 	□防火設備 □特定防火設備 □その他（ ） 	■防火設備 □特定防火設備 □その他（ ）  ハンドル式排煙オペレーター	□防火設備 □特定防火設備 □その他（ ） 	□防火設備 □特定防火設備 □その他（ ） 	□防火設備 □特定防火設備 □その他（ ） 
▽FL	枠：16 木製額縁 D=40	枠：16 木製額縁 D=40	枠：16 木製額縁 D=35	枠：16 木製額縁 D=25	枠：16 木製額縁 D=85	枠：16 木製額縁 D=55
形式	横にり出し窓	ＦＩＸ窓	内倒し連窓	縦軸回転窓 ＋ ＦＩＸ連窓	引違い窓	ＦＩＸ窓
材質	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製
見込	７０	７０	７０	１００	７０	７０
ガラス	透明 FL5	透明 FL5	繰入磨き PW6.8	繰入磨き PW6.8	繰入磨き PW6.8	繰入型板 FW6.8
改修内容	1. 撤去、処分（枠共）	1. 撤去、処分（枠共）	1. 撤去、処分（枠共）	1. 撤去、処分（枠共）	1. 撤去、処分（枠共）	1. 撤去、処分（枠共）

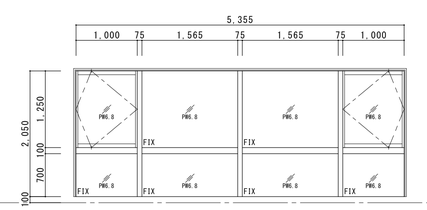
記号/室名/数量	20 AW 【2階】倉庫(2) 数量 1	21 AW 【2階】階段Ｂ 数量 1	22 AW 【2階】多目的室１ 数量 2	23 AW 【2階】多目的室１ ～ 物入Ａ 数量 1	24 AW 【2階】和 室（水屋） 数量 1	26 AW 【2階】第２・第３集会室 数量 2
形状	□防火設備 □特定防火設備 □その他（ ） 	□防火設備 □特定防火設備 □その他（ ） 	■防火設備（ＥＢ認定品） [EB-3609]突き出し □特定防火設備 □その他（ ） 	□防火設備 □特定防火設備 □その他（ ） 間仕切り壁取合い 壁厚 t=90 	□防火設備 □特定防火設備 □その他（ ） 	□防火設備 □特定防火設備 □その他（ ） 
▽FL						
形式	よこ滑り出し窓	ＦＩＸ窓	突き出し連窓	たて滑り出し窓 ＋ ＦＩＸ連窓 ＋ 欄間ＦＩＸパネル	引違い窓	ＦＩＸ窓
材質	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）
見込	７０	７０	７０	７０	７０	７０
ガラス	型板強化ガラス F4	強化ガラス FL5	複層ガラス（日射遮蔽） 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/PW6.8	複層ガラス（日射遮蔽） 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/PW6.8	型板ガラス F4	型板ガラス F4
金物・備考	付属金物一式 カムラッチハンドル、バーヒンジ アルミ製水切り、アルミ製額縁	付属金物一式 アルミ製水切り、アルミ製額縁	付属金物一式、ＲＷ充填耐火連結材(FP060NE-9305) ワンタッチ式手動開閉オペレーター(埋込)、ＳＵＳ製固定網戸 アルミ製水切り、アルミ製額縁、アルミ製カーテンＢＯＸ(W=150,H=120)	付属金物一式、ＦＩＸアルミパネル t=3 カムラッチハンドル、バーヒンジ 間仕切り受け用アルミ形材、アルミ製水切り、アルミ製額縁、アルミ製カーテンＢＯＸ(W=150,H=120)	付属金物一式、クレセント錠 木製額縁	付属金物一式 アルミ製額縁

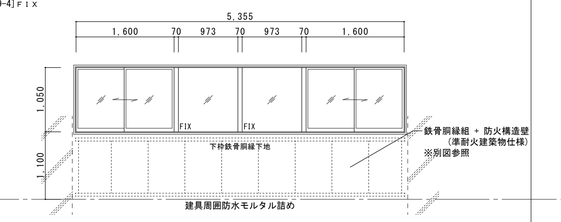
	市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	建具表（ＡＬ３）	０９２
	SCALE 1/50	㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-92

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

記号/室名/数量	27 AW 【２階】第２集会室 数量 1	28A AW 【２階】第３集会室 数量 1	28B AW 【２階】水 屋 数量 1	30 AW 【２階】読書室(1) 数量 1	31 AW 【２階】読書室(1) 数量 1
形状	☐防火設備 ☐特定防火設備 ☐その他( ) 	☐防火設備 ☐特定防火設備 ☐その他( ) 	☐防火設備 ☐特定防火設備 ☐その他( ) 	☐防火設備 ☐特定防火設備 ☐その他( ) 	◘防火設備 ☐特定防火設備 ☐その他( ) 
	枠：16 木製額縁 D=55	枠：16 木製額縁 D=55	枠：16 木製額縁 D=55	枠：16 木製額縁 D=65	枠：16 木製額縁 D=25
形式	内倒し窓	内倒し連窓 + ガラリ	内倒し連窓 + ガラリ	内倒し窓	内倒し窓 + ＦＩＸ連窓
材質	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製
見込	７０	７０	７０	７０	１００
ガラス	線入磨き PW6.8	線入磨き PW6.8	線入磨き PW6.8	線入磨き PW6.8	網入型板 FW6.8(H13改修)
改修内容	1. 撤去,処分※既存枠残しにて、カバー工法改修対象	1. 撤去,処分※既存枠残しにて、カバー工法改修対象	1. 撤去,処分※既存枠残しにて、カバー工法改修対象	1. 撤去,処分ガラスのみ	1. 撤去,処分(枠共)

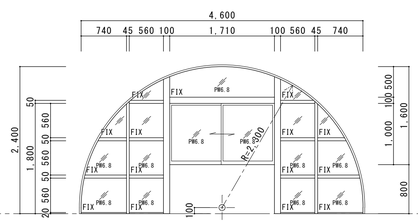
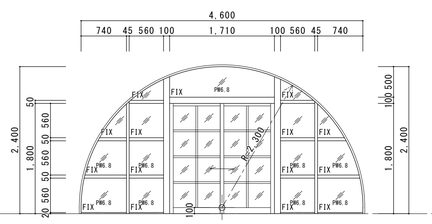
記号/室名/数量	27 AW 【２階】第２集会室 数量 1	28A AW 【２階】第３集会室 数量 1	28B AW 【２階】水 屋 数量 1	30 AW 【２階】多目的室１ 数量 1	31 AW 【２階】多目的室１ 数量 1
形状	☐防火設備 ☐特定防火設備 ☐その他( ) 	☐防火設備 ☐特定防火設備 ☐その他( ) 	☐防火設備 ☐特定防火設備 ☐その他( ) 	☐防火設備 ☐特定防火設備 ☐その他( ) 	◘防火設備 ☐特定防火設備 ☐その他( ) (ＥＢ認定品) [EB-2420-2]ＦＩＸ 
形式	外倒し排煙窓	外倒し排煙窓 + アルミガラリ	外倒し排煙窓 + アルミガラリ	―	ＦＩＸ連窓
材質	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	―	アルミ製（電解着色）
見込	７０	７０	７０	―	７０
ガラス	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 + A6 + 内側/F4	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 + A6 + 内側/F4	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 + A6 + 内側/F4	アルミパネル t=3	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 + A6 + 内側/PW6.8
金物・備考	カバー工法改修枠、付属金物一式 ワンタッチ式手動開閉オペレーター(埋込)、ＳＵＳ製固定網戸 アルミ製水切り （※カバー工法枠現し、既存額縁はそのままとする）	カバー工法改修枠、付属金物一式、換気ダクト取付枠 ワンタッチ式手動開閉オペレーター(埋込)、ＳＵＳ製固定網戸 アルミ製水切り （※カバー工法枠現し、既存額縁はそのままとする）	カバー工法改修枠、付属金物一式、換気ダクト取付枠 ワンタッチ式手動開閉オペレーター(埋込)、ＳＵＳ製固定網戸 アルミ製水切り （※カバー工法枠現し、既存額縁はそのままとする）	パネル入れ替えの上、開閉封鎖処理	付属金物一式、ＲＷ充填耐火連結材(FP060NE-9305) アルミ製水切り、アルミ製額縁、アルミ製カーテンＢＯＸ(W=150,H=120)

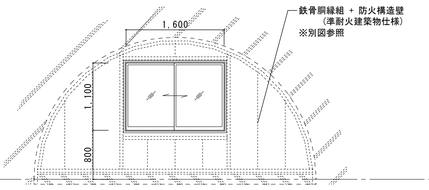
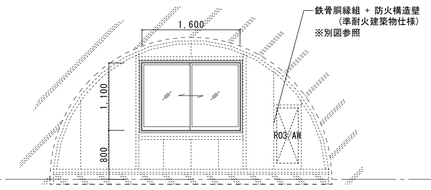
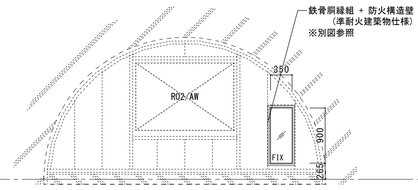
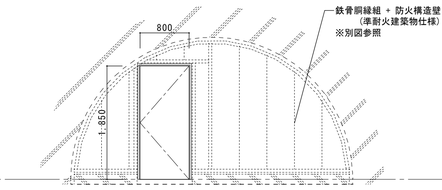
記号/室名/数量	32 AW 【２階】第１集会室 数量 1
形状	◘防火設備 ☐特定防火設備 ☐その他( ) 
	枠：16 木製額縁 D=55
形式	縦軸回転窓 + ＦＩＸ連窓
材質	アルミ製
見込	１００
ガラス	線入磨き PW6.8
改修内容	1. 撤去,処分(枠共)

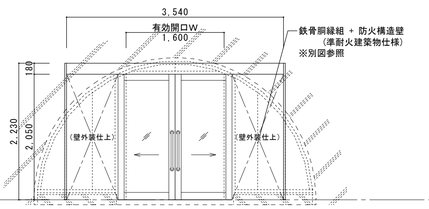
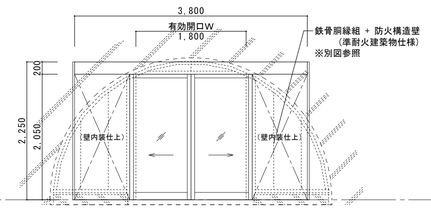
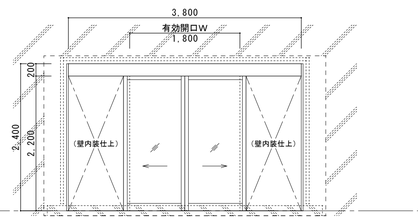
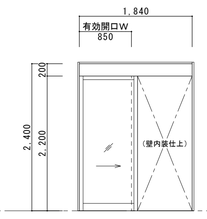
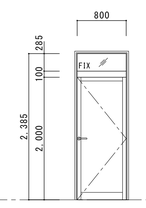
記号/室名/数量	32 AW 【２階】第１集会室 数量 1
形状	◘防火設備 ☐特定防火設備 ☐その他( ) (ＥＢ認定品) [EB-3245-1]引違い [EB-2419-4]ＦＩＸ 
形式	引違い連窓 + ＦＩＸ窓 + 腰部ＦＩＸパネル
材質	アルミ製（電解着色）
見込	７０
ガラス	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 + A6 + 内側/PW6.8
金物・備考	付属金物一式、ＲＷ充填耐火連結材(FP060NE-9305) クレセント錠、ＳＵＳ製パネル網戸 アルミ製水切り、アルミ製額縁、アルミ製カーテンＢＯＸ(W=150,H=120)

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		建具表（ＡＬ４）	０９３
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-93

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

記号/室名/数量	07 AW 【１階】美術室・幼児プレイルーム・読書室(3) 数量 5	08 AW 【１階】美術室・幼児プレイルーム・読書室(3) 数量 4		
形状	■防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	□防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 		
▽FL	枠：13(額縁無し)	枠：13(額縁無し)		
形式	引違い窓 ＋ ＦＩＸ連窓	引違い框ドア ＋ ＦＩＸ連窓		
材質	アルミ製	アルミ製		
見込	１００	１００		
ガラス	線入磨き PW6.8	線入磨き PW6.8		
改修内容	1. 撤去,処分 全て対象とする（枠共）	1. 撤去,処分 全て対象とする（枠共）		

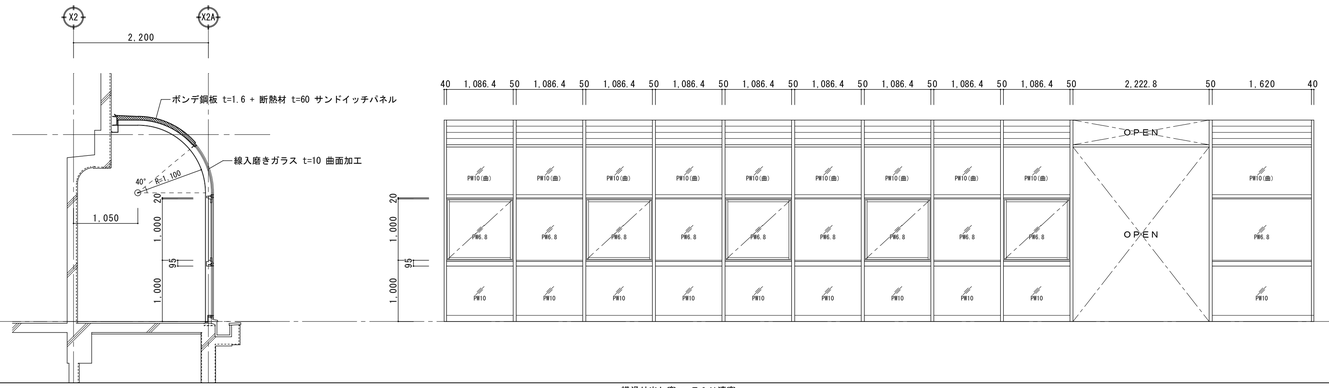
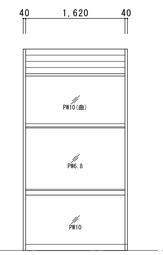
記号/室名/数量	R01 AW 【１階】出張所・地域活動室 数量 3	R02 AW 【１階】幼児プレイルーム 数量 1	R03 AW 【１階】授乳室 数量 1	R01 SD 【１階】出張所 数量 1
形状	■防火設備 □特定防火設備 □その他( ) (ＥＢ認定品) [EB-3245-1]引違い 	■防火設備 □特定防火設備 □その他( ) (ＥＢ認定品) [EB-3245-1]引違い 	■防火設備 □特定防火設備 □その他( ) (ＥＢ認定品) [EB-2419-4]ＦＩＸ 	■防火設備 □特定防火設備 □その他( ) (ＥＢ認定品) 
▽FL	鉄骨胴縁下地	鉄骨胴縁下地	鉄骨胴縁下地	鉄骨胴縁下地
形式	引違い窓	引違い窓	ＦＩＸ窓	片開きフラッシュドア
材質	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	ｓｔ製 化粧鋼板
見込	７０	７０	７０	７０
ガラス	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/PW6.8	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/PW6.8	複層ガラス(日射遮蔽) 外側/Low-E5 ＋ A6 ＋ 内側/FW6.8	－
金物・備考	付属金物一式 クレセント錠、ＳＵＳ製パネル網戸 アルミ製水切り、アルミ製額縁	付属金物一式 クレセント錠、ＳＵＳ製パネル網戸 アルミ製水切り、アルミ製額縁	付属金物一式 アルミ製水切り、アルミ製額縁	付属金物一式 シリンダー本締錠、レバーハンドル ｓｔ製三方枠、ＳＵＳ製沓摺

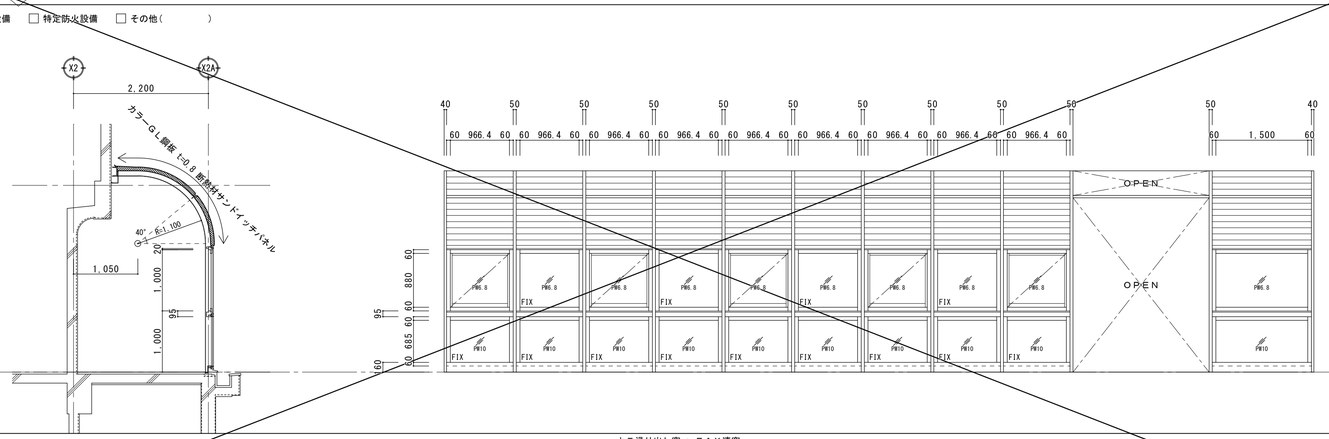
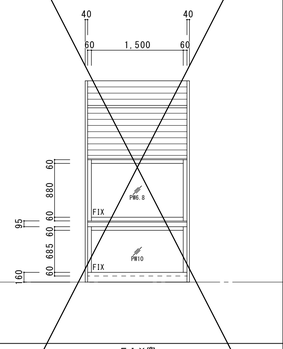
記号/室名/数量	R04 AD 【１階】幼児プレイルーム・地域活動室 数量 2	R05 AD 【１階】出張所 数量 1	R06 AD 【１階】出張所 数量 1	R07 AD 【１階】風除室（北） 数量 1	R08 AD 【１階】風除室（北） 数量 1
形状	□防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	□防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	□防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	□防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 	□防火設備 □特定防火設備 □その他( ) 
▽FL	※※図は外部側からを示す	鉄骨胴縁下地	鉄骨胴縁下地	鉄骨胴縁下地	鉄骨胴縁下地
形式	上吊式両側引分け框ドア	両側引分け自動ドア	両側引分け自動ドア	片引き自動ドア	片開き框ドア ＋ 欄間ＦＩＸ窓
材質	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）
見込	７０	７０	７０	７０	７０
ガラス	合せガラス FL5 ＋ FL5（中間膜30mil）	合せガラス FL5 ＋ FL5（中間膜30mil）	合せガラス FL5 ＋ FL5（中間膜30mil）	合せガラス FL5 ＋ FL5（中間膜30mil）	合せガラス FL5 ＋ FL5（中間膜30mil）
改修内容	付属金物一式 下枠ＳＵＳ製フラットレール、シリンダー本締錠、戸当りゴム、ＳＵＳ製大型把手 アルミ製額縁	付属金物一式、ＳＵＳ製レール、両側引分け用自動ドアエンジン、光電センサー シリンダー本締錠 アルミ製額縁	付属金物一式、ＳＵＳ製レール、両側引分け用自動ドアエンジン、光電センサー シリンダー本締錠 アルミ製額縁	付属金物一式、ＳＵＳ製レール、片引き用自動ドアエンジン、光電センサー シリンダー本締錠 アルミ製額縁	付属金物一式、ＳＵＳ製沓摺り シリンダー本締錠、レバーハンドル、ＤＣ(ストップ付き) アルミ製額縁

記号/室名/数量	
形状	
▽FL	
形式	
材質	
見込	
ガラス	
改修内容	

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	建具表（ＡＬ５）		０９４
SCALE 1/50	㈱ 千葉構造設計コンサルタント		A-94

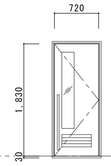
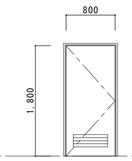
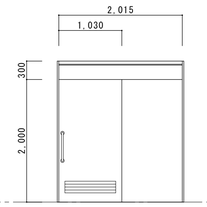
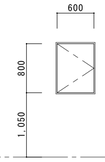
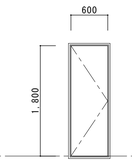
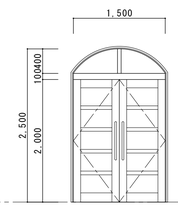
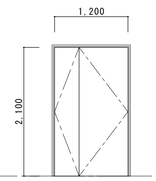
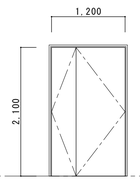
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

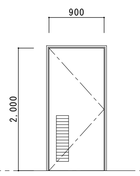
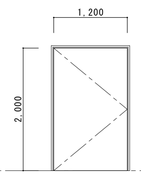
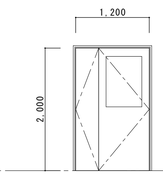
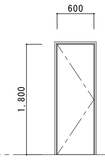
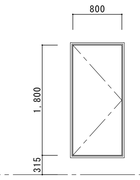
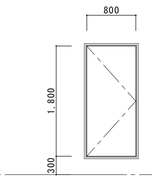
記号/室名/数量	29-1 AW 【２階】廊 下 数量 1	29-2 AW 【２階】廊 下 数量 1	数量 2
形　状	☐ 防火設備 ☐ 特定防火設備 ☐ その他（　　） 	☐ 防火設備 ☐ 特定防火設備 ☐ その他（　　） 	☐ 防火設備 ☐ 特定防火設備 ☐ その他（　　）
形　式	横滑り出し窓 + ＦＩＸ連窓	ＦＩＸ窓	
材　質	アルミ製	アルミ製	
見　込	１００	１００	
ガ ラ ス	線入磨き PW10 / 線入磨き PW6.8	線入磨き PW10 / 線入磨き PW6.8	
改修内容	1. 既存のまま ※既存枠残しにて、カバー工法改修対象	1. 既存のまま ※既存枠残しにて、カバー工法改修対象	

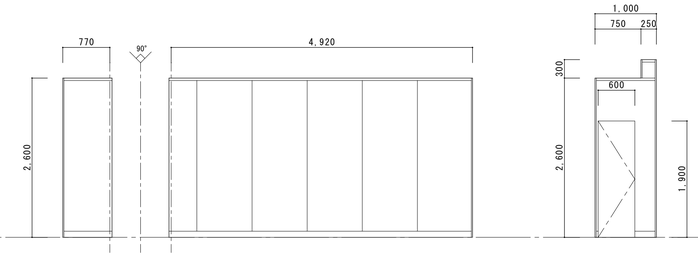
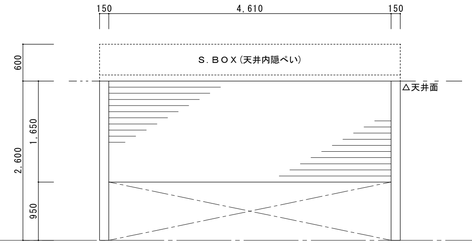
記号/室名/数量	29-1 AW 【２階】廊 下 数量 1	29-2 AW 【２階】廊 下 数量 1	数量 2
形　状	☐ 防火設備 ☐ 特定防火設備 ☐ その他（　　） 	☐ 防火設備 ☐ 特定防火設備 ☐ その他（　　） 	☐ 防火設備 ☐ 特定防火設備 ☐ その他（　　）
形　式	よこ滑り出し窓 + ＦＩＸ連窓	ＦＩＸ窓	
材　質	アルミ製（電解着色）	アルミ製（電解着色）	
見　込	７０	７０	
ガ ラ ス	複層ガラス(日射遮蔽)　外側/Low-E5 + A6 + 内側/FL5	複層ガラス(日射遮蔽)　外側/Low-E5 + A6 + 内側/FL5	
金物・備考	カバー工法改修枠、付属金物一式 カムラッチハンドル、バーヒンジ アルミ製水切り、アルミ製額縁、下部アルミ型材巾木 H=160	カバー工法改修枠、付属金物一式 アルミ製水切り、アルミ製額縁、下部アルミ型材巾木 H=160	

	市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	建具表（ＡＬ６）	０９５
	SCALE 1/50	㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-95

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

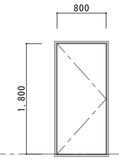
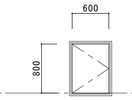
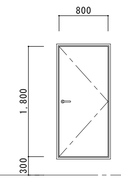
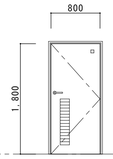
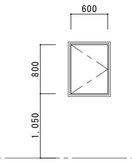
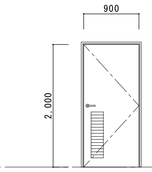
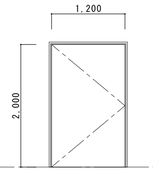
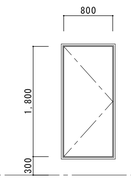
記号/室名/数量	1 SD 【１階】男子トイレ・女子トイレ 数量 2	2 SD 【１階】倉庫(1)・【２階】倉庫(3) 数量 2	4 SD 【１階】バリアフリートイレ 数量 1	5 SD 【１階】男子トイレ(ＰＳ)・階段Ｂ下ポンプ室 数量 2	6 SD 【１階】ＰＳ 数量 1	7 SD 【２階】廊 下 数量 1	8 SD 【２階】第２・第３集会室 数量 2	9 SD 【２階】第１集会室 数量 1
形状	 25	 26	 31	 28	 29	 30	 32	 32
	押棒・引手	握 玉	ドアハンドル		ケースハンドル	押棒・引手	握 玉	握 玉
形 式	片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア	上吊片引きハンガードア(壁内収蔵型)	片開き点検ドア	片開きフラッシュドア	片開き框ドア + 欄間ＦＩＸ窓	親子開きフラッシュドア	親子開きフラッシュドア
材 質	スチール製 ＳＯＰ塗装	スチール製 ＳＯＰ塗装	スチール製 ＳＯＰ塗装	スチール製 ＳＯＰ塗装	スチール製 ＳＯＰ塗装	スチール製 ＳＯＰ塗装	スチール製 ＳＯＰ塗装	スチール製 ＳＯＰ塗装
見 込	９５	９５	１３０	８６	８６	９５	９５	９５
枠取付下地	ＲＣ	ＲＣ	ＲＣ	ＣＢ / ＲＣ	ＣＢ	ＲＣ	ＲＣ	ＲＣ
ガ ラ ス	フロートガラス FL5	―	―	―	―	線入磨き Ｐ#6.8	―	―
鍵 種	―	付	付	付	付	付	付	付
改修内容	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共

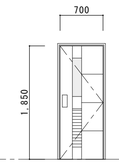
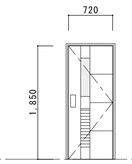
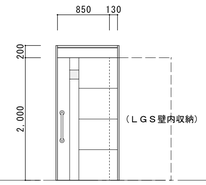
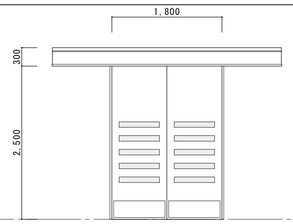
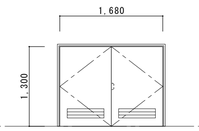
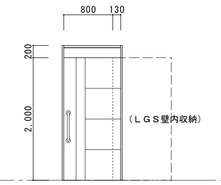
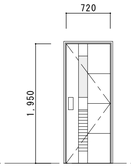
記号/室名/数量	10 SD 【２階】倉庫(2) 数量 1	11 SD 【２階】階段Ｂ 数量 1	12 SD 【２階】読書室(1) 数量 1	13 SD 【２階】倉庫(2)ＰＳ 数量 1	14 SD 【２階】階段Ｂ 数量 1	15 SD 【Ｒ階】階段Ｂ 数量 1		
形状	 34	 33	 35	 29	 53	 53		
	握 玉	握 玉	握 玉	ケースハンドル	ケースハンドル	ケースハンドル		
形 式	片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア	親子開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア		
材 質	スチール製 ＳＯＰ塗装	スチール製 ＳＯＰ塗装	スチール製 ＳＯＰ塗装	スチール製 ＳＯＰ塗装	スチール製 ＳＯＰ塗装	スチール製 ＳＯＰ塗装		
見 込	９５	９５	９５	８６	８５	８５		
枠取付下地	ＲＣ	ＲＣ	ＲＣ	ＬＧＳ	ＲＣ	ＲＣ		
ガ ラ ス	―	―	フロートガラス FL3	―	―	―		
鍵 種	付	付	付	付	付	付		
改修内容	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共		

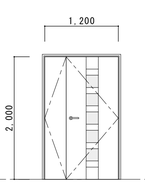
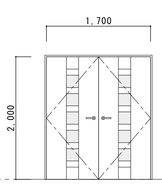
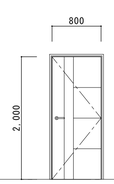
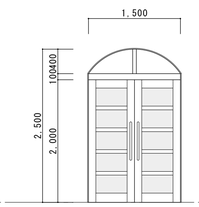
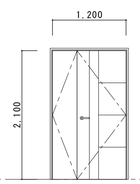
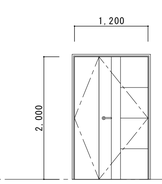
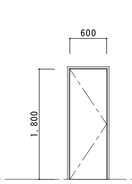
記号/室名/数量	H1 SP 【１階】出張所 数量 1	H1 SS 【１階】出張所 数量 1		
形状				
		ＳＵＳ製ガイドレール 150x100		
形 式	パーテーション	電動軽量シャッター		
材 質	スチール製 パネル：ＰＢ t=9.5 + 焼付化粧鋼板 t=1.8 @900	スチール製 スラット：着色亜鉛メッキ鋼板 t=0.8		
見 込	７０	―		
枠取付下地	ＬＧＳ	Ｓ		
ガ ラ ス	―	―		
改修内容	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共		

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	建具表（ＳＴ１）	０９６
SCALE 1/50	© ㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-96

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

記号/室名/数量	R02 SD 【１階】ＰＳ 数量 1	R03 SD 【１階】階段Ｂ下ポンプ室 数量 1	R04 SD 【Ｒ階】階段Ｂ 数量 1	R05 SD 【１階】倉庫(1)・【２階】倉庫(3) 数量 2	R06 SD 【１階】男子トイレ(ＰＳ) 数量 1	R07 SD 【２階】倉庫(2) 数量 1	R08 SD 【２階】階段Ｂ 数量 1	R09 SD 【Ｒ階】階段Ｂ 数量 1
形状								
	建具周囲防水モルタル詰め	建具周囲防水モルタル詰め	建具周囲防水モルタル詰め	建具周囲モルタル詰め		建具周囲モルタル詰め	建具周囲モルタル詰め	建具周囲モルタル詰め
形式	片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア
材質	スチール製 ＤＰ(１級)塗装	スチール製 ＤＰ(１級)塗装	スチール製 ＤＰ(１級)塗装	スチール製 ＳＯＰ塗装	スチール製 ＤＰ(１級)塗装	スチール製 ＳＯＰ塗装	スチール製 ＳＯＰ塗装	スチール製 ＳＯＰ塗装
見込	１２０	１００	８５	１００	１００	１００	１００	１００
枠取付下地	ＡＬＣ	ＲＣ	ＲＣ	ＲＣ	ＬＧＳ	ＲＣ	ＲＣ	ＲＣ
下枠形状	０６	０６	０６	０２	０４	０２	０２	０４
ガラス	－	－	－	型板ガラス Ｆ4(小明り窓)	－	－	－	－
ハンドル	ＳＵＳ製ラッチハンドル	ＳＵＳ製ラッチハンドル	ＳＵＳ製レバーハンドル	ＳＵＳ製レバーハンドル	ＳＵＳ製ラッチハンドル	ＳＵＳ製レバーハンドル	ＳＵＳ製レバーハンドル	ＳＵＳ製ケースハンドル
鍵種	シリンダー本締錠 鍵/空	シリンダー本締錠 鍵/空	シリンダー本締錠 鍵/サ	シリンダー本締錠 鍵/サ	シリンダー本締錠 鍵/空	シリンダー本締錠 鍵/サ	シリンダー本締錠 鍵/サ	シリンダー本締錠 鍵/サ
金物・備考	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無） ＳＵＳ容揺、鋼製額縁 □ 戸当り（ □床 □壁 □扉） ＳＵＳＴ番	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無） 鋼製額縁 □ 戸当り（ □床 □壁 □扉） ＳＵＳＴ番	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 ○ ＤＣ（ストップ ○有 □無） ＳＵＳ容揺、鋼製額縁 ○ 戸当り（ □床 ○壁 □扉） ＳＵＳＴ番	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 ○ ＤＣ（ストップ ○有 □無） ＳＵＳ容揺、鋼製額縁 ○ 戸当り（ □床 ○壁 □扉） ＳＵＳＴ番	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無） 鋼製額縁 □ 戸当り（ □床 □壁 □扉） ＳＵＳＴ番	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 ○ ＤＣ（ストップ ○有 □無） ＳＵＳ容揺、鋼製額縁 ○ 戸当り（ □床 ○壁 □扉） ＳＵＳＴ番	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 ○ ＤＣ（ストップ ○有 □無） ＳＵＳ容揺、鋼製額縁 ○ 戸当り（ □床 ○壁 □扉） ＳＵＳＴ番	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 ○ ＤＣ（ストップ ○有 □無） ＳＵＳ容揺、鋼製額縁 ○ 戸当り（ □床 ○壁 ○扉） ＳＵＳＴ番

記号/室名/数量	R01 LSD 【１階】男子トイレ 数量 1	R02 LSD 【１階】女子トイレ 数量 1	R03 LSD 【１階】バリアフリートイレ 数量 1	R04 LSD 【１階】プレイルーム 数量 1	R05 LSD 【１階】プレイルーム（物入(2)(3)） 数量 3	R06 LSD 【１階】地域活動室 数量 1	R07 LSD 【２階】男子トイレ・女子トイレ 数量 2
形状							
形式	片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア	自閉式上吊片引きハンガードア	上吊両側引分けハンガードア	両開きフラッシュドア	上吊片引きハンガードア	片開きフラッシュドア
材質	軽量スチール製 扉仕上/木目調化粧鋼板 t=0.6	軽量スチール製 扉仕上/木目調化粧鋼板 t=0.6	軽量スチール製 扉仕上/木目調化粧鋼板 t=0.6	軽量スチール製 扉仕上/木目調化粧鋼板 t=0.6	軽量スチール製 扉仕上/木目調化粧鋼板 t=0.6	軽量スチール製 扉仕上/木目調化粧鋼板 t=0.6	軽量スチール製 扉仕上/木目調化粧鋼板 t=0.6
見込	１００	１００	１４０	２０５	１００	１４０	１００
枠取付下地	ＲＣ	ＲＣ	ＬＧＳ	ＲＣ	ＬＧＳ	ＬＧＳ	ＲＣ
下枠形状	０３	０３	０３	０１	０２	０３	０３
ガラス	型板強化ガラス t=4	型板強化ガラス t=4	型板ガラス t=4	型板強化ガラス t=4	－	－	型板強化ガラス t=4
ハンドル	ＳＵＳ製押板・引板	ＳＵＳ製押板・引板	ＳＵＳ製バーハンドル L=450	ＳＵＳ製埋込取手	欠込み取手	ＳＵＳ製バーハンドル L=450	ＳＵＳ製押板・引板
鍵種	－	－	表示錠	シリンダー本締錠 鍵/サ	－	シリンダー本締錠 鍵/サ	－
金物・備考	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 ○ ＤＣ（ストップ ○有 □無） 化粧鋼板製三方枠 ○ 戸当り（ □床 □壁 ○扉） 換気ガラリ	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 ○ ＤＣ（ストップ □有 ○無） 化粧鋼板製三方枠 ○ 戸当り（ □床 □壁 ○扉） 換気ガラリ	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ ○有 □無） 化粧鋼板製三方枠 □ 戸当り（ □床 □壁 □扉）	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無） 化粧鋼板製三方枠 ○ 戸当り（ ○床 □壁 □扉） 下部ＳＵＳ製キックガード	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無） 化粧鋼板製三方枠 □ 戸当り（ □床 □壁 □扉） 換気ガラリ	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無） 化粧鋼板製三方枠 □ 戸当り（ □床 □壁 □扉）	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 ○ ＤＣ（ストップ □有 ○無） 化粧鋼板製三方枠 ○ 戸当り（ □床 □壁 ○扉） 換気ガラリ

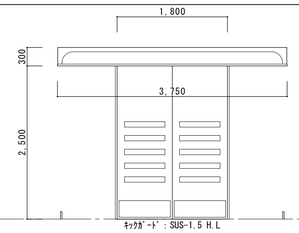
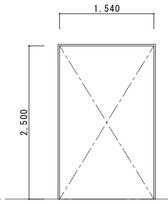
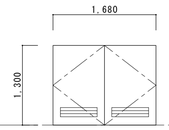
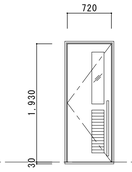
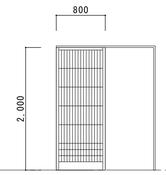
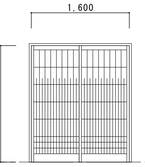
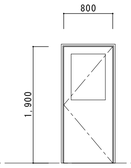
記号/室名/数量	R08 LSD 【２階】学習室 数量 1	R09 LSD 【２階】多目的室２ 数量 1	R10 LSD 【２階】物入Ｂ 数量 1	R11 LSD 【２階】廊 下 数量 1	R12 LSD 【２階】集会室 数量 3	R13 LSD 【２階】多目的室１ 数量 1		R10 SD 【２階】倉庫(2)ＰＳ 数量 1
形状								
形式	親子開きフラッシュドア	両開きフラッシュドア(ＳＡＴ)	片開きフラッシュドア	両開きフラッシュドア	親子開きフラッシュドア	親子開きフラッシュドア		片開きフラッシュドア
材質	軽量スチール製 扉仕上/木目調化粧鋼板 t=0.6	軽量スチール製 扉仕上/木目調化粧鋼板 t=0.6	軽量スチール製 扉仕上/木目調化粧鋼板 t=0.6	軽量スチール製 扉仕上/木目調化粧鋼板 t=0.6	軽量スチール製 扉仕上/木目調化粧鋼板 t=0.6	軽量スチール製 扉仕上/木目調化粧鋼板 t=0.6		スチール製 ＳＯＰ塗装
見込	２２０	１９５	１９５	１００	１７０	１３０		１００
枠取付下地	ＬＧＳ	ＬＧＳ	ＬＧＳ	ＲＣ	ＲＣ	ＲＣ		ＬＧＳ
下枠形状	０３	０３	０３	０１	０２	０３		０１
ガラス	型板強化ガラス t=4	型板強化ガラス t=4	－	型板強化ガラス t=4	－	－		－
ハンドル	ＳＵＳ製レバーハンドル	ＳＵＳ製レバーハンドル	ＳＵＳ製レバーハンドル	ＳＵＳ製バーハンドル L=600	ＳＵＳ製レバーハンドル	ＳＵＳ製レバーハンドル		ＳＵＳ製ラッチハンドル
鍵種	シリンダー本締錠 鍵/サ	シリンダー本締錠 鍵/サ	シリンダー本締錠 鍵/サ	シリンダー本締錠 鍵/サ	シリンダー本締錠 鍵/サ	シリンダー本締錠 鍵/サ		シリンダー本締錠 鍵/空
金物・備考	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 ○ ＤＣ（ストップ ○有 □無） 化粧鋼板製三方枠 □ 戸当り（ □床 □壁 □扉） フランス落し	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 ○ ＤＣ（ストップ ○有 □無） 化粧鋼板製三方枠 □ 戸当り（ □床 □壁 □扉） フランス落し	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 ○ ＤＣ（ストップ ○有 □無） 化粧鋼板製三方枠 ○ 戸当り（ □床 □壁 ○扉）	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 ○ ＤＣ（ストップ ○有 □無） 化粧鋼板製三方枠 ○ 戸当り（ ○床 □壁 □扉） フランス落し	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 ○ ＤＣ（ストップ ○有 □無） 化粧鋼板製三方枠 ○ 戸当り（ ○床 □壁 □扉） フランス落し	○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 ○ ＤＣ（ストップ ○有 □無） 化粧鋼板製三方枠 ○ 戸当り（ ○床 □壁 □扉） フランス落し		○ 付属金物一式 ○ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無） ＳＵＳ容揺、鋼製額縁 □ 戸当り（ □床 □壁 □扉） ＳＵＳＴ番

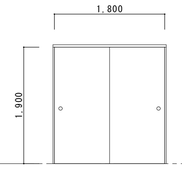
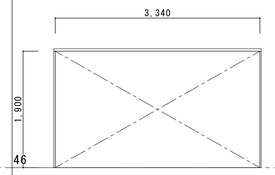
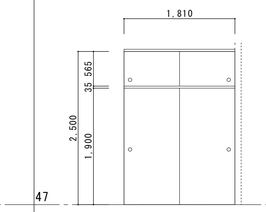
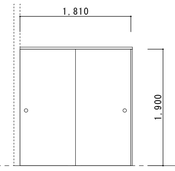
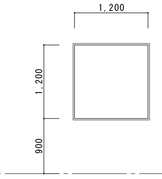
■下枠容揺形状 凡例

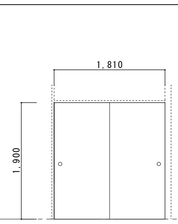
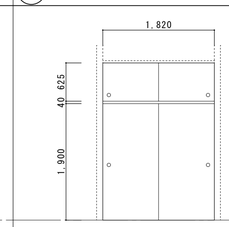
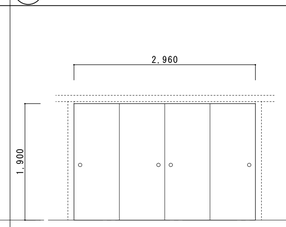
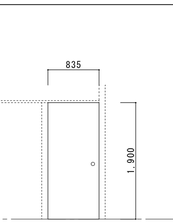
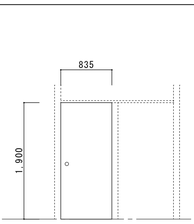
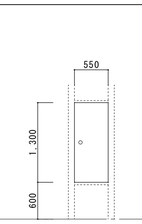
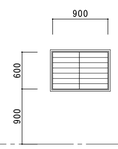
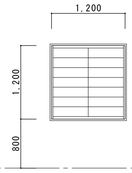
０１	０２	０３	０４	０５	０６
 無し	 コ型	 目地棒		 （ＳＡＴ）	 （外部用）

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		建具表（ＳＴ２）	０９７
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-97

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

記号/室名/数量	1 WD 【１階】プレイルーム 数量 1	2 WD 【１階】物入(1) 数量 1	3 WD 【１階】プレイルーム 数量 3	5 WD 【２階】男子トイレ・女子トイレ 数量 2	8 WD 【２階】談話室踏込 数量 1	9 WD 【２階】和室踏込 数量 1	H1 WD 【１階】出張所 数量 1
形状	 36	 37	 38	 40	 44	 42	
	埋込取手		ケースハンドル	押棒・引手	掘込引手	掘込引手	
形式	両側引分けフラッシュドア	木製四方枠（旧引違いドア枠）	両開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア	片引き化粧格子ドア	引違い化粧格子ドア	片開きフラッシュドア
材質	木 製 表面材：ナラ合板ＵＣ塗装	木 製	木 製 表面材：桜合板ＵＣ塗装	木 製 表面材：シナベニヤＳＯＰ塗装	木 製 杉無垢材	木 製 杉無垢材	木 製 表面材：ポリ合板
見込	２０５	１００	１５０	９５	１９０	１００	１００
枠取付下地	ＲＣ	ＲＣ	ＲＣ	ＲＣ	ＬＧＳ	ＲＣ	ＬＧＳ
ガラス	線入磨き PW6.8	―	型板板ガラス F4	―	フロート板ガラス FL3	フロート板ガラス FL3	フロート板ガラス FL3
鍵種	付	―	付(南京錠)	―	付	付	付
改修内容	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共

記号/室名/数量	1 WFD 【２階】談話コーナー 数量 1	2 WFD 【２階】談話室(1) 数量 1	3 WFD 【２階】談話室(2)押入 数量 1	4 WFD 【２階】談話室(2) 数量 1		1 WW 【２階】談話室(1)	
形状	 45	 46	 47	 48		 58	
形式	引違い襖	木製四方枠（旧引違いドア枠）	引違い襖(２段)	引違い襖		ＦＩＸ窓	
材質	木 製 表面材：新鳥の子襖紙貼り	木 製	木 製 表面材：新鳥の子襖紙貼り	木 製 表面材：新鳥の子襖紙貼り		木 製	
見込	１３７	１００	１００	１００		１３７	
枠取付下地	ＬＧＳ	ＲＣ	Ｗ	Ｗ		ＬＧＳ	
ガラス	―	―	―	―		線入磨き PW6.8	
鍵種	―	―	―	―		―	
改修内容	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共		1. 撤去,処分 枠共	

記号/室名/数量	1 FD 【２階】和 室	2 FD 【２階】和 室(押入)	3 FD 【２階】和 室	4 FD 【２階】水 屋	5 FD 【２階】水 屋	6 FD 【２階】水 屋(物入)	1 PD 【２階】水 屋	2 PD 【２階】談話室(1)
形状								
形式	引違い襖	引違い襖(２段)	４枚建て引違い襖	片引き襖	片引き襖	片開き襖	障 子	障 子
材質	木 製 表面材：新鳥の子襖紙貼り	木 製 表面材：新鳥の子襖紙貼り	木 製 表面材：新鳥の子襖紙貼り	木 製 表面材：新鳥の子襖紙貼り	木 製 表面材：新鳥の子襖紙貼り	木 製 表面材：新鳥の子襖紙貼り	木 製 杉材	木 製 杉材
見込	１００	１００	１５０	１００	１００	１００	１００	１３７
枠取付下地	Ｗ	Ｗ	Ｗ	Ｗ	Ｗ	Ｗ	Ｗ	Ｗ
ガラス	―	―	―	―	―	―	―	―
鍵種	―	―	―	―	―	―	―	―
金物・備考	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共	1. 撤去,処分 枠共

記号/室名/数量	
形状 ▽FL	
形式	
材質	
見込	
枠取付下地	
ガラス	
鍵種	
金物・備考	

市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

建具表（Ｗ１）

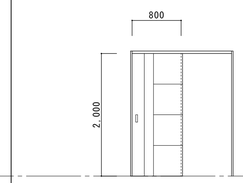
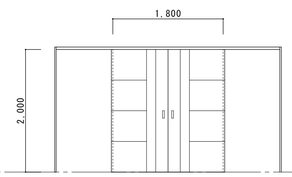
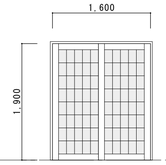
０９８

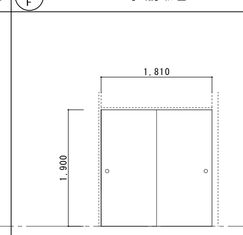
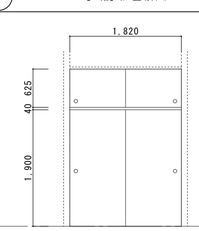
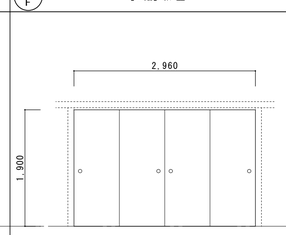
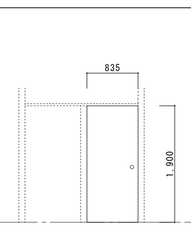
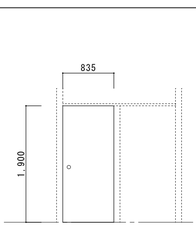
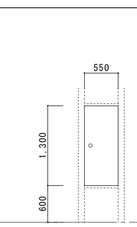
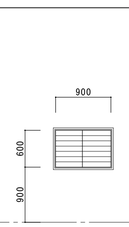
SCALE 1/50

㈱ 千葉構造設計コンサルタント

A-98

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

記号/室名/数量	R01 WD 【１階】授乳室 数量 1	R02 WD 【２階】物入Ｂ・物入Ｃ 数量 2	R03 WD 【２階】和 室（踏込） 数量 1	
形　状				
形　式	片引きフラッシュドア	両側引分けフラッシュドア	引違い框ドア	
材　質	木 製　扉仕上/木目調樹脂シート貼り	木 製　扉仕上/木目調樹脂シート貼り	木 製　扉仕上/木目調樹脂シート貼り	
見　込	１５０	１５０	１００	
枠取付下地	ＬＧＳ	ＬＧＳ	ＲＣ	
下枠形状	Ｖレール	Ｖレール	Ｖレール	
ガ ラ ス	－	－	型板強化ガラス t=4	
ハンドル	掘込引手	掘込引手	掘込引手	
鍵　種	表示錠	－	シリンダー本締錠　鍵/サ	
金物・備考	◯ 付属金物一式　◯ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無）　化粧鋼板製三方枠 □ 戸当り（ □床 □壁 □扉）	◯ 付属金物一式　◯ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無）　化粧鋼板製三方枠 □ 戸当り（ □床 □壁 □扉）	◯ 付属金物一式　◯ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無）　化粧鋼板製三方枠 □ 戸当り（ □床 □壁 □扉）	

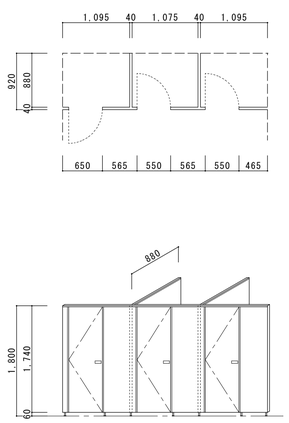
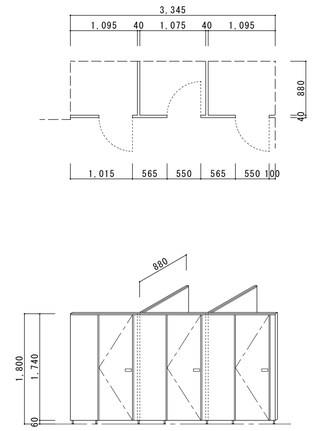
記号/室名/数量	R01 F 【２階】和 室	R02 F 【２階】和 室（押入）	R03 F 【２階】和 室	R04 F 【２階】水 屋	R05 F 【２階】水 屋	R06 F 【２階】水 屋（物入）	R01 障子 【２階】水 屋	
形　状								
形　式	引違い襖	引違い襖（２段）	４枚建て引違い襖	片引き襖	片引き襖	片開き襖	障 子	
材　質	木 製　表面材：新鳥の子襖紙貼り	木 製　表面材：新鳥の子襖紙貼り	木 製　表面材：新鳥の子襖紙貼り	木 製　表面材：新鳥の子襖紙貼り	木 製　表面材：新鳥の子襖紙貼り	木 製　表面材：新鳥の子襖紙貼り	木 製　杉材	
見　込	１００	１００	１５０	１００	１００	１００	１００	
枠取付下地	Ｗ	Ｗ	Ｗ	Ｗ	Ｗ	Ｗ	Ｗ	
ガ ラ ス	－	－	－	－	－	－	－	
鍵　種	－	－	－	－	－	－	－	
金物・備考	◯ 付属金物一式　□ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無） □ 戸当り（ □床 □壁 □扉）	◯ 付属金物一式　□ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無） □ 戸当り（ □床 □壁 □扉）	◯ 付属金物一式　□ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無） □ 戸当り（ □床 □壁 □扉）	◯ 付属金物一式　□ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無） □ 戸当り（ □床 □壁 □扉）	◯ 付属金物一式　□ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無） □ 戸当り（ □床 □壁 □扉）	◯ 付属金物一式　□ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無） □ 戸当り（ □床 □壁 □扉）	◯ 付属金物一式　□ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無） □ 戸当り（ □床 □壁 □扉）	

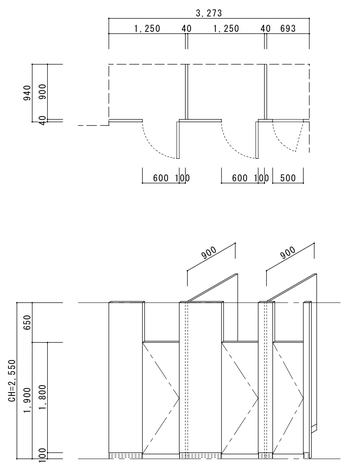
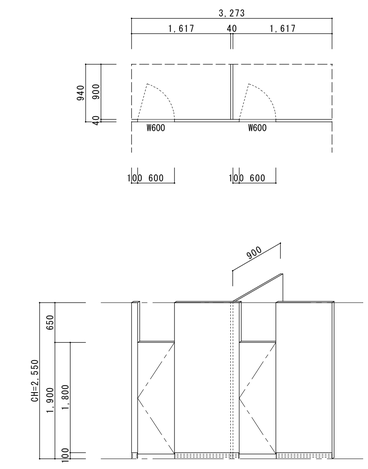
市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

建具表（Ｗ２）　０９９

SCALE 1/50

㈱ 千葉構造設計コンサルタント　A-99
一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

記号/室名/数量	1 AW 【１・２階】男子トイレ 数量 2	2 TB 【１・２階】女子トイレ 数量 2
形　状		
形　式	トイレブース	トイレブース
材　質	表面材：メラミン化粧合板	表面材：メラミン化粧合板
改修内容		

記号/室名/数量	R01 TB 【１・２階】男子トイレ 数量 2	R02 TB 【１・２階】女子トイレ 数量 2
形　状		
形　式	トイレブース	トイレブース
材　質	芯材：ペーパーコア	芯材：ペーパーコア

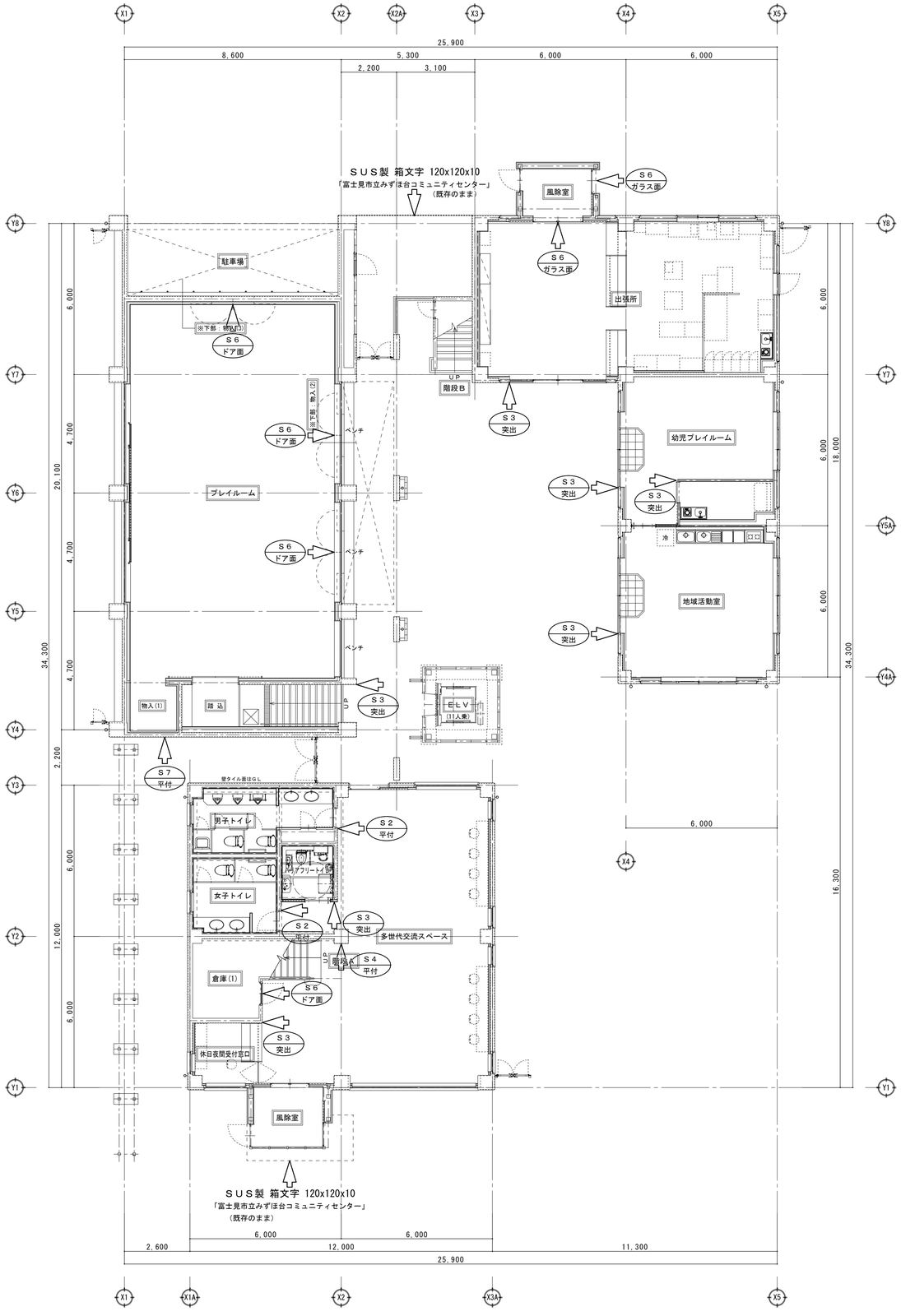
■トイレブース・共通仕様

パネル	基材	高圧メラミン樹脂化粧板
	表面仕上	木目柄
	芯　材	ペーパーコア
	パネル厚	４０
ド　ア	表面材	高圧メラミン樹脂化粧板
	表面仕上	木目柄
	芯　材	ペーパーコア
	パネル厚	４０
金物類	中心吊りアルミアールエッジ（指挟み防止仕様）	
	アルミ笠木(焼付塗装)，ＳＵＳ製巾木（H=100）	
	戸当り帽子掛け	
	笠木レス戸当り	
	表示付きスライドロック錠	

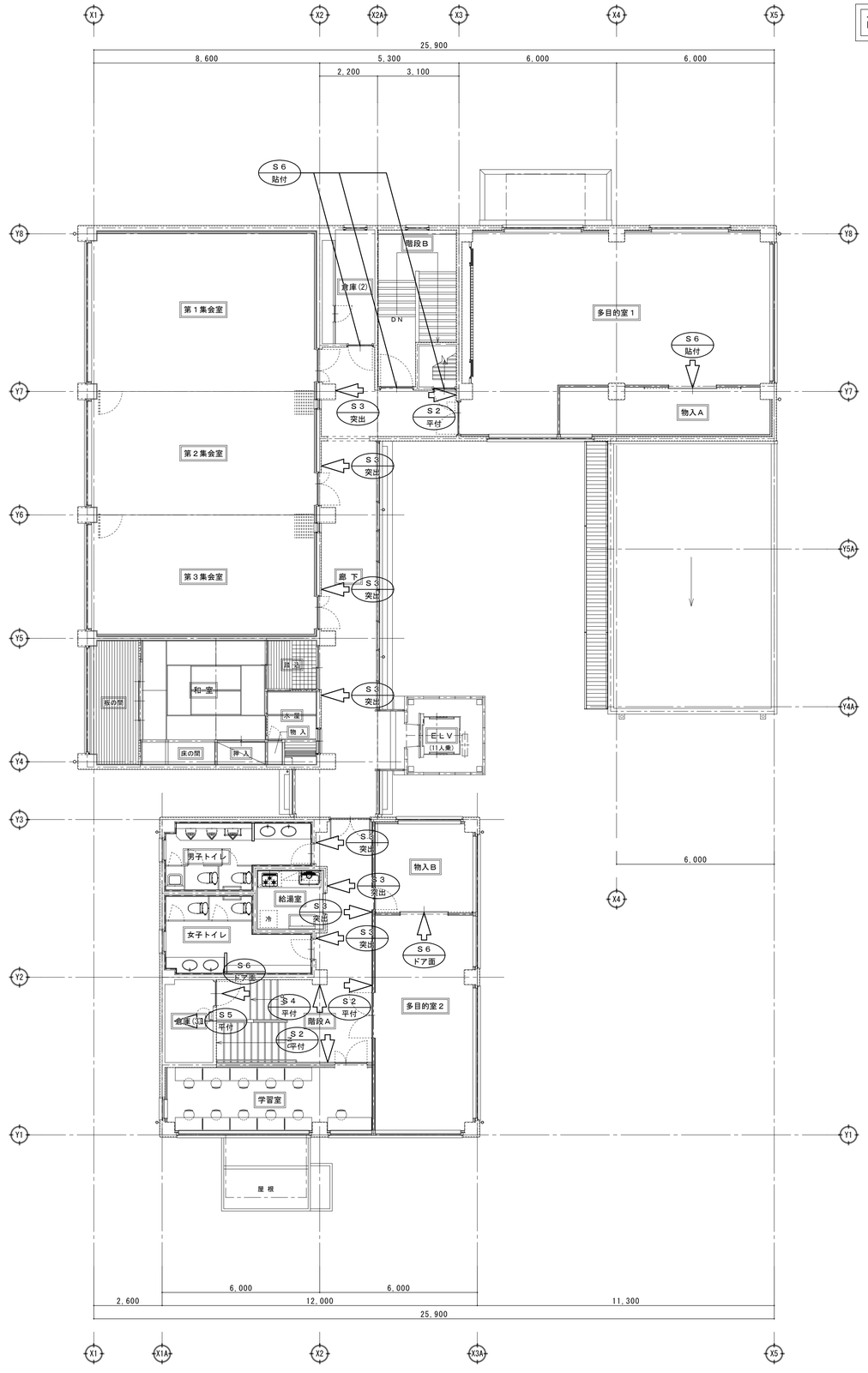
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		建具表（ＴＢ）	１００
SCALE 1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-100

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

改修後



1 階 平 面 図 S=1/100



2 階 平 面 図 S=1/100

■ 注記）

・取付位置は参考位置とする。詳細は現場打合せの上決定とする。

また、施工者にて室名称、表示ピクト等を記載したサイン図を作成の上、発注者、監理者、監修者の承認を持って決定とする事。

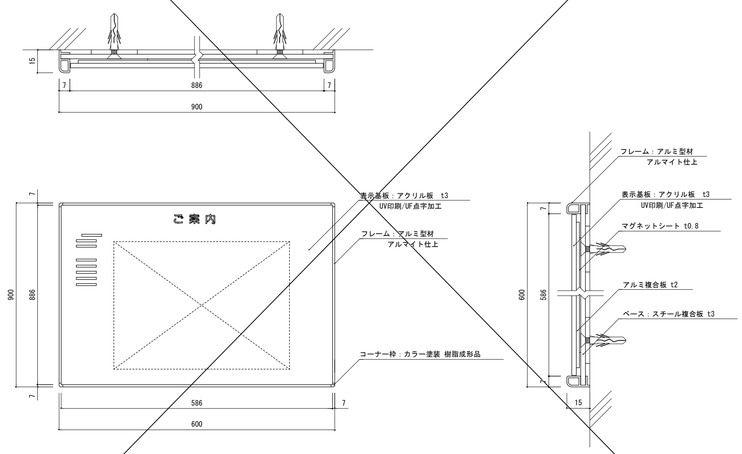
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		サインｋｅｙｐｌａｎ	１０１
SCALE 1/100		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-101

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

S1 平付　点字触知図付き施設案内板

縮尺 1/2 1/10　数量：1

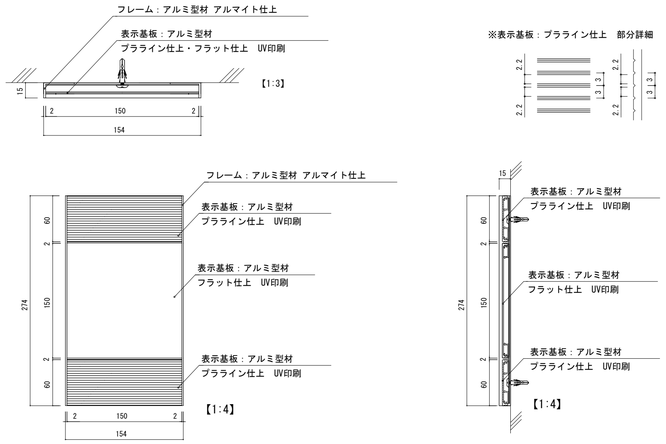
表示基板：アクリル板 t=3
表示方法：ＵＶ印刷, ＵＦ点字加工
フレーム：アルミ型材 アルマイト仕上
注記）案内図、表記内容は現場打合せにて決定とする



S2 平付　ピクトサイン付き室名表示サイン（平付）

縮尺 1/2 1/4　数量：5

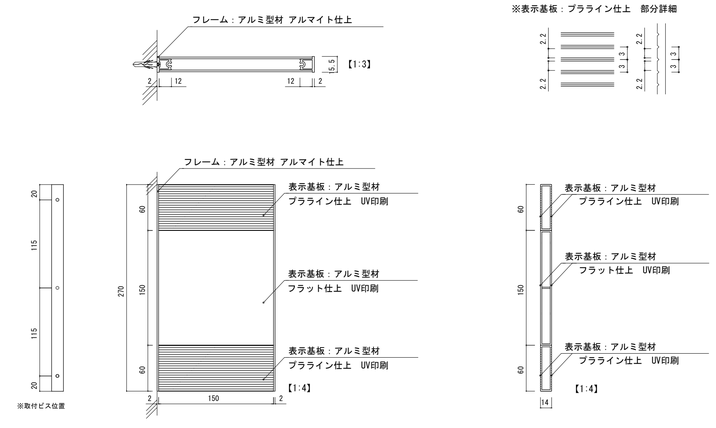
表示基板：アルミ型材　ブララリン仕上, フラット仕上
表示方法：ＵＶ印刷
フレーム：アルミ型材 アルマイト仕上
注記）表示ピクト、表記室名は現場打合せにて決定とする



S3 突出　ピクトサイン付き室名表示サイン（突出）

縮尺 1/2 1/4　数量：15

表示基板：アルミ型材　ブララリン仕上, フラット仕上
表示方法：ＵＶ印刷
フレーム：アルミ型材 アルマイト仕上
注記）表示ピクト、表記室名は現場打合せにて決定とする



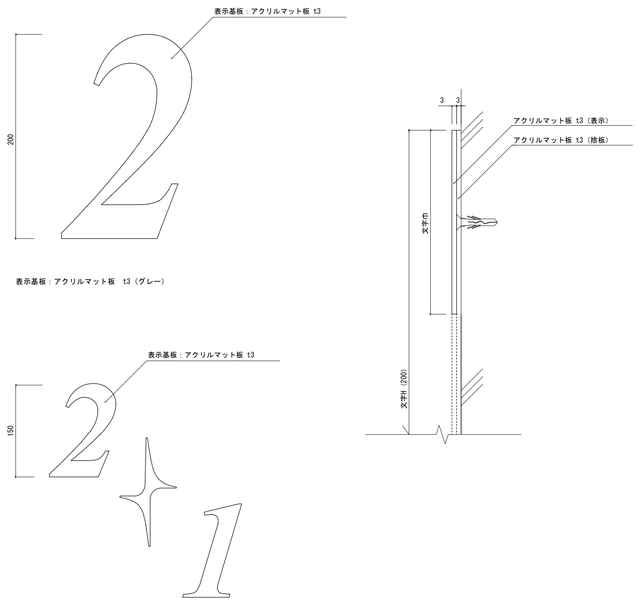
S4 平付　階数表示サイン

縮尺 1/2 1/3　数量：2

S5 平付　踊り場用階数表示サイン

縮尺 1/2 1/5　数量：1

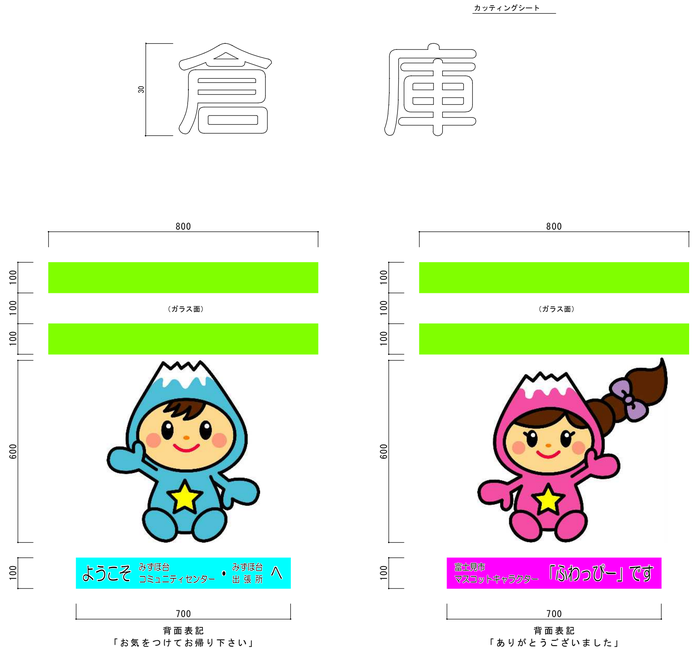
表示基板：アクリルマット板 t=3



S6 貼付　シート文字・キャラクターサイン

縮尺 1/1　箇所：12

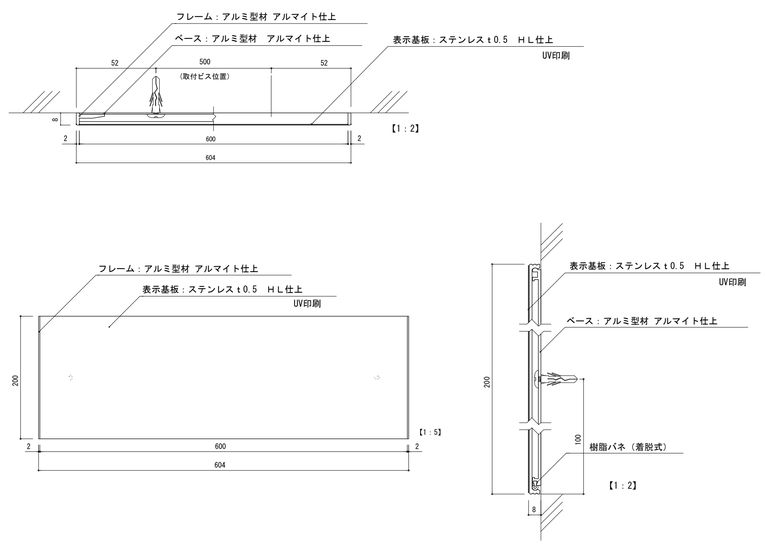
表示基板：カッティングシート切り文字　ドアパネル直面貼り（一部ガラス面直貼り）
注記）表記室名は現場打合せにて決定とする
注記）１階風除室前は施設名 + 市キャラクターのサインを予定とする。キャラクターについては工事時に発注者からデザインデータを提供するものとする



S7 平付　案内表示サイン（平付）

縮尺 1/2 1/5　数量：1

表示基板：ＳＵＳ t=0.5 Ｈ.Ｌ
表示方法：ＵＶ印刷
フレーム：アルミ型材 アルマイト仕上
注記）表記内容は現場打合せにて決定とする



市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

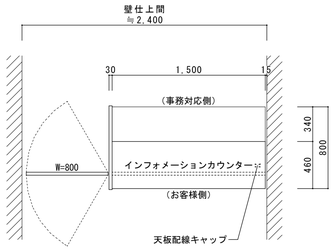
サイン詳細図　102

SCALE 1/1～10

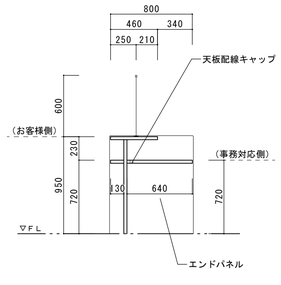
㈱ 千葉構造設計コンサルタント　A-102

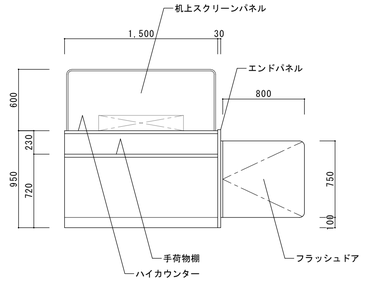
一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

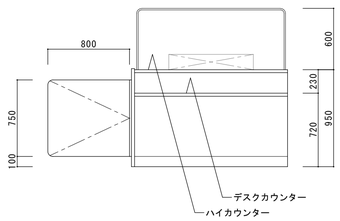
受付カウンターＡ



受付カウンターＡ		数量： 1
仕 様：連結型インフォメーションカウンター		
天 板	メラミン化粧板 t=30	
	小口：ＰＶＣ樹脂押出材エッジ	
棚 板	メラミン化粧板 t=30	
	小口：ＰＶＣ樹脂押出材エッジ	
パネル	ポリエステル化粧ＭＤＦ合板 t=30	
巾 木	ＳＵＳ製 H=100	
ド ア	グレビティヒンジ付きフラッシュドア 内外開閉式	
その他	付属金物一式，スチール製連結用金具	
	スクリーンパネル：アルミアングルフレーム式アクリルパネル t=5 H=600	
	天板配線キャップ x1	

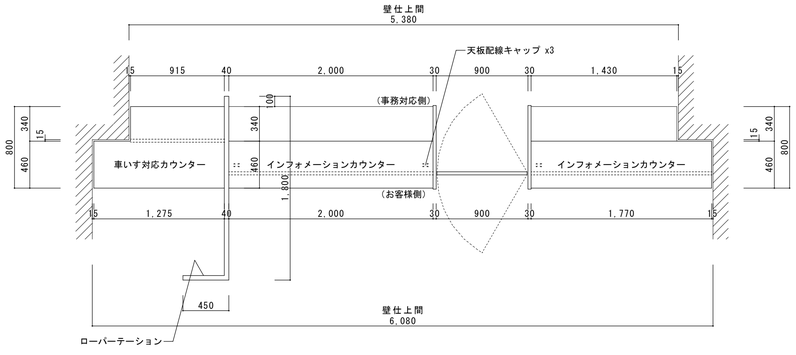






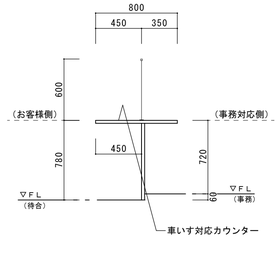
受付カウンターＢ・Ｃ・Ｄ

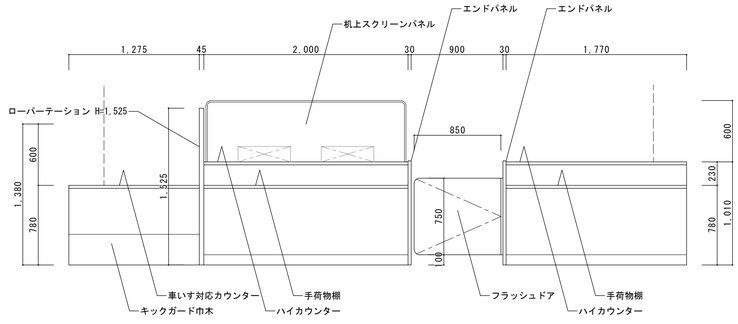
パーテーション		数量： 1
仕 様：目隠しパーテーション H=1,525（既製品1,200・600・450）		
パネル材質	表面：スチール(塗装クロス)芯材：ペーパーコア	
笠 木	アルミ押出材 アルマイト仕上げ（AL）	
エンドカバー	アルミニウム	
巾 木	スチール	
その他	付属金物一式(ｼﾞｮｲﾝﾄ，ｴﾝﾄﾞｶﾊﾞｰ含む)，	
	安定脚(両面×1，片面×1)，床固定金具	

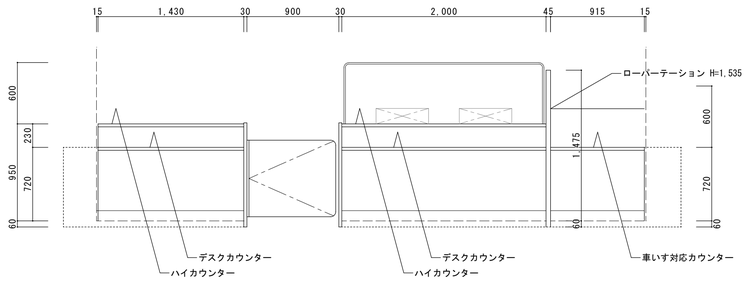


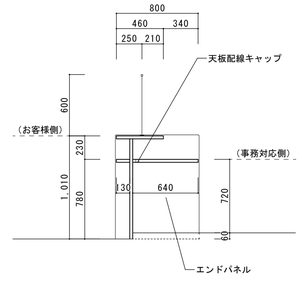
受付カウンターＢ・Ｃ		数量： 1
仕 様：連結型インフォメーションカウンター		
天 板	メラミン化粧板 t=30	
	小口：ＰＶＣ樹脂押出材エッジ	
棚 板	メラミン化粧板 t=30	
	小口：ＰＶＣ樹脂押出材エッジ	
パネル	ポリエステル化粧ＭＤＦ合板 t=30	
巾 木	ＳＵＳ製 H=100	
ド ア	グレビティヒンジ付きフラッシュドア 内外開閉式	
その他	付属金物一式，スチール製連結用金具	
	机上スクリーンパネル：アルミアングルフレーム式アクリルパネル t=5 H=600	
	天板配線キャップ x3	

受付カウンターＤ		数量： 1
仕 様：車いす対応カウンター		
天 板	メラミン化粧板 t=30	
	小口：ＰＶＣ樹脂押出材エッジ	
パネル	ポリエステル化粧ＭＤＦ合板 t=30	
巾 木	ＳＵＳ製キックガード H=300	
その他	付属金物一式	
	机上スクリーンパネル：アルミアングルフレーム式アクリルパネル t=5 H=600	





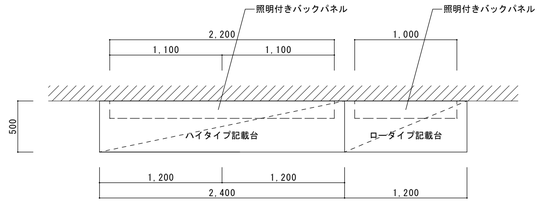


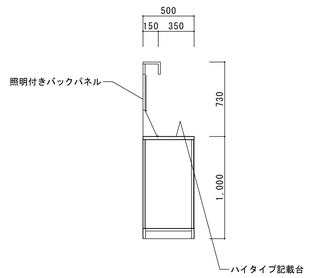


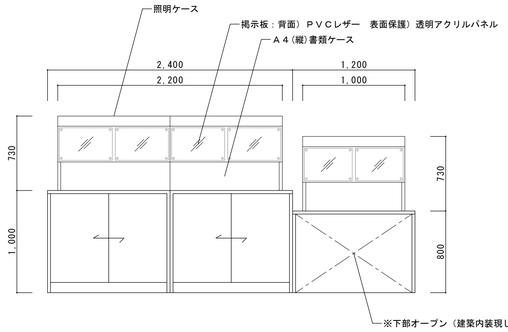
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		家具詳細図１	１０３
SCALE 1/30		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-103

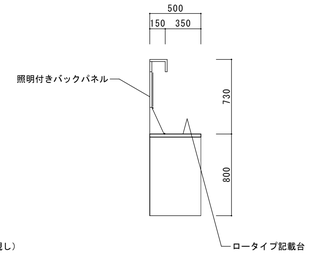
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

記載台Ａ・Ｂ





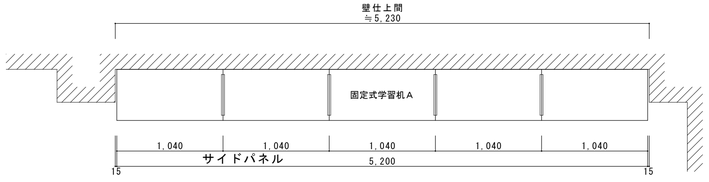


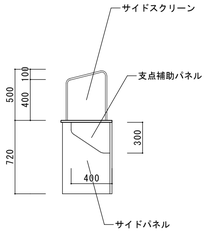


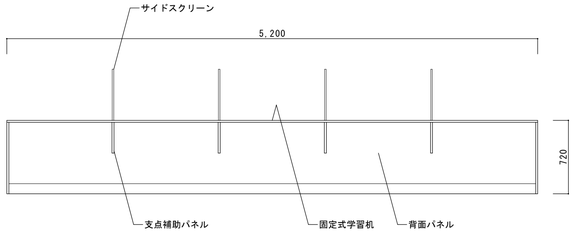
記載台Ａ		数量：１
仕 様：下部収納扉付きハイタイプ記載台 ＋ 照明付きバックパネル		
天　板	メラミン化粧板 t=30	
	小口：ＡＢＳ樹脂エッジ	
	保護板：硬質塩ビ製デスクマット	
パネル	ポリエステル化粧ＭＤＦ合板 t=30	
引　戸	ポリエステル化粧ＭＤＦ合板	
バックパネル	照明ケース：ポリエステル化粧合板張り	
	照明：ＬＥＤ照明 100V	
	掲示板：背面）ＰＶＣレザー　表面保護）透明アクリルパネル	
	ＳＵＳ製ポイントフィックス固定	
	書類ケース：Ａ４(縦)　ポリエステル化粧合板張り	
その他	付属金物一式	
	ペンホルダー x2	

記載台Ｂ		数量：１
仕 様：下部開放型ロータイプ記載台 ＋ 照明付きバックパネル		
天　板	メラミン化粧板 t=30	
	小口：ＡＢＳ樹脂エッジ	
	保護板：硬質塩ビ製デスクマット	
パネル	ポリエステル化粧ＭＤＦ合板 t=30	
バックパネル	照明ケース：ポリエステル化粧合板張り	
	照明：ＬＥＤ照明 100V	
	掲示板：背面）ＰＶＣレザー　表面保護）透明アクリルパネル	
	ＳＵＳ製ポイントフィックス固定	
	書類ケース：Ａ４(縦)　ポリエステル化粧合板張り	
その他	付属金物一式	
	ペンホルダー x1	

学習机



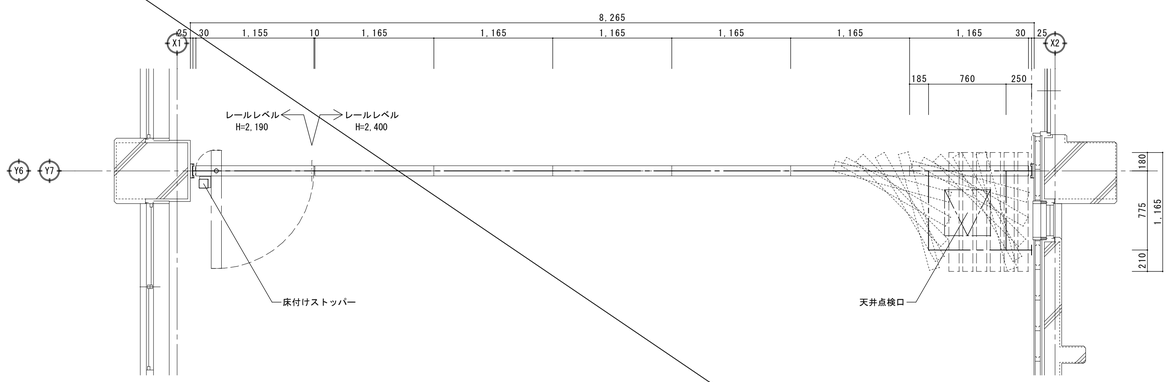




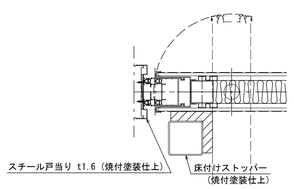
学習机Ａ		数量）Ａ：２
仕 様：背面パネル付き固定式学習机（製作家具）		
天　板	メラミン化粧板 t=30	
	小口：ＰＶＣ樹脂押出材エッジ	
パネル	ポリエステル化粧ＭＤＦ合板 t=30	
巾　木	ＳＵＳ製 H=100	
その他	付属金物一式，スチール製補助支持金物	
	スクリーンパネル：アルミアングルフレーム式アクリルパネル t=5 H=600	

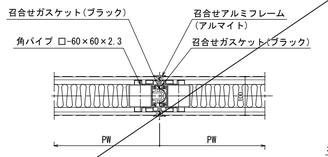
室名/数量　【２階】集会室　数量 2

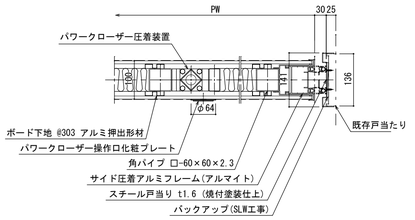
形　状



平　面　図　S=1/30

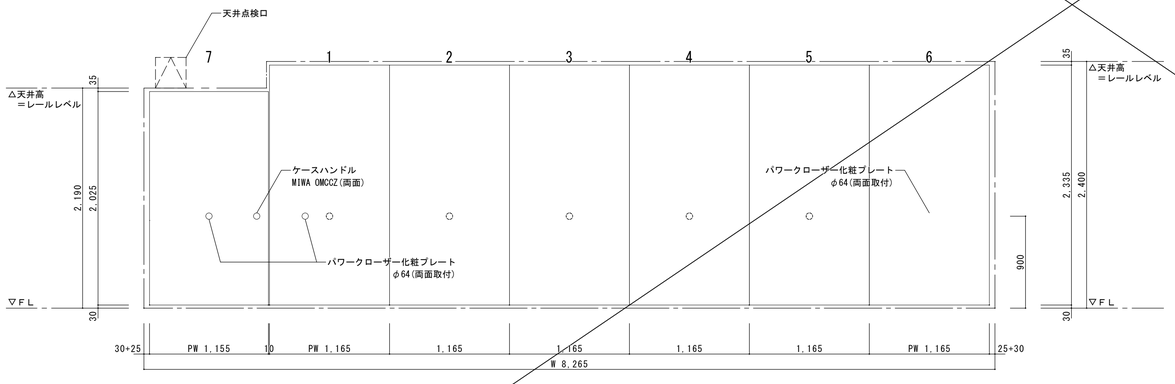




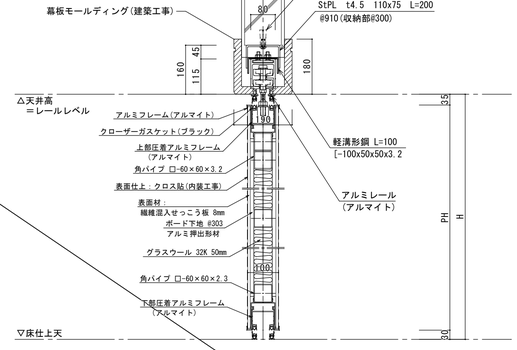


横　断　詳　細　図　S=1/10

スライディングウォール：２か所
【参考】小松ランニング RW-100D　パネル重量 160kg/枚　145kg/枚



展　開　図　S=1/30



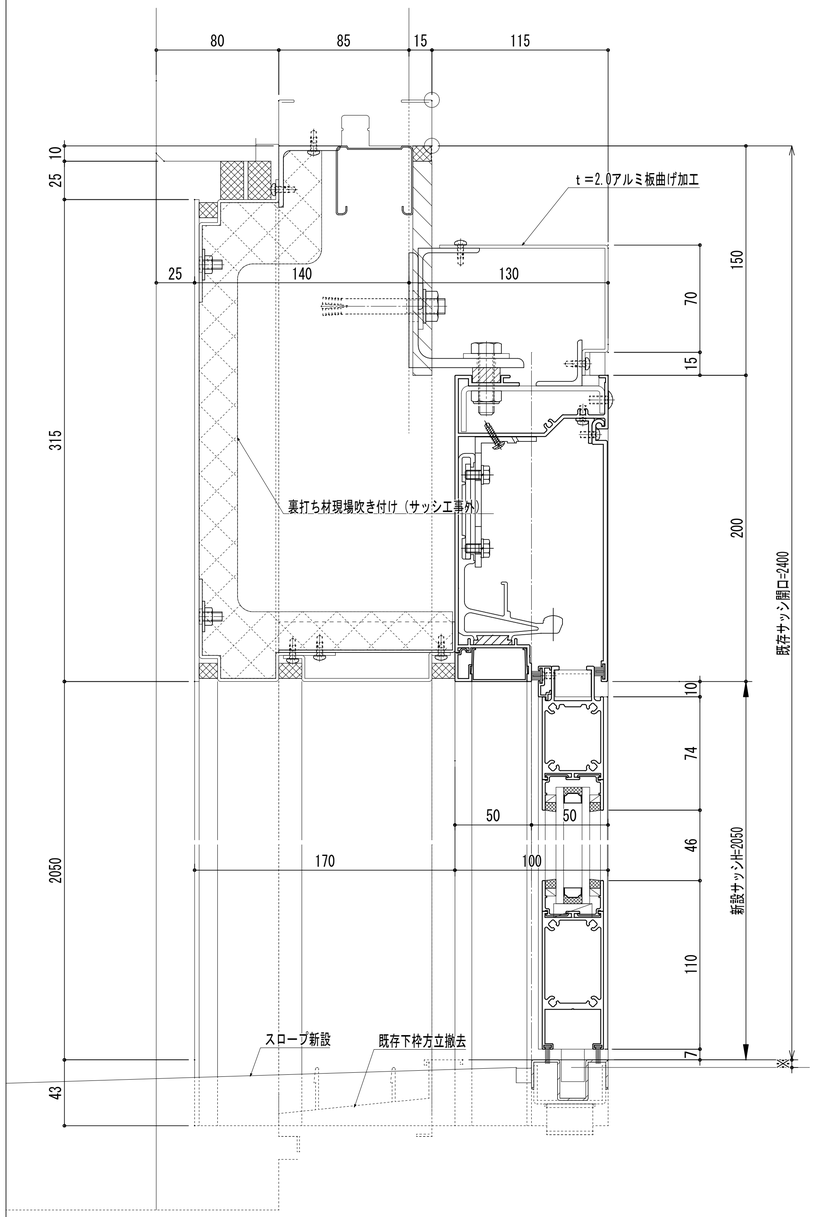
縦断詳細図・レール取付断面図　S=1/10

■スライディングウォール・共通仕様

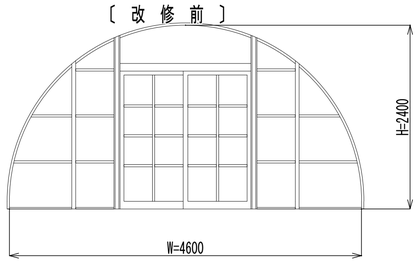
レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)
		コーナー部 直角レール
ランナー仕様	走行輪	水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)
	吊ボルト	M 16
パネル仕様	表面仕上	ビニルクロス貼り(内装工事)
	表面材	繊維混入せっこう板 8mm
	充填材	グラスウール 32K 50mm
	骨組	鉄骨造
	フレーム	アルミ押出形材（アルマイト処理）
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
	下部シールド	機械駆動式

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）			スライディングウォール詳細図	１０５
SCALE　1/30	1/10		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-105

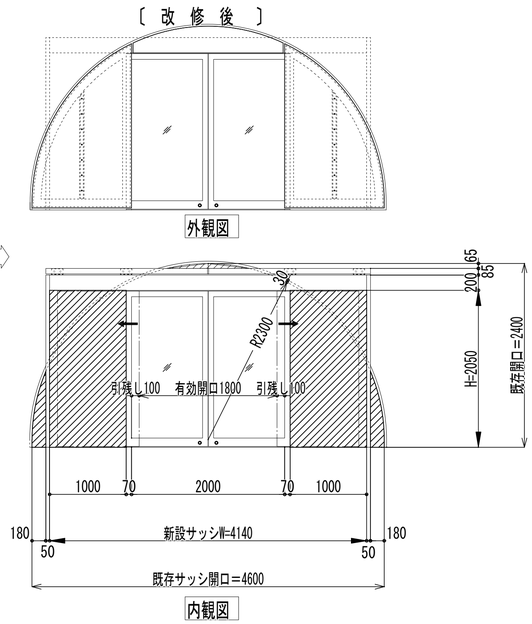
一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

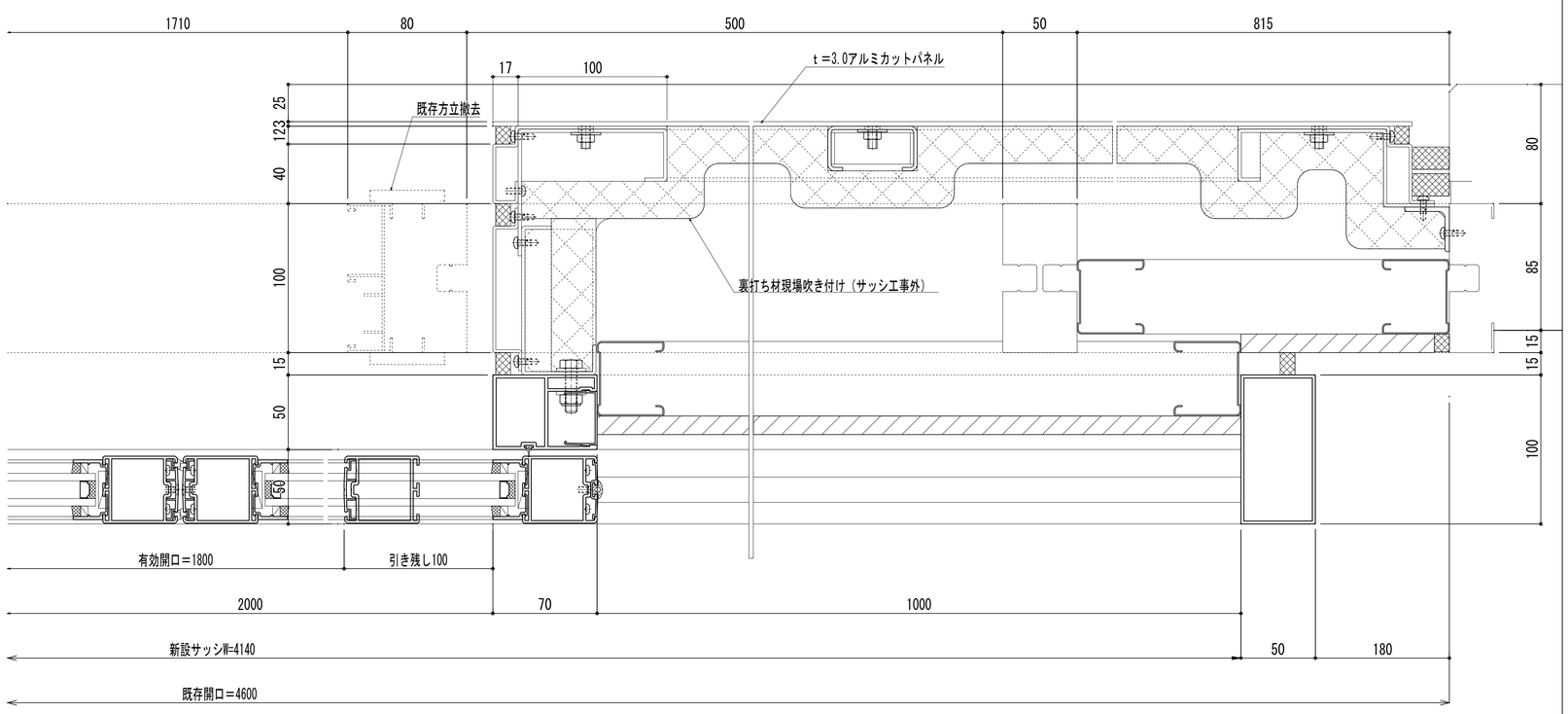


〔 改 修 前 〕



〔 改 修 後 〕





市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	アルミサッシ参考図（１）		１０６
SCALE　１：２	設計	製図	㈱ 千葉構造設計コンサルタント　A-106

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

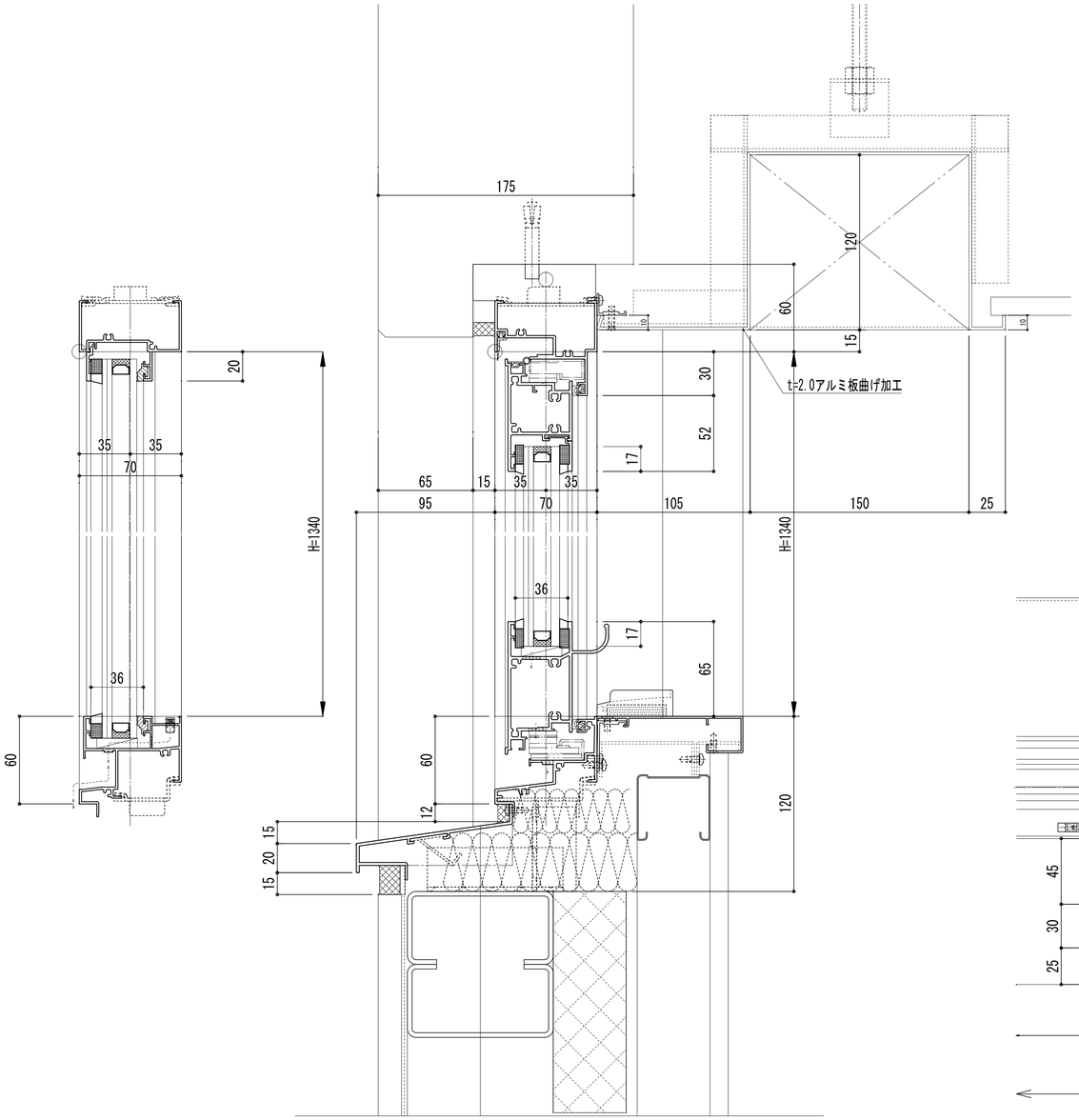
AW-12B

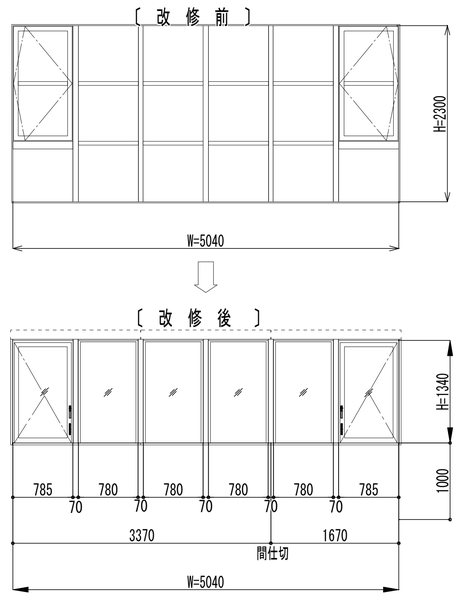
個別防火

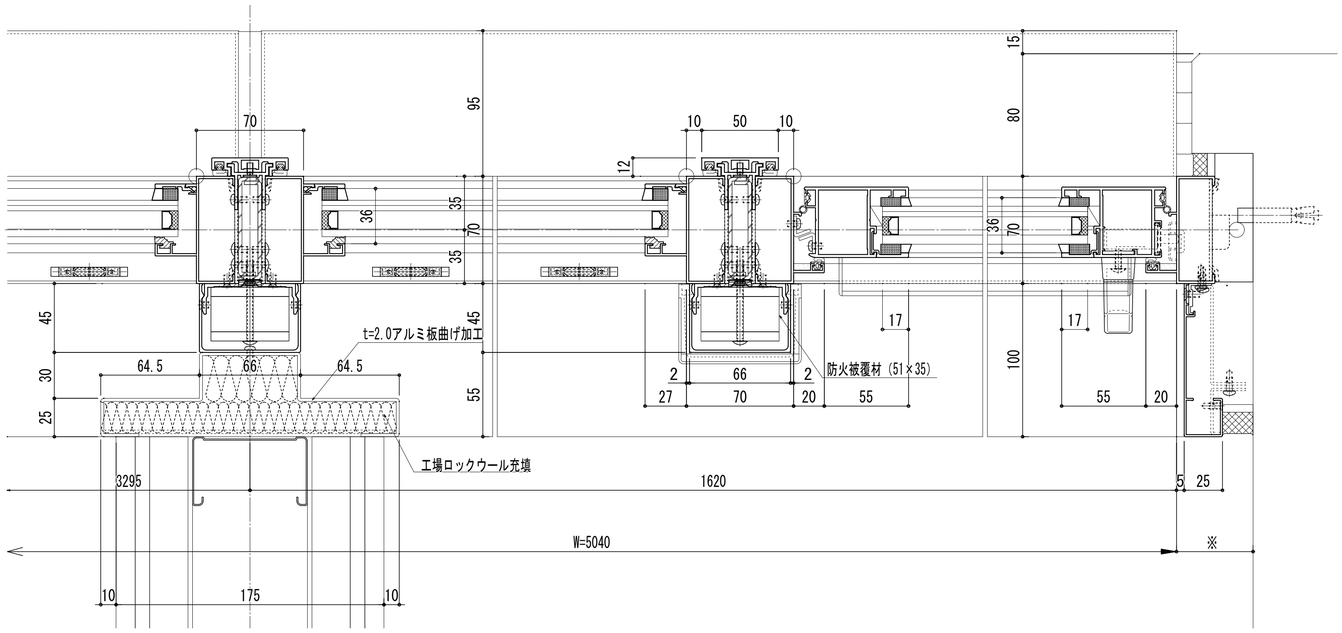
内観図

仕様
参考品番：FP-AT70P,FNS-Ⅱ70
開口形式：タテスベリ出し窓・FIX
枠見込：70mm
ガラス溝幅：36mm
耐風圧性　：S-5（2400Pa）
気密性　　：A-4（2等級）
水密性　　：1000Pa
遮音性　　：T-2（30等級）

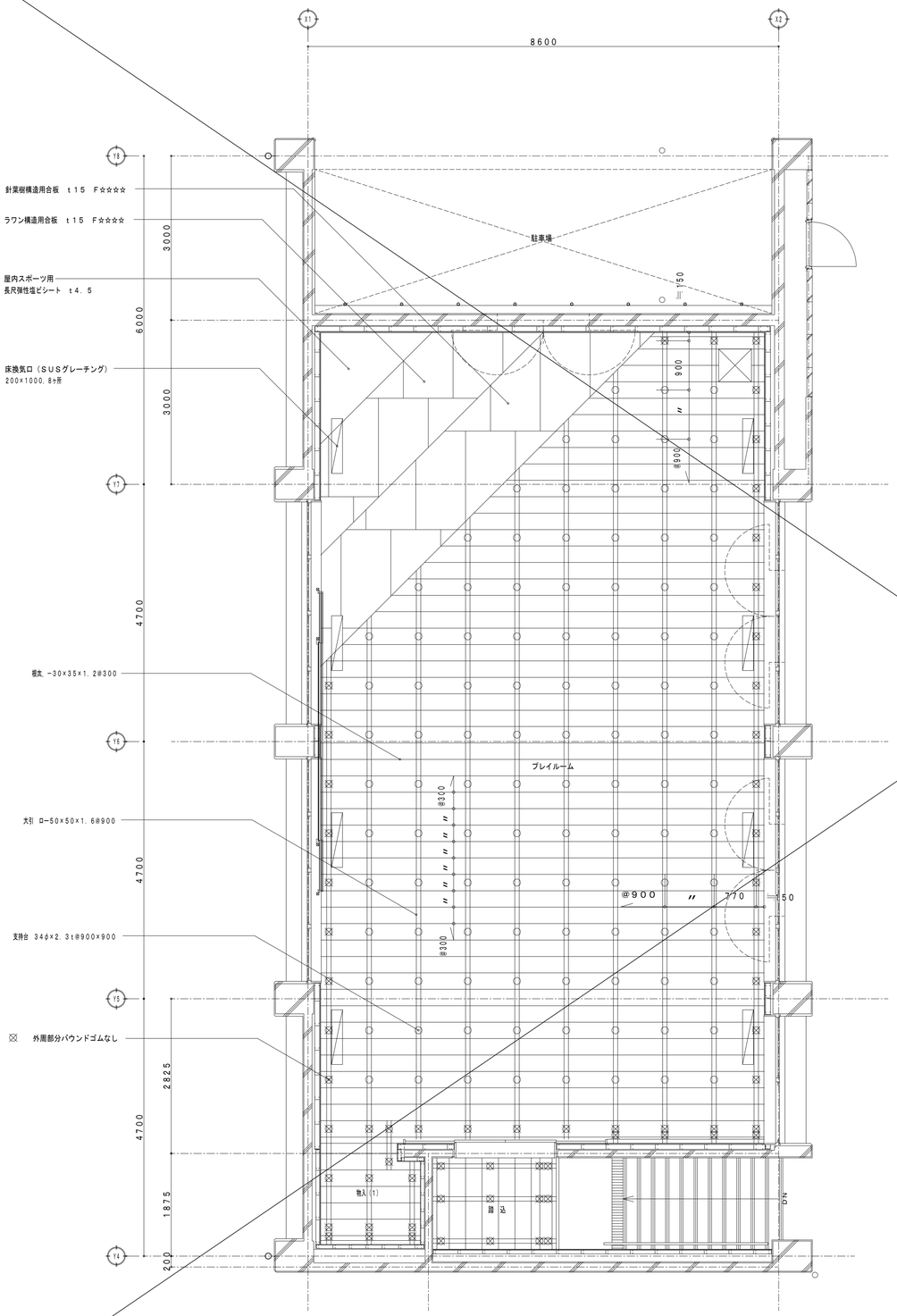
ガラス仕様：外PW6.8+A12+内Low-E5



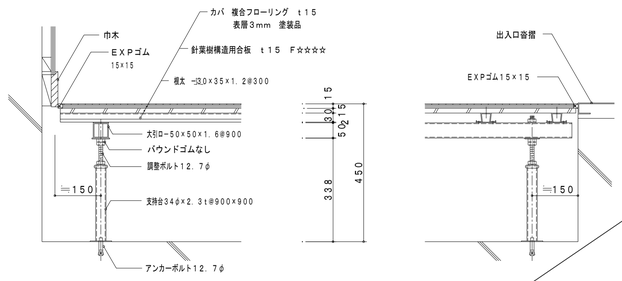




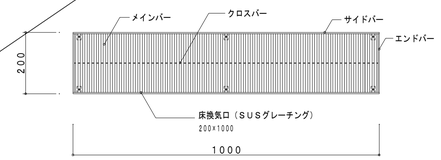
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		アルミサッシ（防火設備）参考図（２）	１０７
SCALE　１：２	設計　製図	㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-107
一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市			



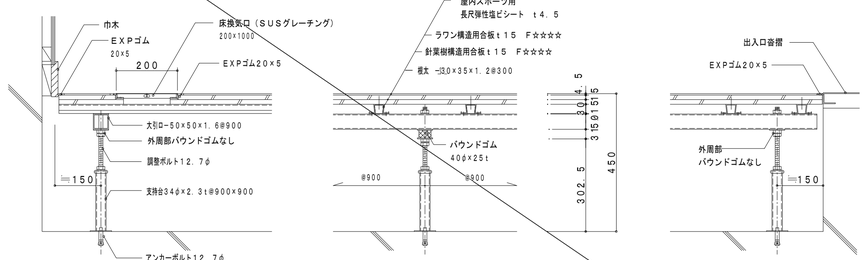
プレイルーム　床伏図　Ｓ＝１／５０



踏　込　断面詳細図　Ｓ＝１／１０



床下換気口　姿図　Ｓ＝１／１０



プレイルーム　断面詳細図　Ｓ＝１／１０

床仕上及び下地仕様

アリーナ 物入（1）	屋内スポーツ用 長尺弾性塩ビシート　t４．５ 捨張　ラワン構造用合板　t１５ 捨張　針葉樹構造用合板　t１５ 外周及び換気口廻り　EXPゴム20×5	踏　込	複合フローリングｔ１５（表層カバ　3mm） 塗装品 捨張　針葉樹構造用合板　t１５ 外周及び換気口廻り　EXPゴム15×15

鋼製床下地仕様

アリーナ 900-1-50B H=450 外周廻り 物入（1）	根太　－30×35×1．2@300 大引　ロ－50×50×1．6@900 ○ バウンドゴム　40φ×25t 調整ボルト　12．7φ 支持台　34φ×2．3t@900×900 ホークアンカー12．7φ（オールアンカー固定） ☒ バウンドゴム　なし	踏　込 900-1-50B H=450	根太　－30×35×1．2@300 大引　ロ－50×50×1．6@900 ☒ バウンドゴム　無し 調整ボルト　12．7φ 支持台　34φ×2．3t@900×900 ホークアンカー12．7φ（オールアンカー固定）

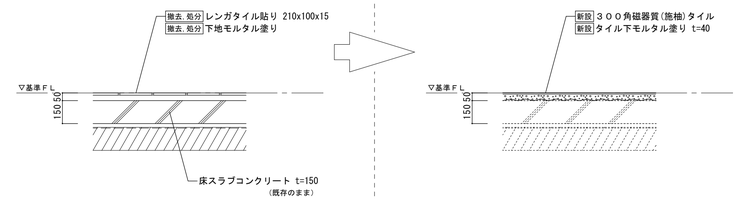
機器類

床換気口（ＳＵＳグレーチング） 200×1000	計　8台
床下点検口（アルミ枠）蝶付 600×600	計　1台

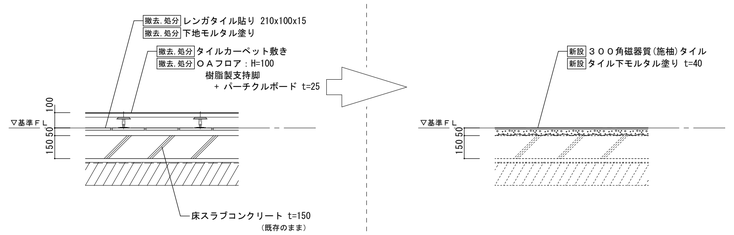
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		プレイルーム　床伏図・断面詳細図	１０８
SCALE　1/10　1/50		©　㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-108

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

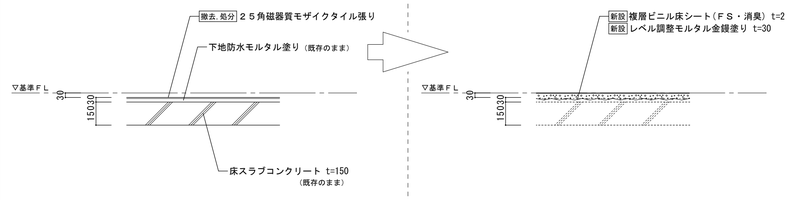
【床改修詳細１】



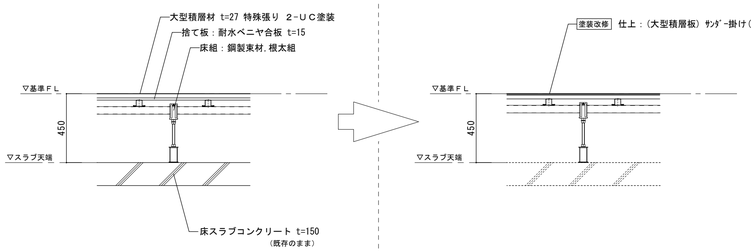
【床改修詳細２】



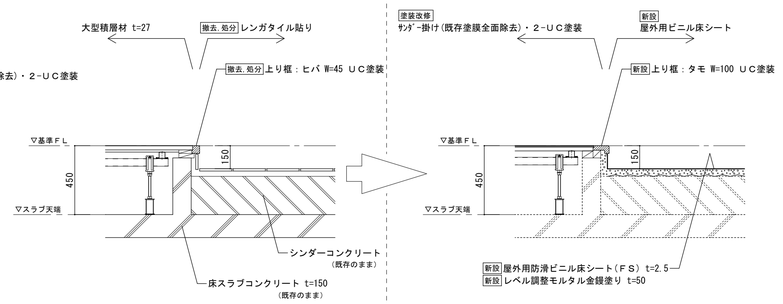
【床改修詳細３】



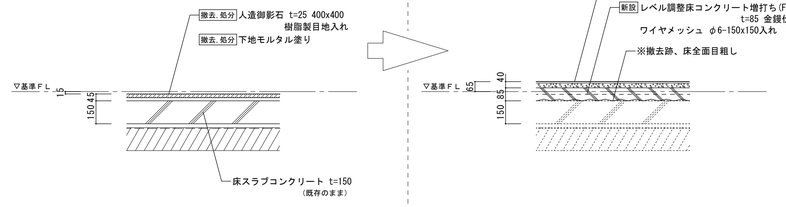
【床改修詳細４】



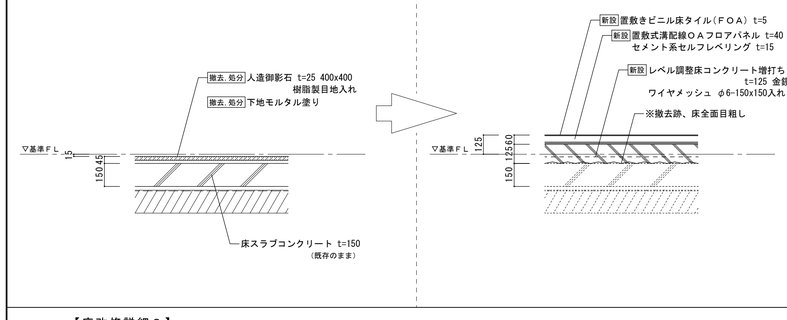
【床改修詳細５】



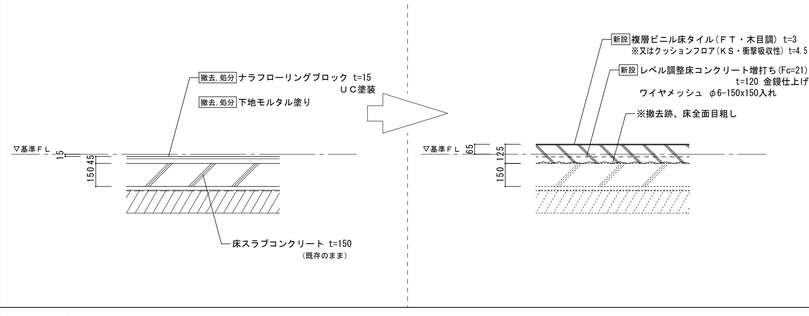
【床改修詳細６－１】



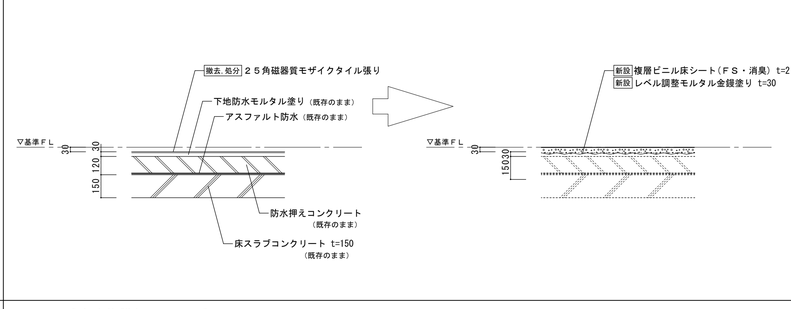
【床改修詳細６－２】



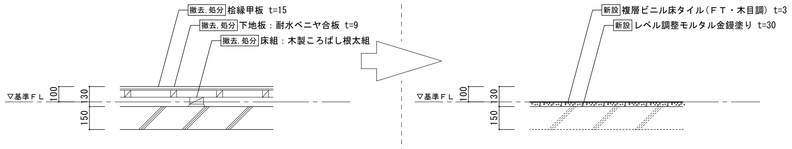
【床改修詳細７】



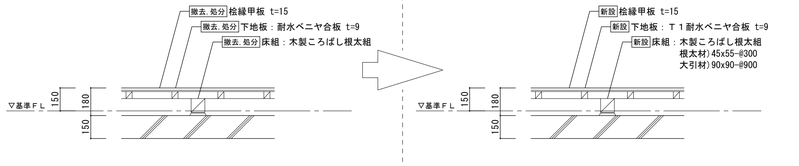
【床改修詳細８】



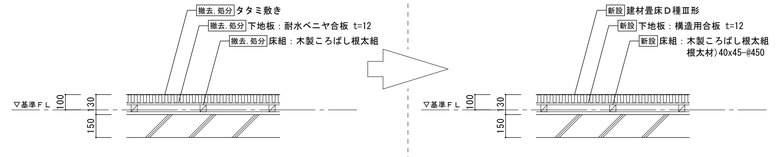
【床改修詳細９】



【床改修詳細１０－１】



【床改修詳細１０－２】

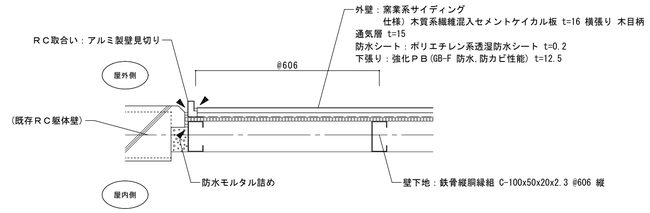


市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		部分詳細図１	１０９
SCALE 1/20		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-109

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

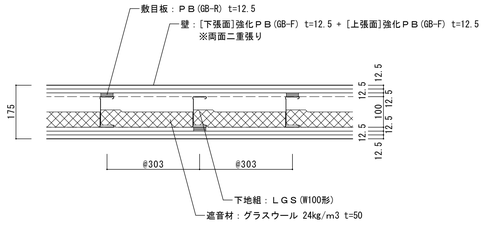
【防火構造外壁詳細図】 S=1/10

参考）防火構造認定仕様 PC030NE-3902(1) ニチハ/プラスター・モエン外壁防火構造



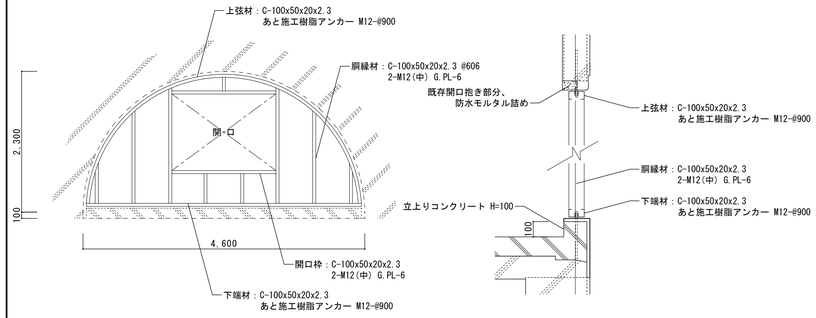
【遮音構造壁詳細図】 S=1/10

参考）吉野石膏/Ｓ１２・Ｗ１数目板タイプ ＴＬｐ−５０



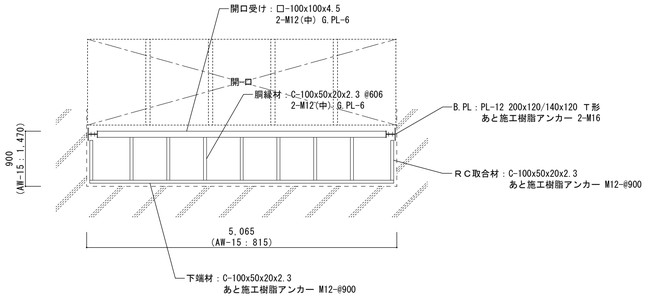
【開口閉鎖壁 鉄骨胴縁組詳細図：AW-07,08】 S=1/50

注記）
・躯体寸法現場計測の上、鋼材製作,加工の事



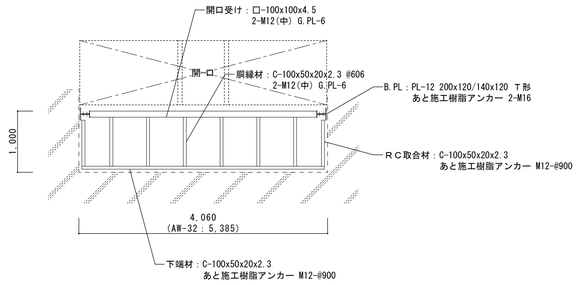
【開口閉鎖壁 鉄骨胴縁組詳細図：AW-12,13,15】 S=1/50

注記）
・躯体寸法現場計測の上、鋼材製作,加工の事

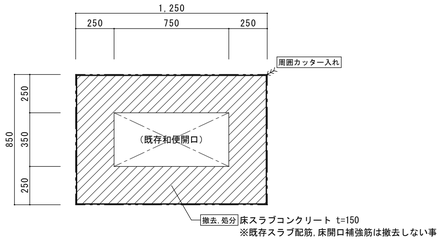


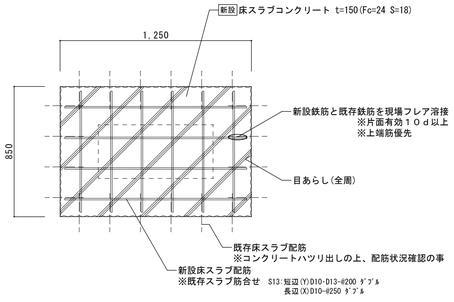
【開口閉鎖壁 鉄骨胴縁組詳細図：AW-17,18,32】 S=1/50

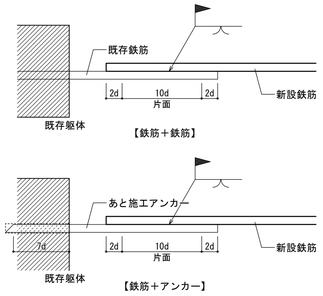
注記）
・躯体寸法現場計測の上、鋼材製作,加工の事



【既存和便器床開口閉塞詳細図】 S=1/20





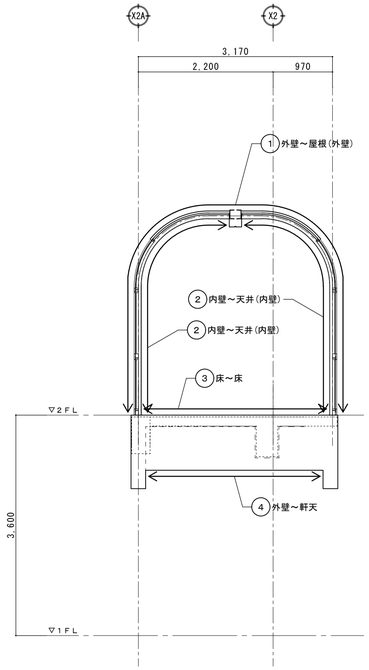


注記）
・床スラブ撤去指定範囲内において、ＲＣ梁,壁等が取合っていて床スラブ鉄筋のハツリ出しが困難な場合には
あと施工樹脂アンカー：Ｄ１６を床配筋ピッチと同ピッチにて打込み、定着をとる事。

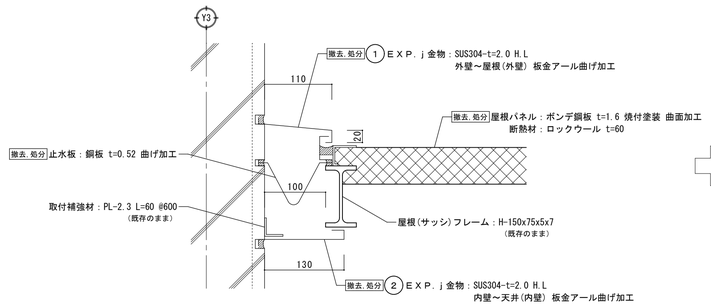
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）				部分詳細図２	１１０
SCALE	1/10	1/50	1/20	㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-110

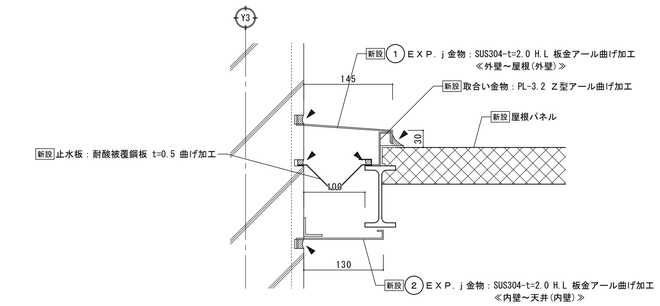
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

【ＥＸＰ．ｊキープラン】 S=1/50

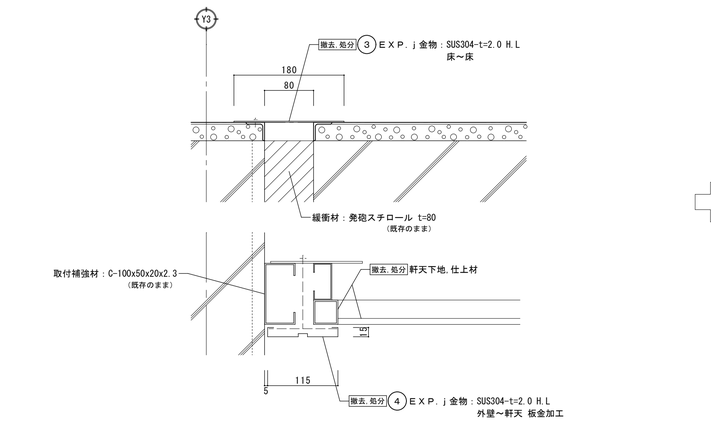


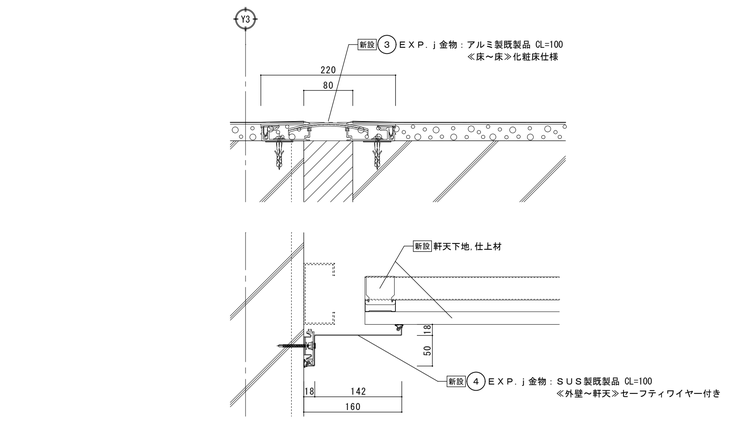
【ＥＸＰ．ｊ詳細図１、２】 S=1/5





【ＥＸＰ．ｊ詳細図３、４】 S=1/5





市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）			ＥＸＰ．ｊ詳細図	１１１
SCALE 1/50	1/5		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	A-111

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

構造設計標準仕様書

※本仕様書に記載なき事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（平成31年版）による。（以下、標準仕様書という。）
■：適用項目を示す

1. 建築物の構造概要

(1) 工事名称　市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修工事（建築）（ゼロ債務）
(2) 建築場所　富士見市西みずほ台１丁目19番地2
(3) 工事種別　■ 新築　□ 増築　□ 改築　（風除室のみ　以下同じ）
(4) 構造種別　■ 鉄骨造（S）　□ 鉄筋コンクリート造（RC）
□ 壁式鉄筋コンクリート造（WRC）　□ 鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）
□ 補強コンクリートブロック造（CB）
(5) 構造規模　a）建築面積　6.23 ㎡
b）延床面積　6.23 ㎡
c）階　数　・地下 － 階　・地上 1 階　・塔屋 － 階
(6) 主要用途　コミュニティセンターの風除室
(7) 屋上附属物　□ 広告塔
□ 高架水槽　kN
□ キュービクル　kN
□ 煙　突
□ その他
(8) 増築計画　□ 有り　■ 無し
(9) 特殊荷重　□ エレベーター　人用
□ ホイストクレーン　台
□ 荷物用リフト　kN
□ その他
(10) その他

2. 使用材料

(1) コンクリート(レディ-ミクストコンクリート　JIS　Q 1001,JIS Q 1011,JIS A 5308)

適用箇所	種　類	設計基準強度 Fc（N/mm²）	スランプ	備　考
捨てコンクリート	■ 普通	■ 18	□ 15 ■ 18	
土間コンクリート	□ 普通	□ 18 ■ 21	□ 15 ■ 18	
基礎・基礎梁	■ 普通	□ 21 ■ 24 □ 27 □	□ 15 ■ 18	
柱・梁・床・壁	■ 普通	□ 21 ■ 24 □ 27 □	□ 15 ■ 18	
押えコンクリート	□ 普通　□ 軽量	□ 18	□ 15 □ 18	比重

※コンクリートの品質基準強度　Fq＝24 N/mm²、耐久設計基準強度（標準）Fq＝24N/mm²

(2) コンクリートブロックは、JIS A 5406 （建築用コンクリートブロック）による。
□ A種　□ B種　□ C種
□ t=100　□ t=120　□ t=150　□ t=190

(3) 鉄筋

	種　類	鉄筋径	使用箇所
異形鉄筋	■ SD295	■ D10 ■ D13 ■ D16	柱型主筋、床版、STP、基礎梁補強
	■ SD345	□ D19 ■ D22 □ D25 □ D29 □	基礎梁
	□ SD390	□ D19 □ D22 □ D25 □ D29 □	
丸　鋼	□ SR235		
溶接金網	□ JIS G 3551	□ 6φ-150x150	
高強度せん断補強筋	□ SBPD 1275／1420		

(a)継手　■ 重ね継手
■ ガス圧接
□ 特殊継手

(4) 鉄骨

規格名称	種　類	使用箇所	現場溶接	規格番号
一般構造用圧延鋼材	■ SS400	梁	□ 有　■ 無	JIS G 3101
建築構造用圧延鋼材	□ SN400B		□ 有　□ 無	JIS G 3136
溶接構造用圧延鋼材	□ SM490A		□ 有　□ 無	JIS G 3106
一般構造用軽量形鋼	■ SSC400	胴縁	□ 有　■ 無	JIS G 3350
一般構造用角形鋼管	□ STKR400	柱	□ 有　□ 無	JIS G 3466
一般構造用炭素鋼鋼管	□ STK400		□ 有　□ 無	JIS G 3444
建築構造用冷間成形角形鋼管	□ BCR295		□ 有　□ 無	国土交通大臣認定
建築構造用圧延鋼材	■ SN490C	ダイアフラム	□ 有　■ 無	JIS G 3136
建築構造用炭素鋼管	□ STKN400		□ 有　□ 無	JIS G 3475

※露出型固定柱脚工法：ベースプレート、アンカーボルトは別添ベースバックエ法設計施工標準による。

(5) ボルト
■ トルシア形高力ボルト 2種（S10T）　□ JIS形高力ボルト 2種（F10T）
□ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト 1種（F8T）
■ 普通ボルト（中）
■ アンカーボルト（SS400）（ダブルナット締め）　■ M16 L=400　□ M20 L=500　□ M22 L=550　□
□ 頭付きスタッドボルト　□ 16φ L=　□ 19φ L=
使用箇所　□ 柱　□ 大梁　□ 小梁

(6) 屋根・床・壁
□ ALC版
□ 外壁 t=100　□ 床版 t=　□ 屋根 t=
□ 折版　山高 H=150、t=0.6
□ 床型枠用鋼製デッキプレート
□ デッキ構造スラブ用デッキプレート
□ 合成スラブ用デッキプレート（QL99-50-12）

3. 地盤

(1) 地盤調査資料
□ 有り　ボーリング、標準貫入試験、孔内水平載荷試験、土質試験
□ 敷地内　□ 近隣
□ 無し
□ 調査予定有り　□ 調査予定無し

(2) 地盤調査及び試験杭の結果により、設計変更の場合もある。
(3) ボーリング標準貫入値・土質構成
□ 別添地盤調査報告書による

4. 地業工事

(1) 直接基礎
■ べた基礎
□ 布基礎　深層混合処理工法による柱状地盤改良を行う。
□ 独立基礎
・長期許容地耐力度　100 kN/m2（フーチング下面にて）
・深さ　GL－ 1.10 m

(2) 杭基礎
a）既製杭
・杭　種
□ PHC 杭
□ SC 杭
□ PRC 杭
□ ST 杭
□ 摩擦杭
□ その他　プレストレスト高強度コンクリート節杭
・杭工法
□ セメントミルク工法
□ 認定埋込み杭工法

b）場所打ちコンクリート杭
□ アースドリル工法
□ リバース工法
□ オールケーシング工法

c）杭仕様
□ 杭施工計画書
□ 杭施工結果報告書

d）試験杭
□ 有り（位置及び本数は杭伏図による）
□ 無し

5. 鉄筋コンクリート工事

(1)「建築工事標準仕様書」（ JASS 5 ）及び公共建築工事標準仕様書（第5章、第6章）による。

(2) コンクリート
■ コンクリートは、JIS 表示許可工場で製造されたレディーミクストコンクリートとする。
■ セメントは、JIS R 5210 の普通ポルトランドセメントとする。
■ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
■ 寒中・暑中・その他特殊コンクリートの適用を受ける場合は、調合・打込み・養生など必要事項について工事監理者の承認を得ること。
■ フレッシュコンクリートの塩化物量試験は、原則として工事現場の荷卸し場所とする。
試験回数は、コンクリートの種類が異なるごとに 1 日 1 回以上、かつ、150m³ ごと及びその端数につき、1 回以上とする。
試験方法は、（財）国土開発技術研究センターの技術評価を受けた塩化物測定器により、試験値は同一試料における３回の測定の平均値とする。（塩化物イオン量　0.30kg/m3を確認する）
■ コンクリートの強度試験は、コンクリートの種類が異なるごとに 1 日 1 回以上、かつ、コンクリート 150 m³ ごと及びその端数につき 1 回以上とする。
1 回の試験の供試体の数は、材齢 7 日用、材齢 28 日用、その他必要に応じてそれぞれ 3 本とし、適切な間隔をあけた運搬車から採取し、必要な数の供試体を作製する。
工事現場における養生は、水中養生または封かん養生とする。
■ コンクリートの練混ぜから打込み終了までの時間は、外気温 25℃ 以下の場合は 120 分、25℃ を超える場合は 90 分とする。
■ スランプの許容差

スランプ	スランプの許容差
8未満	±1.5
8以上18以下	±2.5
18を超える	±1.5(注)

（注）調合管理強度 27N/mm² 以上で、高性能AE減水剤を使用する場合は、±2 とする。
■ コンクリート空気量の許容差は、±1.5%の範囲内とする。

(3) 鉄筋
■ 鉄筋は、JIS G 3112 （鉄筋コンクリート用棒鋼）の規格品とする。
■ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、継手位置、定着長さ等は別添配筋標準図による。
■ 鉄筋の継手は原則として、D16 以下は重ね継手、D19 以上はガス圧接とする。
■ ガス圧接完了後の試験は、下記による。
■ 外観試験（全圧接部）
■ 抜取り試験
□ 超音波探傷試験
１組の作業班が１日に行った圧接箇所に対し、30箇所を無作為に抜き取る。
■ 引張試験
1 組の作業班が 1 日に行った圧接箇所に対し、3 箇所抜き取る。

(4) 型枠
■ せき板の材料は、特記による。特記なき場合は、次による。
(a) コンクリート打放し仕上げの場合は、表面の仕上がり程度に見合ったものとする。
（標準仕様書　表6.2.4　打放し仕上げの種別参照）
(b) コンクリート打放し仕上げ以外の場合は、下記の(c)(2)またはその他の材料でコンクリートの所要の品質を確保できるものとする。(c)(2)以外は、工事監理者の承諾を得る。
(c) せき板の材料として合板を用いる場合は、下記の(1)または(2)とし、厚さは特記による。
特記がなければ、厚さ12mmとする。
(1)「合板の農林規格」の「コンクリート型枠用合板の規格」による表面加工品
(2)「合板の農林規格」の「コンクリート型枠用合板の規格」による B-C
■ 型枠の存置期間
a）せき板の最小存置期間

存置期間中の平均気温 ＼ 施工箇所	セメントの種類	基礎、梁側、柱、壁		
		早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 混合セメントA種	混合セメントB種
コンクリートの材齢による場合(日)	15℃以上	2	3	5
	5℃以上	3	5	7
	0℃以上	5	8	10
コンクリートの圧縮強度による場合	—	圧縮強度が 5 N/mm²以上となるまで。		

b）支柱の最小存置期間

存置期間中の平均気温 ＼ 施工箇所	セメントの種類	スラブ下			梁下
		早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 混合セメントA種	混合セメントB種	左記のすべてのセメント
コンクリートの材齢による場合（日）	15℃以上	8	17	28	28
	5℃以上	12	25		
	0℃以上	15	28		
コンクリートの圧縮強度による場合	—	圧縮強度が設計基準強度(Fc)の85%以上または、12N/mm²以上であり、かつ、施工中の荷重および外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで。			圧縮強度が設計基準強度以上であり、かつ、施工中の荷重および外力について構造計算により安全であることが確認されるまで。

c）型枠の取外しは、上記の最小存置期間を経た以後に行う。
d）片持梁・庇・長大スパンの梁・大型スラブ等の型枠を支持する支柱、または施工荷重が著しく大きい場合の支柱等は、必要に応じて、存置期間を延長する。
e）スラブ下および梁下のせき板は、原則として支柱を取外した後に取外す。
なお、支柱の盛替えは行わない。

6. 鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は、特記なき限り下記による。
■ 建築工事標準仕様書（JASS 6 鉄骨工事）：日本建築学会
■ 公共建築工事標準仕様書（7章　鉄骨工事）：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
■ 建築鉄骨工事施工指針：鋼材倶楽部

(2) 工事監理者の承認を必要とするものは、下記による。
■ 鉄骨加工製作工場
国土交通大臣認定工場
□ Hグレード　■ Mグレード　■ Rグレード
■ 鉄骨製作要領書　■ 施工計画書　■ 工作図
■ 社内検査表　□
■ 規格品証明書（ミルシート）または試験成績書
■ 鋼材　■ 高力ボルト　□ スタッドボルト　□

(3) 工事監理者が行う検査は、下記による。
■ 現寸検査　□ 組立・開先検査　□ 製品検査　■ 建方検査
□
(4) 溶接部の開先標準は、下記による。
■ 日本建築学会「溶接工作基準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
■ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」
■ 建築鉄骨設計基準及び同解説：建設大臣官房官庁営繕部監修
(5) 溶接部の検査は、下記による。

検査箇所	検査方法	検査率・検査数 社内	第三者検査機関	工事監理者	備　考
■ 完全溶込み溶接	■ 外観検査	100%	100%	30%	
	■ 超音波探傷検査	100%	30%	30%	
	□ マクロ試験	個	個	個	
■ 隅肉溶接	■ 外観検査	100%	100%	30%	
	□ 浸透探傷試験				

注：工事監理者検査は、第三者検査機関の検査時の立会とする。
a）第三者検査機関とは、建築主・工事監理者または工事施工者の受入れ検査を代行させるための検査会社をいう。
第三者検査機関名：
b）現場溶接部については、原則として全数を第三者検査機関にて検査すること。
(6) 高力ボルト接合
■ 高力六角ボルトのセットは、JIS B 1186 の規格品。また、トルシア形高力ボルトのセットは JSS Ⅱ 09 に準拠して製造されたもので、国土交通大臣認定品とする。
■ 摩擦面は、すべり係数が 0.45 以上確保できるよう、ミルスケールをグラインダー掛け等により添え板全面の範囲について除去した後、屋外に自然放置して発生させた赤錆状態を確保する。
ただし、ショットブラストまたはグリットブラストにより、表面粗度を 50μmRz 以上確保でき、監理者の承諾を受けた場合は錆びの発生を要しない。
■ 高力六角ボルトの締付けは、１次締め、マーキング、本締めの順で行い、トルクコントロール法またはナット回転法による。
トルシア形高力ボルトの締付けは、１次締め、マーキング、本締めの順で行う。本締めはピンテールが破断するまで締付け、余長（1～6山）を確認する。
(7) 普通ボルト接合
■ ボルト・ナット・座金の品質は、特記による。
特記なき場合は、標準仕様書　表7.2.3　ボルト及びナットの材料による。
■ ボルトは、ボルト頭の下おとびナットの下に座金を用い、ボルト長さは、締付け終了後においてナットの外に 3 山以上ねじ山が出るようにする。
(8) 錆止め塗装
■ 錆止め塗装は、コンクリートに接触する部分および高力ボルト摩擦接合部の摩擦面は塗装しない。
■ 錆止め塗料の種別は、特記による。
特記なき場合は、屋外 A種 JIS K 5674 1種 鉛・クロムフリーさび止めペイント 2回塗り、
■ 工事現場において、接合部等の未塗装部分および塗膜の損傷部分に塗装を行う場合は、素地調整を行った後、工場塗装と同じ錆止め塗料を塗装する。
(9) 耐火被覆
□ ラス張りモルタル塗り
□ 耐火材吹付け　（　ロックウール　t=　乾式）
□ 耐火板張り

7. 設備関係・その他

■ 梁貫通孔は、梁端部（柱内法寸法の 1/4 の範囲）は避けること。
また、貫通孔が並列する場合の中心間隔は、貫通孔の径の平均値の 3 倍以上とする。
■ 設備機器の架台及び基礎については、工事監理者の承認を得ること。
■ 床スラブ内に設備配管を埋込む場合は、スラブ厚さの 1/3 以下とし、配管の間隔は 5 cm 以上とする。
■ 諸官庁への届出書類等は、遅滞なく提出すること。
■ 各試験の供試体は、公的試験機関において試験を行い、試験成績書を工事監理者に提出すること。

建築設備の構造強度（建築基準法施行令　第129条の2の3）
■ 建築設備（昇降機を除く）の支持構造部および緊結金物は、腐食又は腐朽の恐れがないものとする。
□ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は構造耐力上主要な部分に緊結すること。
□ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備
■ 風圧、土圧および水圧並びに地震その他の振動および衝撃に対して、安全上支障のない構造とする。
■ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等、有効な管の損傷防止のための措置を講ずる。
■ 管の伸縮その他の変形により、当該管に損傷が生ずる恐れがある場合は、伸縮継手又は可撓継手を設ける等、有効な損傷防止のための措置を講ずる。
■ 管を支持し、又は固定する場合には、吊り金物又は防震ゴムを用いる等、地震その他の振動および衝撃の緩和のための措置を講ずる。
□ 給湯設備
■ 風圧、土圧および水圧並びに地震その他の振動および衝撃に対して、安全上支障のない構造とする。
■ 周囲に丈夫な壁又は囲いを設ける。
■ 地震時の転倒、移動等により人が危害を受ける恐れがないこと。
■ 告示第1447号で定められたアンカーボルト等で緊結する。
□ 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の振動および衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

一級建築士　第316560号　山崎栄市
構造設計一級建築士　第8281号　山崎栄市

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）１４３６号　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

鉄骨構造標準図

※本標準図に記載なき事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（平成31年版）および日本建築学会「建築工事標準仕様書（JASS6 鉄骨工事）」による。

1. 一般事項

（1）材料及び検査

a）構造設計標準仕様書による。

b）適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが 40 mm 以下のものとする。

c）社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法・精度及びその他の結果を添付する。

（2）工作一般

a）鉄骨製作・施工に先立って、「鉄骨製作要領書」「工作図」および「施工要領書」を提出し、工事監理者の承認を得る。

b）切断は、機械切断法、ガス切断法、プラズマ切断法などにより、鋼材の形状、寸法に合わせて最適な方法で行う。

ガス切断する場合は、原則として自動ガス切断機を用いる。

c）高力ボルト用孔のあけ加工は、ドリルあけとする。

ボルト、アンカーボルト、鉄筋貫通孔は、ドリルあけを原則とする。

高力ボルト・ボルトおよびアンカーボルトの孔径（単位：mm）

種　類	孔径 d	公称軸径 dl
高力ボルト	dl＋2.0	dl＜27
	dl＋3.0	dl≧27
ボルト	dl＋0.5	—
アンカーボルト	dl＋5.0	—

d）曲げ加工は、常温加工または加熱加工とする。

熱加工の場合は、赤熱状態（850℃～900℃）とする。

常温加工での内側曲げ半径は、特記による。

特記がない場合は、下表による。

常温曲げ加工による内側曲げ半径

部　位		内側曲げ半径	備　考
柱材や梁およびブレース端など塑性変形能力が要求される部位	ハンチ等応力方向が曲げ曲面に沿った方向である場所	8ｔ以上	
	応力方向が上記の直角方向の場合	4ｔ以上	r：内側曲げ半径
上記以外		2ｔ以上	t：被加工材の板厚

（3）高力ボルト

a）高力ボルトは、包装の完全なものを未開封のまま工事現場へ搬入する。

b）高力ボルトは、種類・径・長さ・ロット番号ごとに区分し、雨水・塵埃などが付着せず、温度変化の少ない適切な場所に保管する。

c）運搬・締付け作業にあたり、ていねいに取り扱い、ねじ山等を損傷しないようにする。

トルシア形高力ボルトは、ピンテール部も損傷しないようにする。

d）一度使用したボルトセットは、再度、本締めに使用しない。

（4）溶接接合

a）溶接作業における技能資格者は、工事に相応した次に示す試験等による技量を有する者とする。

1）手溶接の場合は、JIS Z 3801（手溶接技術検定における試験方法および判定基準）に従う板厚、溶接方法、溶接姿勢に応じた溶接技術検定試験に合格した有資格者。

2）半自動溶接の場合は、JIS Z 3841（半自動溶接技術検定における試験方法および判定基準）に従う板厚、溶接方法、溶接姿勢に応じた溶接技術検定試験に合格した有資格者。

3）自動溶接の場合は、少なくとも JIS Z 3841またはJIS Z 3841の基本となる級（下向溶接）の溶接技術検定試験に合格した有資格者。

4）スタッド溶接は、「スタッド溶接技術検定試験」に従う溶接姿勢・スタッドの呼び名に応じた溶接技術検定試験に合格した有資格者またはスタッド協会が発行する技術証明書を有する者。

b）溶接方法

1）アーク手溶接

2）ガスシールドアーク半自動溶接

3）セルフシールドアーク半自動溶接

4）サブマージアーク自動溶接

5）エレクトロスラグ溶接

6）アークスタッド溶接

c）組立溶接

1）開先のある溶接の両端では、健全な溶接の全断面が確保できるようにエンドタブを用いる。

ただし、監理者の事前の承認があれば、その他の適切な方法を用いることができる。

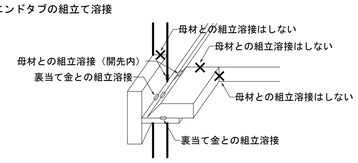
2）柱梁接合部にエンドタブを取り付ける場合には、下図に示すように、裏当て金に取り付ける。

直接、母材に組立て溶接をしない。ただし、組立て溶接を再溶融させる場合は、行ってもよい。

3）エンドタブの切断の要否および切断要領は特記による。

特記のない場合は、切断しなくてよい。

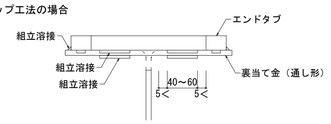
図.柱梁接合部エンドタブの組立て溶接



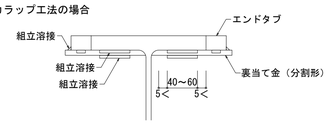
4）柱梁接合部の裏当て金の組立溶接は、下図に示すように、梁フランジの両端から5mm以内およびフィレット部のR止まり、または隅肉溶接止端部から5mm以内の位置には行わない。

裏当て金の組立用の隅肉溶接は、サイズは、4～6mmで、長さ40～60mm程度とする。

・スカラップ工法の場合



・ノンスカラップ工法の場合



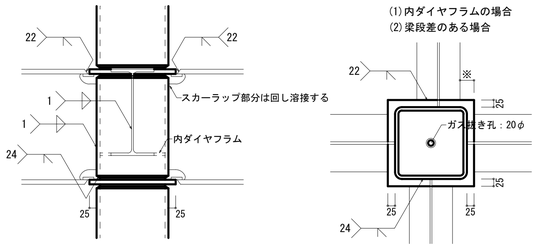
2. 溶接規準

（1）開先形状・エンドタブ・スカラップ・スニップカット等は、別図　溶接規準図（1）および（2）による。

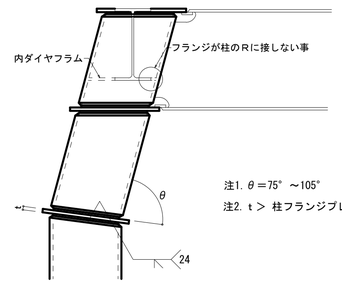
（2）鋼管柱・梁仕口部

※柱角のRに接しないこと

(1)内ダイヤフラムの場合
(2)梁段差のある場合



（3）柱が途中で折れる場合



注1. θ＝75° ～105°

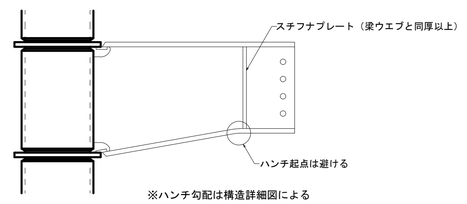
注2. t ＞ 柱フランジプレート厚

3. 継手規準その他

（1）鉄骨継手基準（ボルトピッチ・継手形状等）

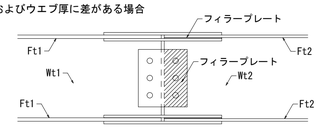
別図　鉄骨部材リスト表による。

（2）ハンチ部の継手



※ハンチ勾配は構造詳細図による

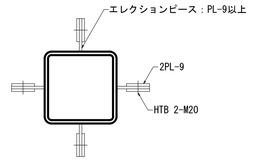
（3）フランジ厚およびウエブ厚に差がある場合

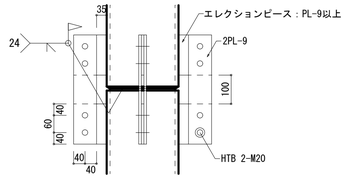


Ft1 － Ft2
Wt1 － Wt2 ≧ 1 mm の場合はフィラープレート使用

（4）鋼管柱の現場溶接継手

エレクションピースは、溶接完了後に撤去する。





（5）丸鋼ブレース（JISターンバックル筋かい）

a）使用材料（M12～M33）

(1)ターンバックルボルト用丸鋼：JIS G 3138 建築構造用圧延棒鋼　SNR400B

(2)ターンバックルボルト用平鋼：JIS G 3136 建築構造用圧延鋼材　SN400B

(3)ターンバックル胴：[ST] JIS G 3138 建築構造用圧延棒鋼　SNR400A

[PT] JIS G 3475 建築構造用炭素鋼管　STKN400Wまたは400A

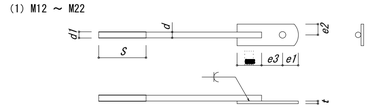
(4)取付ボルト：高力六角ボルトは、JIS B 1186 の規格品。

または、トルシア形高力ボルトは JSS Ⅱ 09に準拠して製造された、国土交通大臣認定品とする。

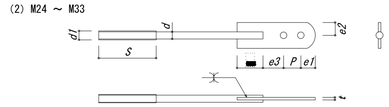
b）形状および寸法

ねじの呼び d		M12	M16	M18	M20	M22	M24	M27	M30	M33
軸径 dl	最大	10.83	14.66	16.33	18.33	20.33	22.00	25.00	27.67	30.67
	最小	10.59	14.41	16.07	18.07	20.07	21.69	24.69	27.34	30.34
調整ねじの長さ S		100	125	140	150	165	175	200	200	225
端あき e1		40	45	50	50	55	50	50	55	55
孔ピッチ P		—	—	—	—	—	60	60	60	60
切板製	へりあき e2	28	28	34	34	38	38	45	45	50
	板厚 t	6	6	9	9	9	9	9	12	12
平鋼製	へりあき e2	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5	45	45	50
	板厚 t	6	6	9	9	9	9	9	12	12
ボルト端から取付けボルト孔芯ぼあき(最小) e3		52	59	66	66	73	70	72	83	90
溶接長さ		40	55	60	75	85	85	90	95	110
取付けボルト	ねじの呼び	M16	M16	M20	M20	M22	M20	M20	M22	M22
	本数	1	1	1	1	1	2	2	2	2

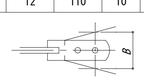
（1）M12 ～ M22



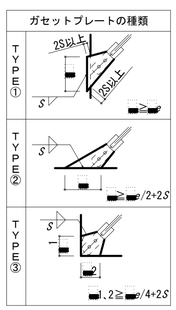
（2）M24 ～ M33



ねじの呼び	ガセットプレート 板厚	ガセットプレート 必要幅	必要溶接長 サイズ	有効長	TYPE①	TYPE②	TYPE③
	gt	B	S				
M12	6	60	6	60	60	42	54
M16	9	70	8	80	80	56	72
M18	9	70	8	80	80	56	72
M20	9	80	8	97	97	65	81
M22	12	80	10	100	100	70	90
M24	12	90	10	112	112	76	96
M27	12	90	10	145	145	93	113
M30	12	100	10	177	177	109	129
M33	12	110	10	217	217	129	149

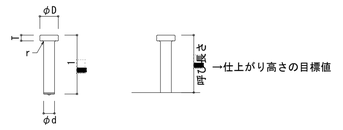


ガセットプレートの種類



（6）頭付きスタッド

a）スタッドの品質・形状及び寸法については、JIS B 1198-2011 による。



［溶接前］　［溶接後］

呼び名	軸径（φd） 基準寸法	軸径（φd） 許容差	頭部直径（φD） 基準寸法	頭部直径（φD） 許容差	頭部厚さ(T) 基準寸法	頭部厚さ(T) 許容差	首下の丸み(r) 基準寸法	首下の丸み(r) 許容差	呼び長さ(ℓ) 標準
10	10	±0.3	19	±0.3	7	-0.5	1.5	±1.0	50、80、100
13	13		25		8		1.5		80、100、120
16	16		29		8		2.5		
19	19		32		10	+1.0	2.5		80、100、130、150
22	22	±0.4	35		10		3.0		
25	25		41		12		3.0		120、150、170

b）仕上がり高さは、指定された寸法の±2mm以内、傾きは5° 以内とする。

c）スタッド溶接後の試験

（1）外観試験

・母材および材軸部のアンダーカットの有無を、全数について確認する。

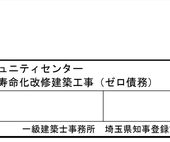
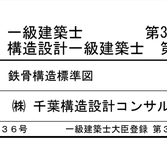
・仕上がり高さおよび傾きは、スタッドの種類およびスタッド溶接される部材が異なるごとに、かつ、100本ごとおよびその端数について、1本以上抜き取る。

（2）打撃試験

・抜き取り数は、外観試験による。

・打撃により角度15° まで曲げたのち、溶接部に割れその他の欠陥がない場合、そのまま使用する。

（7）小梁接合部

接合形式　A		接合形式　B	
			
小梁せい	—	小梁せい	≦500
WEBボルト	1列、2列(大梁幅による)	WEBボルト	≦2列
大梁FLG幅	200≦	大梁FLG幅	—
G.PL	≧小梁WEB厚、≧6mm	G.PL	小梁WEB厚の1サイスアップ
接合形式　C		接合形式　D	
小梁せい	≦500	小梁せい	≦500
WEBボルト	≦2列	WEBボルト	1列、2列(大梁幅による)
大梁FLG幅	—	大梁FLG幅	200≦
G.PL	小梁WEB厚の1サイスアップ	G.PL	≧小梁WEB厚、≧6mm

a）大梁せい≧小梁せい

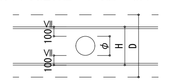
b）ウェブボルトの配置は、最小ボルト本数を2本とし、小梁のせい方向の中心振り分けとする。

（8）梁貫通孔補強

a）貫通孔は、梁端部から貫通孔中心まで1.2D以上離す。

b）貫通孔内径寸法は、鉄骨梁せいの1/2以下とする。

c）貫通孔間隔は、貫通孔径の平均値の2倍以上とする。（ＳＲＣ造の場合、3倍以上）

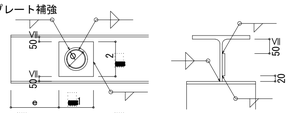


H：鉄骨せい

D：梁せい

φ：貫通孔内径

d）プレート補強



（1）▭は、3φまたは、▭2のうち小さい方とする。

（2）補強プレートが16mm以上の場合、

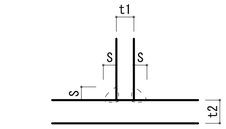
必要厚の1/2の補強プレートを両面から溶接とする。

一級建築士　第316560号　山崎栄市
構造設計一級建築士　第8281号　山崎栄市

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		鉄骨構造標準図	
SCALE　N/S		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	S-02

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

1

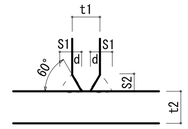


t≦16

隅肉溶接（t＝t1・t2の薄い方の板厚とする）

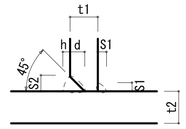
t	6	9	12	16
S	5.0	7.0	9.0	12.0

16＜t≦32



t	19	22	25	28	32
d	6.5	7.5	8.5	9.5	10.5
S1	8.5	10.0	11.5	13.0	14.5
S2	12.0	13.5	15.0	17.0	19.0

2

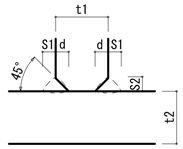


16≦t≦32

部分溶込み溶接

t	16	19	22	25	28	32
d	8.0	10.0	11.0	13.0	14.0	16.0
S1	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
h	4.0	5.0	6.0	7.0	7.0	8.0
S2	9.0	11.0	12.0	14.0	15.0	17.0

36≦t≦40

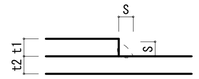


t1	d	S1	S2
36.0	9.0	9.0	10.0
40.0	10.0	10.0	11.0

3

6≦t≦16

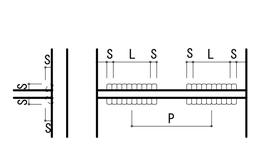
重ね継手隅肉溶接
（t＝t1・t2の薄い方の板厚とする）



（注）s＝t-2を基本とする

t	6	9	12	16
S	4.0	7.0	10.0	14.0

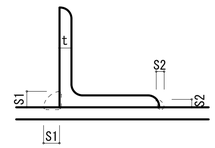
4



（注）サイズ(S)溶接長(L)および溶接ピッチ(P)は特記による。

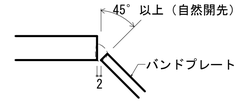
L＞10Sかつ40㎜以上

5



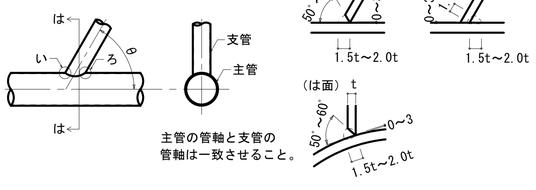
t	6	7	9	10	12	13
S1	8	10	14	14	17	17
S2	4	5	7	7	10	10

6



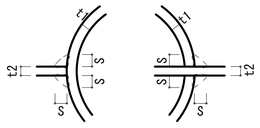
7

適用管厚　3.2≦ｔ≦12
交　　角　30°≦θ≦150°



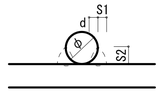
主管の管軸と支管の
管軸は一致させること。

8



t	S
4≦t1≦6	6.0
t1＞6	S＝t1

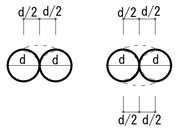
9



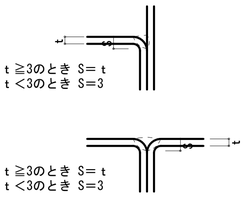
D.Bまたはφ	d＝S1	S2
13.0	4.0	7.5
16.0	5.0	9.0
19.0	5.5	10.0
22.0	6.0	12.0
25.0	7.0	13.0

D.B：異形棒鋼
φ　：丸鋼

10

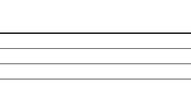


11



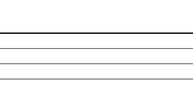
21

9＜t≦19



t	h
12	0＜h≦3
14	0＜h≦3
16	0＜h≦4
19	0＜h≦4

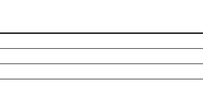
19＜t≦40



t	d1	d2	h
22	13.0	7.0	0＜h≦4
25	15.0	8.0	0＜h≦4
28	17.0	9.0	0＜h≦4
32	20.0	10.0	0＜h≦4
36	22.0	12.0	0＜h≦4
40	22.0	16.0	0＜h≦4

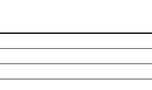
22

6＜t≦40



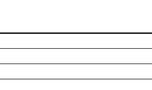
23

9＜t≦19



t	h
12	3.0～10.0
14	3.5～10.5
16	4.0～11.0
19	5.0～12.0

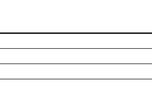
19＜t≦40



t	d1	d2	h
22	13.0	7.0	5.5～12.5
25	15.0	8.0	6.5～13.5
28	17.0	9.0	7.0～14.0
32	20.0	10.0	8.0～15.0
36	22.0	12.0	9.0～16.0
40	22.0	16.0	10.0～17.0

24

6＜t≦25

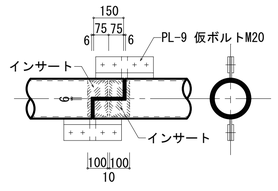


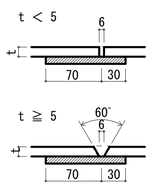
t	h
9	2.5～9.5
10～12	3.0～10.0
13～14	3.5～10.5
15～16	4.0～11.0
17～19	5.0～12.0
20～22	5.5～12.5
23～25	6.5～13.5

25



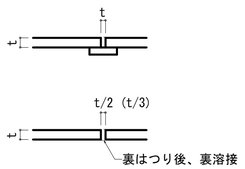
30





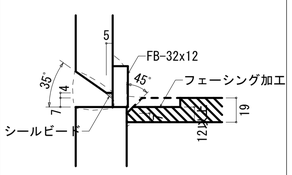
31

t≦6



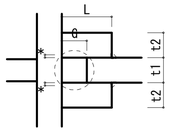
（　　）内はガスシールドアーク溶接の場合

41



42

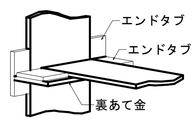
エレクトロスラグ溶接
注）＊寸法は 3㎜ 以上とする。



t1	t2	G	L
22～28	25	25	50
32～36	28	25	50

エンドタブ

エンドタブは原則として母材と同厚のものを用い、
長さは下表による。

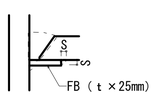


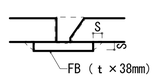
エンドタブの長さおよび厚さ

溶接工法	長さ(mm)
手溶接	35以上
半自動溶接	38以上
自動溶接	70以上

裏当て金

裏当て金の材質は、原則として母材と同等以上とし、厚さ・長さおよび溶接のサイズは下記による。





裏当て金の厚さ

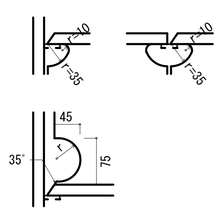
溶接工法	厚さ(mm)
手溶接	6 以上
半自動溶接	9 以上
自動溶接	12 以上

溶接のサイズ

裏当て金の厚さ	S
ｔ≦9	5
ｔ＞9	9

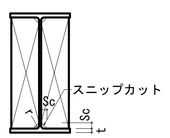
スカーラップ

スカーラップ半径は、35㎜を標準とする。



現場溶接の下フランジ部スカーラップ

スニップカット



表－１

t	6	9	12	16以上
Sc	10	12	14	15

注記

1. この規準図は、記入なき限り手溶接及びガスシールド半自動溶接による標準溶接継手の
　形状を示す。
2. ｔ≦6mm の場合の突合せ溶接部の開先は不要とする。
3. エンドタブは、溶接後 5mm 程度残して切断し、端部を仕上げる。
　設計図に表す溶接長さの寸法は有効長さとし、すみ肉のサイズの10倍以上とする。
　ただし、有効長さは、ビードの始点及び、クレータを除いた部分の長さとする。



L：すみ肉溶接の長さ
S：すみ肉溶接のサイズ
Le：有効長さ
L'≧S

4. スニップカット
　溶接の交差部をスニップカット（Sc）で処理する場合の標準寸法は、鋼材の板厚に応じて
　表-1によるものとし、スニップカット部は、溶接により埋めることとする。
　ただし、既製形鋼のスニップカットは、Sc＝ｒ+2 により求めるものとする。

一級建築士　第316560号　山崎栄市
構造設計一級建築士　第8281号　山崎栄市

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）	溶接基準図	
SCALE　N/S	㈱ 千葉構造設計コンサルタント	S-03

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

本配筋標準図に記載なき項目については、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版」による。

1. 鉄筋のかぶり厚さ

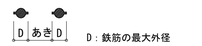
(a) 鉄筋および溶接金網のかぶり厚さは、下表の設計かぶり厚さによる。
ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。
かぶり厚さは設計値を採用し、確保できない場合には監督員と協議する。

表. 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ（単位：mm）

構造部分の種類				かぶり厚さ 設計	最小
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり		30	20
		仕上げなし		40	30
	柱、梁、耐力壁	屋内	仕上げあり	40	30
			仕上げなし	40	30
		屋外	仕上げあり	50	30
			仕上げなし	50	40
	擁壁、耐圧スラブ			50	40
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁			50	＊ 40
	基礎、擁壁、耐圧スラブ			70	＊ 60
煙突等高熱を受ける部分				70	60

(注) 1. ＊印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、特記による。
2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材、塗装等）のものを除く。
3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭天端からとする。
5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。

(b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。
(c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
(d) 鉄筋相互のあきは、下図により、次の値のうち最大のもの以上とする。
ただし機械式継手及び溶接継手の場合のあきは、特記による。
(1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
(2) 25mm
(3) 隣り合う鉄筋の平均径（異形鉄筋の呼び径ｄ）の1.5倍

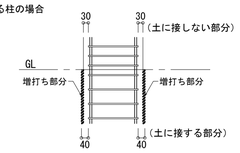


D：鉄筋の最大外径

図. 鉄筋相互のあき

(e) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(d)による。
(f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、(c)による。

※土に接する柱の場合

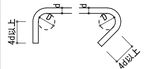


2. 加工および組立

(a) 次の部分に使用する異形鉄筋の末端部には、フックを付ける。
(1) 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合および最上階の柱頭にある場合。
(2) 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅および下端の両端にある場合。
（基礎梁を除く）
(3) 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を除く）
(4) 杭基礎のベース筋
(5) 帯筋、あばら筋および幅止め筋

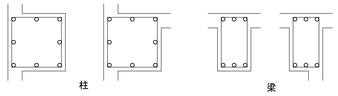
(b) 鉄筋の折曲げ形状は次寸法は、下表による。

表. 鉄筋の折曲げ形状および寸法

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径（D） SD295A、SD295B、SD345 D16以下	SD295A、SD295B、SD345 D19～D38	SD390 D19～D38
180°		3d以上	4d以上	5d以上
135°				
90°				
135°および90°（幅止め筋）				

(注) 1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で 90° フックまたは135° フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。
2. 90° 未満の折曲げの内法直径は、特記による。

※末端にフックを必要とする出隅部の鉄筋



c. バーサポート・スペーサーの種類は下記による。
(1) コンクリート製
(2) 鋼製（かぶり部分は防錆処理を行う）
(3) プラスチック製
(4) ステンレス製

d. バーサポート・スペーサーの標準的な配置および間隔

部位	スラブ	梁	柱
種類	鋼製・コンクリート製	鋼製・コンクリート製	鋼製・コンクリート製
数量または配置	上端筋、下端筋それぞれ 1.3個/㎡程度	間隔は1.5m程度 端部は1.5m以内	上段は梁下より0.5m程度 中段は柱脚と上段の中間 柱幅方向は1.0mまで2個 1.0m以上3個
備考	端部上端筋および中央部、下端筋には必ず配置	側梁以外の梁は上または下に設置 側梁は側面の両側へ対称に設置	同一平面に点対称となるように設置

部位	基礎	基礎梁	壁・地下壁
種類	鋼製・コンクリート製	鋼製・コンクリート製	鋼製・コンクリート製
数量または配置	面積 4㎡程度 8個 16㎡程度 20個	間隔は1.5m程度 端部は1.5m以内	上段は梁下より0.5m程度 中段は上段より1.5m間隔程度 横間隔は1.5m程度 端部は1.5m以内
備考		上または下と側面の両側へ対称に設置	

(注) 1. 表の数量または配置は、5～6階程度までのＲＣ造を対象とする。
2. 梁・柱・基礎梁・壁および地下外壁のスペーサーは、側面に限りプラスチック製でもよい。
3. 断熱材打込み時のサポートは支持重量に対して、めり込まない程度の接触面積を持ったものとする。
4. 梁の上とは、かんざしを指す。

3. 継手および定着

(a) 鉄筋の重ね継手は、次による。
(1) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
(2) 柱および梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、特記による。
耐力壁の鉄筋の重ね継手の場合、特記がなければ[40d]と下表の重ね継手長さの大きい値とする。（軽量コンクリートの場合 50d）

表. 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²）	L1（フックなし）	L1h（フックあり）
SD295A	18	45d	35d
	21	40d	30d
SD295B	24、27	35d	25d
	30、33、36		
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24、27	40d	
	30、33、36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24、27	45d	
	30、33、36	40d	30d

(注) 1. L1、L1h: 重ね継手の長さおよびフックあり重ね継手の長さ
2. フックありの場合のL1hは、下図に示すようにフック部分[▬]を含まない。
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に 5d を加えたものとする。

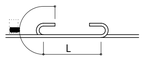


図. フックありの場合の重ね継手の長さ

(b) 隣り合う継手の位置は、下表による。
ただし、壁の場合およびスラブ筋で D16 以下の場合は除く。

重ね継手	フックありの場合	a＝0.5L1h	a≧0.5L1h
	フックなしの場合	a＝0.5L1	a≧0.5L1
圧接継手	—	a≧400mm	
機械式継手	—	a≧400mm、かつa≧（b+40）mm	

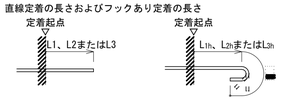
(c) 鉄筋の定着は、次による。
(1) 柱に取り付ける梁の引張鉄筋の定着の長さは、下表により、適用は特記による。
(2) (1) 以外の鉄筋の定着の長さは、下表により、適用は特記による。

表. 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²）	直線定着の長さ L1	直線定着の長さ L2	直線定着の長さ L3 小梁	直線定着の長さ L3 スラブ	フックあり定着の長さ L1h	フックあり定着の長さ L2h	フックあり定着の長さ L3h 小梁	フックあり定着の長さ L3h スラブ
SD295A SD295B	18	45d	40d	20d	10d かつ 150mm 以上	35d	30d	10d	—
	21	40d	35d			30d	25d		
	24、27	35d	30d			25d	20d		
	30、33、36								
SD345	18	50d	40d			35d	30d		
	21	45d	35d			30d	25d		
	24、27	40d							
	30、33、36	35d	30d			25d	20d		
SD390	21	50d	40d			35d	30d		
	24、27	45d							
	30、33、36	40d	35d			30d	25d		

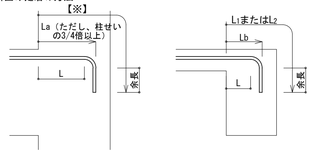
(注) 1. L1 、L1h: 2. 以外の直線定着の長さおよびフックあり定着の長さ
2. L2 、L2h: 割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さおよびフック定着の長さ
3. L3 ：小梁およびスラブの下端筋の直線定着の長さ。
ただし、基礎耐圧スラブおよびこれを受ける小梁は除く。
4. L3h ：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ。
5. フックあり定着の場合は、下図に示すようにフック部分[▬]を含まない。
また、中間部での折曲げは行わない。
6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に 5d を加えたものとする。

図. 直線定着の長さおよびフックあり定着の長さ



(3) 仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さしが、上表のフックあり定着の長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法は、下図により、次の（ｉ）、(ii)および(iii)をすべて満足させるものとする。
（ｉ）全長は、上表の直線定着長さ以上とする。
（ii）余長は 8d 以上とする。
(iii) 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さ La および Lb は、下表に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

図. 折曲げ定着の方法



※表のフックあり定着の長さを全長で確保する。

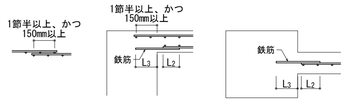
梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ　　小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ

表. 投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²）	La	Lb
SD295A SD295B	18	20d	15d
	21	15d	
	24、27		
	30、33、36		
SD345	18	20d	20d
	21		
	24、27		15d
	30、33、36	15d	
SD390	21	20d	20d
	24、27		
	30、33、36		15d

(注) 1. La：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ
（基礎梁、片持梁および片持スラブを含む）
2. Lb：小梁およびスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ
（片持小梁および片持スラブを除く）
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に 5d を加えたものとする。

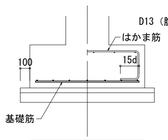
(d) 溶接金網の継手および定着は、次による。



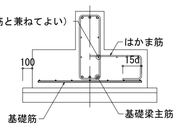
4. 基礎の配筋

a. 直接基礎

(1) 独立基礎

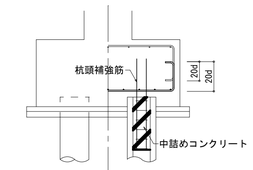


(2) 連続基礎

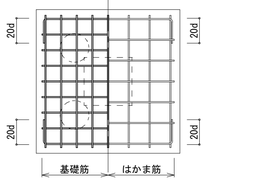




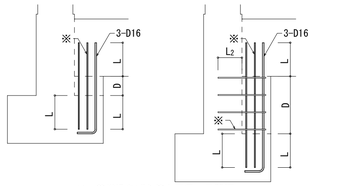
b. 杭基礎



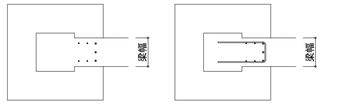
杭頭補強筋、中詰めコンクリートは特記による。



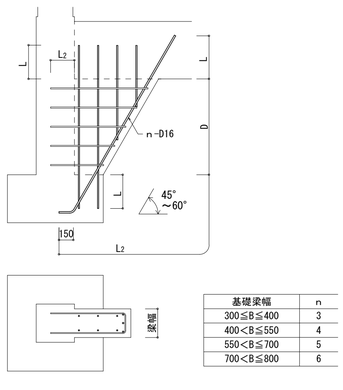
(2) 基礎接合部の補強配筋



※：基礎梁あばら筋と同径・同間隔



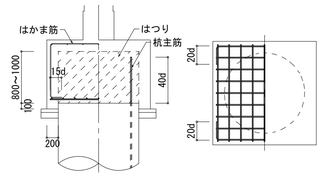
0<D≦200　　200<D≦1000



D＞1000

基礎梁幅	n
300≦B≦400	3
400<B≦550	4
550<B≦700	5
700<B≦800	6

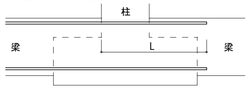
(3) 場所打ち杭基礎



5. 基礎梁の配筋

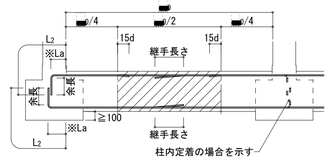
(a) 梁筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。
ただし、梁内に定着する場合は、下図による。

図. 梁筋の基礎梁内への定着

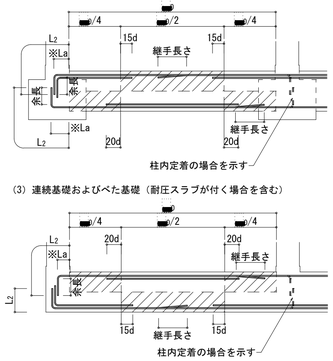


(b) 梁筋を、柱内に定着する場合は、折曲げ定着とする。
上端筋：曲げ降ろす。
下端筋：原則として曲げ上げる。

(c) 基礎梁主筋の継手および定着
(1) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合



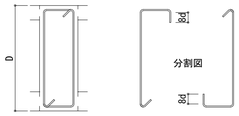
(2) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合（耐圧スラブは除く）



(3) 連続基礎およびべた基礎（耐圧スラブが付く場合を含む）

※Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。
▨：継手の好ましい位置

(b) 基礎梁のあばら筋
(1) あばら筋組立の形状およびフックの位置は、梁あばら筋による。
ただし、梁の上下にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、下図によることができる。

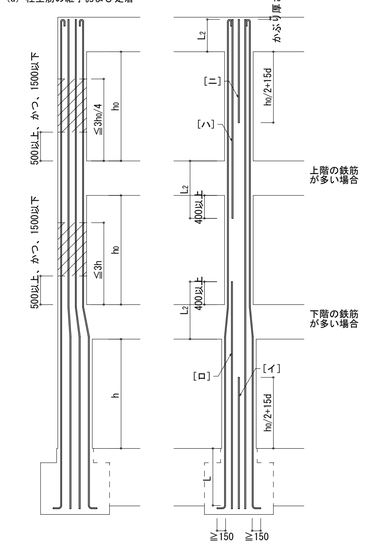


(2) 基礎梁腹筋の割付本数

梁せい	腹筋
D＜600	不要
600≦D＜1050	2-D10または2-D13（1段）
1050≦D＜1500	4-D10または4-D13（2段）
1500≦D＜1950	6-D13（3段）
1950≦D＜2400	8-D13（4段）

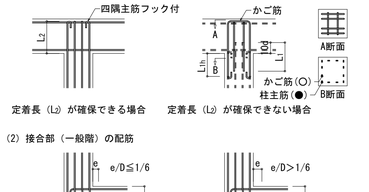
6. 柱の配筋

(a) 柱主筋の継手および定着



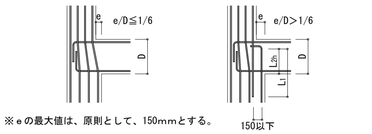
[イ]：柱脚のみ配筋する場合
[ロ]：上階の鉄筋に連続しない場合
[ハ]：下階より上階に多く配筋する場合
[ニ]：柱脚より柱頭の鉄筋が多い場合

(1) 柱頭（最上階）の配筋



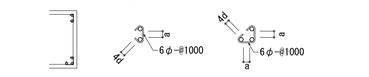
定着長（L2）が確保できる場合　　定着長（L2）が確保できない場合

(2) 接合部（一般階）の配筋

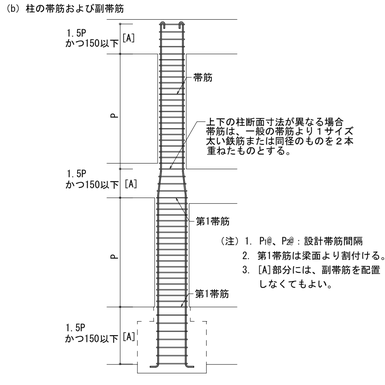


※ｅの最大値は、原則として、150mmとする。

(3) 二段筋の保持（a＝呼び径×1.5）



(b) 柱の帯筋および副帯筋



(注) 1. P₁@、P₂@：設計帯筋間隔
2. 第1帯筋は梁面より割付ける。
3. [A]部分には、副帯筋を配置しなくてもよい。

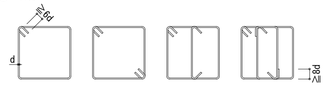
一級建築士　第316560号　山崎栄市
構造設計一級建築士　第8281号　山崎栄市

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		ＲＣ配筋標準図(1)	
SCALE N/S		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	S-04

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

(c) 帯筋組立の形

① H形



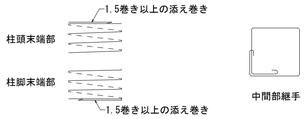
② W－1形



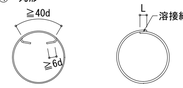
(注)溶接は、鉄筋の組立て前に行う。

③ SP形（スパイラル筋）





④ 丸形

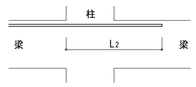


1. H形を標準とする。
2. フックおよび継手の位置は、交互とする。
3. 溶接する場合の溶接長さ L は、両面フレア溶接の場合は 5d 以上、片面フレア溶接の場合は 10d 以上とする。
4. H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-1形とする。

7. 梁の配筋

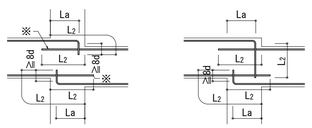
(a) 梁筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。
ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。

図. 梁主筋の梁内への定着



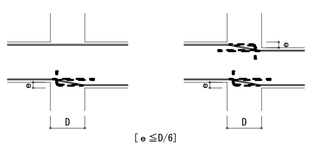
(1) 梁筋を、柱内に定着する場合は、折曲げ定着とする。
上端筋：曲げ降ろす。
下端筋：原則として曲げ上げる。

(2) 段差がある場合

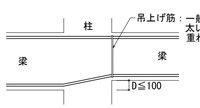


※直接定着できる場合、
折曲げ定着する必要はない

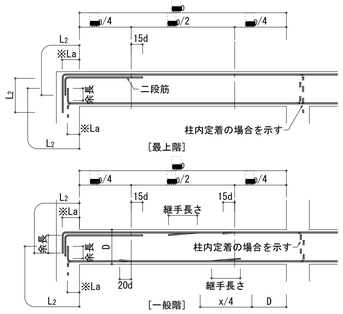
[一般階] [最上階]



段差（e）が柱せい(D)の1/6以下の場合は、左右の梁筋を緩やかに折曲げ連続させてもよい。
ただし、直交の梁筋と干渉しないことを確認する。

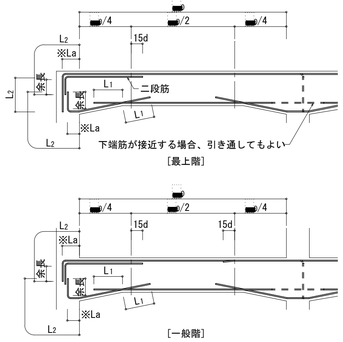


(b) ハンチのない場合の重ね継手および定着



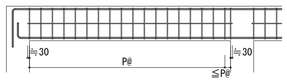
1. 継手中心位置は、次による。
上端筋：中央 x/2以内
下端筋：柱面より梁せい(D)以上離し、 x/4を加えた範囲内
2. Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

(c) ハンチのある場合の重ね継手および定着

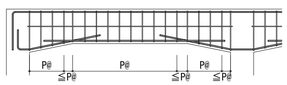


※ Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

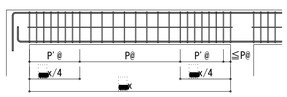
(d) あばら筋の割付け
(1) 間隔が一様で、ハンチのない場合



(2) 間隔が一様で、ハンチのある場合

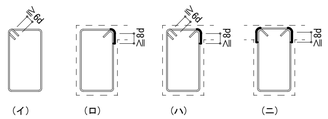


(3) 梁の端部で間隔の異なる場合



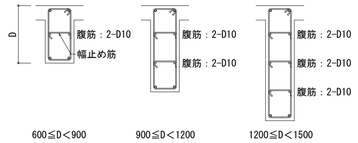
1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中の P@、P'@ は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

(e) あばら筋組立の形



1. (イ)形を標準とする。
ただし、L形梁の場合は、(ロ)または(ハ)、T形梁の場合は、(ロ)～(ニ)とすることができる。
2. フックの位置は、(イ)の場合は交互とし、
(ロ)の場合は、L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。
なお、(ハ)の場合は、床版の付く側を90°折曲げとする。

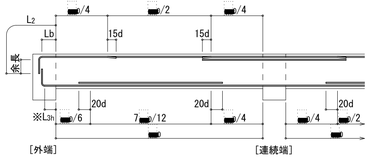
(f) 腹筋および幅止め筋



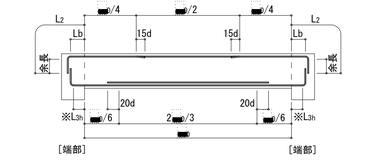
1. 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
2. 幅止め筋および受け用幅止め筋は、D10-@1000程度とする。

8. 小梁および片持梁の配筋

(a) 連続小梁の場合

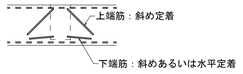


(b) 単独小梁の場合

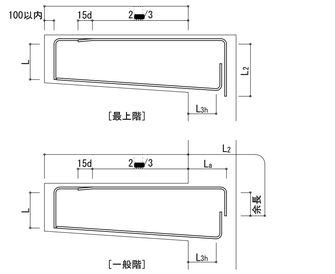


※L3hを確保できない場合は、「3.継手および定着(c)(3)」によることができる。

(1) 梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合は、下図による。

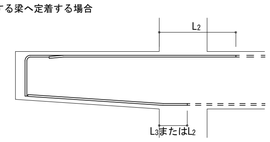


(c) 片持梁
(1) 柱内に定着する場合

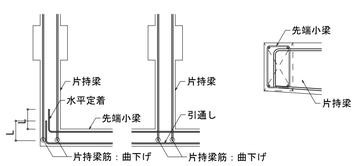


1. 先端の折曲げ長さ L は、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。
2. Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。
3. L3h を確保できない場合は、「3.継手および定着(c)(3)」によることができる。

(2) 隣接する梁へ定着する場合



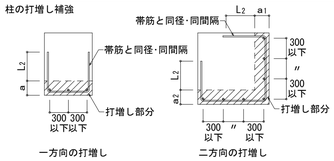
(3) 先端に小梁がある場合



1. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
2. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

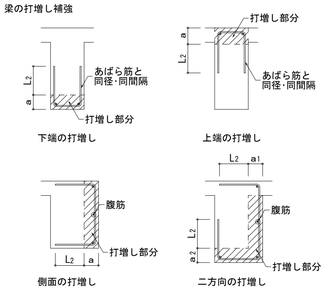
9. 柱および梁の打増し補強配筋

(a) 柱の打増し補強



1. 柱の打増し幅（a、a1、a2）が 70mm 以上の場合を示す。
2. 帯筋と同一方向の補強筋は、帯筋と同径、同間隔、同材質とする。
3. 軸方向の補強筋間隔は、300mm以下とする。

(b) 梁の打増し補強



1. 梁の打増し幅（a、a1、a2）が 70mm 以上の場合を示す。
2. あばら筋と同一方向の補強筋は、あばら筋と同径、同間隔、同材質とする。
3. 腹筋は、(f) 腹筋および幅止め筋による。

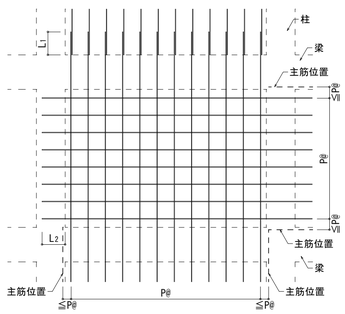
10. 壁の配筋

(a) 壁の配筋

種別	縦筋および横筋	断面図 (mm)
W12	D10-@200 シングル	120
W15A	D10-@150 シングル	150
W15B	D10-@100 シングル	
W18A	D10-@200 ダブル	180
W18B	D10-@150 ダブル	
W20A	D10-@200 ダブル	200
W20B	D10-@150 ダブル	

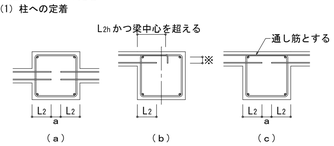
(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

(b) 壁の継手および定着



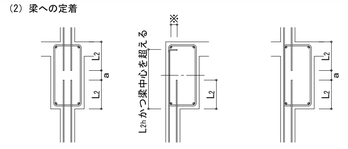
1. 図中の P@ は、特記された壁筋の間隔を示す。
2. 壁配筋の重ね継手は L1 、定着長さは L2 とする。
3. 幅止め筋は、縦横とも D10-@1000 程度とする。
4. 柱および梁内に、壁筋の継手を設けてはならない。

(c) 柱および梁への定着
(1) 柱への定着



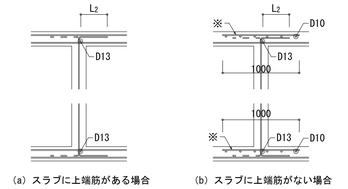
1. a 区間の部分は、通し配筋でもよい。
2. (b)で耐震壁の壁筋を定着する場合は、コア内定着長さ(※)を 8d かつ150mm以上とする。

(2) 梁への定着



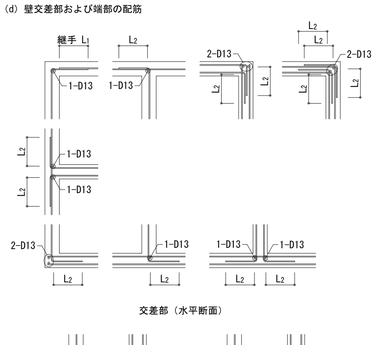
1. a 区間の部分は、通し配筋でもよい。
2. (b)で耐震壁の壁筋を定着する場合は、コア内定着長さ(※)を 8d かつ150mm以上とする。

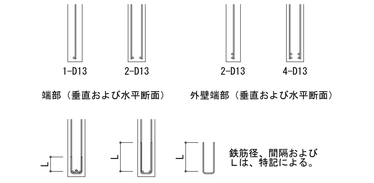
(3) スラブへの定着（非耐力壁とスラブが取り合う場合）



注：※補強筋は、特記による。
特記がない場合は、D10を壁縦筋と同間隔に配筋する。

(d) 壁交差部および端部の配筋

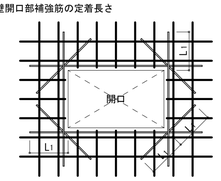




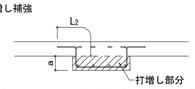
(e) 壁の開口部補強
(1) 壁開口部補強筋
耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、下表による。

壁の種別	補強筋	
	縦・横	斜め
W12・W15A	1-D13	1-D13
W18A・W20A	2-D13	2-D13
W15B	2-D13	1-D13
W18B・W20B	4-D13	2-D13

(2) 壁開口部補強筋の定着長さ

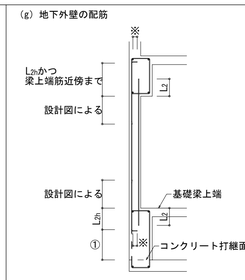


(f) 壁の打増し補強



1. 壁の打増し厚さ（a）が 50mm 以上の場合の補強を示す。

(g) 地下外壁の配筋

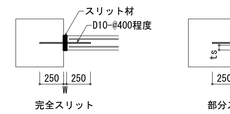


1. 外側鉄筋（①）を基礎梁に定着する場合、定着長さは規定長さでよいが1本置き程度に耐圧スラブ上端まで下げると、鉄筋位置の確保が容易である。
2. 耐震壁の壁筋と定着する場合は、コア内定着長さ(※)を 8d かつ150mm以上とすること。

(h) パラペットの配筋



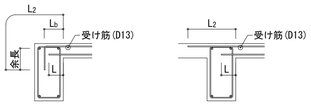
(i) スリット

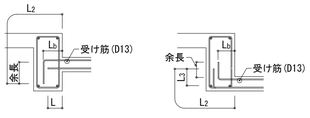


1. スリット幅（w）は、特記による。（二次壁高さの1/100以上）
2. 部分スリットの目地部の壁厚（ts）は、tw/2以下かつ70mm以下とする。
3. 振止め筋（D10）は、防錆処理を施す。

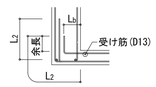
11. スラブの配筋

(a) スラブ筋の定着
(1) 一般スラブ



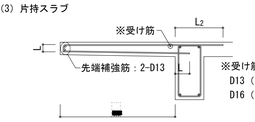


(2) 耐圧スラブ



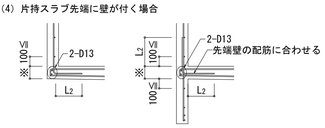
1. 土間スラブ下の砂利地業厚さおよび捨てコンクリート厚さは、特記による。
2. 土間コンクリートの配筋および厚さは、特記による。

(3) 片持スラブ



1. 先端の折曲げ長さ(L)は、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
2. スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

(4) 片持スラブ先端に壁が付く場合



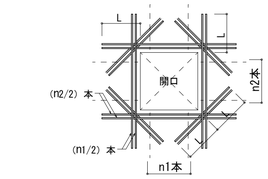
1. 先端厚さ(※)は、壁厚以上とする。

一級建築士 第316560号 山崎栄市
構造設計一級建築士 第8281号 山崎栄市

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		RC配筋標準図(2)	
SCALE N/S		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	S-05

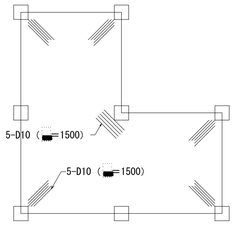
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）1436号 一級建築士大臣登録 第316560号 山崎 栄市

(b) スラブ開口部補強筋



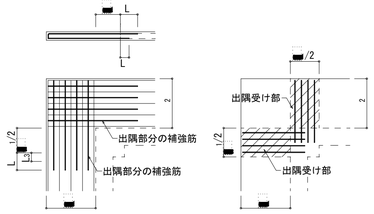
1. スラブ開口の最大径が700mm以下の場合に限る。
2. スラブ開口によって切断される鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13（ ＝2L1）シングルを上下筋の内側に配筋する。
3. スラブ開口の最大径が両方向の鉄筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略できる。

(c) 屋根スラブの出隅および入隅部の補強配筋



1. 補強筋を上端筋の下側に配置する。

(d) 片持スラブの出隅部の補強配筋

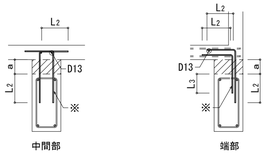


1. ≧ とする。
2. 出隅受け部配筋は、柱または梁に L 定着する。

(e) スラブの打継ぎ補強

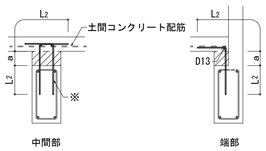
(1) 1階スラブの打継ぎ補強（a≦300mmの場合）

基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合。



※：スラブ筋と同径・同間隔・同材質

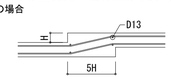
(2) 土間コンクリートと基礎梁との接合部（a≦300mmの場合）



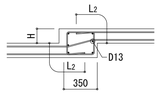
※：土間コンクリート筋と同径・同間隔・同材質

(f) 段差のあるスラブの補強配筋（H≦150mmの場合に限る）

(1) H≦70の場合

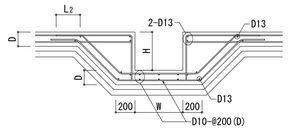


(2) 70<H≦150の場合

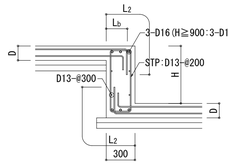


(g) 釜場の配筋

(1) H<500の場合



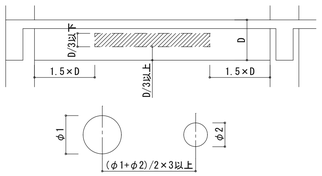
(2) 500≦H<1000の場合



(注)釜場部分のスラブ厚さ及び配筋は、取合うスラブに同じとする。

12. 梁貫通孔

(a) 貫通孔位置

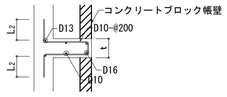


1. 貫通孔の径は、梁せいの1/3以下とし、貫通孔が円形でない場合は、これの外接円とする。
2. 貫通孔の上下方向の位置は、梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端より、D/3の範囲には設けてはならない。
3. 貫通孔は、柱面から、原則として、1.5D以上離す。ただし、基礎梁および壁付帯梁は除く。
4. 貫通孔が並列する場合の中心間隔は、貫通孔径の平均値の3倍以上とする。
5. 貫通孔径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略できる。

(b) 貫通孔補強筋の定着

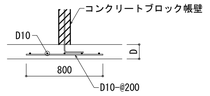
13. コンクリートブロック帳壁

(a) 控壁の配筋（水平、垂直とも）



1. コンクリートブロック帳壁の支点間距離は、厚さの25倍以下、かつ、3.5m以下とする。

(b) 帳壁が土間コンクリートに設置される場合の補強



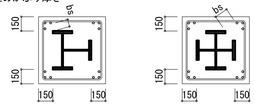
鉄骨鉄筋コンクリート造

1. 鉄筋および鉄骨のかぶり厚さ

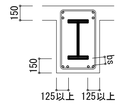
(a) 鉄筋のかぶり厚さは、配筋標準図(1)による。

(b) 鉄骨のかぶり厚さは、特記による。特記のない場合は、下図による。

(1) 柱のかぶり厚さ



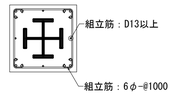
(2) 梁のかぶり厚さ



1. 鉄筋と鉄骨のあき(bs)は、25mm以上、かつ粗骨材の最大寸法の1.25倍以上とする。

(c) 鉄筋位置の確保

組立筋を用いて位置を確保し、柱幅700mm以上の場合は、中間に組立筋をいれることとする。



(d) 鉄筋貫通孔の径

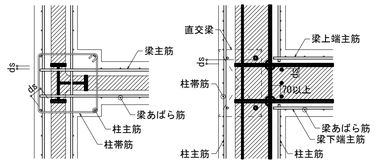
1. 鉄筋の定着または引通しのため鉄骨にあける鉄筋貫通孔の径は、下表による。ただし、主筋の鉄筋貫通孔は、最大径に統一する。鉄骨フランジには、鉄筋貫通孔を設けないものとする。

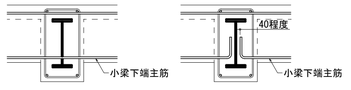
(単位：mm)

鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
貫通孔径	21	24	28	31	35	38	43	46

(e) 鉄筋貫通孔の位置

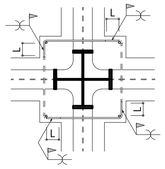
1. 鉄筋貫通孔の位置は、下図による。
2. 小梁下端主筋は、直交する梁ウェブを貫通させるものとする。ただし、構造上支障がない場合は、梁ウェブを貫通しないことができる。





小梁下端主筋が貫通する場合　　小梁下端主筋が貫通しない場合

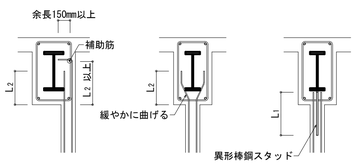
(f) 仕口部内の帯筋の加工および組立



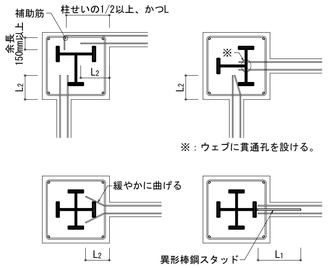
1. 片面溶接の有効長さ(L)は、鉄筋の呼び名の数値の10倍以上とする。ただし、溶接によらない場合は、135°曲げフックとする。

(g) 壁筋の定着

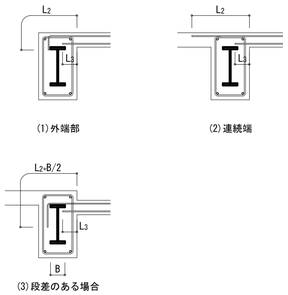
(1) 梁への定着



(2) 柱への定着



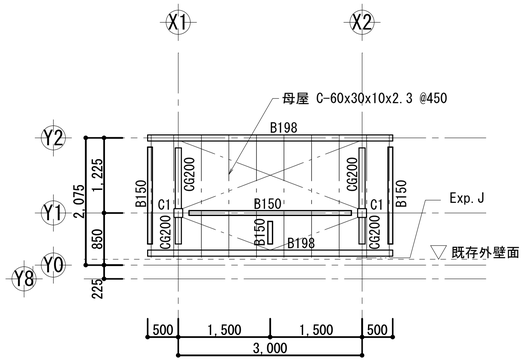
(f) スラブ筋の定着



一級建築士　第316560号　山崎栄市
構造設計一級建築士　第8281号　山崎栄市

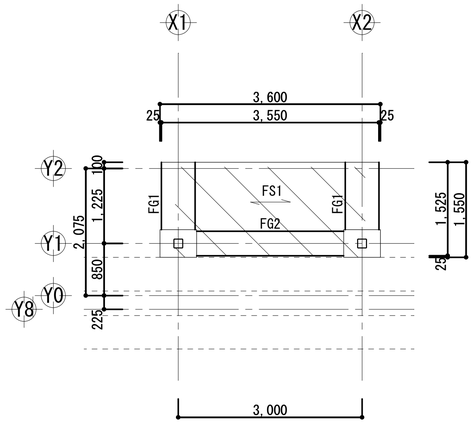
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		RC配筋標準図(3)	
SCALE		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	S-06

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市



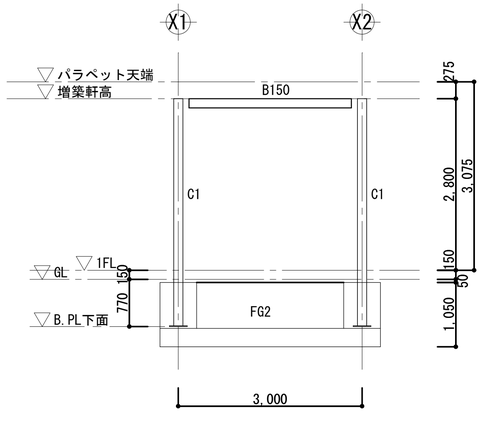
屋根伏図 S:1/50

特記なき限り
・母屋 : C-60x30x10x2.3 @450
・水平ブレース : BR1
・Exp.J クリアランス 30mm 以上



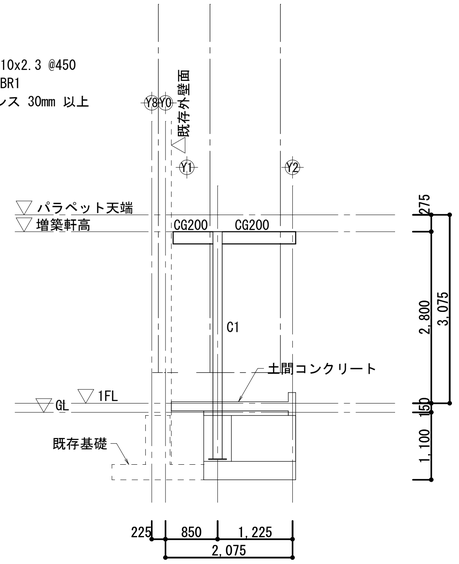
基礎伏図 S:1/50

特記なき限り
・母屋 : C-60x30x10x2.3 @450
・水平ブレース : BR1
・Exp.J クリアランス 30mm 以上



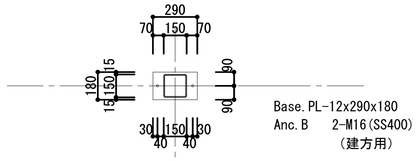
Y1 軸組図 S:1/50

特記なき限り
・胴縁は Y2通りのみ
C-100x50x20x2.3 @450

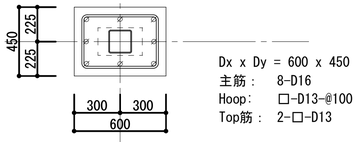


X1,X2 軸組図 S:1/50

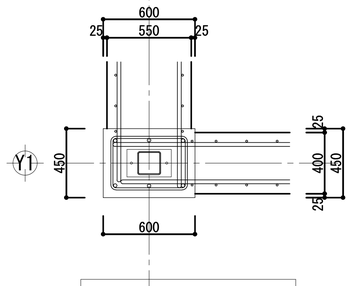
特記なき限り
・胴縁 : C-100x50x20x2.3 @450
・水平ブレース : BR1
・Exp.J クリアランス 30mm 以上



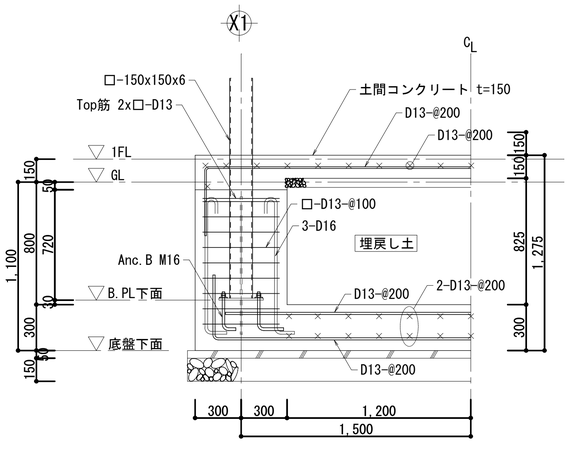
柱脚詳細図 S:1/20



柱型詳細図 S:1/20

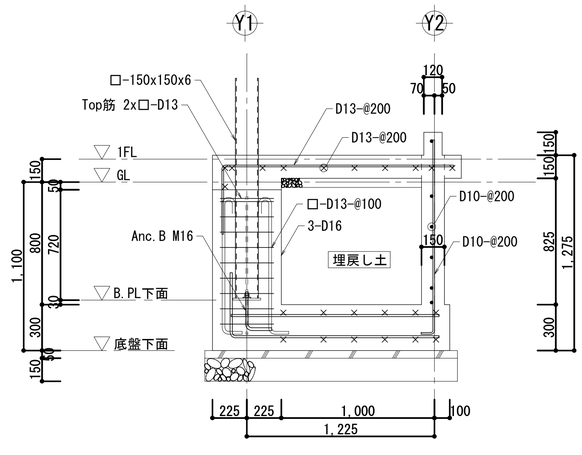


基礎梁配筋図 S:1/20



基礎詳細図 S:1/20

特記なき限り
・柱型主筋上部 4隅フック付き

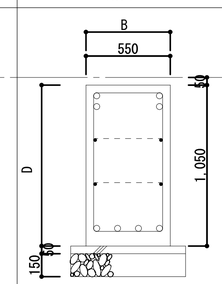
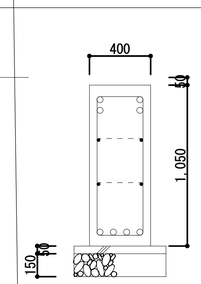


基礎詳細図 S:1/20

特記なき限り
・柱型主筋上部 4隅フック付き

基礎梁リスト 1/20

特記なき限り下記による。
幅止め筋は、D10-@1000とする
主筋の水平投影定着長さは 0.75D (Dは柱型幅)とする。

符号	FG1	FG2
断面名	全断面	全断面
断面		
B x D	550 x 1050	400 x 1050
上端筋	4-D22	4-D22
下端筋	4-D22	4-D22
スタラップ	□-D13-@200	□-D13-@200
腹筋	4-D10	4-D10
備考	-	-

一般事項

1. コンクリート : 普通コンクリート
設計基準強度 Fc = 24 N/mm2
耐久設計基準強度 Fc = 24 N/mm2
品質基準強度 Fc = 24 N/mm2
2. 鉄筋 : SD295(D13以下)
SD345(D19以上)
3. 鉄骨 : 柱 STKR400
梁 SS400
HTB F10T
4. 地耐力 : fa = 100 kN/m2
(既存設計図による)

床版リスト

符号	版厚	短辺方向	長辺方向	備考
FS1	300	上端筋 D13-@200 下端筋 D13-@200	上端筋 D13-@200 下端筋 D13-@200	ダブル配筋 長辺方向を主筋方向とすること
土間コンクリート	150	D13-@200	D13-@200	シングル配筋

一級建築士 第316560号 山崎栄市
構造設計一級建築士 第8281号 山崎栄市

市立みずほ台コミュニティセンター
長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）

伏図、軸組図、基礎リスト

SCALE 1/50,1/20 (A1)
1/100,1/40 (A3)

㈱ 千葉構造設計コンサルタント

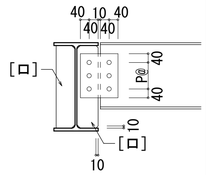
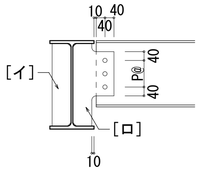
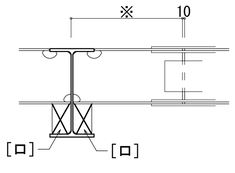
S-07

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（9）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

鉄骨部材リスト

小梁継手タイプ

［イ］：ガセットプレートと同厚とする
［ロ］：取合う部材のウエブプレートと同厚以上とする
［ハ］：取合う部材のフランジプレートと同厚以上とする

A	B	C
		

※寸法は設計図書による

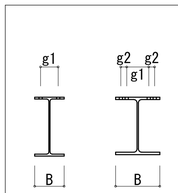
鉄骨継手基準

継手における共通事項

1. 鋼材材質は、特記による。
2. スプライスプレートの材質は母材に同じとする。
3. 継手部のクリアランスは10㎜とする。
4. 継手部で母材の板厚差が1㎜を越える場合は、フィラープレートにて調整する。
（フィラープレートの材質はSS400とする。）
5. 継手表に示すボルト本数は、継手片側について示す。
6. 本図に示す高力ボルト規定は下記による。高力ボルトはS10Tとする。

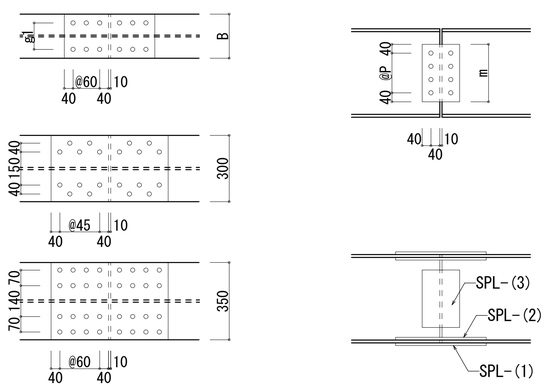
呼　径	標準ピッチ(P)	はしあき(e)	孔　径
M16	60	40	18.0φ
M20	60	40	22.0φ
M22	60	40	24.0φ

7. 高力ボルトのゲージは下記による。＊B=300は千鳥打ちとする。



B	g1	g2
125	75	—
150	90	—
175	105	—
200	120	—
250	150	—
300＊	150	40
350	140	70
400	140	90

8. 継手形状



鉄骨柱リスト

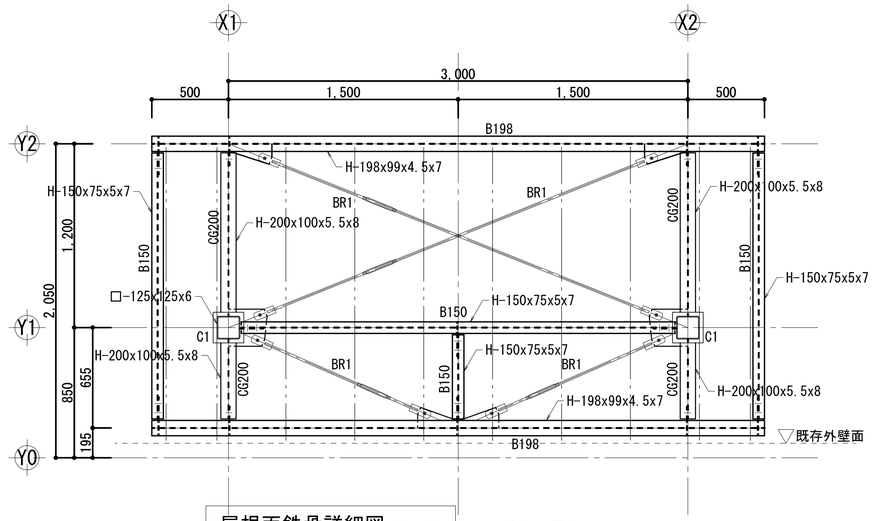
特記なき限り、材質は下記による
C1：STKR400

符号	部材断面	λ:細長比	B.PL	ANC.B	備考
C1	□-150x150x6	50.5	PL-12	2-M16	アンカーボルトは建方用

鉄骨梁リスト

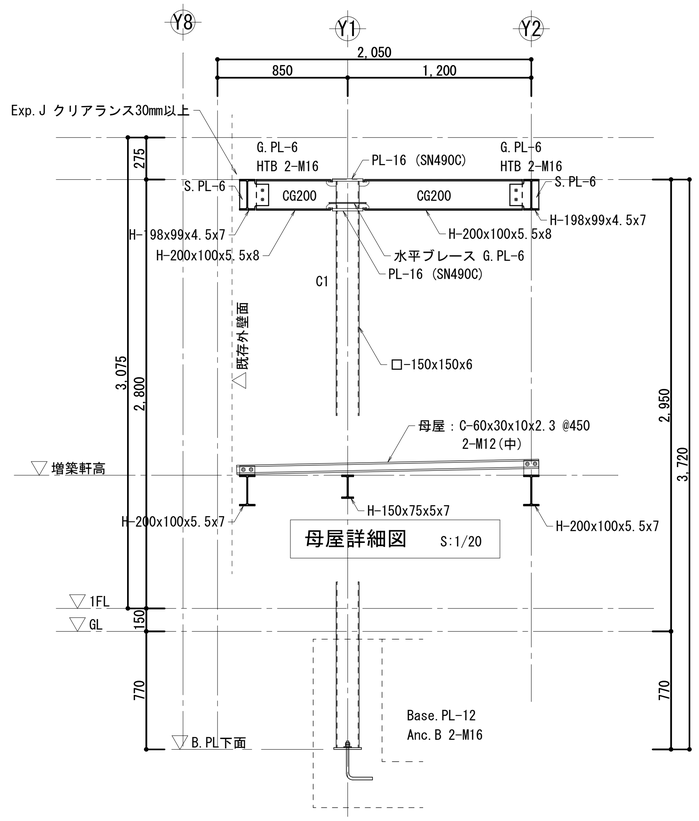
特記なき限り、材質は下記による
SS400, SSC400

符号	部材断面	継手タイプ	HTB	@P	G.PL	備考
CG200	H-200x100x5.5x8					EW直付
B198	H-198x99x4.5x7	B	2-M16	60	6	
B150	H-150x75x5x7	B	2-M16	60	6	
BR1	1-M14		1-M16		6	JIS ターンバックル付き筋違い
母屋	C-60x30x10x2.3		2-M12（中）		6	@450
胴縁	C-100x50x20x2.3		2-M12（中）		6	@450



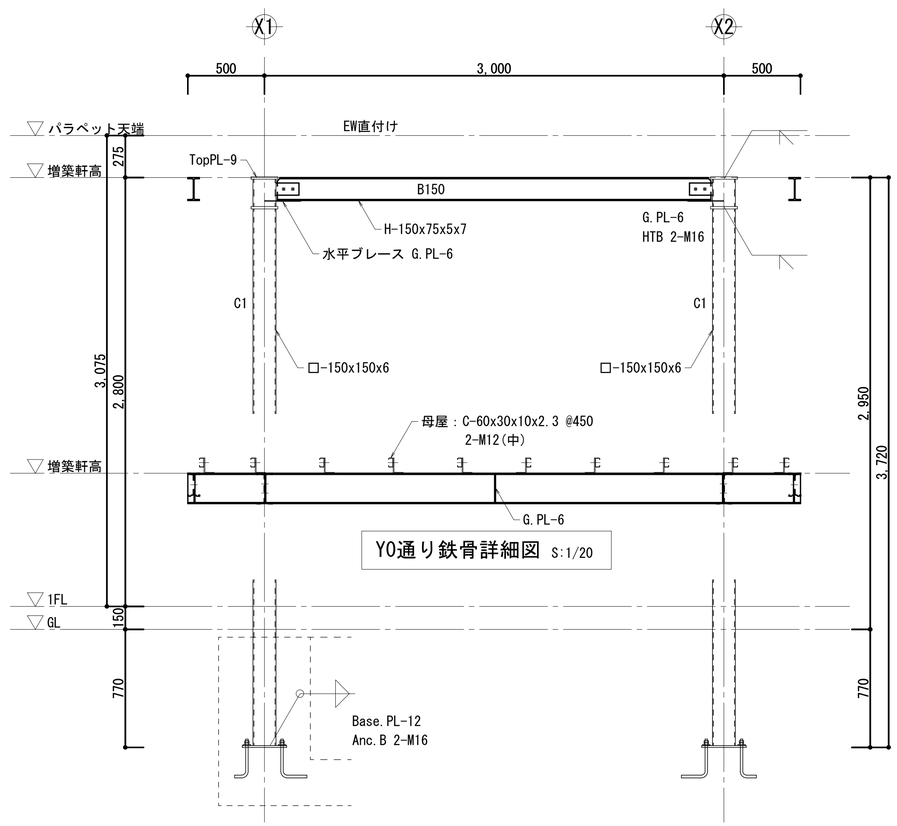
屋根面鉄骨詳細図 S:1/20

特記なき限り
・母屋 ： C-60x30x10x2.3 @450
・水平ブレース BR1 ： 1-M14 JISターンバックル付筋かい



母屋詳細図 S:1/20

X1通り鉄骨詳細図 S:1/20



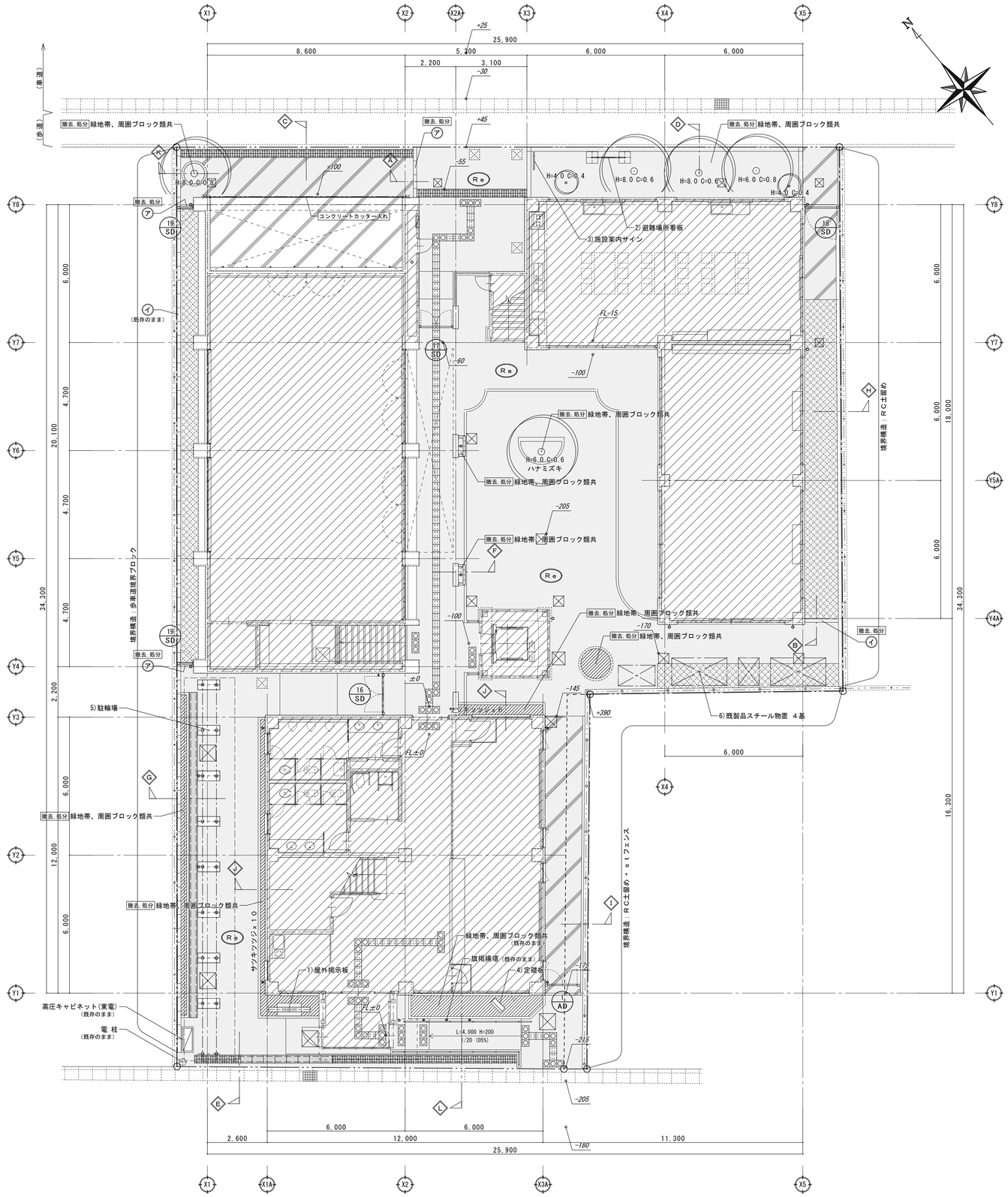
Y0通り鉄骨詳細図 S:1/20

Y1通り鉄骨詳細図 S:1/20

一級建築士　第316560号　山崎栄市
構造設計一級建築士　第8281号　山崎栄市

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		鉄骨リスト、鉄骨詳細図	
SCALE 1/20 (A1) 1/40 (A3)		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	S-08

改修前



外 構 平 面 図 S=1/100

■ 外構仕上表

凡例・記号	仕　上
Re	レンガタイル舗装
ア	地先境界ブロック：150x150x600
イ	歩車道境界ブロック：150/170x200x600
Co	コンクリート舗装
	植樹帯
	地盤現し

注 記）
・雨水排水(建築工事)に関する構造物、樹、管については別図参照の事

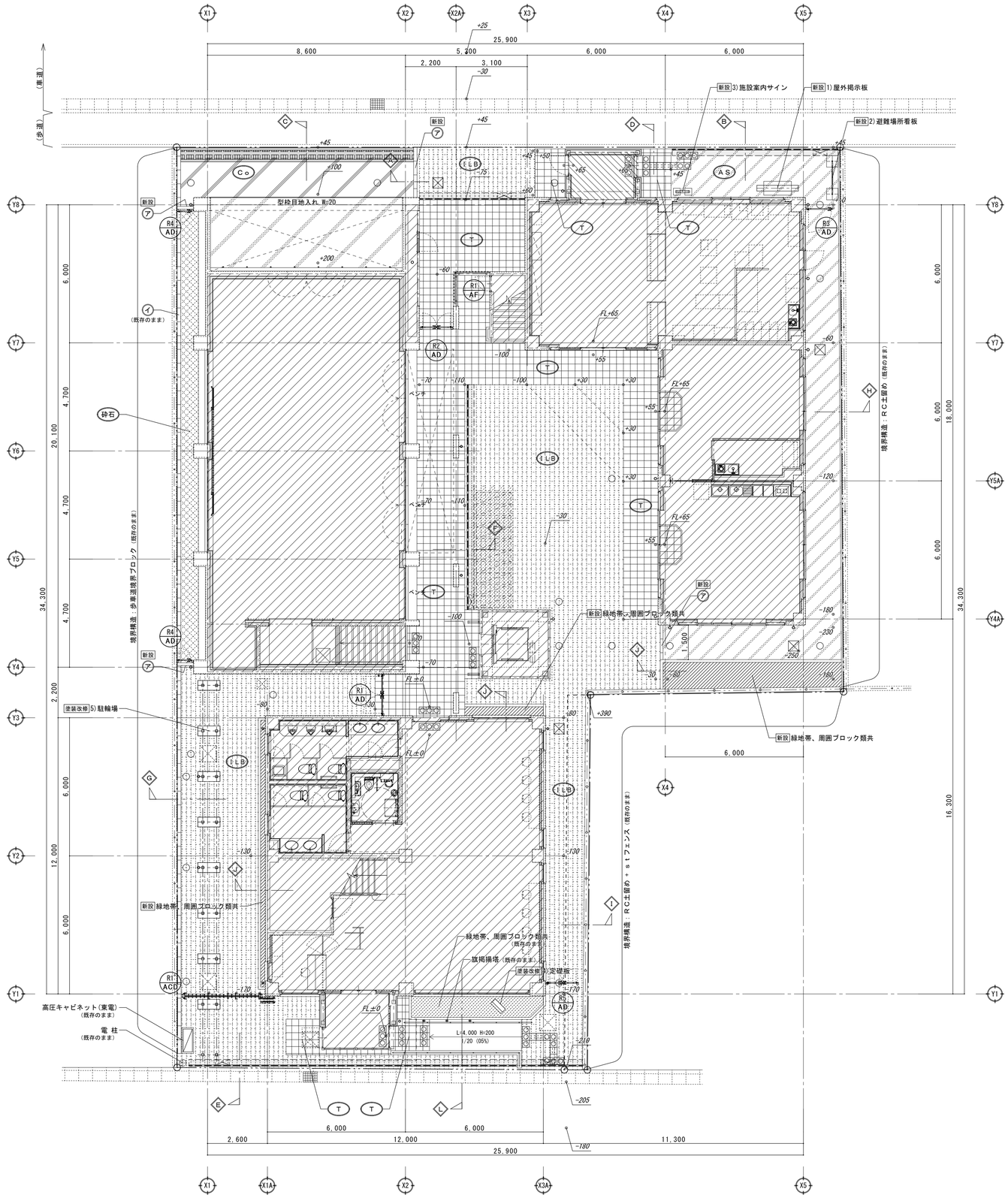
凡 例

	撤去範囲を示す

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）			外構平面図［改修前］	000
SCALE 1/100			㈱ 千葉構造設計コンサルタント	G-01

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

改修後



外 構 平 面 図 S=1/100

■ 外構仕上表

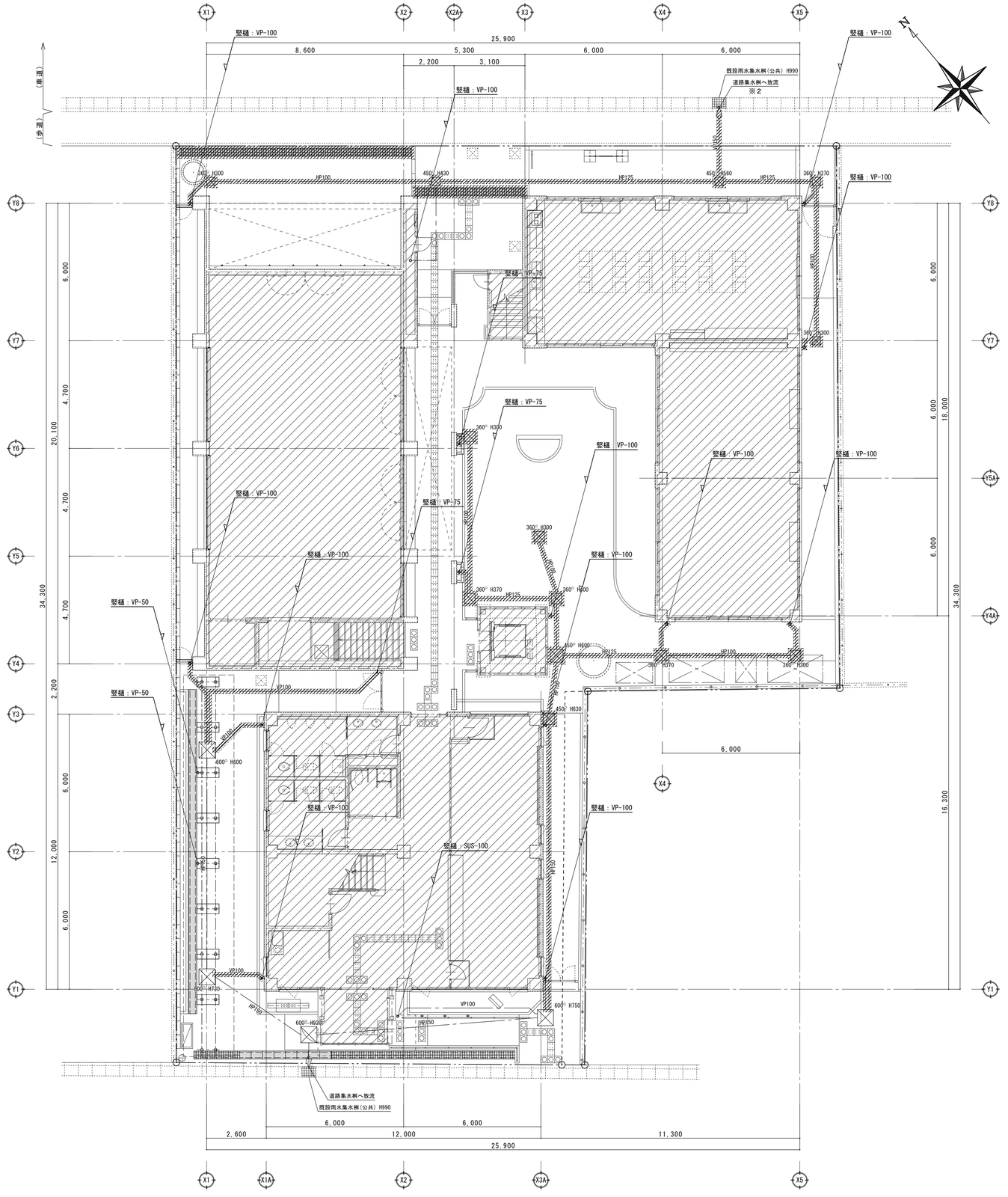
凡例・記号	仕　上	
T	タイル舗装	
I L B	インターロッキングブロック舗装	※ハッチング範囲内、周囲と色柄分け
Co	コンクリート舗装	
A·S	アスファルト舗装	
砕石	砕石舗装	
	緑地帯	サツキツツジ H=0.3 W=0.4　3本/m程度寄せ植え
㋐	地先境界ブロック	
㋑	歩車道境界ブロック	

注 記）
・雨水排水（建築工事）に関する構造物、桝、管については別図参照の事

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）			外構平面図［改修後］	０００
SCALE 1/100			㈱ 千葉構造設計コンサルタント	G-02

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（9）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

改修前



■ 雨水関連仕上表

凡例・記号	仕上	
	雨水排水管：	硬質塩化ビニル管（ＶＰ） 遠心力鉄筋コンクリート管（ＨＰ）
	角型雨水桝	仕様：既製コンクリート製 蓋：ｓｔ製グレーチング　※内径，深さは図中記載による
	現場打ち側溝	仕様：W=250 H=200 コンクリート現場打ち形成 蓋：ｓｔ製グレーチング（一部化粧蓋掛け）

注 記）

※１：既存の雨水排水放流位置は封鎖処理とする。
　　所轄行政協議、届出、申請手続きを滞りなく行う事

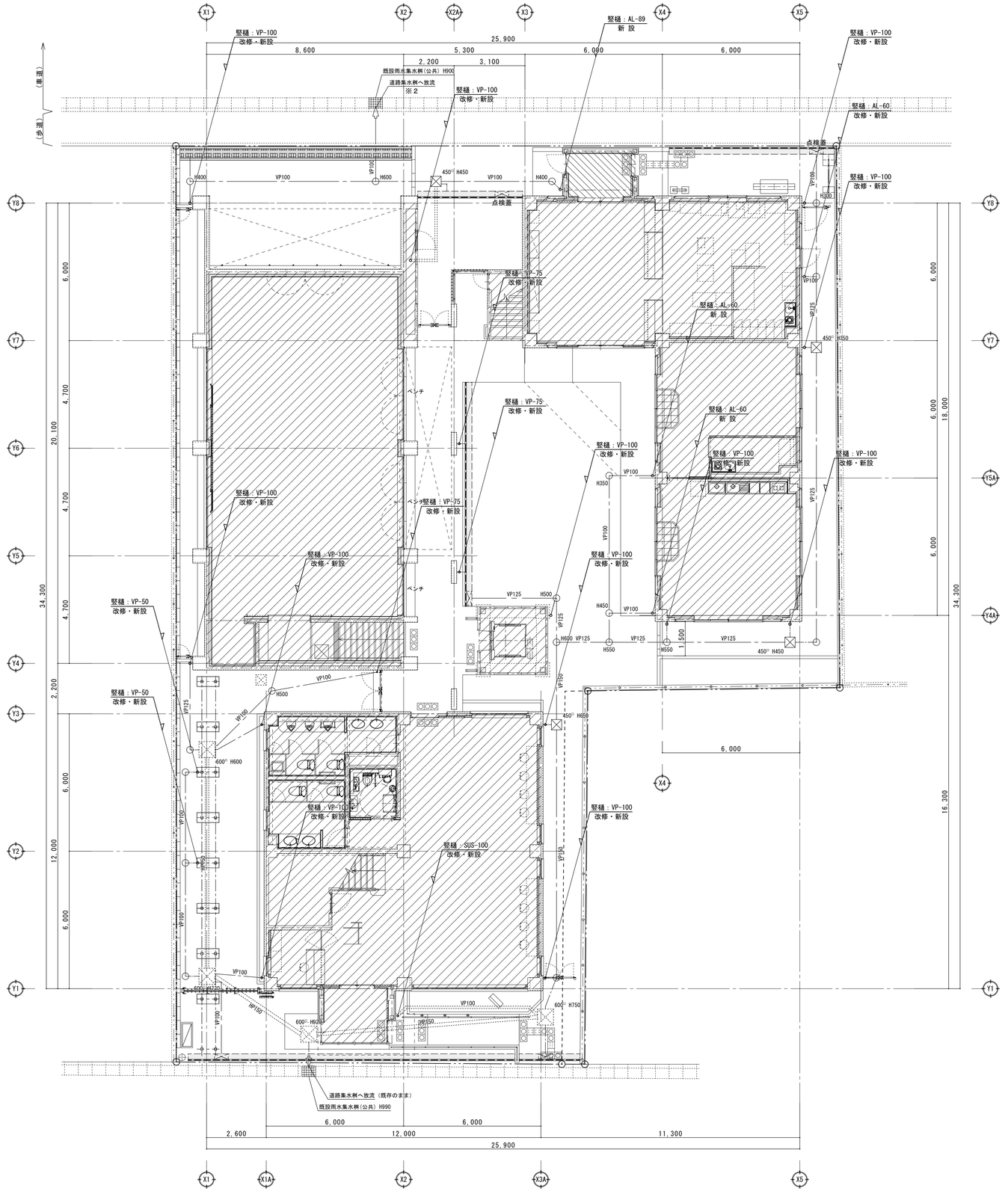
凡 例

撤去範囲	撤去範囲を示す

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）			雨水排水平面図［改修前］	０００
SCALE 1/100			㈱ 千葉構造設計コンサルタント	G-03

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

改修後



外構平面図 S=1/100

■ 雨水関連仕上表

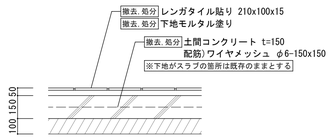
凡例・記号	仕上
	雨水排水管：硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ※記載無きは径１００Ａとする
	小口径雨水桝 仕様：塩ビ製 φ２００ 蓋：(一般部)化粧蓋 (車路部)重耐用蓋
	角型雨水桝 仕様：ＣＤ型 ４５０角 蓋：ｓｔ製グレーチング 細目ＮＳ ボルト固定
	横断用側溝 仕様：ロングＵ型３００ 横断用 蓋：ｓｔ製グレーチング Ｔ14 ＮＳ ボルト固定
	スリット側溝 仕様：Ｕ形側溝２４０ 蓋：ＳＵＳ製スリット 敷地境界用 Ｔ14 ＮＳ ボルト固定

注 記）
・雨水桝、集水桝の底部は流出管底よりＨ＝１５０以上の泥溜めを確保の上桝高を決定とする
・ ┈┈┈┈ 既存部を示す
　上記以外は全て新設とする
※２：道路占用許可、及び歩道影響部掘削, 復旧工事は本工事にて対応とする事
　所轄行政協議、届出、申請手続きを滞りなく行う事

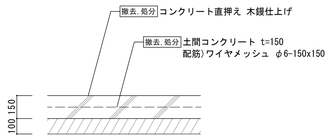
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）			雨水排水平面図［改修後］	０００
SCALE 1/100			㈱ 千葉構造設計コンサルタント	G-04

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

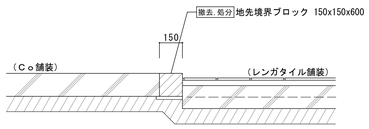
Re　レンガタイル舗装



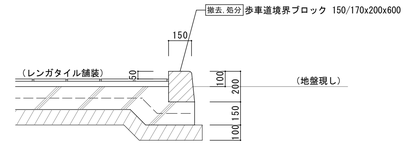
Co　コンクリート舗装



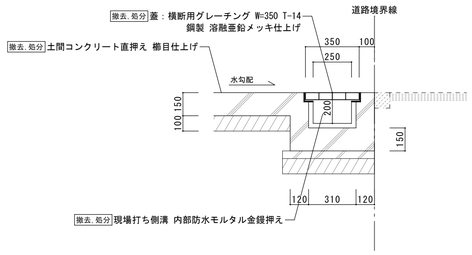
A　Ｃｏ舗装 ～ レンガタイル舗装



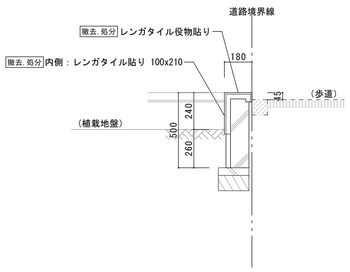
B　レンガタイル舗装 ～ 土壌面



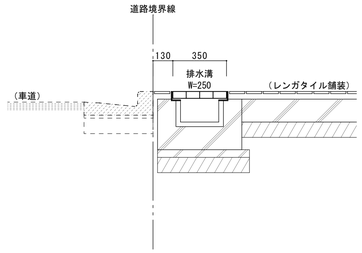
C　境界構造（北側）　側溝部分



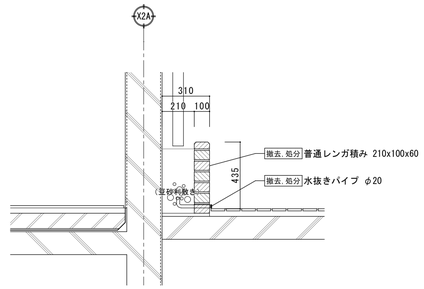
D　境界構造（北側）　植栽部分



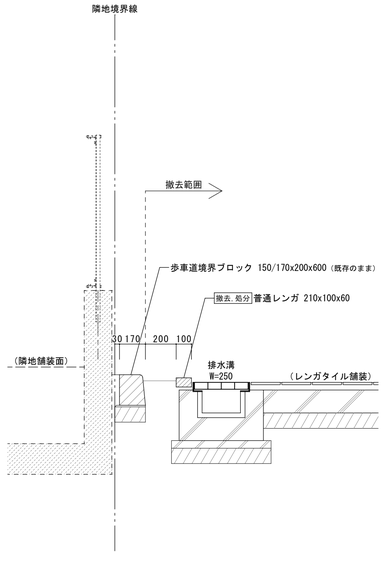
E　境界構造（南側）　側溝部分



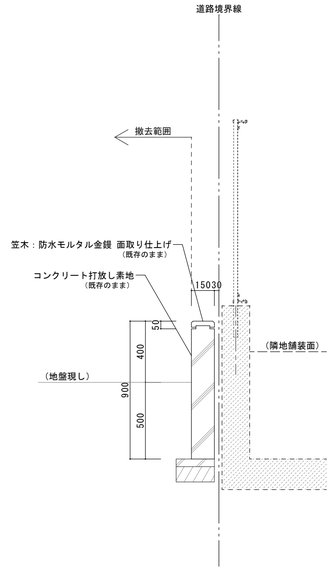
F　建物脇緑地帯１



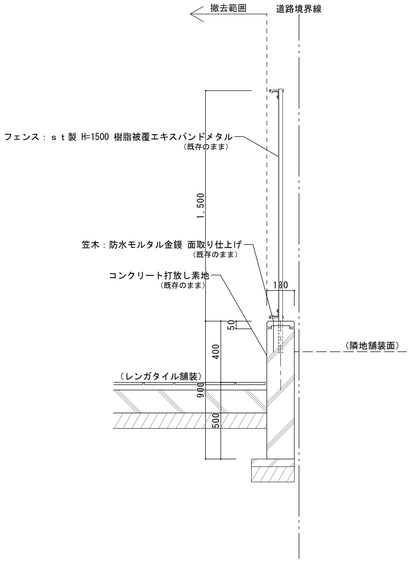
G　境界構造（西側）　植栽部分



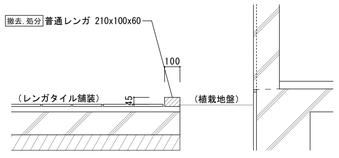
H　境界構造（東側）　土留め部分



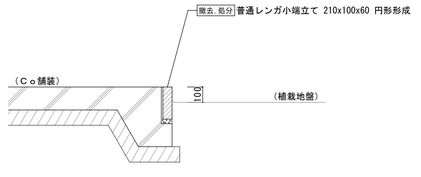
I　境界構造（北側）　フェンス部分



J　建物脇緑地帯２



K　円形緑地帯

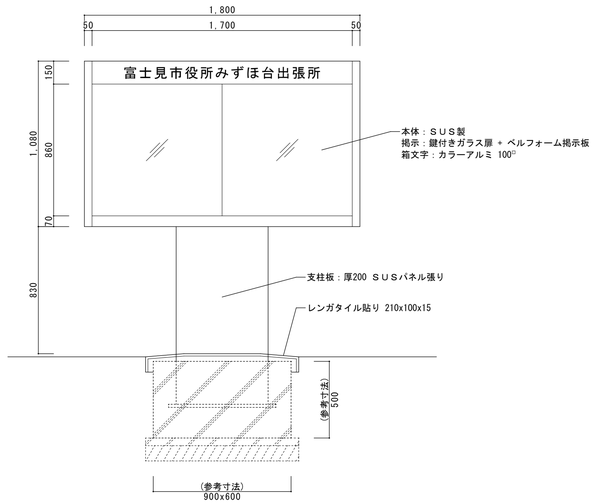


市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）			外構構造物詳細図１［改修前］	０００
SCALE　1/20			㈱ 千葉構造設計コンサルタント	G-05

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

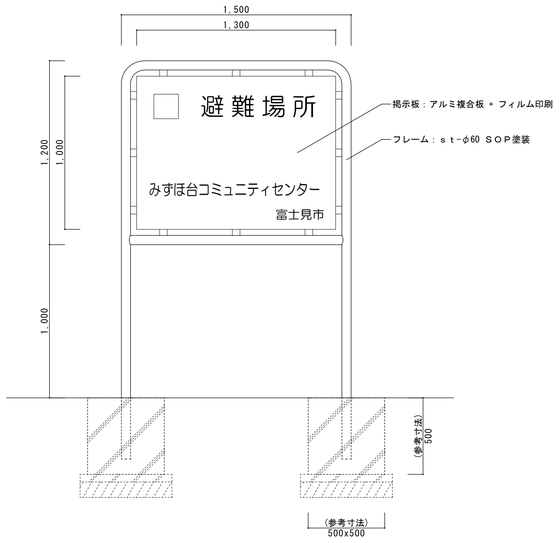
1） 屋外掲示板

全て撤去､処分とする（基礎コンクリート共）



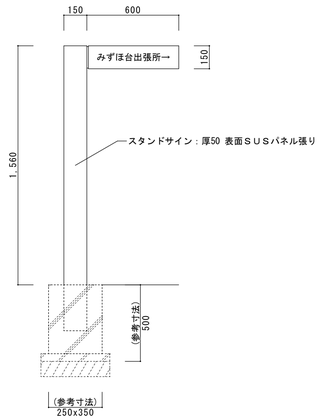
2） 避難場所看板

移設（基礎コンクリート撤去・新設）

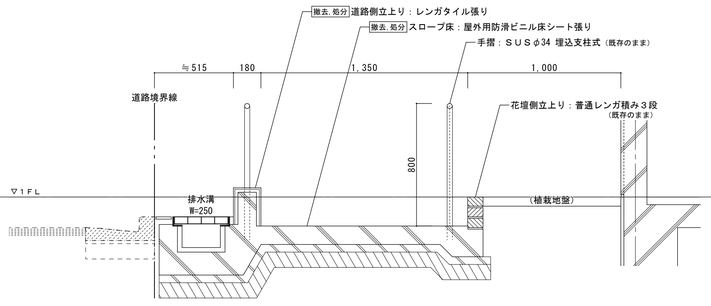


3） 施設案内サイン

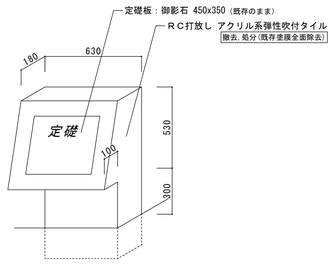
全て撤去､処分とする（基礎コンクリート共）



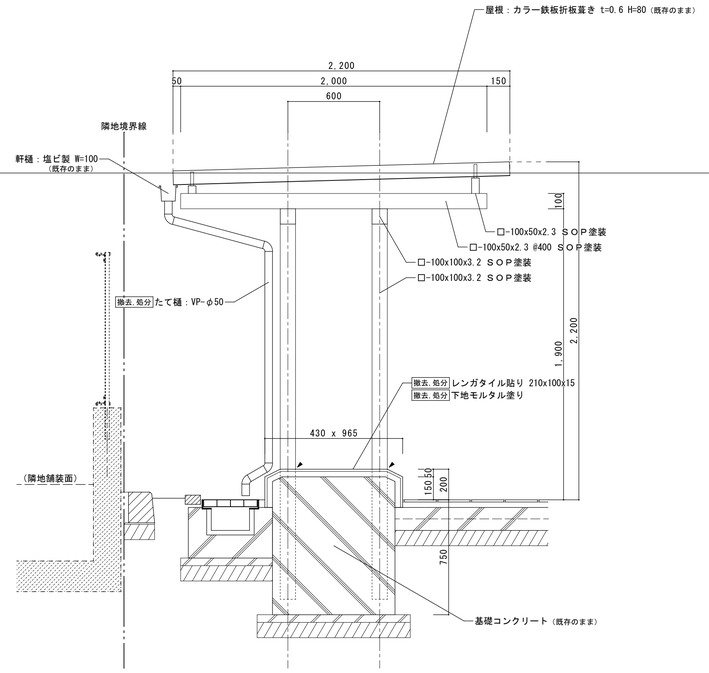
◇L スロープ



4） 定礎板



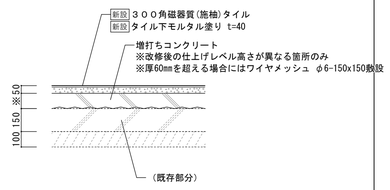
5） 駐輪場



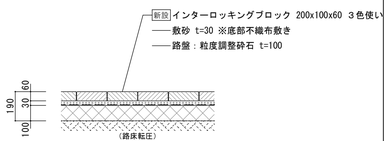
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		外構構造物詳細図２［改修前］	０００
SCALE 1/20		© (株) 千葉構造設計コンサルタント	G-06

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第（９）１４３６号 一級建築士大臣登録 第３１６５６０号 山崎 栄市

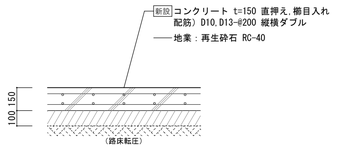
Ｔ　タイル舗装



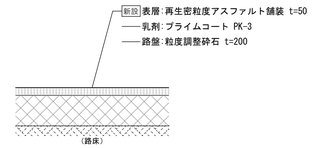
ＩＬＢ　インターロッキングブロック舗装



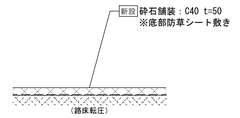
Ｃｏ　コンクリート舗装



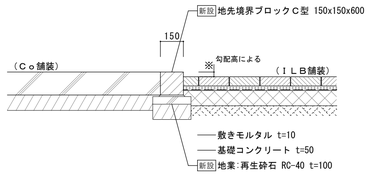
ＡＳ　アスファルト舗装



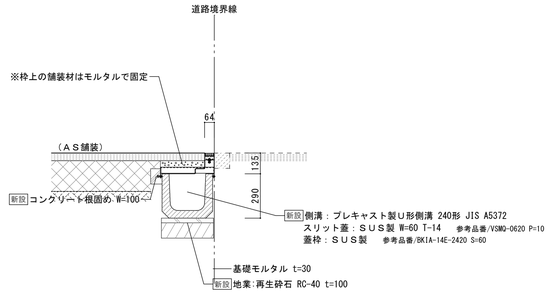
砕石　砕石舗装



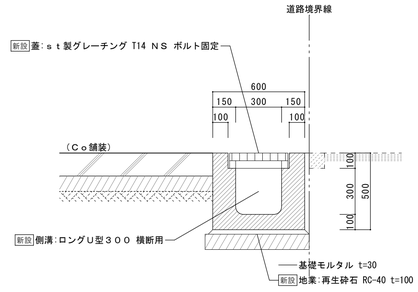
Ａ　Ｃｏ舗装 ～ インターロッキングブロック舗装



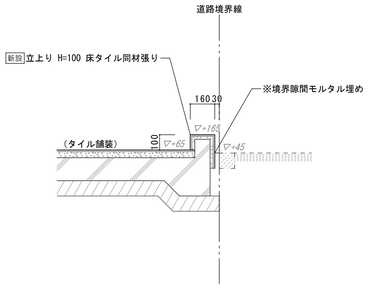
Ｂ　境界構造（北側）　スリット側溝部分



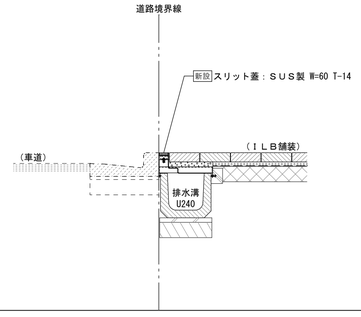
Ｃ　境界構造（北側）　側溝部分



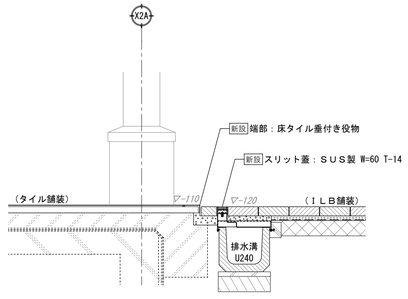
Ｄ　境界構造（北側）　立上部分



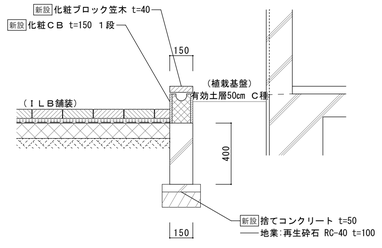
Ｅ　境界構造（南側）　側溝部分



Ｆ　タイル舗装 ～ スリット側溝 ～ ＬＢ舗装取合い



Ｊ　インターロッキングブロック舗装 ～ 緑地帯



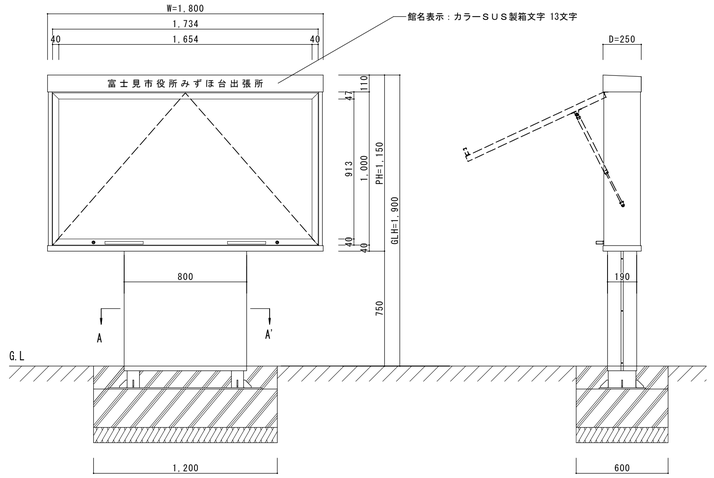
市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		外構構造物詳細図３［改修後］	０００
SCALE 1/20		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	G-07

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

1） 屋外掲示板

記載事項全て新設とする（基礎コンクリート共）

参考）ＫＡＳＨＩＩ/ステンレス製掲示板　ポステージ ＰＫＳ-１型　同等程度



Ａ－Ａ' 断面

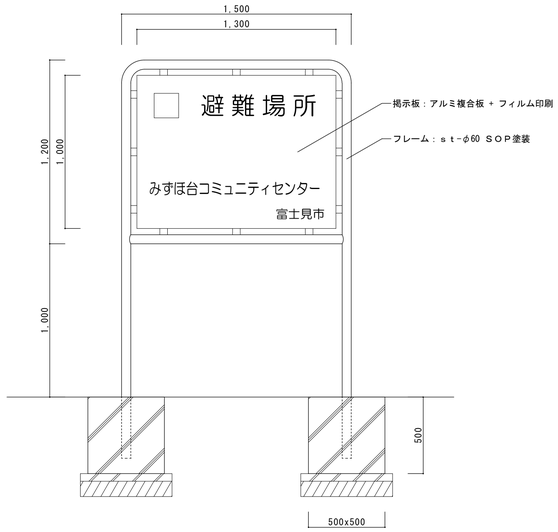
製品色調：生地（ヘアライン仕上）
本体・扉枠：ステンレス　ＳＵＳ３０４(t=1.5)
骨材：ステンレス(t=1.5～3.0)
掲示ボード：鋼板＋ＰＰ＋鋼板(t=3.0)
マグネットタイプ（ホワイト）
保護板：強化ガラス(t=5.0)
照明：なし
錠前：カムロック錠（キー付）
製品重量：250kg

2） 避難場所看板

移設（基礎コンクリート 撤去・新設）

特記事項）既存同等程度

注記）表記内容は現場打合せにて決定とする

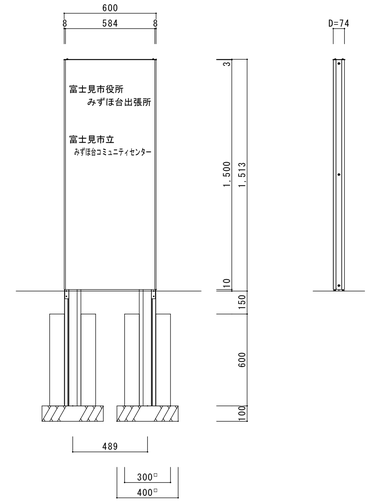


3） 施設案内サイン

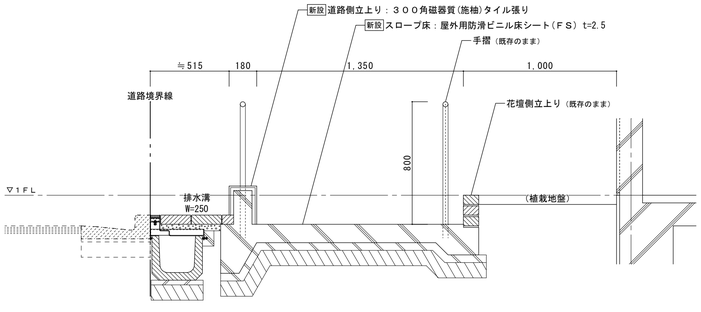
記載事項全て新設とする（基礎コンクリート共）

参考）ＫＯＴＯＢＵＫＩ/アルプランク ＵＣ-Ｓ７１１２０１ 同等程度

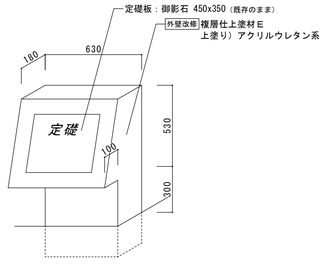
注記）表記内容は現場打合せにて決定とする



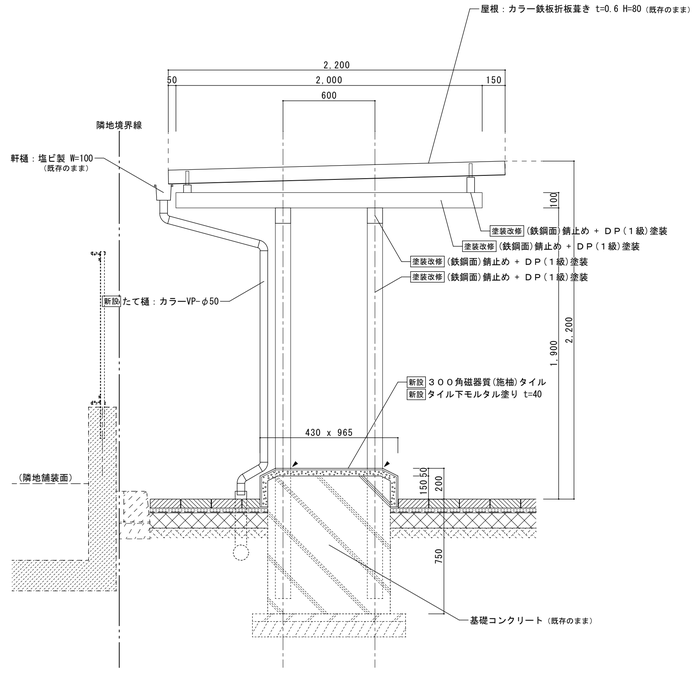
◇L スロープ



4） 定礎板

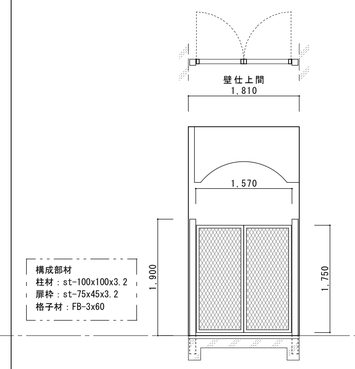
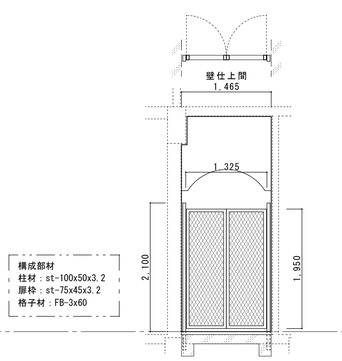
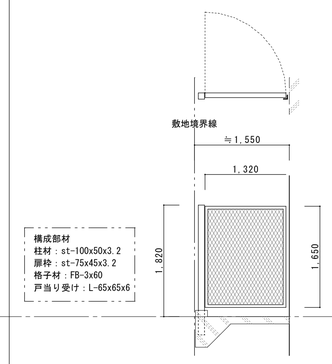
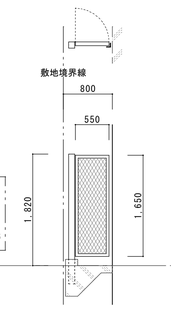
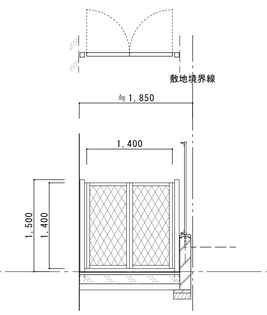


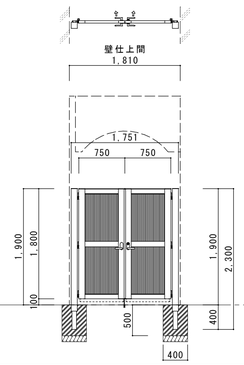
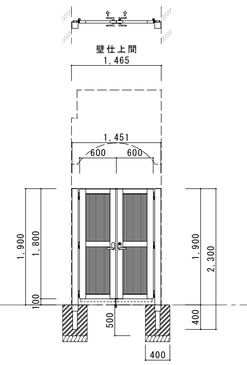
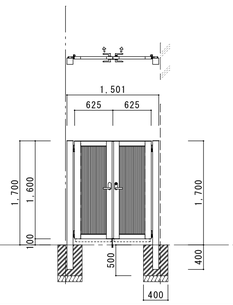
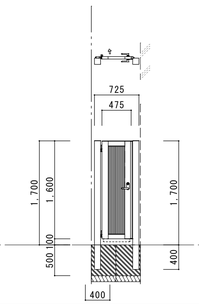
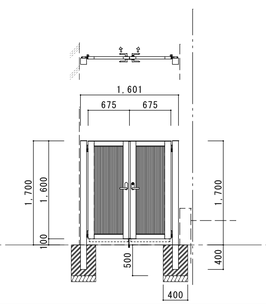
5） 駐輪場

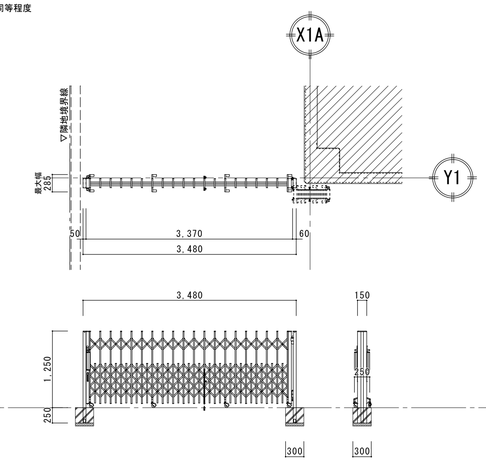
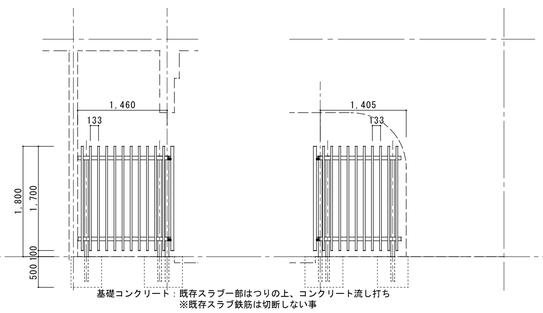


市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）			外構構造物詳細図４［改修後］	０００
SCALE 1/20			㈱ 千葉構造設計コンサルタント	G-08

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市

記号/室名/数量	16 SD　数量 1	17 SD　数量 1	18 SD　数量 1	19 SD　数量 2	1 AD　数量 1
形　状					
形　式	両開き製作門扉	両開き製作門扉	片開き製作門扉	片開き製作門扉	両開き既製門扉 （TOEX/シャレオ10型 01011128）
材　質	スチール製	スチール製	スチール製	スチール製	アルミ形材製
改修内容	1. 撤去、処分（枠共） 2. 基礎コンクリート撤去	1. 撤去、処分（枠共）※支柱ハツリ出し撤去、ハツリ箇所はモルタル埋め補修とする	1. 撤去、処分（枠共） 2. 基礎コンクリート撤去	1. 撤去、処分（枠共） 2. 基礎コンクリート撤去	1. 撤去、処分（枠共） 2. 基礎コンクリート撤去

記号/室名/数量	R1 AD　数量 1	R2 AD　数量 1	R3 AD　数量 1	R4 AD　数量 2	R5 AD　数量 1
	参考）四国化成/クレディ門扉２型 Ｈ１８　同等程度	参考）四国化成/クレディ門扉２型 Ｈ１８　同等程度	参考）四国化成/クレディ門扉２型 Ｈ１６　同等程度	参考）四国化成/クレディ門扉２型 Ｈ１６　同等程度	参考）四国化成/クレディ門扉２型 Ｈ１６　同等程度
形　状					
形　式	両開き既製品エクステリア門扉	両開き既製品エクステリア門扉	両開き既製品エクステリア門扉	片開き既製品エクステリア門扉	両開き既製品エクステリア門扉
材　質	アルミ押出形材製	アルミ押出形材製	アルミ押出形材製	アルミ押出形材製	アルミ押出形材製
ハンドル	アルミダイカスト製レバーハンドル	アルミダイカスト製レバーハンドル	アルミダイカスト製レバーハンドル	アルミダイカスト製レバーハンドル	アルミダイカスト製レバーハンドル
鍵　種	シリンダー本締錠　鍵/サ	シリンダー本締錠　鍵/サ	シリンダー本締錠　鍵/サ	シリンダー本締錠　鍵/サ	シリンダー本締錠　鍵/サ
金物・備考	◎ 付属金物一式　◎ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無）　扉幅特注加工 ◎ 戸当り（ □床 □壁 ◎扉）　フランス落し	◎ 付属金物一式　◎ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無）　扉幅特注加工 ◎ 戸当り（ □床 □壁 ◎扉）　フランス落し	◎ 付属金物一式　◎ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無）　扉幅特注加工 ◎ 戸当り（ □床 □壁 ◎扉）　フランス落し	◎ 付属金物一式　◎ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無）　扉幅特注加工 ◎ 戸当り（ □床 □壁 ◎扉）	◎ 付属金物一式　◎ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無）　扉幅特注加工 ◎ 戸当り（ □床 □壁 ◎扉）　フランス落し

記号/室名/数量	R1 ACD　数量 1	R1 AF　数量 1	
	参考）四国化成/クレディアコー３型 ペットガードタイプ　同等程度	参考）四国化成/大型フェンス ＧＴＦ１型 木調カラー　同等程度	
形　状			
形　式	自在キャスター式既製品アコーディオン門扉	木目調縦格子型フェンス	
材　質	アルミ押出形材製	アルミ押出形材製オレフィンシート貼り	
ハンドル	アルミ形材製引き棒	—	
鍵　種	シリンダー本締錠　鍵/サ	—	
金物・備考	◎ 付属金物一式　◎ その他【下記記載】 □ ＤＣ（ストップ □有 □無）　落し棒 ◎ 戸当り（ □床 □壁 ◎扉）		

市立みずほ台コミュニティセンター 長寿命化改修建築工事（ゼロ債務）		外構構造物詳細図５	０００
SCALE　1/50		㈱ 千葉構造設計コンサルタント	G-09

一級建築士事務所　埼玉県知事登録第（９）１４３６号　　一級建築士大臣登録 第３１６５６０号　山崎　栄市